江別市
高齢者総合計画の策定に関する実態調査
報告書

令和８年３月

江　別　市

目　次

第１章　調査の概要 1
　１．調査の目的 3
　２．調査方法と回収状況 3
　３．調査の種類 4
　４．調査項目 5
　５．報告書利用上の留意点 7
第２章　調査結果の概要 9
　１.市民向け調査 11
　　（１）回答者の状況 11
　　（２）暮らしの状況 11
　　（３）介護者の状況 12
　　（４）各種リスクの状況 12
　　（５）地域での活動・つながりの状況 13
　　（６）手助けの状況 14
　　（７）健康づくり 15
　　（８）医療機関との関係 16
　　（９）認知症の意識や支援等 17
　　(10) 相談支援体制 18
　　(11) 成年後見制度 18
　　(12) 介護保険サービス等の利用状況 19
　　(13) 入所施設サービスの状況 20
　　(14) 介護保険制度について 21
　２.事業系調査 22
　　（１）介護保険サービス事業者 22
　　（２）高齢者向け住宅事業者 24
　　（３）ケアマネジャー 25
第３章　市民向け調査結果の詳細 29
　１.回答者の属性 31
　　（１）記入者、本人との関係【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】 31
　　（２）性別・年齢別 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 32
　　（３）要介護度 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】 34
　　（４）居住地区【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 36
　　（５）家族構成【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 37

２.暮らしの状況..... 40
（１）住まいの形態 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 40
（２）介護を必要とする高齢者等との同居【第２号被保険者】..... 43
（３）親子の同居に対する考え【第２号被保険者】..... 43
（４）介護・介助の状況【第１号被保険者】..... 44
（５）育児や介護の状況【第２号被保険者】..... 45
（６）暮らしの状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】..... 46
（７）今後の生活意向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 48
（８）自身の介護が必要となった場合の生活意向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】 51
３.介護者の状況..... 52
（１）週の介護頻度【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 52
（２）介護者の続柄【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 54
（３）介護者との同居・別居【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 56
（４）介護者の年齢【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 57
（５）介護者の就労状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 59
（６）今後働きながらの介護継続の可能性【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 60
４.各種リスクの状況..... 62
（１）運動器の機能低下【第１号被保険者】..... 62
（２）転倒リスク【第１号被保険者】..... 65
（３）閉じこもり傾向【第１号被保険者】【第２号被保険者】..... 67
（４）昨年と比べた外出回数の増減【第１号被保険者】【第２号被保険者】..... 69
（５）低栄養の傾向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 74
（６）急激な体重の増減 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 78
（７）咀嚼機能の低下 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 81
（８）歯の数と入れ歯の利用状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 84
（９）１日の食事回数 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 86
(10)誰かと食事をする機会【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 88
(11) 認知機能の低下 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】..... 91
(12) ＩＡＤＬ（手段的日常生活動作）の評価【第１号被保険者】..... 94
５.地域での活動・つながりの状況..... 98
（１）ボランティアのグループの参加頻度【第１号被保険者】..... 98

（２）スポーツ関係の参加頻度【第１号被保険者】.....99
（３）趣味関係の参加頻度【第１号被保険者】.....100
（４）学習・教養サークルの参加頻度【第１号被保険者】.....101
（５）通いの場の参加頻度【第１号被保険者】.....102
（６）高齢者クラブの参加頻度【第１号被保険者】.....103
（７）自治会の参加頻度【第１号被保険者】.....104
（８）収入のある仕事の参加頻度【第１号被保険者】.....105
（９）地域活動への参加の有無【第１号被保険者】.....106
(10) 地域づくりへの「参加者」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】107
(11) 地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....109
(12) 参加したくない理由【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....111
(13) 参加・活動しやすい条件【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....112
(14) 現在の就労状況 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】.....113
(15) 引退時期 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】 114
(16) 心配事や愚痴を聞いてくれる人 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 115
(17) 心配事や愚痴を聞いてあげる人 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 118
(18) 看病や世話をしてくれる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】.....121
(19) 看病や世話をしてあげる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】.....123
(20) 家族や友人・知人以外の相談相手 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....125
(21) １か月間に会った友人・知人の数【第１号被保険者】【サービス未利用者】.....128
６.手助けの状況 130
（１）受けている手助け【第１号被保険者】.....130
（２）それぞれの手助けをしてくれる人【第１号被保険者】.....132
（３）必要なのに受けていない手助け【第１号被保険者】.....141
（４）ちょっとした手助けの近所への依頼【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....142
（５）近所からのちょっとした手助けの引き受け状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....144
（６）地域の支え合いとしてできること【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....146
７.健康づくり 148
（１）主観的健康感 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】.....148
（２）健康づくりへの興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....151
（３）幸福度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利

用者】.....154
（４）うつ傾向【第１号被保険者】.....157
（５）睡眠による休養【第１号被保険者】.....159
（６）喫煙状況【第１号被保険者】.....160
（７）健康維持のために心がけていること【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....161
（８）健康について知りたいこと【第２号被保険者】【サービス未利用者】.....163
８.医療機関との関係.....164
（１）現在治療中、後遺症のある病気【第１号被保険者】.....164
（２）介護予防への興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....165
（３）通院による医師の診療頻度【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....168
（４）通院している原因【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】.....169
（５）自力で通院できなくなった場合の対処 【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....170
（６）訪問診療の受診状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 171
（７）訪問診療の利用先【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 173
（８）１か月間の訪問診療頻度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....175
（９）健診の受診状況 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....176
(10) 健診を受けていない理由 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....179
(11) かかりつけ医の有無 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....183
(12)かかりつけ医の必要性【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....184
９.認知症の意識や支援等.....185
（１）自身または家族に認知症の症状がある 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....185
（２）認知症に関する相談窓口の認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....188
（３）認知症に対するイメージ 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....191
（４）家族が認知症であることを打ち明ける範囲 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....192
（５）認知症に対する不安 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....196
（６）認知症に関する相談先【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....199

（７）認知症サポーターの認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 202
（８）認知症サポーター養成講座の受講意向 【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 204
（９）受講したくない理由【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 206
10. 相談支援体制 209
（１）地域包括支援センターの認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】 209
（２）地域包括支援センターに期待すること 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】 211
11. 成年後見制度 212
（１）成年後見制度の認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 212
（２）成年後見制度の利用意向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 215
（３）利用しない理由 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 218
（４）自身が将来不安に思うこと 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 222
（５）江別市成年後見支援センターの認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 226
（６）成年後見制度に関する相談先 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 229
12. 介護保険サービス等の利用状況 233
（１）事業者を選ぶポイント【居宅サービス利用者】 233
（２）制度上で利用できる上限までの利用【居宅サービス利用者】 234
（３）上限まで利用していない理由【居宅サービス利用者】 235
（４）サービス利用の満足度【居宅サービス利用者】 236
（５）不満な理由【居宅サービス利用者】 237
（６）利用しているサービスの満足・不満【居宅サービス利用者】 238
（７）認定を受けるために申請した理由【サービス未利用者】 239
（８）現在の生活状況【サービス未利用者】 240
（９）介護サービスを利用していない理由【サービス未利用者】 241
(10) 今後のサービス利用意向【居宅サービス利用者】 242
(11) 利用を減らしたり、止めたい理由【居宅サービス利用者】 243
(12) 施設に入所したい理由【居宅サービス利用者】 244
(13) 特別養護老人ホームの入所検討状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 245
(14) 入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地 【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 247
(15) 申込み先から連絡が来た場合の対応【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 248

(16) 在宅生活継続で受けたい支援内容【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..249
13. 入所施設サービスの状況.....251
（１）現在の施設に入所する前に住んでいた場所【施設サービス利用者】.....251
（２）施設に入所した理由【施設サービス利用者】.....252
（３）現在入所している施設の種類【施設サービス利用者】.....253
（４）申込から入所までの期間【施設サービス利用者】.....254
（５）現在の施設の入所期間【施設サービス利用者】.....255
（６）施設のサービス満足度【施設サービス利用者】.....256
（７）不満な理由【施設サービス利用者】.....257
（８）不満があるときの相談先【施設サービス利用者】.....258
（９）施設サービスを受けてよかったと思うこと【施設サービス利用者】.....259
14. 介護保険制度について.....260
（１）介護保険制度の在り方での力点【第２号被保険者】.....260
（２）支援事業の在り方での力点【第２号被保険者】.....261
（３）介護サービスと保険料の在り方 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】.....262
（４）介護保険サービスの利用条件の認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】....264
（５）今後特に力を入れてほしい高齢者施策 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】【サービス事業者】【住宅事業者】【ケアマネジャー】.....265
第４章　事業系調査結果の詳細.....267
１. 介護保険サービス事業者.....269
（１）円滑な事業を進めて行くうえで、特に困難と感じること.....269
（２）連携が必要だと思う関係機関.....270
（３）ケアマネジャーとの連携.....270
（４）江別市内の在宅医療・介護連携.....271
（５）在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること.....271
（６）関係機関との連携で特に困難と感じること（自由回答）.....272
（７）患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用.....272
（８）看取りの実施.....273
（９）看取りをする場合に欠かせないと思うこと.....274
(10) 介護サービスの質を向上させるために取り組んでいること（自由回答）.....274
(11) この１年間における人材の確保状況.....275
(12) 昨年１年間（令和７年１月１日～令和７年 12 月 31 日）の離職者.....275
(13) 離職の理由.....276
(14) 不足している職種.....276
(15) 人員の不足数.....277
(16) 新規人材の確保のための取組.....278
(17) 人材の定着・育成（離職防止）のための取組.....279
(18) 介護人材の確保・定着のために力を入れること.....280

(19) 介護助手への元気高齢者等の活用について.....281
(20) 元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制...281
(21) 職員について.....282
(22) 無資格者の初任者研修等の資格取得検討.....283
(23) 自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと.....284
(24) 提供しているサービス種別.....285
(25) 成年後見制度の認知度.....287
(26) 支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無.....288
(27) 成年後見制度の利用が必要と思う理由.....289
(28) 江別市成年後見支援センターの認知度.....289
(29) 成年後見制度に関する相談先の認知度.....290
(30) 成年後見制度に関する相談先.....290
(31) 成年後見制度に関する課題（自由回答）.....291
２.高齢者向け住宅事業者.....292
（１）所在地区.....292
（２）経営主体.....292
（３）施設種類.....292
（４）入居定員.....293
（５）入居状況及び待機状況（令和８年１月１日現在）.....293
（６）入居者の内訳.....293
（７）入居者の年齢.....294
（８）入居者の入居年数.....294
（９）施設が実施しているサービス内容.....294
(10) 併設しているサービス施設の有無.....294
(11) 併設しているサービス施設の内容.....295
(12) 連携病院及び連携介護事業者.....295
(13) 入居者の介護サービス利用状況.....296
(14) 入居者の医療サービス利用状況.....296
(15) 看取りの実施.....297
(16) 看取りをする場合に欠かせないと思うこと.....297
(17) その他のサービスの実施意向.....298
(18) 今後展開予定の事業.....298
(19) この１年間における人材の確保状況.....298
(20) 新規人材の確保のための取組.....299
(21) 人材の定着・育成（離職防止）のための取組.....299
(22) 今後、高齢者施策として力を入れてほしいもの.....300
(23) 成年後見制度の認知度.....300
(24) 支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無.....301
(25) 成年後見制度の利用が必要と思う理由.....301
(26) 江別市成年後見支援センターの認知度.....301

(27) 成年後見制度に関する相談先の認知度.....302
(28) 成年後見制度に関する相談先.....302
(29) 成年後見制度に関する課題（自由回答）.....302
3.ケアマネジャー.....303
（1）性別.....303
（2）年齢.....303
（3）勤務形態.....304
（4）他の介護保険サービスの実施状況.....304
（5）ケアマネジャーの経験年数.....305
（6）介護支援専門員以外の資格の取得状況.....306
（7）担当している利用者数.....307
（8）負担になっている業務.....308
（9）要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なこと.....309
(10) 担当医との連携状況.....310
(11) 担当医との連携方法.....310
(12) 利用者入院時の病院への情報提供.....311
(13) 病院への情報提供方法.....311
(14) 退院後の医療継続のための対応.....312
(15)「カンファレンス」への参加要請の有無.....312
(16)「カンファレンス」への参加状況.....313
(17) 参加していない理由.....313
(18) 医療機関との情報伝達の望ましい手段.....313
(19) 医療機関と連携が図りにくいと感じた経験.....314
(20) 医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況.....314
(21) 認知症に関して相談できる医療機関の有無.....315
(22) 認知症に関して相談している医療機関の種類.....315
(23) 看取りの立ち会いの有無.....316
(24) 看取りをサポートする場合に欠かせないと思うこと.....317
(25) ケアマネジャーのスキルアップで望むこと.....317
(26) ケアマネジャーの仕事についての考え.....318
(27) 江別市内の在宅医療・介護連携.....319
(28) 江別市内の在宅医療・介護連携の状況についての意見（自由回答）.....319
(29) 在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること.....320
(30) 江別市内の在宅医療・介護連携を進めるための意見（自由回答）.....320
(31) 患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用.....321
(32) 自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと.....321
(33) ケアマネジャーの立場から保険者である江別市に望むこと.....322
(34) 成年後見制度の認知度.....323
(35) 支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無.....324
(36) 成年後見制度の利用が必要と思う理由.....325

(37) 江別市成年後見支援センターの認知度.....325
(38) 成年後見制度に関する相談先の認知度.....326
(39) 成年後見制度に関する相談先.....326
(40) 成年後見制度に関する課題（自由回答）.....327
第５章　自由記入意見.....329
１.市民向け調査の意見.....331
２.事業系調査の意見.....337
第６章　資料編　調査票.....339
１.第１号被保険者 341
２.第２号被保険者 349
３.居宅サービス利用者.....356
４.施設サービス利用者.....364
５.サービス未利用者.....369
６.介護保険サービス事業者.....377
７.高齢者向け住宅事業者.....382
８.ケアマネジャー 386

第１章　調査の概要

１．調査の目的

本調査は、江別市の高齢者等の生活実態を把握し、令和８年度に策定を予定している「江別市高齢者総合計画（第 11 期江別市高齢者保健福祉計画・第 10 期江別市介護保険事業計画）＜計画期間：令和９年度～令和 11 年度＞」の基礎資料を得ることを目的として実施しました。

２．調査方法と回収状況

調査基準日：令和８年１月１日
抽 出 方 法：日常生活圏域・性別・年齢区分で偏りがないように配慮し、住民基本台帳から無作為抽出しました。
調 査 方 法：市民向け…郵送による調査（ハガキによる勧奨を１回実施）
事業者向け…Ｗｅｂによる調査
調 査 期 間：令和８年１月６日（火）～令和８年１月 23 日（金）

調査対象	調査対象数	有効回収数	回収率
第１号被保険者	1,600	1,202	75.1%
第２号被保険者	1,000	494	49.4%
居宅サービス利用者	2,000	1,162	58.1%
施設サービス利用者	470	260	55.3%
サービス未利用者	600	324	54.0%
介護保険サービス事業者	189	110	58.2%
高齢者向け住宅事業者	31	8	25.8%
ケアマネジャー	108	71	65.7%
合　計	5,998	3,631	60.5%

３．調査の種類

調査にあたっては、次の８種類の調査を実施しました。

	調査対象	調査対象要件
市民向け調査	第１号被保険者	介護保険第１号被保険者（65 歳以上） ※要介護１～５の認定者は除く
	第２号被保険者	介護保険第２号被保険者（40～64 歳） ※要介護（支援）認定者は除く
	居宅サービス利用者	要支援・要介護認定を受けている居宅サービス利用者
	施設サービス利用者	要介護認定を受けている施設サービス利用者
	サービス未利用者	要支援･要介護認定を受けている介護保険被保険者のうち、サービスを利用していない方
事業系調査	介護保険サービス事業者	市内の介護保険サービスを提供している事業者
	高齢者向け住宅事業者	市内で高齢者向け住宅などの施設を運営している事業者
	ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所等に勤務するケアマネジャー

４．調査項目

アンケート調査の設問は、現状における高齢者の方々などの生活実態や健康状態、日常生活圏域の課題のほか、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり、介護予防の推進等のために必要な社会資源を把握するために国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目と地域包括ケア推進のための判断材料として選定した市独自の調査項目を併せて設定しました。

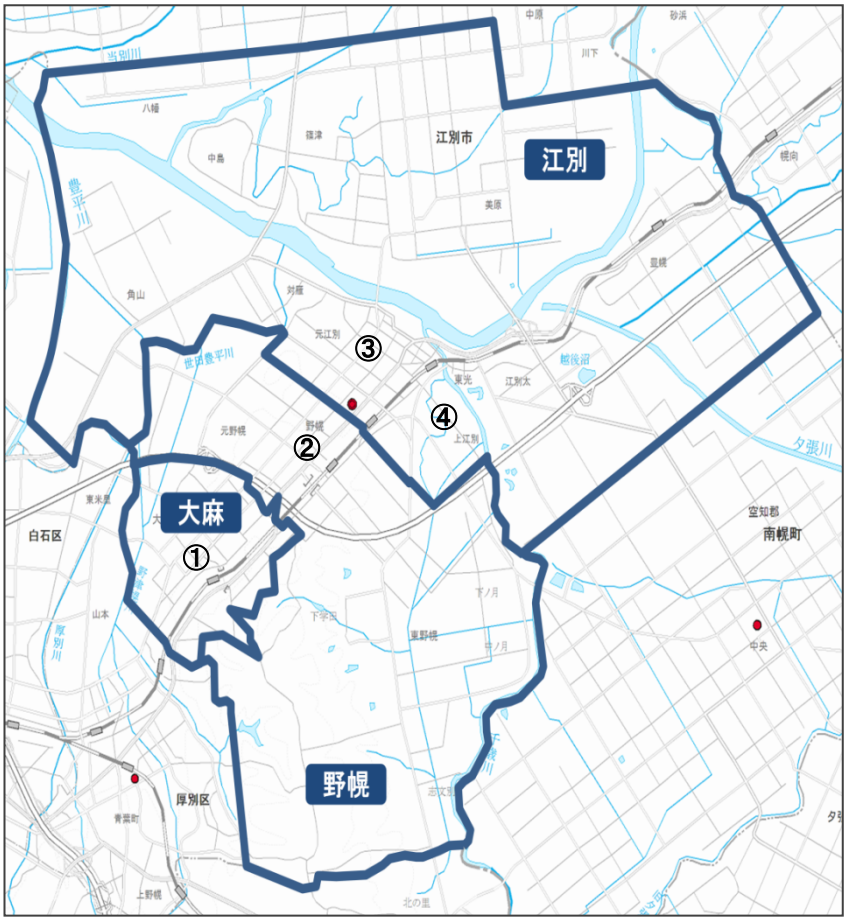
調査対象	調査項目
第１号被保険者	○ご家族や生活状況について ○からだを動かすことについて ○食べることについて ○毎日の生活について ○地域での活動について ○就労について ○たすけあいについて ○健康について ○認知症について ○受けている手助けについて ○高齢者の健康と福祉へ望むこと ○成年後見制度について ○介護保険制度について
第２号被保険者	○ご家族や生活状況について ○からだを動かすことについて ○食べることについて ○健康について ○高齢期の健康と福祉へ望むこと ○成年後見制度について ○地域での活動や手助けについて ○認知症について ○介護保険制度について
居宅サービス利用者	○ご家族や生活状況について ○食べることについて ○毎日の生活について ○就労について ○たすけあいについて ○健康について ○成年後見制度について ○認知症について ○主に介護している方について ○介護保険サービス等の利用について ○介護保険制度について
施設サービス利用者	○ご家族や生活状況について ○毎日の生活について ○健康について ○就労について ○認知症について ○成年後見制度について ○入所施設サービスについて ○介護保険制度について

調査対象	調査項目
サービス未利用者	○ご家族や生活状況について ○食べることについて ○毎日の生活について ○就労について ○たすけあいについて ○健康について ○認知症について ○主に介護している方について ○介護保険サービスの利用について ○高齢者の健康と福祉へ望むこと ○成年後見制度について ○介護保険制度について
介護保険サービス事業者	○事業者概要 ○在宅医療・介護連携について ○看取りについて ○介護人材の確保・離職防止について ○今後の高齢者施策について ○成年後見制度について
高齢者向け住宅事業者	○施設概要 ○入居者について ○実施サービスについて ○看取りについて ○介護人材の確保・離職防止について ○今後の高齢者施策について ○成年後見制度について
ケアマネジャー	○基本情報 ○負担になっている業務について ○医療機関等との連携について ○看取りについて ○ケアマネジャーの仕事について ○今後の高齢者施策について ○成年後見制度について

５．報告書利用上の留意点

・基数となるべき実数（ｎ）は、設問に対する回答者数（調査数）です。
・各設問の集計にあたっては、各設問とも「有効回答数」から無回答の件数を差し引いた件数を「回答者数（調査数)」とし、これを基数として構成比（%）を算出しました。従って、各設問とも「回答者数（調査数)」は異なります。
・百分率（%）の計算は、少数第２位を四捨五入し、少数第１位まで表示しました。従って、単数回答（１つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、%の合計が 100%にならない場合があります。
・複数回答（２つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が 100%を超える場合があります。
・本文、表、グラフは表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
・原則、回答者数（調査数）が 30 未満の場合、参考として値を記載するにとどめ、本文中では触れない場合があります。
・報告書上の地区は、次ページのように３地区とします。

【３地区の区分】



［地域包括支援センター］
①大麻第一地域包括支援センター
②野幌第一地域包括支援センター
③江別第一地域包括支援センター
④江別第二地域包括支援センター

江別地区	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東、萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘、上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町、ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町、いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西、萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌、豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
野幌地区	錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台、野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町、野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌、緑ヶ丘、あさひが丘
大麻地区	文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町、大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町、大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町、大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

第２章　調査結果の概要

１.市民向け調査

（１）回答者の状況

【調査結果の概要】

○年齢について、第１号被保険者では「70～74 歳」が 27.5%、第２号被保険者では「60 歳以上」が 28.7%、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「85 歳以上」がそれぞれ 53.2%、69.6%、41.8%で最も多くなっています。(33 頁参照)

○要介護度について、第１号被保険者では「介護認定なし」が 94.9%で、居宅サービス利用者では「要支援２」が 26.2%、サービス未利用者では「要支援１」が 49.7%、施設サービス利用者では「要介護４」が 36.1%で最も多くなっています。(34 頁参照)

○家族構成について、第１号被保険者、サービス未利用者では「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上)」がそれぞれ 48.9%、36.4%、居宅サービス利用者では「息子・娘との２世帯（子と同居を含む)」が 34.4%、第２号被保険者では「子と同居」が 37.9%で最も多くなっています。(37 頁参照)

（２）暮らしの状況

【調査結果の概要】

○住まいの形態について、全ての調査において「持家（一戸建て)」が最も多く、第１号被保険者で 78.3%、第２号被保険者で 74.5%、居宅サービス利用者で 67.0%、サービス未利用者で 71.6%となっています。(40 頁参照)

○第１号被保険者の介護・介助の状況について、「介護・介助は必要ない」が 90.9%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(5.8%) となっています。(44 頁参照)

○第２号被保険者の育児や介護の状況について、「介護のみをしている」(7.8%) と「育児と介護の両方をしている」(1.0%) を合わせると、介護をしている人は 8.8%となっています。(45 頁参照)

○今後の生活意向について、全ての調査において「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が最も多く、第１号被保険者で 90.5%、第２号被保険者で 86.8%、居宅サービス利用者で 82.3%、サービス未利用者で 86.2%となっています。なお、自身の介護が必要となった場合の生活意向については、第２号被保険者では「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が第１号被保険者よりも割合が少なくなっており、「ケア付きの高齢者専用の住居に入居したい」が 28.8%、「介護保険施設へ入所したい」が 20.5%となっています。(48 頁参照)

【調査結果からの考察】

●第１号被保険者において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した人の割合が 5.8%となっていることを考慮すると、今後、必要な方が必要な介護・介助を受けられるよう、各種制度やサービス内容の情報提供を更に充実する必要性がうかがえます。

●第２号被保険者において、介護をしている人の割合が 8.8%になっていることを考慮すると、家族・親族をはじめとする介護者の負担を軽減するための各種制度やサービス内容の情報提供を更に充実する必要性がうかがえます。

（３）介護者の状況

【調査結果の概要】

○週の介護頻度について、「ほぼ毎日ある」は、居宅サービス利用者では 38.8%、サービス未利用者では 18.1%となっています。また、サービス未利用者では「ない」が 63.8%となっています。(52 頁参照)

○介護者の続柄について、居宅サービス利用者は「娘」が 39.8%で最も多く、サービス未利用者は「配偶者（夫・妻)」が 41.5%で最も多くなっています。(54 頁参照)

○介護者との同居・別居について、「同居」は、居宅サービス利用者では 66.3%、サービス未利用者では 70.4%となっています。(56 頁参照)

○介護者の年齢について、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「60 歳代」が最も多く、それぞれ 39.9%、35.8%となっています。また、「60 歳代」「70 歳代」「80 歳以上」を合わせるとそれぞれ 72.5%、75.5%となっています。(57 頁参照)

○介護者の就労状況について、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせると、居宅サービス利用者では 46.6%、サービス未利用者では 49.1%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者の「フルタイムで働いている」は要介護度が上がるほど低くなっています。さらに、働いていると回答した人に、今後働きながらの介護継続の可能性を聞いたところ、「問題なく続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせると、居宅サービス利用者では 84.3%、サービス未利用者では 88.4%となっています。(59 頁参照)

【調査結果からの考察】

●週の介護頻度について、「ほぼ毎日ある」は居宅サービス利用者では４割弱、サービス未利用者では２割弱で、どちらも 60 歳以上の介護者が多いことから、介護者の高齢化を見据えた介護者自身の健康管理と介護負担の軽減の支援を検討する必要性がうかがえます。

●介護者の就労状況について、フルタイムまたはパートタイムで就労している介護者は居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに５割以下となっています。仕事と介護の両立を図りながら生活を続けられるよう、介護者に対する支援や、安心して働き続けられる職場環境を整備する必要性がうかがえます。

（４）各種リスクの状況

【調査結果の概要】

○運動器の機能低下について、「運動器の機能低下」している割合は 10.8%となっています。性・年代別でみると、「運動器の機能低下」している割合は女性・75 歳以上で 19.6%と最も高くなっています。(第１号被保険者)(62 頁参照)

○転倒リスクについて、「転倒リスクあり」の割合は 41.3%となっています。性・年代別でみると、「転倒リスクあり」の割合は男性・75 歳以上で 46.4%と最も高くなっています。(第１号被保険者)(65 頁参照)

○閉じこもり傾向について、「閉じこもり傾向あり」の割合は、第１号被保険者では 20.3%、第２号被保険者では 11.1%となっています。性・年代別でみると、「閉じこもり傾向あり」の割

合は第１号被保険者では女性・75 歳以上で 33.2%、第２号被保険者では女性・60 歳以上で 16.3%と最も高くなっています。(67 頁参照)

○低栄養の傾向について、「低栄養の疑いあり」の割合は、第１号被保険者で 0.9%、第２号被保険者で 1.4%、居宅サービス利用者で 2.8%、サービス未利用者で 3.4%となっています。(74 頁参照)

○咀嚼機能の低下について、「咀嚼機能の低下が疑われる」の割合は、第１号被保険者で 21.4%、第２号被保険者では 9.3%、居宅サービス利用者で 38.9%、サービス未利用者で 32.5%となっています。いずれも要介護度が上がるほど「咀嚼機能の低下が疑われる」割合が高くなる傾向があります。(81 頁参照)

○誰かと食事をする機会について、「毎日ある」が最も多く、第１号被保険者で 61.3%、第２号被保険者で 72.4%、居宅サービス利用者で 56.0%、サービス未利用者で 47.6%となっています。一人暮らしの場合、「ほとんどない」が２人以上の世帯に比べて多くなっており、第１号被保険者では 22.8%となっています。(88 頁参照)

○認知機能の低下について、「認知機能の低下がみられる」の割合は、第１号被保険者で 41.5%、居宅サービス利用者で 60.5%、施設サービス利用者で 82.6%、サービス未利用者で 51.3%となっています。性・年代別でみると、第１号被保険者、居宅サービス利用者で「認知機能の低下がみられる」の割合はいずれも女性・75 歳以上で最も高くなっています。(91 頁参照)

【調査結果からの考察】

●第１号被保険者において、「運動器の機能低下」「閉じこもり傾向あり」「認知機能の低下がみられる」の割合は、女性・75 歳以上で、「転倒リスクあり」の割合は、男性・75 歳以上で高くなっていることから、年齢を重ねても自立して生活できる高齢者の割合を増やしていくための取組を更に充実する必要性がうかがえます。

（５）地域での活動・つながりの状況

【調査結果の概要】

○各活動の参加頻度について、「参加していない」がそれぞれボランティアのグループ(89.3%)、スポーツ関係(76.0%)、趣味関係(75.2%)、学習・教養サークル(91.5%)、通いの場(91.4%)、高齢者クラブ (93.4%)、自治会 (75.8%)、収入のある仕事 (69.5%) となっています。また、どの地域活動にも参加していない人は 40.0%となっており、性・年代別でみると、その割合は女性・75 歳以上で 49.1%と最も高くなっています。(第１号被保険者) (98 頁参照)

○地域づくりへの「参加者」としての参加意向について、「既に参加している」と「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 61.4%、第２号被保険者で 62.5%となっています。(107 頁参照)

○地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向について、「既に参加している」と「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 34.9%、第２号被保険者で 40.6%となっています。(109 頁参照)

○参加・活動しやすい条件について、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「時間や期間にあまりしばられないこと」が最も多く、それぞれ 48.5%、57.6%となっています。(112 頁参照)

○心配事や愚痴を聞いてくれる人について、第１号被保険者、サービス未利用者では「配偶者」

がそれぞれ 58.8%、44.1%で最も多く、居宅サービス利用者では「別居の子ども」が 43.8%で最も多くなっています。(115 頁参照)

○心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が最も多く、第１号被保険者で 57.0%、居宅サービス利用者で 29.9%、サービス未利用者で 37.9%となっています。(118 頁参照)

○看病や世話をしてくれる人について、第１号被保険者、サービス未利用者ともに「配偶者」が最も多く、それぞれ 65.0%、45.0%となっています。(121 頁参照)

○看病や世話をしてあげる人について、第１号被保険者、サービス未利用者ともに「配偶者」が最も多く、それぞれ 67.4%、44.2%となっています。(123 頁参照)

○家族や友人・知人以外の相談相手について、第１号被保険者、第２号被保険者、サービス未利用者では「そのような人はいない」が最も多く、それぞれ 52.4%、59.7%、36.2%となっています。居宅サービス利用者では「ケアマネジャー」が最も多く、66.2%となっています。(125 頁参照)

【調査結果からの考察】

●地域活動に全く参加していない人が４割、特に女性・75 歳以上では約５割となっています。地域活動に関する積極的な情報提供や、年齢や性別に関わらず誰もが地域活動に参加しやすい環境づくりを進める必要性がうかがえます。

●地域づくりへの「参加者」としての参加意向は６割以上となっています。参加したいが時間的制約で参加できていない状況もあり、地域住民の生活状況を把握した上で、誰もが参加・活動しやすい地域づくりを目指す必要性がうかがえます。

●地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向は約３～４割となっています。地域活動の更なる活性化のためにも、「企画・運営」に携わりやすい地域活動の推進を目指す必要性がうかがえます。

（６）手助けの状況

【調査結果の概要】

○受けている手助けについて、「いずれも受けていない」が 61.1%で最も多く、次いで「冬期間の除雪」(27.7%)、「話し相手や相談相手」(22.3%) となっています。(第１号被保険者) (130 頁参照)

○必要なのに受けていない手助けについて、「特にない」が 86.8%で最も多く、次いで「冬期間の除雪」(6.5%)、「災害時の手助け」(3.4%) となっています。(第１号被保険者) (141 頁参照)

○ちょっとした手助けの近所への依頼について、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「お願いできない」が最も多く、それぞれ 44.6%、64.8%となっています。(142 頁参照)

○近所からのちょっとした手助けの引き受け状況について、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「引き受ける」が最も多く、それぞれ 56.8%、52.8%となっています。(144 頁参照)

○地域の支え合いとしてできることについて、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「安否確認の声かけ」が最も多く、それぞれ 56.0%、57.7%となっています。(146 頁参照)

【調査結果からの考察】

●ちょっとした手助けの近所への依頼について、「お願いできない」が第１号被保険者で４割強、第２号被保険者で６割強となっている一方、近所からのちょっとした手助けの引き受け状況については、「引き受ける」が、第１号被保険者、第２号被保険者ともに５割以上となっていることから、手助けの依頼のハードルを下げる仕組みづくりや、地域における日頃からの関係づくりを支援する必要性がうかがえます。

（７）健康づくり

【調査結果の概要】

○主観的健康感について、全ての調査において「まあよい」が最も多く、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた≪よい≫は、第１号被保険者で 81.2%、居宅サービス利用者で 62.2%、施設サービス利用者で 61.8%、サービス未利用者で 54.4%となっています。（148 頁参照）

○健康づくりへの興味・関心について、全ての調査において「興味・関心があり、取り組んでいる」が最も多く、第１号被保険者で 50.3%、居宅サービス利用者で 44.7%、サービス未利用者で 45.9%となっています。（151 頁参照）

○幸福度（10 点満点）について、平均点は、第１号被保険者で 7.13 点、居宅サービス利用者で 6.81 点、施設サービス利用者で 5.82 点、サービス未利用者で 6.36 点となっています。主観的健康感別にみると、全ての調査において、平均点は主観的健康感がよいほど高い傾向となっています。（154 頁参照）

○うつ傾向について、「うつ傾向あり」は 42.6%となっています。主観的健康感別にみると、「うつ傾向あり」の割合は主観的健康感がよいほど低くなっています。（第１号被保険者）（157 頁参照）

○健康維持のために心がけていることについて、第１号被保険者では「食事の栄養バランスに気をつける」が 57.7%で最も多く、第２号被保険者では「休息や睡眠をとるようにする」が 57.4%で最も多くなっています。主観的健康感別にみると、第１号被保険者では、主観的健康感がよいほどそれぞれの項目の割合が高くなっています。（161 頁参照）

○健康について知りたいことについて、第２号被保険者、サービス未利用者ともに「認知症の予防について」が最も多く、それぞれ 43.3%、37.1%となっています。（163 頁参照）

【調査結果からの考察】

●幸福度と主観的健康感は、第１号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者のいずれにおいても相関関係がみられます。また、第１号被保険者において、うつ傾向と主観的健康感にも相関関係がみられます。高齢者の主観的健康感を高めるためにも、介護予防・健康づくりに関するサービスに、より一層力を入れて取り組んでいく必要性がうかがえます。

●第２号被保険者、サービス未利用者ともに、認知症の予防について、それぞれ約４割が関心を持っていることから、認知症の予防に対する正しい情報提供を進めていく必要性がうかがえます。

（８）医療機関との関係

【調査結果の概要】

○現在治療中、後遺症のある病気について、「高血圧」が 46.7%で最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」（20.3%）、「目の病気」（18.2%）となっています。（第１号被保険者）（164 頁参照）

○介護予防への興味・関心について、第１号被保険者、サービス未利用者では「興味・関心はあるが、取り組んでいない」がそれぞれ 63.5%、54.5%で最も多くなっています。居宅サービス利用者では「興味・関心があり、取り組んでいる」が 45.3%で最も多くなっています。（165 頁参照）

○通院による医師の診療頻度について、第２号被保険者では「通院していない」が 52.9%で最も多く、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「月に１回」がそれぞれ 72.5%、63.4%で最も多くなっています。さらに、通院している人に、その原因を聞いたところ、第２号被保険者、居宅サービス利用者ともに「高血圧」が最も多く、それぞれ 41.0%、57.0%となっています。（168 頁参照）

○訪問診療の受診状況について、第１号被保険者では「受けている」が 7.0%、居宅サービス利用者では 25.9%、サービス未利用者では 5.5%となっています。要介護度別にみると、要介護度が上がるほど訪問診療を受けている割合が高い傾向となっています。（171 頁参照）

○健診の受診状況について、全ての調査において「定期的に受けている」が最も多く、第１号被保険者で 59.8%、第２号被保険者で 71.7%、居宅サービス利用者で 56.7%、施設サービス利用者で 55.1%、サービス未利用者で 52.7%となっています。さらに、健診を受けていない人に、その理由を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「既に医療機関で治療中である」が最も多く、それぞれ 49.7%、78.9%、60.0%、70.4%となっています。第２号被保険者では「面倒だから」が 28.6%で最も多く、次いで「健診費用がかかる」が 19.5%となっています。（176 頁参照）

○かかりつけ医の有無について、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「いる」がそれぞれ 78.4%、91.0%、83.7%となっています。第２号被保険者では「いる」「いない」がともに 50.0%となっています。（183 頁参照）

○かかりつけ医の必要性について、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「常に必要である」が最も多く、それぞれ 51.4%、68.7%、57.8%となっています。第２号被保険者では「継続して治療を要する病気になったら必要とする」が 62.1%で最も多くなっています。（184 頁参照）

【調査結果からの考察】

●現在治療中、後遺症のある病気について、第１号被保険者で「高血圧」が最も多くなっており、また、第２号被保険者、居宅サービス利用者が通院している理由についても「高血圧」が最も多くなっています。日常の生活習慣の改善を促す取組の必要性がうかがえます。

●第１号被保険者とサービス未利用者では、介護予防について「興味・関心はあるが、取り組んでいない」と回答した人が５割以上となっています。自立した生活を送ることができるよう、介護予防に取り組むことの重要性を理解してもらう必要性がうかがえます。

●要介護度が上がるほど訪問診療を受けている割合が高い傾向があることから、介護・医療の連携を密に取りながら、在宅医療を更に充実させていく必要性がうかがえます。

（９）認知症の意識や支援等

【調査結果の概要】

○自身または家族に認知症の症状がある人の有無について、「はい（いる）」が第１号被保険者で 11.7%、第２号被保険者で 16.7%、居宅サービス利用者で 30.8%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で 25.0%、施設サービス利用者（代理人）で 67.3%、サービス未利用者で 25.8%となっています。（185 頁参照）

○認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい（知っている）」が第１号被保険者で 31.9%、第２号被保険者で 28.6%、居宅サービス利用者で 30.5%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で 75.0%、施設サービス利用者（代理人）で 53.8%、サービス未利用者で 30.0%となっています。（188 頁参照）

○認知症に対するイメージについて、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」「認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」「認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう」を合わせると、第１号被保険者で 47.1%、第２号被保険者で 67.5%、居宅サービス利用者で 56.1%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で 12.5%、施設サービス利用者（代理人）で 73.3%、サービス未利用者で 47.8%となっています。（191 頁参照）

○家族が認知症であることを打ち明ける範囲について、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で 85.7%、第２号被保険者で 86.2%、居宅サービス利用者で 73.6%、施設サービス利用者（代理人）で 81.7%（調査対象者本人は 85.7%）、サービス未利用者で 75.7%となっています。（192 頁参照）

○認知症に対する不安について、「不安に思う」と「今は大丈夫だが将来不安」を合わせると、第１号被保険者で 93.0%、第２号被保険者で 93.0%、居宅サービス利用者で 91.2%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で 87.5%、施設サービス利用者（代理人）で 91.1%、サービス未利用者で 93.7%となっています。（196 頁参照）

○認知症に関する相談先について、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で 66.3%、第２号被保険者で 59.7%、居宅サービス利用者で 62.1%、サービス未利用者で 65.5%となっています。（199 頁参照）

○認知症サポーターの認知度について、全ての調査において「知らない」が最も多く、第１号被保険者で 63.0%、第２号被保険者で 77.6%、居宅サービス利用者で 68.7%、サービス未利用者で 64.8%となっています。また、認知症サポーター養成講座の受講意向については、全ての調査において「受講したくない」が最も多く、第２号被保険者で 68.3%、居宅サービス利用者で 72.8%、サービス未利用者で 65.5%となっています。（202 頁参照）

【調査結果からの考察】

●認知症への不安を感じている人が約９割いるなか、認知症に関する相談窓口を知っている方の割合は、第１号被保険者、第２号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者で約３割となっています。また、認知症に関する相談先については「親族」が最も多くなっており、認知症サポーターの認知度も低くなっています。認知症に対する周囲の理解、サポート体制によって認知症の方の暮らしやすさも向上するため、認知症に関する正しい知識等の普及啓発の

取り組みを更に進めていく必要性がうかがえます。

（10）相談支援体制

【調査結果の概要】

○地域包括支援センターの認知度について、「知らない」が第１号被保険者で 23.7%、第２号被保険者で 28.2%、サービス未利用者で 13.1%となっています。また、前回調査と比較すると、全ての調査において「知っている」の割合が増加しています。(209 頁参照)

○地域包括支援センターに期待することについて、全ての調査において「様々な困りごとの相談窓口」が最も多く、第１号被保険者で 47.9%、第２号被保険者で 58.6%、サービス未利用者で 50.5%となっています。(211 頁参照)

【調査結果からの考察】

●地域包括支援センターを「様々な困りごとの相談窓口」として期待している方が多くなっている一方で、地域包括支援センターを「知らない」方は、第１号被保険者、第２号被保険者では２割以上となっており、サービス未利用者でも１割強となっています。前回調査時よりも、地域包括支援センターの認知度は高くなっているものの、多様化かつ複雑化する地域のニーズに対応するため、関係機関が連携を取れる体制を整えた上で、地域包括支援センターの認知度をより一層向上させ、地域の困りごとの相談先として機能を発揮する必要性がうかがえます。

（11）成年後見制度

【調査結果の概要】

○成年後見制度の認知度について、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、第１号被保険者で 38.1%、第２号被保険者で 36.8%、居宅サービス利用者で 27.0%、施設サービス利用者で 27.2%、サービス未利用者で 28.8%となっています。(212 頁参照)

○成年後見制度の利用意向について、全ての調査において「わからない」を除いて、「利用は考えていない」が最も多く、第１号被保険者で 32.6%、第２号被保険者で 21.8%、居宅サービス利用者で 40.5%、施設サービス利用者で 36.7%、サービス未利用者で 41.1%となっています。(215 頁参照)

○江別市成年後見支援センターの認知度について、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」と「知らない」を合わせると、第１号被保険者で 87.8%、第２号被保険者で 93.1%、居宅サービス利用者で 91.6%、施設サービス利用者で 92.6%、サービス未利用者で 93.6%となっています。また、前回調査と比較すると、「知っていて、利用したことがある」と「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」を合わせた割合は、第１号被保険者、第２号被保険者及び居宅サービス利用者で増加しています。(226 頁参照)

○成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、全ての調査において「相談をする必要がない」を除いて、「どの機関に相談してよいかわからない」が最も多く、第１号被保険者では 28.4%、第２号被保険者では 29.9%、居宅サービス利用者では 25.8%、施設サービス利用者では 29.8%、サービス未利用者では 27.3%となっています。(229 頁参照)

【調査結果からの考察】

●いずれの調査においても、成年後見制度の内容について、大まかにでも知っている人は約２～４割にとどまっています。成年後見制度を必要とする方が、しっかりと制度を活用できるよう、制度内容の周知を更に充実する必要性がうかがえます。

●江別市成年後見支援センターについて、事業内容を知らない人は約９割となっており、また、成年後見制度に関する相談先として、どの機関に相談してよいかわからない人は約２～３割となっています。前回調査時よりも、第１号被保険者、第２号被保険者及び居宅サービス利用者における認知度は高まっていますが、困った際の相談先として江別市成年後見支援センターを活用できるよう、より一層認知度を高めていく必要性がうかがえます。

（12）介護保険サービス等の利用状況

【調査結果の概要】

○制度上で利用できる上限までの利用について、「上限まで利用していない」が 41.7%で最も多く、次いで「わからない」（29.0%）、「上限まで利用している」（24.7%）となっています。上限まで利用していない人に、その理由を聞いたところ、「現在のサービスメニューで十分だから」が 73.1%で最も多く、次いで「家族等が介護してくれるから」（37.0%）、「利用に要する費用が高いから」（10.1%）となっています。（居宅サービス利用者）（234 頁参照）

○サービス利用の満足度について、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫は 84.0%となっています。要介護度別にみると、要介護度が上がるほど≪満足≫の割合は低くなっています。不満な理由を聞いたところ、「希望する回数が利用できない」が 48.3%、「希望する曜日や時間帯に利用できない」（27.6%）、「利用料金が思っていたより高い」（24.1%）となっています。（居宅サービス利用者）（236 頁参照）

○利用しているサービスの満足なところについて、「職員・スタッフに関すること」「施設・設備・サービス内容全般」「健康・介護予防に関すること」が多く挙げられました。一方、不満なところとしては、「施設・設備・サービス内容全般」「サービスの利用回数・時間等に関すること」「職員・スタッフに関すること」が多く挙げられました。（居宅サービス利用者）（238 頁参照）

○サービス未利用者が認定を受けるために申請した理由について、「すぐには使わないが、将来的に介護サービスを利用したい」が 56.8%で最も多く、次いで「何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」（40.7%）、「医師や看護師などから申請するよう勧められた」（22.6%）となっています。要介護度別でみると、「何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」の割合は要介護度が下がるほど多い一方、「病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい」の割合は要介護度が上がるほど高くなっています。（239 頁参照）

○サービス未利用者の現在の生活状況について、「自宅」が 92.8%で最も多く、次いで「病院（診療所）」（4.0%）、「養護老人ホーム」、「サービス付き高齢者向け住宅」（ともに 0.9%）となっています。さらに、「自宅」と回答した人に、介護サービスを利用していない理由を聞いたところ、「認定はされたが、まだ自分で何とかできるため」が 66.3%で最も多く、次いで「これからは介護サービスを利用しようと思っている」（22.8%）、「家族などに介護してもらうため」（13.6%）となっています。（240 頁参照）

○居宅サービス利用者の今後のサービス利用意向について、「これまでと同様に、居宅サービスを利用する」が 72.7%で最も多く、次いで「わからない」(15.5%)、「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」(5.6%) となっています。また、「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」と回答した人に、施設に入所したい理由を聞いたところ、「入所 (入院) したほうが家族の負担が軽減されるから」が 62.8%で最も多く、次いで「状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから」(34.9%)、「その他」(18.6%) となっています。(242 頁参照)

○特別養護老人ホームの入所検討状況について、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「検討していない」が最も多く、それぞれ 84.4%、83.3%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者では「検討している」と「既に入所申込をしている」を合わせると、要介護３～５で 22.4%となっています。(245 頁参照)

○在宅生活継続で受けたい支援内容について、居宅サービス利用者では「冬期間の除雪」が 34.2%で最も多く、次いで「災害の手助け」(33.3%) となっています。サービス未利用者では「冬期間の除雪」が 44.9%で最も多く、次いで「通院や外出の手助け」(35.4%) となっています。(249 頁参照)

【調査結果からの考察】

●居宅サービス利用者のサービスに対する満足度は、≪満足≫が８割強となっており、要介護度が上がるほど≪満足≫の割合は低くなっています。不満な理由は、希望する回数が利用できない、希望する日・時間帯に利用できないなどとなっています。可能な範囲で利用者のニーズを捉えながら、サービス提供体制を検討していく必要性がうかがえます。

●サービス未利用者で、介護サービスを利用していない理由として「認定はされたが、まだ自分で何とかできるため」と回答した人が７割弱となっている一方で、「これからは介護サービスを利用しようと思っている」と回答した人が２割強となっていることから、認定に対する理解を深めていくとともに、サービス未利用者が将来介護サービスを利用するときに円滑に利用できるよう、提供体制を整えておく必要性がうかがえます。

(13) 入所施設サービスの状況

【調査結果の概要】

○施設に入所した理由について、「体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから」が 77.4%で最も多く、次いで「介護してくれる家族も高齢だから」(19.2%)、「入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから」(18.8%)、となっています。(施設サービス利用者) (252 頁参照)

○現在入所している施設の種類について、「介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)」が 56.0%で最も多く、次いで「介護老人保健施設 (老人保健施設)」(38.0%)、「介護医療院」(6.0%) となっています。(施設サービス利用者) (253 頁参照)

○申込から入所までの期間を聞いたところ、「１年未満」が 83.3%で最も多く、次いで「１年から３年未満」(13.3%)、「３年から５年未満」(2.1%) となっています。また、現在の施設の入所期間については、「１年から３年未満」が 40.1%で最も多く、次いで「３年から５年未満」(25.9%)、「１年未満」(25.0%) となっています。(施設サービス利用者) (254 頁参照)

○施設のサービス満足度について、「満足している」、「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫

は 83.2%となっています。（施設サービス利用者）（256 頁参照）

○施設サービスを受けてよかったと思うことについて、「家族の負担が減った」が 74.2%で最も多く、次いで「必要な時にすぐに介護が受けられる」(56.6%)、「精神的に楽になった」(42.5%)となっています。（施設サービス利用者）（259 頁参照）

【調査結果からの考察】

●施設に入所した理由について、体力の低下や在宅での介護が困難と答えた方の割合が高くなっており、また、施設サービスを受けてよかったと思うこととして、７割強の方が「家族の負担が減った」と回答しています。在宅介護によって家族が抱える負担が大きくなりすぎないよう、サービス利用者の状況を正しく把握し、家族の負担を軽減していく必要性がうかがえます。

（14）介護保険制度について

【調査結果の概要】

○介護保険制度の在り方での力点について、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」が 46.4%で最も多く、次いで「入所施設の確保」(39.7%)、「訪問サービス（ホームヘルプや訪問看護など）の量や質の充実」(31.1%）となっています。（第２号被保険者）（260 頁参照）

○介護サービスと保険料の在り方について、全ての調査において「介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない」が最も多く、第１号被保険者では 33.1%、第２被保険者では 36.1%、居宅サービス利用者では 34.8%、施設サービス利用者では 44.8%、サービス未利用者では 30.2%となっています。（262 頁参照）

○介護保険サービスの利用条件の認知度について、「知っている」が第１号被保険者では 78.9%、第２号被保険者では 79.7%となっています。（264 頁参照）

○今後特に力を入れてほしい高齢者施策について、第１号被保険者、第２号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」がそれぞれ 41.4%、43.7%、36.5%、40.4%、42.7%で最も多くなっています。（265 頁参照）

【調査結果からの考察】

●介護サービスと保険料の在り方として、全ての調査において「介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない」と考える方の割合が最も多くなっていますが、約３～５割にとどまっています。今後も、介護サービスの質の向上に取り組んでいくとともに、市民が納得のいく保険料の設定に努める必要性がうかがえます。

●今後特に力を入れてほしい高齢者施策として、全ての調査において約３～５割の方が「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」を挙げており、高齢者が１人でも安心して地域で暮らしていくことができるような取組を進めていく必要性がうかがえます。

２.事業系調査

（１）介護保険サービス事業者

【調査結果の概要】

■事業運営

○円滑に事業運営を進めて行くうえで、特に困難と感じることについて、「従事者の確保が難しい」が 77.3%で最も多く、次いで「事務作業が多い」(51.8%)、「施設・設備の改善が難しい」(32.7%) となっています。(269 頁参照)

■各種連携の状況

○連携が必要だと思う関係機関について、「医療機関」が 87.3%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(53.6%)、「他の介護事業者」(47.3%) となっています。(270 頁参照)

○ケアマネジャーとの連携について、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 96.9%となっています。(270 頁参照)

○江別市内の在宅医療・介護連携について、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 60.0%となっています。在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があることについては、「医療・介護関係者の情報共有の支援」が 68.2%で最も多く、次いで「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」(48.2%)、「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」(46.4%)、「地域の医療・介護サービス資源の把握」(41.8%) となっています。(271 頁参照)

○患者情報共有のためのＩＣＴ(情報通信技術)の活用について、「活用したいと思う」が 73.6%で最も多く、次いで「わからない」(20.9%) となっています。(272 頁参照)

■看取りの実施

○施設系サービスを運営する事業者に、看取りの実施の有無を聞いたところ、「はい（実施している)」が 57.5%、「いいえ（実施していない)」が 42.5%となっています。(273 頁参照)

○看取りをする場合に欠かせないと思うことについて、「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」が 37.5%で最も多く、次いで「医療機関との連携がとれていること」(32.5%)、「施設として明確な方針を有していること」(22.5%) となっています。(274 頁参照)

■人材確保・育成・定着

○この１年間における人材の確保状況について、「確保できている」と「おおむね確保できている」を合わせた≪確保できている≫は 50.0%となっています。不足している職種については、「介護職員」が 44.5%で最も多く、次いで「特にない」(21.8%)、「看護職員」(19.1%) となっています。また、人員の不足数については、「２人」が 32.9%で最も多く、次いで「３人」(29.4%)、「１人」(27.1%) となっています。(275 頁参照)

○昨年１年間の離職者について、「いない」が 29.1%、「いる」が 70.9%となっています。また、離職の理由については、「職場の人間関係」が 34.6%で最も多く、次いで「給与が安い」(26.9%)、「事業所と退職者とのミスマッチ」(23.1%)、「仕事がきつい」(20.5%) となっています。(275 頁参照)

○新規人材の確保のための取組について、最も効果が高いと考える取組は、「ハローワークとの連携を図っている」が 20.0%で最も多く、次いで「定期的に求人誌への掲載などを行っている」（17.3%）、「人材派遣会社との連携を図っている」（14.5%）となっています。（278 頁参照）

○人材の定着・育成（離職防止）のための取組について、最も効果が高いと考える取組は、「近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している」が 16.4%で最も多く、次いで「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」（15.5%）、「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている」（14.5%）となっています。（279 頁参照）

■介護助手への元気高齢者等の活用

○介護助手への元気高齢者等の活用について、「現時点では考えていない」が 54.5%で最も多く、次いで「今後活用したい」（24.5%）、「すでに活用している」（19.1%）となっています。（281 頁参照）

○元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制について、「将来的に整備したいが、現時点においては整備の予定はない」が 40.0%で最も多く、次いで「将来的に整備する予定」（34.0%）、「整っている」（26.0%）となっています。（281 頁参照）

■成年後見制度

○成年後見制度の認知度について、「制度の内容や手続方法を知っている」（23.6%）と「制度の内容を大まかに知っている」（65.5%）を合わせると、89.1%となっています。（287 頁参照）

○支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無について、「いる」が 32.7%、「いない」が 67.3%となっています。いると回答した事業者に、必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 86.1%で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」（69.4%）、「預貯金の管理・解約等の手続きのため」（30.6%）となっています。（288 頁参照）

○江別市成年後見支援センターの認知度について、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」が 33.6%で最も多く、次いで「知っていて、利用したことがある」（26.4%）、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」（24.5%）となっています。（289 頁参照）

【調査結果からの考察】

●事業者の運営において、人材不足が大きな課題となっています。「従事者の確保が難しい」と答えた事業者は７割を超えており、また、過去１年間に離職者が１人以上いる事業者は約７割となっています。主な離職理由は「職場の人間関係」「給与が安い」「事業所と退職者とのミスマッチ」「仕事がきつい」となっていることから、従業員の離職を減らすためには、職場環境や待遇を改善する必要性がうかがえます。

●各種連携において、ケアマネジャーとの連携は９割以上が取れていると評価していますが、江別市内の在宅医療と介護との連携が取れているとの評価は６割となっています。在宅サービスの質の向上のために、在宅医療・介護連携を更に進め、積極的な情報共有を行う必要性がうかがえます。

●介護助手への元気高齢者等の活用については、「今後活用したい」「すでに活用している」を合わせると 43.6%となり、事業者の人材不足、介護職員の負担を軽減するためにも元気高齢者を有効に活用していく必要性がうかがえます。
●成年後見制度については、「制度の内容や手続方法を知っている」は約２割にとどまっており、十分に理解ができている事業者が多いとは言えない状況となっています。また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方が「いる」と回答した事業者は３割以上となっています。一方、成年後見制度に関する相談先について、「知っている」は約５割以上であり、そのうち６割以上が江別市成年後見支援センターを挙げています。成年後見制度の理解を促進するとともに、制度利用が必要な人を適切な支援につなげる取組の必要性がうかがえます。

（２）高齢者向け住宅事業者

【調査結果の概要】

■提供しているサービス・利用者の状況

○住宅型有料老人ホーム６事業者、サービス付高齢者向け住宅１事業者、その他１事業者からの回答がありました。入居者のほとんどが独居となっており、年齢層としては 80 歳以上が約８割、入居年数は３年未満が約５割を占めています。提供しているサービスについて回答した８事業者のうち、「安否確認」は全ての事業者で、「生活相談」「食事」はそれぞれ７事業者で実施しています。（292 頁参照）

■人材確保の状況

○この１年間における人材の確保状況について、８事業者の回答内訳は「確保できている」１事業者、「おおむね確保できている」４事業者、「あまり確保できていない」１事業者、「確保できていない」２事業者となっています。（298 頁参照）

■成年後見制度

○成年後見制度の認知度について、８事業者の回答内訳は「制度の内容や手続方法を知っている」１事業者、「制度の内容を大まかに知っている」４事業者、「名前だけ知っている」３事業者となっています。（300 頁参照）
○江別市成年後見支援センターの認知度について、８事業者の回答内訳は「知っていて、利用したことがある」２事業者、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」１事業者、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」４事業者、「知らない」１事業者となっています。（301 頁参照）

【調査結果からの考察】

●高齢者向け住宅の入居者の状況をみると、高齢で独居の方が多くなっています。今後、住まいニーズの多様化に対応したサービスの提供を考える必要性がうかがえます。
●成年後見制度及び江別市成年後見支援センターについては、制度や支援の正確な内容を知っている事業者は多くありません。成年後見制度、江別市成年後見支援センターともに名前だけでなく、制度や支援内容の理解の促進に向けた取組を進める必要性がうかがえます。

（３）ケアマネジャー

【調査結果の概要】

■就労状況

○勤務形態について、「常勤」が 97.2%、「非常勤」が 2.8%となっています。経験年数は「10 年以上」が 47.9%で最も多く、次いで「５年以上 10 年未満」（29.6%）、「３年以上５年未満」（9.9%）となっています。（304 頁参照）

○担当している利用者数について、「44 人以上」が 25.4%で最も多く、次いで「35 人以上 40 人未満」「40 人以上 44 人未満」（ともに 19.7%）となっています。（307 頁参照）

○負担になっている業務について、「入所・入院先の相談・手配」が 49.3%で最も多く、次いで「保険外サービスの連絡・調整」「居宅介護支援経過の記録」（ともに 46.5%）となっています。（308 頁参照）

○ケアマネジャーの仕事について、「専門知識・技能の必要な仕事だと思う」「業務量が過大な仕事だと思う」「精神的ストレスの大きい仕事だと思う」がともに 73.2%となっており、仕事をする上で大きな負担感を感じているケアマネジャーが非常に多くなっています。（318 頁参照）

■各種連携の状況

○担当医との連携について、「十分に連携が図られている」と「おおむね連携が図られている」を合わせた≪連携が図られている≫は 73.2%となっています。連携方法としては、「電話・ＦＡＸ等で連絡を取り、面談はしていない」が 60.6%で最も多く、次いで「利用者・家族を通じて話を聞いている」（59.2%）、「ほとんどの場合、質問内容をＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している」「診療情報提供書・連携パス等の書類等で連絡をとっており、面談はしていない」（ともに 33.8%）となっています。（310 頁参照）

○退院後の医療継続のための対応について、「病院の地域連携室等と連携している」が 93.0%で最も多く、次いで「協力関係にある診療所・訪問看護ステーションと連携している」（56.3%）となっています。（312 頁参照）

○医療機関と連携が図りにくいと感じた経験について、「ある」が 71.8%、「ない」が 28.2%となっています。医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況としては、「担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある（担当医等が総合病院の医師であるため会うことが困難）」が 47.1%で最も多く、次いで「個人情報を理由に答えてくれないことがある（利用者の同意書を求められた。患者、利用者・家族を通じてしか答えない。担当の介護支援専門員である証明を求められた）」（37.3%）、「医療機関に連絡することに抵抗がある（敷居が高く感じられる」（35.3%）となっています。（314 頁参照）

○江別市内の在宅医療・介護連携について、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 84.5%となっています。連携を進めるために力を入れる必要があることについては、「地域の医療・介護サービス資源の把握」が 62.0%で最も多く、次いで「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」（54.9%）、「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」（53.5%）となっています。（319 頁参照）

○医療機関との情報伝達の望ましい手段について、「固定電話」が 70.4%で最も多く、次いで「ＦＡＸ」（63.4%）、「Ｅメール」（53.5%）となっています。（313 頁参照）

○患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用について、「活用したいと思う」が 67.6%

で最も多く、次いで「わからない」（26.8%）、「活用したいとは思わない」（4.2%）となっています。（321 頁参照）

■看取り

○看取りの立ち会いの有無について、「はい（立ち会っている）」が 35.2%、「いいえ（立ち会っていない）」が 64.8%となっています。（316 頁参照）

○看取りをサポートする場合に欠かせないと思うことについて、「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」「医療機関との連携がとれていること」がともに 93.0%で最も多く、次いで「職員の理解と協力があること」（52.1%）となっています。（317 頁参照）

■質の向上

○ケアマネジャーのスキルアップで望むことについて、「成年後見制度などの知識」が 69.0%で最も多く、次いで「医療に関する知識」（66.2%）、「困難事例の検討」（64.8%）となっています。（317 頁参照）

■保険者である江別市に望むこと

○ケアマネジャーの立場から保険者である江別市に望むことについて、「介護保険に関する情報提供」が 47.9%で最も多く、次いで「医療機関・訪問看護ステーションとの連携への支援」（45.1%）となっています。（322 頁参照）

■成年後見制度

○成年後見制度の認知度について、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、91.5%となっています。（323 頁参照）

○支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無について、「いる」が 50.7%、「いない」が 49.3%となっています。いると回答したケアマネジャーに、成年後見制度の利用が必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 86.1%で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」（55.6%）、「契約（施設入所等）のため」（52.8%）となっています。（324 頁参照）

○江別市成年後見支援センターの認知度について、「知っていて、利用したことがある」が 45.1%で最も多く、次いで「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」（36.6%）、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」（18.3%）となっています。（325 頁参照）

○成年後見制度に関する相談先の認知度を聞いたところ、「知っている」が 87.3%、「知らない」が 7.0%となっています。（326 頁参照）

○成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、「江別市成年後見支援センター」が 91.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」（32.3%）、「専門職（弁護士・司法書士等）」（24.2%）となっています。（326 頁参照）

【調査結果からの考察】

●回答したケアマネジャーの多くは、常勤で就労しており経験年数も経っているが、その分仕事上で大きな負担感を感じています。介護サービスの利用者にとってケアマネジャーの存在意

義は大きく、ケアマネジャーが持てる力を充分に発揮し、質の高い介護サービスを提供できるように、ケアマネジャーの業務負担を軽減する必要性がうかがえます。

●７割以上のケアマネジャーが担当医との連携が取れていると回答する一方で、医療機関と連携が図りにくいと感じた経験が「ある」ケアマネジャーの割合も７割を超えています。その要因として「担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある」「個人情報を理由に答えてくれないことがある」「医療機関に連絡することに抵抗がある」が上位にあがっています。ＩＣＴ（情報通信技術）の活用等も含め、個人情報の取扱いに留意しつつ、医療機関や担当医と連携がとれる解決策の検討を進めていく必要性がうかがえます。

●成年後見制度については、「制度の内容や手続方法を知っている」と答えたケアマネジャーは３割に達しておらず、制度を十分に理解しているケアマネジャーは多くありません。また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方が「いる」と回答したケアマネジャーは５割以上となっています。一方、成年後見制度に関する相談先について、「知っている」は約８割以上であり、そのうち９割以上が江別市成年後見支援センターを挙げています。成年後見制度の理解を促進するとともに、制度利用が必要な人を適切な支援につなげる取組の必要性がうかがえます。

第３章　市民向け調査結果の詳細

１.回答者の属性

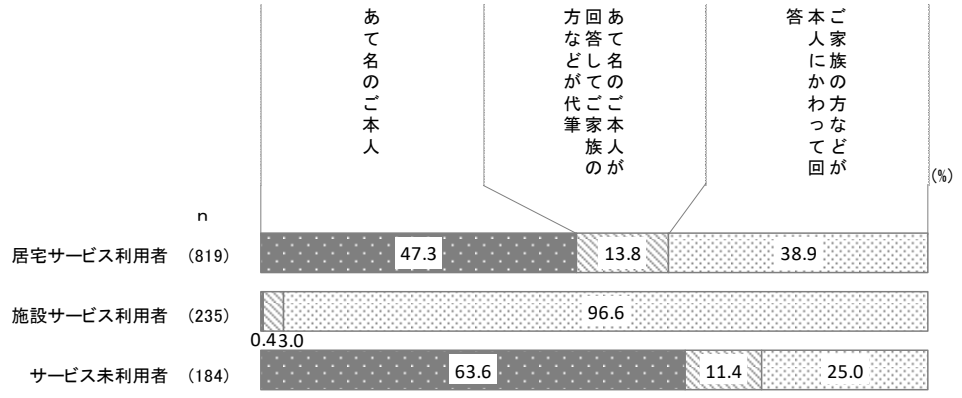
（１）記入者、本人との関係【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

市民向け調査票のうち、第１号被保険者調査と第２号被保険者調査では、本人に記入をお願いしていますが、居宅サービス利用者及び施設サービス利用者、サービス未利用者は、家族などの代筆や回答も含みます。アンケート調査票の記入者を聞いたところ、「あて名のご本人」は居宅サービス利用者では 47.3%、施設サービス利用者では 0.4%、サービス未利用者では 63.6%となっています。

また、記入者で「ご家族の方などが本人にかわって回答」と回答した人に、本人との関係を聞いたところ、「子ども」との回答は、居宅サービス利用者では 58.7%、施設サービス利用者では 70.7%、サービス未利用者では 47.8%となっています。

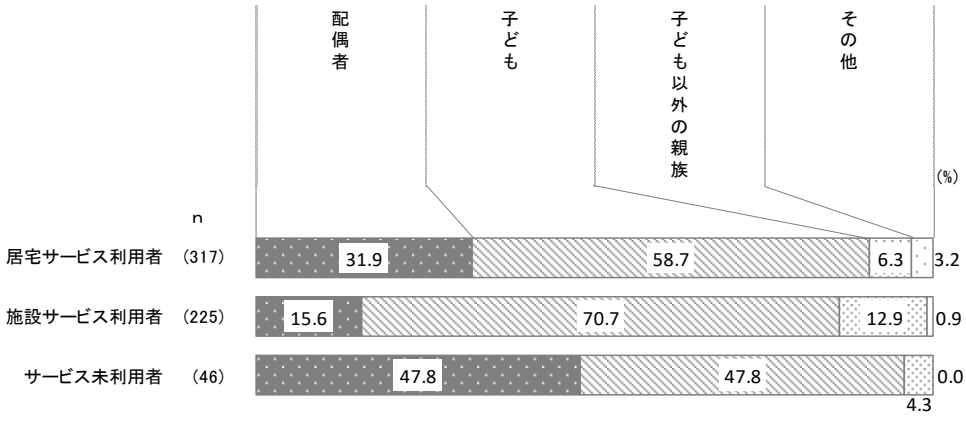
＜図表 001＞　記入者

【居宅サービス利用者　第１問１】【施設サービス利用者　第１問１】
【サービス未利用者　第１問１】



＜図表 002＞　本人との関係

【居宅サービス利用者　第１問１－１】【施設サービス利用者　第１問１－１】
【サービス未利用者　第１問１－１】



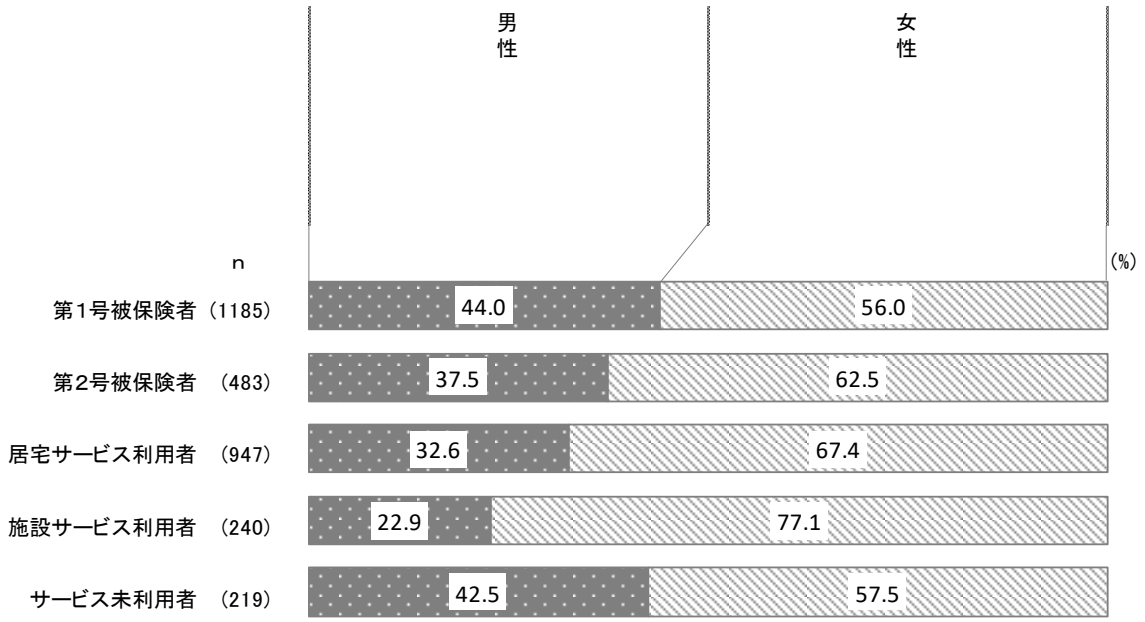
（２）性別・年齢別

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

性別を聞いたところ、全ての調査において「女性」のほうが「男性」を上回っており、中でも施設サービス利用者では、「男性」が 22.9%、「女性」が 77.1%と顕著になっています。

＜図表 003＞　本人の性別

【第１号被保険者　第１問１】【第２号被保険者　第１問１】
【居宅サービス利用者　第１問２】【施設サービス利用者　第１問２】
【サービス未利用者　第１問２】



年齢を聞いたところ、第１号被保険者では「70～74 歳」が 27.5%、第２号被保険者では「60 歳以上」が 28.7%、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「85 歳以上」がそれぞれ 53.2%、69.6%、41.8%で最も多くなっています。

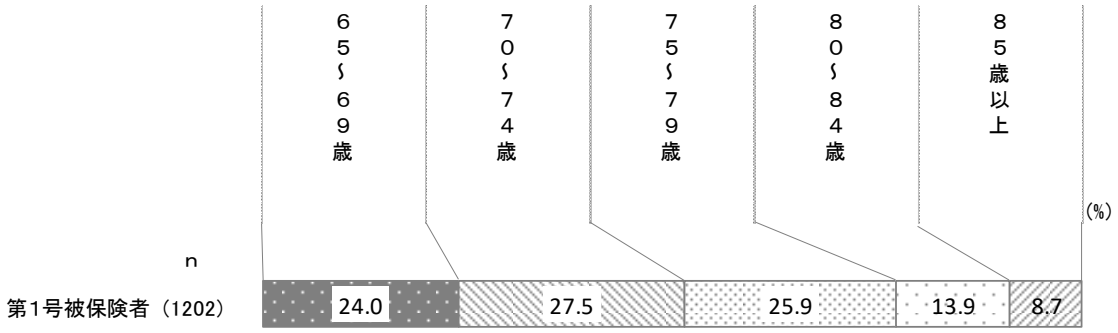
＜図表 004＞　本人の年齢

【第１号被保険者　第１問２】【第２号被保険者　第１問２】

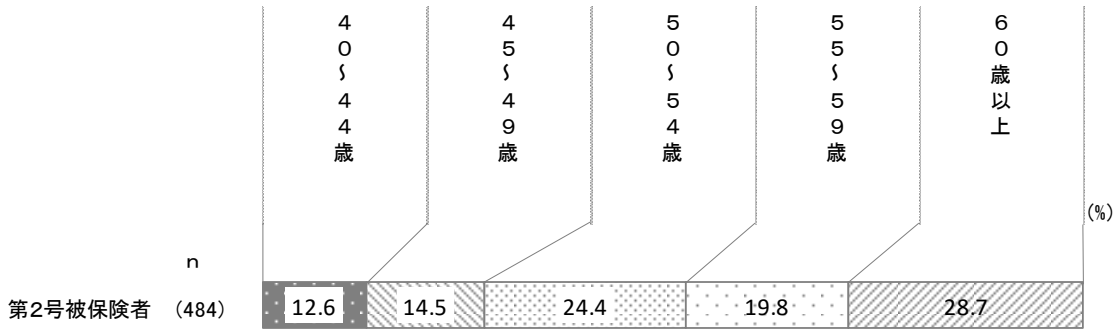
【居宅サービス利用者　第１問３】【施設サービス利用者　第１問３】

【サービス未利用者　第１問３】

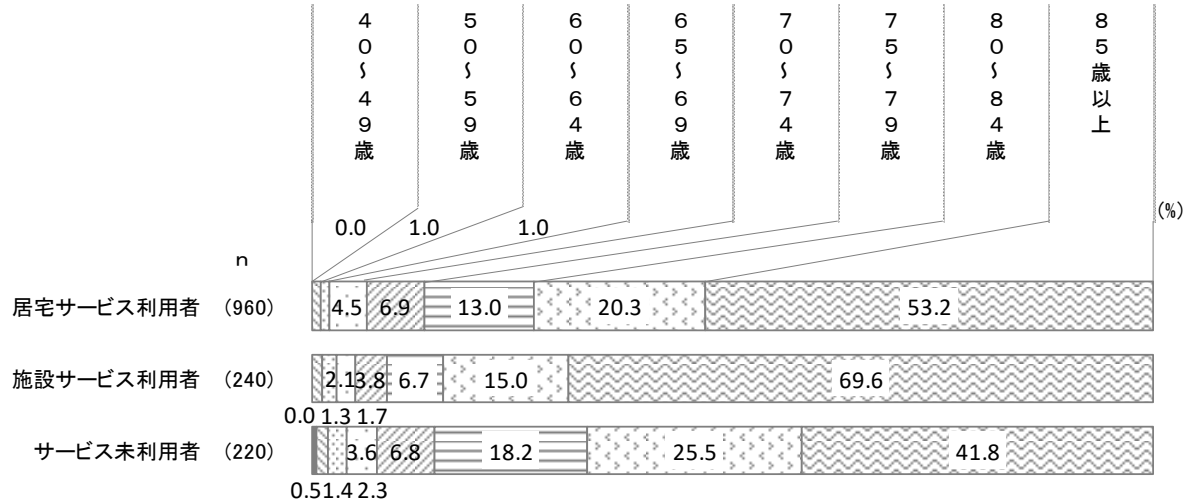
〇第１号被保険者



〇第２号被保険者



〇居宅サービス利用者・施設サービス利用者・サービス未利用者



（３）要介護度

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

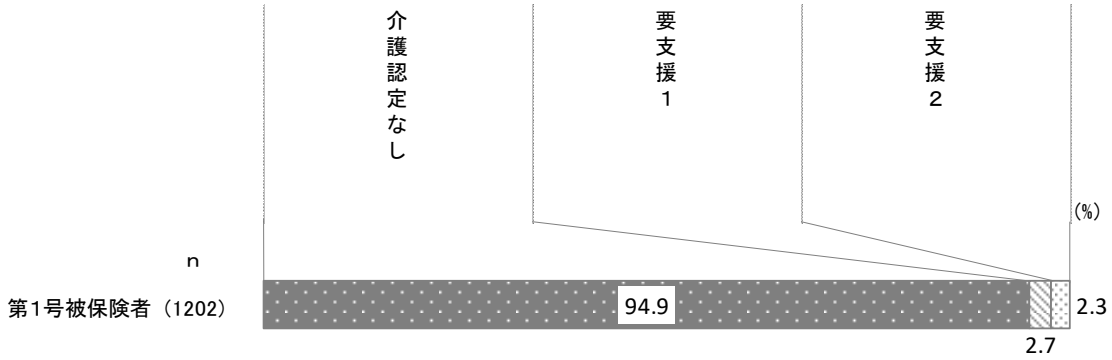
要介護度を聞いたところ、第１号被保険者では「介護認定なし」が 94.9%で、居宅サービス利用者では「要支援２」が 26.2%、サービス未利用者では「要支援１」が 49.7%、施設サービス利用者では「要介護４」が 36.1%で最も多くなっています。

＜図表 005＞　要介護度

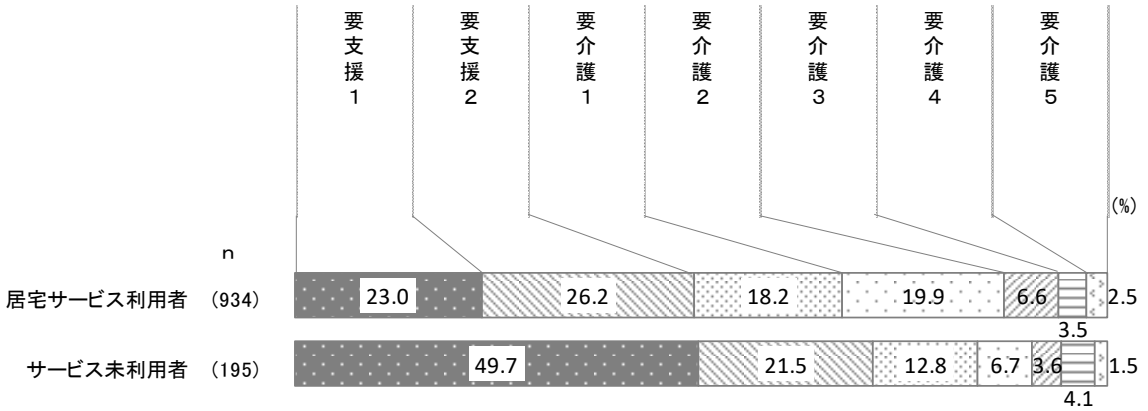
【第１号被保険者　第１問３】【居宅サービス利用者　第１問４】

【施設サービス利用者　第１問４】【サービス未利用者　第１問４】

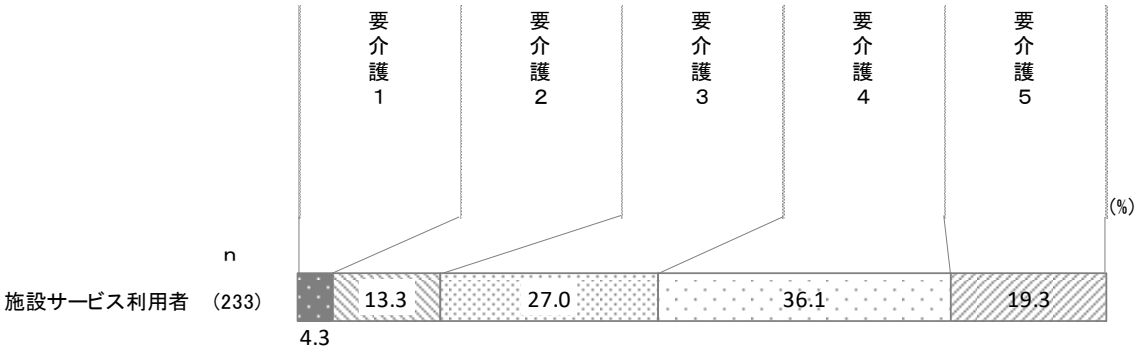
○第１号被保険者



○居宅サービス利用者・サービス未利用者



○施設サービス利用者



＜図表 006＞　要介護度（地区別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	介護認定なし	要支援１	要支援２
全　体		1202	94.9	2.7	2.3
地区	江別地区	432	95.8	3.0	1.2
	野幌地区	448	94.6	2.2	3.1
	大麻地区	322	94.1	3.1	2.8

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
全　体		934	23.0	26.2	18.2	19.9	6.6	3.5	2.5
地区	江別地区	334	22.8	25.7	17.4	19.2	8.7	2.7	3.6
	野幌地区	348	23.6	24.4	19.8	19.8	6.9	4.3	1.1
	大麻地区	244	21.7	29.1	17.6	21.7	3.7	3.3	2.9

（単位：%）

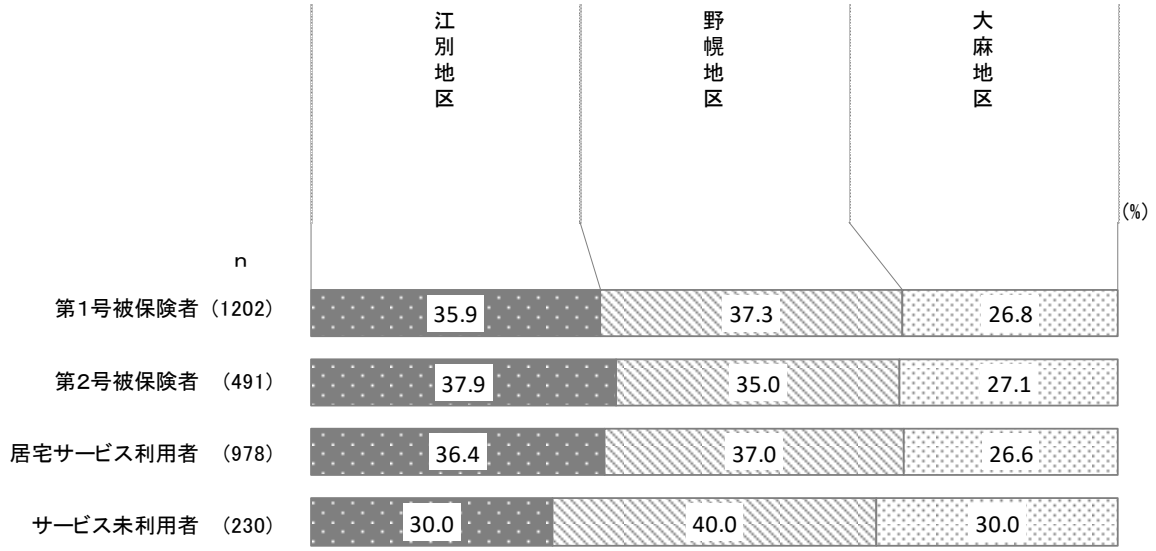
＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
全　体		195	49.7	21.5	12.8	6.7	3.6	4.1	1.5
地区	江別地区	57	50.9	17.5	14.0	7.0	1.8	7.0	1.8
	野幌地区	80	50.0	18.8	15.0	6.3	6.3	3.8	－
	大麻地区	55	47.3	30.9	7.3	7.3	1.8	1.8	3.6

（４）居住地区【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

居住地を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「野幌地区」がそれぞれ 37.3%、37.0%、40.0%、第２号被保険者では「江別地区」が 37.9%で最も多くなっています。

＜図表 007＞　居住地区

【第１号被保険者　第１問４】【第２号被保険者　第１問３】
【居宅サービス利用者　第１問５】【サービス未利用者　第１問５】



（５）家族構成【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

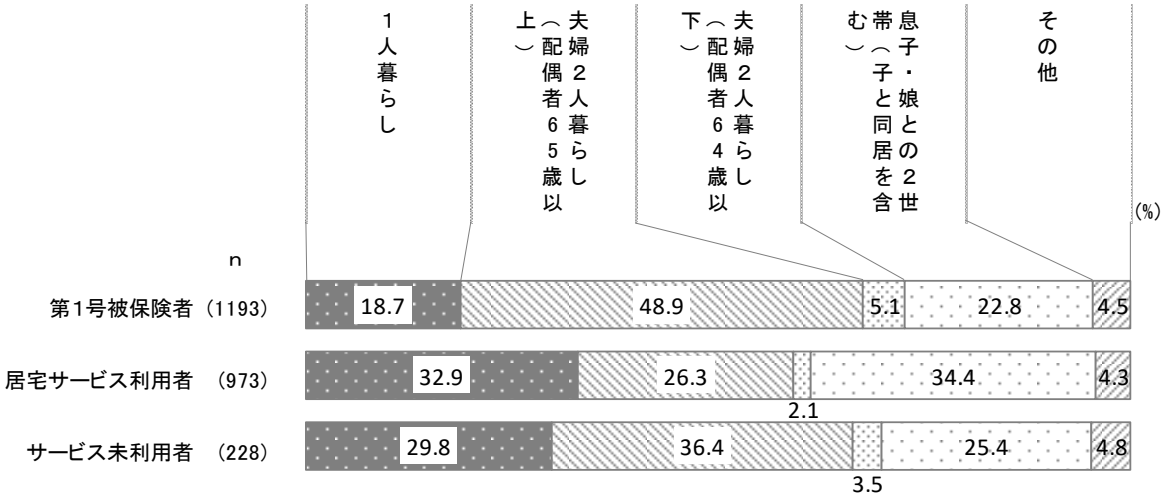
家族構成を聞いたところ、第１号被保険者、サービス未利用者では「夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）」がそれぞれ 48.9%、36.4%、居宅サービス利用者では「息子・娘との２世帯（子と同居を含む）」が 34.4%、第２号被保険者では「子と同居」が 37.9%で最も多くなっています。

＜図表 008＞　家族構成

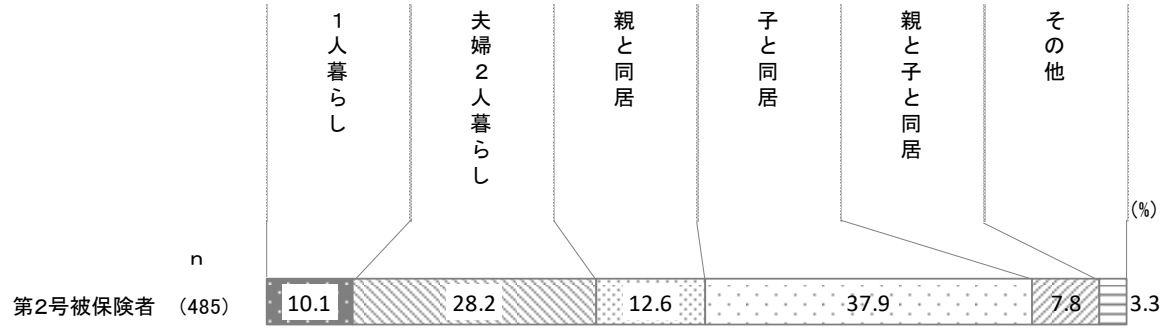
【第１号被保険者　第１問５】【第２号被保険者　第１問４】

【居宅サービス利用者　第１問６】【サービス未利用者　第１問６】

○第１号被保険者・居宅サービス利用者・サービス未利用者



○第２号被保険者



＜図表 009＞　家族構成（性・年代別/地区別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）	夫婦２人暮らし（配偶者６４歳以下）	息子・娘との２世帯	その他
全　体		1193	18.7	48.9	5.1	22.8	4.5
性・年代	男性 65 ～74歳	270	11.1	51.1	17.0	16.3	4.4
	男性 75 歳以上	249	15.3	62.7	0.4	20.9	0.8
	女性 65 ～74歳	342	16.4	48.2	2.6	23.1	9.6
	女性 75 歳以上	319	29.2	37.3	1.3	30.1	2.2
地区	江別地区	426	18.8	47.2	5.2	25.6	3.3
	野幌地区	446	16.4	49.1	7.0	21.7	5.8
	大麻地区	321	21.8	50.8	2.5	20.6	4.4

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし	親と同居	子と同居	親と子と同居	その他
全　体		485	10.1	28.2	12.6	37.9	7.8	3.3
性・年代	男性 40 代	55	9.1	5.5	23.6	54.5	5.5	1.8
	男性 50 代	66	9.1	30.3	16.7	30.3	12.1	1.5
	男性 60 歳以上	59	11.9	44.1	6.8	30.5	3.4	3.4
	女性 40 代	75	4.0	9.3	14.7	58.7	9.3	4.0
	女性 50 代	141	12.1	27.7	13.5	36.2	7.1	3.5
	女性 60 歳以上	80	12.5	48.8	3.8	22.5	8.8	3.8
地区	江別地区	182	4.4	29.1	9.9	41.8	11.0	3.8
	野幌地区	171	12.9	31.6	15.2	32.2	4.7	3.5
	大麻地区	132	14.4	22.7	12.9	40.2	7.6	2.3

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との２世帯	その他
全　体		973	32.9	26.3	2.1	34.4	4.3
性・年代	男性 40 ～64歳	7	－	－	28.6	28.6	42.9
	男性 65 ～74歳	43	9.3	51.2	16.3	18.6	4.7
	男性 75 歳以上	253	19.0	47.8	1.6	27.7	4.0
	女性 40 ～64歳	12	25.0	8.3	33.3	16.7	16.7
	女性 65 ～74歳	61	23.0	37.7	1.6	27.9	9.8
	女性 75 歳以上	554	42.2	14.1	0.2	40.1	3.4
地区	江別地区	353	26.1	25.8	2.3	40.8	5.1
	野幌地区	357	30.3	28.3	2.2	36.4	2.8
	大麻地区	253	45.5	24.9	1.6	22.9	5.1

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との２世帯	その他
全　体		228	29.8	36.4	3.5	25.4	4.8
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	－	50.0	25.0	25.0
	男性 65 ～74歳	14	28.6	35.7	7.1	28.6	－
	男性 75 歳以上	73	19.2	49.3	2.7	24.7	4.1
	女性 40 ～64歳	4	－	25.0	25.0	25.0	25.0
	女性 65 ～74歳	9	11.1	44.4	－	11.1	33.3
	女性 75 歳以上	110	39.1	30.0	0.9	27.3	2.7
地区	江別地区	68	17.6	39.7	4.4	32.4	5.9
	野幌地区	90	32.2	28.9	5.6	28.9	4.4
	大麻地区	69	39.1	42.0	－	14.5	4.3

２.暮らしの状況

（１）住まいの形態

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

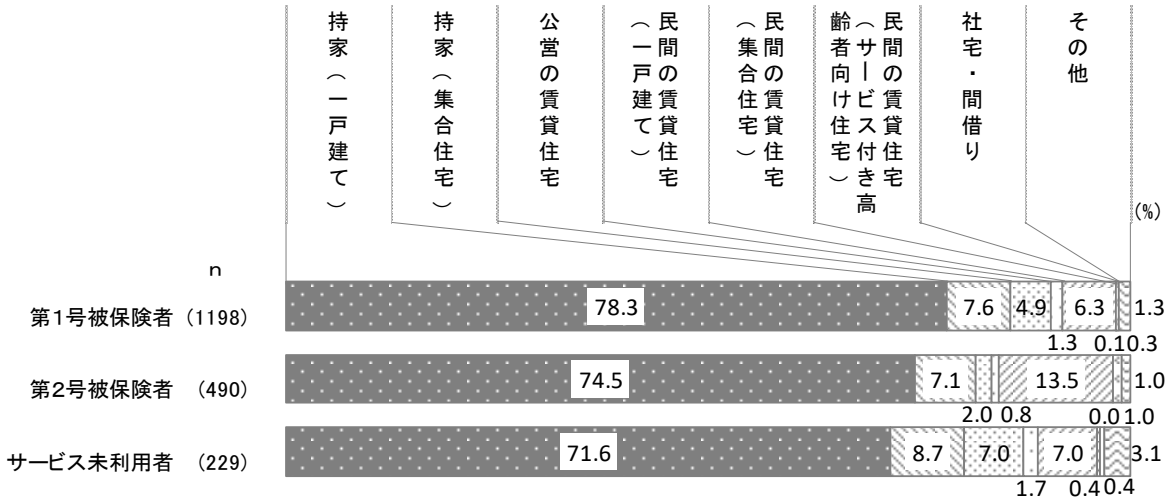
住まいの形態を聞いたところ、全ての調査において「持家（一戸建て）」が最も多く、第１号被保険者で 78.3%、第２号被保険者で 74.5%、居宅サービス利用者で 67.0%、サービス未利用者で 71.6%となっています。

＜図表 010＞　住まいの形態

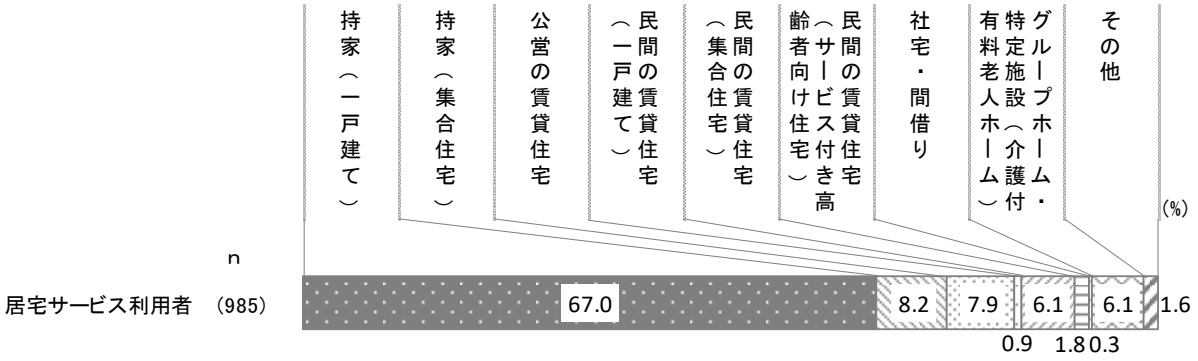
【第１号被保険者　第１問６】【第２号被保険者　第１問７】

【居宅サービス利用者　第１問７】【サービス未利用者　第１問７】

○第１号被保険者・第２号被保険者・サービス未利用者



○居宅サービス利用者



＜図表 011＞　住まいの形態（家族構成別/地区別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	その他
全　体		1198	78.3	7.6	4.9	1.3	6.3	0.1	0.3	1.3
家族構成	一人暮らし	223	60.5	8.5	9.9	0.9	17.9	0.4	−	1.8
	夫婦のみ	643	80.7	7.6	5.3	1.4	3.7	−	0.5	0.8
	同居その他	326	85.6	7.1	0.9	1.5	3.4	−	−	1.5
地区	江別地区	430	85.8	5.1	1.6	1.6	4.4	−	−	1.4
	野幌地区	447	78.1	9.8	1.1	1.3	8.1	−	0.2	1.3
	大麻地区	321	68.5	7.8	14.6	0.9	6.2	0.3	0.6	0.9

（単位：%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	その他
全　体		490	74.5	7.1	2.0	0.8	13.5	−	1.0	1.0
家族構成	一人暮らし	49	34.7	10.2	8.2	−	44.9	−	−	2.0
	夫婦のみ	137	73.7	15.3	−	−	10.2	−	0.7	−
	同居その他	296	81.8	3.0	2.0	1.4	9.1	−	1.4	1.4
地区	江別地区	183	80.9	3.3	1.1	0.5	12.0	−	1.1	1.1
	野幌地区	172	65.1	12.8	1.7	1.7	16.3	−	1.2	1.2
	大麻地区	133	78.2	5.3	3.8	−	11.3	−	0.8	0.8

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	グループホーム・特定施設（介護付有料老人ホーム）	その他
全　体		985	67.0	8.2	7.9	0.9	6.1	1.8	0.3	6.1	1.6
家族構成	一人暮らし	318	50.6	8.5	13.2	0.6	9.4	4.7	0.3	10.7	1.9
	夫婦のみ	276	71.7	10.5	8.7	0.7	6.2	0.7	−	0.7	0.7
	同居その他	377	77.7	6.6	2.9	1.3	2.9	0.3	0.5	5.8	1.9
地区	江別地区	355	73.8	4.8	4.8	1.1	5.9	2.3	0.3	5.6	1.4
	野幌地区	360	68.3	12.8	3.6	0.3	6.4	0.6	0.6	5.6	1.9
	大麻地区	260	55.8	6.9	18.1	1.5	5.4	3.1	−	7.7	1.5

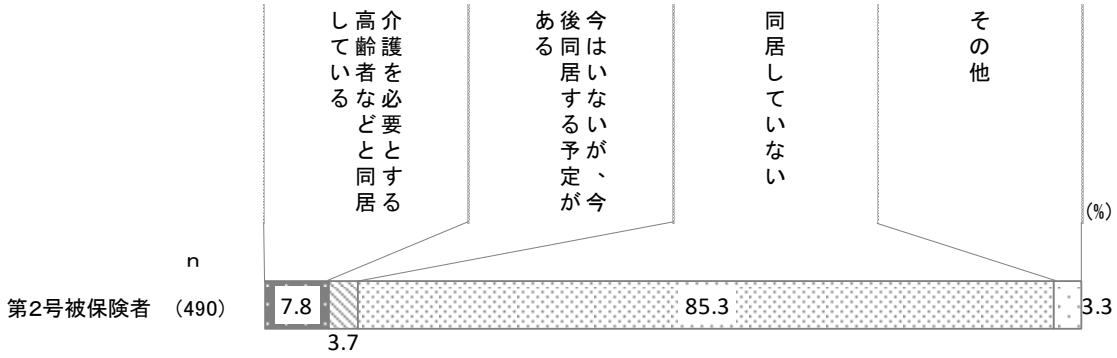
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	その他
全　体		229	71.6	8.7	7.0	1.7	7.0	0.4	0.4	3.1
家族構成	一人暮らし	67	62.7	13.4	9.0	1.5	11.9	1.5	−	−
	夫婦のみ	91	72.5	7.7	7.7	2.2	5.5	−	−	4.4
	同居その他	68	77.9	5.9	4.4	1.5	4.4	−	1.5	4.4
地区	江別地区	69	78.3	5.8	5.8	4.3	2.9	−	−	2.9
	野幌地区	91	70.3	12.1	−	1.1	12.1	−	1.1	3.3
	大麻地区	68	66.2	7.4	17.6	−	4.4	1.5	−	2.9

（２）介護を必要とする高齢者等との同居【第２号被保険者】

介護を必要とする高齢者等との同居の状況を聞いたところ、「同居していない」が 85.3%で最も多く、次いで「介護を必要とする高齢者などと同居している」（7.8%）、「今はいないが、今後同居する予定がある」（3.7%）となっています。

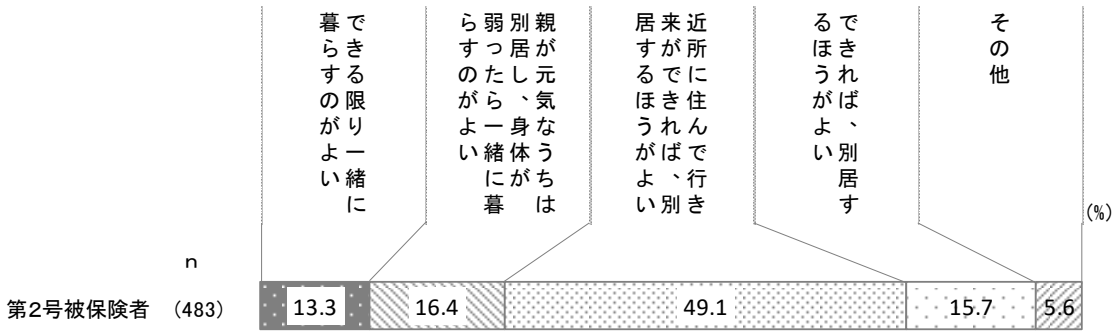
＜図表 012＞　介護を必要とする高齢者等との同居【第２号被保険者　第１問５】



（３）親子の同居に対する考え【第２号被保険者】

親子の同居に対する考えを聞いたところ、「近所に住んで行き来ができれば、別居するほうがよい」が 49.1%で最も多く、次いで「親が元気なうちは別居し、身体が弱ったら一緒に暮らすのがよい」（16.4%）、「できれば、別居するほうがよい」（15.7%）となっています。

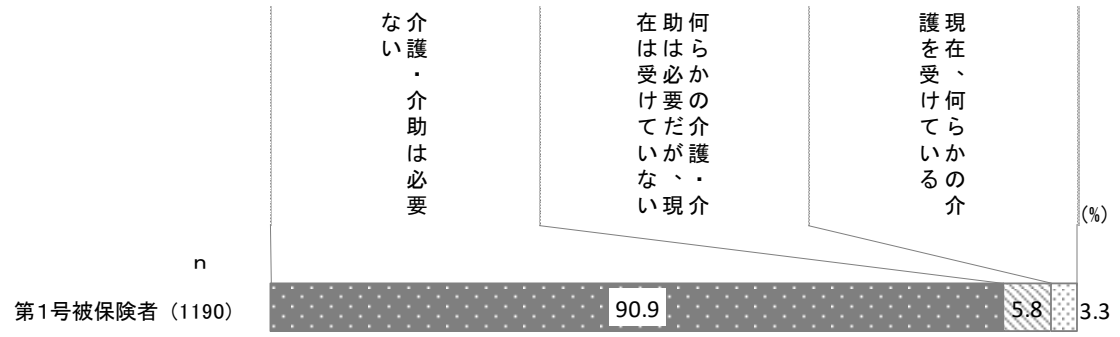
＜図表 013＞　親子の同居に対する考え【第２号被保険者　第１問６】



（４）介護・介助の状況【第１号被保険者】

介護・介助の状況を聞いたところ、「介護・介助は必要ない」が 90.9％で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（5.8％）となっています。

＜図表 014＞　介護・介助の状況【第１号被保険者　第１問７】



＜図表 015＞　介護・介助の状況（家族構成別/要介護度別）

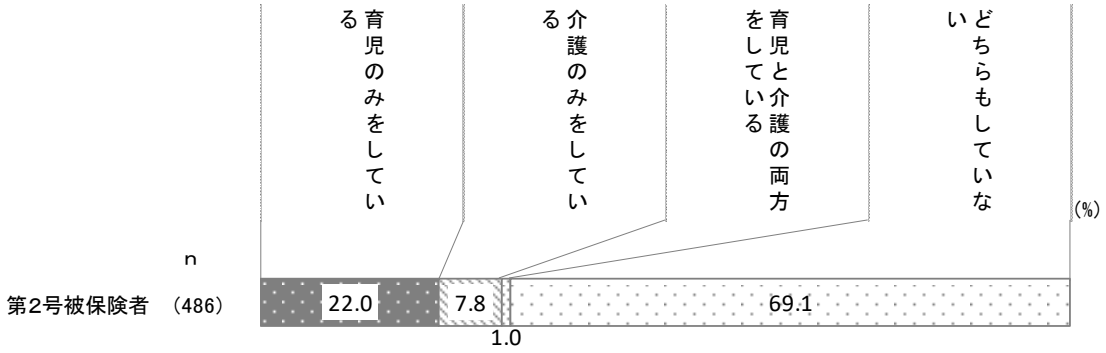
（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている
全　体		1190	90.9	5.8	3.3
家族構成	一人暮らし	217	84.8	9.7	5.5
	夫婦のみ	642	94.2	3.7	2.0
	同居その他	324	88.9	7.1	4.0
介護度	非認定	1132	93.6	4.9	1.4
	要支援1・2	58	37.9	22.4	39.7

（５）育児や介護の状況【第２号被保険者】

育児や介護の状況を聞いたところ、「育児のみをしている」が 22.0%、「介護のみをしている」が 7.8%、「育児と介護の両方をしている」が 1.0%となっており、介護をしている人は 8.8%、育児・介護の両方またはいずれかをしている人は 30.8%となっています。

＜図表 016＞　育児や介護の状況【第２号被保険者　第１問８】



＜図表 017＞　育児や介護の状況（性・年代別）

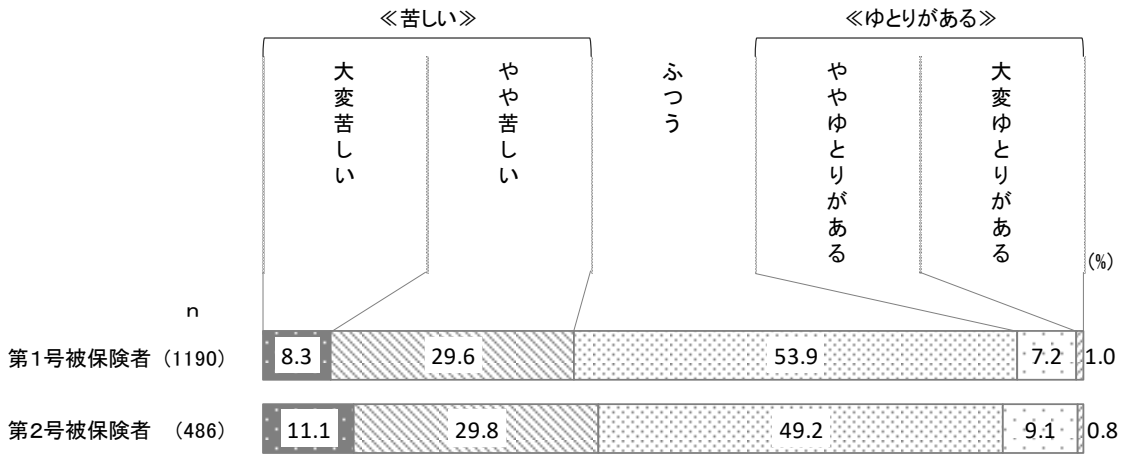
（単位:%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	育児のみをしている	介護のみをしている	育児と介護の両方をしている	どちらもしていない
全　体		486	22.0	7.8	1.0	69.1
性・年代	男性 40 代	55	47.3	－	－	52.7
	男性 50 代	66	21.2	7.6	－	71.2
	男性 60 歳以上	57	3.5	7.0	1.8	87.7
	女性 40 代	76	52.6	2.6	－	44.7
	女性 50 代	143	16.8	9.1	2.8	71.3
	女性 60 歳以上	78	－	17.9	－	82.1

（６）暮らしの状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】

暮らしの状況を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「ふつう」が最も多く、それぞれ 53.9%、49.2%となっています。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた≪苦しい≫は、第１号被保険者では 37.9%、第２号被保険者では 40.9%となっています。

＜図表 018＞　暮らしの状況【第１号被保険者　第１問８】【第２号被保険者　第１問９】



＜図表 019＞　暮らしの状況（性・年代別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	≪苦しい≫	≪ゆとりあり≫
全　体		1190	8.3	29.6	53.9	7.2	1.0	37.9	8.2
性・年代	男性 65 ～74歳	268	7.8	26.5	59.3	4.9	1.5	34.3	6.4
	男性 75 歳以上	250	8.8	31.6	51.2	6.8	1.6	40.4	8.4
	女性 65 ～74歳	338	6.8	31.1	52.7	8.9	0.6	37.9	9.5
	女性 75 歳以上	320	10.3	29.1	52.5	7.5	0.6	39.4	8.1

（単位:%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	≪苦しい≫	≪ゆとりあり≫
全　体		486	11.1	29.8	49.2	9.1	0.8	40.9	9.9
性・年代	男性 40 代	54	25.9	25.9	35.2	13.0	－	51.8	13.0
	男性 50 代	65	9.2	29.2	52.3	9.2	－	38.4	9.2
	男性 60 歳以上	58	8.6	29.3	48.3	10.3	3.4	37.9	13.7
	女性 40 代	76	7.9	32.9	51.3	7.9	－	40.8	7.9
	女性 50 代	144	10.4	31.9	49.3	7.6	0.7	42.3	8.3
	女性 60 歳以上	78	7.7	25.6	55.1	10.3	1.3	33.3	11.6

（７）今後の生活意向

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

今後の生活意向を聞いたところ、全ての調査において「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が最も多く、第１号被保険者で90.5%、第２号被保険者で86.8%、居宅サービス利用者で82.3%、サービス未利用者で86.2%となっています。

＜図表 020＞　今後の生活意向

【第１号被保険者　第１問９】【第２号被保険者　第１問 10】

【居宅サービス利用者　第１問８】【サービス未利用者　第１問８】



＜図表 021＞　今後の生活意向（家族構成別/要介護度別/住まいの形態別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		1191	90.5	2.4	1.9	1.1	4.1
家族構成	一人暮らし	217	84.3	4.6	4.6	0.9	5.5
	夫婦のみ	642	92.7	1.6	1.1	1.4	3.3
	同居その他	325	90.8	2.5	1.8	0.6	4.3
介護度	非認定	1131	91.1	2.1	1.6	1.1	4.1
	要支援1・2	60	80.0	6.7	8.3	－	5.0
住まいの形態別	持家（一戸建て）	932	92.3	1.6	2.1	1.1	2.9
	持家（集合住宅）	90	95.6	1.1	1.1	－	2.2
	公営の賃貸住宅	58	91.4	5.2	－	－	3.4
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	16	68.8	18.8	－	－	12.5
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	74	75.7	6.8	2.7	2.7	12.2
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	1	－	－	－	－	100.0
	社宅・間借り	3	33.3	－	－	－	66.7
	その他	15	60.0	6.7	－	6.7	26.7

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		486	86.8	0.6	3.1	1.0	8.4
家族構成	一人暮らし	48	77.1	－	6.3	4.2	12.5
	夫婦のみ	137	89.8	0.7	2.9	－	6.6
	同居その他	293	87.0	0.7	2.7	1.0	8.5
住まいの形態別	持家（一戸建て）	364	88.2	0.3	3.0	0.8	7.7
	持家（集合住宅）	35	88.6	－	2.9	－	8.6
	公営の賃貸住宅	10	80.0	－	－	－	20.0
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	4	75.0	－	－	－	25.0
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	64	81.3	3.1	4.7	1.6	9.4
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	－	－	－	－	－	－
	社宅・間借り	5	100.0	－	－	－	－
	その他	4	50.0	－	－	25.0	25.0

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		968	82.3	5.2	5.3	2.1	5.2
家族構成	一人暮らし	313	74.4	7.7	10.2	2.6	5.1
	夫婦のみ	267	89.5	4.1	2.2	1.5	2.6
	同居その他	373	84.5	3.5	3.5	1.9	6.7
介護度	要支援1・2	453	86.3	3.8	5.3	1.5	3.1
	要介護1・2	349	80.8	5.4	6.6	2.9	4.3
	要介護3～5	116	68.1	9.5	3.4	2.6	16.4
住まいの形態別	持家（一戸建て）	649	91.5	3.4	1.7	1.1	2.3
	持家（集合住宅）	80	86.3	7.5	2.5	1.3	2.5
	公営の賃貸住宅	75	81.3	5.3	4.0	1.3	8.0
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	9	88.9	11.1	－	－	－
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	59	76.3	1.7	8.5	5.1	8.5
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	18	5.6	33.3	50.0	5.6	5.6
	社宅・間借り	2	100.0	－	－	－	－
	グループホーム・特定施設（介護付有料老人ホーム）	58	12.1	15.5	31.0	12.1	29.3
	その他	15	53.3	6.7	20.0	－	20.0

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		224	86.2	5.4	3.1	3.1	2.2
家族構成	一人暮らし	65	86.2	3.1	6.2	3.1	1.5
	夫婦のみ	88	87.5	8.0	1.1	2.3	1.1
	同居その他	68	85.3	4.4	2.9	4.4	2.9
介護度	要支援1・2	134	85.8	6.7	3.0	2.2	2.2
	要介護1・2	36	91.7	2.8	2.8	2.8	－
	要介護3～5	18	72.2	11.1	5.6	11.1	－
住まいの形態別	持家（一戸建て）	159	88.7	5.7	1.3	2.5	1.9
	持家（集合住宅）	20	85.0	5.0	5.0	5.0	－
	公営の賃貸住宅	15	80.0	6.7	6.7	6.7	－
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	4	75.0	－	－	－	25.0
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	16	87.5	－	12.5	－	－
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	－	－	－	－	－	－
	社宅・間借り	1	100.0	－	－	－	－
	その他	7	57.1	14.3	－	14.3	14.3

（８）自身の介護が必要となった場合の生活意向

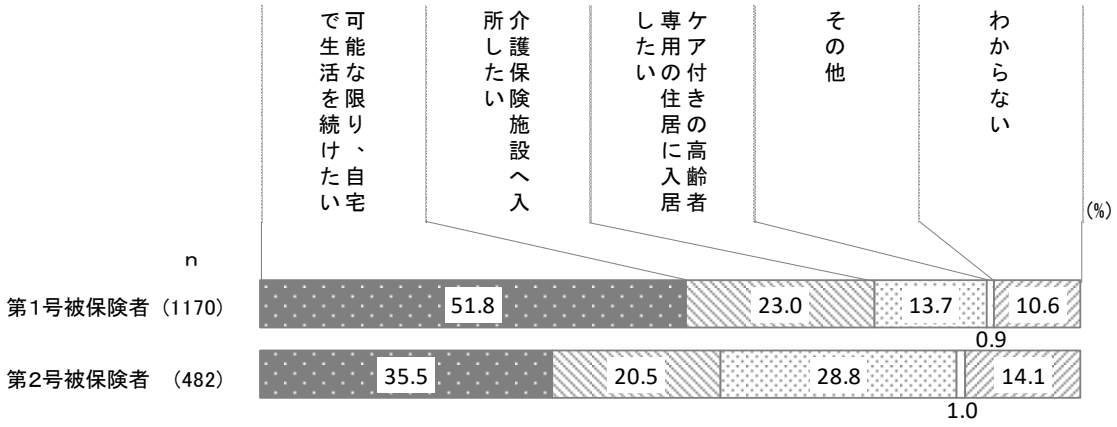
【第１号被保険者】【第２号被保険者】

自身の介護が必要となった場合の生活意向を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が最も多く、それぞれ 51.8%、35.5%となっています。

なお、第２号被保険者では「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が第１号被保険者よりも割合が少なくなり、「ケア付きの高齢者専用の住居に入居したい」が 28.8%、「介護保険施設へ入所したい」が 20.5%となっています。

＜図表 022＞　自身の介護が必要となった場合の生活意向

【第１号被保険者　第１問 10】【第２号被保険者　第１問 11】

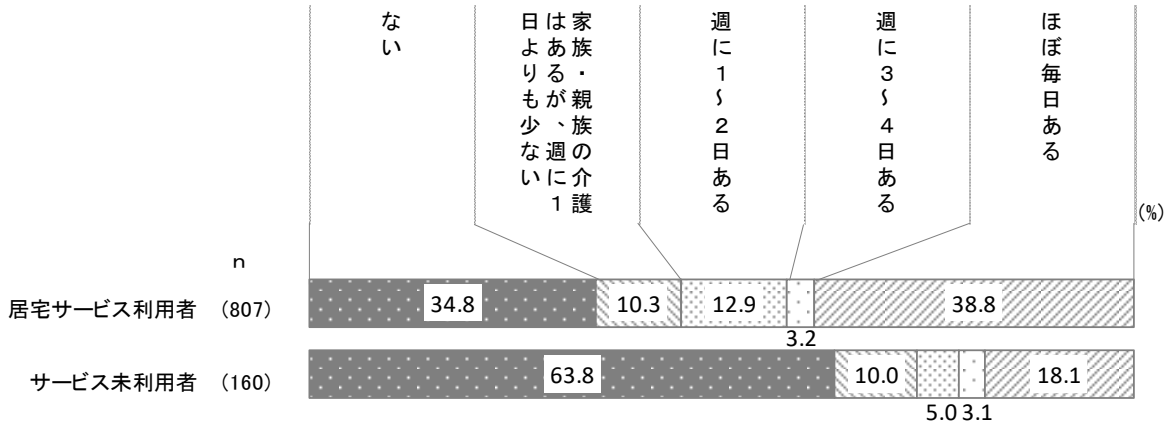


３.介護者の状況

（１）週の介護頻度【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

週の介護頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日ある」は、居宅サービス利用者では 38.8%、サービス未利用者では 18.1%となっています。また、サービス未利用者では「ない」が 63.8%となっています。

＜図表 023＞　週の介護頻度【居宅サービス利用者　第９問１】【サービス未利用者　第８問１】



＜図表 024＞　週の介護頻度（性・年代別/家族構成別/要介護度別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	ない	家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	週に１～２日ある	週に３～４日ある	ほぼ毎日ある
全　体		807	34.8	10.3	12.9	3.2	38.8
性・年代	男性 40 ～64歳	7	42.9	－	－	－	57.1
	男性 65 ～74歳	41	24.4	12.2	7.3	－	56.1
	男性 75 歳以上	211	32.7	11.8	9.0	2.8	43.6
	女性 40 ～64歳	11	18.2	9.1	9.1	9.1	54.5
	女性 65 ～74歳	56	48.2	5.4	7.1	1.8	37.5
	女性 75 歳以上	447	36.0	9.8	16.1	3.6	34.5
家族構成	一人暮らし	237	45.6	16.5	22.8	4.6	10.5
	夫婦のみ	231	35.5	6.9	11.3	2.2	44.2
	同居その他	322	27.3	7.1	6.8	2.8	55.9
介護度	要支援1・2	342	50.0	9.6	14.9	3.2	22.2
	要介護1・2	316	25.3	9.5	12.7	4.4	48.1
	要介護3～5	108	14.8	11.1	7.4	0.9	65.7

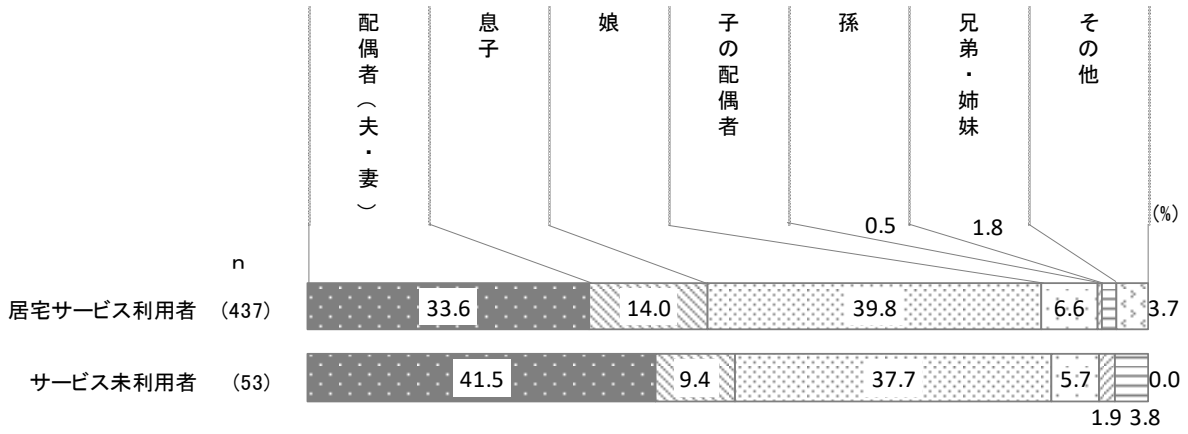
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	ない	家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	週に１～２日ある	週に３～４日ある	ほぼ毎日ある
全　体		160	63.8	10.0	5.0	3.1	18.1
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	－	－	－	50.0
	男性 65 ～74歳	12	66.7	8.3	8.3	－	16.7
	男性 75 歳以上	58	63.8	8.6	5.2	5.2	17.2
	女性 40 ～64歳	4	50.0	－	－	－	50.0
	女性 65 ～74歳	6	100.0	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	70	62.9	14.3	5.7	2.9	14.3
家族構成	一人暮らし	43	74.4	9.3	9.3	4.7	2.3
	夫婦のみ	66	60.6	10.6	3.0	3.0	22.7
	同居その他	49	57.1	10.2	4.1	2.0	26.5
介護度	要支援1・2	100	72.0	12.0	4.0	2.0	10.0
	要介護1・2	30	30.0	10.0	6.7	10.0	43.3
	要介護3～5	12	66.7	8.3	－	－	25.0

（２）介護者の続柄【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の続柄を聞いたところ、居宅サービス利用者は「娘」が 39.8%で最も多く、サービス未利用者は「配偶者（夫・妻)」が 41.5%で最も多くなっています。

＜図表 025＞　介護者の続柄【居宅サービス利用者　第９問２】【サービス未利用者　第８問２】



＜図表 026＞　介護者の続柄（性・年代別/家族構成別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他
全　体		437	33.6	14.0	39.8	6.6	0.5	1.8	3.7
性・年代	男性 40 ～64歳	4	25.0	－	－	－	－	50.0	25.0
	男性 65 ～74歳	25	88.0	－	－	－	－	8.0	4.0
	男性 75 歳以上	120	58.3	12.5	24.2	2.5	0.8	－	1.7
	女性 40 ～64歳	7	28.6	－	28.6	－	－	－	42.9
	女性 65 ～74歳	27	63.0	7.4	22.2	－	－	3.7	3.7
	女性 75 歳以上	234	12.0	17.5	55.6	10.3	0.4	1.3	3.0
家族構成	一人暮らし	101	－	16.8	63.4	6.9	1.0	5.0	6.9
	夫婦のみ	131	86.3	2.3	9.9	0.8	－	－	0.8
	同居その他	195	14.9	20.5	48.2	10.8	0.5	1.5	3.6
介護度	要支援1・2	139	26.6	15.8	43.9	7.9	－	1.4	4.3
	要介護1・2	202	35.1	12.4	39.1	7.4	1.0	2.0	3.0
	要介護3～5	74	41.9	12.2	37.8	2.7	－	1.4	4.1

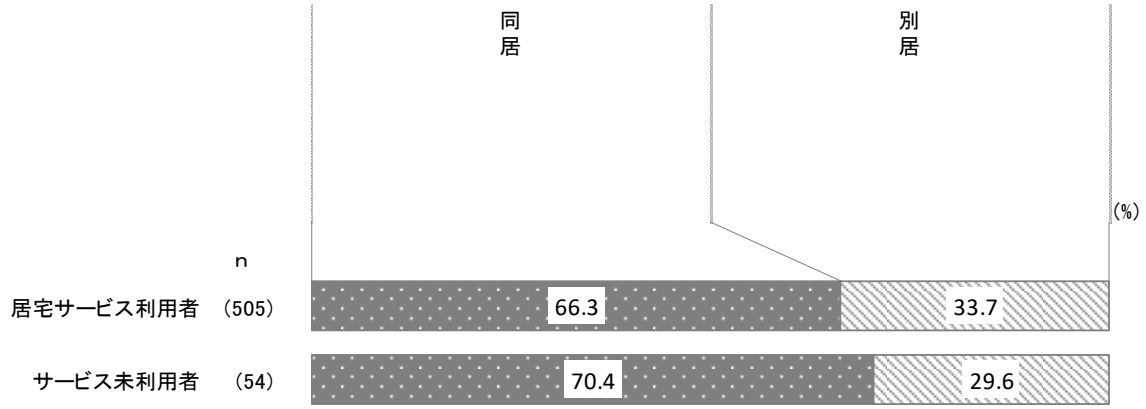
（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他
全　体		53	41.5	9.4	37.7	5.7	1.9	3.8	－
性・年代	男性 40 ～64歳	2	100.0	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	3	66.7	33.3	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	20	40.0	10.0	30.0	10.0	－	10.0	－
	女性 40 ～64歳	2	100.0	－	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	23	26.1	8.7	56.5	4.3	4.3	－	－
家族構成	一人暮らし	11	－	27.3	45.5	－	9.1	18.2	－
	夫婦のみ	23	82.6	－	17.4	－	－	－	－
	同居その他	19	15.8	10.5	57.9	15.8	－	－	－
介護度	要支援1・2	26	30.8	3.8	50.0	7.7	3.8	3.8	－
	要介護1・2	18	61.1	5.6	27.8	5.6	－	－	－
	要介護3～5	4	25.0	50.0	25.0	－	－	－	－

（３）介護者との同居・別居【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者との同居・別居を聞いたところ、「同居」は、居宅サービス利用者では 66.3%、サービス未利用者では 70.4%となっています。

＜図表 027＞　介護者との同居・別居【居宅サービス利用者　第９問３】【サービス未利用者　第８問３】



＜図表 028＞　介護者との同居・別居（性・年代別/家族構成別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	同居	別居
全　体		505	66.3	33.7
性・年代	男性 40 ～64歳	4	100.0	－
	男性 65 ～74歳	29	86.2	13.8
	男性 75 歳以上	135	74.1	25.9
	女性 40 ～64歳	9	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	28	85.7	14.3
	女性 75 歳以上	277	58.1	41.9
家族構成	一人暮らし	127	1.6	98.4
	夫婦のみ	143	83.2	16.8
	同居その他	223	92.4	7.6
介護度	要支援1・2	164	56.1	43.9
	要介護1・2	228	70.6	29.4
	要介護3～5	88	75.0	25.0

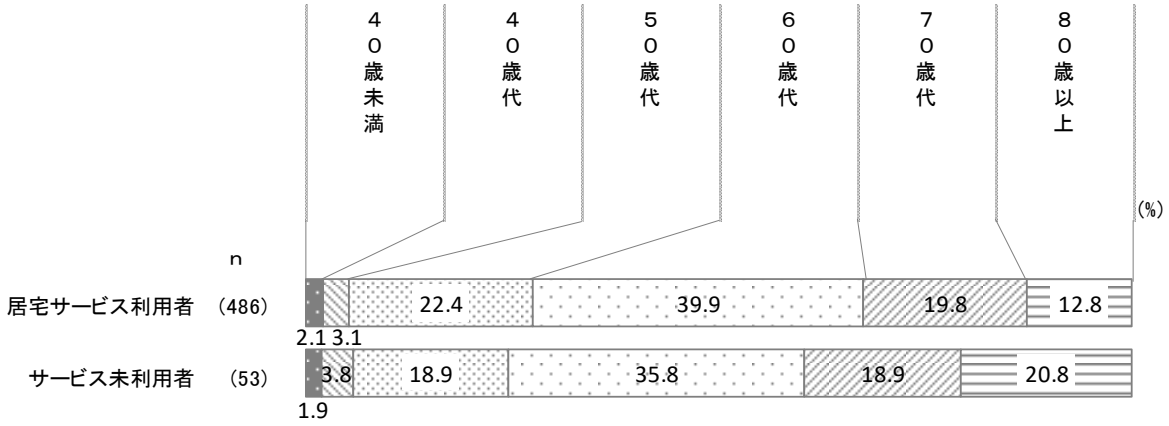
（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	同居	別居
全　体		54	70.4	29.6
性・年代	男性 40 ～64歳	2	100.0	－
	男性 65 ～74歳	3	100.0	－
	男性 75 歳以上	20	70.0	30.0
	女性 40 ～64歳	2	100.0	－
	女性 65 ～74歳	－	－	－
	女性 75 歳以上	24	58.3	41.7
家族構成	一人暮らし	11	－	100.0
	夫婦のみ	23	82.6	17.4
	同居その他	20	95.0	5.0
介護度	要支援1・2	26	61.5	38.5
	要介護1・2	19	84.2	15.8
	要介護3～5	4	75.0	25.0

（４）介護者の年齢【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の年齢を聞いたところ、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「60 歳代」が最も多く、それぞれ 39.9%、35.8%となっています。また、「60 歳代」「70 歳代」「80 歳以上」を合わせるとそれぞれ 72.5%、75.5%となっています。

＜図表 029＞　介護者の年齢【居宅サービス利用者　第９問４】【サービス未利用者　第８問４】



＜図表 030＞　介護者の年齢（性・年代別/要介護度別）

（単位:%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全　体		486	2.1	3.1	22.4	39.9	19.8	12.8
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	25.0	25.0	25.0	－	25.0
	男性 65 ～74歳	29	－	3.4	6.9	58.6	31.0	－
	男性 75 歳以上	136	2.9	2.9	19.9	23.5	21.3	29.4
	女性 40 ～64歳	8	－	－	50.0	25.0	12.5	12.5
	女性 65 ～74歳	26	15.4	15.4	－	19.2	50.0	－
	女性 75 歳以上	261	0.4	1.5	26.4	50.2	14.6	6.9
介護度	要支援1・2	157	1.9	1.9	30.6	42.7	12.1	10.8
	要介護1・2	221	2.3	2.3	20.8	40.3	18.6	15.8
	要介護3～5	85	1.2	4.7	11.8	40.0	37.6	4.7

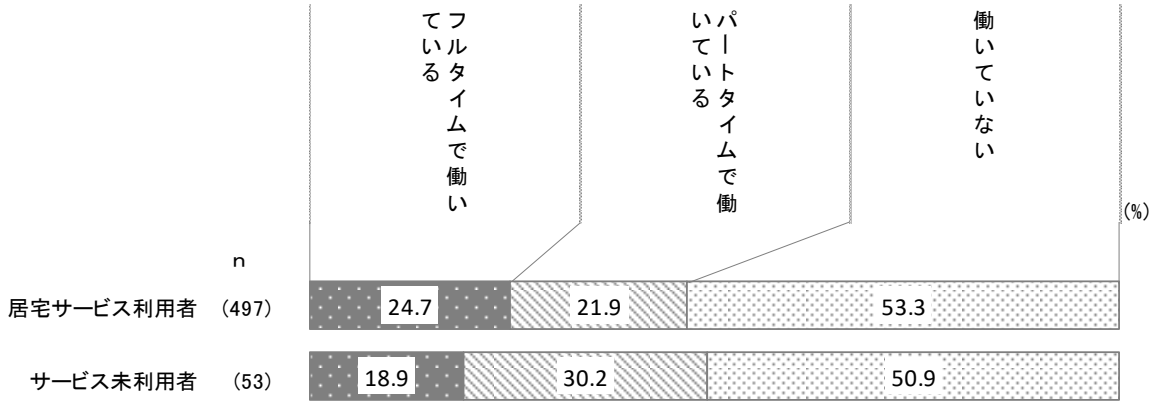
（単位:%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全　体		53	1.9	3.8	18.9	35.8	18.9	20.8
性・年代	男性 40 ～64歳	2	－	－	50.0	50.0	－	－
	男性 65 ～74歳	2	－	－	－	50.0	50.0	－
	男性 75 歳以上	21	－	4.8	19.0	23.8	33.3	19.0
	女性 40 ～64歳	2	－	－	－	100.0	－	－
	女性 65 ～74歳	－	－	－	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	23	4.3	4.3	21.7	39.1	4.3	26.1
介護度	要支援1・2	27	3.7	3.7	18.5	40.7	14.8	18.5
	要介護1・2	18	－	5.6	22.2	22.2	27.8	22.2
	要介護3～5	3	－	－	33.3	66.7	－	－

（５）介護者の就労状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の就労状況を聞いたところ、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせると、居宅サービス利用者では 46.6%、サービス未利用者では 49.1%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者の「フルタイムで働いている」は要介護度が上がるほど低くなっています。

＜図表 031＞　介護者の就労状況【居宅サービス利用者　第９問５】【サービス未利用者　第８問５】



＜図表 032＞　介護者の就労状況（要介護度別/介護者との同居・別居別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
全 体		497	24.7	21.9	53.3
介護度	要支援1・2	160	33.1	22.5	44.4
	要介護1・2	222	22.5	24.3	53.2
	要介護3～5	90	15.6	17.8	66.7
同居・別居	同居	325	18.8	18.8	62.5
	別居	156	35.3	28.2	36.5

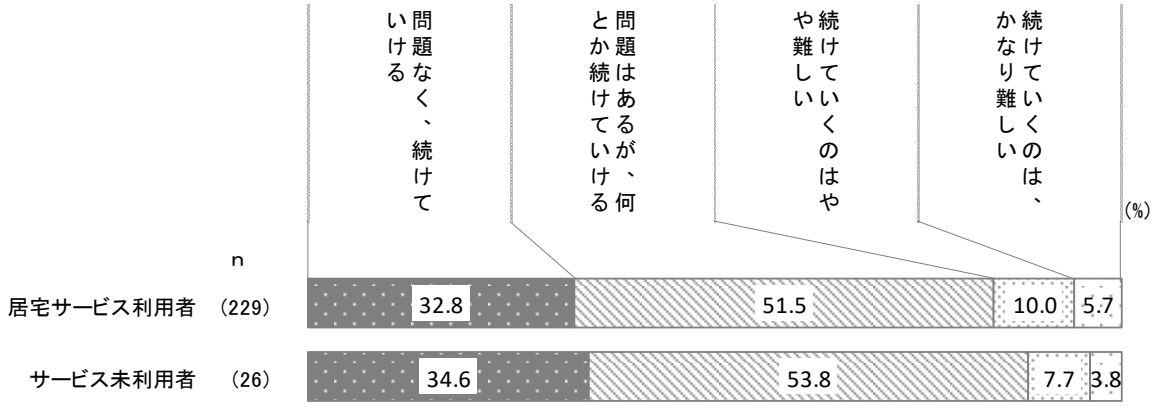
（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
全 体		53	18.9	30.2	50.9
介護度	要支援1・2	27	25.9	29.6	44.4
	要介護1・2	18	11.1	38.9	50.0
	要介護3～5	4	25.0	25.0	50.0
同居・別居	同居	36	13.9	22.2	63.9
	別居	15	33.3	46.7	20.0

（６）今後働きながらの介護継続の可能性【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の就労状況で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで続けていける」と回答した人に、今後働きながらの介護継続の可能性を聞いたところ、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせると、居宅サービス利用者では 84.3%、サービス未利用者では 88.4%となっています。

＜図表 033＞　今後働きながらの介護継続の可能性
【居宅サービス利用者　第９問５－１】【サービス未利用者　第８問５－１】



＜図表 034＞　今後働きながらの介護継続の可能性

【居宅サービス利用者　第９問５－１】【サービス未利用者　第８問５－１】

（要介護度別/介護者の就労状況別）

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのはやや難しい	続けていくのは、かなり難しい
全　体		229	32.8	51.5	10.0	5.7
介護度	要支援1・2	89	37.1	47.2	13.5	2.2
	要介護1・2	103	31.1	54.4	8.7	5.8
	要介護3～5	30	26.7	50.0	6.7	16.7
介護者の就労	フルタイムで働いている	120	36.7	45.8	10.0	7.5
	パートタイムで働いている	109	28.4	57.8	10.1	3.7

（単位：%）

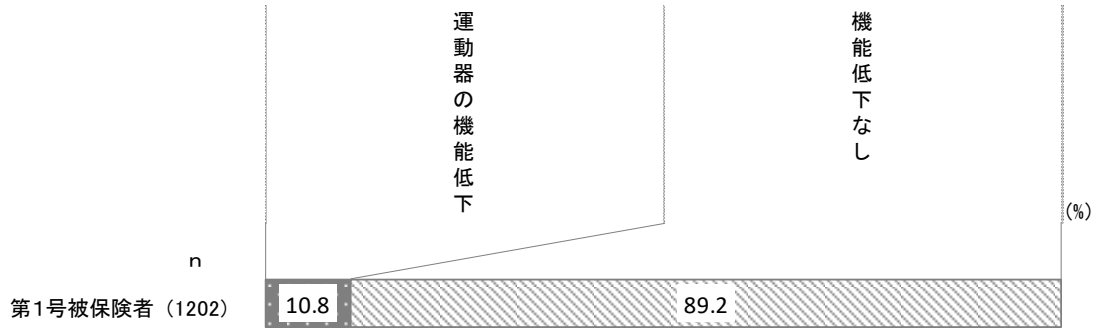
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのはやや難しい	続けていくのは、かなり難しい
全　体		26	34.6	53.8	7.7	3.8
介護度	要支援1・2	15	40.0	53.3	－	6.7
	要介護1・2	9	33.3	55.6	11.1	－
	要介護3～5	2	－	50.0	50.0	－
介護者の就労	フルタイムで働いている	10	30.0	50.0	10.0	10.0
	パートタイムで働いている	16	37.5	56.3	6.3	－

４.各種リスクの状況

（１）運動器の機能低下【第１号被保険者】

からだを動かすことに関する設問の回答から、運動器の機能が低下している高齢者の割合を算出したところ、「運動器の機能低下」している割合は 10.8%となっています。性・年代別でみると、「運動器の機能低下」している割合は女性・75 歳以上で 19.6%と最も高くなっています。

＜図表 035＞　運動器の機能低下【第１号被保険者】



＜図表 036＞　運動器の機能低下（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	運動器の機能低下	機能低下なし
全　体		1202	10.8	89.2
性・年代	男性 65 ～74歳	271	3.7	96.3
	男性 75 歳以上	250	10.8	89.2
	女性 65 ～74歳	342	7.3	92.7
	女性 75 歳以上	322	19.6	80.4
地区	江別地区	432	11.3	88.7
	野幌地区	448	9.8	90.2
	大麻地区	322	11.5	88.5
介護度	非認定	1141	8.5	91.5
	要支援1・2	61	54.1	45.9

からだを動かすことに関連した設問を以下に示します。

＜図表 037＞　階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるか

【第１号被保険者　第２問１】（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		1187	66.1	20.9	13.0
性・年代	男性 65 ～74歳	270	80.4	15.6	4.1
	男性 75 歳以上	247	66.8	20.6	12.6
	女性 65 ～74歳	340	69.7	20.9	9.4
	女性 75 歳以上	315	50.8	25.4	23.8
地区	江別地区	428	65.2	20.8	14.0
	野幌地区	443	68.2	20.3	11.5
	大麻地区	316	64.6	21.8	13.6
介護度	非認定	1128	68.1	21.5	10.5
	要支援1・2	59	28.8	10.2	61.0

＜図表 038＞　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

【第１号被保険者　第２問２】（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		1189	85.7	9.2	5.1
性・年代	男性 65 ～74歳	270	90.7	7.0	2.2
	男性 75 歳以上	247	85.8	10.1	4.0
	女性 65 ～74歳	341	89.7	7.3	2.9
	女性 75 歳以上	316	78.2	12.0	9.8
地区	江別地区	429	86.0	9.3	4.7
	野幌地区	442	85.7	8.6	5.7
	大麻地区	318	85.2	9.7	5.0
介護度	非認定	1130	87.2	8.9	3.9
	要支援1・2	59	57.6	13.6	28.8

＜図表 039＞　15 分位続けて歩けるか

【第１号被保険者　第２問３】（性・年代別/地区別/要介護度別）

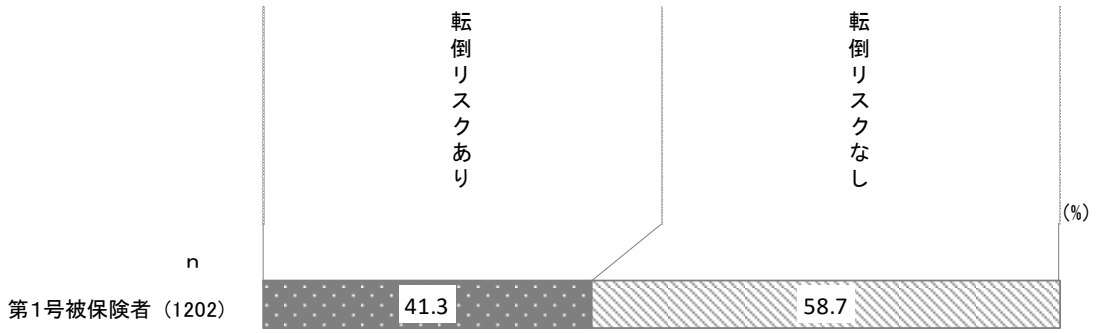
（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		1190	77.2	18.2	4.5
性・年代	男性 65 ～74歳	271	77.1	20.7	2.2
	男性 75 歳以上	247	74.5	21.9	3.6
	女性 65 ～74歳	341	81.5	15.2	3.2
	女性 75 歳以上	316	75.6	16.5	7.9
地区	江別地区	431	75.6	19.3	5.1
	野幌地区	443	77.4	18.1	4.5
	大麻地区	316	79.1	17.1	3.8
介護度	非認定	1131	78.5	17.9	3.5
	要支援1・2	59	52.5	23.7	23.7

（２）転倒リスク【第１号被保険者】

転倒リスクに関する設問の回答から、転倒リスクのある高齢者の割合を算出したところ、「転倒リスクあり」の割合は 41.3%となっています。性・年代別でみると、「転倒リスクあり」の割合は男性・75 歳以上で 46.4%と最も高くなっています。

＜図表 040＞　転倒リスク【第１号被保険者】



＜図表 041＞　転倒リスク（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	転倒リスクあり	転倒リスクなし
全　体		1202	41.3	58.7
性・年代	男性 65 ～74歳	271	34.3	65.7
	男性 75 歳以上	250	46.4	53.6
	女性 65 ～74歳	342	40.1	59.9
	女性 75 歳以上	322	43.8	56.2
地区	江別地区	432	41.7	58.3
	野幌地区	448	39.1	60.9
	大麻地区	322	44.1	55.9
介護度	非認定	1141	40.2	59.8
	要支援1・2	61	62.3	37.7

転倒リスクに関連した設問を以下に示します。

＜図表 042＞　過去１年間に転んだ経験があるか

【第１号被保険者　第２問４】（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	何度もある	1度ある	ない
全　体		1195	9.9	31.7	58.4
性・年代	男性 65 ～74歳	270	9.3	25.2	65.6
	男性 75 歳以上	249	10.4	36.1	53.4
	女性 65 ～74歳	341	8.8	31.4	59.8
	女性 75 歳以上	321	10.6	33.3	56.1
地区	江別地区	429	12.6	29.4	58.0
	野幌地区	446	7.0	32.3	60.8
	大麻地区	320	10.3	34.1	55.6
介護度	非認定	1135	9.3	31.2	59.6
	要支援1・2	60	21.7	41.7	36.7

＜図表 043＞　転倒に対する不安は大きいか

【第１号被保険者　第２問５】（性・年代別/地区別/要介護度別）

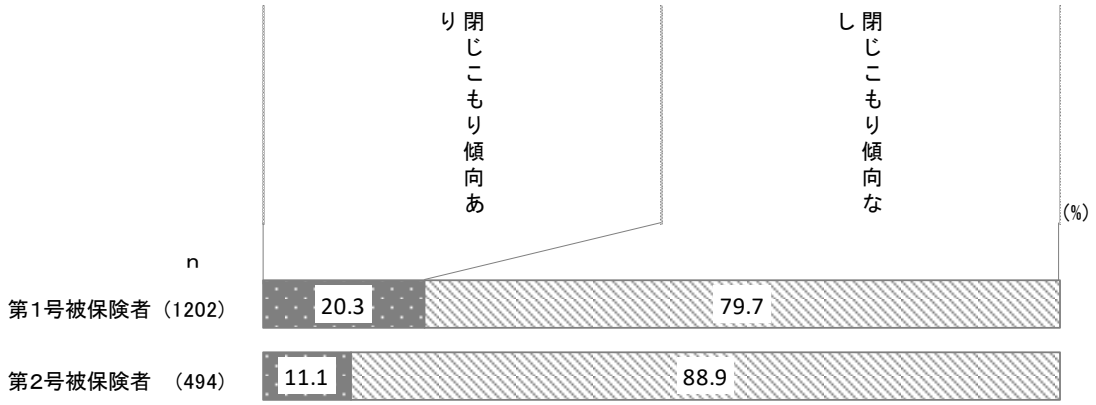
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない
全　体		1195	17.6	40.8	28.0	13.6
性・年代	男性 65 ～74歳	271	7.0	30.3	39.1	23.6
	男性 75 歳以上	247	15.0	35.2	30.8	19.0
	女性 65 ～74歳	341	16.4	45.7	28.4	9.4
	女性 75 歳以上	321	29.0	48.9	16.2	5.9
地区	江別地区	431	18.1	42.0	26.2	13.7
	野幌地区	444	16.4	38.7	31.3	13.5
	大麻地区	320	18.4	41.9	25.9	13.8
介護度	非認定	1136	16.3	40.7	28.9	14.2
	要支援1・2	59	42.4	42.4	11.9	3.4

（３）閉じこもり傾向【第１号被保険者】【第２号被保険者】

閉じこもりに関する設問の回答から、閉じこもり傾向のある割合を算出したところ、「閉じこもり傾向あり」の割合は第１号被保険者では 20.3%、第２号被保険者では 11.1%となっています。性・年代別でみると、「閉じこもり傾向あり」の割合は第１号被保険者では女性・75 歳以上で 33.2%、第２号被保険者では女性・60 歳以上で 16.3%と最も高くなっています。

＜図表 044＞　閉じこもり傾向【第１号被保険者】【第２号被保険者】



＜図表 045＞　閉じこもり傾向（性・年代別/地区別/要介護度別/孤食の状況別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	閉じこもり傾向あり	閉じこもり傾向なし
全　体		1202	20.3	79.7
性・年代	男性 65 ～74歳	271	11.1	88.9
	男性 75 歳以上	250	22.0	78.0
	女性 65 ～74歳	342	13.2	86.8
	女性 75 歳以上	322	33.2	66.8
地区	江別地区	432	21.3	78.7
	野幌地区	448	19.6	80.4
	大麻地区	322	19.9	80.1
介護度	非認定	1141	18.6	81.4
	要支援1・2	61	52.5	47.5
誰かと食事をする機会	毎日ある	726	16.3	83.7
	週に何度かある	75	26.7	73.3
	月に何度かある	155	21.3	78.7
	年に何度かある	136	21.3	78.7
	ほとんどない	92	34.8	65.2

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	閉じこもり傾向あり	閉じこもり傾向なし
全　体		494	11.1	88.9
性・年代	男性 40 代	55	7.3	92.7
	男性 50 代	66	15.2	84.8
	男性 60 歳以上	59	11.9	88.1
	女性 40 代	76	9.2	90.8
	女性 50 代	146	8.9	91.1
	女性 60 歳以上	80	16.3	83.8
地区	江別地区	186	11.3	88.7
	野幌地区	172	12.2	87.8
	大麻地区	133	9.8	90.2
誰かと食事をする機会	毎日ある	355	10.4	89.6
	週に何度かある	68	14.7	85.3
	月に何度かある	30	6.7	93.3
	年に何度かある	22	18.2	81.8
	ほとんどない	15	13.3	86.7

閉じこもり傾向に関連した設問を以下に示します。

＜図表 046＞　週１回以上の外出

【第１号被保険者　第２問６】【第２号被保険者　第２問１】

（性・年代別/地区別/要介護度別/孤食の状況別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上
全　体		1195	4.7	15.7	50.4	29.2
性・年代	男性 65 ～74歳	271	2.2	8.9	35.8	53.1
	男性 75 歳以上	247	6.5	15.8	51.4	26.3
	女性 65 ～74歳	342	2.6	10.5	59.4	27.5
	女性 75 歳以上	320	6.9	26.6	53.1	13.4
地区	江別地区	432	4.4	16.9	48.6	30.1
	野幌地区	444	4.3	15.5	48.9	31.3
	大麻地区	319	5.6	14.4	54.9	25.1
介護度	非認定	1136	4.1	14.5	51.1	30.3
	要支援1・2	59	15.3	39.0	37.3	8.5
誰かと食事をする機会	毎日ある	721	4.2	12.2	51.6	32.0
	週に何度かある	75	4.0	22.7	44.0	29.3
	月に何度かある	155	1.9	19.4	54.2	24.5
	年に何度かある	136	4.4	16.9	54.4	24.3
	ほとんどない	91	14.3	20.9	40.7	24.2

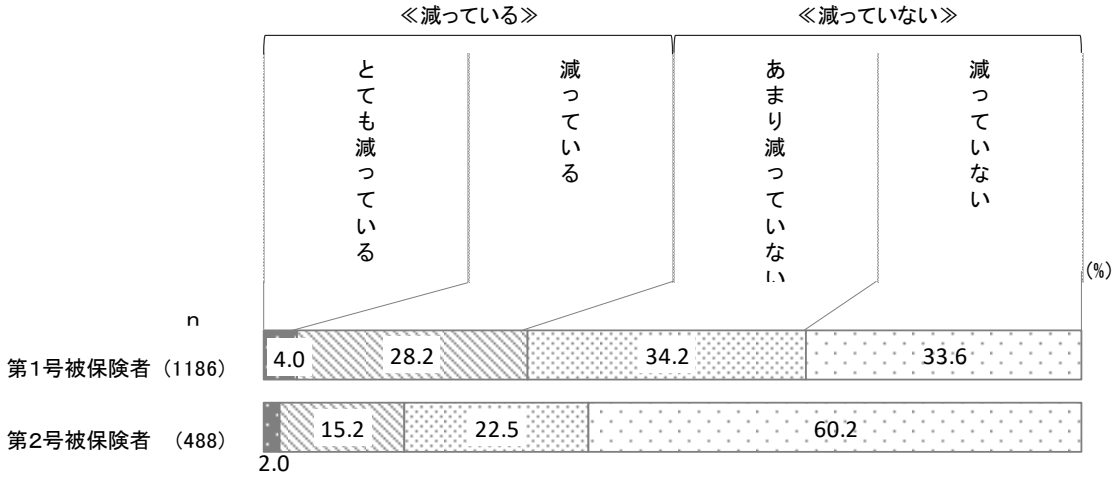
（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上
全　体		488	3.1	8.2	28.1	60.7
性・年代	男性 40 代	55	1.8	5.5	21.8	70.9
	男性 50 代	66	4.5	10.6	13.6	71.2
	男性 60 歳以上	58	5.2	6.9	24.1	63.8
	女性 40 代	76	2.6	6.6	30.3	60.5
	女性 50 代	144	1.4	7.6	33.3	57.6
	女性 60 歳以上	78	5.1	11.5	37.2	46.2
地区	江別地区	182	2.7	8.8	30.8	57.7
	野幌地区	171	4.7	7.6	25.7	62.0
	大麻地区	133	1.5	8.3	27.1	63.2
誰かと食事をする機会	毎日ある	353	2.8	7.6	27.8	61.8
	週に何度かある	68	2.9	11.8	26.5	58.8
	月に何度かある	30	3.3	3.3	30.0	63.3
	年に何度かある	22	－	18.2	31.8	50.0
	ほとんどない	15	13.3	－	33.3	53.3

（４）昨年と比べた外出回数の増減【第１号被保険者】【第２号被保険者】

昨年と比べた外出回数の増減を聞いたところ、「とても減っている」と「減っている」を合わせた≪減っている≫は、第１号被保険者では 32.2%、第２号被保険者では 17.2%となっています。

＜図表 047＞　昨年と比べた外出回数の増減【第１号被保険者　第２問７】【第２号被保険者　第２問２】



＜図表 048＞　昨年と比べた外出回数の増減（性・年代別/地区別/要介護度別）

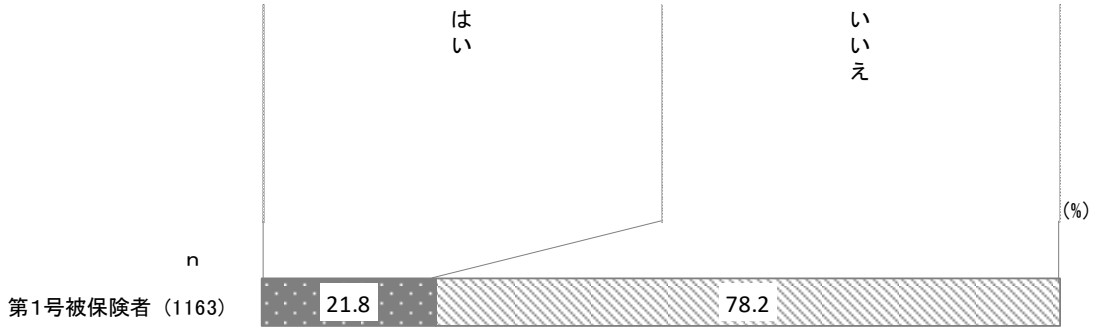
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	≪減っている≫	≪減っていない≫
全　体		1186	4.0	28.2	34.2	33.6	32.2	67.8
性・年代	男性 65 ～74歳	267	1.1	22.1	27.3	49.4	23.2	76.7
	男性 75 歳以上	245	4.9	24.9	40.0	30.2	29.8	70.2
	女性 65 ～74歳	338	2.7	24.0	35.2	38.2	26.7	73.4
	女性 75 歳以上	320	6.3	39.4	35.0	19.4	45.7	54.4
地区	江別地区	427	4.0	28.6	31.9	35.6	32.6	67.5
	野幌地区	442	4.1	25.6	33.9	36.4	29.7	70.3
	大麻地区	317	3.8	31.2	37.9	27.1	35.0	65.0
介護度	非認定	1126	3.2	27.3	34.5	35.0	30.5	69.5
	要支援1・2	60	18.3	45.0	28.3	8.3	63.3	36.6

（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	《減っている》	《減っていない》
全　体		488	2.0	15.2	22.5	60.2	17.2	82.7
性・年代	男性 40 代	55	1.8	10.9	25.5	61.8	12.7	87.3
	男性 50 代	65	3.1	13.8	18.5	64.6	16.9	83.1
	男性 60 歳以上	58	1.7	17.2	22.4	58.6	18.9	81.0
	女性 40 代	75	2.7	10.7	22.7	64.0	13.4	86.7
	女性 50 代	145	0.7	17.9	24.8	56.6	18.6	81.4
	女性 60 歳以上	79	3.8	17.7	17.7	60.8	21.5	78.5
地区	江別地区	183	2.7	13.7	24.0	59.6	16.4	83.6
	野幌地区	170	1.8	16.5	21.8	60.0	18.3	81.8
	大麻地区	133	1.5	15.8	21.1	61.7	17.3	82.8

＜図表 049＞　外出を控えているか【第１号被保険者　第２問８】



＜図表 050＞　外出を控えているか（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

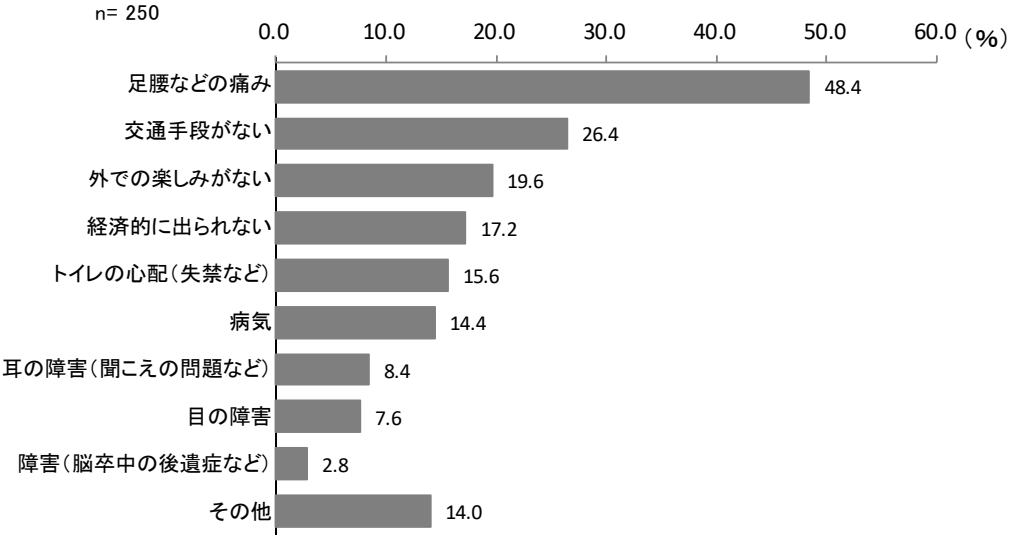
<第1号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		1163	21.8	78.2
性・年代	男性 65 ～74歳	264	9.5	90.5
	男性 75 歳以上	244	20.5	79.5
	女性 65 ～74歳	334	17.1	82.9
	女性 75 歳以上	305	37.0	63.0
地区	江別地区	417	21.3	78.7
	野幌地区	436	21.3	78.7
	大麻地区	310	23.2	76.8
介護度	非認定	1103	19.7	80.3
	要支援1・2	60	61.7	38.3

○外出を控えている理由

外出を控えている理由を聞いたところ、「足腰などの痛み」が 48.4％で最も多く、次いで「交通手段がない」（26.4％）、「外での楽しみがない」（19.6％）、「経済的に出られない」（17.2％）となっています。

＜図表 051＞　外出を控えている理由（複数回答）

【第１号被保険者　第２問８－１】



＜図表 052＞　外出を控えている理由

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	足腰などの痛み	交通手段がない	外での楽しみがない	経済的に出られない	トイレの心配（失禁など）	病気	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	障害（脳卒中の後遺症など）	その他
全　体		250	48.4	26.4	19.6	17.2	15.6	14.4	8.4	7.6	2.8	14.0
性・年代	男性 65 ～74歳	24	29.2	8.3	41.7	25.0	16.7	20.8	4.2	8.3	8.3	12.5
	男性 75 歳以上	50	40.0	24.0	18.0	10.0	18.0	30.0	18.0	8.0	－	16.0
	女性 65 ～74歳	56	37.5	23.2	19.6	16.1	7.1	8.9	1.8	3.6	3.6	19.6
	女性 75 歳以上	111	62.2	33.3	16.2	19.8	16.2	9.9	8.1	9.9	1.8	11.7
地区	江別地区	89	49.4	30.3	16.9	13.5	13.5	12.4	6.7	11.2	3.4	12.4
	野幌地区	90	48.9	28.9	23.3	18.9	15.6	15.6	10.0	5.6	1.1	10.0
	大麻地区	71	46.5	18.3	18.3	19.7	18.3	15.5	8.5	5.6	4.2	21.1
介護度	非認定	213	46.5	25.4	21.1	18.8	13.1	13.6	8.5	7.0	2.3	14.1
	要支援1・2	37	59.5	32.4	10.8	8.1	29.7	18.9	8.1	10.8	5.4	13.5

外出に関連した設問を以下に示します。

○外出の手段

＜図表 053＞　バス・電車を使用して一人で外出

【居宅サービス利用者　第３問２】【サービス未利用者　第３問２】

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		983	22.8	15.6	61.6
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	14.3	71.4
	男性 65 ～74歳	42	21.4	16.7	61.9
	男性 75 歳以上	250	19.6	16.0	64.4
	女性 40 ～64歳	13	7.7	15.4	76.9
	女性 65 ～74歳	62	21.0	21.0	58.1
	女性 75 歳以上	555	24.0	13.5	62.5
地区	江別地区	349	21.5	15.8	62.8
	野幌地区	356	20.5	16.3	63.2
	大麻地区	258	25.6	14.7	59.7
介護度	要支援1・2	452	37.4	22.6	40.0
	要介護1・2	351	9.1	9.7	81.2
	要介護3～5	115	2.6	－	97.4

（単位：%）

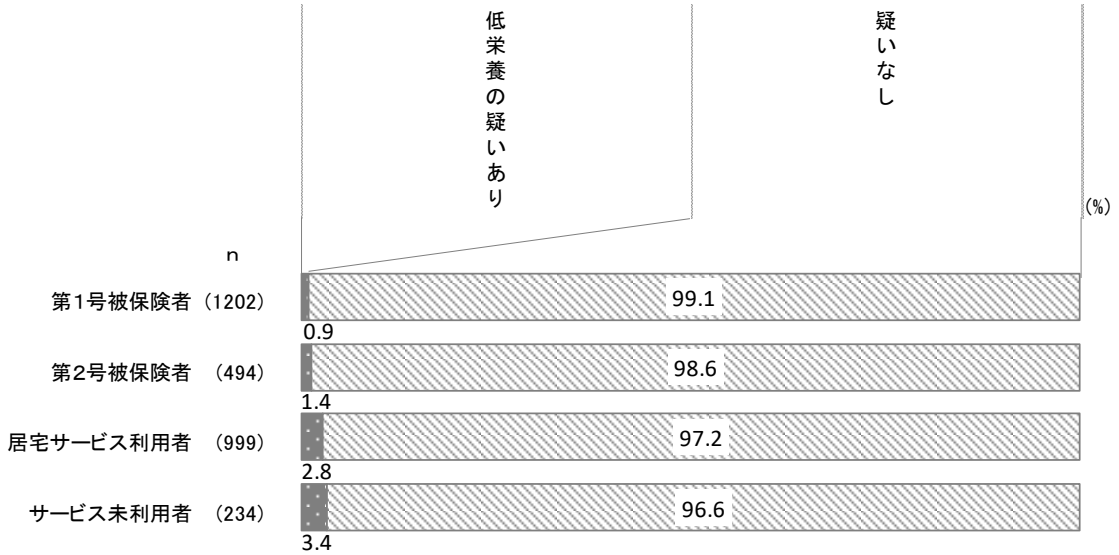
＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		230	42.2	24.8	33.0
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	25.0	25.0
	男性 65 ～74歳	14	50.0	28.6	21.4
	男性 75 歳以上	73	52.1	19.2	28.8
	女性 40 ～64歳	5	－	20.0	80.0
	女性 65 ～74歳	9	44.4	22.2	33.3
	女性 75 歳以上	111	36.9	27.9	35.1
地区	江別地区	69	34.8	30.4	34.8
	野幌地区	91	39.6	22.0	38.5
	大麻地区	67	55.2	22.4	22.4
介護度	要支援1・2	137	49.6	27.7	22.6
	要介護1・2	37	13.5	24.3	62.2
	要介護3～5	18	22.2	11.1	66.7

（５）低栄養の傾向

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

低栄養の傾向に関する設問の回答から、低栄養が疑われる割合を算出したところ、「低栄養の疑いあり」の割合は、第１号被保険者で 0.9%、第２号被保険者で 1.4%、居宅サービス利用者で 2.8%、サービス未利用者で 3.4%となっています。

＜図表 054＞　低栄養の疑い【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】



＜図表 055＞　低栄養の疑い（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		1202	0.9	99.1
性・年代	男性 65 ～74歳	271	1.5	98.5
	男性 75 歳以上	250	0.8	99.2
	女性 65 ～74歳	342	0.9	99.1
	女性 75 歳以上	322	0.3	99.7
家族構成	一人暮らし	223	0.4	99.6
	夫婦のみ	644	0.9	99.1
	同居その他	326	0.9	99.1
地区	江別地区	432	0.9	99.1
	野幌地区	448	0.9	99.1
	大麻地区	322	0.9	99.1
介護度	非認定	1141	0.8	99.2
	要支援1・2	61	3.3	96.7

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		494	1.4	98.6
性・年代	男性 40 代	55	－	100.0
	男性 50 代	66	1.5	98.5
	男性 60 歳以上	59	－	100.0
	女性 40 代	76	5.3	94.7
	女性 50 代	146	1.4	98.6
	女性 60 歳以上	80	－	100.0
家族構成	一人暮らし	49	2.0	98.0
	夫婦のみ	137	1.5	98.5
	同居その他	299	1.3	98.7
地区	江別地区	186	2.2	97.8
	野幌地区	172	0.6	99.4
	大麻地区	133	1.5	98.5

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		999	2.8	97.2
性・年代	男性 40 ～64歳	7	－	100.0
	男性 65 ～74歳	44	－	100.0
	男性 75 歳以上	256	2.7	97.3
	女性 40 ～64歳	13	7.7	92.3
	女性 65 ～74歳	62	3.2	96.8
	女性 75 歳以上	562	2.5	97.5
家族構成	一人暮らし	320	2.2	97.8
	夫婦のみ	276	3.3	96.7
	同居その他	377	2.7	97.3
地区	江別地区	356	2.2	97.8
	野幌地区	362	3.6	96.4
	大麻地区	260	1.9	98.1
介護度	要支援1・2	460	1.5	98.5
	要介護1・2	356	2.0	98.0
	要介護3～5	118	10.2	89.8

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		234	3.4	96.6
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	100.0
	男性 65 ～74歳	14	－	100.0
	男性 75 歳以上	75	6.7	93.3
	女性 40 ～64歳	5	－	100.0
	女性 65 ～74歳	9	－	100.0
	女性 75 歳以上	112	2.7	97.3
家族構成	一人暮らし	68	5.9	94.1
	夫婦のみ	91	2.2	97.8
	同居その他	69	2.9	97.1
地区	江別地区	69	1.4	98.6
	野幌地区	92	3.3	96.7
	大麻地区	69	5.8	94.2
介護度	要支援1・2	139	4.3	95.7
	要介護1・2	38	2.6	97.4
	要介護3～5	18	5.6	94.4

低栄養の傾向に関連した設問を以下に示します。

＜図表 056＞　ＢＭＩ

【第１号被保険者　第３問１】【第２号被保険者　第３問１】

【居宅サービス利用者　第２問１】【サービス未利用者　第２問１】

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（25.0以上）
全　体		1166	6.3	65.6	28.1
性・年代	男性 65 ～74歳	263	3.0	62.7	34.2
	男性 75 歳以上	244	5.3	66.4	28.3
	女性 65 ～74歳	333	10.2	65.8	24.0
	女性 75 歳以上	313	5.4	67.4	27.2
家族構成	一人暮らし	212	8.0	67.5	24.5
	夫婦のみ	634	5.8	66.1	28.1
	同居その他	313	5.8	63.9	30.4
地区	江別地区	415	6.5	62.2	31.3
	野幌地区	437	5.7	66.4	27.9
	大麻地区	314	6.7	69.1	24.2
介護度	非認定	1108	6.2	65.5	28.2
	要支援1・2	58	6.9	67.2	25.9

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（25.0以上）
全　体		471	9.1	61.8	29.1
性・年代	男性 40 代	55	5.5	52.7	41.8
	男性 50 代	65	1.5	67.7	30.8
	男性 60 歳以上	58	－	53.4	46.6
	女性 40 代	69	18.8	62.3	18.8
	女性 50 代	139	9.4	63.3	27.3
	女性 60 歳以上	74	16.2	67.6	16.2
家族構成	一人暮らし	47	6.4	61.7	31.9
	夫婦のみ	133	7.5	66.2	26.3
	同居その他	283	10.6	59.4	30.0
地区	江別地区	177	10.2	59.9	29.9
	野幌地区	163	8.0	61.3	30.7
	大麻地区	129	9.3	65.1	25.6

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（25.0以上）
全　体		937	14.1	62.9	23.1
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	42.9	42.9
	男性 65 ～74歳	42	11.9	57.1	31.0
	男性 75 歳以上	246	9.3	71.5	19.1
	女性 40 ～64歳	12	8.3	75.0	16.7
	女性 65 ～74歳	61	23.0	45.9	31.1
	女性 75 歳以上	518	15.1	62.0	23.0
家族構成	一人暮らし	298	13.1	61.4	25.5
	夫婦のみ	264	14.8	64.4	20.8
	同居その他	355	14.1	63.1	22.8
地区	江別地区	327	13.5	62.7	23.9
	野幌地区	342	12.9	64.0	23.1
	大麻地区	249	16.1	61.4	22.5
介護度	要支援1・2	434	9.2	63.8	27.0
	要介護1・2	336	16.4	62.8	20.8
	要介護3～5	107	27.1	58.9	14.0

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（25.0以上）
全　体		210	10.5	67.6	21.9
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	50.0	50.0
	男性 65 ～74歳	14	－	78.6	21.4
	男性 75 歳以上	69	13.0	73.9	13.0
	女性 40 ～64歳	3	－	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	9	11.1	66.7	22.2
	女性 75 歳以上	100	12.0	62.0	26.0
家族構成	一人暮らし	61	13.1	63.9	23.0
	夫婦のみ	84	11.9	67.9	20.2
	同居その他	63	6.3	69.8	23.8
地区	江別地区	60	8.3	63.3	28.3
	野幌地区	86	10.5	68.6	20.9
	大麻地区	62	12.9	69.4	17.7
介護度	要支援1・2	132	9.8	68.2	22.0
	要介護1・2	32	18.8	62.5	18.8
	要介護3～5	16	12.5	62.5	25.0

ＢＭＩ（Body Mass Index）

1994 年に世界保健機関（ＷＨＯ）で定めた肥満判定の国際基準です。

ＢＭＩ＝体重÷（身長×身長）で求められます。

18.5 未満を低体重、18.5 以上 25.0 未満を標準、25.0 以上を肥満としています。

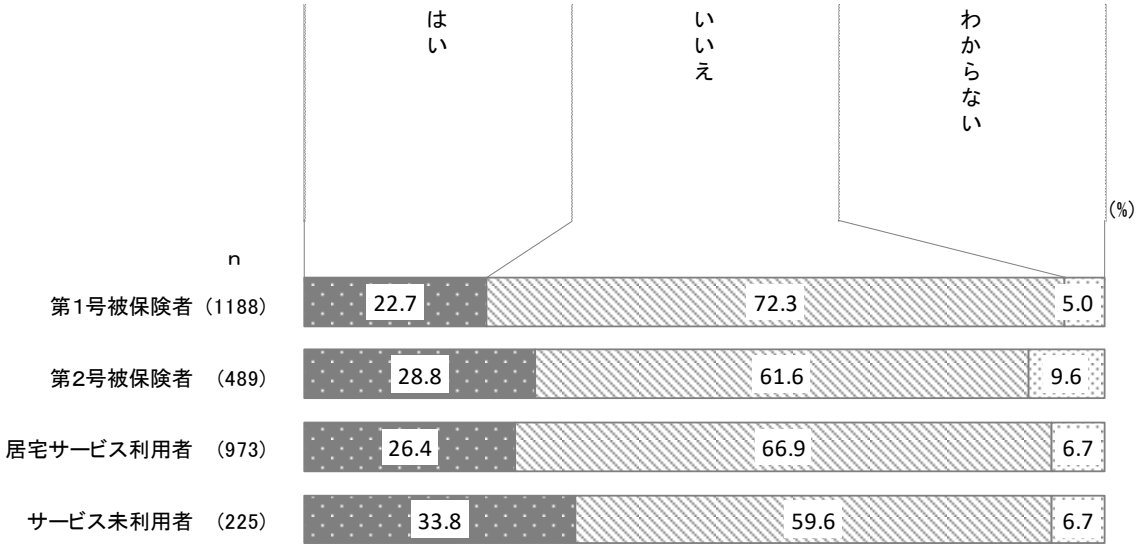
（６）急激な体重の増減

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

急激な体重の増減を聞いたところ、「はい」が第１号被保険者では 22.7%、第２号被保険者では 28.8%、居宅サービス利用者では 26.4%、サービス未利用者では 33.8%となっています。

＜図表 057＞　急激な体重の増減の有無

【第１号被保険者　第３問２】【第２号被保険者　第３問２】
【居宅サービス利用者　第２問２】【サービス未利用者　第２問２】



＜図表 058＞　急激な体重の増減の有無（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		1188	22.7	72.3	5.0
性・年代	男性 65 ～74歳	268	23.9	70.5	5.6
	男性 75 歳以上	245	22.0	75.1	2.9
	女性 65 ～74歳	340	23.5	70.9	5.6
	女性 75 歳以上	319	21.6	73.0	5.3
地区	江別地区	428	27.3	66.8	5.8
	野幌地区	444	21.6	73.2	5.2
	大麻地区	316	18.0	78.5	3.5
介護度	非認定	1128	21.8	73.2	5.0
	要支援1・2	60	40.0	55.0	5.0

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		489	28.8	61.6	9.6
性・年代	男性 40 代	54	40.7	50.0	9.3
	男性 50 代	66	19.7	65.2	15.2
	男性 60 歳以上	58	25.9	67.2	6.9
	女性 40 代	76	28.9	60.5	10.5
	女性 50 代	145	33.8	58.6	7.6
	女性 60 歳以上	79	20.3	69.6	10.1
地区	江別地区	182	30.8	61.5	7.7
	野幌地区	172	25.6	63.4	11.0
	大麻地区	133	30.1	59.4	10.5

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		973	26.4	66.9	6.7
性・年代	男性 40 ～64歳	7	71.4	28.6	－
	男性 65 ～74歳	41	29.3	70.7	－
	男性 75 歳以上	250	29.6	66.0	4.4
	女性 40 ～64歳	13	38.5	61.5	－
	女性 65 ～74歳	61	27.9	68.9	3.3
	女性 75 歳以上	548	22.8	68.1	9.1
地区	江別地区	344	24.1	69.5	6.4
	野幌地区	354	27.4	65.8	6.8
	大麻地区	255	27.5	65.1	7.5
介護度	要支援1・2	446	26.2	68.8	4.9
	要介護1・2	350	24.3	68.6	7.1
	要介護3～5	115	33.0	57.4	9.6

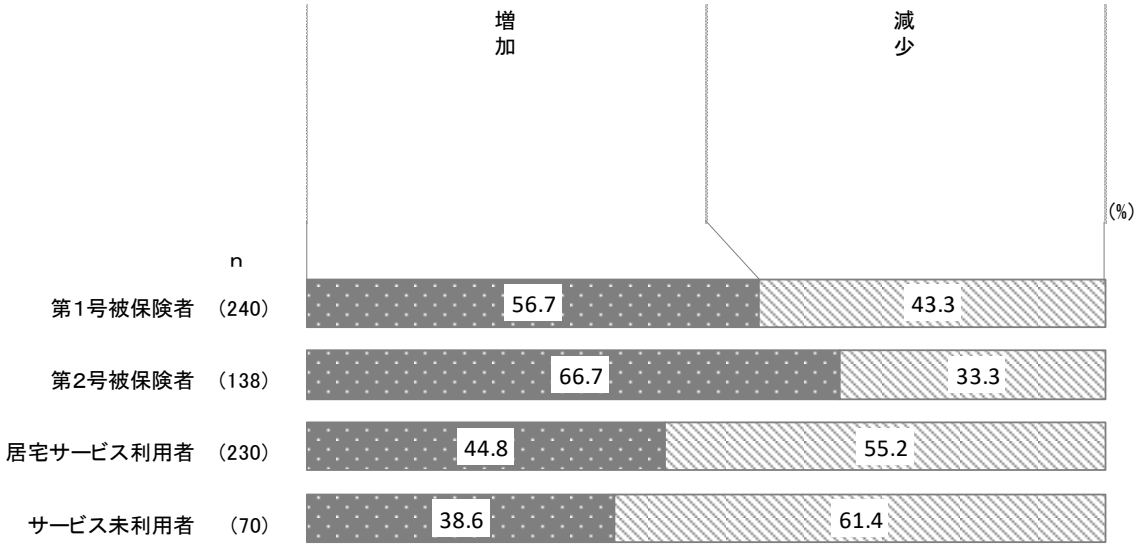
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		225	33.8	59.6	6.7
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	50.0	－
	男性 65 ～74歳	14	64.3	35.7	－
	男性 75 歳以上	69	33.3	65.2	1.4
	女性 40 ～64歳	5	60.0	20.0	20.0
	女性 65 ～74歳	9	66.7	11.1	22.2
	女性 75 歳以上	110	26.4	64.5	9.1
地区	江別地区	66	34.8	54.5	10.6
	野幌地区	89	32.6	60.7	6.7
	大麻地区	67	34.3	62.7	3.0
介護度	要支援1・2	135	30.4	66.7	3.0
	要介護1・2	37	35.1	51.4	13.5
	要介護3～5	18	55.6	27.8	16.7

＜図表 059＞　急激な体重の増減

【第１号被保険者　第３問２】【第２号被保険者　第３問２】

【居宅サービス利用者　第２問２】【サービス未利用者　第２問２】

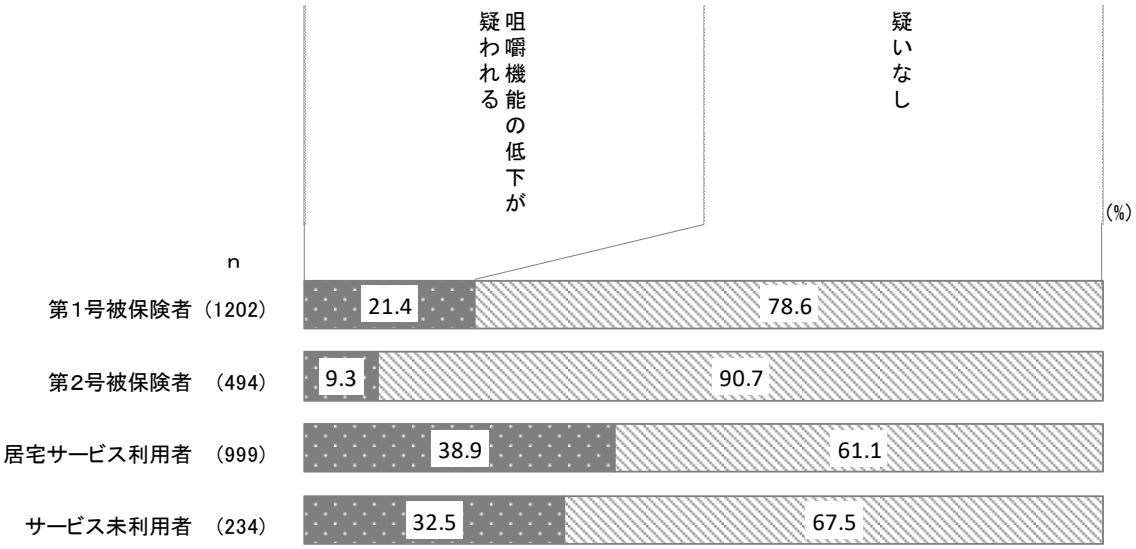


（７）咀嚼機能の低下

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

咀嚼（そしゃく）機能の低下に関する設問の回答から、咀嚼機能の低下が疑われる割合を算出したところ、「咀嚼機能の低下が疑われる」の割合は、第１号被保険者で 21.4%、第２号被保険者で 9.3%、居宅サービス利用者で 38.9%、サービス未利用者で 32.5%となっています。いずれも要介護度が上がるほど「咀嚼機能の低下が疑われる」の割合が高くなる傾向があります。

＜図表 060＞　咀嚼機能の低下【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】



＜図表 061＞　咀嚼機能の低下（性・年代別/地区別/要介護度別/歯の数と入れ歯の利用状況別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全　体		1202	21.4	78.6
性・年代	男性 65 ～74歳	271	18.1	81.9
	男性 75 歳以上	250	24.8	75.2
	女性 65 ～74歳	342	15.2	84.8
	女性 75 歳以上	322	27.6	72.4
地区	江別地区	432	25.0	75.0
	野幌地区	448	19.6	80.4
	大麻地区	322	18.9	81.1
介護度	非認定	1141	20.9	79.1
	要支援1・2	61	31.1	68.9
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	160	18.8	81.3
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	374	7.8	92.2
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	481	29.1	70.9
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	144	29.9	70.1

（単位:%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全　体		494	9.3	90.7
性・年代	男性 40 代	55	3.6	96.4
	男性 50 代	66	9.1	90.9
	男性 60 歳以上	59	15.3	84.7
	女性 40 代	76	3.9	96.1
	女性 50 代	146	11.0	89.0
	女性 60 歳以上	80	7.5	92.5
地区	江別地区	186	8.6	91.4
	野幌地区	172	8.7	91.3
	大麻地区	133	9.8	90.2

（単位:%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全　体		999	38.9	61.1
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	85.7
	男性 65 ～74歳	44	43.2	56.8
	男性 75 歳以上	256	40.6	59.4
	女性 40 ～64歳	13	23.1	76.9
	女性 65 ～74歳	62	29.0	71.0
	女性 75 歳以上	562	39.3	60.7
地区	江別地区	356	43.8	56.2
	野幌地区	362	34.5	65.5
	大麻地区	260	38.8	61.2
介護度	要支援1・2	460	35.9	64.1
	要介護1・2	356	38.2	61.8
	要介護3～5	118	55.1	44.9
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	129	25.6	74.4
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	176	20.5	79.5
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	519	46.1	53.9
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	127	49.6	50.4

（単位:%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全　体		234	32.5	67.5
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	50.0
	男性 65 ～74歳	14	28.6	71.4
	男性 75 歳以上	75	32.0	68.0
	女性 40 ～64歳	5	40.0	60.0
	女性 65 ～74歳	9	22.2	77.8
	女性 75 歳以上	112	30.4	69.6
地区	江別地区	69	43.5	56.5
	野幌地区	92	30.4	69.6
	大麻地区	69	23.2	76.8
介護度	要支援1・2	139	30.2	69.8
	要介護1・2	38	36.8	63.2
	要介護3～5	18	61.1	38.9
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	28	7.1	92.9
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	50	22.0	78.0
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	119	42.0	58.0
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	22	40.9	59.1

咀嚼機能の低下に関連した設問を以下に示します。

＜図表 062＞　半年前に比べて固いものが食べにくくなった

【第１号被保険者　第３問３】【第２号被保険者　第３問３】

【居宅サービス利用者　第２問３】【サービス未利用者　第２問３】

（性・年代別/地区別/要介護度別/歯の数と入れ歯の利用状況別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		1180	21.8	78.2
性・年代	男性 65 ～74歳	267	18.4	81.6
	男性 75 歳以上	241	25.7	74.3
	女性 65 ～74歳	337	15.4	84.6
	女性 75 歳以上	319	27.9	72.1
地区	江別地区	425	25.4	74.6
	野幌地区	441	20.0	80.0
	大麻地区	314	19.4	80.6
介護度	非認定	1122	21.2	78.8
	要支援1・2	58	32.8	67.2
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	156	19.2	80.8
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	373	7.8	92.2
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	476	29.4	70.6
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	144	29.9	70.1

（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		489	9.4	90.6
性・年代	男性 40 代	55	3.6	96.4
	男性 50 代	65	9.2	90.8
	男性 60 歳以上	58	15.5	84.5
	女性 40 代	76	3.9	96.1
	女性 50 代	145	11.0	89.0
	女性 60 歳以上	79	7.6	92.4
地区	江別地区	183	8.7	91.3
	野幌地区	171	8.8	91.2
	大麻地区	133	9.8	90.2

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		943	41.3	58.7
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	85.7
	男性 65 ～74歳	42	45.2	54.8
	男性 75 歳以上	244	42.6	57.4
	女性 40 ～64歳	12	25.0	75.0
	女性 65 ～74歳	60	30.0	70.0
	女性 75 歳以上	528	41.9	58.1
地区	江別地区	339	46.0	54.0
	野幌地区	345	36.2	63.8
	大麻地区	242	41.7	58.3
介護度	要支援1・2	432	38.2	61.8
	要介護1・2	340	40.0	60.0
	要介護3～5	112	58.0	42.0
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	126	26.2	73.8
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	165	21.8	78.2
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	495	48.3	51.7
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	123	51.2	48.8

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		227	33.5	66.5
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	50.0
	男性 65 ～74歳	14	28.6	71.4
	男性 75 歳以上	72	33.3	66.7
	女性 40 ～64歳	5	40.0	60.0
	女性 65 ～74歳	9	22.2	77.8
	女性 75 歳以上	108	31.5	68.5
地区	江別地区	69	43.5	56.5
	野幌地区	88	31.8	68.2
	大麻地区	67	23.9	76.1
介護度	要支援1・2	137	30.7	69.3
	要介護1・2	36	38.9	61.1
	要介護3～5	17	64.7	35.3
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	28	7.1	92.9
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	50	22.0	78.0
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	118	42.4	57.6
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	21	42.9	57.1

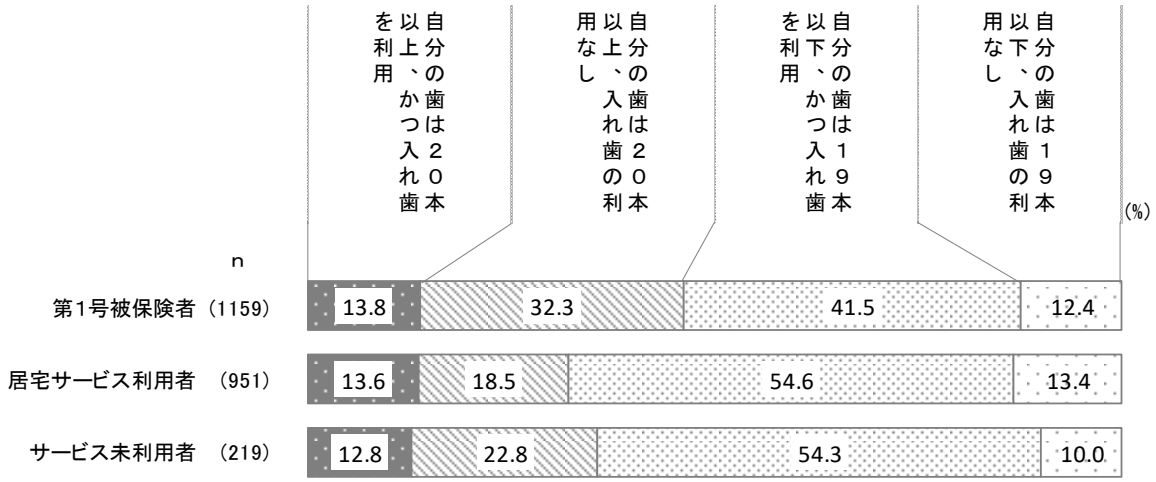
（８）歯の数と入れ歯の利用状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

歯の数と入れ歯の利用状況を聞いたところ、全ての調査において「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多く、第１号被保険者で 41.5%、居宅サービス利用者で 54.6%、サービス未利用者で 54.3%となっています。

＜図表 063＞　歯の数と入れ歯の利用状況

【第１号被保険者　第３問４】【居宅サービス利用者　第２問４】

【サービス未利用者　第２問４】



＜図表 064＞　歯の数と入れ歯の利用状況（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
全　体		1159	13.8	32.3	41.5	12.4
性・年代	男性 65 ～74歳	262	11.8	43.1	30.5	14.5
	男性 75 歳以上	241	18.3	24.1	49.4	8.3
	女性 65 ～74歳	333	11.7	38.4	34.5	15.3
	女性 75 歳以上	309	14.2	22.3	52.4	11.0
地区	江別地区	419	15.3	30.8	40.3	13.6
	野幌地区	433	12.5	32.3	44.1	11.1
	大麻地区	307	13.7	34.2	39.4	12.7
介護度	非認定	1104	13.8	32.5	40.8	13.0
	要支援1・2	55	14.5	27.3	56.4	1.8

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
全　体		951	13.6	18.5	54.6	13.4
性・年代	男性 40 ～64歳	7	－	28.6	42.9	28.6
	男性 65 ～74歳	42	4.8	21.4	54.8	19.0
	男性 75 歳以上	246	17.1	17.1	53.7	12.2
	女性 40 ～64歳	13	15.4	38.5	15.4	30.8
	女性 65 ～74歳	60	18.3	31.7	30.0	20.0
	女性 75 歳以上	535	12.1	16.6	58.9	12.3
地区	江別地区	335	14.3	14.6	56.4	14.6
	野幌地区	346	11.8	21.4	53.5	13.3
	大麻地区	252	14.3	20.6	52.8	12.3
介護度	要支援1・2	435	15.6	17.2	57.7	9.4
	要介護1・2	344	11.9	18.9	55.2	14.0
	要介護3～5	113	8.8	22.1	42.5	26.5

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
全　体		219	12.8	22.8	54.3	10.0
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	50.0	50.0	－
	男性 65 ～74歳	13	7.7	23.1	61.5	7.7
	男性 75 歳以上	71	14.1	23.9	52.1	9.9
	女性 40 ～64歳	5	－	80.0	－	20.0
	女性 65 ～74歳	9	－	55.6	33.3	11.1
	女性 75 歳以上	102	13.7	16.7	57.8	11.8
地区	江別地区	64	7.8	20.3	54.7	17.2
	野幌地区	85	14.1	23.5	55.3	7.1
	大麻地区	67	16.4	25.4	50.7	7.5
介護度	要支援1・2	132	13.6	19.7	57.6	9.1
	要介護1・2	35	11.4	22.9	45.7	20.0
	要介護3～5	16	6.3	25.0	56.3	12.5

（９）１日の食事回数

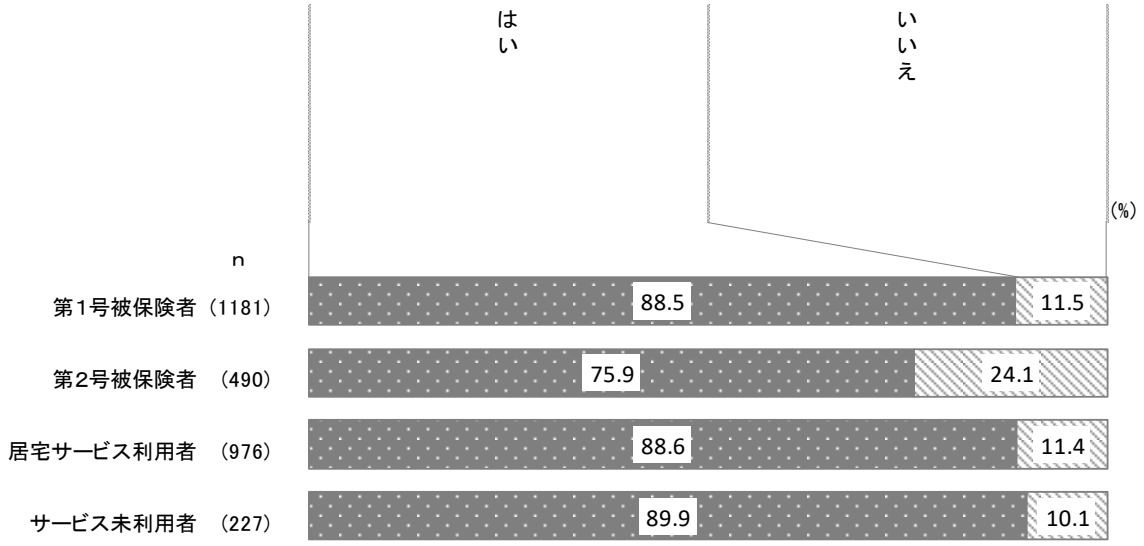
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

１日３食食べているかを聞いたところ、「はい」の割合は、第１号被保険者で 88.5%、第２号被保険者で 75.9%、居宅サービス利用者で 88.6%、サービス未利用者で 89.9%となっています。

＜図表 065＞　１日の食事回数

【第１号被保険者　第３問５】【第２号被保険者　第３問４】

【居宅サービス利用者　第２問５】【サービス未利用者　第２問５】



＜図表 066＞　１日の食事回数（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		1181	88.5	11.5
性・年代	男性 65 ～74歳	267	85.0	15.0
	男性 75 歳以上	246	87.8	12.2
	女性 65 ～74歳	338	89.9	10.1
	女性 75 歳以上	319	90.9	9.1
家族構成	一人暮らし	219	78.1	21.9
	夫婦のみ	638	91.1	8.9
	同居その他	317	91.2	8.8
地区	江別地区	421	87.9	12.1
	野幌地区	443	89.2	10.8
	大麻地区	317	88.3	11.7
介護度	非認定	1121	88.6	11.4
	要支援1・2	60	86.7	13.3

（単位:%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		490	75.9	24.1
性・年代	男性 40 代	55	67.3	32.7
	男性 50 代	66	77.3	22.7
	男性 60 歳以上	58	77.6	22.4
	女性 40 代	76	75.0	25.0
	女性 50 代	145	75.9	24.1
	女性 60 歳以上	79	83.5	16.5
家族構成	一人暮らし	49	63.3	36.7
	夫婦のみ	137	81.8	18.2
	同居その他	296	76.0	24.0
地区	江別地区	183	74.3	25.7
	野幌地区	172	76.2	23.8
	大麻地区	133	78.9	21.1

（単位:%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		976	88.6	11.4
性・年代	男性 40 ～64歳	7	100.0	－
	男性 65 ～74歳	42	90.5	9.5
	男性 75 歳以上	252	87.3	12.7
	女性 40 ～64歳	13	92.3	7.7
	女性 65 ～74歳	62	83.9	16.1
	女性 75 歳以上	547	89.4	10.6
家族構成	一人暮らし	311	82.6	17.4
	夫婦のみ	270	88.5	11.5
	同居その他	371	93.3	6.7
地区	江別地区	345	90.1	9.9
	野幌地区	357	89.9	10.1
	大麻地区	255	83.9	16.1
介護度	要支援1・2	451	88.9	11.1
	要介護1・2	350	88.3	11.7
	要介護3～5	114	88.6	11.4

（単位:%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		227	89.9	10.1
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	50.0
	男性 65 ～74歳	14	85.7	14.3
	男性 75 歳以上	72	91.7	8.3
	女性 40 ～64歳	5	80.0	20.0
	女性 65 ～74歳	9	88.9	11.1
	女性 75 歳以上	108	90.7	9.3
家族構成	一人暮らし	66	90.9	9.1
	夫婦のみ	88	92.0	8.0
	同居その他	68	88.2	11.8
地区	江別地区	69	88.4	11.6
	野幌地区	88	87.5	12.5
	大麻地区	67	94.0	6.0
介護度	要支援1・2	136	92.6	7.4
	要介護1・2	36	88.9	11.1
	要介護3～5	17	76.5	23.5

（10）誰かと食事をする機会

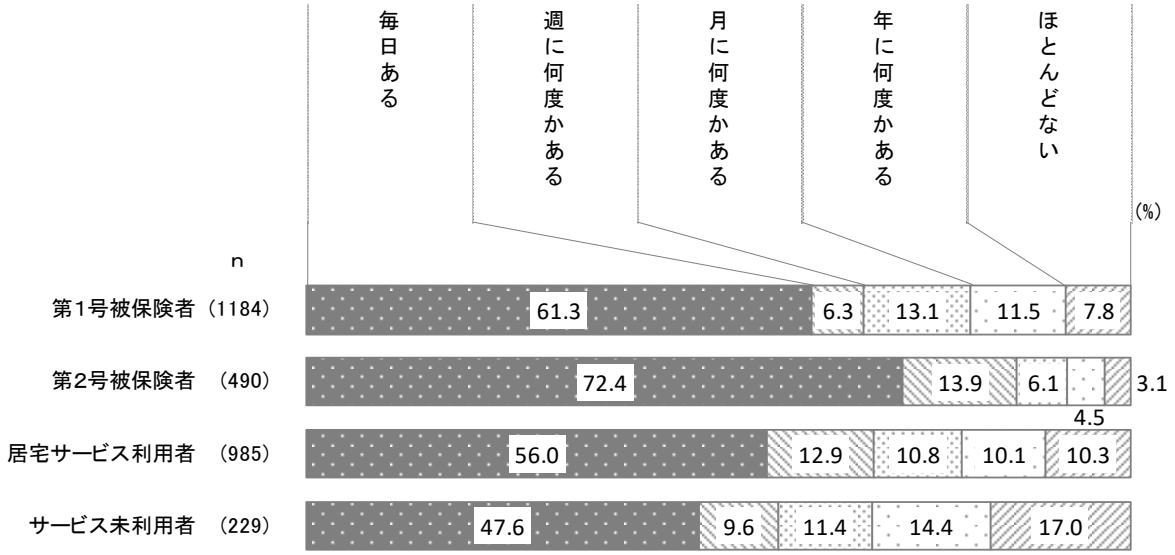
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

誰かと食事をする機会を聞いたところ、全ての調査において「毎日ある」が最も多く、第１号被保険者で 61.3%、第２号被保険者で 72.4%、居宅サービス利用者で 56.0%、サービス未利用者で 47.6%となっています。一人暮らしの場合、「ほとんどない」が２人以上の世帯に比べて多くなっており、第１号被保険者で 22.8%となっています。

＜図表 067＞　誰かと食事をする機会

【第１号被保険者　第３問６】【第２号被保険者　第３問５】

【居宅サービス利用者　第２問６】【サービス未利用者　第２問６】



＜図表 068＞　誰かと食事をする機会（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		1184	61.3	6.3	13.1	11.5	7.8
性・年代	男性 65 ～74歳	268	65.3	6.0	9.3	9.3	10.1
	男性 75 歳以上	243	59.7	4.9	12.8	12.3	10.3
	女性 65 ～74歳	339	69.9	5.3	13.6	6.8	4.4
	女性 75 歳以上	319	50.2	8.5	16.3	17.6	7.5
家族構成	一人暮らし	219	2.3	11.0	36.1	27.9	22.8
	夫婦のみ	638	74.8	3.9	8.5	8.6	4.2
	同居その他	320	74.4	7.8	6.9	6.3	4.7
地区	江別地区	425	62.6	6.1	14.4	9.2	7.8
	野幌地区	442	61.8	6.6	14.0	10.6	7.0
	大麻地区	317	59.0	6.3	10.1	15.8	8.8
介護度	非認定	1126	62.4	6.5	13.1	10.8	7.2
	要支援1・2	58	39.7	3.4	13.8	24.1	19.0

（単位:%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		490	72.4	13.9	6.1	4.5	3.1
性・年代	男性 40 代	55	67.3	18.2	5.5	－	9.1
	男性 50 代	66	75.8	7.6	9.1	4.5	3.0
	男性 60 歳以上	58	63.8	15.5	5.2	10.3	5.2
	女性 40 代	76	85.5	10.5	2.6	1.3	－
	女性 50 代	145	68.3	17.2	7.6	4.1	2.8
	女性 60 歳以上	79	77.2	11.4	5.1	5.1	1.3
家族構成	一人暮らし	49	4.1	22.4	22.4	28.6	22.4
	夫婦のみ	137	81.0	13.9	3.6	0.7	0.7
	同居その他	296	80.1	12.2	4.7	2.0	1.0
地区	江別地区	183	74.9	15.3	4.4	2.2	3.3
	野幌地区	172	72.1	11.6	8.7	3.5	4.1
	大麻地区	133	70.7	14.3	5.3	8.3	1.5

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		985	56.0	12.9	10.8	10.1	10.3
性・年代	男性 40 ～64歳	7	100.0	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	42	83.3	2.4	2.4	4.8	7.1
	男性 75 歳以上	255	63.1	9.8	6.3	9.0	11.8
	女性 40 ～64歳	13	53.8	30.8	－	7.7	7.7
	女性 65 ～74歳	61	59.0	13.1	9.8	4.9	13.1
	女性 75 歳以上	552	51.8	14.7	13.2	11.4	8.9
家族構成	一人暮らし	315	16.2	24.1	23.8	18.1	17.8
	夫婦のみ	271	77.1	6.3	3.7	7.0	5.9
	同居その他	374	73.5	8.6	5.1	5.6	7.2
地区	江別地区	352	61.6	13.4	8.2	7.4	9.4
	野幌地区	357	55.7	10.1	11.8	11.5	10.9
	大麻地区	256	49.2	16.4	12.1	12.1	10.2
介護度	要支援1・2	454	44.1	12.1	16.7	14.1	13.0
	要介護1・2	352	66.5	14.5	6.3	7.1	5.7
	要介護3～5	115	74.8	8.7	2.6	1.7	12.2

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		229	47.6	9.6	11.4	14.4	17.0
性・年代	男性 40 ～64歳	4	75.0	－	－	25.0	－
	男性 65 ～74歳	14	64.3	－	7.1	7.1	21.4
	男性 75 歳以上	72	54.2	9.7	6.9	12.5	16.7
	女性 40 ～64歳	5	100.0	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	9	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2
	女性 75 歳以上	110	39.1	11.8	17.3	17.3	14.5
家族構成	一人暮らし	68	7.4	13.2	26.5	22.1	30.9
	夫婦のみ	89	68.5	4.5	3.4	14.6	9.0
	同居その他	67	61.2	13.4	7.5	7.5	10.4
地区	江別地区	68	61.8	5.9	10.3	8.8	13.2
	野幌地区	90	44.4	14.4	10.0	13.3	17.8
	大麻地区	68	36.8	7.4	14.7	22.1	19.1
介護度	要支援1・2	136	40.4	10.3	16.2	16.9	16.2
	要介護1・2	37	73.0	8.1	5.4	8.1	5.4
	要介護3～5	17	52.9	5.9	5.9	11.8	23.5

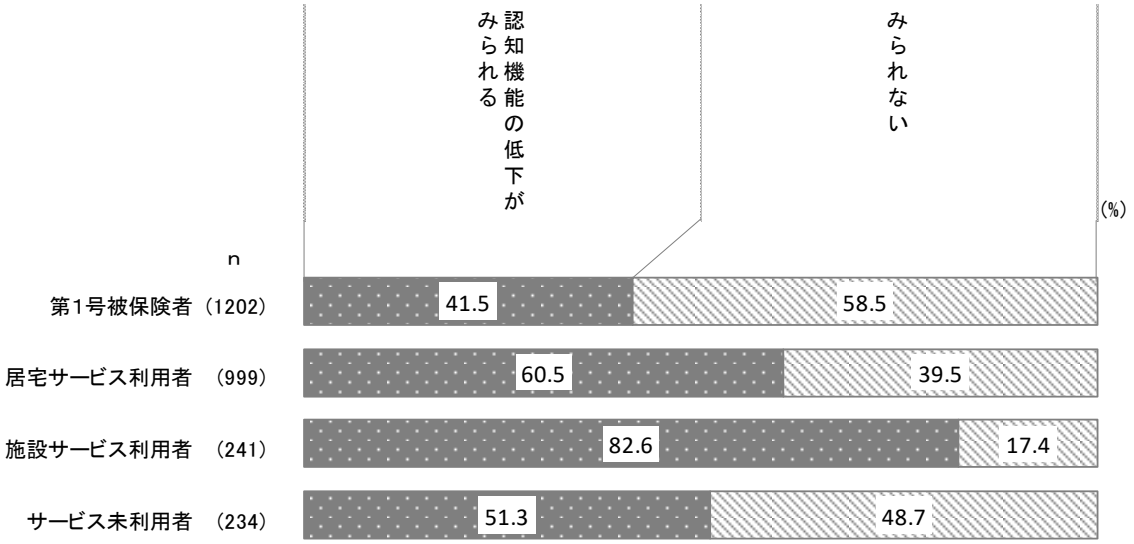
（11）認知機能の低下

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

認知機能の低下に関する設問の回答から、認知機能の低下がみられる高齢者の割合を算出したところ、「認知機能の低下がみられる」の割合は、第１号被保険者で 41.5%、居宅サービス利用者で 60.5%、施設サービス利用者で 82.6%、サービス未利用者で 51.3%となっています。性・年代別でみると、第１号被保険者、居宅サービス利用者で「認知機能の低下がみられる」の割合はいずれも女性 ・75 歳以上で最も高くなっています。

＜図表 069＞　認知機能の低下

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】



＜図表 070＞　認知機能の低下（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		1202	41.5	58.5
性・年代	男性 65 ～74歳	271	31.0	69.0
	男性 75 歳以上	250	42.0	58.0
	女性 65 ～74歳	342	40.9	59.1
	女性 75 歳以上	322	50.6	49.4
地区	江別地区	432	42.1	57.9
	野幌地区	448	41.1	58.9
	大麻地区	322	41.3	58.7
介護度	非認定	1141	40.5	59.5
	要支援1・2	61	60.7	39.3

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		999	60.5	39.5
性・年代	男性 40 ～64歳	7	28.6	71.4
	男性 65 ～74歳	44	52.3	47.7
	男性 75 歳以上	256	56.6	43.4
	女性 40 ～64歳	13	61.5	38.5
	女性 65 ～74歳	62	48.4	51.6
	女性 75 歳以上	562	65.7	34.3
地区	江別地区	356	59.0	41.0
	野幌地区	362	62.4	37.6
	大麻地区	260	61.2	38.8
介護度	要支援1・2	460	53.3	46.7
	要介護1・2	356	69.4	30.6
	要介護3～5	118	69.5	30.5

（単位：%）

＜施設サービス利用者調査＞		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		241	82.6	17.4
性・年代	男性 40 代	－	－	－
	男性 50 代	1	－	100.0
	男性 60 歳以上	54	77.8	22.2
	女性 40 代	－	－	－
	女性 50 代	2	100.0	－
	女性 60 歳以上	183	84.7	15.3
介護度	要介護1・2	41	70.7	29.3
	要介護3～5	192	87.5	12.5

（単位：%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		234	51.3	48.7
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	50.0
	男性 65 ～74歳	14	35.7	64.3
	男性 75 歳以上	75	45.3	54.7
	女性 40 ～64歳	5	60.0	40.0
	女性 65 ～74歳	9	33.3	66.7
	女性 75 歳以上	112	56.3	43.8
地区	江別地区	69	53.6	46.4
	野幌地区	92	54.3	45.7
	大麻地区	69	44.9	55.1
介護度	要支援1・2	139	42.4	57.6
	要介護1・2	38	71.1	28.9
	要介護3～5	18	61.1	38.9

認知機能の低下に関連した設問を以下に示します。

＜図表 071＞　物忘れが多いと感じるか

【第１号被保険者　第４問１】【居宅サービス利用者　第３問１】【施設サービス利用者　第２問１】【サービス未利用者　第３問１】（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		1180	42.3	57.7
性・年代	男性 65 ～74歳	265	31.7	68.3
	男性 75 歳以上	246	42.7	57.3
	女性 65 ～74歳	336	41.7	58.3
	女性 75 歳以上	318	51.3	48.7
地区	江別地区	421	43.2	56.8
	野幌地区	444	41.4	58.6
	大麻地区	315	42.2	57.8
介護度	非認定	1122	41.2	58.8
	要支援1・2	58	63.8	36.2

（単位:%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		982	61.5	38.5
性・年代	男性 40 ～64歳	7	28.6	71.4
	男性 65 ～74歳	42	54.8	45.2
	男性 75 歳以上	251	57.8	42.2
	女性 40 ～64歳	13	61.5	38.5
	女性 65 ～74歳	61	49.2	50.8
	女性 75 歳以上	553	66.7	33.3
地区	江別地区	347	60.5	39.5
	野幌地区	356	63.5	36.5
	大麻地区	259	61.4	38.6
介護度	要支援1・2	451	54.3	45.7
	要介護1・2	351	70.4	29.6
	要介護3～5	115	71.3	28.7

（単位:%）

＜施設サービス利用者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		241	82.6	17.4
性・年代	男性 40 代	－	－	－
	男性 50 代	1	－	100.0
	男性 60 歳以上	54	77.8	22.2
	女性 40 代	－	－	－
	女性 50 代	2	100.0	－
	女性 60 歳以上	183	84.7	15.3
介護度	要介護1・2	41	70.7	29.3
	要介護3～5	192	87.5	12.5

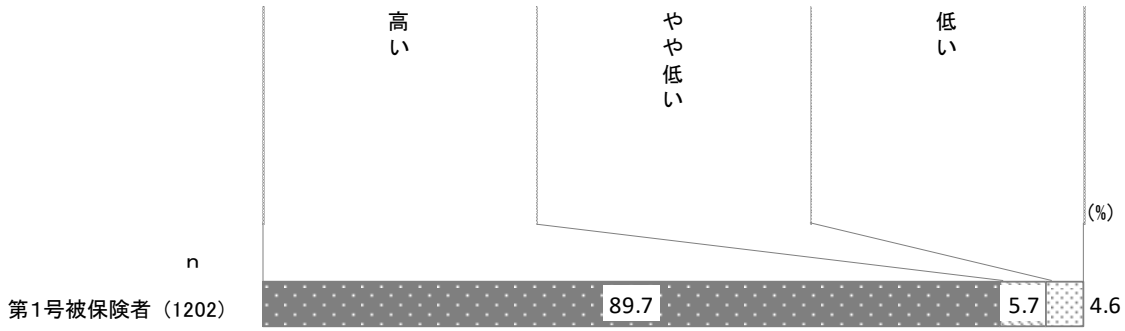
（単位:%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		222	54.1	45.9
性・年代	男性 40 ～64歳	3	66.7	33.3
	男性 65 ～74歳	13	38.5	61.5
	男性 75 歳以上	72	47.2	52.8
	女性 40 ～64歳	5	60.0	40.0
	女性 65 ～74歳	7	42.9	57.1
	女性 75 歳以上	108	58.3	41.7
地区	江別地区	65	56.9	43.1
	野幌地区	87	57.5	42.5
	大麻地区	67	46.3	53.7
介護度	要支援1・2	132	44.7	55.3
	要介護1・2	37	73.0	27.0
	要介護3～5	17	64.7	35.3

（12）ＩＡＤＬ（手段的日常生活動作）の評価【第１号被保険者】

ＩＡＤＬの評価に関する設問の回答から、ＩＡＤＬの評価について高齢者の割合を算出したところ、ＩＡＤＬの低下に該当する「低い」と「やや低い」を合わせた割合は 10.3%となっています。

＜図表 072＞　ＩＡＤＬの評価【第１号被保険者】



＜図表 073＞　ＩＡＤＬの評価（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	高い	やや低い	低い
全 体		1202	89.7	5.7	4.6
性・年代	男性 65 ～74歳	271	91.5	5.5	3.0
	男性 75 歳以上	250	84.8	8.4	6.8
	女性 65 ～74歳	342	95.9	2.6	1.5
	女性 75 歳以上	322	86.0	7.1	6.8
地区	江別地区	432	89.4	6.3	4.4
	野幌地区	448	88.8	6.5	4.7
	大麻地区	322	91.3	4.0	4.7
介護度	非認定	1141	91.7	4.8	3.5
	要支援1・2	61	52.5	23.0	24.6

ＩＡＤＬ
（Instrumental Activity of Daily Living）
『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上での必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ること等複雑な動作を指します。

ＩＡＤＬに関連した設問を以下に示します。

＜図表 074＞　バス・電車を使用して一人で外出【第１号被保険者　第４問２】
（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		1191	76.9	17.9	5.2
性・年代	男性 65 ～74歳	268	86.9	11.6	1.5
	男性 75 歳以上	246	78.5	17.9	3.7
	女性 65 ～74歳	340	80.3	16.5	3.2
	女性 75 歳以上	321	65.7	23.1	11.2
地区	江別地区	428	74.8	19.2	6.1
	野幌地区	446	77.8	16.8	5.4
	大麻地区	317	78.5	17.7	3.8
介護度	非認定	1130	78.8	17.3	3.8
	要支援1・2	61	41.0	27.9	31.1

＜図表 075＞　食品・日用品の買い物【第１号被保険者　第４問３】
（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		1192	86.3	10.5	3.2
性・年代	男性 65 ～74歳	268	84.3	14.9	0.7
	男性 75 歳以上	247	75.7	21.9	2.4
	女性 65 ～74歳	340	96.8	1.8	1.5
	女性 75 歳以上	321	86.3	6.5	7.2
地区	江別地区	429	85.5	11.0	3.5
	野幌地区	446	87.7	9.4	2.9
	大麻地区	317	85.5	11.4	3.2
介護度	非認定	1132	87.8	10.0	2.2
	要支援1・2	60	58.3	20.0	21.7

＜図表 076＞　食事の用意【第１号被保険者　第４問４】

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		1190	75.2	20.8	4.0
性・年代	男性 65 ～74歳	267	51.7	42.3	6.0
	男性 75 歳以上	246	44.3	45.9	9.8
	女性 65 ～74歳	340	97.9	1.2	0.9
	女性 75 歳以上	321	94.1	4.4	1.6
地区	江別地区	429	75.5	21.2	3.3
	野幌地区	444	71.6	24.1	4.3
	大麻地区	317	79.8	15.5	4.7
介護度	非認定	1129	75.3	21.3	3.4
	要支援1・2	61	73.8	9.8	16.4

＜図表 077＞　請求書の支払い【第１号被保険者　第４問５】

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		1184	82.7	14.7	2.6
性・年代	男性 65 ～74歳	267	71.2	26.2	2.6
	男性 75 歳以上	246	68.3	27.2	4.5
	女性 65 ～74歳	338	96.4	3.0	0.6
	女性 75 歳以上	319	88.7	8.2	3.1
地区	江別地区	426	81.9	16.0	2.1
	野幌地区	442	84.2	13.1	2.7
	大麻地区	316	81.6	15.2	3.2
介護度	非認定	1125	83.4	14.5	2.1
	要支援1・2	59	69.5	18.6	11.9

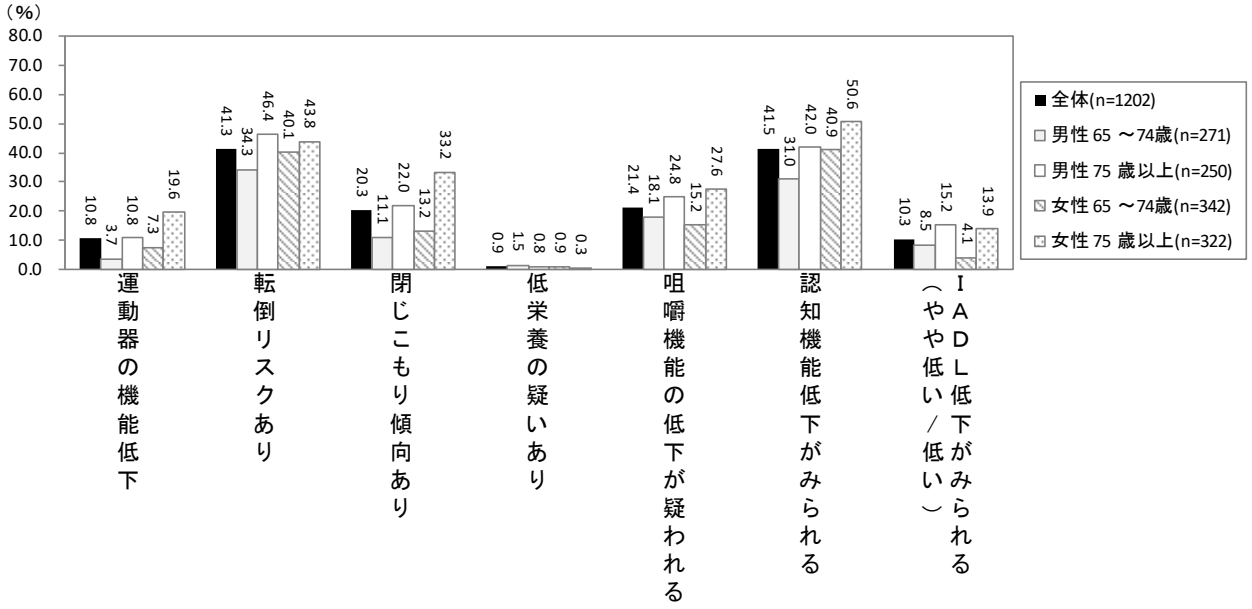
＜図表 078＞　預貯金の出し入れ【第１号被保険者　第４問６】
（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		1189	86.0	11.3	2.8
性・年代	男性 65 ～74歳	268	77.6	19.4	3.0
	男性 75 歳以上	246	72.8	21.1	6.1
	女性 65 ～74歳	339	96.8	2.7	0.6
	女性 75 歳以上	321	91.9	5.9	2.2
地区	江別地区	426	82.6	14.3	3.1
	野幌地区	445	87.6	9.9	2.5
	大麻地区	318	88.1	9.1	2.8
介護度	非認定	1128	86.8	11.0	2.2
	要支援1・2	61	70.5	16.4	13.1

本調査項目から把握できる要介護状態になるリスク（運動機能、転倒リスク、閉じこもり、低栄養、咀嚼機能、認知機能、ＩＡＤＬ）について、以下のように性・年代別の一覧表として整理しました。

＜図表 079＞　リスク該当者割合（一覧）【第１号被保険者】

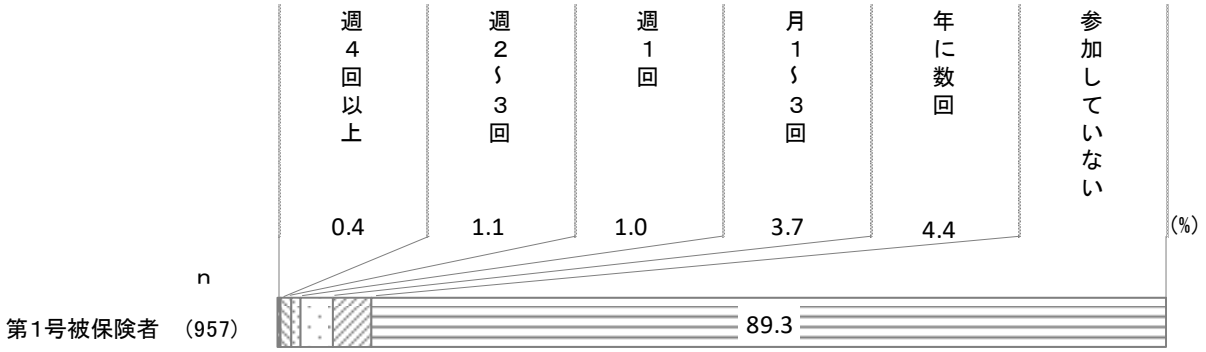


５.地域での活動・つながりの状況

（１）ボランティアのグループの参加頻度【第１号被保険者】

ボランティアのグループ参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 89.3%で最も多く、次いで「年に数回」（4.4%）、「月に１～３回」（3.7%）となっています。

＜図表 080＞　ボランティアのグループの参加頻度【第１号被保険者　第５問１①】



＜図表 081＞　ボランティアのグループの参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

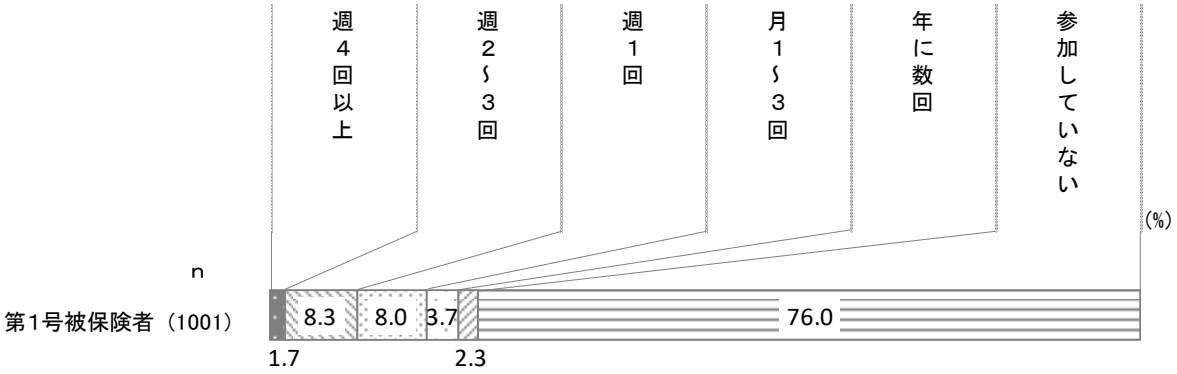
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		957	0.4	1.1	1.0	3.7	4.4	89.3
性・年代	男性 65 ～74歳	244	－	0.8	－	2.9	3.3	93.0
	男性 75 歳以上	193	1.6	0.5	－	4.7	10.4	82.9
	女性 65 ～74歳	289	0.3	1.0	2.1	2.4	2.1	92.0
	女性 75 歳以上	224	－	2.2	1.8	5.4	3.6	87.1
地区	江別地区	343	0.6	1.2	0.6	3.5	4.7	89.5
	野幌地区	361	0.3	0.3	0.8	3.6	3.9	91.1
	大麻地区	253	0.4	2.4	2.0	4.0	4.7	86.6
介護度	非認定	917	0.4	1.2	1.1	3.8	4.4	89.1
	要支援1･2	40	－	－	－	－	5.0	95.0

（２）スポーツ関係の参加頻度【第１号被保険者】

スポーツ関係の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 76.0％で最も多く、次いで「週２～３回」（8.3％）、「週１回」（8.0％）となっています。

＜図表 082＞　スポーツ関係の参加頻度【第１号被保険者　第５問１②】



＜図表 083＞　スポーツ関係の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

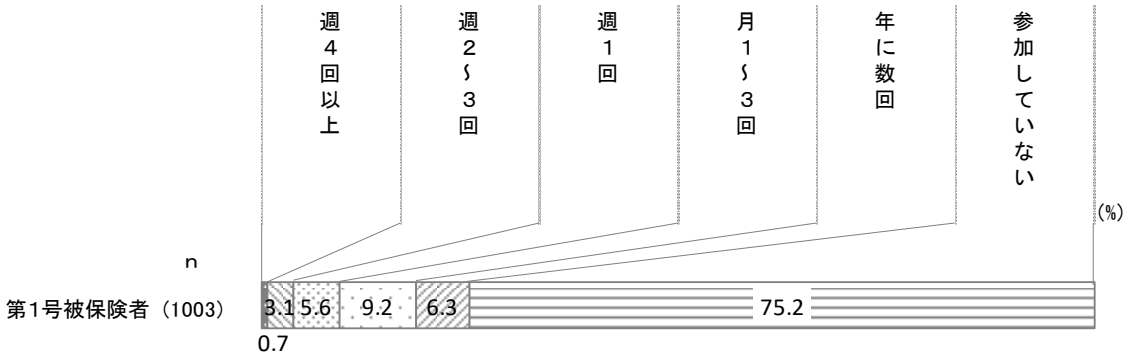
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
全　体		1001	1.7	8.3	8.0	3.7	2.3	76.0
性・年代	男性 65 ～74歳	245	－	3.7	4.1	3.3	3.3	85.7
	男性 75 歳以上	199	2.5	8.0	8.5	5.5	4.5	70.9
	女性 65 ～74歳	307	2.3	10.7	7.2	2.6	1.0	76.2
	女性 75 歳以上	243	2.1	10.3	12.8	4.1	0.8	70.0
地区	江別地区	361	1.7	6.4	7.5	3.9	1.9	78.7
	野幌地区	379	1.6	10.0	8.4	3.7	1.3	74.9
	大麻地区	261	1.9	8.4	8.0	3.4	4.2	73.9
介護度	非認定	960	1.8	8.4	8.0	3.9	2.3	75.6
	要支援1・2	41	－	4.9	7.3	－	2.4	85.4

（３）趣味関係の参加頻度【第１号被保険者】

趣味関係の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 75.2%で最も多く、次いで「月１～３回」（9.2%）、「年に数回」（6.3%）となっています。

＜図表 084＞　趣味関係の参加頻度【第１号被保険者　第５問１③】



＜図表 085＞　趣味関係の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

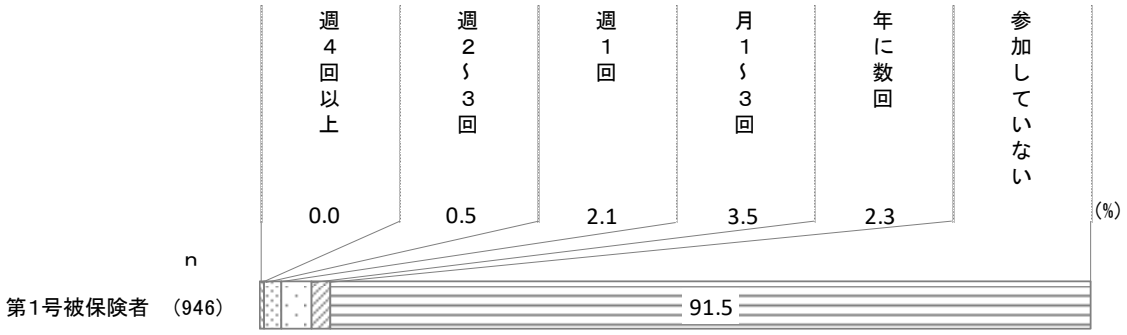
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
全　体		1003	0.7	3.1	5.6	9.2	6.3	75.2
性・年代	男性 65 ～74歳	248	－	1.6	2.8	5.6	6.9	83.1
	男性 75 歳以上	204	1.0	4.4	7.8	10.3	8.8	67.6
	女性 65 ～74歳	299	0.3	1.3	5.0	9.0	5.7	78.6
	女性 75 歳以上	244	1.6	5.3	7.4	12.3	4.1	69.3
地区	江別地区	360	1.1	1.9	5.6	7.5	8.6	75.3
	野幌地区	377	0.3	4.0	5.8	9.5	5.0	75.3
	大麻地区	266	0.8	3.4	5.3	10.9	4.9	74.8
介護度	非認定	961	0.7	3.1	5.8	9.3	6.2	74.8
	要支援1・2	42	－	2.4	－	7.1	7.1	83.3

（４）学習・教養サークルの参加頻度【第１号被保険者】

学習・教養サークルの参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 91.5%で最も多く、次いで「月１～３回」(3.5%)、「年に数回」(2.3%) となっています。

＜図表 086＞　学習・教養サークルの参加頻度【第１号被保険者　第５問１④】



＜図表 087＞　学習・教養サークルの参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

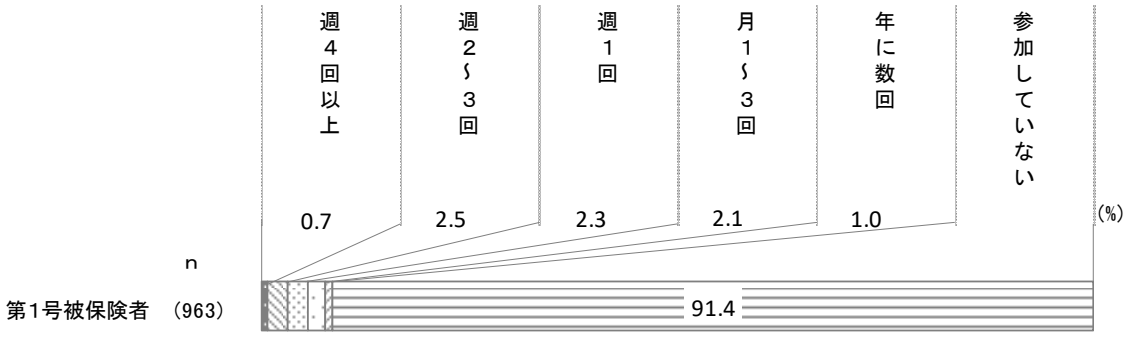
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		946	－	0.5	2.1	3.5	2.3	91.5
性・年代	男性 65 ～74歳	243	－	－	1.2	2.1	2.5	94.2
	男性 75 歳以上	191	－	－	2.6	5.2	3.1	89.0
	女性 65 ～74歳	283	－	－	1.1	3.2	1.8	94.0
	女性 75 歳以上	222	－	2.3	4.1	4.1	2.3	87.4
地区	江別地区	340	－	0.3	1.8	2.6	2.4	92.9
	野幌地区	361	－	0.6	2.2	4.4	2.8	90.0
	大麻地区	245	－	0.8	2.4	3.3	1.6	91.8
介護度	非認定	906	－	0.6	2.0	3.5	2.3	91.6
	要支援1・2	40	－	－	5.0	2.5	2.5	90.0

（５）通いの場の参加頻度【第１号被保険者】

通いの場の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 91.4%で最も多く、次いで「週２～３回」(2.5%)、「週１回」(2.3%) となっています。

＜図表 088＞　通いの場の参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑤】



＜図表 089＞　通いの場の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

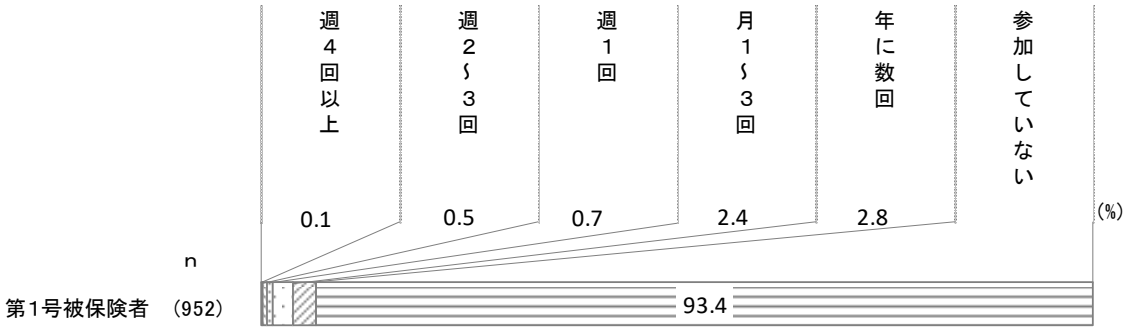
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		963	0.7	2.5	2.3	2.1	1.0	91.4
性・年代	男性 65 ～74歳	246	0.4	1.6	－	1.6	0.4	95.9
	男性 75 歳以上	192	1.0	2.6	1.0	1.0	2.6	91.7
	女性 65 ～74歳	287	0.3	2.8	2.1	1.4	0.7	92.7
	女性 75 歳以上	231	1.3	3.0	6.1	4.3	0.9	84.4
地区	江別地区	348	0.6	2.9	2.6	2.0	0.9	91.1
	野幌地区	363	0.6	2.2	1.7	1.4	1.1	93.1
	大麻地区	252	1.2	2.4	2.8	3.2	1.2	89.3
介護度	非認定	921	0.7	2.4	2.1	2.2	1.0	91.7
	要支援1・2	42	2.4	4.8	7.1	－	2.4	83.3

（６）高齢者クラブの参加頻度【第１号被保険者】

高齢者クラブの参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 93.4%で最も多く、次いで「年に数回」（2.8%）、「月１～３回」（2.4%）となっています。

＜図表 090＞　高齢者クラブの参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑥】



＜図表 091＞　高齢者クラブの参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

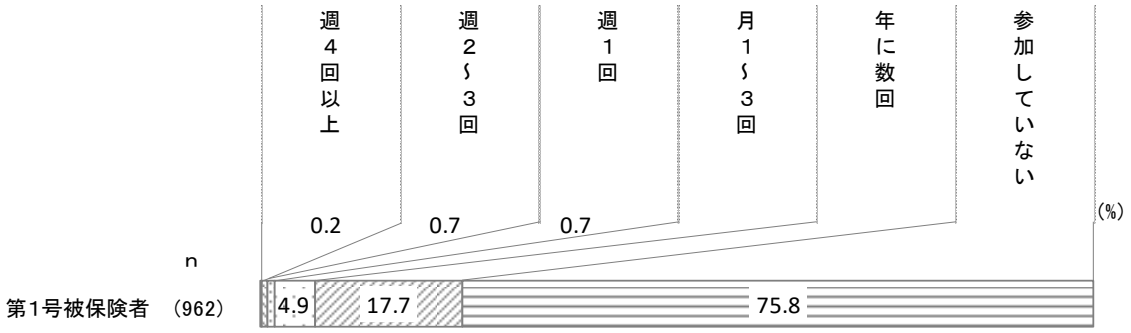
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		952	0.1	0.5	0.7	2.4	2.8	93.4
性・年代	男性 65 ～74歳	246	－	0.4	－	0.8	0.4	98.4
	男性 75 歳以上	190	0.5	0.5	2.1	5.8	4.2	86.8
	女性 65 ～74歳	281	－	－	0.4	0.4	2.8	96.4
	女性 75 歳以上	228	－	1.3	0.9	3.5	4.4	89.9
地区	江別地区	345	0.3	0.9	0.6	3.5	2.9	91.9
	野幌地区	362	－	0.6	0.6	2.2	4.4	92.3
	大麻地区	245	－	－	1.2	1.2	0.4	97.1
介護度	非認定	912	0.1	0.5	0.7	2.4	2.7	93.5
	要支援1・2	40	－	－	2.5	2.5	5.0	90.0

（７）自治会の参加頻度【第１号被保険者】

自治会の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 75.8%で最も多く、次いで「年に数回」（17.7%）、「月１～３回」（4.9%）となっています。

＜図表 092＞　自治会の参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑦】



＜図表 093＞　自治会の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

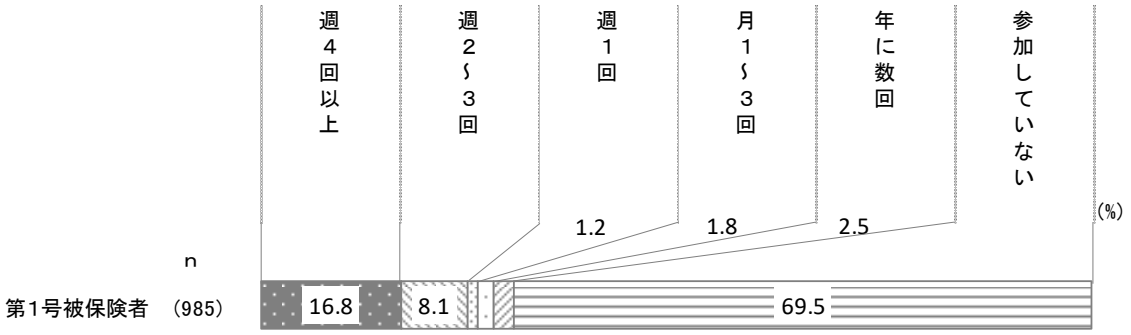
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		962	0.2	0.7	0.7	4.9	17.7	75.8
性・年代	男性 65 ～74歳	248	－	1.2	0.4	5.6	16.9	75.8
	男性 75 歳以上	194	－	1.0	1.0	9.3	24.2	64.4
	女性 65 ～74歳	286	－	－	0.7	2.8	15.4	81.1
	女性 75 歳以上	226	0.9	0.9	0.9	2.7	15.9	78.8
地区	江別地区	344	0.3	0.9	0.9	4.9	16.0	77.0
	野幌地区	368	0.3	0.3	0.5	4.3	18.5	76.1
	大麻地区	250	－	1.2	0.8	5.6	18.8	73.6
介護度	非認定	923	0.2	0.8	0.7	4.9	18.0	75.5
	要支援1・2	39	－	－	2.6	5.1	10.3	82.1

（８）収入のある仕事の参加頻度【第１号被保険者】

収入のある仕事の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 69.5%で最も多く、次いで「週４回以上」（16.8%）、「週２～３回」（8.1%）となっています。

＜図表 094＞　収入のある仕事の参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑧】



＜図表 095＞　収入のある仕事の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

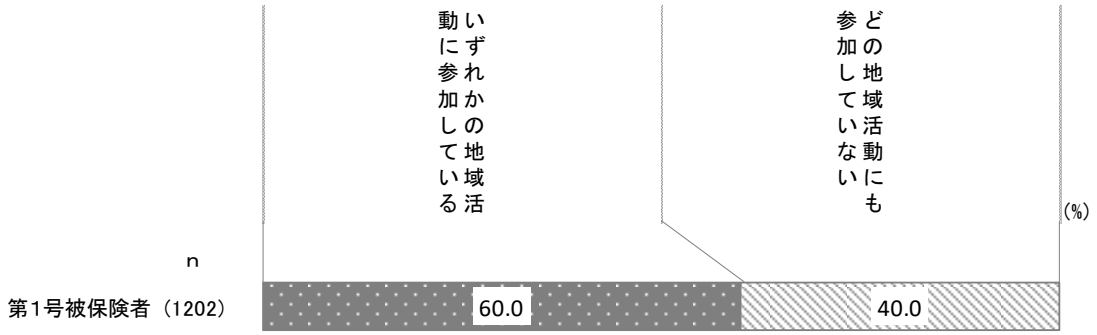
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
全　体		985	16.8	8.1	1.2	1.8	2.5	69.5
性・年代	男性 65 ～74歳	256	35.2	10.2	2.0	1.6	2.3	48.8
	男性 75 歳以上	197	8.6	9.1	0.5	4.1	5.1	72.6
	女性 65 ～74歳	297	16.5	10.1	1.7	1.7	1.7	68.4
	女性 75 歳以上	227	3.1	2.6	0.4	0.4	1.8	91.6
地区	江別地区	349	18.6	8.9	1.7	2.6	2.6	65.6
	野幌地区	381	17.8	8.4	0.8	1.3	2.6	69.0
	大麻地区	255	12.5	6.7	1.2	1.6	2.4	75.7
介護度	非認定	944	17.5	8.5	1.3	1.9	2.6	68.2
	要支援1・2	41	－	－	－	－	－	100.0

（９）地域活動への参加の有無【第１号被保険者】

地域活動への参加頻度を聞く項目①～⑧の全てに回答があった人について集計したところ、どれか一つでも「年に数回」以上の頻度で参加している≪いずれかの地域活動に参加している≫は 60.0%、全て「参加していない」と回答した≪どの地域活動にも参加していない≫は 40.0%となっています。性・年代別でみると、≪どの地域活動にも参加していない≫の割合は女性・75歳以上で 49.1%と最も高くなっています。

＜図表 096＞　地域活動への参加の有無【第１号被保険者　第５問１①～⑧】



＜図表 097＞　地域活動への参加の有無（性・年代別/地区別/要介護度別）

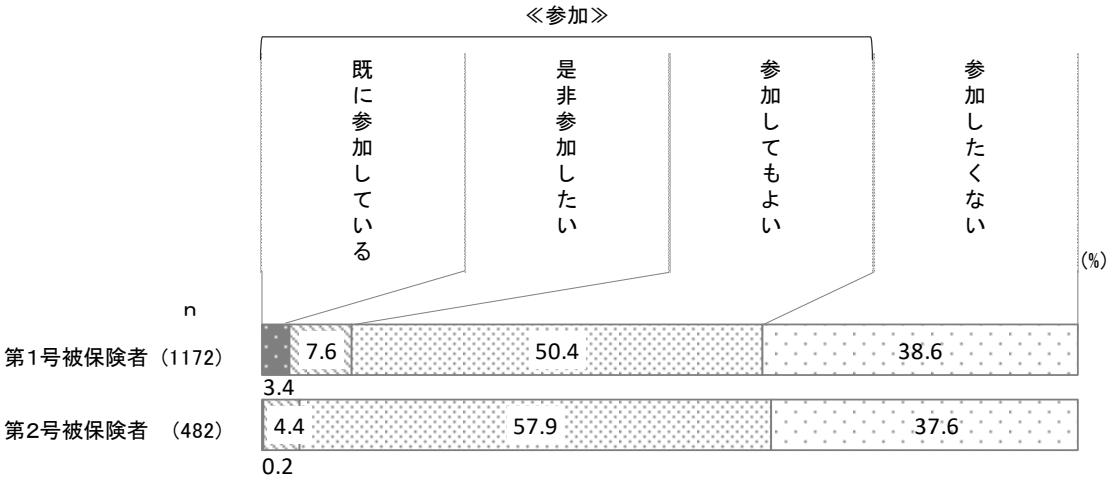
（単位:%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	いずれかの地域活動に参加している	どの地域活動にも参加していない
全　体		1202	60.0	40.0
性・年代	男性 65 ～74歳	271	68.3	31.7
	男性 75 歳以上	250	63.6	36.4
	女性 65 ～74歳	342	60.5	39.5
	女性 75 歳以上	322	50.9	49.1
地区	江別地区	432	59.7	40.3
	野幌地区	448	58.5	41.5
	大麻地区	322	62.4	37.6
介護度	非認定	1141	61.1	38.9
	要支援1・2	61	39.3	60.7

（10）地域づくりへの「参加者」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域づくりへの「参加者」としての参加意向を聞いたところ、「既に参加している」と「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 61.4%、第２号被保険者で 62.5%となっています。

＜図表 098＞　地域づくりへの「参加者」としての参加意向
【第１号被保険者　第５問２】【第２号被保険者　第７問３】



＜図表 099＞　地域づくりへの「参加者」としての参加意向（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全　体		1172	3.4	7.6	50.4	38.6	61.4
性・年代	男性 65 ～74歳	265	1.1	7.5	45.3	46.0	53.9
	男性 75 歳以上	247	4.0	6.5	52.2	37.2	62.7
	女性 65 ～74歳	337	3.3	7.4	54.9	34.4	65.6
	女性 75 歳以上	308	4.5	8.8	48.4	38.3	61.7
地区	江別地区	425	2.6	5.9	54.4	37.2	62.9
	野幌地区	435	3.4	8.5	49.7	38.4	61.6
	大麻地区	312	4.5	8.7	46.2	40.7	59.4
介護度	非認定	1115	3.4	7.3	50.8	38.6	61.5
	要支援1・2	57	3.5	14.0	43.9	38.6	61.4

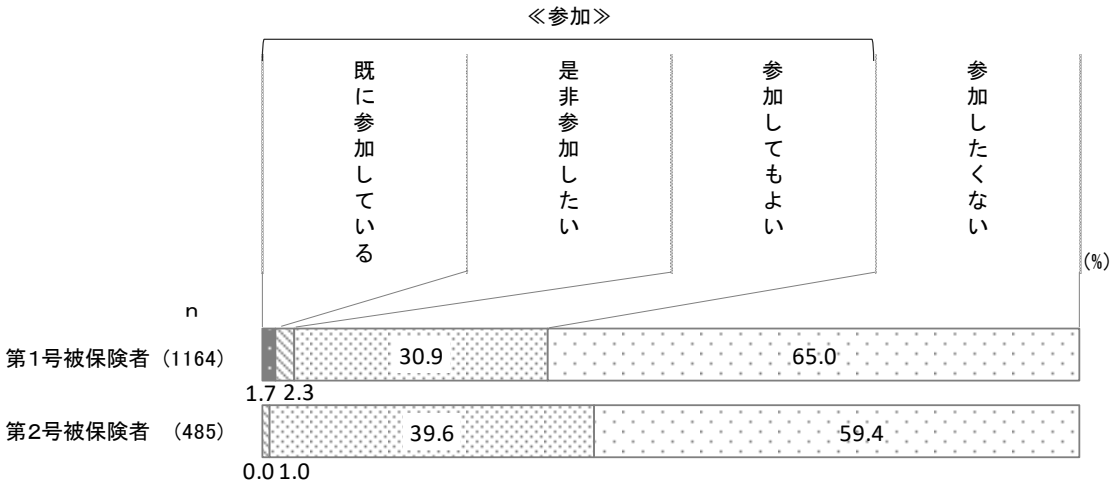
（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全　体		482	0.2	4.4	57.9	37.6	62.5
性・年代	男性 40 代	54	－	1.9	66.7	31.5	68.6
	男性 50 代	65	－	3.1	56.9	40.0	60.0
	男性 60 歳以上	56	1.8	3.6	50.0	44.6	55.4
	女性 40 代	74	－	2.7	62.2	35.1	64.9
	女性 50 代	144	－	5.6	63.2	31.3	68.8
	女性 60 歳以上	77	－	5.2	48.1	46.8	53.3
地区	江別地区	183	－	4.9	62.8	32.2	67.7
	野幌地区	166	－	4.2	53.0	42.8	57.2
	大麻地区	130	0.8	3.8	57.7	37.7	62.3

（11）地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向を聞いたところ、「既に参加している」と「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 34.9%、第２号被保険者で 40.6%となっています。

＜図表 100＞　地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向
【第１号被保険者　第５問３】【第２号被保険者　第７問４】



＜図表 101＞　地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向

（性・年代別/地区別/要介護度別/「参加者」としての参加意向別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全　体		1164	1.7	2.3	30.9	65.0	34.9
性・年代	男性 65 ～74歳	265	0.8	2.6	31.7	64.9	35.1
	男性 75 歳以上	242	2.1	4.5	38.0	55.4	44.6
	女性 65 ～74歳	339	1.8	2.1	28.9	67.3	32.8
	女性 75 歳以上	303	2.0	0.7	26.1	71.3	28.8
地区	江別地区	426	0.9	1.9	32.2	65.0	35.0
	野幌地区	429	1.9	2.6	31.7	63.9	36.2
	大麻地区	309	2.6	2.6	28.2	66.7	33.4
介護度	非認定	1109	1.8	2.3	31.4	64.5	35.5
	要支援1・2	55	－	1.8	21.8	76.4	23.6
参加者としての参加意向	是非参加したい	86	－	23.3	43.0	33.7	66.3
	参加してもよい	587	0.9	0.3	51.3	47.5	52.5
	参加したくない	449	－	0.9	2.4	96.7	3.3
	既に参加している	39	38.5	2.6	28.2	30.8	69.3

（単位：%）

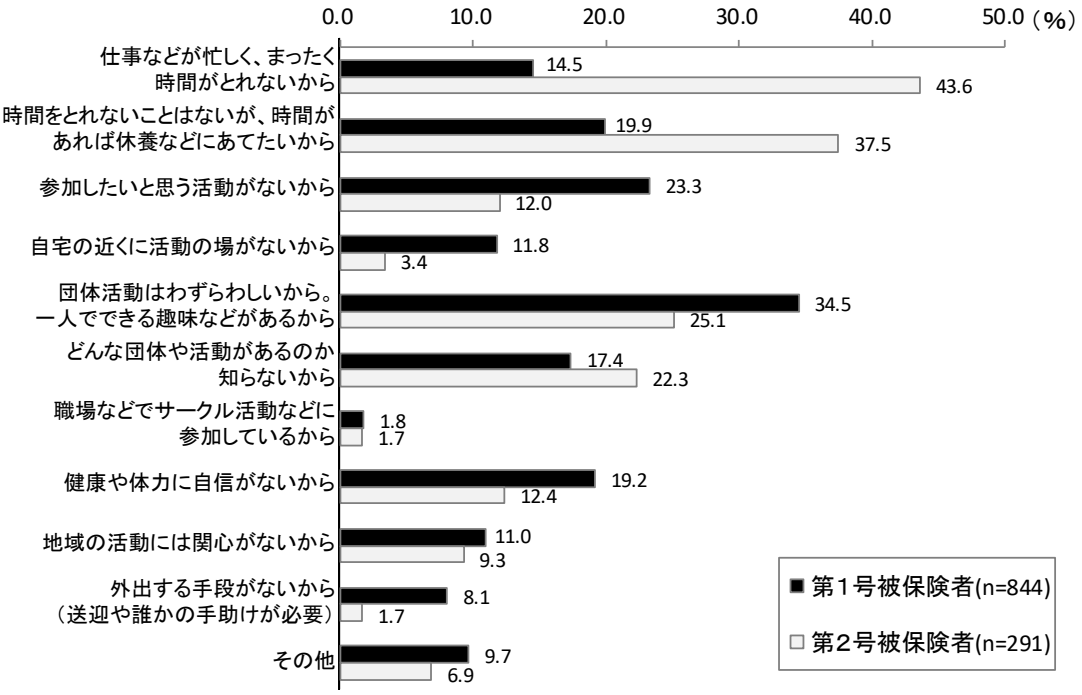
<第2号被保険者調査>		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全　体		485	－	1.0	39.6	59.4	40.6
性・年代	男性 40 代	54	－	1.9	46.3	51.9	48.2
	男性 50 代	66	－	－	39.4	60.6	39.4
	男性 60 歳以上	57	－	－	42.1	57.9	42.1
	女性 40 代	74	－	1.4	37.8	60.8	39.2
	女性 50 代	144	－	1.4	41.0	57.6	42.4
	女性 60 歳以上	78	－	1.3	33.3	65.4	34.6
地区	江別地区	182	－	0.5	40.7	58.8	41.2
	野幌地区	169	－	1.8	34.9	63.3	36.7
	大麻地区	131	－	0.8	44.3	55.0	45.1
参加者としての参加意向	是非参加したい	21	－	14.3	71.4	14.3	85.7
	参加してもよい	277	－	0.7	60.3	39.0	61.0
	参加したくない	181	－	－	3.9	96.1	3.9
	既に参加している	1	－	－	100.0	－	100.0

（12）参加したくない理由【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域づくりへの「参加者」としての参加意向または地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向で「参加したくない」と回答した人に、参加したくない理由を聞いたところ、第１号被保険者では「団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから」が 34.5%で最も多く、第２号被保険者では「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が 43.6%で最も多くなっています。

＜図表 102＞　参加したくない理由（複数回答）

【第１号被保険者　第５問４】【第２号被保険者　第７問５】

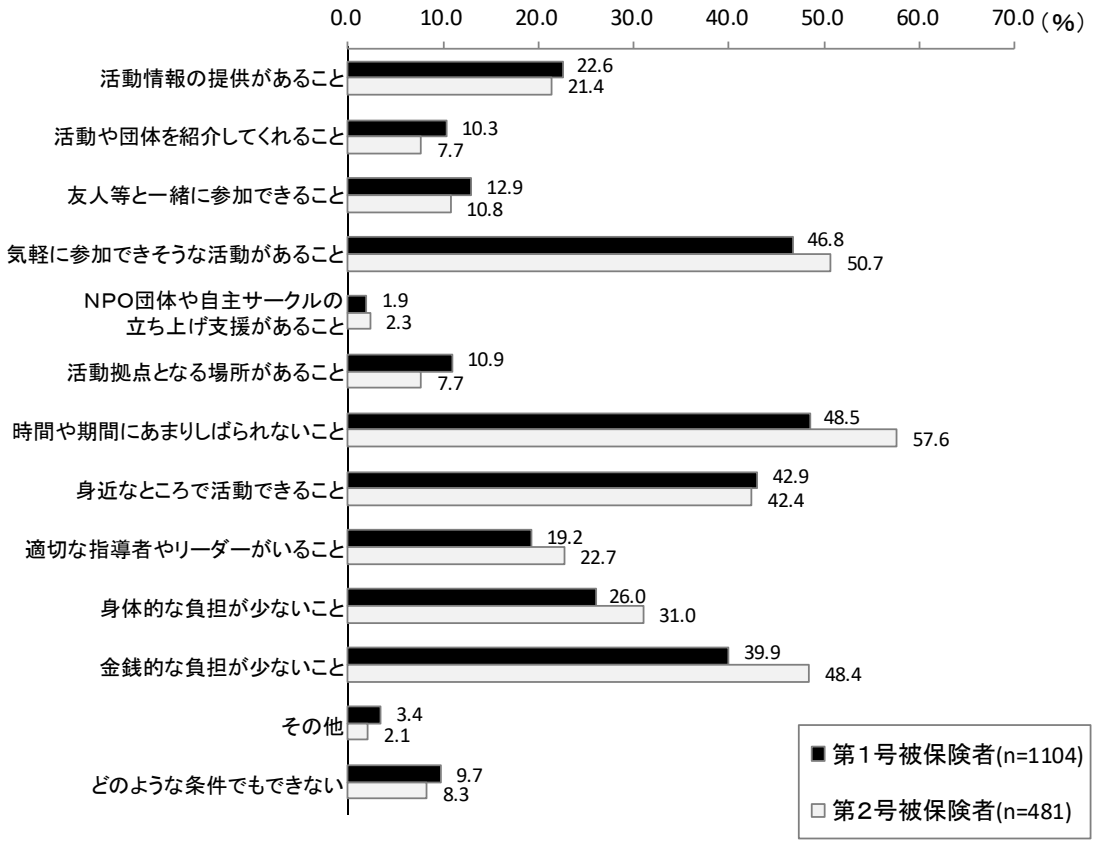


（13）参加・活動しやすい条件【第１号被保険者】【第２号被保険者】

参加・活動しやすい条件を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「時間や期間にあまりしばられないこと」が最も多く、それぞれ 48.5%、57.6%となっています。

＜図表 103＞　参加・活動しやすい条件（複数回答）

【第１号被保険者　第５問５】【第２号被保険者　第７問６】



(14) 現在の就労状況

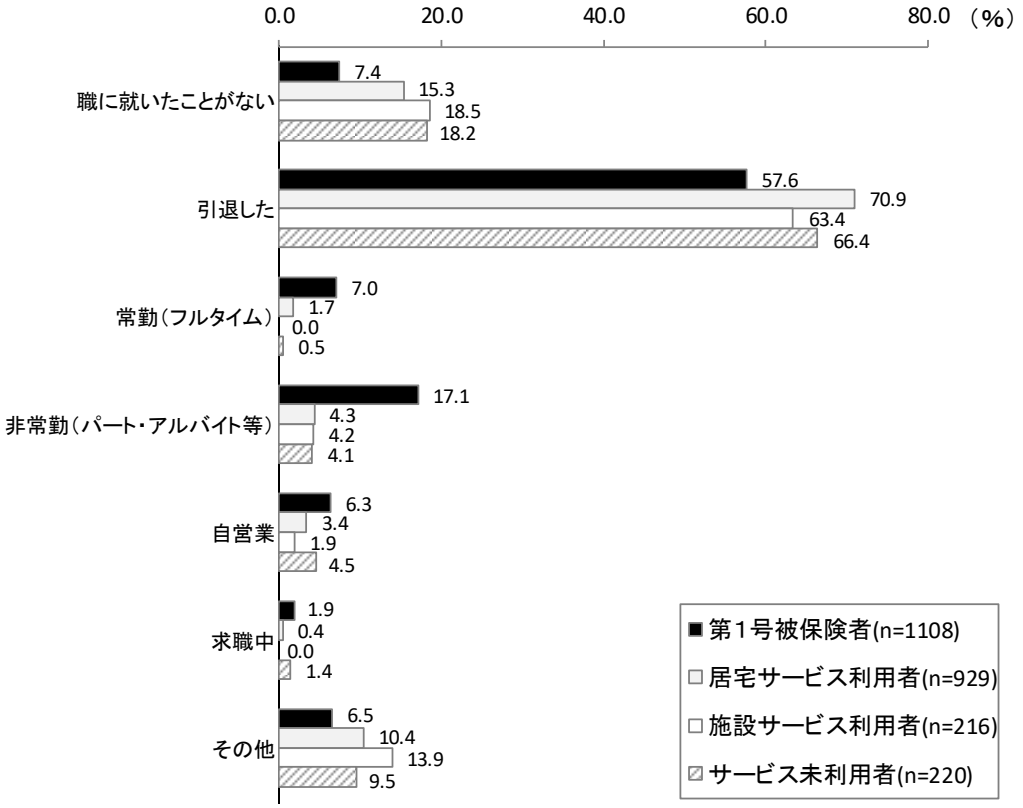
【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

現在の就労状況を聞いたところ、全ての調査において「引退した」が最も多く、第１号被保険者で 57.6%、居宅サービス利用者で 70.9%、施設サービス利用者で 63.4%、サービス未利用者で 66.4%となっています。

＜図表 104＞　現在の就労状況（複数回答）

【第１号被保険者　第６問１】【居宅サービス利用者　第４問１】

【施設サービス利用者　第４問１】【サービス未利用者　第４問１】



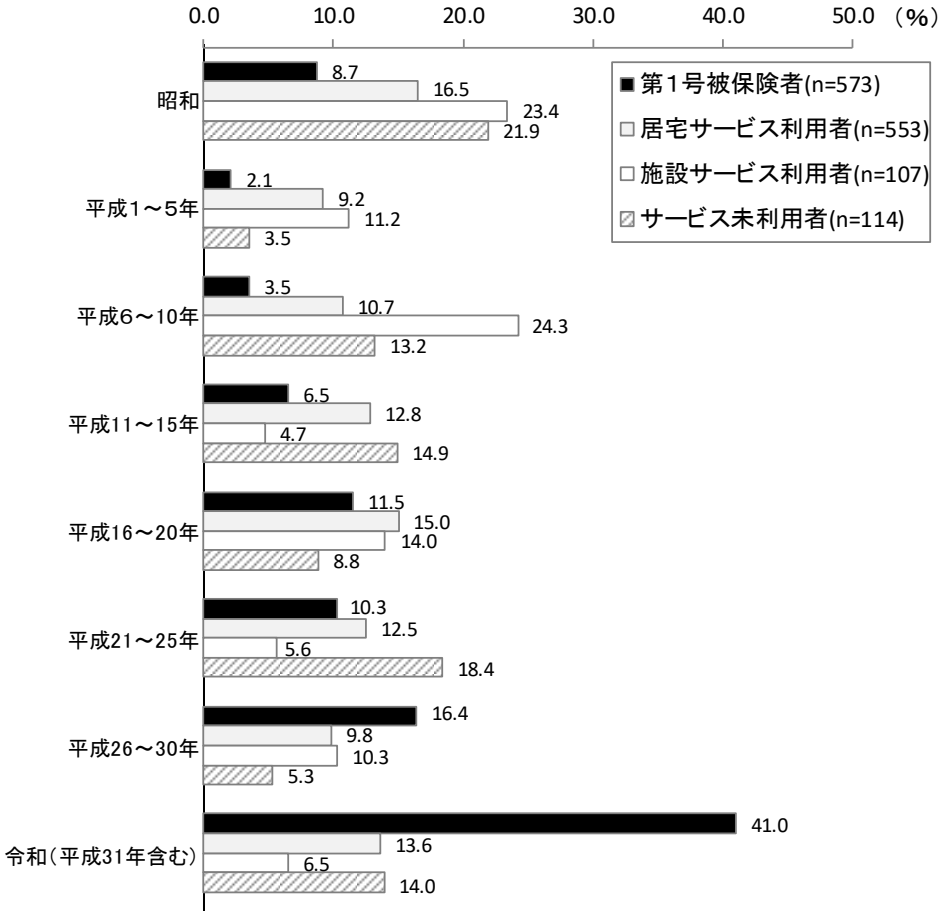
(15) 引退時期

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

引退時期を聞いたところ、第１号被保険者では「令和（平成 31 年含む）」が 41.0%、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「昭和」が、それぞれ 16.5%、21.9%、施設サービス利用者では「平成６～10 年」が 24.3%となっています。

＜図表 105＞　引退時期（複数回答）

【第１号被保険者　第６問１－１】【居宅サービス利用者　第４問１－１】
【施設サービス利用者　第４問１－１】【サービス未利用者　第４問１－１】



(16) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

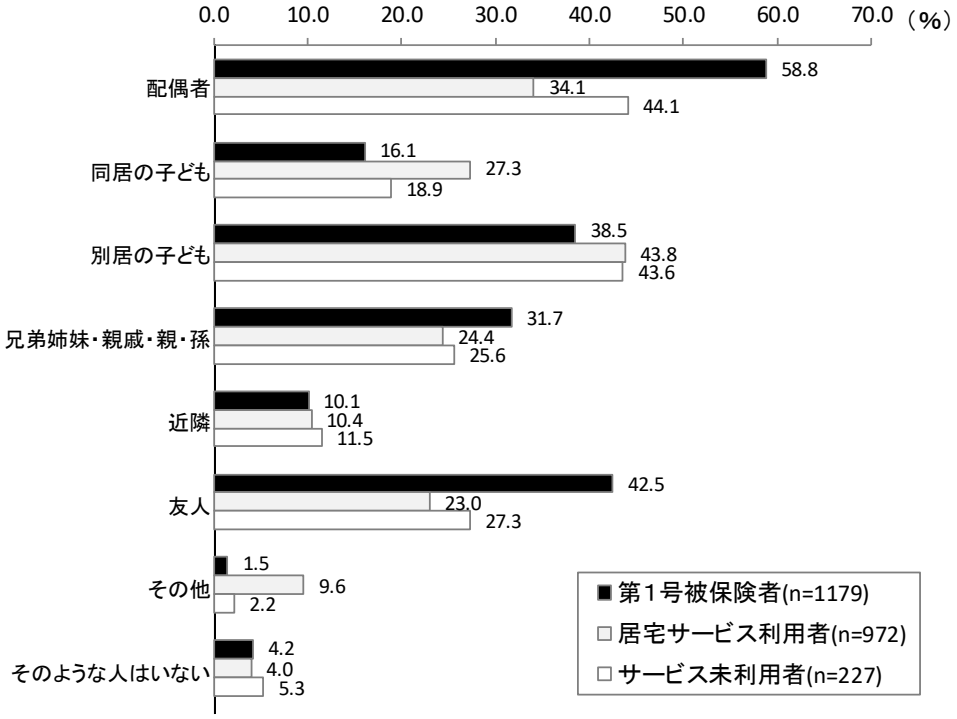
【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

心配事や愚痴を聞いてくれる人を聞いたところ、第１号被保険者、サービス未利用者では「配偶者」がそれぞれ 58.8%、44.1%で最も多く、居宅サービス利用者では「別居の子ども」が 43.8%で最も多くなっています。

＜図表 106＞　心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）

【第１号被保険者　第７問１】【居宅サービス利用者　第５問１】

【サービス未利用者　第５問１】



＜図表 107＞　心配事や愚痴を聞いてくれる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		1179	58.8	16.1	38.5	31.7	10.1	42.5	1.5	4.2
性・年代	男性 65 ～74歳	266	78.2	5.6	26.3	15.8	3.8	32.0	2.3	7.1
	男性 75 歳以上	244	75.0	12.7	34.8	20.5	6.1	28.3	0.4	4.5
	女性 65 ～74歳	340	54.7	17.1	46.5	44.7	11.2	57.9	1.8	3.2
	女性 75 歳以上	314	34.7	26.8	42.7	40.1	17.5	46.5	1.6	2.5
家族構成	一人暮らし	214	0.9	1.4	42.1	45.8	17.3	47.2	2.3	14.0
	夫婦のみ	637	84.5	2.2	43.3	25.1	8.3	39.9	1.1	1.6
	同居その他	320	46.3	52.5	26.6	35.6	9.1	45.0	1.9	2.8
地区	江別地区	428	59.6	17.3	39.5	30.4	12.1	42.5	0.7	3.5
	野幌地区	437	58.8	16.9	35.9	35.7	6.9	41.9	2.7	5.5
	大麻地区	314	57.6	13.4	40.8	28.0	11.8	43.3	1.0	3.2
介護度	非認定	1119	60.2	16.1	38.3	32.0	10.1	43.2	1.5	4.1
	要支援1・2	60	31.7	16.7	41.7	26.7	10.0	30.0	1.7	5.0

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		972	34.1	27.3	43.8	24.4	10.4	23.0	9.6	4.0
性・年代	男性 40 ～64歳	7	57.1	14.3	－	57.1	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	40	80.0	7.5	32.5	40.0	7.5	27.5	15.0	－
	男性 75 歳以上	253	59.7	20.6	39.9	13.8	6.7	9.1	7.1	6.3
	女性 40 ～64歳	13	30.8	23.1	30.8	30.8	－	7.7	15.4	7.7
	女性 65 ～74歳	61	47.5	24.6	41.0	34.4	16.4	37.7	14.8	－
	女性 75 歳以上	545	17.6	32.1	47.9	26.8	12.5	27.7	9.4	3.1
家族構成	一人暮らし	310	1.3	1.6	64.2	33.2	18.4	34.2	10.6	5.8
	夫婦のみ	268	85.1	1.9	43.7	18.3	7.8	18.3	7.1	1.9
	同居その他	371	23.7	65.8	28.3	21.0	5.9	17.0	10.2	3.8
地区	江別地区	347	33.1	30.5	42.1	24.2	9.2	18.2	9.2	4.9
	野幌地区	354	38.4	29.1	43.2	23.2	9.6	22.6	9.9	3.7
	大麻地区	253	29.6	19.8	48.2	26.1	12.6	30.4	9.5	2.4
介護度	要支援1・2	450	30.2	24.0	47.8	30.4	15.8	33.1	6.0	4.2
	要介護1・2	350	36.6	29.4	42.0	18.9	7.7	12.9	11.4	2.9
	要介護3～5	112	40.2	31.3	36.6	19.6	1.8	16.1	18.8	4.5

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		227	44.1	18.9	43.6	25.6	11.5	27.3	2.2	5.3
性・年代	男性 40 ～64歳	4	100.0	25.0	－	25.0	－	25.0	－	－
	男性 65 ～74歳	14	57.1	14.3	21.4	14.3	7.1	21.4	－	21.4
	男性 75 歳以上	73	57.5	21.9	38.4	20.5	8.2	13.7	－	4.1
	女性 40 ～64歳	5	60.0	20.0	20.0	60.0	－	40.0	－	－
	女性 65 ～74歳	9	44.4	11.1	22.2	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1
	女性 75 歳以上	108	31.5	18.5	55.6	30.6	13.0	35.2	2.8	3.7
家族構成	一人暮らし	66	1.5	1.5	54.5	25.8	15.2	37.9	1.5	12.1
	夫婦のみ	89	82.0	1.1	48.3	25.8	10.1	19.1	－	1.1
	同居その他	68	33.8	60.3	25.0	25.0	10.3	26.5	5.9	4.4
地区	江別地区	68	44.1	22.1	35.3	29.4	16.2	30.9	1.5	4.4
	野幌地区	89	43.8	21.3	42.7	25.8	10.1	27.0	2.2	5.6
	大麻地区	67	41.8	13.4	50.7	19.4	9.0	25.4	3.0	6.0
介護度	要支援1・2	137	40.1	19.0	49.6	29.2	13.1	29.2	1.5	5.1
	要介護1・2	37	70.3	29.7	40.5	24.3	2.7	10.8	2.7	2.7
	要介護3～5	16	43.8	25.0	31.3	6.3	6.3	18.8	－	6.3

（17）心配事や愚痴を聞いてあげる人

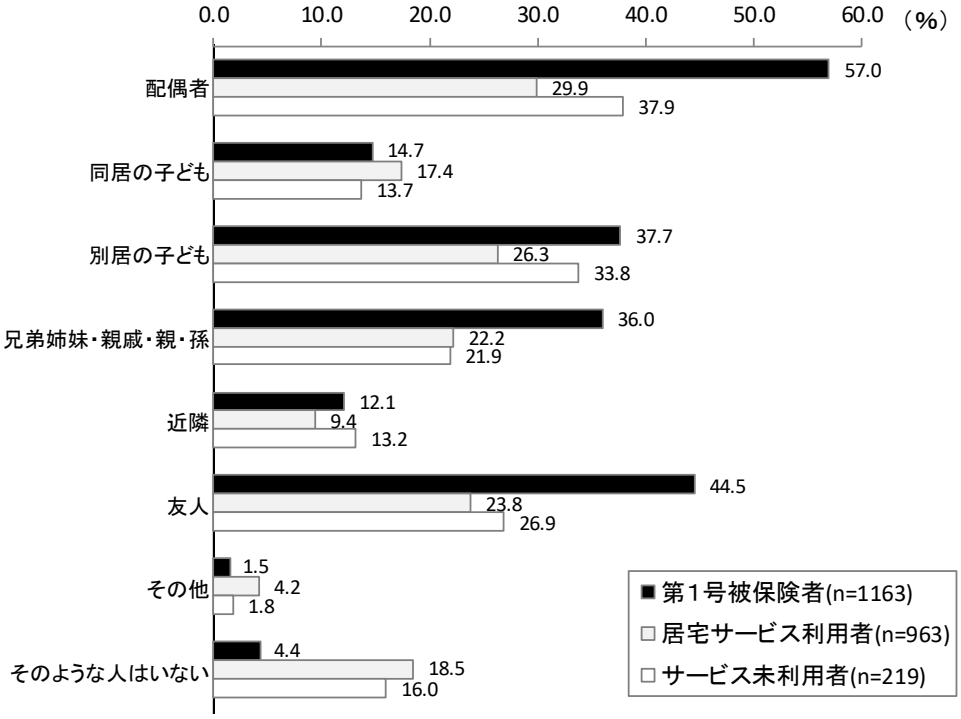
【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

心配事や愚痴を聞いてあげる人を聞いたところ、全ての調査において「配偶者」が最も多く、第１号被保険者で 57.0%、居宅サービス利用者で 29.9%、サービス未利用者で 37.9%となっています。

＜図表 108＞　心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答）

【第１号被保険者　第７問２】【居宅サービス利用者　第５問２】

【サービス未利用者　第５問２】



＜図表 109＞　心配事や愚痴を聞いてあげる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		1163	57.0	14.7	37.7	36.0	12.1	44.5	1.5	4.4
性・年代	男性 65 ～74歳	267	76.8	7.5	30.0	22.8	5.2	29.6	2.6	5.6
	男性 75 歳以上	243	74.9	12.8	35.8	25.1	9.5	30.9	0.8	3.7
	女性 65 ～74歳	336	53.0	17.3	43.8	49.7	12.8	59.5	1.2	3.3
	女性 75 歳以上	303	30.7	19.8	39.6	41.6	19.5	52.5	1.7	5.0
家族構成	一人暮らし	208	0.5	－	36.5	46.6	15.9	51.0	2.9	11.5
	夫婦のみ	630	81.7	2.5	44.9	30.6	11.0	41.1	0.8	2.5
	同居その他	317	45.4	47.6	24.3	39.7	11.7	47.6	2.2	3.5
地区	江別地区	418	58.1	15.8	38.8	33.0	13.9	45.0	1.2	4.1
	野幌地区	437	57.0	15.8	36.8	39.1	9.4	42.3	1.8	4.1
	大麻地区	308	55.5	11.7	37.7	35.7	13.6	47.1	1.6	5.2
介護度	非認定	1104	58.4	14.9	38.2	36.4	12.4	44.7	1.5	4.1
	要支援1・2	59	30.5	10.2	28.8	28.8	6.8	40.7	1.7	10.2

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		963	29.9	17.4	26.3	22.2	9.4	23.8	4.2	18.5
性・年代	男性 40 ～64歳	7	28.6	－	－	42.9	－	－	－	28.6
	男性 65 ～74歳	42	71.4	7.1	23.8	26.2	7.1	23.8	2.4	11.9
	男性 75 歳以上	251	51.4	11.6	25.5	13.9	5.6	9.6	2.8	22.3
	女性 40 ～64歳	12	41.7	8.3	8.3	41.7	－	8.3	8.3	16.7
	女性 65 ～74歳	61	44.3	16.4	29.5	26.2	11.5	36.1	8.2	9.8
	女性 75 歳以上	538	14.9	21.0	28.1	25.3	11.2	29.2	4.6	18.6
家族構成	一人暮らし	307	1.3	1.6	37.1	29.0	17.9	36.8	3.3	20.2
	夫婦のみ	266	75.9	2.3	29.7	18.0	4.9	16.9	2.3	13.2
	同居その他	368	19.6	41.0	14.9	19.6	5.4	17.7	5.7	21.2
地区	江別地区	341	30.2	19.1	25.2	23.2	8.2	20.5	4.4	21.7
	野幌地区	352	33.5	18.2	25.3	20.2	9.7	21.3	3.7	17.3
	大麻地区	252	25.0	14.7	29.0	24.6	10.7	31.3	4.4	15.5
介護度	要支援1・2	445	27.0	16.2	31.7	28.3	13.9	34.2	2.9	12.6
	要介護1・2	345	31.0	17.1	23.2	18.0	5.8	15.1	6.1	22.9
	要介護3～5	112	38.4	20.5	17.9	13.4	3.6	8.9	4.5	25.9

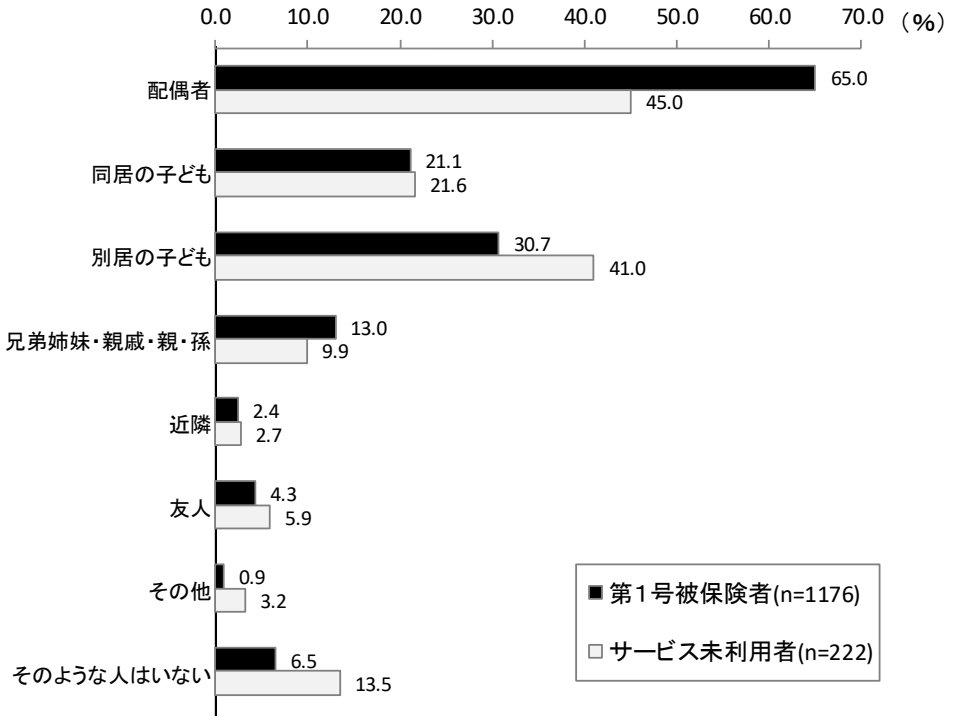
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		219	37.9	13.7	33.8	21.9	13.2	26.9	1.8	16.0
性・年代	男性 40 ～64歳	4	75.0	25.0	－	－	－	25.0	－	－
	男性 65 ～74歳	14	57.1	21.4	14.3	14.3	7.1	14.3	－	28.6
	男性 75 歳以上	71	52.1	14.1	32.4	18.3	11.3	12.7	－	14.1
	女性 40 ～64歳	5	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	－	－
	女性 65 ～74歳	9	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	44.4	－	33.3
	女性 75 歳以上	103	25.2	11.7	40.8	27.2	13.6	35.9	2.9	14.6
家族構成	一人暮らし	60	－	1.7	33.3	26.7	16.7	38.3	1.7	26.7
	夫婦のみ	89	67.4	－	43.8	19.1	10.1	20.2	－	11.2
	同居その他	66	31.8	43.9	18.2	21.2	13.6	25.8	4.5	13.6
地区	江別地区	66	37.9	16.7	21.2	21.2	16.7	28.8	1.5	19.7
	野幌地区	86	38.4	15.1	30.2	26.7	10.5	26.7	2.3	16.3
	大麻地区	64	35.9	9.4	50.0	15.6	14.1	26.6	1.6	12.5
介護度	要支援1・2	133	34.6	14.3	36.8	27.1	15.8	31.6	1.5	12.8
	要介護1・2	36	63.9	16.7	36.1	8.3	8.3	11.1	2.8	8.3
	要介護3～5	15	26.7	13.3	13.3	6.7	－	13.3	－	46.7

（18）看病や世話をしてくれる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】

看病や世話をしてくれる人を聞いたところ、第１号被保険者、サービス未利用者ともに「配偶者」が最も多く、それぞれ 65.0%、45.0%となっています。

＜図表 110＞　看病や世話をしてくれる人（複数回答）
【第１号被保険者　第７問３】【サービス未利用者　第５問３】



＜図表 111＞　看病や世話をしてくれる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		1176	65.0	21.1	30.7	13.0	2.4	4.3	0.9	6.5
性・年代	男性 65 ～74歳	267	83.1	11.2	18.0	8.2	0.4	1.5	0.4	7.5
	男性 75 歳以上	246	78.9	15.4	30.5	7.7	1.6	1.6	1.2	4.1
	女性 65 ～74歳	339	64.9	23.0	30.7	18.6	2.4	6.8	0.3	5.3
	女性 75 歳以上	311	39.5	32.2	40.8	15.4	4.8	6.4	1.9	8.0
家族構成	一人暮らし	210	1.4	1.9	50.0	26.2	6.7	13.3	2.4	26.7
	夫婦のみ	638	93.3	3.1	31.7	7.1	1.3	2.4	0.5	1.9
	同居その他	321	50.5	68.2	16.2	16.2	1.9	2.5	0.9	2.5
地区	江別地区	426	65.3	24.2	32.9	12.0	2.6	4.2	0.5	5.2
	野幌地区	438	66.0	21.5	27.2	15.8	1.8	3.9	1.1	6.6
	大麻地区	312	63.1	16.3	32.7	10.6	2.9	5.1	1.3	8.0
介護度	非認定	1119	66.5	21.1	30.3	12.9	2.4	4.6	1.0	6.0
	要支援1・2	57	35.1	21.1	38.6	15.8	1.8	－	－	15.8

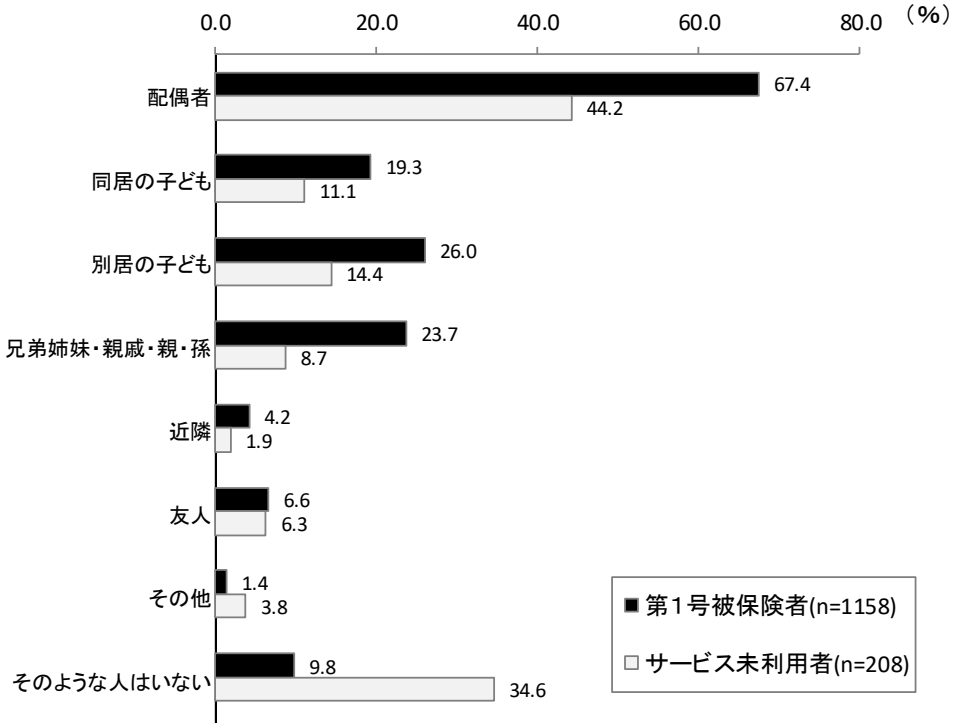
（単位:%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		222	45.0	21.6	41.0	9.9	2.7	5.9	3.2	13.5
性・年代	男性 40 ～64歳	4	100.0	50.0	25.0	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	14	57.1	21.4	21.4	14.3	－	7.1	－	28.6
	男性 75 歳以上	70	62.9	25.7	28.6	11.4	4.3	2.9	－	8.6
	女性 40 ～64歳	5	60.0	20.0	20.0	20.0	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	9	44.4	11.1	33.3	11.1	－	22.2	22.2	11.1
	女性 75 歳以上	106	30.2	19.8	52.8	8.5	2.8	6.6	3.8	15.1
家族構成	一人暮らし	63	－	1.6	50.8	12.7	7.9	12.7	6.3	33.3
	夫婦のみ	87	87.4	1.1	42.5	9.2	－	2.3	－	5.7
	同居その他	68	30.9	66.2	29.4	8.8	1.5	4.4	4.4	5.9
地区	江別地区	66	50.0	24.2	34.8	13.6	3.0	7.6	－	15.2
	野幌地区	88	40.9	27.3	36.4	8.0	1.1	3.4	3.4	14.8
	大麻地区	65	43.1	12.3	52.3	9.2	4.6	7.7	6.2	10.8
介護度	要支援1・2	135	42.2	23.0	45.2	11.1	3.0	5.9	1.5	11.1
	要介護1・2	37	64.9	27.0	35.1	5.4	2.7	2.7	2.7	8.1
	要介護3～5	16	43.8	25.0	31.3	6.3	－	6.3	12.5	12.5

（19）看病や世話をしてあげる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】

看病や世話をしてあげる人を聞いたところ、第１号被保険者、サービス未利用者ともに「配偶者」が最も多く、それぞれ 67.4%、44.2%となっています。

＜図表 112＞　看病や世話をしてあげる人（複数回答）
【第１号被保険者　第７問４】【サービス未利用者　第５問４】



＜図表 113＞　看病や世話をしてあげる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		1158	67.4	19.3	26.0	23.7	4.2	6.6	1.4	9.8
性・年代	男性 65 ～74歳	265	80.0	10.9	14.7	15.1	1.9	3.4	0.8	11.7
	男性 75 歳以上	241	79.7	14.9	21.6	13.3	2.5	3.3	－	9.1
	女性 65 ～74歳	337	69.1	22.3	37.1	41.5	3.6	9.2	0.6	3.9
	女性 75 歳以上	303	45.5	26.7	27.1	20.1	8.6	8.9	4.0	15.2
家族構成	一人暮らし	202	1.0	0.5	31.2	30.2	7.9	14.9	3.5	38.6
	夫婦のみ	631	95.2	3.0	28.5	18.2	3.3	4.3	0.6	2.7
	同居その他	317	54.9	62.5	18.0	30.6	3.8	6.0	1.6	5.4
地区	江別地区	418	66.3	21.1	26.8	22.7	4.1	6.2	1.4	11.5
	野幌地区	435	68.5	19.8	24.1	26.4	3.9	6.2	1.4	8.0
	大麻地区	305	67.5	16.1	27.5	21.3	4.9	7.5	1.3	10.2
介護度	非認定	1106	68.7	19.5	26.5	24.3	4.4	6.5	1.1	8.8
	要支援1・2	52	40.4	13.5	15.4	11.5	－	7.7	7.7	32.7

（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		208	44.2	11.1	14.4	8.7	1.9	6.3	3.8	34.6
性・年代	男性 40 ～64歳	4	75.0	25.0	－	－	－	－	－	25.0
	男性 65 ～74歳	14	50.0	14.3	7.1	－	－	－	－	42.9
	男性 75 歳以上	65	61.5	10.8	4.6	9.2	4.6	6.2	1.5	24.6
	女性 40 ～64歳	5	40.0	20.0	－	40.0	－	－	40.0	－
	女性 65 ～74歳	9	33.3	－	11.1	22.2	－	22.2	－	55.6
	女性 75 歳以上	98	32.7	10.2	22.4	6.1	1.0	5.1	4.1	39.8
家族構成	一人暮らし	57	－	－	19.3	7.0	5.3	12.3	5.3	63.2
	夫婦のみ	84	83.3	1.2	15.5	8.3	1.2	3.6	3.6	10.7
	同居その他	63	30.2	34.9	9.5	9.5	－	4.8	3.2	42.9
地区	江別地区	62	53.2	9.7	11.3	11.3	－	8.1	1.6	29.0
	野幌地区	84	39.3	16.7	15.5	9.5	2.4	4.8	7.1	34.5
	大麻地区	59	39.0	5.1	16.9	5.1	3.4	6.8	1.7	42.4
介護度	要支援1・2	129	44.2	10.9	16.3	9.3	3.1	5.4	2.3	31.8
	要介護1・2	34	50.0	14.7	5.9	8.8	－	2.9	11.8	29.4
	要介護3～5	15	26.7	6.7	6.7	－	－	6.7	－	66.7

（20）家族や友人・知人以外の相談相手

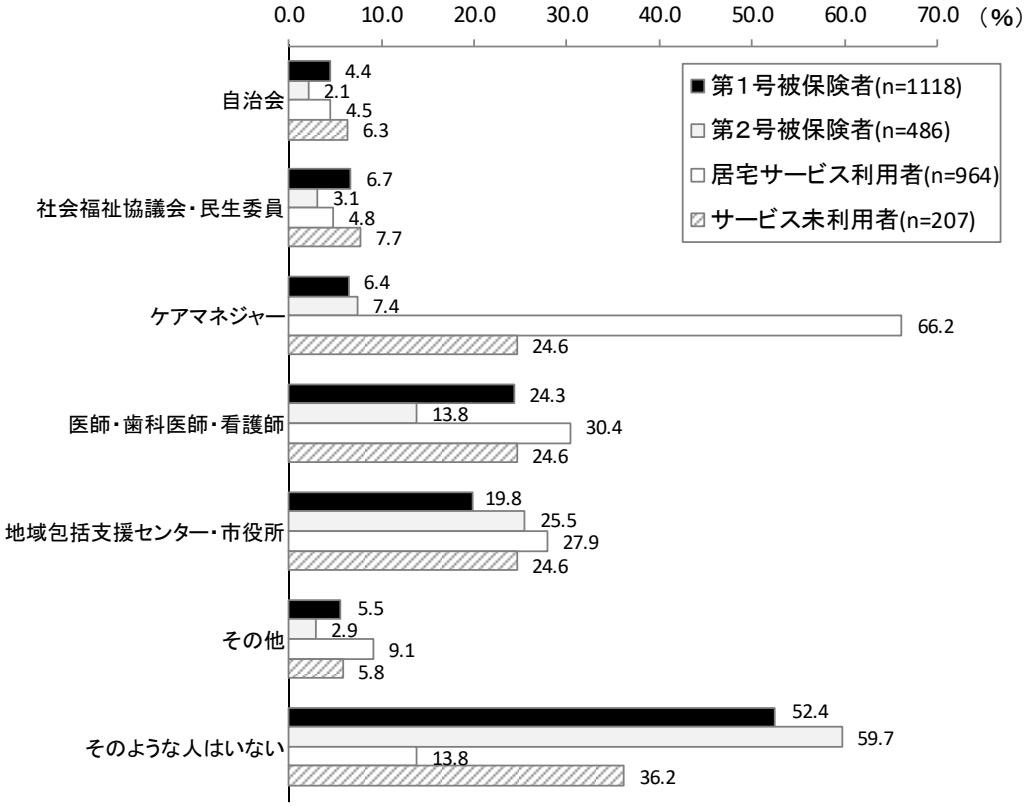
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

家族や友人・知人以外の相談相手を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者、サービス未利用者では「そのような人はいない」が最も多く、それぞれ 52.4%、59.7%、36.2%となっています。居宅サービス利用者では「ケアマネジャー」が最も多く、66.2%となっています。

＜図表 114＞　家族や友人・知人以外の相談相手（複数回答）

【第１号被保険者　第７問５】【第２号被保険者　第１問 12】

【居宅サービス利用者　第５問３】【サービス未利用者　第５問５】



＜図表 115＞　家族や友人・知人以外の相談相手（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		1118	4.4	6.7	6.4	24.3	19.8	5.5	52.4
性・年代	男性 65 ～74歳	261	4.2	3.8	2.7	23.0	12.6	6.1	60.9
	男性 75 歳以上	235	5.5	9.4	6.4	27.2	23.8	5.5	48.5
	女性 65 ～74歳	326	2.1	5.2	4.9	20.2	16.9	4.9	57.7
	女性 75 歳以上	283	5.3	8.5	12.0	27.6	26.5	5.3	42.4
家族構成	一人暮らし	208	5.8	11.5	7.2	18.3	21.2	4.3	54.3
	夫婦のみ	599	3.7	5.7	5.0	24.9	18.7	5.5	53.6
	同居その他	303	4.6	5.6	8.6	27.1	21.1	6.3	49.2
地区	江別地区	411	4.1	4.4	5.6	22.4	19.7	5.4	54.7
	野幌地区	409	3.2	8.1	6.1	21.8	19.3	6.4	52.6
	大麻地区	298	6.4	8.1	8.1	30.5	20.5	4.4	49.0
介護度	非認定	1060	4.4	6.5	4.4	23.8	18.1	5.4	54.2
	要支援1・2	58	3.4	10.3	43.1	34.5	50.0	6.9	19.0

（単位：%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		486	2.1	3.1	7.4	13.8	25.5	2.9	59.7
性・年代	男性 40 代	55	－	1.8	1.8	9.1	27.3	1.8	63.6
	男性 50 代	66	4.5	4.5	7.6	10.6	18.2	1.5	63.6
	男性 60 歳以上	56	－	－	12.5	14.3	21.4	1.8	64.3
	女性 40 代	76	5.3	3.9	6.6	21.1	22.4	5.3	56.6
	女性 50 代	145	0.7	4.1	6.9	13.1	22.8	3.4	62.8
	女性 60 歳以上	77	1.3	1.3	9.1	13.0	37.7	2.6	51.9
家族構成	一人暮らし	48	2.1	2.1	2.1	10.4	16.7	4.2	70.8
	夫婦のみ	135	0.7	1.5	8.9	13.3	31.1	1.5	55.6
	同居その他	295	2.4	3.4	7.5	14.6	24.1	3.4	59.7
地区	江別地区	182	2.7	2.7	7.7	14.3	29.1	1.6	58.8
	野幌地区	170	1.8	4.1	7.6	12.4	26.5	4.7	58.2
	大麻地区	132	1.5	2.3	6.8	15.2	18.9	2.3	62.9

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		964	4.5	4.8	66.2	30.4	27.9	9.1	13.8
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	16.7	83.3	－	33.3	16.7	16.7
	男性 65 ～74歳	41	7.3	2.4	63.4	36.6	22.0	14.6	19.5
	男性 75 歳以上	252	5.2	4.0	68.3	32.1	31.0	8.7	13.5
	女性 40 ～64歳	13	－	7.7	84.6	53.8	30.8	－	7.7
	女性 65 ～74歳	60	5.0	3.3	75.0	31.7	28.3	11.7	15.0
	女性 75 歳以上	539	4.1	5.2	64.7	28.2	25.0	8.5	14.1
家族構成	一人暮らし	311	5.5	9.3	68.2	27.7	29.6	10.9	11.3
	夫婦のみ	265	6.0	2.6	68.7	34.3	30.6	7.2	13.2
	同居その他	365	2.2	2.7	63.6	29.3	23.6	8.5	17.3
地区	江別地区	343	6.1	5.0	65.0	28.9	25.9	10.2	14.9
	野幌地区	348	3.4	4.6	69.0	29.6	27.0	8.0	13.5
	大麻地区	254	3.9	4.7	65.4	33.5	31.1	8.7	12.6
介護度	要支援1・2	442	5.0	6.6	60.4	30.8	42.5	6.6	13.3
	要介護1・2	348	4.0	2.9	74.4	23.9	13.8	10.6	14.4
	要介護3～5	114	6.1	2.6	69.3	43.9	9.6	15.8	16.7

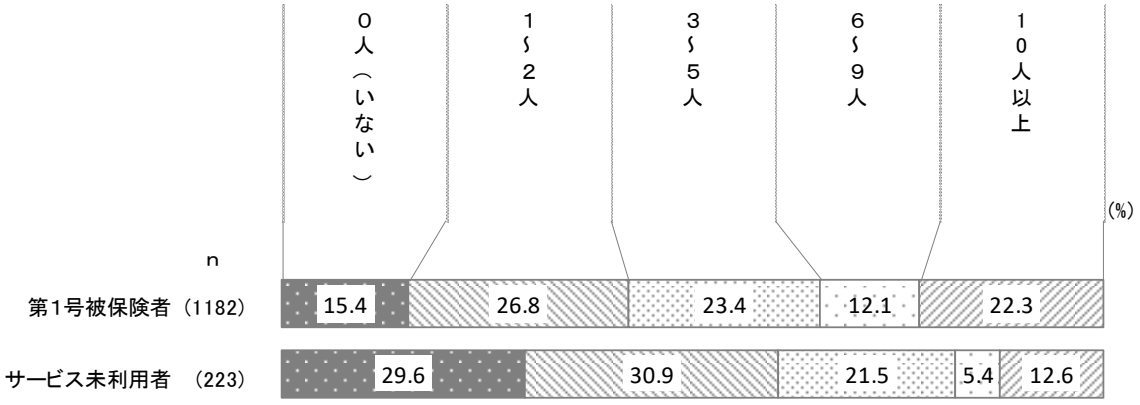
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		207	6.3	7.7	24.6	24.6	24.6	5.8	36.2
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	－	25.0	－	－	－	75.0
	男性 65 ～74歳	13	15.4	7.7	30.8	23.1	15.4	－	46.2
	男性 75 歳以上	68	5.9	8.8	33.8	23.5	35.3	4.4	27.9
	女性 40 ～64歳	5	－	－	－	20.0	－	－	80.0
	女性 65 ～74歳	7	14.3	－	－	57.1	－	28.6	14.3
	女性 75 歳以上	97	5.2	9.3	19.6	26.8	23.7	5.2	38.1
家族構成	一人暮らし	56	5.4	16.1	14.3	19.6	35.7	5.4	33.9
	夫婦のみ	83	6.0	7.2	31.3	22.9	24.1	3.6	38.6
	同居その他	64	7.8	1.6	23.4	31.3	15.6	9.4	37.5
地区	江別地区	64	9.4	6.3	29.7	29.7	28.1	6.3	29.7
	野幌地区	80	2.5	10.0	22.5	17.5	18.8	5.0	45.0
	大麻地区	60	8.3	6.7	21.7	28.3	28.3	6.7	33.3
介護度	要支援1・2	125	6.4	9.6	21.6	24.8	30.4	4.0	35.2
	要介護1・2	35	2.9	2.9	31.4	28.6	8.6	5.7	42.9
	要介護3～5	16	6.3	－	37.5	31.3	25.0	12.5	18.8

（21）１か月間に会った友人・知人の数【第１号被保険者】【サービス未利用者】

１か月間に会った友人・知人の数を聞いたところ、第１号被保険者、サービス未利用者ともに「１～２人」が最も多く、それぞれ 26.8%、30.9%となっています。

＜図表 116＞　１か月間に会った友人・知人の数
【第１号被保険者　第７問６】【サービス未利用者　第５問６】



＜図表 117＞１か月間に会った友人・知人の数（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上
全 体		1182	15.4	26.8	23.4	12.1	22.3
性・年代	男性 65 ～74歳	269	17.5	22.3	25.7	10.4	24.2
	男性 75 歳以上	245	15.9	26.1	24.1	11.4	22.4
	女性 65 ～74歳	338	15.1	29.6	21.3	13.6	20.4
	女性 75 歳以上	314	13.7	27.7	23.6	13.1	22.0
家族構成	一人暮らし	219	10.5	34.2	23.7	13.7	17.8
	夫婦のみ	635	15.6	25.2	24.3	12.4	22.5
	同居その他	320	18.1	24.4	22.2	10.6	24.7
地区	江別地区	428	16.6	27.3	21.7	12.4	22.0
	野幌地区	439	16.4	28.2	22.1	11.4	21.9
	大麻地区	315	12.4	24.1	27.6	12.7	23.2
介護度	非認定	1122	15.2	26.1	23.7	12.3	22.7
	要支援1・2	60	20.0	40.0	18.3	8.3	13.3

（単位:%）

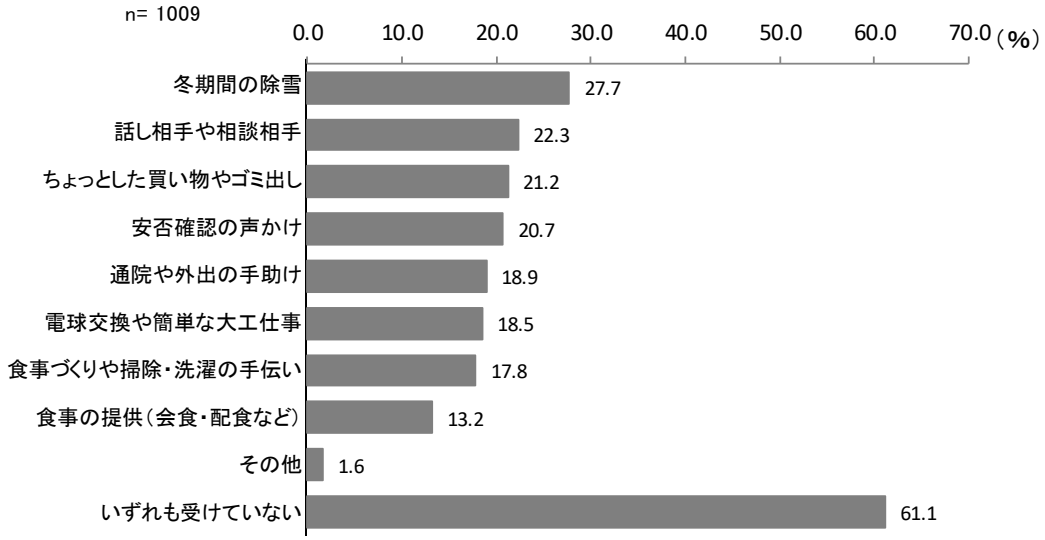
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上
全 体		223	29.6	30.9	21.5	5.4	12.6
性・年代	男性 40 ～64歳	4	75.0	25.0	－	－	－
	男性 65 ～74歳	14	50.0	14.3	14.3	－	21.4
	男性 75 歳以上	71	28.2	28.2	26.8	4.2	12.7
	女性 40 ～64歳	5	80.0	－	－	－	20.0
	女性 65 ～74歳	8	12.5	62.5	12.5	－	12.5
	女性 75 歳以上	107	24.3	35.5	21.5	7.5	11.2
家族構成	一人暮らし	64	20.3	29.7	32.8	6.3	10.9
	夫婦のみ	88	30.7	27.3	19.3	6.8	15.9
	同居その他	66	33.3	37.9	15.2	3.0	10.6
地区	江別地区	68	25.0	33.8	22.1	4.4	14.7
	野幌地区	87	35.6	26.4	20.7	5.7	11.5
	大麻地区	65	23.1	35.4	23.1	6.2	12.3
介護度	要支援1・2	134	24.6	33.6	23.9	5.2	12.7
	要介護1・2	37	40.5	32.4	13.5	2.7	10.8
	要介護3～5	16	37.5	31.3	18.8	－	12.5

６.手助けの状況

（１）受けている手助け【第１号被保険者】

受けている手助けを聞いたところ、「いずれも受けていない」が 61.1％で最も多く、次いで「冬期間の除雪」（27.7％）、「話し相手や相談相手」（22.3％）となっています。

＜図表 118＞　受けている手助け【第１号被保険者　第 10 問１Ａ】



＜図表 119＞　受けている手助け（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

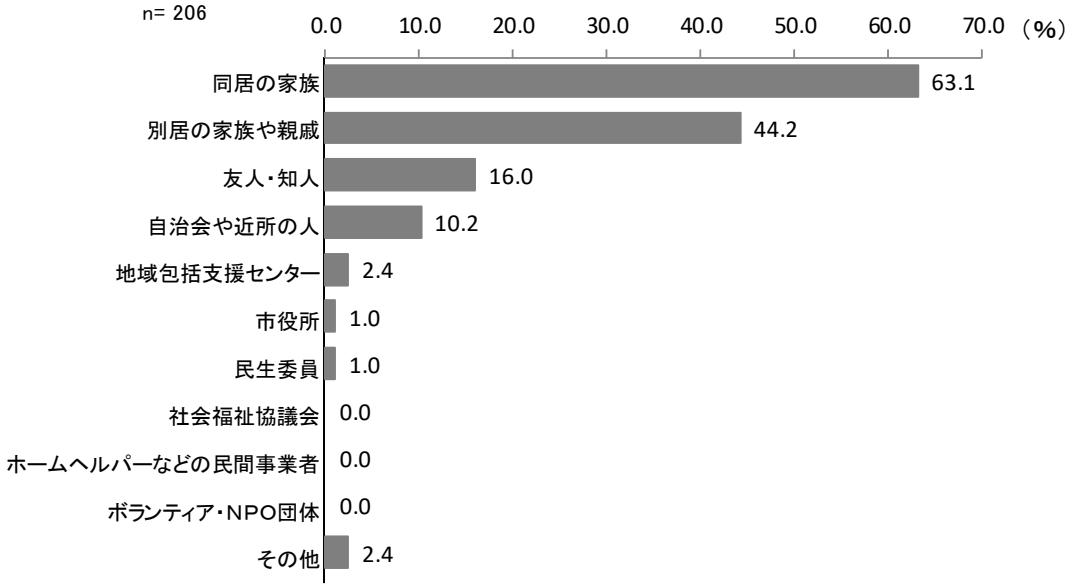
<第1号被保険者調査>		調査数（件）	冬期間の除雪	話し相手や相談相手	ちょっとした買い物やゴミ出し	安否確認の声かけ	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	その他	いずれも受けていない
全　体		1009	27.7	22.3	21.2	20.7	18.9	18.5	17.8	13.2	1.6	61.1
性・年代	男性 65 ～74歳	236	14.4	14.0	11.9	12.3	9.3	8.9	14.0	14.0	1.3	79.7
	男性 75 歳以上	205	27.8	23.9	24.4	23.9	20.0	14.6	24.9	21.0	1.5	58.5
	女性 65 ～74歳	298	24.2	19.1	17.4	14.4	15.1	18.5	10.7	7.0	0.3	65.8
	女性 75 歳以上	258	43.8	32.2	31.4	32.6	29.8	29.8	23.6	13.2	3.5	42.2
家族構成	一人暮らし	187	26.2	21.4	17.6	30.5	16.0	16.6	11.2	7.0	2.1	52.9
	夫婦のみ	535	25.0	21.3	19.6	17.6	16.3	17.4	17.8	13.8	0.9	65.0
	同居その他	281	33.5	24.6	26.3	20.3	25.3	22.1	22.4	16.0	2.5	59.4
地区	江別地区	364	26.9	23.6	20.6	22.0	21.2	18.4	17.3	14.3	1.4	61.3
	野幌地区	382	29.3	21.2	21.7	20.4	17.8	18.8	17.3	12.3	1.8	61.8
	大麻地区	263	26.2	22.1	21.3	19.4	17.5	18.3	19.4	12.9	1.5	60.1
介護度	非認定	955	25.9	20.7	19.4	19.4	17.1	17.7	15.8	12.7	1.6	63.5
	要支援1・2	54	59.3	50.0	53.7	44.4	51.9	33.3	53.7	22.2	1.9	20.4

（２）それぞれの手助けをしてくれる人【第１号被保険者】

○安否確認の声かけ

安否確認の声かけをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 63.1%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（44.2%）、「友人・知人」（16.0%）となっています。

＜図表 120＞　それぞれの手助けをしてくれる人（安否確認の声かけ）（複数回答）
【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 121＞　それぞれの手助けをしてくれる人（安否確認の声かけ）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

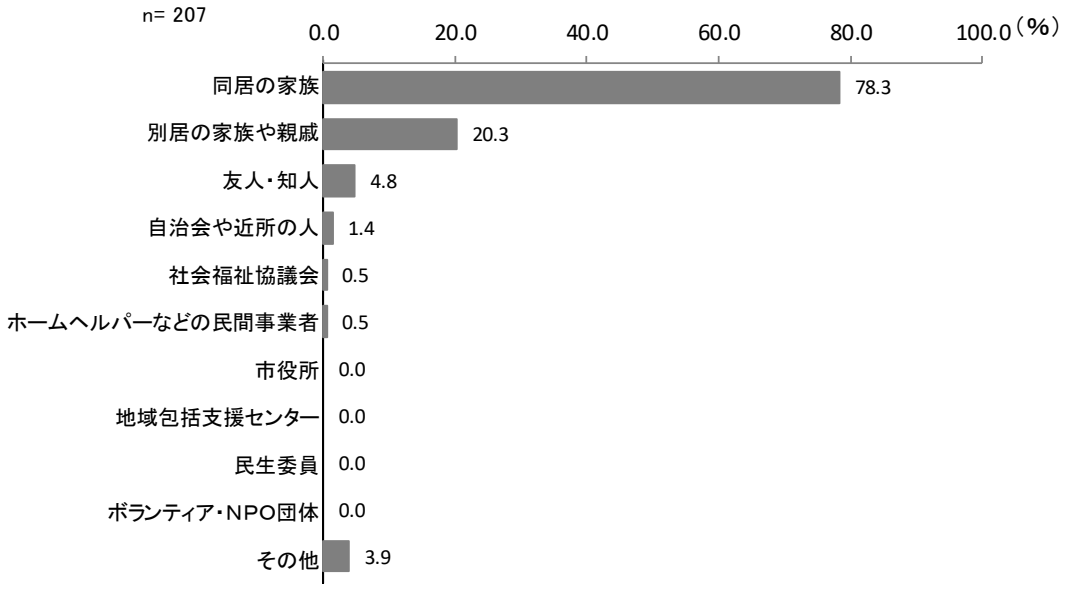
（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	地域包括支援センター	市役所	民生委員	社会福祉協議会	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		206	63.1	44.2	16.0	10.2	2.4	1.0	1.0	－	－	－	2.4
性・年代	男性 65 ～74歳	29	82.8	27.6	17.2	3.4	3.4	－	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	49	75.5	34.7	4.1	4.1	6.1	2.0	2.0	－	－	－	2.0
	女性 65 ～74歳	43	55.8	60.5	25.6	7.0	－	－	－	－	－	－	2.3
	女性 75 歳以上	81	53.1	48.1	18.5	16.0	1.2	1.2	1.2	－	－	－	3.7
家族構成	一人暮らし	57	5.3	73.7	26.3	17.5	3.5	－	1.8	－	－	－	5.3
	夫婦のみ	92	78.3	40.2	9.8	4.3	2.2	1.1	－	－	－	－	2.2
	同居その他	56	96.4	21.4	16.1	12.5	1.8	1.8	1.8	－	－	－	－
地区	江別地区	79	62.0	49.4	21.5	13.9	2.5	1.3	－	－	－	－	2.5
	野幌地区	76	64.5	43.4	17.1	5.3	1.3	1.3	1.3	－	－	－	1.3
	大麻地区	51	62.7	37.3	5.9	11.8	3.9	－	2.0	－	－	－	3.9
介護度	非認定	182	65.4	45.1	17.0	10.4	2.2	1.1	1.1	－	－	－	1.6
	要支援1・2	24	45.8	37.5	8.3	8.3	4.2	－	－	－	－	－	8.3

○ちょっとした買い物やゴミ出し

ちょっとした買い物やゴミ出しをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 78.3%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」(20.3%)、「友人・知人」(4.8%) となっています。

＜図表 122＞　それぞれの手助けをしてくれる人（ちょっとした買い物やゴミ出し）（複数回答）
【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 123＞　それぞれの手助けをしてくれる人（ちょっとした買い物やゴミ出し）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

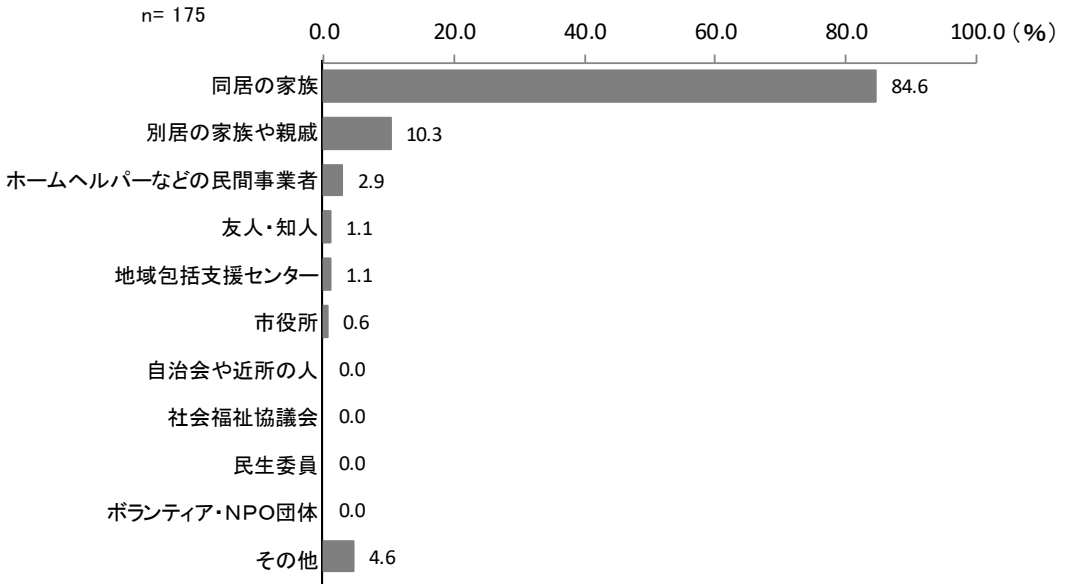
（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	社会福祉協議会	ホームヘルパーなどの民間事業者	市役所	地域包括支援センター	民生委員	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		207	78.3	20.3	4.8	1.4	0.5	0.5	－	－	－	－	3.9
性・年代	男性 65 ～74歳	27	92.6	7.4	3.7	3.7	－	－	－	－	－	－	3.7
	男性 75 歳以上	48	81.3	18.8	8.3	2.1	2.1	－	－	－	－	－	2.1
	女性 65 ～74歳	52	84.6	15.4	1.9	－	－	－	－	－	－	－	1.9
	女性 75 歳以上	77	67.5	28.6	5.2	1.3	－	1.3	－	－	－	－	6.5
家族構成	一人暮らし	31	3.2	74.2	22.6	3.2	－	3.2	－	－	－	－	9.7
	夫婦のみ	103	89.3	11.7	1.9	1.0	1.0	－	－	－	－	－	1.9
	同居その他	71	94.4	9.9	1.4	1.4	－	－	－	－	－	－	4.2
地区	江別地区	73	74.0	21.9	8.2	1.4	－	－	－	－	－	－	4.1
	野幌地区	79	77.2	21.5	2.5	－	1.3	1.3	－	－	－	－	3.8
	大麻地区	55	85.5	16.4	3.6	3.6	－	－	－	－	－	－	3.6
介護度	非認定	181	83.4	17.1	3.9	1.1	0.6	－	－	－	－	－	3.3
	要支援1・2	26	42.3	42.3	11.5	3.8	－	3.8	－	－	－	－	7.7

○食事づくりや掃除・洗濯の手伝い

食事づくりや掃除・洗濯の手伝いをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 84.6%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（10.3%）、「その他」（4.6%）となっています。

＜図表 124＞　それぞれの手助けをしてくれる人（食事づくりや掃除・洗濯の手伝い）（複数回答）
【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 125＞　それぞれの手助けをしてくれる人（食事づくりや掃除・洗濯の手伝い）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

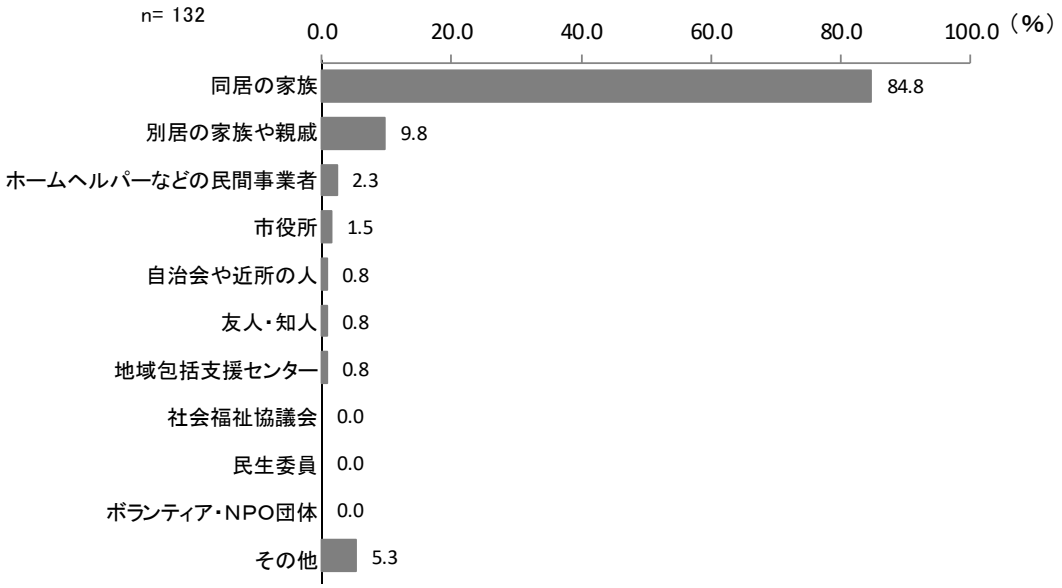
〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	ホームヘルパーなどの民間事業者	友人・知人	地域包括支援センター	市役所	自治会や近所の人	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		175	84.6	10.3	2.9	1.1	1.1	0.6	−	−	−	−	4.6
性・年代	男性 65 ～74歳	33	93.9	3.0	−	−	−	3.0	−	−	−	−	3.0
	男性 75 歳以上	50	88.0	12.0	2.0	2.0	−	−	−	−	−	−	−
	女性 65 ～74歳	32	87.5	9.4	−	−	−	−	−	−	−	−	6.3
	女性 75 歳以上	57	73.7	14.0	7.0	1.8	3.5	−	−	−	−	−	8.8
家族構成	一人暮らし	20	−	65.0	15.0	5.0	10.0	5.0	−	−	−	−	15.0
	夫婦のみ	95	93.7	4.2	1.1	1.1	−	−	−	−	−	−	3.2
	同居その他	59	98.3	1.7	1.7	−	−	−	−	−	−	−	3.4
地区	江別地区	62	83.9	9.7	1.6	−	−	−	−	−	−	−	6.5
	野幌地区	62	80.6	12.9	3.2	3.2	1.6	1.6	−	−	−	−	4.8
	大麻地区	51	90.2	7.8	3.9	−	2.0	−	−	−	−	−	2.0
介護度	非認定	149	90.6	6.0	1.3	0.7	−	0.7	−	−	−	−	4.0
	要支援1・2	26	50.0	34.6	11.5	3.8	7.7	−	−	−	−	−	7.7

○食事の提供（会食・配食など）

食事の提供をしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 84.8%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（9.8%）、「その他」（5.3%）となっています。

＜図表 126＞　それぞれの手助けをしてくれる人（食事の提供）（複数回答）

【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 127＞　食事の提供（会食・配食など）（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

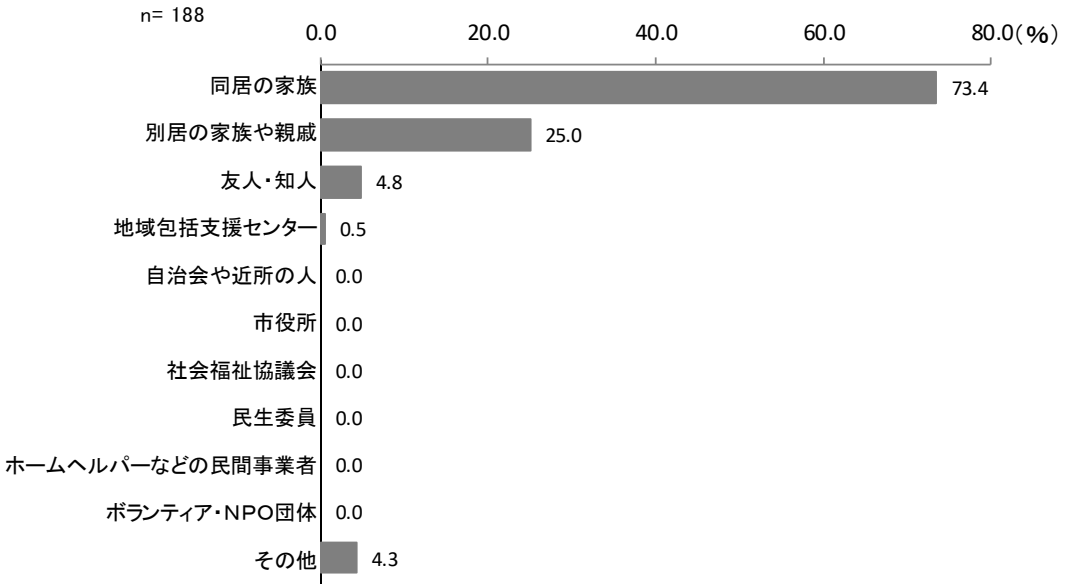
（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	ホームヘルパーなどの民間事業者	市役所	自治会や近所の人	友人・知人	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		132	84.8	9.8	2.3	1.5	0.8	0.8	0.8	－	－	－	5.3
性・年代	男性 65 ～74歳	33	93.9	3.0	－	3.0	－	－	－	－	－	－	3.0
	男性 75 歳以上	43	86.0	4.7	4.7	2.3	2.3	2.3	2.3	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	21	85.7	14.3	－	－	－	－	－	－	－	－	9.5
	女性 75 歳以上	33	72.7	21.2	3.0	－	－	－	－	－	－	－	12.1
家族構成	一人暮らし	13	－	46.2	7.7	7.7	7.7	7.7	－	－	－	－	23.1
	夫婦のみ	73	91.8	8.2	1.4	1.4	－	－	1.4	－	－	－	2.7
	同居その他	45	97.8	2.2	2.2	－	－	－	－	－	－	－	4.4
地区	江別地区	51	80.4	9.8	3.9	－	－	2.0	－	－	－	－	7.8
	野幌地区	47	83.0	12.8	－	4.3	－	－	2.1	－	－	－	6.4
	大麻地区	34	94.1	5.9	2.9	－	2.9	－	－	－	－	－	－
介護度	非認定	120	88.3	7.5	2.5	1.7	－	0.8	－	－	－	－	5.0
	要支援1・2	12	50.0	33.3	－	－	8.3	－	8.3	－	－	－	8.3

○通院や外出の手助け

通院や外出の手助けをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 73.4%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（25.0%）、「友人・知人」（4.8%）となっています。

＜図表 128＞　それぞれの手助けをしてくれる人（通院や外出の手助け）（複数回答）
【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 129＞　それぞれの手助けをしてくれる人（通院や外出の手助け）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

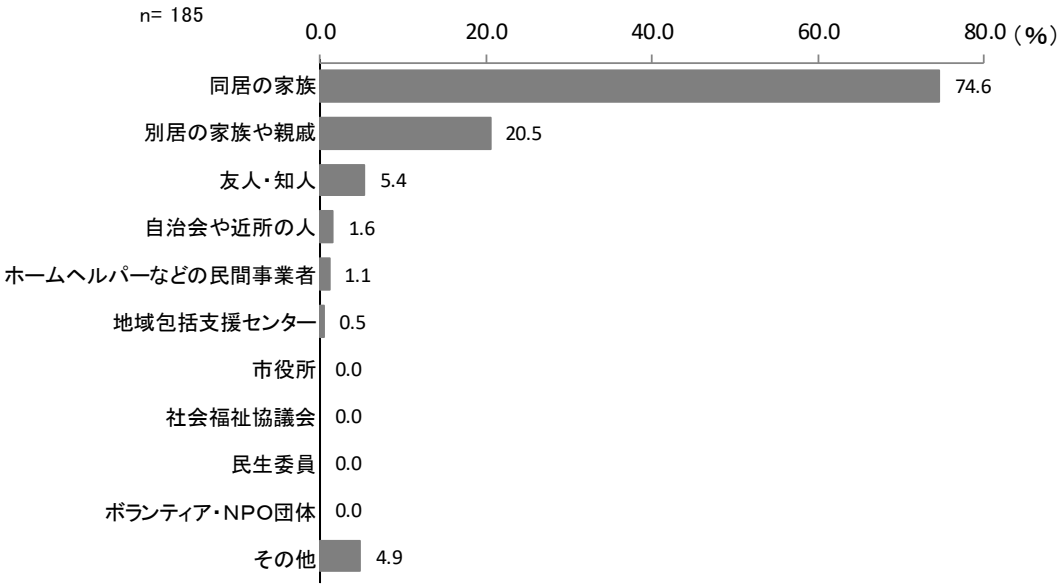
（単位:%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	地域包括支援センター	自治会や近所の人	市役所	社会福祉協議会	民生委員	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		188	73.4	25.0	4.8	0.5	－	－	－	－	－	－	4.3
性・年代	男性 65 ～74歳	22	90.9	4.5	－	－	－	－	－	－	－	－	9.1
	男性 75 歳以上	40	80.0	30.0	7.5	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	45	80.0	20.0	－	－	－	－	－	－	－	－	2.2
	女性 75 歳以上	75	62.7	28.0	8.0	1.3	－	－	－	－	－	－	6.7
家族構成	一人暮らし	29	3.4	72.4	17.2	3.4	－	－	－	－	－	－	10.3
	夫婦のみ	86	84.9	22.1	2.3	－	－	－	－	－	－	－	3.5
	同居その他	70	88.6	8.6	2.9	－	－	－	－	－	－	－	2.9
地区	江別地区	76	71.1	27.6	5.3	－	－	－	－	－	－	－	2.6
	野幌地区	66	69.7	24.2	4.5	1.5	－	－	－	－	－	－	4.5
	大麻地区	46	82.6	21.7	4.3	－	－	－	－	－	－	－	6.5
介護度	非認定	161	79.5	21.1	3.7	－	－	－	－	－	－	－	3.7
	要支援1・2	27	37.0	48.1	11.1	3.7	－	－	－	－	－	－	7.4

○電球交換や簡単な大工仕事

電球交換や簡単な大工仕事をしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 74.6%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」(20.5%)、「友人・知人」(5.4%) となっています。

＜図表 130＞　それぞれの手助けをしてくれる人（電球交換や簡単な大工仕事）（複数回答）
【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 131＞　それぞれの手助けをしてくれる人（電球交換や簡単な大工仕事）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

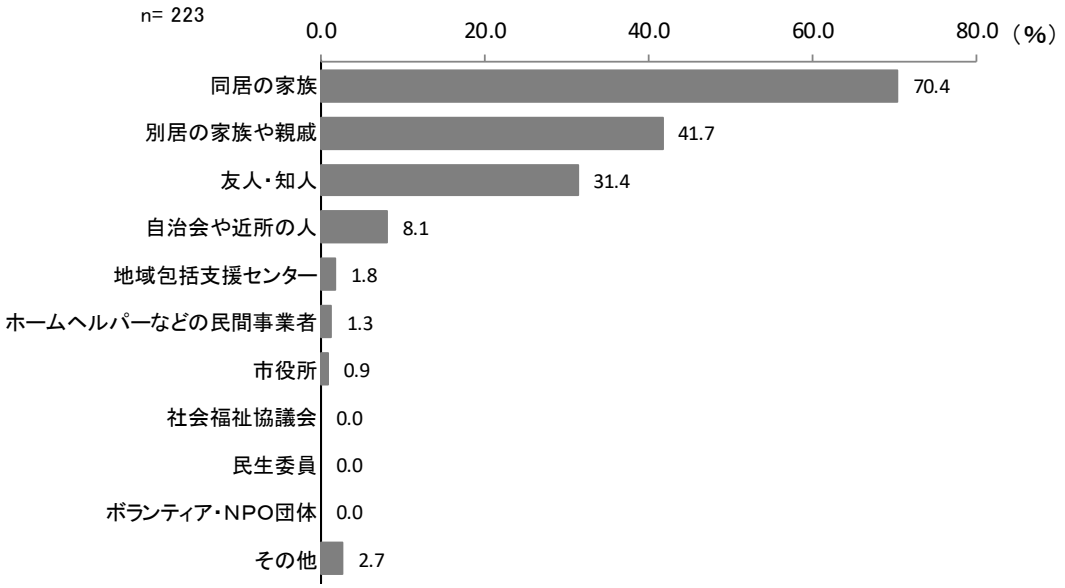
（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	ホームヘルパーなどの民間事業者	地域包括支援センター	市役所	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		185	74.6	20.5	5.4	1.6	1.1	0.5	−	−	−	−	4.9
性・年代	男性 65 ～74歳	21	90.5	9.5	4.8	−	−	−	−	−	−	−	4.8
	男性 75 歳以上	30	76.7	20.0	6.7	3.3	−	3.3	−	−	−	−	−
	女性 65 ～74歳	54	85.2	14.8	1.9	−	−	−	−	−	−	−	3.7
	女性 75 歳以上	76	63.2	26.3	7.9	2.6	2.6	−	−	−	−	−	7.9
家族構成	一人暮らし	31	6.5	67.7	19.4	3.2	−	−	−	−	−	−	12.9
	夫婦のみ	92	84.8	15.2	2.2	2.2	1.1	1.1	−	−	−	−	2.2
	同居その他	61	93.4	4.9	3.3	−	1.6	−	−	−	−	−	4.9
地区	江別地区	66	75.8	22.7	4.5	−	1.5	−	−	−	−	−	3.0
	野幌地区	72	70.8	23.6	6.9	2.8	−	1.4	−	−	−	−	4.2
	大麻地区	47	78.7	12.8	4.3	2.1	2.1	−	−	−	−	−	8.5
介護度	非認定	168	79.2	16.7	3.0	1.2	1.2	0.6	−	−	−	−	5.4
	要支援1・2	17	29.4	58.8	29.4	5.9	−	−	−	−	−	−	−

○話し相手や相談相手

話し相手や相談相手になってくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 70.4%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（41.7%）、「友人・知人」（31.4%）となっています。

＜図表 132＞　それぞれの手助けをしてくれる人（話し相手や相談相手）（複数回答）
【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 133＞　それぞれの手助けをしてくれる人（話し相手や相談相手）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

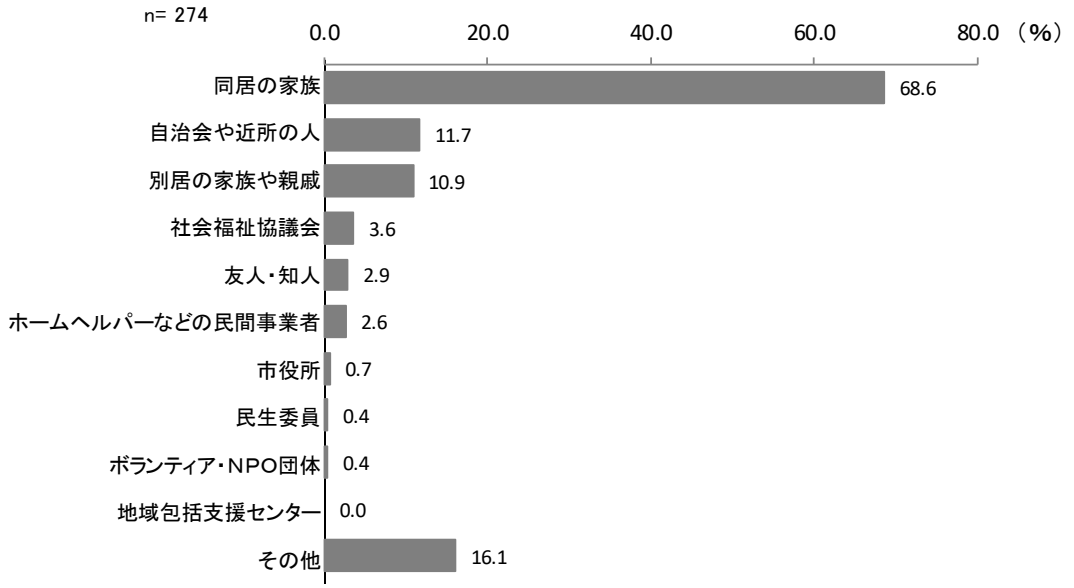
〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	地域包括支援センター	ホームヘルパーなどの民間事業者	市役所	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		223	70.4	41.7	31.4	8.1	1.8	1.3	0.9	－	－	－	2.7
性・年代	男性 65 ～74歳	33	84.8	27.3	24.2	3.0	－	－	－	－	－	－	3.0
	男性 75 歳以上	49	81.6	32.7	14.3	6.1	4.1	－	－	－	－	－	2.0
	女性 65 ～74歳	57	68.4	50.9	45.6	3.5	1.8	－	1.8	－	－	－	1.8
	女性 75 歳以上	81	59.3	48.1	34.6	13.6	1.2	3.7	1.2	－	－	－	3.7
家族構成	一人暮らし	40	－	75.0	47.5	12.5	5.0	5.0	2.5	－	－	－	7.5
	夫婦のみ	114	85.1	41.2	22.8	7.9	1.8	－	－	－	－	－	2.6
	同居その他	67	86.6	23.9	35.8	6.0	－	1.5	1.5	－	－	－	－
地区	江別地区	85	67.1	47.1	34.1	10.6	－	1.2	1.2	－	－	－	2.4
	野幌地区	80	68.8	36.3	30.0	5.0	3.8	2.5	－	－	－	－	1.3
	大麻地区	58	77.6	41.4	29.3	8.6	1.7	－	1.7	－	－	－	5.2
介護度	非認定	198	74.2	41.4	32.3	8.1	0.5	0.5	1.0	－	－	－	2.0
	要支援1・2	25	40.0	44.0	24.0	8.0	12.0	8.0	－	－	－	－	8.0

○冬期間の除雪

冬期間の除雪をしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 68.6％で最も多く、次いで「その他」（16.1％）、「自治会や近所の人」（11.7％）、となっています。

＜図表 134＞　それぞれの手助けをしてくれる人（冬期間の除雪）（複数回答）

【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 135＞　それぞれの手助けをしてくれる人（冬期間の除雪）

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

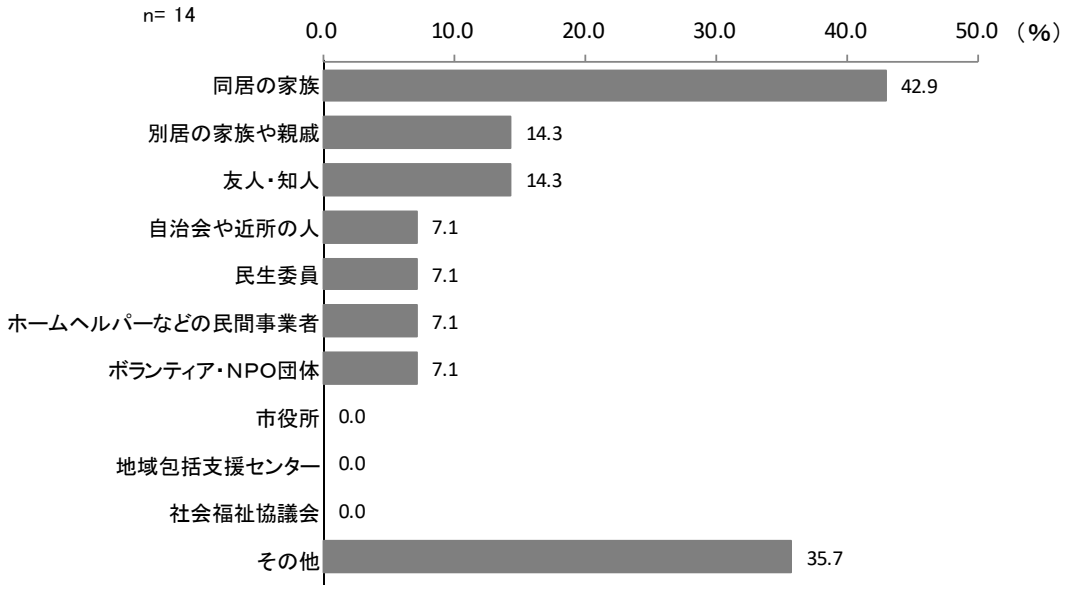
<第1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	自治会や近所の人	別居の家族や親戚	社会福祉協議会	友人・知人	ホームヘルパーなどの民間事業者	市役所	民生委員	ボランティア・NPO団体	地域包括支援センター	その他
全　体		274	68.6	11.7	10.9	3.6	2.9	2.6	0.7	0.4	0.4	－	16.1
性・年代	男性 65 ～74歳	34	82.4	5.9	2.9	2.9	－	－	－	－	－	－	14.7
	男性 75 歳以上	56	64.3	12.5	8.9	3.6	5.4	3.6	1.8	1.8	1.8	－	7.1
	女性 65 ～74歳	72	81.9	8.3	12.5	－	1.4	－	－	－	－	－	15.3
	女性 75 歳以上	109	57.8	15.6	12.8	6.4	3.7	4.6	0.9	－	－	－	22.0
家族構成	一人暮らし	48	4.2	27.1	31.3	12.5	12.5	4.2	2.1	－	2.1	－	35.4
	夫婦のみ	133	80.5	9.0	8.3	2.3	1.5	1.5	0.8	0.8	－	－	12.0
	同居その他	91	84.6	7.7	4.4	1.1	－	3.3	－	－	－	－	12.1
地区	江別地区	95	68.4	10.5	9.5	4.2	4.2	3.2	－	－	1.1	－	13.7
	野幌地区	110	70.0	8.2	15.5	3.6	2.7	2.7	0.9	0.9	－	－	15.5
	大麻地区	69	66.7	18.8	5.8	2.9	1.4	1.4	1.4	－	－	－	20.3
介護度	非認定	245	72.2	11.0	8.6	2.9	2.4	2.4	0.4	－	0.4	－	16.3
	要支援1・2	29	37.9	17.2	31.0	10.3	6.9	3.4	3.4	3.4	－	－	13.8

○その他

その他のことをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 42.9%で最も多く、次いで「その他」（35.7%）、「別居の家族や親戚」「友人・知人」（ともに 14.3%）となっています。

＜図表 136＞　それぞれの手助けをしてくれる人（その他）（複数回答）

【第１号被保険者　第 10 問１Ｂ】



＜図表 137＞　それぞれの手助けをしてくれる人（その他）

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

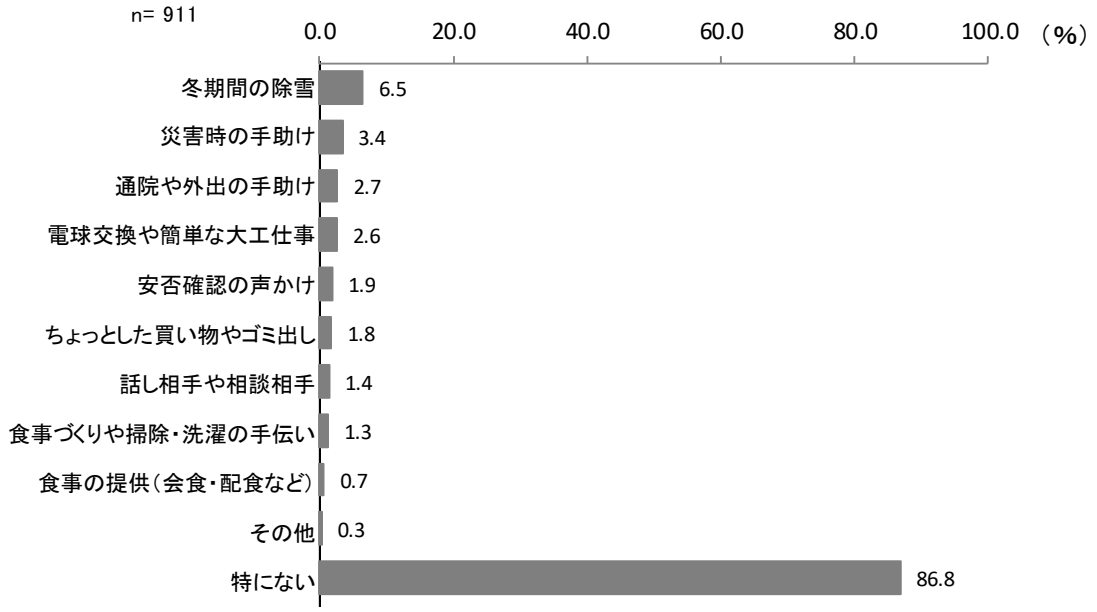
（単位:%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	民生委員	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	市役所	地域包括支援センター	社会福祉協議会	その他
全　体		14	42.9	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	－	－	－	35.7
性・年代	男性 65 ～74歳	3	66.7	－	33.3	33.3	－	－	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	3	33.3	－	－	－	33.3	－	－	－	－	－	33.3
	女性 65 ～74歳	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	7	28.6	14.3	14.3	－	－	14.3	14.3	－	－	－	57.1
家族構成	一人暮らし	3	－	33.3	33.3	－	－	－	－	－	－	－	66.7
	夫婦のみ	4	25.0	25.0	－	－	25.0	－	25.0	－	－	－	25.0
	同居その他	7	71.4	－	14.3	14.3	－	14.3	－	－	－	－	28.6
地区	江別地区	4	50.0	－	－	－	－	25.0	－	－	－	－	50.0
	野幌地区	6	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	－	－	－	－	－	33.3
	大麻地区	4	75.0	25.0	－	－	－	－	25.0	－	－	－	25.0
介護度	非認定	13	46.2	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	－	－	－	30.8
	要支援1・2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0

（３）必要なのに受けていない手助け【第１号被保険者】

必要なのに受けていない手助けを聞いたところ、「特にない」が 86.8%で最も多く、次いで「冬期間の除雪」（6.5%）、「災害時の手助け」（3.4%）となっています。

＜図表 138＞　必要なのに受けていない手助け（複数回答）【第１号被保険者　第 10 問２】



＜図表 139＞　必要なのに受けていない手助け（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

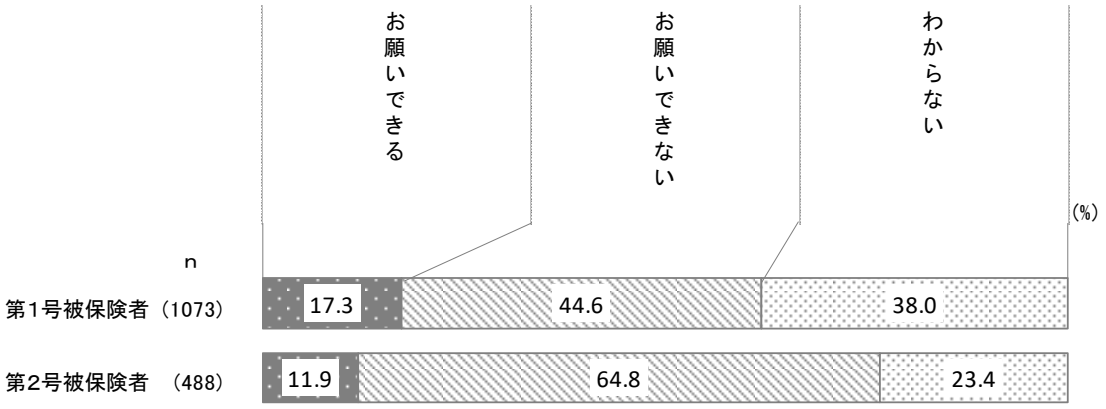
（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	冬期間の除雪	災害時の手助け	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	話し相手や相談相手	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	その他	特にない
全　体		911	6.5	3.4	2.7	2.6	1.9	1.8	1.4	1.3	0.7	0.3	86.8
性・年代	男性 65 ～74歳	228	4.4	2.2	0.4	0.9	0.9	0.4	0.9	0.9	0.9	－	93.0
	男性 75 歳以上	191	8.4	3.7	3.7	2.1	4.2	4.2	1.6	3.7	1.0	1.6	84.3
	女性 65 ～74歳	267	3.7	2.6	1.1	3.0	1.1	0.7	－	0.4	－	－	91.8
	女性 75 歳以上	214	9.3	5.1	6.1	4.7	1.9	2.3	3.7	0.9	0.5	－	77.6
家族構成	一人暮らし	170	11.8	7.6	3.5	5.9	5.3	2.9	2.9	2.4	1.2	0.6	72.9
	夫婦のみ	487	5.7	3.3	2.9	2.3	1.4	1.4	1.2	1.2	0.4	0.4	88.9
	同居その他	248	4.0	0.4	1.2	1.2	0.4	1.2	0.8	0.8	0.8	－	93.1
地区	江別地区	331	7.3	4.2	3.6	2.4	1.8	1.8	1.5	1.2	0.3	0.3	85.2
	野幌地区	336	4.2	3.0	2.1	2.7	1.5	1.2	1.5	1.2	0.9	0.3	89.0
	大麻地区	244	8.6	2.9	2.5	2.9	2.5	2.5	1.2	1.6	0.8	0.4	86.1
介護度	非認定	865	5.9	3.1	2.1	2.4	1.6	1.6	1.0	1.2	0.6	0.2	88.7
	要支援1・2	46	17.4	8.7	15.2	6.5	6.5	4.3	8.7	4.3	2.2	2.2	52.2

（４）ちょっとした手助けの近所への依頼【第１号被保険者】【第２号被保険者】

ちょっとした手助けの近所への依頼を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「お願いできない」が最も多く、それぞれ 44.6%、64.8%となっています。

＜図表 140＞　ちょっとした手助けの近所への依頼
【第１号被保険者　第 10 問３】【第２号被保険者　第７問１】



＜図表 141＞　ちょっとした手助けの近所への依頼（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	お願いできる	お願いできない	わからない
全　体		1073	17.3	44.6	38.0
性・年代	男性 65 ～74歳	245	11.0	47.8	41.2
	男性 75 歳以上	226	16.4	37.2	46.5
	女性 65 ～74歳	312	18.9	51.9	29.2
	女性 75 歳以上	279	22.2	39.1	38.7
家族構成	一人暮らし	202	24.3	40.1	35.6
	夫婦のみ	578	15.6	44.8	39.6
	同居その他	287	16.4	46.7	36.9
地区	江別地区	392	19.9	43.4	36.7
	野幌地区	397	14.6	45.3	40.1
	大麻地区	284	17.6	45.4	37.0
介護度	非認定	1020	17.2	44.7	38.1
	要支援1・2	53	20.8	43.4	35.8

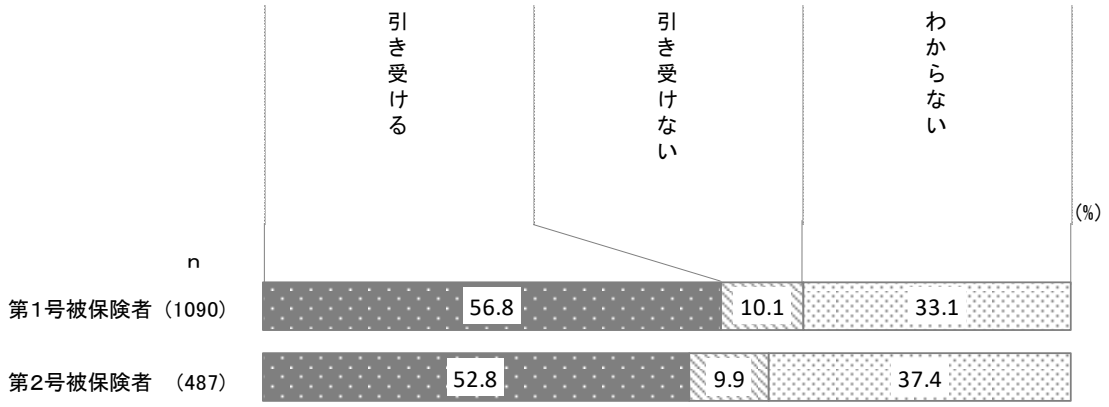
（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	お願いできる	お願いできない	わからない
全　体		488	11.9	64.8	23.4
性・年代	男性 40 代	55	9.1	63.6	27.3
	男性 50 代	66	9.1	68.2	22.7
	男性 60 歳以上	57	8.8	64.9	26.3
	女性 40 代	75	10.7	70.7	18.7
	女性 50 代	145	13.8	65.5	20.7
	女性 60 歳以上	78	15.4	56.4	28.2
家族構成	一人暮らし	48	16.7	62.5	20.8
	夫婦のみ	137	14.6	62.8	22.6
	同居その他	294	10.2	66.3	23.5
地区	江別地区	184	11.4	66.8	21.7
	野幌地区	169	11.2	68.6	20.1
	大麻地区	132	13.6	57.6	28.8

（５）近所からのちょっとした手助けの引き受け状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】

近所からのちょっとした手助けの引き受け状況を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「引き受ける」が最も多く、それぞれ 56.8%、52.8%となっています。

＜図表 142＞　近所からのちょっとした手助けの引き受け状況
【第１号被保険者　第 10 問４】【第２号被保険者　第７問２】



＜図表 143＞　近所からのちょっとした手助けの引き受け状況

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	引き受ける	引き受けない	わからない
全　体		1090	56.8	10.1	33.1
性・年代	男性 65 ～74歳	248	53.6	8.1	38.3
	男性 75 歳以上	227	54.2	9.7	36.1
	女性 65 ～74歳	316	62.0	5.7	32.3
	女性 75 歳以上	288	56.6	15.6	27.8
家族構成	一人暮らし	202	53.0	11.9	35.1
	夫婦のみ	587	58.3	6.5	35.3
	同居その他	294	57.5	14.6	27.9
地区	江別地区	394	56.3	9.9	33.8
	野幌地区	408	57.8	10.8	31.4
	大麻地区	288	55.9	9.4	34.7
介護度	非認定	1037	57.9	8.8	33.4
	要支援1・2	53	35.8	35.8	28.3

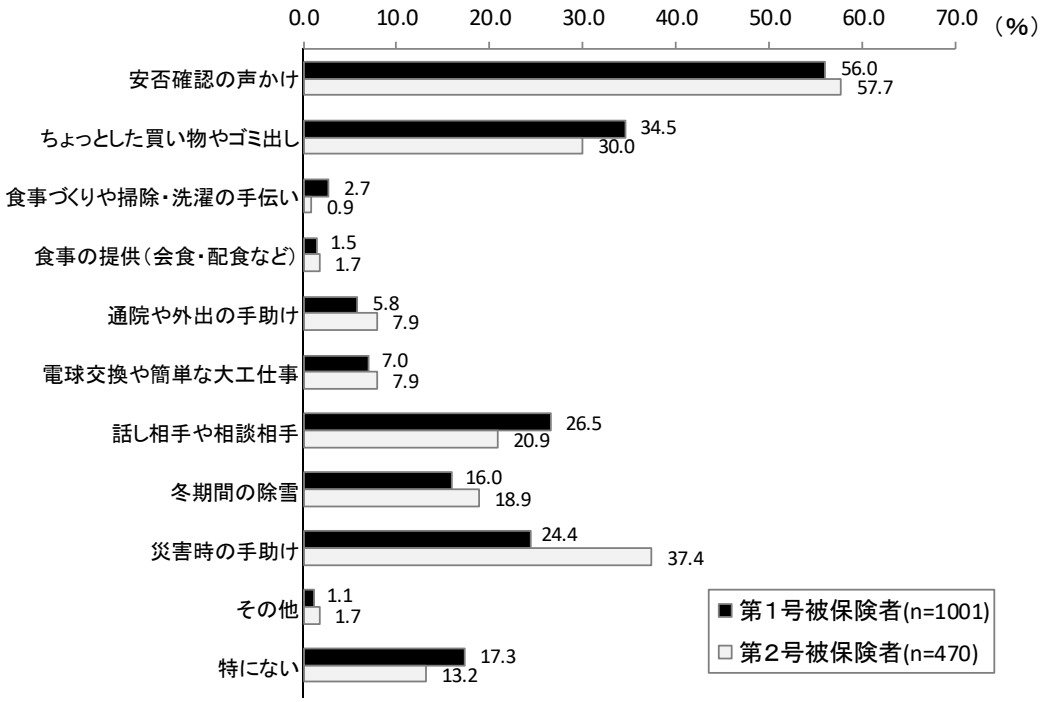
（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	引き受ける	引き受けない	わからない
全　体		487	52.8	9.9	37.4
性・年代	男性 40 代	55	54.5	7.3	38.2
	男性 50 代	66	56.1	9.1	34.8
	男性 60 歳以上	57	50.9	10.5	38.6
	女性 40 代	75	48.0	12.0	40.0
	女性 50 代	145	53.8	8.3	37.9
	女性 60 歳以上	77	49.4	13.0	37.7
家族構成	一人暮らし	48	47.9	12.5	39.6
	夫婦のみ	137	51.1	10.9	38.0
	同居その他	293	54.3	8.9	36.9
地区	江別地区	184	53.8	10.3	35.9
	野幌地区	169	46.2	12.4	41.4
	大麻地区	131	59.5	6.1	34.4

（６）地域の支え合いとしてできること【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域の支え合いとしてできることを聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「安否確認の声かけ」が最も多く、それぞれ 56.0%、57.7%となっています。

＜図表 144＞　地域の支え合いとしてできること（３つまで）
【第１号被保険者　第 10 問５】【第２号被保険者　第７問７】



＜図表 145＞　地域の支え合いとしてできること（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全　体		1001	56.0	34.5	2.7	1.5	5.8	7.0	26.5	16.0	24.4	1.1	17.3
性・年代	男性 65 ～74歳	225	47.6	21.3	0.4	0.9	6.2	17.3	12.4	30.2	39.6	0.4	15.1
	男性 75 歳以上	209	46.9	23.9	1.4	1.4	5.3	13.4	19.1	29.7	30.1	1.4	22.5
	女性 65 ～74歳	287	69.3	46.7	4.9	1.7	4.9	0.7	33.8	5.2	23.7	1.0	11.5
	女性 75 歳以上	267	57.7	41.2	3.4	1.9	7.1	0.4	37.1	4.9	8.2	1.5	20.2
家族構成	一人暮らし	183	53.6	36.6	2.7	1.6	7.1	4.4	29.0	9.8	12.6	2.2	21.3
	夫婦のみ	539	57.5	33.4	1.9	1.1	4.8	8.7	24.1	19.7	29.9	0.7	15.8
	同居その他	274	55.5	35.4	4.4	2.2	6.9	5.5	29.6	12.8	21.5	1.1	16.8
地区	江別地区	360	53.3	30.3	2.8	1.4	6.4	7.5	27.8	16.9	24.2	0.8	18.6
	野幌地区	376	58.5	37.0	1.9	1.6	5.9	7.4	25.5	16.0	25.5	1.1	15.2
	大麻地区	265	56.2	36.6	3.8	1.5	4.9	5.7	26.0	14.7	23.0	1.5	18.5
介護度	非認定	952	56.9	35.6	2.6	1.5	5.8	7.4	25.4	16.3	25.3	1.1	16.6
	要支援1・2	49	38.8	12.2	4.1	2.0	6.1	－	46.9	10.2	6.1	2.0	30.6

（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全　体		470	57.7	30.0	0.9	1.7	7.9	7.9	20.9	18.9	37.4	1.7	13.2
性・年代	男性 40 代	52	34.6	26.9	－	9.6	9.6	15.4	19.2	32.7	38.5	1.9	9.6
	男性 50 代	64	53.1	26.6	－	1.6	9.4	18.8	15.6	25.0	42.2	－	12.5
	男性 60 歳以上	54	46.3	31.5	－	－	7.4	20.4	7.4	33.3	40.7	1.9	14.8
	女性 40 代	75	60.0	33.3	2.7	－	4.0	2.7	29.3	14.7	38.7	1.3	10.7
	女性 50 代	137	62.0	27.7	1.5	0.7	8.8	1.5	22.6	10.2	38.7	2.2	16.8
	女性 60 歳以上	76	75.0	39.5	－	1.3	5.3	2.6	27.6	10.5	30.3	2.6	11.8
家族構成	一人暮らし	48	52.1	25.0	－	6.3	8.3	2.1	20.8	22.9	29.2	4.2	22.9
	夫婦のみ	130	65.4	33.8	1.5	－	8.5	10.8	17.7	19.2	43.1	0.8	9.2
	同居その他	283	54.1	29.7	0.7	1.8	7.4	7.8	22.6	18.0	36.7	1.8	13.4
地区	江別地区	178	61.2	28.1	1.7	1.7	6.2	7.9	25.8	20.2	44.4	0.6	10.1
	野幌地区	160	53.8	35.0	－	1.9	10.0	9.4	17.5	15.6	29.4	4.4	15.6
	大麻地区	129	56.6	27.1	0.8	1.6	7.0	6.2	18.6	21.7	38.8	－	14.7

７.健康づくり

（１）主観的健康感

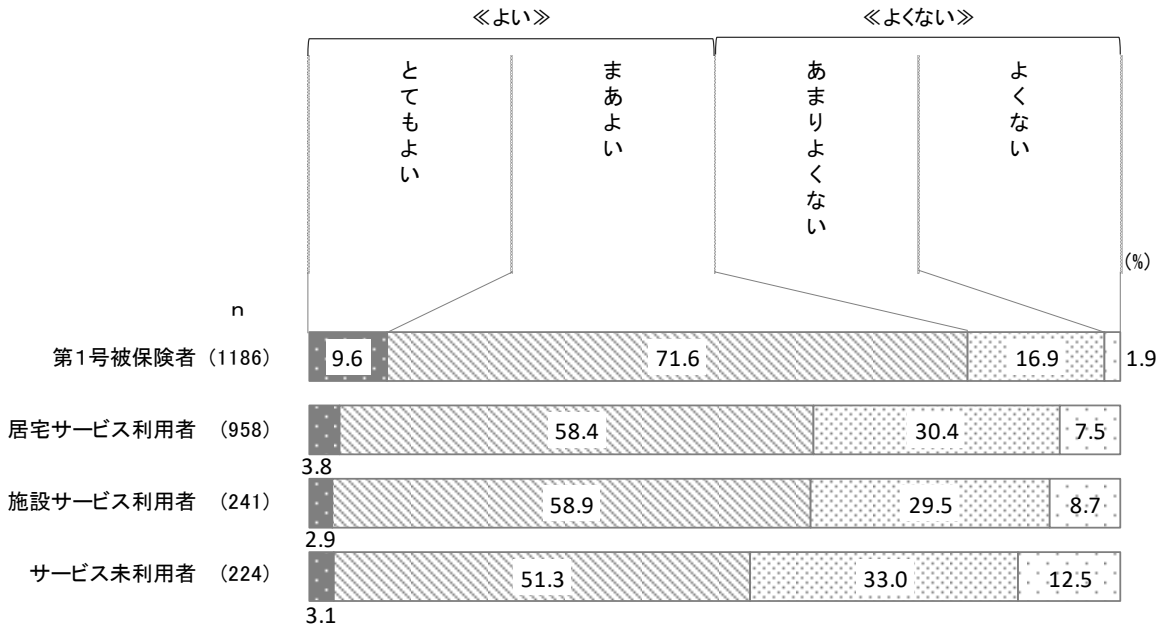
【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

主観的健康感を聞いたところ、全ての調査において「まあよい」が最も多く、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた≪よい≫は、第１号被保険者で 81.2%、居宅サービス利用者で 62.2%、施設サービス利用者で 61.8%、サービス未利用者で 54.4%となっています。

＜図表 146＞　主観的健康感

【第１号被保険者　第８問１】【居宅サービス利用者　第６問１】

【施設サービス利用者　第３問１】【サービス未利用者　第６問１】



＜図表 147＞　主観的健康感（性・年代別/要介護度別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	《よい》	《よくない》
全　体		1186	9.6	71.6	16.9	1.9	81.2	18.8
性・年代	男性 65 ～74歳	268	11.2	72.8	14.6	1.5	84.0	16.1
	男性 75 歳以上	247	7.7	66.0	21.9	4.5	73.7	26.4
	女性 65 ～74歳	339	12.1	76.1	11.5	0.3	88.2	11.8
	女性 75 歳以上	315	7.0	71.1	20.0	1.9	78.1	21.9
介護度	非認定	1127	9.8	73.0	15.5	1.6	82.8	17.1
	要支援1・2	59	5.1	44.1	42.4	8.5	49.2	50.9

（単位:%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	《よい》	《よくない》
全　体		958	3.8	58.4	30.4	7.5	62.2	37.9
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	57.1	28.6	－	71.4	28.6
	男性 65 ～74歳	43	4.7	41.9	44.2	9.3	46.6	53.5
	男性 75 歳以上	248	2.8	55.2	31.0	10.9	58.0	41.9
	女性 40 ～64歳	12	－	66.7	25.0	8.3	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	61	6.6	60.7	27.9	4.9	67.3	32.8
	女性 75 歳以上	537	4.1	59.8	29.6	6.5	63.9	36.1
介護度	要支援1・2	442	3.2	54.8	34.8	7.2	58.0	42.0
	要介護1・2	345	6.1	63.8	23.8	6.4	69.9	30.2
	要介護3～5	112	－	50.9	34.8	14.3	50.9	49.1

（単位：%）

〈施設サービス利用者調査〉		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	《よい》	《よくない》
全　体		241	2.9	58.9	29.5	8.7	61.8	38.2
性・年代	男性 40 代	−	−	−	−	−	−	−
	男性 50 代	1	−	−	100.0	−	−	100.0
	男性 60 歳以上	54	3.7	50.0	38.9	7.4	53.7	46.3
	女性 40 代	−	−	−	−	−	−	−
	女性 50 代	2	−	100.0	−	−	100.0	−
	女性 60 歳以上	183	2.7	61.2	26.8	9.3	63.9	36.1
介護度	要介護1・2	41	2.4	65.9	31.7	−	68.3	31.7
	要介護3～5	192	3.1	57.3	28.6	10.9	60.4	39.5

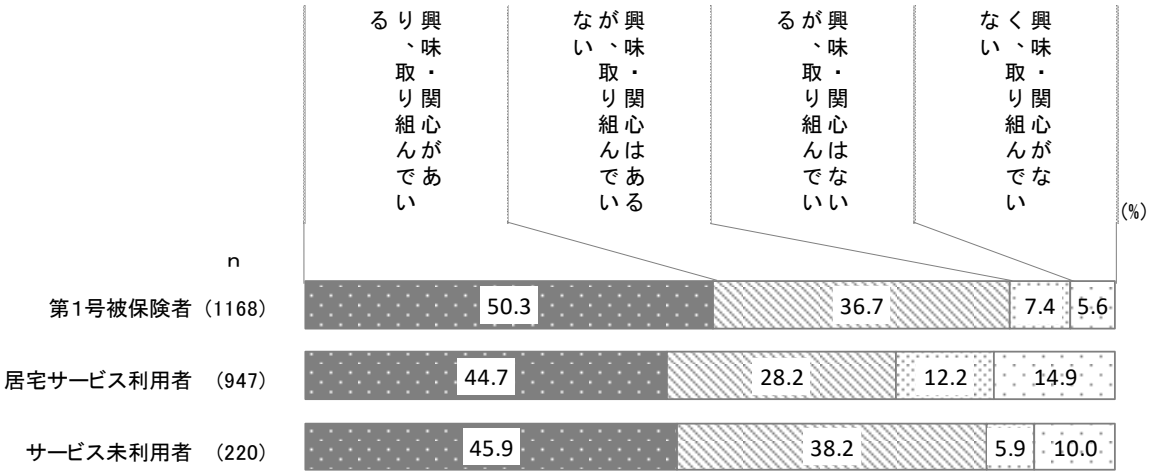
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	《よい》	《よくない》
全　体		224	3.1	51.3	33.0	12.5	54.4	45.5
性・年代	男性 40 ～64歳	4	−	25.0	50.0	25.0	25.0	75.0
	男性 65 ～74歳	14	−	42.9	42.9	14.3	42.9	57.2
	男性 75 歳以上	75	4.0	50.7	34.7	10.7	54.7	45.4
	女性 40 ～64歳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0
	女性 65 ～74歳	9	11.1	33.3	22.2	33.3	44.4	55.5
	女性 75 歳以上	104	1.0	54.8	33.7	10.6	55.8	44.3
介護度	要支援1・2	136	1.5	57.4	32.4	8.8	58.9	41.2
	要介護1・2	36	8.3	33.3	44.4	13.9	41.6	58.3
	要介護3～5	17	5.9	17.6	35.3	41.2	23.5	76.5

（２）健康づくりへの興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

健康づくりへの興味・関心を聞いたところ、全ての調査において「興味・関心があり、取り組んでいる」が最も多く、第１号被保険者で 50.3%、居宅サービス利用者で 44.7%、サービス未利用者で 45.9%となっています。

＜図表 148＞　健康づくりへの興味・関心
【第１号被保険者　第８問２】【居宅サービス利用者　第６問２】
【サービス未利用者　第６問２】



＜図表 149＞　健康づくりへの興味・関心

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別/介護予防への興味・関心別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		1168	50.3	36.7	7.4	5.6
性・年代	男性 65 ～74歳	269	47.6	37.2	8.6	6.7
	男性 75 歳以上	244	49.6	34.0	10.2	6.1
	女性 65 ～74歳	337	49.9	39.2	6.5	4.5
	女性 75 歳以上	303	54.5	35.3	5.3	5.0
家族構成	一人暮らし	215	44.7	41.4	7.4	6.5
	夫婦のみ	632	54.4	33.9	7.4	4.3
	同居その他	313	46.3	39.3	7.0	7.3
地区	江別地区	422	47.2	38.6	9.0	5.2
	野幌地区	435	49.7	37.7	7.1	5.5
	大麻地区	311	55.6	32.8	5.5	6.1
介護度	非認定	1112	51.2	36.5	7.0	5.3
	要支援1・2	56	33.9	41.1	14.3	10.7
介護予防への興味・関心の	興味・関心があり、取り組んでいる	231	92.2	5.6	2.2	－
	興味・関心はあるが、取り組んでいない	730	41.2	49.0	6.4	3.3
	興味・関心はないが、取り組んでいる	37	40.5	8.1	43.2	8.1
	興味・関心がなく、取り組んでいない	146	30.1	32.9	12.3	24.7

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		947	44.7	28.2	12.2	14.9
性・年代	男性 40 ～64歳	6	50.0	50.0	－	－
	男性 65 ～74歳	40	37.5	30.0	17.5	15.0
	男性 75 歳以上	246	45.1	25.6	15.0	14.2
	女性 40 ～64歳	12	41.7	25.0	16.7	16.7
	女性 65 ～74歳	61	50.8	31.1	6.6	11.5
	女性 75 歳以上	534	43.3	28.5	11.8	16.5
家族構成	一人暮らし	308	47.1	26.9	11.4	14.6
	夫婦のみ	256	46.5	30.1	10.5	12.9
	同居その他	359	40.9	27.6	14.5	17.0
地区	江別地区	333	42.9	28.8	12.9	15.3
	野幌地区	347	45.8	28.0	11.2	15.0
	大麻地区	248	44.8	27.4	13.3	14.5
介護度	要支援1・2	444	53.6	30.0	9.9	6.5
	要介護1・2	339	36.6	28.0	13.9	21.5
	要介護3～5	107	29.0	19.6	19.6	31.8
介護予防への興味・関心の	興味・関心があり、取り組んでいる	416	78.8	14.9	4.6	1.7
	興味・関心はあるが、取り組んでいない	254	22.4	62.2	8.3	7.1
	興味・関心はないが、取り組んでいる	118	16.1	16.1	47.5	20.3
	興味・関心がなく、取り組んでいない	128	5.5	18.0	10.9	65.6

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		220	45.9	38.2	5.9	10.0
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	100.0	－	－
	男性 65 ～74歳	14	50.0	42.9	－	7.1
	男性 75 歳以上	73	50.7	27.4	9.6	12.3
	女性 40 ～64歳	5	－	40.0	40.0	20.0
	女性 65 ～74歳	8	37.5	25.0	12.5	25.0
	女性 75 歳以上	103	46.6	44.7	1.9	6.8
家族構成	一人暮らし	60	45.0	35.0	8.3	11.7
	夫婦のみ	89	52.8	37.1	4.5	5.6
	同居その他	66	40.9	40.9	3.0	15.2
地区	江別地区	65	44.6	44.6	3.1	7.7
	野幌地区	86	44.2	37.2	5.8	12.8
	大麻地区	66	51.5	33.3	6.1	9.1
介護度	要支援1・2	134	52.2	37.3	5.2	5.2
	要介護1・2	37	27.0	43.2	10.8	18.9
	要介護3～5	14	35.7	28.6	7.1	28.6
介護予防への興味・関心	興味・関心があり、取り組んでいる	60	86.7	10.0	1.7	1.7
	興味・関心はあるが、取り組んでいない	117	32.5	56.4	5.1	6.0
	興味・関心はないが、取り組んでいる	8	25.0	12.5	50.0	12.5
	興味・関心がなく、取り組んでいない	31	22.6	32.3	3.2	41.9

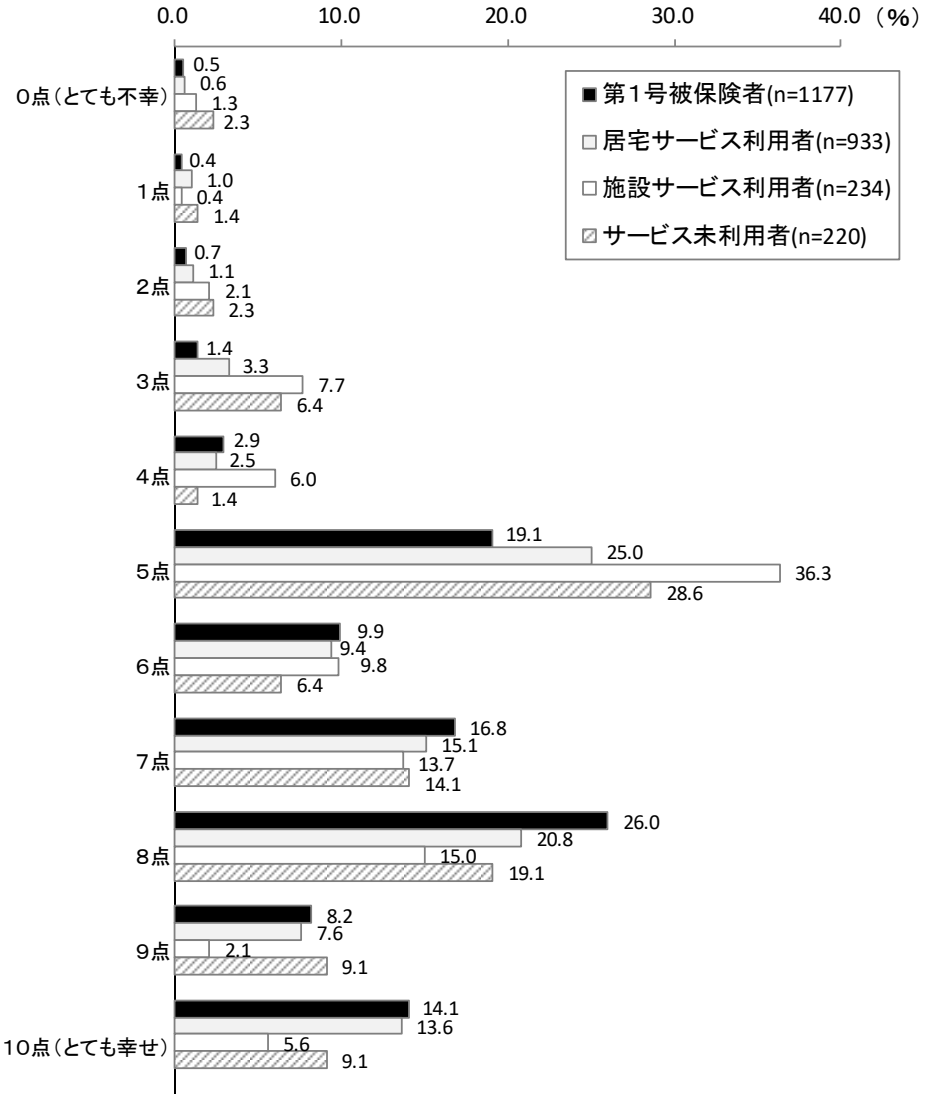
（３）幸福度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

幸福度を 10 点満点の点数で聞いたところ、第１号被保険者では「８点」が 26.0％で最も多く、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「５点」が最も多く、それぞれ 25.0％、36.3％、28.6％となっています。

また、平均点は、第１号被保険者で 7.13 点、居宅サービス利用者で 6.81 点、施設サービス利用者で 5.82 点、サービス未利用者で 6.36 点となっています。主観的健康感別にみると、全ての調査において、平均点は主観的健康感がよいほど高い傾向となっています。

＜図表 150＞　幸福度

【第１号被保険者　第８問３】【居宅サービス利用者　第６問３】
【施設サービス利用者　第３問２】【サービス未利用者　第６問３】



＜図表 151＞幸福度（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別/主観的健康感別/うつ傾向の有無別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全体		1177	0.5	0.4	0.7	1.4	2.9	19.1	9.9	16.8	26.0	8.2	14.1	7.13
性・年代	男性 65 ～74歳	269	0.7	0.7	0.4	1.5	4.1	21.6	10.8	14.9	25.7	6.3	13.4	6.95
	男性 75 歳以上	245	0.4	0.8	1.6	1.6	2.9	19.6	12.2	16.7	25.3	5.7	13.1	6.93
	女性 65 ～74歳	338	－	0.3	0.3	0.9	2.4	18.9	8.6	17.5	27.8	9.5	13.9	7.28
	女性 75 歳以上	310	1.0	－	0.6	1.6	2.6	17.4	8.4	18.1	24.8	10.6	14.8	7.23
家族構成	一人暮らし	216	0.9	1.4	0.9	3.2	6.0	20.8	9.7	18.1	21.3	7.9	9.7	6.64
	夫婦のみ	636	0.5	0.3	0.8	1.1	2.4	16.2	9.6	16.0	29.4	8.3	15.4	7.30
	同居その他	317	0.3	－	0.3	0.9	1.6	23.7	10.4	18.0	23.0	8.2	13.6	7.10
地区	江別地区	425	0.5	0.5	0.5	1.4	3.5	19.5	8.9	15.8	25.2	8.7	15.5	7.16
	野幌地区	437	0.7	0.5	0.9	1.4	2.3	17.6	10.5	18.8	27.5	7.8	12.1	7.09
	大麻地区	315	0.3	0.3	0.6	1.6	2.9	20.6	10.2	15.6	25.1	7.9	14.9	7.12
介護度	非認定	1119	0.5	0.4	0.6	1.3	3.0	18.9	9.5	17.0	26.5	8.1	14.0	7.14
	要支援1・2	58	－	－	1.7	5.2	－	22.4	17.2	13.8	15.5	8.6	15.5	6.88
主観的健康感	とてもよい	112	－	－	－	0.9	0.9	11.6	4.5	8.0	26.8	7.1	40.2	8.28
	まあよい	842	0.5	0.1	0.2	1.0	2.7	18.3	9.9	18.3	27.1	9.5	12.5	7.20
	あまりよくない	194	0.5	1.0	1.5	4.1	4.6	25.3	12.9	17.0	21.6	3.6	7.7	6.41
	よくない	22	4.5	9.1	13.6	－	4.5	31.8	9.1	－	22.7	－	4.5	4.95
うつ傾向	うつ傾向あり	504	0.8	1.0	1.6	2.2	5.4	25.0	11.9	19.8	21.4	4.8	6.2	6.43
	うつ傾向なし	673	0.3	－	－	0.9	1.0	14.7	8.3	14.6	29.4	10.7	20.1	7.64

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全体		933	0.6	1.0	1.1	3.3	2.5	25.0	9.4	15.1	20.8	7.6	13.6	6.81
性・年代	男性 40 ～64歳	7	－	－	－	－	－	57.1	－	14.3	－	－	28.6	6.71
	男性 65 ～74歳	38	5.3	2.6	－	5.3	7.9	26.3	10.5	21.1	13.2	－	7.9	5.76
	男性 75 歳以上	243	－	0.8	1.6	2.9	2.5	25.1	11.9	14.8	21.4	7.0	11.9	6.77
	女性 40 ～64歳	12	－	8.3	－	25.0	－	25.0	8.3	8.3	8.3	－	16.7	5.50
	女性 65 ～74歳	59	－	－	1.7	6.8	－	39.0	3.4	13.6	20.3	1.7	13.6	6.47
	女性 75 歳以上	524	0.8	1.0	0.8	2.1	2.3	22.7	9.2	15.1	21.9	9.4	14.9	7.01
家族構成	一人暮らし	302	0.7	1.3	1.7	4.0	2.0	24.5	11.6	15.2	19.9	7.6	11.6	6.67
	夫婦のみ	252	0.4	2.0	1.2	3.2	3.6	25.8	6.7	16.3	21.0	7.5	12.3	6.71
	同居その他	354	0.6	－	0.6	2.5	2.3	24.3	9.6	14.4	22.0	8.2	15.5	7.03
地区	江別地区	331	0.3	0.9	1.5	2.7	2.7	23.3	8.2	15.7	19.6	8.2	16.9	6.98
	野幌地区	339	0.6	0.6	1.2	3.2	1.8	24.2	10.0	14.5	23.6	8.0	12.4	6.86
	大麻地区	244	1.2	1.2	0.4	3.3	3.3	27.5	10.7	15.6	19.7	7.0	10.2	6.58
介護度	要支援1・2	436	－	0.7	1.4	2.1	2.1	20.0	9.2	16.3	24.1	9.2	15.1	7.13
	要介護1・2	335	1.5	0.6	0.6	3.0	3.0	26.0	9.9	14.0	20.3	6.9	14.3	6.77
	要介護3～5	103	1.0	3.9	1.0	6.8	1.9	40.8	8.7	13.6	10.7	2.9	8.7	5.84
主観的健康感	とてもよい	34	－	－	－	－	－	20.6	2.9	8.8	23.5	2.9	41.2	8.09
	まあよい	540	0.4	0.4	0.2	1.5	2.4	22.0	9.3	16.7	23.7	9.3	14.3	7.13
	あまりよくない	270	0.7	1.1	1.5	5.2	3.7	29.6	10.7	14.1	17.8	5.9	9.6	6.37
	よくない	69	2.9	5.8	7.2	13.0	－	30.4	4.3	14.5	11.6	2.9	7.2	5.30

（単位：%）

〈施設サービス利用者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全体		234	1.3	0.4	2.1	7.7	6.0	36.3	9.8	13.7	15.0	2.1	5.6	5.82
性・年代	男性 40 代	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	男性 50 代	1	−	−	−	−	−	−	−	−	100.0	−	−	8.00
	男性 60 歳以上	51	2.0	−	3.9	7.8	5.9	49.0	5.9	13.7	5.9	2.0	3.9	5.35
	女性 40 代	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女性 50 代	2	−	−	−	−	50.0	−	−	−	50.0	−	−	6.00
	女性 60 歳以上	179	1.1	0.6	1.7	7.8	5.6	33.0	11.2	14.0	16.8	2.2	6.1	5.95
介護度	要介護1・2	41	−	−	2.4	−	4.9	36.6	9.8	22.0	17.1	2.4	4.9	6.27
	要介護3～5	186	1.6	0.5	2.2	9.1	6.5	36.6	9.7	11.8	14.0	2.2	5.9	5.72
主観的健康感	とてもよい	7	−	−	−	−	−	14.3	−	−	57.1	14.3	14.3	8.00
	まあよい	138	−	0.7	0.7	4.3	2.9	31.9	14.5	17.4	18.1	2.9	6.5	6.31
	あまりよくない	70	1.4	−	5.7	12.9	12.9	44.3	2.9	8.6	8.6	−	2.9	4.97
	よくない	19	10.5	−	−	15.8	5.3	47.4	5.3	10.5	−	−	5.3	4.63

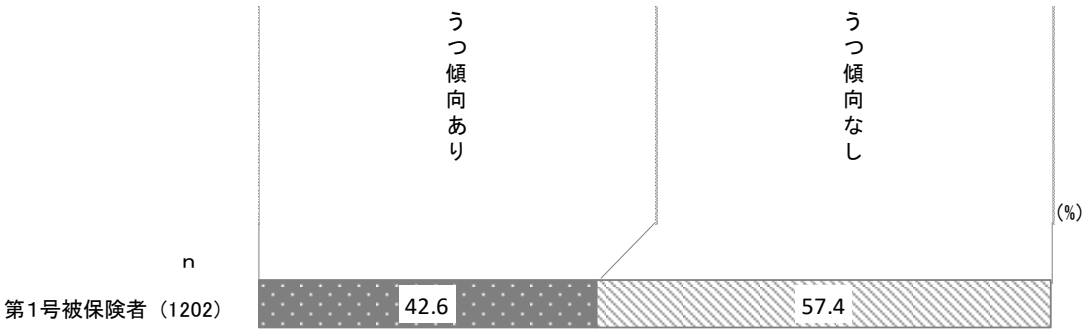
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全体		220	2.3	1.4	2.3	6.4	1.4	28.6	6.4	14.1	19.1	9.1	9.1	6.36
性・年代	男性 40 ～64歳	4	−	−	25.0	−	−	25.0	−	25.0	25.0	−	−	5.50
	男性 65 ～74歳	14	−	7.1	7.1	−	−	57.1	7.1	14.3	−	−	7.1	5.21
	男性 75 歳以上	74	−	1.4	2.7	6.8	−	31.1	6.8	14.9	17.6	6.8	12.2	6.50
	女性 40 ～64歳	5	20.0	−	−	−	−	40.0	−	20.0	−	−	20.0	5.40
	女性 65 ～74歳	8	−	−	−	12.5	12.5	−	12.5	25.0	−	12.5	25.0	7.00
	女性 75 歳以上	100	4.0	1.0	1.0	7.0	2.0	25.0	7.0	11.0	24.0	13.0	5.0	6.35
家族構成	一人暮らし	61	1.6	3.3	1.6	9.8	1.6	23.0	8.2	11.5	23.0	8.2	8.2	6.26
	夫婦のみ	88	3.4	−	2.3	6.8	1.1	28.4	5.7	20.5	13.6	6.8	11.4	6.33
	同居その他	67	1.5	1.5	3.0	3.0	1.5	34.3	6.0	7.5	23.9	10.4	7.5	6.42
地区	江別地区	66	3.0	1.5	6.1	6.1	3.0	36.4	3.0	12.1	16.7	7.6	4.5	5.76
	野幌地区	86	3.5	2.3	−	5.8	−	27.9	8.1	11.6	23.3	4.7	12.8	6.45
	大麻地区	66	−	−	1.5	7.6	1.5	22.7	7.6	19.7	16.7	13.6	9.1	6.76
介護度	要支援1・2	133	0.8	2.3	2.3	6.8	0.8	24.1	9.0	16.5	21.8	8.3	7.5	6.44
	要介護1・2	37	5.4	−	2.7	5.4	−	32.4	2.7	13.5	18.9	10.8	8.1	6.24
	要介護3～5	14	7.1	−	7.1	14.3	14.3	50.0	−	−	−	7.1	−	4.29
主観的健康感	とてもよい	6	−	−	−	16.7	−	−	−	−	−	16.7	66.7	8.67
	まあよい	112	0.9	0.9	0.9	4.5	−	28.6	7.1	13.4	22.3	11.6	9.8	6.77
	あまりよくない	71	−	1.4	−	7.0	4.2	32.4	5.6	16.9	19.7	7.0	5.6	6.31
	よくない	25	16.0	4.0	12.0	12.0	−	20.0	8.0	12.0	8.0	4.0	4.0	4.36

（４）うつ傾向【第１号被保険者】

うつ傾向に関する設問の回答から、うつ傾向のみられる高齢者の割合を算出したところ、「うつ傾向あり」は 42.6%となっています。主観的健康感別にみると、「うつ傾向あり」の割合は主観的健康感がよいほど低くなっています。

＜図表 152＞　うつ傾向【第１号被保険者】



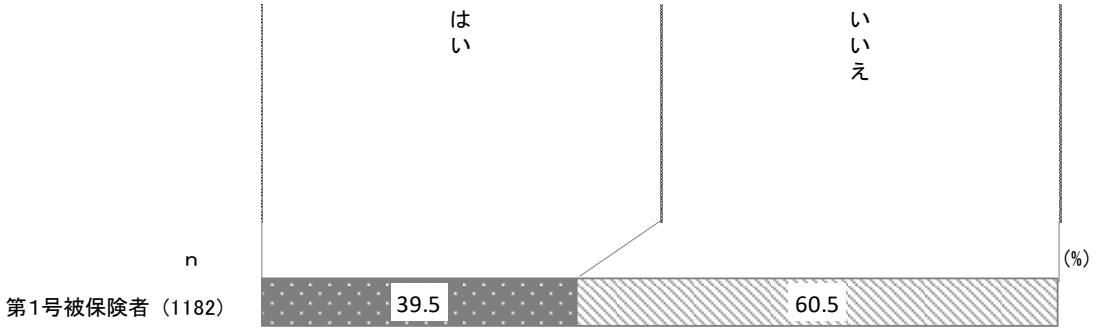
＜図表 153＞　うつ傾向（主観的健康感別）

（単位:%）

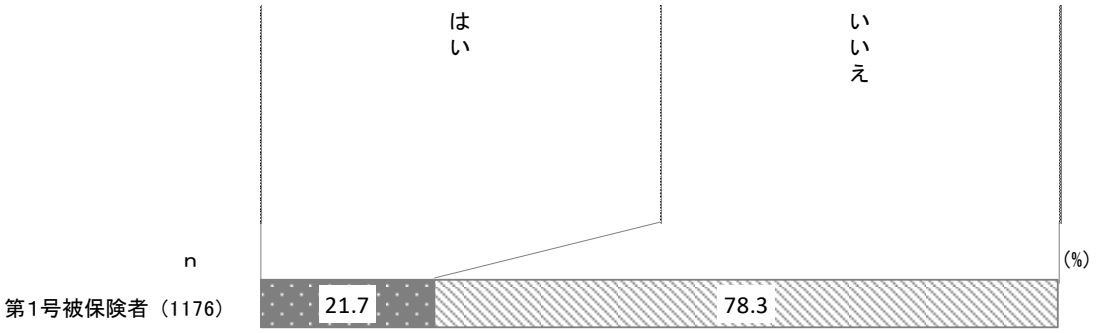
〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	うつ傾向あり	うつ傾向なし
全　体		1202	42.6	57.4
主観的健康感	とてもよい	114	18.4	81.6
	まあよい	849	39.2	60.8
	あまりよくない	200	67.0	33.0
	よくない	23	91.3	8.7

うつ傾向に関連した設問を以下に示します。

＜図表 154＞　気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある
【第１号被保険者　第８問４】



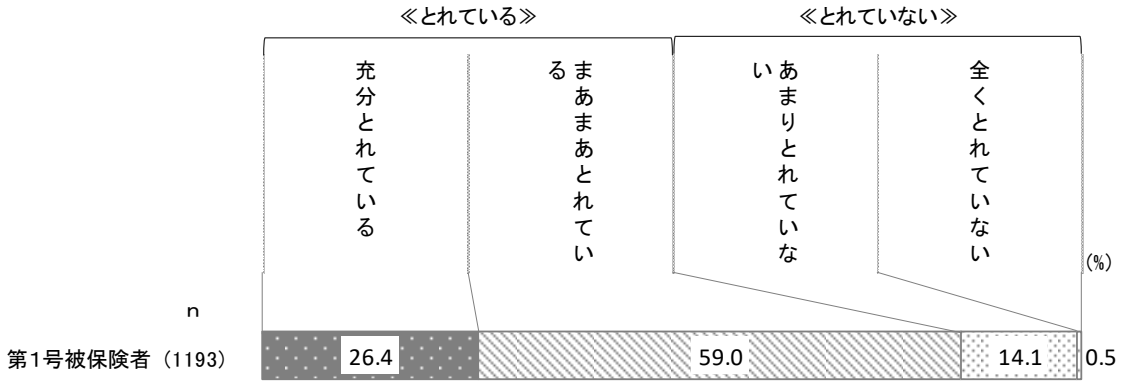
＜図表 155＞　物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがある
【第１号被保険者　第８問５】



（５）睡眠による休養【第１号被保険者】

睡眠による休養を聞いたところ、「充分とれている」と「まあまあとれている」を合わせた≪とれている≫は 85.4%になっています。

＜図表 156＞　睡眠による休養【第１号被保険者　第８問６】



＜図表 157＞　睡眠による休養（性・年代別/要介護度別/うつ傾向の有無別）

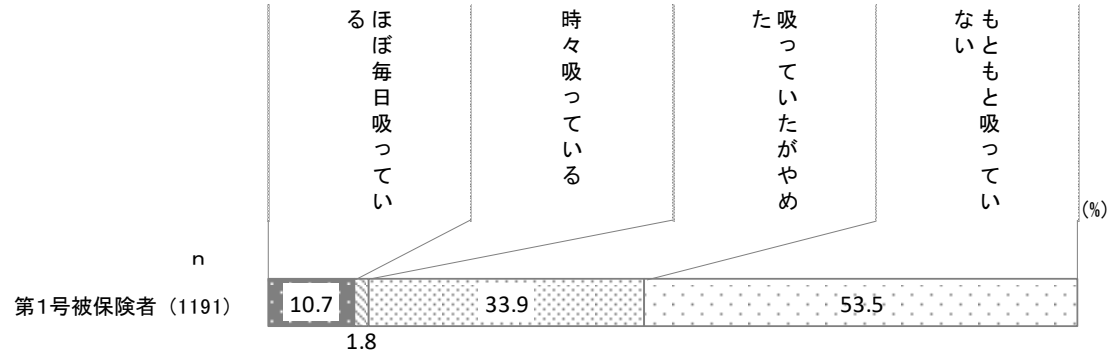
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	充分とれている	まあまあとれている	あまりとれていない	全くとれていない	≪とれている≫	≪とれていない≫
全 体		1193	26.4	59.0	14.1	0.5	85.4	14.6
性・年代	男性 65 ～74歳	270	27.8	54.8	17.4	－	82.6	17.4
	男性 75 歳以上	247	28.3	57.9	12.1	1.6	86.2	13.7
	女性 65 ～74歳	340	19.7	66.8	13.2	0.3	86.5	13.5
	女性 75 歳以上	319	31.3	54.9	13.5	0.3	86.2	13.8
介護度	非認定	1133	26.8	59.6	13.2	0.4	86.4	13.6
	要支援1・2	60	18.3	48.3	30.0	3.3	66.6	33.3
うつ傾向	うつ傾向あり	511	16.2	59.1	23.5	1.2	75.3	24.7
	うつ傾向なし	682	34.0	58.9	7.0	－	92.9	7.0

（６）喫煙状況【第１号被保険者】

喫煙状況を聞いたところ、「もともと吸っていない」が 53.5%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(33.9%)、「ほぼ毎日吸っている」(10.7%) となっています。

＜図表 158＞　喫煙状況【第１号被保険者　第８問７】



＜図表 159＞　喫煙状況（主観的健康感別）

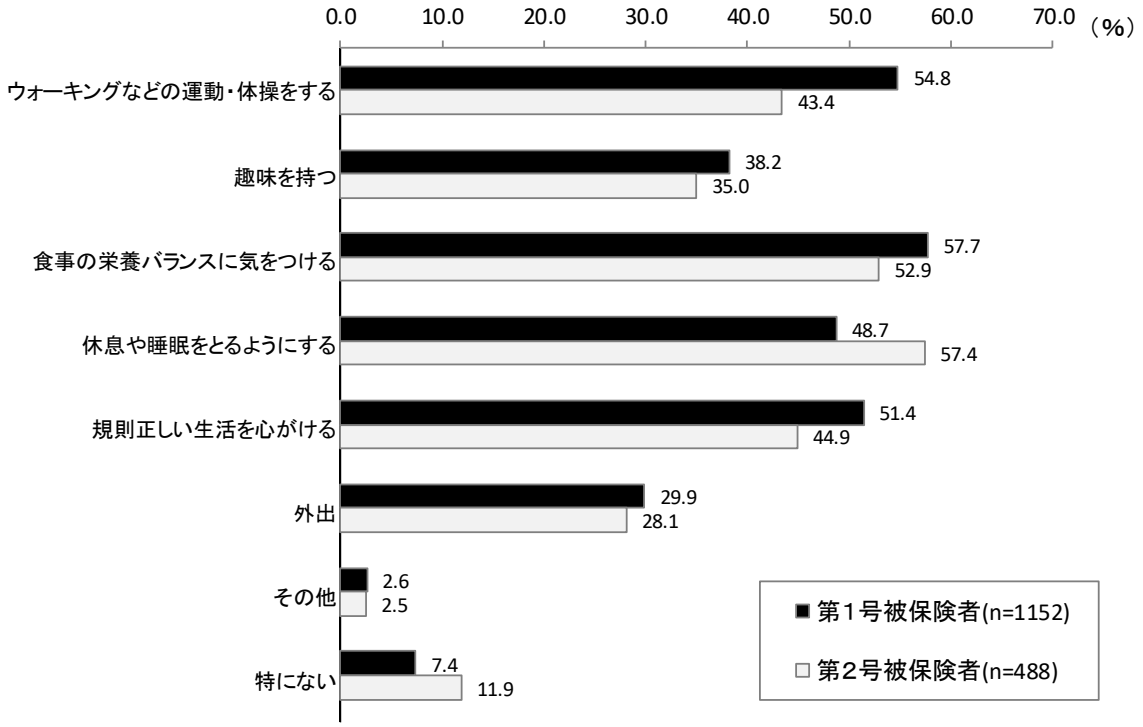
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない
全　体		1191	10.7	1.8	33.9	53.5
主観的健康感	とてもよい	114	11.4	0.9	36.0	51.8
	まあよい	847	10.3	1.9	33.3	54.5
	あまりよくない	198	11.6	2.5	34.8	51.0
	よくない	23	17.4	－	47.8	34.8

（７）健康維持のために心がけていること【第１号被保険者】【第２号被保険者】

健康維持のために心がけていることを聞いたところ、第１号被保険者では「食事の栄養バランスに気をつける」が 57.7%で最も多く、第２号被保険者では「休息や睡眠をとるようにする」が 57.4%で最も多くなっています。主観的健康感別にみると、第１号被保険者では、主観的健康感がよいほどそれぞれの項目の割合が高くなっています。

＜図表 160＞　健康維持のために心がけていること（複数回答）
【第１号被保険者　第８問 12】【第２号被保険者　第４問６】



＜図表 161＞　健康維持のために心がけていること（主観的健康感別）

（単位:%）

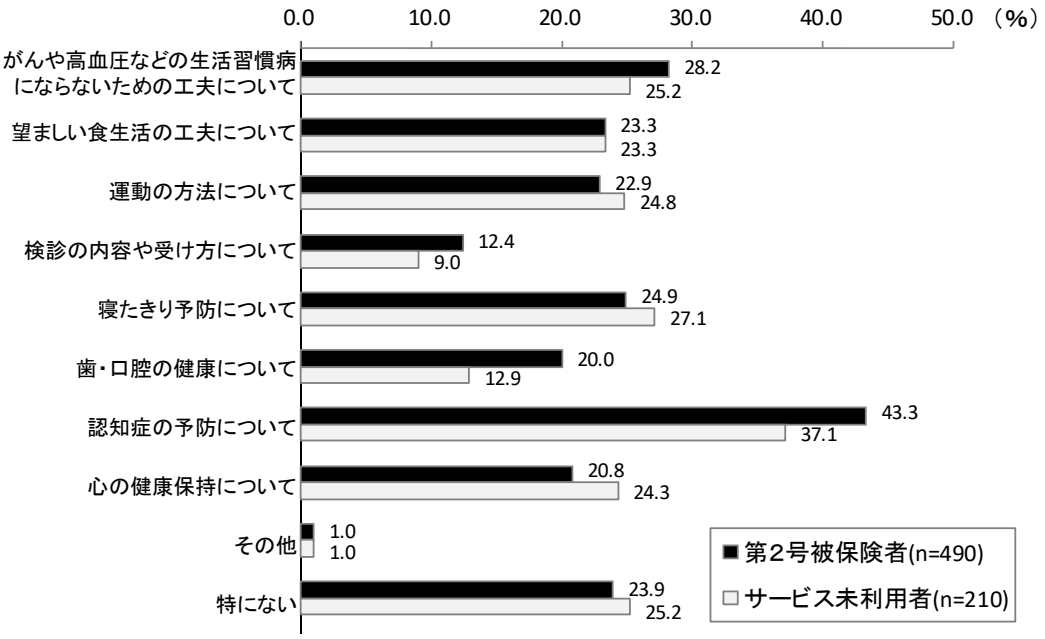
〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	ウォーキングなどの運動・体操をする	趣味を持つ	食事の栄養バランスに気をつける	休息や睡眠をとるようにする	規則正しい生活を心がける	外出	その他	特にない
全　体		1152	54.8	38.2	57.7	48.7	51.4	29.9	2.6	7.4
主観的健康感	とてもよい	110	63.6	43.6	64.5	54.5	66.4	40.9	7.3	3.6
	まあよい	820	57.7	38.8	58.3	48.9	52.7	31.5	2.0	6.7
	あまりよくない	188	41.5	33.5	53.2	46.8	38.3	19.1	2.1	11.2
	よくない	22	31.8	22.7	45.5	31.8	40.9	13.6	9.1	18.2

（８）健康について知りたいこと【第２号被保険者】【サービス未利用者】

健康について知りたいことを聞いたところ、第２号被保険者、サービス未利用者ともに「認知症の予防について」が最も多く、それぞれ 43.3%、37.1%となっています。

＜図表 162＞　健康について知りたいこと（複数回答）

【第２号被保険者　第５問１】【サービス未利用者　第 10 問１】



＜図表 163＞　健康について知りたいこと（主観的健康感別）

（単位：%）

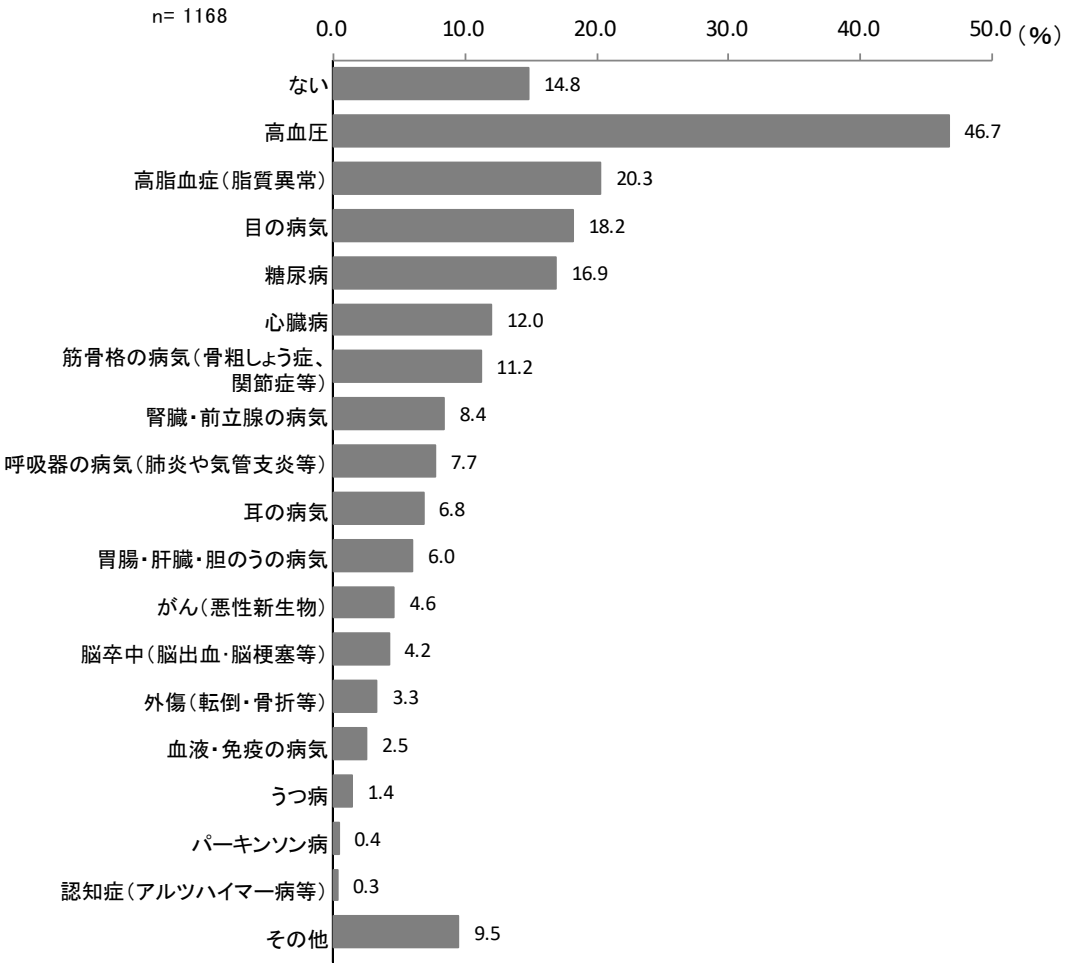
＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について	望ましい食生活の工夫について	運動の方法について	検診の内容や受け方について	寝たきり予防について	歯・口腔の健康について	認知症の予防について	心の健康保持について	その他	特にない
全　体		210	25.2	23.3	24.8	9.0	27.1	12.9	37.1	24.3	1.0	25.2
主観的健康感	とてもよい	6	16.7	－	33.3	－	16.7	16.7	－	16.7	－	66.7
	まあよい	107	30.8	28.0	22.4	9.3	25.2	16.8	39.3	24.3	1.9	26.2
	あまりよくない	66	21.2	21.2	25.8	13.6	31.8	9.1	39.4	28.8	－	21.2
	よくない	25	12.0	12.0	28.0	－	24.0	8.0	28.0	12.0	－	28.0

８.医療機関との関係

（１）現在治療中、後遺症のある病気【第１号被保険者】

現在治療中、後遺症のある病気を聞いたところ、「高血圧」が 46.7%で最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」（20.3%）、「目の病気」（18.2%）となっています。

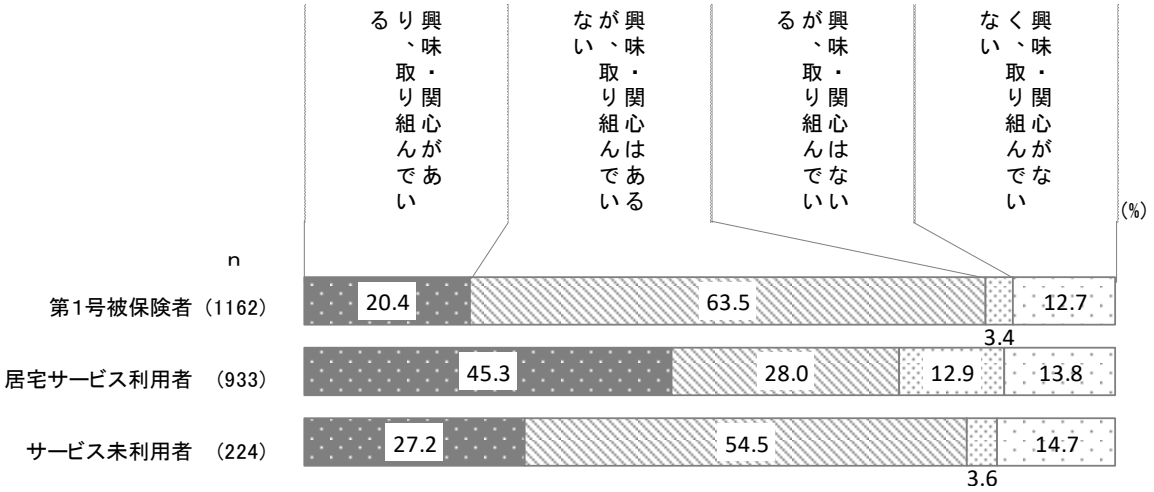
＜図表 164＞　現在治療中、後遺症のある病気（複数回答）【第１号被保険者　第８問８】



（２）介護予防への興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護予防への興味・関心を聞いたところ、第１号被保険者、サービス未利用者では「興味・関心はあるが、取り組んでいない」がそれぞれ 63.5%、54.5%で最も多くなっています。居宅サービス利用者では「興味・関心があり、取り組んでいる」が 45.3%で最も多くなっています。

＜図表 165＞　介護予防への興味・関心
【第１号被保険者　第８問９】【居宅サービス利用者　第６問４】
【サービス未利用者　第６問４】



＜図表 166＞　介護予防への興味・関心（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		1162	20.4	63.5	3.4	12.7
性・年代	男性 65 ～74歳	266	14.7	59.4	5.6	20.3
	男性 75 歳以上	241	16.2	64.3	2.5	17.0
	女性 65 ～74歳	334	24.3	63.8	2.7	9.3
	女性 75 歳以上	306	24.2	66.7	2.9	6.2
家族構成	一人暮らし	215	19.5	66.5	1.9	12.1
	夫婦のみ	624	21.2	61.9	3.8	13.1
	同居その他	315	19.0	65.4	3.5	12.1
地区	江別地区	424	18.6	64.2	5.0	12.3
	野幌地区	428	21.5	64.3	2.3	11.9
	大麻地区	310	21.3	61.6	2.6	14.5
介護度	非認定	1107	20.3	63.3	3.4	12.9
	要支援1・2	55	21.8	67.3	1.8	9.1

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		933	45.3	28.0	12.9	13.8
性・年代	男性 40 ～64歳	7	28.6	42.9	14.3	14.3
	男性 65 ～74歳	40	42.5	27.5	12.5	17.5
	男性 75 歳以上	242	48.3	23.6	14.5	13.6
	女性 40 ～64歳	12	41.7	41.7	8.3	8.3
	女性 65 ～74歳	59	49.2	28.8	10.2	11.9
	女性 75 歳以上	523	42.6	28.9	13.6	14.9
家族構成	一人暮らし	300	49.7	28.3	8.3	13.7
	夫婦のみ	255	47.5	30.2	11.4	11.0
	同居その他	357	39.2	26.3	17.9	16.5
地区	江別地区	328	42.1	27.1	17.4	13.4
	野幌地区	344	46.5	27.9	11.0	14.5
	大麻地区	243	46.9	29.6	9.9	13.6
介護度	要支援1・2	435	54.7	31.3	7.6	6.4
	要介護1・2	340	39.1	24.4	17.4	19.1
	要介護3～5	101	24.8	25.7	21.8	27.7

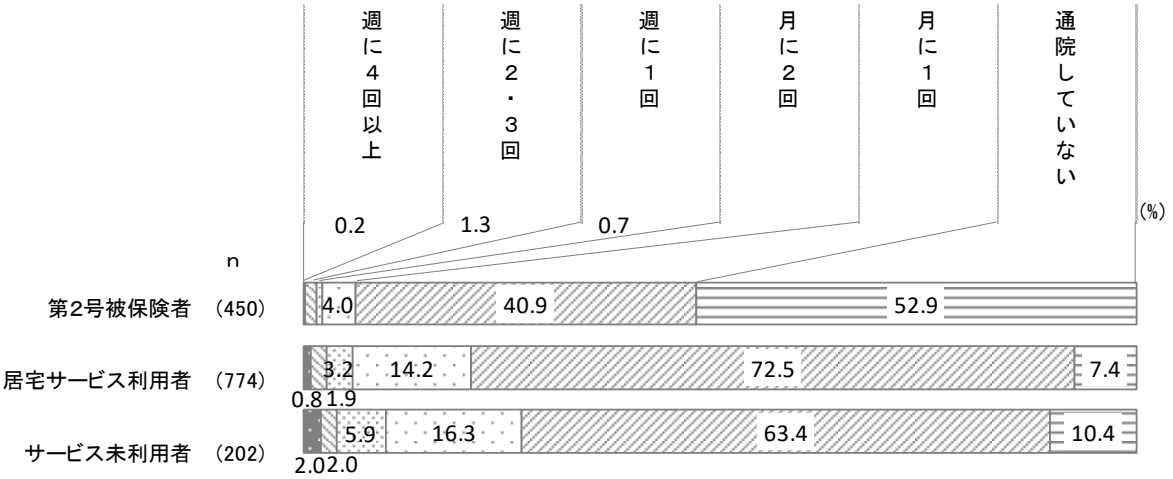
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		224	27.2	54.5	3.6	14.7
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	50.0	－	50.0
	男性 65 ～74歳	14	28.6	57.1	－	14.3
	男性 75 歳以上	73	38.4	39.7	4.1	17.8
	女性 40 ～64歳	5	－	40.0	20.0	40.0
	女性 65 ～74歳	9	11.1	55.6	－	33.3
	女性 75 歳以上	105	21.9	65.7	3.8	8.6
家族構成	一人暮らし	61	26.2	62.3	3.3	8.2
	夫婦のみ	90	31.1	53.3	3.3	12.2
	同居その他	68	25.0	47.1	2.9	25.0
地区	江別地区	66	31.8	50.0	3.0	15.2
	野幌地区	88	25.0	59.1	1.1	14.8
	大麻地区	67	26.9	52.2	6.0	14.9
介護度	要支援1・2	136	32.4	52.2	4.4	11.0
	要介護1・2	37	13.5	59.5	2.7	24.3
	要介護3～5	15	20.0	46.7	－	33.3

（３）通院による医師の診療頻度【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

通院による医師の診療頻度を聞いたところ、第２号被保険者では「通院していない」が 52.9%で最も多く、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「月に１回」がそれぞれ 72.5%、63.4%で最も多くなっています。

＜図表 167＞　通院による医師の診療頻度
【第２号被保険者　第４問２】【居宅サービス利用者　第６問６】
【サービス未利用者　第６問６】

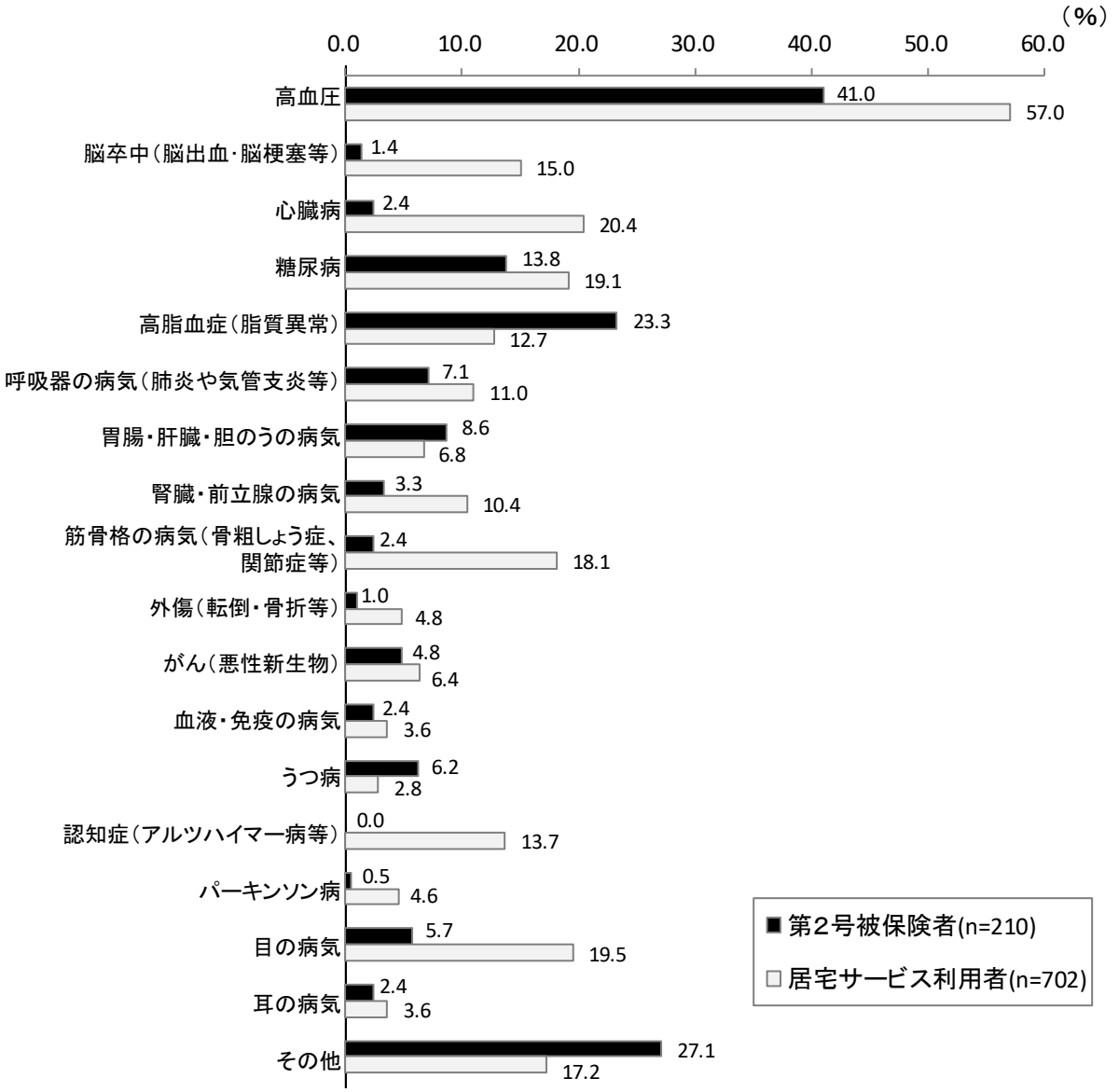


（４）通院している原因【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】

通院による医師の診療頻度で「通院していない」以外の回答をした人に、通院している原因を聞いたところ、第２号被保険者、居宅サービス利用者ともに「高血圧」が最も多く、それぞれ41.0%、57.0%となっています。

＜図表 168＞　通院している原因（複数回答）

【第２号被保険者　第４問２－１】【居宅サービス利用者　第６問６－１】



（５）自力で通院できなくなった場合の対処

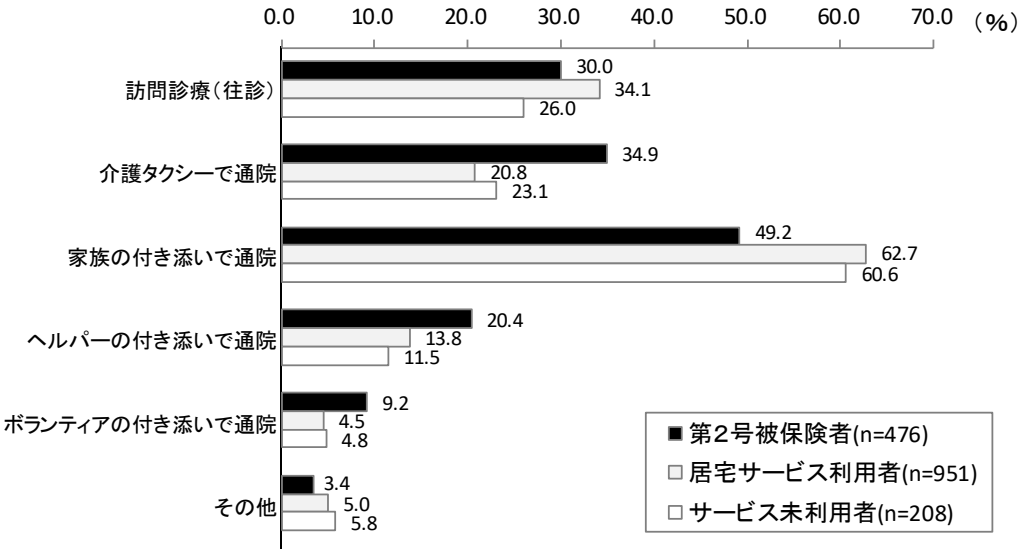
【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

自力で通院できなくなった場合の対処を聞いたところ、全ての調査において「家族の付き添いで通院」が最も多く、第２号被保険者で 49.2%、居宅サービス利用者で 62.7%、サービス未利用者で 60.6%となっています。

＜図表 169＞　自力で通院できなくなった場合の対処（複数回答）

【第２号被保険者　第４問３】【居宅サービス利用者　第６問７】

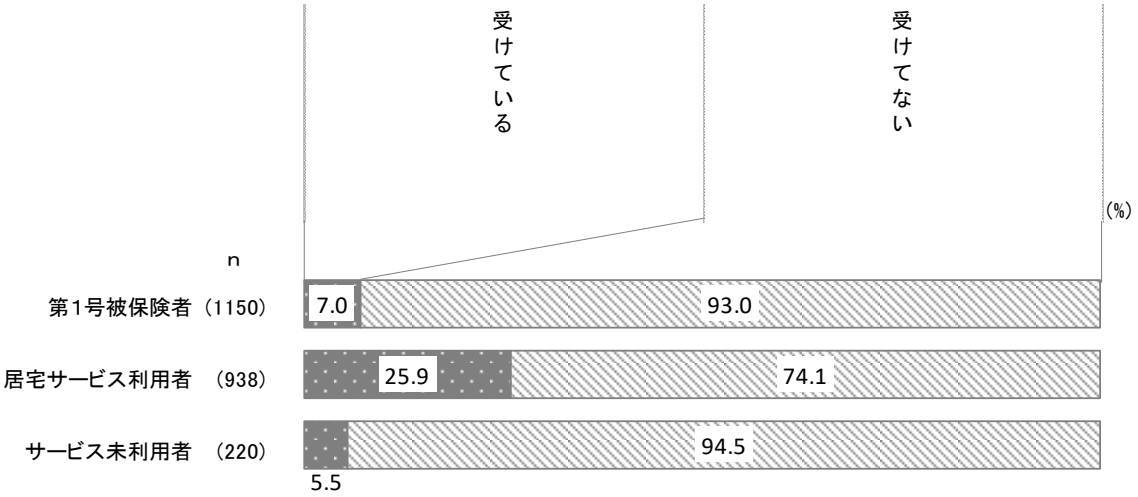
【サービス未利用者　第６問７】



（６）訪問診療の受診状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

訪問診療の受診状況を聞いたところ、第１号被保険者では「受けている」が 7.0%、居宅サービス利用者では 25.9%、サービス未利用者では 5.5%となっています。要介護度別にみると、要介護度が上がるほど訪問診療を受けている割合が高い傾向となっています。

＜図表 170＞　訪問診療の受診状況
【第１号被保険者　第８問 11】【居宅サービス利用者　第６問 10】
【サービス未利用者　第６問 10】



＜図表 171＞　訪問診療の受診状況（地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	受けている	受けてない
全　体		1150	7.0	93.0
地区	江別地区	413	7.3	92.7
	野幌地区	430	6.7	93.3
	大麻地区	307	6.8	93.2
介護度	非認定	1094	6.4	93.6
	要支援1・2	56	17.9	82.1

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	受けている	受けてない
全　体		938	25.9	74.1
地区	江別地区	332	28.9	71.1
	野幌地区	344	20.1	79.9
	大麻地区	243	29.6	70.4
介護度	要支援1・2	423	16.3	83.7
	要介護1・2	348	25.3	74.7
	要介護3～5	114	58.8	41.2

（単位：%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	受けている	受けてない
全　体		220	5.5	94.5
地区	江別地区	66	4.5	95.5
	野幌地区	88	4.5	95.5
	大麻地区	63	7.9	92.1
介護度	要支援1・2	133	4.5	95.5
	要介護1・2	36	5.6	94.4
	要介護3～5	16	6.3	93.8

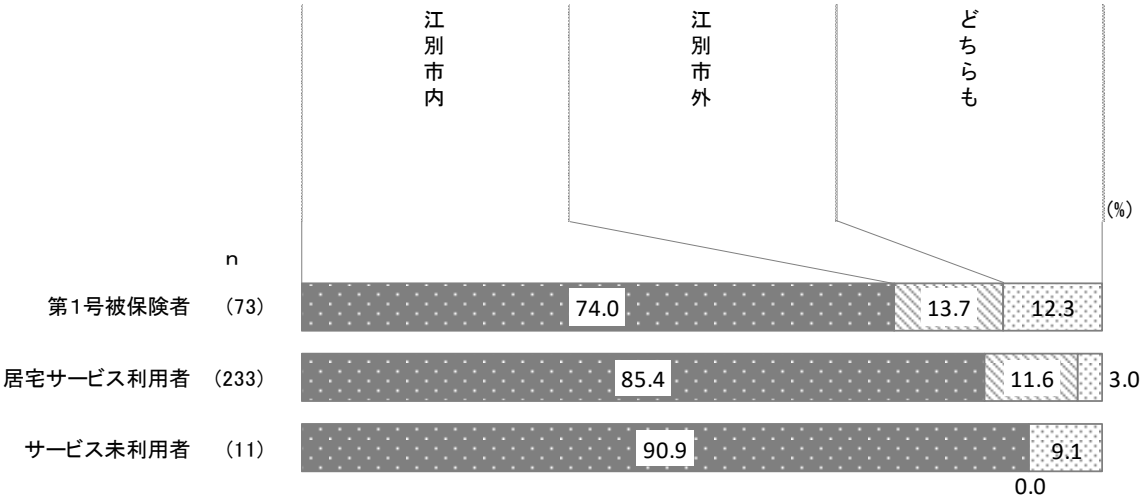
（７）訪問診療の利用先【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

訪問診療の受診状況で「受けている」と回答した人に、訪問診療の利用先を聞いたところ、全ての調査において「江別市内」が最も多く、第１号被保険者で 74.0%、居宅サービス利用者で 85.4%、サービス未利用者で 90.9%となっています。

＜図表 172＞　訪問診療の利用先

【第１号被保険者　第８問 11-1】【居宅サービス利用者　第６問 10-1】

【サービス未利用者　第６問 10-1】



＜図表 173＞　訪問診療の利用先（地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	江別市内	江別市外	どちらも
全　体		73	74.0	13.7	12.3
地区	江別地区	30	73.3	13.3	13.3
	野幌地区	27	77.8	11.1	11.1
	大麻地区	16	68.8	18.8	12.5
介護度	非認定	64	71.9	14.1	14.1
	要支援1・2	9	88.9	11.1	－

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	江別市内	江別市外	どちらも
全　体		233	85.4	11.6	3.0
地区	江別地区	91	93.4	5.5	1.1
	野幌地区	67	88.1	11.9	－
	大麻地区	69	73.9	17.4	8.7
介護度	要支援1・2	62	88.7	8.1	3.2
	要介護1・2	86	83.7	12.8	3.5
	要介護3～5	66	84.8	13.6	1.5

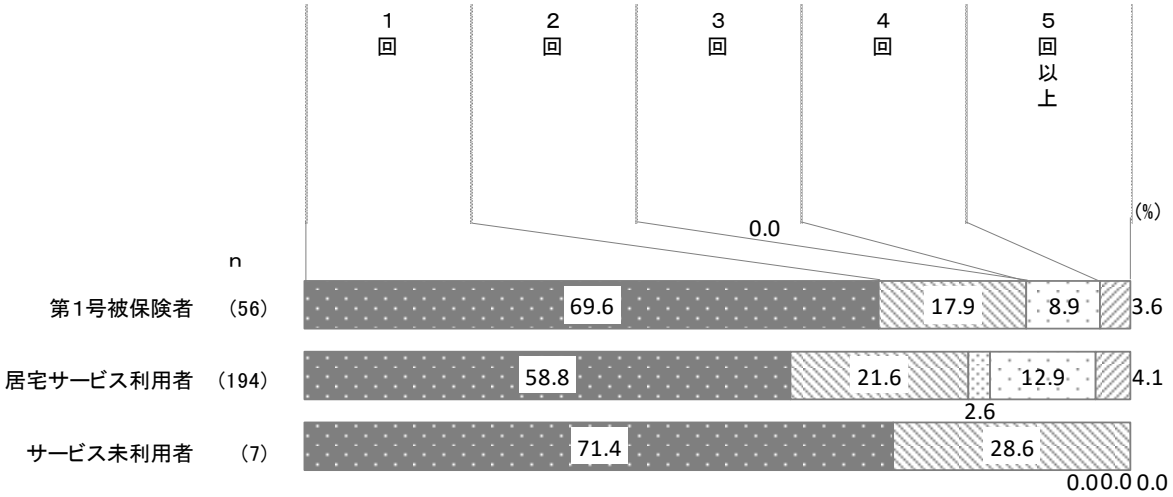
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	江別市内	江別市外	どちらも
全　体		11	90.9	－	9.1
地区	江別地区	3	100.0	－	－
	野幌地区	3	100.0	－	－
	大麻地区	5	80.0	－	20.0
介護度	要支援1・2	6	100.0	－	－
	要介護1・2	2	100.0	－	－
	要介護3～5	1	100.0	－	－

（８）１か月間の訪問診療頻度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

訪問診療の受診状況で「受けている」と回答した人に、１か月間の訪問診療頻度を聞いたところ、全ての調査において「１回」が最も多く、第１号被保険者で 69.6%、居宅サービス利用者で 58.8%、サービス未利用者で 71.4%となっています。

＜図表 174＞　１か月間の訪問診療頻度
【第１号被保険者　第８問 11-2】【居宅サービス利用者　第６問 10-2】
【サービス未利用者　第６問 10-2】



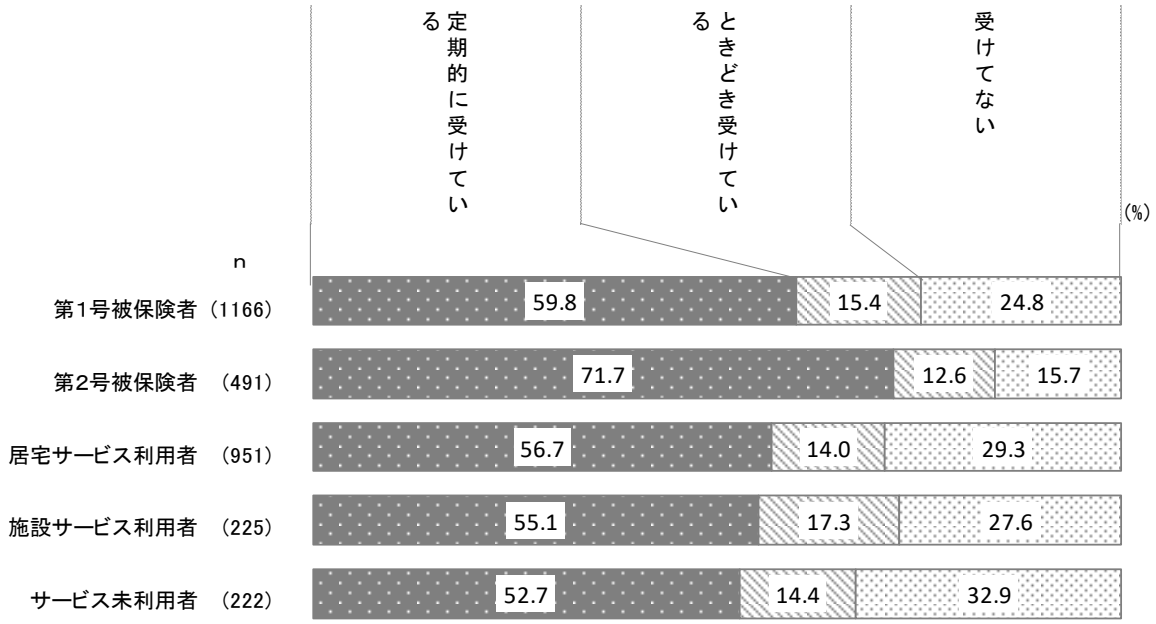
（９）健診の受診状況

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

健診の受診状況を聞いたところ、全ての調査において「定期的に受けている」が最も多く、第１号被保険者で 59.8%、第２号被保険者で 71.7%、居宅サービス利用者で 56.7%、施設サービス利用者で 55.1%、サービス未利用者で 52.7%となっています。

＜図表 175＞　健診の受診状況

【第１号被保険者　第８問 10】【第２号被保険者　第４問１】
【居宅サービス利用者　第６問５】【施設サービス利用者　第３問３】
【サービス未利用者　第６問５】



＜図表 176＞　健診の受診状況（性・年代別/地区別/要介護度別/主観的健康感別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		1166	59.8	15.4	24.8
性・年代	男性 65 ～74歳	270	67.0	11.9	21.1
	男性 75 歳以上	244	54.5	16.4	29.1
	女性 65 ～74歳	333	57.7	20.4	21.9
	女性 75 歳以上	303	61.1	11.9	27.1
地区	江別地区	419	60.1	16.2	23.6
	野幌地区	434	59.4	16.6	24.0
	大麻地区	313	59.7	12.8	27.5
介護度	非認定	1109	59.8	16.0	24.3
	要支援1・2	57	59.6	5.3	35.1
主観的健康感	とてもよい	113	61.1	15.0	23.9
	まあよい	829	60.6	16.0	23.4
	あまりよくない	194	53.6	14.9	31.4
	よくない	23	69.6	4.3	26.1

（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		491	71.7	12.6	15.7
性・年代	男性 40 代	55	69.1	18.2	12.7
	男性 50 代	65	84.6	4.6	10.8
	男性 60 歳以上	59	83.1	8.5	8.5
	女性 40 代	76	68.4	14.5	17.1
	女性 50 代	145	67.6	15.2	17.2
	女性 60 歳以上	79	65.8	13.9	20.3
地区	江別地区	185	68.6	15.7	15.7
	野幌地区	171	73.1	8.2	18.7
	大麻地区	132	74.2	14.4	11.4

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		951	56.7	14.0	29.3
性・年代	男性 40 ～64歳	7	42.9	28.6	28.6
	男性 65 ～74歳	43	51.2	16.3	32.6
	男性 75 歳以上	245	57.1	12.2	30.6
	女性 40 ～64歳	11	27.3	27.3	45.5
	女性 65 ～74歳	59	49.2	8.5	42.4
	女性 75 歳以上	534	58.1	14.4	27.5
地区	江別地区	332	56.9	14.2	28.9
	野幌地区	347	54.8	13.5	31.7
	大麻地区	252	59.5	13.9	26.6
介護度	要支援1・2	440	57.5	14.5	28.0
	要介護1・2	344	54.9	14.8	30.2
	要介護3～5	108	55.6	10.2	34.3
主観的健康観	とてもよい	35	65.7	11.4	22.9
	まあよい	544	58.5	14.0	27.6
	あまりよくない	286	54.9	15.7	29.4
	よくない	64	45.3	10.9	43.8

（単位：%）

〈施設サービス利用者調査〉		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		225	55.1	17.3	27.6
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	1	－	－	100.0
	男性 75 歳以上	47	53.2	23.4	23.4
	女性 40 ～64歳	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	2	50.0	－	50.0
	女性 75 歳以上	175	56.0	16.0	28.0
介護度	要介護1・2	38	57.9	15.8	26.3
	要介護3～5	181	53.6	17.7	28.7
主観的健康感	とてもよい	7	71.4	－	28.6
	まあよい	134	58.2	18.7	23.1
	あまりよくない	66	51.5	16.7	31.8
	よくない	18	38.9	16.7	44.4

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全 体		222	52.7	14.4	32.9
性・年代	男性 40 ～64歳	4	75.0	－	25.0
	男性 65 ～74歳	13	76.9	7.7	15.4
	男性 75 歳以上	75	49.3	17.3	33.3
	女性 40 ～64歳	5	40.0	20.0	40.0
	女性 65 ～74歳	9	55.6	22.2	22.2
	女性 75 歳以上	104	52.9	10.6	36.5
地区	江別地区	65	61.5	15.4	23.1
	野幌地区	87	48.3	12.6	39.1
	大麻地区	67	49.3	14.9	35.8
介護度	要支援1・2	135	53.3	11.9	34.8
	要介護1・2	37	56.8	21.6	21.6
	要介護3～5	16	56.3	6.3	37.5
主観的健康感	とてもよい	7	28.6	42.9	28.6
	まあよい	112	56.3	12.5	31.3
	あまりよくない	72	50.0	15.3	34.7
	よくない	26	57.7	7.7	34.6

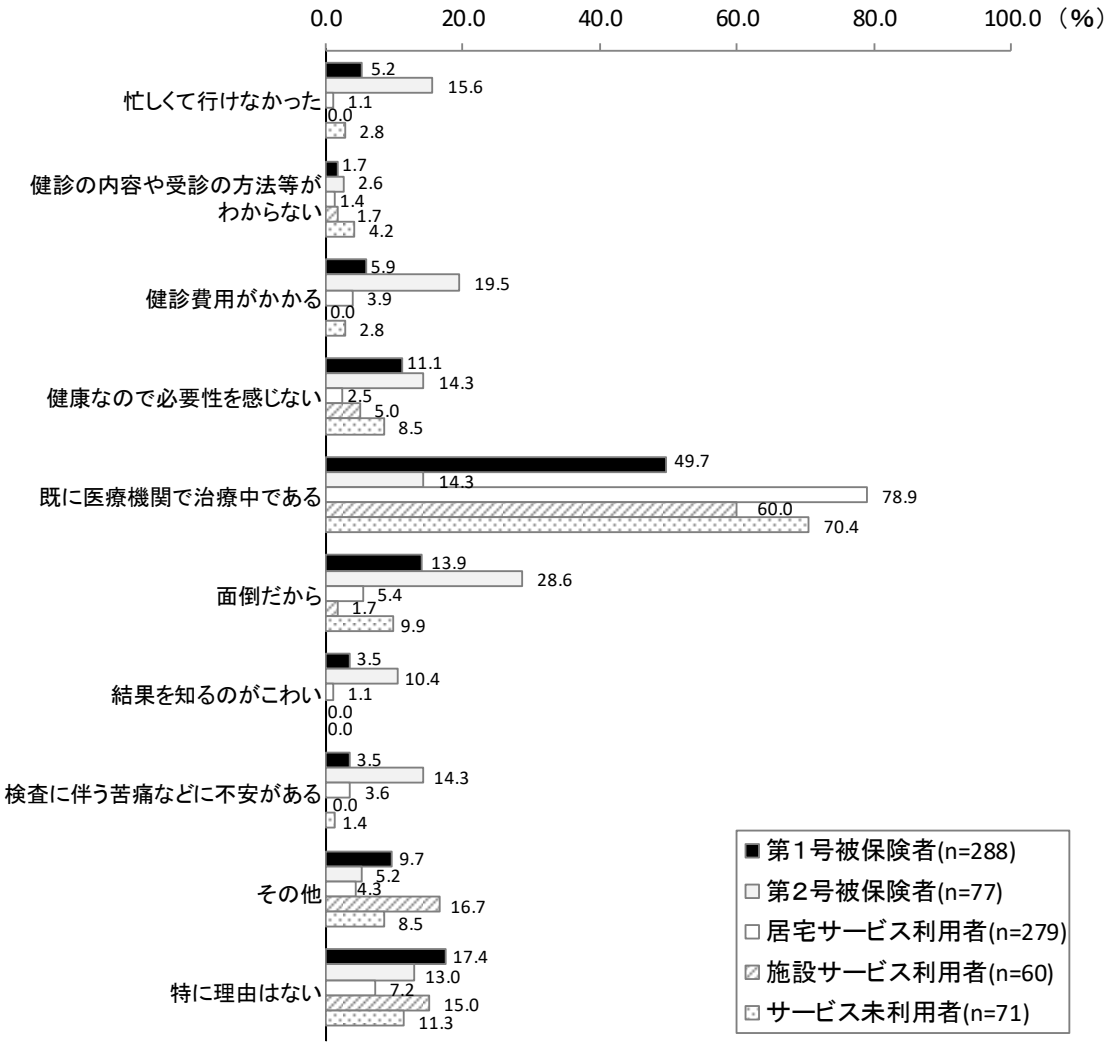
（10）健診を受けていない理由

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

健診の受診状況で「受けていない」と回答した人に、健診を受けていない理由を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「既に医療機関で治療中である」が最も多く、それぞれ 49.7%、78.9%、60.0%、70.4%となっています。第２号被保険者では「面倒だから」が 28.6%で最も多く、次いで「健診費用がかかる」が 19.5%となっています。

＜図表 177＞　健診を受けていない理由（複数回答）

【第１号被保険者　第８問 10-1】【第２号被保険者　第４問１－１】
【居宅サービス利用者　第６問５－１】【施設サービス利用者　第３問３－１】
【サービス未利用者　第６問５－１】



＜図表 178＞　健診を受けていない理由（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		288	5.2	1.7	5.9	11.1	49.7	13.9	3.5	3.5	9.7	17.4
性・年代	男性 65 ～74歳	57	5.3	1.8	17.5	15.8	45.6	21.1	1.8	1.8	8.8	14.0
	男性 75 歳以上	71	5.6	2.8	2.8	12.7	54.9	14.1	－	2.8	7.0	14.1
	女性 65 ～74歳	72	6.9	1.4	2.8	9.7	41.7	18.1	5.6	6.9	16.7	19.4
	女性 75 歳以上	82	3.7	1.2	3.7	7.3	54.9	6.1	6.1	1.2	7.3	20.7
家族構成	一人暮らし	73	5.5	1.4	6.8	6.8	41.1	12.3	4.1	－	15.1	21.9
	夫婦のみ	129	4.7	2.3	7.0	11.6	54.3	15.5	3.1	5.4	5.4	15.5
	同居その他	82	6.1	1.2	3.7	13.4	51.2	13.4	3.7	2.4	12.2	15.9
地区	江別地区	98	7.1	3.1	7.1	12.2	52.0	17.3	5.1	7.1	9.2	14.3
	野幌地区	104	5.8	1.9	5.8	8.7	50.0	9.6	1.9	1.9	8.7	22.1
	大麻地区	86	2.3	－	4.7	12.8	46.5	15.1	3.5	1.2	11.6	15.1
介護度	非認定	268	5.6	1.9	6.3	11.6	47.8	14.2	3.7	3.4	10.4	17.9
	要支援1・2	20	－	－	－	5.0	75.0	10.0	－	5.0	－	10.0

（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		77	15.6	2.6	19.5	14.3	14.3	28.6	10.4	14.3	5.2	13.0
性・年代	男性 40 代	7	14.3	－	57.1	14.3	－	28.6	－	－	－	－
	男性 50 代	7	28.6	－	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	－	14.3
	男性 60 歳以上	5	20.0	－	－	20.0	－	40.0	－	－	20.0	－
	女性 40 代	13	38.5	15.4	30.8	7.7	7.7	15.4	7.7	30.8	7.7	7.7
	女性 50 代	25	4.0	－	16.0	8.0	24.0	28.0	8.0	12.0	4.0	20.0
	女性 60 歳以上	16	12.5	－	12.5	25.0	6.3	37.5	12.5	12.5	6.3	12.5
家族構成	一人暮らし	12	8.3	－	8.3	8.3	8.3	33.3	8.3	16.7	16.7	16.7
	夫婦のみ	14	－	－	14.3	14.3	21.4	35.7	14.3	14.3	－	14.3
	同居その他	48	22.9	4.2	25.0	14.6	14.6	27.1	10.4	14.6	4.2	8.3
地区	江別地区	29	24.1	6.9	24.1	13.8	17.2	31.0	6.9	20.7	－	6.9
	野幌地区	32	6.3	－	21.9	18.8	12.5	25.0	9.4	15.6	12.5	12.5
	大麻地区	15	20.0	－	6.7	6.7	13.3	33.3	20.0	－	－	20.0

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		279	1.1	1.4	3.9	2.5	78.9	5.4	1.1	3.6	4.3	7.2
性・年代	男性 40 ～64歳	2	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	14	7.1	－	7.1	－	85.7	－	－	－	－	7.1
	男性 75 歳以上	75	1.3	－	5.3	－	80.0	4.0	－	1.3	6.7	5.3
	女性 40 ～64歳	5	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	25	－	－	－	4.0	80.0	4.0	4.0	12.0	12.0	4.0
	女性 75 歳以上	147	0.7	2.7	3.4	3.4	76.9	6.8	0.7	4.1	2.7	8.8
家族構成	一人暮らし	87	1.1	－	5.7	1.1	82.8	5.7	3.4	4.6	2.3	8.0
	夫婦のみ	82	－	1.2	3.7	－	79.3	3.7	－	4.9	4.9	8.5
	同居その他	107	1.9	2.8	2.8	5.6	75.7	6.5	－	1.9	5.6	4.7
地区	江別地区	96	1.0	－	4.2	2.1	83.3	8.3	1.0	4.2	4.2	3.1
	野幌地区	110	0.9	2.7	4.5	1.8	76.4	2.7	0.9	2.7	3.6	10.9
	大麻地区	67	1.5	1.5	3.0	3.0	80.6	6.0	1.5	4.5	4.5	4.5
介護度	要支援1・2	123	1.6	2.4	4.1	2.4	84.6	4.9	1.6	4.9	2.4	4.1
	要介護1・2	104	1.0	1.0	3.8	2.9	76.0	5.8	－	2.9	3.8	8.7
	要介護3～5	37	－	－	－	－	75.7	2.7	－	2.7	13.5	10.8

（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		60	－	1.7	－	5.0	60.0	1.7	－	－	16.7	15.0
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	男性 60 歳以上	11	－	－	－	－	63.6	－	－	－	18.2	18.2
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	女性 60 歳以上	47	－	2.1	－	6.4	57.4	2.1	－	－	17.0	14.9
介護度	要介護1・2	10	－	10.0	－	－	30.0	－	－	－	30.0	30.0
	要介護3～5	50	－	－	－	6.0	66.0	2.0	－	－	14.0	12.0

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		71	2.8	4.2	2.8	8.5	70.4	9.9	－	1.4	8.5	11.3
性・年代	男性 40 ～64歳	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	2	50.0	－	－	－	50.0	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	24	－	4.2	－	12.5	66.7	12.5	－	4.2	8.3	12.5
	女性 40 ～64歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	2	－	－	－	－	50.0	50.0	－	－	50.0	－
	女性 75 歳以上	37	－	2.7	2.7	2.7	75.7	5.4	－	－	5.4	13.5
家族構成	一人暮らし	27	－	7.4	－	11.1	66.7	7.4	－	－	3.7	11.1
	夫婦のみ	24	4.2	－	4.2	4.2	70.8	8.3	－	－	8.3	12.5
	同居その他	20	5.0	5.0	5.0	10.0	75.0	15.0	－	5.0	15.0	10.0
地区	江別地区	13	7.7	－	－	－	61.5	23.1	－	－	7.7	15.4
	野幌地区	34	2.9	5.9	2.9	11.8	73.5	5.9	－	2.9	11.8	11.8
	大麻地区	24	－	4.2	4.2	8.3	70.8	8.3	－	－	4.2	8.3
介護度	要支援1・2	45	－	2.2	－	6.7	75.6	8.9	－	2.2	6.7	11.1
	要介護1・2	8	12.5	25.0	25.0	25.0	75.0	12.5	－	－	12.5	－
	要介護3～5	6	16.7	－	－	－	66.7	－	－	－	16.7	－

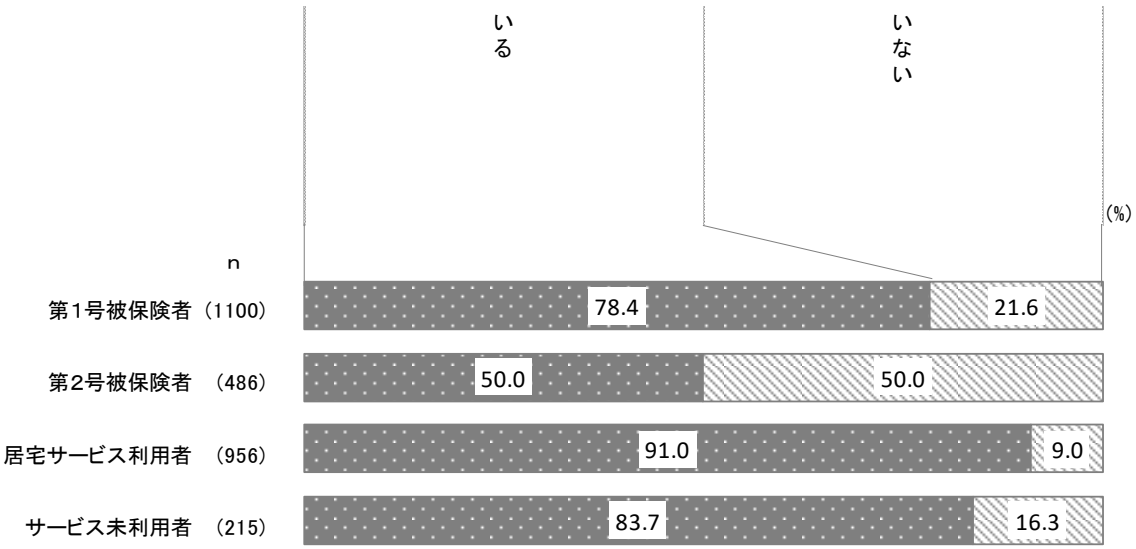
（11）かかりつけ医の有無

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

かかりつけ医の有無を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「いる」がそれぞれ 78.4%、91.0%、83.7%となっています。第２号被保険者では「いる」「いない」がともに 50.0%となっています。

＜図表 179＞　かかりつけ医の有無

【第１号被保険者　第 11 問１】【第２号被保険者　第４問４】
【居宅サービス利用者　第６問８】【サービス未利用者　第６問８】



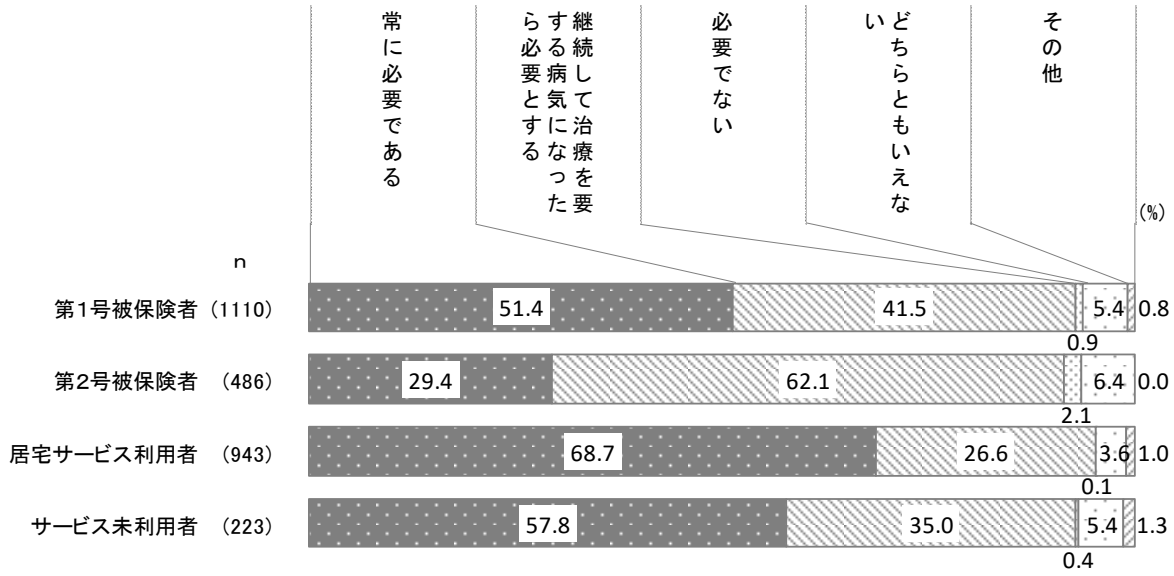
（12）かかりつけ医の必要性

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

かかりつけ医の必要性を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「常に必要である」が最も多く、それぞれ 51.4%、68.7%、57.8%となっています。第２号被保険者では「継続して治療を要する病気になったら必要とする」が 62.1%で最も多くなっています。

＜図表 180＞　かかりつけ医の必要性

【第１号被保険者　第 11 問２】【第２号被保険者　第４問５】
【居宅サービス利用者　第６問９】【サービス未利用者　第６問９】



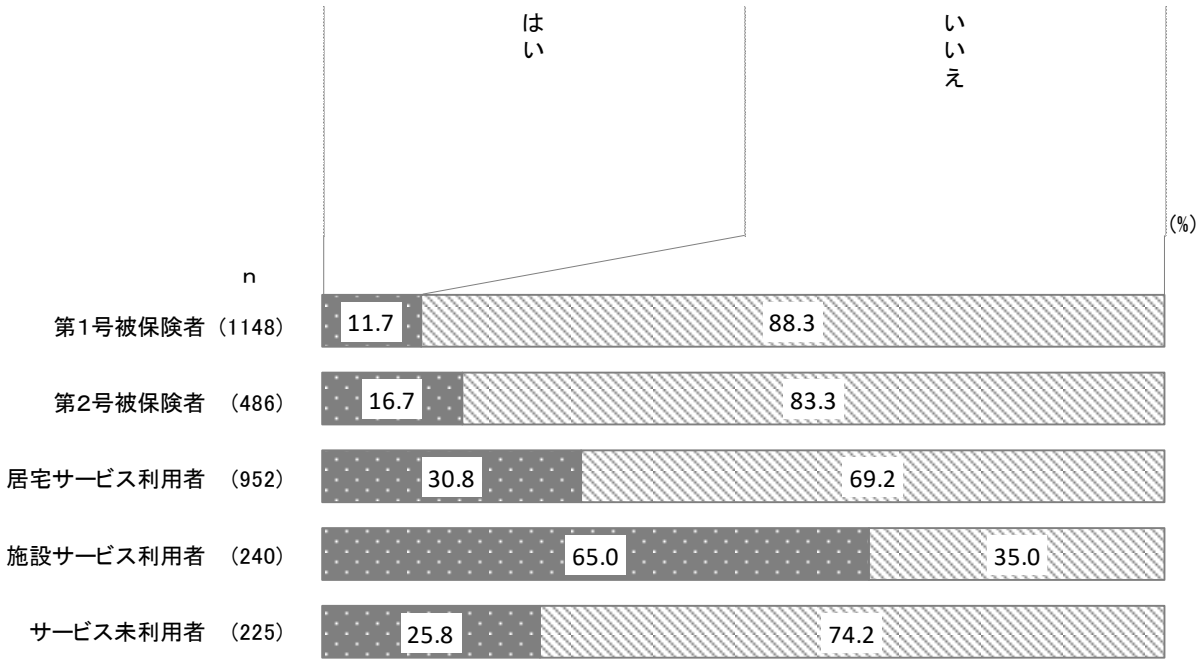
９.認知症の意識や支援等

（１）自身または家族に認知症の症状がある

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

自身または家族に認知症の症状がある人の有無を聞いたところ、「はい（いる）」が第１号被保険者で 11.7%、第２号被保険者で 16.7%、居宅サービス利用者で 30.8%、施設サービス利用者で 65.0%、サービス未利用者で 25.8%となっています。

＜図表 181＞　自身または家族に認知症の症状がある
【第１号被保険者　第９問１】【第２号被保険者　第８問１】
【居宅サービス利用者　第８問１】【施設サービス利用者　第５問１】
【サービス未利用者　第７問１】



＜図表 182＞　自身または家族に認知症の症状がある（性・年代別/地区別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		1148	11.7	88.3
性・年代	男性 65 ～74歳	265	12.1	87.9
	男性 75 歳以上	240	7.9	92.1
	女性 65 ～74歳	327	15.9	84.1
	女性 75 歳以上	300	9.0	91.0
地区	江別地区	413	11.1	88.9
	野幌地区	433	14.3	85.7
	大麻地区	302	8.6	91.4

（単位：%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		486	16.7	83.3
性・年代	男性 40 代	55	12.7	87.3
	男性 50 代	64	10.9	89.1
	男性 60 歳以上	57	19.3	80.7
	女性 40 代	75	12.0	88.0
	女性 50 代	144	20.1	79.9
	女性 60 歳以上	79	20.3	79.7
地区	江別地区	182	18.7	81.3
	野幌地区	170	15.3	84.7
	大麻地区	131	16.0	84.0

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		952	30.8	69.2
性・年代	男性 40 ～64歳	7	28.6	71.4
	男性 65 ～74歳	42	33.3	66.7
	男性 75 歳以上	247	35.2	64.8
	女性 40 ～64歳	13	15.4	84.6
	女性 65 ～74歳	61	18.0	82.0
	女性 75 歳以上	531	31.6	68.4
地区	江別地区	339	31.9	68.1
	野幌地区	347	32.0	68.0
	大麻地区	248	29.4	70.6

（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		240	65.0	35.0
性・年代	男性 40 代	−	−	−
	男性 50 代	1	100.0	−
	男性 60 歳以上	53	50.9	49.1
	女性 40 代	−	−	−
	女性 50 代	2	100.0	−
	女性 60 歳以上	183	68.9	31.1

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		225	25.8	74.2
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	50.0
	男性 65 ～74歳	14	14.3	85.7
	男性 75 歳以上	73	32.9	67.1
	女性 40 ～64歳	5	−	100.0
	女性 65 ～74歳	9	44.4	55.6
	女性 75 歳以上	106	23.6	76.4
地区	江別地区	67	26.9	73.1
	野幌地区	89	30.3	69.7
	大麻地区	66	19.7	80.3

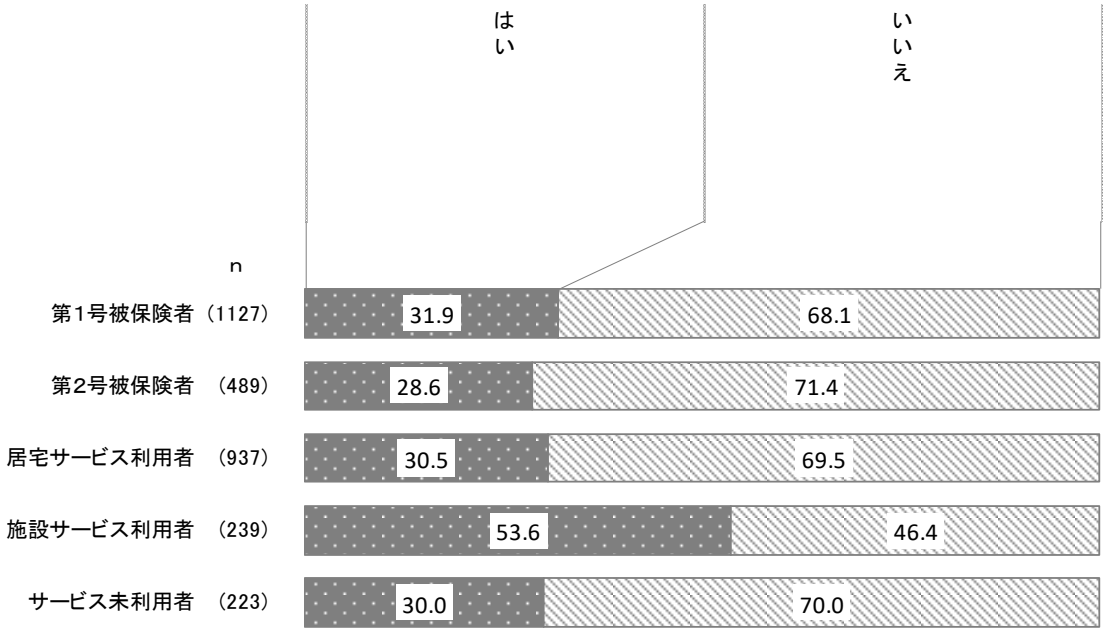
（２）認知症に関する相談窓口の認知度

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

認知症に関する相談窓口の認知度を聞いたところ、「はい（知っている）」が第１号被保険者で31.9%、第２号被保険者で28.6%、居宅サービス利用者で30.5%、施設サービス利用者で53.6%、サービス未利用者で30.0%となっています。

＜図表 183＞　認知症に関する相談窓口の認知度

【第１号被保険者　第９問２】【第２号被保険者　第８問２】
【居宅サービス利用者　第８問２】【施設サービス利用者　第５問２】
【サービス未利用者　第７問２】



＜図表 184＞　認知症に関する相談窓口の認知度（性・年代別/地区別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		1127	31.9	68.1
性・年代	男性 65 ～74歳	264	26.5	73.5
	男性 75 歳以上	235	26.0	74.0
	女性 65 ～74歳	317	39.7	60.3
	女性 75 歳以上	295	32.5	67.5
地区	江別地区	405	30.6	69.4
	野幌地区	426	33.1	66.9
	大麻地区	296	31.8	68.2

（単位:%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		489	28.6	71.4
性・年代	男性 40 代	55	20.0	80.0
	男性 50 代	64	18.8	81.3
	男性 60 歳以上	57	28.1	71.9
	女性 40 代	76	30.3	69.7
	女性 50 代	146	29.5	70.5
	女性 60 歳以上	79	40.5	59.5
地区	江別地区	183	32.8	67.2
	野幌地区	170	28.2	71.8
	大麻地区	133	23.3	76.7

（単位:%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		937	30.5	69.5
性・年代	男性 40 ～64歳	7	42.9	57.1
	男性 65 ～74歳	39	35.9	64.1
	男性 75 歳以上	242	31.4	68.6
	女性 40 ～64歳	13	30.8	69.2
	女性 65 ～74歳	59	22.0	78.0
	女性 75 歳以上	527	30.4	69.6
地区	江別地区	335	30.1	69.9
	野幌地区	339	30.4	69.6
	大麻地区	246	29.7	70.3

（単位：%）

〈施設サービス利用者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		239	53.6	46.4
性・年代	男性 40 代	−	−	−
	男性 50 代	1	−	100.0
	男性 60 歳以上	53	47.2	52.8
	女性 40 代	−	−	−
	女性 50 代	2	50.0	50.0
	女性 60 歳以上	182	56.0	44.0

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		223	30.0	70.0
性・年代	男性 40 ～64歳	4	25.0	75.0
	男性 65 ～74歳	14	21.4	78.6
	男性 75 歳以上	73	41.1	58.9
	女性 40 ～64歳	5	−	100.0
	女性 65 ～74歳	7	−	100.0
	女性 75 歳以上	106	31.1	68.9
地区	江別地区	65	40.0	60.0
	野幌地区	91	25.3	74.7
	大麻地区	64	28.1	71.9

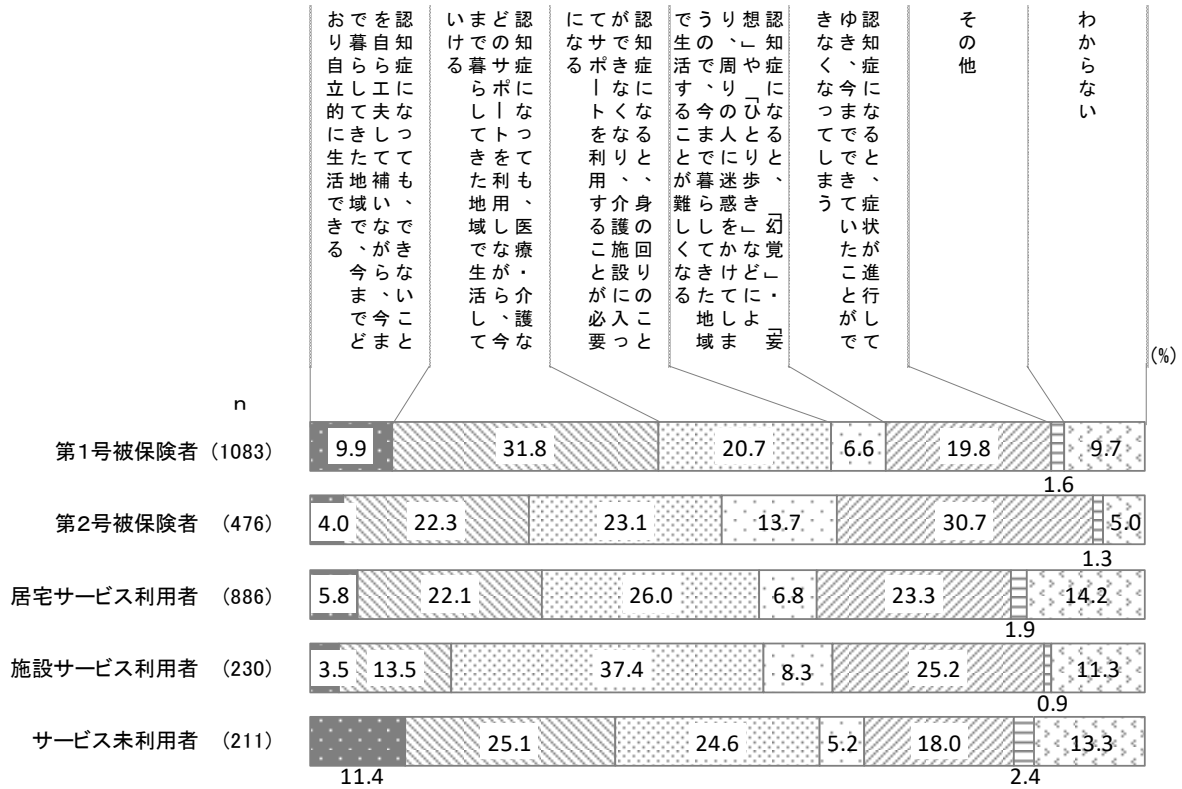
（３）認知症に対するイメージ

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

認知症に対するイメージを聞いたところ、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と「認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」、「認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう」を合わせると、第１号被保険者で 47.1%、第２号被保険者で 67.5%、居宅サービス利用者で 56.1%、施設サービス利用者で 70.9%、サービス未利用者で 47.8%となっています。

＜図表 185＞　認知症に対するイメージ

【第１号被保険者　第９問３】【第２号被保険者　第８問３】
【居宅サービス利用者　第８問３】【施設サービス利用者　第５問３】
【サービス未利用者　第７問３】

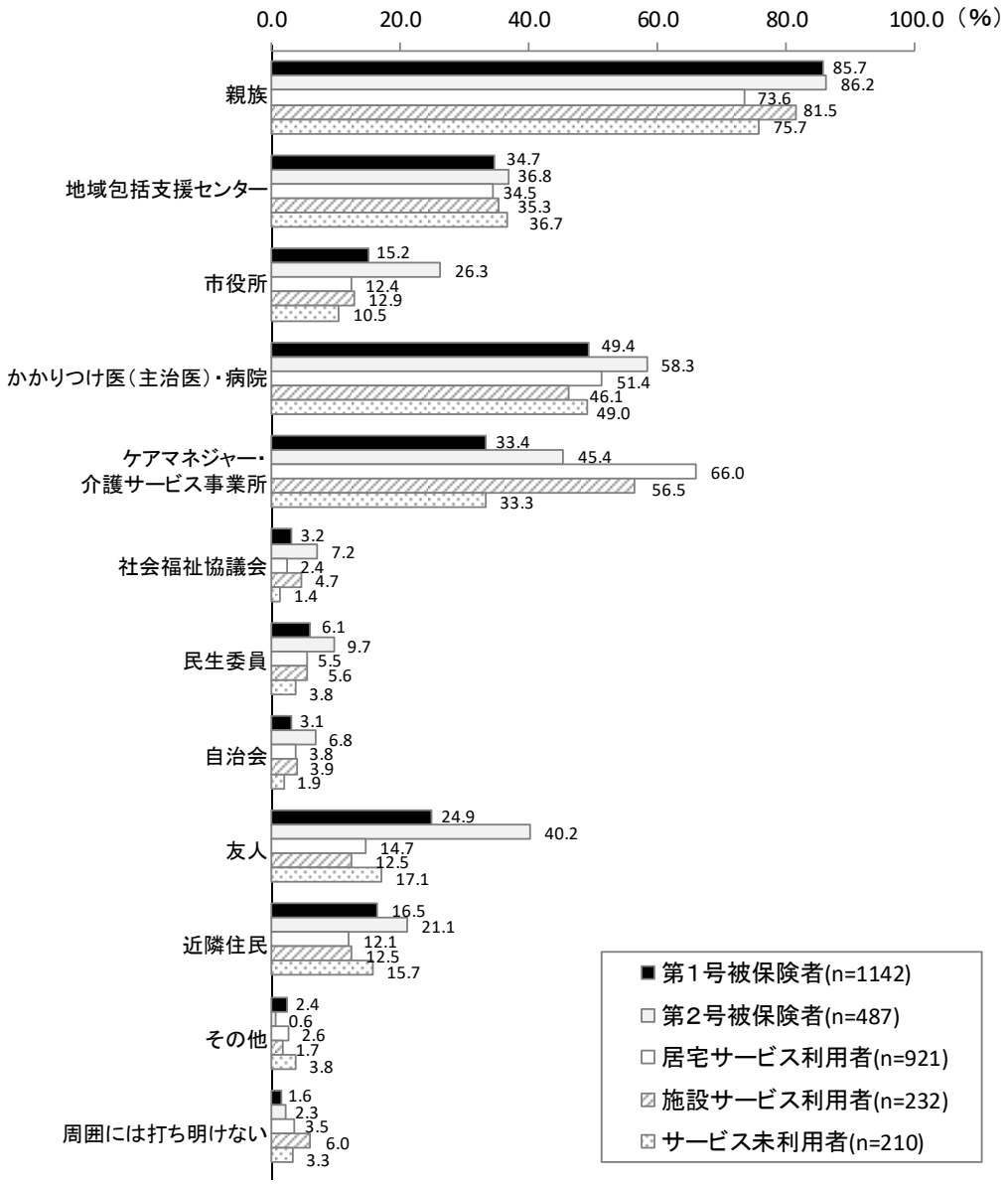


（４）家族が認知症であることを打ち明ける範囲

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

家族が認知症であることを打ち明ける範囲を聞いたところ、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で 85.7%、第２号被保険者で 86.2%、居宅サービス利用者で 73.6%、施設サービス利用者で 81.5%、サービス未利用者で 75.7%となっています。

＜図表 186＞　家族が認知症であることを打ち明ける範囲（複数回答）
【第１号被保険者　第９問４】【第２号被保険者　第８問４】
【居宅サービス利用者　第８問４】【施設サービス利用者　第５問４】
【サービス未利用者　第７問４】



＜図表 187＞　家族が認知症であることを打ち明ける範囲（性・年代別/地区別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	近隣住民	その他	周囲には打ち明けない
全　体		1142	85.7	34.7	15.2	49.4	33.4	3.2	6.1	3.1	24.9	16.5	2.4	1.6
性・年代	男性 65 ～74歳	262	87.0	26.7	17.6	42.4	29.8	3.4	5.0	2.7	16.8	11.1	3.8	2.3
	男性 75 歳以上	239	83.3	23.4	14.6	43.1	22.6	4.2	6.7	2.9	11.7	9.2	2.1	2.1
	女性 65 ～74歳	328	88.4	45.7	14.9	56.1	45.7	2.7	7.3	5.5	36.3	22.6	0.9	1.5
	女性 75 歳以上	299	83.3	38.5	14.0	53.2	32.1	2.7	5.0	1.0	30.4	20.1	2.7	0.7
地区	江別地区	411	86.9	31.1	15.3	48.2	30.7	2.7	4.1	1.9	22.4	13.9	1.9	1.7
	野幌地区	429	86.5	35.0	14.7	46.6	34.5	3.7	6.8	4.0	25.2	16.8	2.8	1.2
	大麻地区	302	83.1	39.1	15.9	55.0	35.4	3.0	7.9	3.3	27.8	19.5	2.3	2.0

（単位：%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	近隣住民	その他	周囲には打ち明けない
全　体		487	86.2	36.8	26.3	58.3	45.4	7.2	9.7	6.8	40.2	21.1	0.6	2.3
性・年代	男性 40 代	55	81.8	36.4	30.9	60.0	41.8	7.3	5.5	5.5	29.1	25.5	－	5.5
	男性 50 代	64	85.9	29.7	31.3	43.8	42.2	7.8	10.9	6.3	31.3	17.2	－	4.7
	男性 60 歳以上	56	92.9	28.6	21.4	41.1	26.8	7.1	8.9	7.1	23.2	7.1	－	3.6
	女性 40 代	76	89.5	31.6	38.2	71.1	56.6	10.5	10.5	6.6	42.1	27.6	2.6	1.3
	女性 50 代	145	82.8	40.7	23.4	60.7	48.3	3.4	9.0	6.2	47.6	22.8	0.7	1.4
	女性 60 歳以上	79	87.3	45.6	17.7	68.4	50.6	10.1	12.7	8.9	51.9	20.3	－	－
地区	江別地区	182	90.7	40.1	29.1	59.9	47.3	7.1	9.9	7.1	41.2	22.5	1.6	1.6
	野幌地区	169	79.9	37.3	23.1	56.8	40.2	8.9	10.7	7.7	39.6	21.9	－	3.6
	大麻地区	133	88.0	32.3	27.1	59.4	50.4	5.3	8.3	5.3	39.8	18.0	－	1.5

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	近隣住民	その他	周囲には打ち明けない
全　体		921	73.6	34.5	12.4	51.4	66.0	2.4	5.5	3.8	14.7	12.1	2.6	3.5
性・年代	男性 40 ～64歳	7	85.7	－	28.6	－	85.7	14.3	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	42	88.1	33.3	7.1	54.8	66.7	4.8	4.8	4.8	21.4	26.2	2.4	－
	男性 75 歳以上	239	76.2	36.4	17.2	55.2	64.9	2.1	5.0	4.2	12.6	12.6	4.2	2.5
	女性 40 ～64歳	13	61.5	46.2	7.7	30.8	92.3	7.7	－	－	15.4	－	－	－
	女性 65 ～74歳	58	63.8	29.3	12.1	46.6	74.1	－	1.7	5.2	29.3	13.8	－	5.2
	女性 75 歳以上	513	74.1	33.9	10.1	52.2	65.3	2.5	6.6	3.7	14.2	11.1	2.1	3.9
地区	江別地区	325	70.8	35.7	11.1	52.0	65.5	1.5	5.5	3.1	10.2	11.4	1.8	4.6
	野幌地区	338	77.5	32.2	11.5	49.4	68.3	3.3	4.4	3.8	16.3	12.4	2.1	3.6
	大麻地区	241	73.4	36.5	14.9	55.6	65.6	2.5	7.1	5.0	19.1	12.9	3.7	1.7

（単位:%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	近隣住民	その他	周囲には打ち明けない
全　体		232	81.5	35.3	12.9	46.1	56.5	4.7	5.6	3.9	12.5	12.5	1.7	6.0
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	1	100.0	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 60 歳以上	51	90.2	31.4	11.8	51.0	58.8	5.9	3.9	7.8	15.7	13.7	－	3.9
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	2	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	－	－	－	50.0	50.0	－	－
	女性 60 歳以上	177	78.5	36.2	13.0	44.1	55.9	4.5	6.2	2.8	11.3	11.9	2.3	6.8

（単位:%）

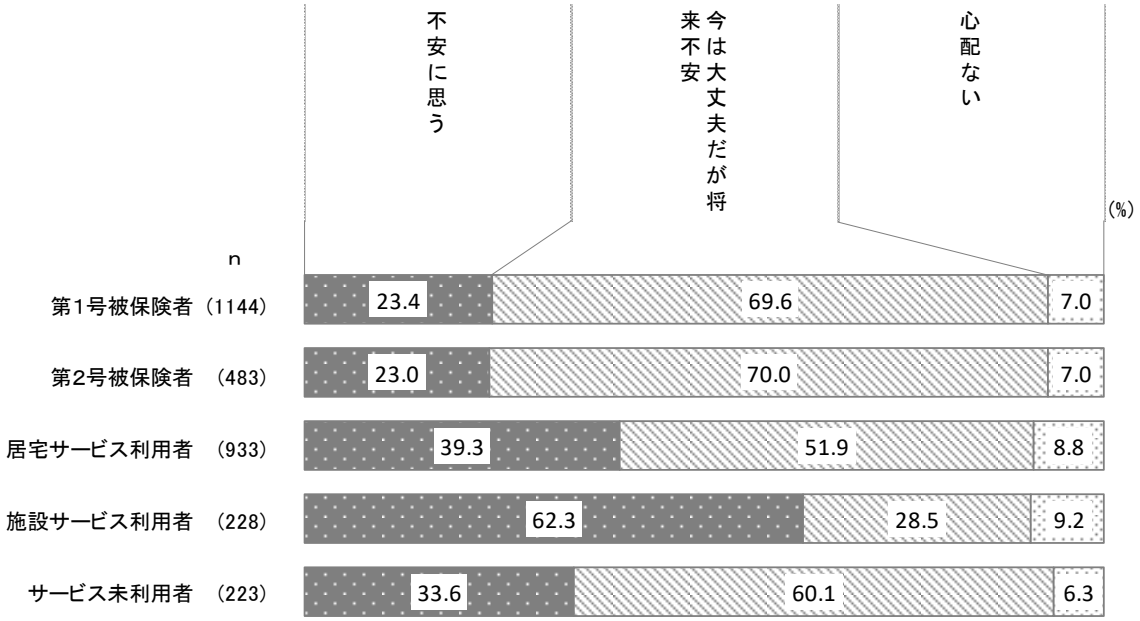
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	近隣住民	その他	周囲には打ち明けない
全　体		210	75.7	36.7	10.5	49.0	33.3	1.4	3.8	1.9	17.1	15.7	3.8	3.3
性・年代	男性 40 ～64歳	4	100.0	75.0	－	100.0	50.0	－	－	－	25.0	25.0	－	－
	男性 65 ～74歳	14	78.6	21.4	21.4	42.9	42.9	－	－	7.1	21.4	14.3	7.1	－
	男性 75 歳以上	69	78.3	39.1	15.9	43.5	37.7	1.4	5.8	4.3	15.9	15.9	－	4.3
	女性 40 ～64歳	5	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0	－	－	－	20.0	40.0	－	－
	女性 65 ～74歳	9	66.7	－	11.1	44.4	22.2	－	－	－	22.2	－	22.2	－
	女性 75 歳以上	96	78.1	37.5	5.2	52.1	29.2	2.1	3.1	－	14.6	14.6	4.2	4.2
地区	江別地区	65	73.8	43.1	12.3	44.6	36.9	1.5	4.6	1.5	15.4	15.4	1.5	－
	野幌地区	84	73.8	36.9	11.9	56.0	35.7	2.4	2.4	2.4	19.0	14.3	4.8	4.8
	大麻地区	58	79.3	27.6	6.9	43.1	27.6	－	5.2	1.7	15.5	17.2	5.2	5.2

（５）認知症に対する不安

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

認知症に対する不安を聞いたところ、「不安に思う」と「今は大丈夫だが将来不安」を合わせると、第１号被保険者で 93.0%、第２号被保険者で 93.0%、居宅サービス利用者で 91.2%、施設サービス利用者で 90.8%、サービス未利用者で 93.7%となっています。

＜図表 188＞　認知症に対する不安
【第１号被保険者　第９問５】【第２号被保険者　第８問５】
【居宅サービス利用者　第８問５】【施設サービス利用者　第５問５】
【サービス未利用者　第７問５】



＜図表 189＞　認知症に対する不安（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		1144	23.4	69.6	7.0
性・年代	男性 65 ～74歳	263	19.0	71.9	9.1
	男性 75 歳以上	238	24.4	63.4	12.2
	女性 65 ～74歳	329	19.1	78.4	2.4
	女性 75 歳以上	300	30.3	64.0	5.7
家族構成	一人暮らし	207	24.2	66.7	9.2
	夫婦のみ	617	23.3	70.7	6.0
	同居その他	312	22.8	70.2	7.1
地区	江別地区	413	25.7	69.7	4.6
	野幌地区	426	22.5	70.0	7.5
	大麻地区	305	21.6	68.9	9.5
介護度	非認定	1089	22.8	70.2	7.0
	要支援1・2	55	36.4	56.4	7.3

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		483	23.0	70.0	7.0
性・年代	男性 40 代	55	18.2	72.7	9.1
	男性 50 代	64	29.7	59.4	10.9
	男性 60 歳以上	56	16.1	76.8	7.1
	女性 40 代	76	25.0	65.8	9.2
	女性 50 代	142	22.5	73.2	4.2
	女性 60 歳以上	78	23.1	70.5	6.4
家族構成	一人暮らし	48	12.5	77.1	10.4
	夫婦のみ	130	18.5	76.2	5.4
	同居その他	296	26.4	66.2	7.4
地区	江別地区	183	23.5	69.9	6.6
	野幌地区	164	20.1	72.6	7.3
	大麻地区	133	24.8	67.7	7.5

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		933	39.3	51.9	8.8
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	85.7	－
	男性 65 ～74歳	43	37.2	53.5	9.3
	男性 75 歳以上	237	41.4	46.8	11.8
	女性 40 ～64歳	13	30.8	61.5	7.7
	女性 65 ～74歳	62	40.3	54.8	4.8
	女性 75 歳以上	524	39.3	52.5	8.2
家族構成	一人暮らし	294	39.8	50.3	9.9
	夫婦のみ	259	38.2	54.4	7.3
	同居その他	357	40.1	51.3	8.7
地区	江別地区	326	40.2	52.1	7.7
	野幌地区	343	38.2	52.2	9.6
	大麻地区	247	41.3	50.2	8.5
介護度	要支援1・2	435	31.0	61.8	7.1
	要介護1・2	338	46.4	43.2	10.4
	要介護3～5	105	56.2	33.3	10.5

（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		228	62.3	28.5	9.2
性・年代	男性 40 代	−	−	−	−
	男性 50 代	1	−	100.0	−
	男性 60 歳以上	48	58.3	33.3	8.3
	女性 40 代	−	−	−	−
	女性 50 代	2	50.0	−	50.0
	女性 60 歳以上	176	63.6	27.3	9.1
介護度	要介護1・2	40	45.0	42.5	12.5
	要介護3～5	181	67.4	24.3	8.3

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		223	33.6	60.1	6.3
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	50.0	−
	男性 65 ～74歳	14	21.4	78.6	−
	男性 75 歳以上	72	31.9	61.1	6.9
	女性 40 ～64歳	5	−	80.0	20.0
	女性 65 ～74歳	8	50.0	25.0	25.0
	女性 75 歳以上	106	34.9	60.4	4.7
家族構成	一人暮らし	65	32.3	63.1	4.6
	夫婦のみ	88	31.8	60.2	8.0
	同居その他	66	36.4	59.1	4.5
地区	江別地区	66	28.8	63.6	7.6
	野幌地区	88	37.5	60.2	2.3
	大麻地区	67	31.3	58.2	10.4
介護度	要支援1・2	135	29.6	65.9	4.4
	要介護1・2	35	51.4	40.0	8.6
	要介護3～5	15	46.7	53.3	−

（６）認知症に関する相談先

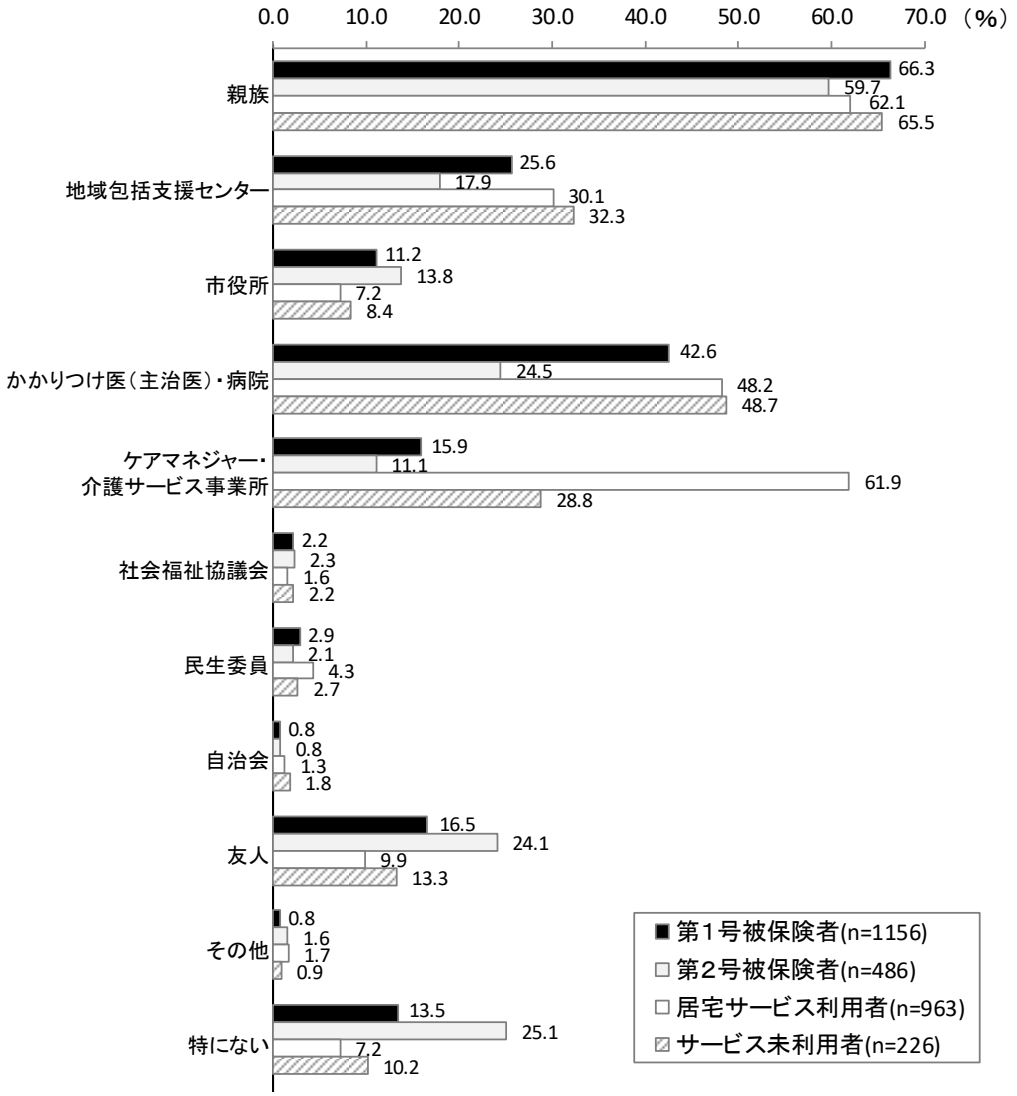
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症に関する相談先を聞いたところ、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で 66.3%、第２号被保険者で 59.7%、居宅サービス利用者で 62.1%、サービス未利用者で 65.5%となっています。

＜図表 190＞　認知症に関する相談先（複数回答）

【第１号被保険者　第９問６】【第２号被保険者　第８問６】

【居宅サービス利用者　第８問６】【サービス未利用者　第７問６】



＜図表 191＞　認知症に関する相談先（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		1156	66.3	25.6	11.2	42.6	15.9	2.2	2.9	0.8	16.5	0.8	13.5
性・年代	男性 65 ～74歳	264	62.5	18.6	11.4	34.1	12.9	3.0	2.7	0.4	9.1	1.1	19.3
	男性 75 歳以上	239	62.3	18.4	11.7	44.4	12.1	1.7	5.0	1.3	7.9	0.8	15.9
	女性 65 ～74歳	329	69.3	29.2	11.6	39.2	19.8	1.5	1.5	1.2	23.7	0.6	13.1
	女性 75 歳以上	309	69.6	33.0	11.0	51.5	17.5	2.6	3.2	0.3	22.0	0.6	7.1
家族構成	一人暮らし	214	61.7	23.4	9.3	37.9	11.2	2.3	2.3	0.5	18.7	0.5	17.3
	夫婦のみ	620	68.4	25.5	11.6	42.7	16.0	2.4	2.3	1.1	15.8	0.8	12.7
	同居その他	315	65.1	27.6	12.1	45.1	19.0	1.6	4.8	0.3	16.2	1.0	12.7
地区	江別地区	419	71.8	23.9	11.0	43.0	15.5	2.4	2.9	0.2	14.6	1.0	11.5
	野幌地区	432	64.1	25.2	10.4	39.6	16.4	1.9	2.3	0.7	17.6	0.9	16.0
	大麻地区	305	61.6	28.5	12.8	46.2	15.7	2.3	3.9	1.6	17.7	0.3	12.8
介護度	非認定	1097	66.6	24.8	11.4	41.8	14.5	2.1	3.0	0.8	16.7	0.8	13.9
	要支援1・2	59	59.3	40.7	8.5	57.6	42.4	3.4	1.7	－	13.6	－	5.1

（単位：%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		486	59.7	17.9	13.8	24.5	11.1	2.3	2.1	0.8	24.1	1.6	25.1
性・年代	男性 40 代	54	53.7	16.7	13.0	20.4	9.3	3.7	1.9	1.9	14.8	1.9	31.5
	男性 50 代	64	62.5	10.9	14.1	20.3	14.1	1.6	3.1	1.6	25.0	－	25.0
	男性 60 歳以上	57	61.4	14.0	14.0	19.3	14.0	1.8	1.8	－	3.5	1.8	29.8
	女性 40 代	76	59.2	14.5	18.4	17.1	11.8	3.9	3.9	－	27.6	1.3	23.7
	女性 50 代	144	57.6	22.9	16.0	27.8	10.4	1.4	0.7	0.7	28.5	2.1	26.4
	女性 60 歳以上	79	64.6	20.3	5.1	35.4	7.6	1.3	－	－	34.2	2.5	15.2
家族構成	一人暮らし	49	44.9	12.2	12.2	24.5	2.0	－	－	－	30.6	6.1	30.6
	夫婦のみ	135	60.7	21.5	11.9	28.1	10.4	3.0	1.5	0.7	24.4	1.5	21.5
	同居その他	293	61.1	17.4	14.3	22.9	13.0	2.0	2.4	1.0	22.5	1.0	25.9
地区	江別地区	182	62.1	22.5	17.6	22.5	13.2	2.7	2.2	1.1	28.0	0.5	21.4
	野幌地区	168	56.5	16.7	10.7	30.4	9.5	2.4	2.4	0.6	19.6	3.0	28.0
	大麻地区	133	60.9	13.5	12.8	20.3	10.5	1.5	1.5	0.8	24.8	1.5	25.6

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		963	62.1	30.1	7.2	48.2	61.9	1.6	4.3	1.3	9.9	1.7	7.2
性・年代	男性 40 ～64歳	7	42.9	14.3	－	14.3	71.4	14.3	－	－	－	－	14.3
	男性 65 ～74歳	43	55.8	25.6	7.0	55.8	53.5	－	－	－	14.0	2.3	11.6
	男性 75 歳以上	243	64.2	29.6	9.9	49.8	60.5	1.2	3.7	2.1	7.8	2.1	6.6
	女性 40 ～64歳	13	53.8	38.5	7.7	23.1	92.3	－	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	61	52.5	27.9	6.6	50.8	80.3	－	1.6	1.6	24.6	1.6	1.6
	女性 75 歳以上	543	65.0	30.4	5.5	47.9	61.5	1.5	5.2	1.1	9.4	1.3	7.4
家族構成	一人暮らし	305	62.0	31.1	5.2	45.6	57.7	2.3	5.2	1.6	12.5	1.6	8.5
	夫婦のみ	265	63.8	34.0	9.8	52.1	64.9	1.1	5.7	2.3	11.3	0.8	5.3
	同居その他	367	61.9	26.4	7.4	47.7	64.6	1.4	1.9	0.3	7.1	2.2	7.4
地区	江別地区	337	60.8	33.5	8.3	49.0	62.6	1.8	4.2	1.2	8.0	1.5	4.7
	野幌地区	352	64.8	26.7	6.3	46.6	62.8	1.4	3.7	1.7	12.5	1.4	8.2
	大麻地区	254	61.0	30.3	7.5	50.8	62.6	1.6	4.7	1.2	9.1	2.0	8.7
介護度	要支援1・2	452	61.7	40.9	6.2	48.0	55.5	1.8	4.9	1.3	12.2	0.9	7.5
	要介護1・2	346	65.3	17.1	6.1	46.2	70.2	0.9	4.0	1.4	6.9	2.3	7.8
	要介護3～5	106	62.3	22.6	10.4	53.8	68.9	－	1.9	0.9	13.2	2.8	2.8

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		226	65.5	32.3	8.4	48.7	28.8	2.2	2.7	1.8	13.3	0.9	10.2
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	25.0	－	25.0	50.0	－	－	－	－	－	25.0
	男性 65 ～74歳	14	57.1	28.6	7.1	35.7	35.7	－	－	－	21.4	－	21.4
	男性 75 歳以上	73	61.6	35.6	8.2	43.8	37.0	2.7	2.7	2.7	12.3	－	9.6
	女性 40 ～64歳	5	60.0	－	－	40.0	20.0	－	－	－	－	20.0	40.0
	女性 65 ～74歳	8	62.5	12.5	25.0	37.5	25.0	－	－	－	37.5	－	－
	女性 75 歳以上	107	70.1	34.6	7.5	55.1	22.4	1.9	3.7	1.9	12.1	0.9	7.5
家族構成	一人暮らし	66	53.0	42.4	7.6	48.5	22.7	3.0	6.1	1.5	10.6	－	13.6
	夫婦のみ	89	74.2	29.2	9.0	50.6	37.1	3.4	2.2	1.1	13.5	－	5.6
	同居その他	66	66.7	27.3	9.1	42.4	24.2	－	－	3.0	16.7	1.5	13.6
地区	江別地区	67	65.7	38.8	7.5	55.2	31.3	1.5	1.5	3.0	13.4	3.0	6.0
	野幌地区	89	56.2	31.5	10.1	43.8	33.7	4.5	4.5	1.1	14.6	－	14.6
	大麻地区	67	76.1	26.9	7.5	46.3	20.9	－	1.5	1.5	11.9	－	9.0
介護度	要支援1・2	136	67.6	38.2	8.1	48.5	26.5	2.2	3.7	1.5	14.0	－	9.6
	要介護1・2	36	72.2	25.0	11.1	58.3	38.9	－	－	2.8	8.3	5.6	8.3
	要介護3～5	15	53.3	20.0	13.3	26.7	26.7	6.7	－	－	13.3	－	6.7

（７）認知症サポーターの認知度

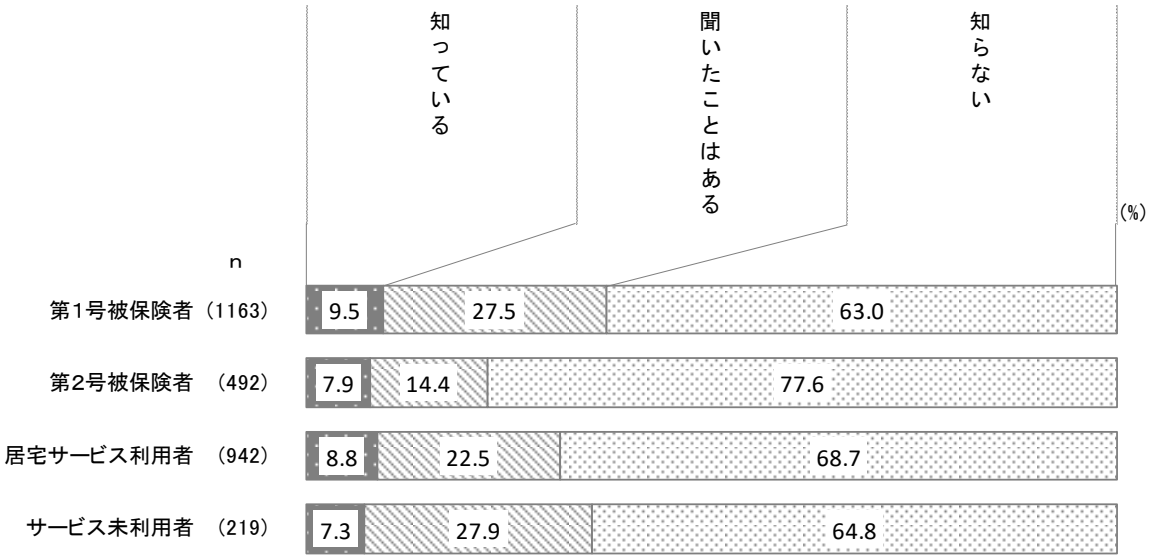
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症サポーターの認知度を聞いたところ、全ての調査において「知らない」が最も多く、第１号被保険者で 63.0%、第２号被保険者で 77.6%、居宅サービス利用者で 68.7%、サービス未利用者で 64.8%となっています。

＜図表 192＞　認知症サポーターの認知度

【第１号被保険者　第９問７】【第２号被保険者　第８問７】

【居宅サービス利用者　第８問７】【サービス未利用者　第７問７】



＜図表 193＞　認知症サポーターの認知度（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		1163	9.5	27.5	63.0
性・年代	男性 65 ～74歳	265	4.5	20.0	75.5
	男性 75 歳以上	243	8.6	26.7	64.6
	女性 65 ～74歳	334	13.8	31.1	55.1
	女性 75 歳以上	307	9.8	29.6	60.6
家族構成	一人暮らし	215	9.3	20.5	70.2
	夫婦のみ	625	9.6	29.8	60.6
	同居その他	315	8.9	27.6	63.5
地区	江別地区	421	9.5	27.6	62.9
	野幌地区	434	9.0	28.8	62.2
	大麻地区	308	10.1	25.6	64.3
介護度	非認定	1105	9.6	27.4	63.0
	要支援1・2	58	6.9	29.3	63.8

（単位：%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		492	7.9	14.4	77.6
性・年代	男性 40 代	54	11.1	9.3	79.6
	男性 50 代	66	9.1	6.1	84.8
	男性 60 歳以上	59	1.7	8.5	89.8
	女性 40 代	76	6.6	14.5	78.9
	女性 50 代	146	6.8	15.8	77.4
	女性 60 歳以上	79	13.9	26.6	59.5
家族構成	一人暮らし	49	14.3	6.1	79.6
	夫婦のみ	137	7.3	16.8	75.9
	同居その他	297	7.4	14.8	77.8
地区	江別地区	185	8.1	11.4	80.5
	野幌地区	171	9.9	17.0	73.1
	大麻地区	133	5.3	15.8	78.9

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		942	8.8	22.5	68.7
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	14.3	71.4
	男性 65 ～74歳	42	4.8	19.0	76.2
	男性 75 歳以上	241	9.5	26.1	64.3
	女性 40 ～64歳	13	7.7	23.1	69.2
	女性 65 ～74歳	58	3.4	20.7	75.9
	女性 75 歳以上	533	9.0	21.8	69.2
家族構成	一人暮らし	294	10.5	21.4	68.0
	夫婦のみ	260	7.7	26.2	66.2
	同居その他	365	7.7	21.4	71.0
地区	江別地区	332	10.2	21.7	68.1
	野幌地区	341	9.1	22.9	68.0
	大麻地区	253	5.1	23.3	71.5
介護度	要支援1・2	438	10.5	25.8	63.7
	要介護1・2	341	6.5	19.6	73.9
	要介護3～5	106	7.5	18.9	73.6

（単位：%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		219	7.3	27.9	64.8
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	75.0	25.0
	男性 65 ～74歳	14	7.1	28.6	64.3
	男性 75 歳以上	71	7.0	29.6	63.4
	女性 40 ～64歳	5	－	20.0	80.0
	女性 65 ～74歳	8	－	25.0	75.0
	女性 75 歳以上	105	9.5	25.7	64.8
家族構成	一人暮らし	62	6.5	21.0	72.6
	夫婦のみ	88	10.2	31.8	58.0
	同居その他	66	4.5	28.8	66.7
地区	江別地区	67	10.4	23.9	65.7
	野幌地区	88	6.8	25.0	68.2
	大麻地区	62	4.8	35.5	59.7
介護度	要支援1・2	133	9.8	26.3	63.9
	要介護1・2	36	5.6	36.1	58.3
	要介護3～5	15	－	26.7	73.3

（８）認知症サポーター養成講座の受講意向

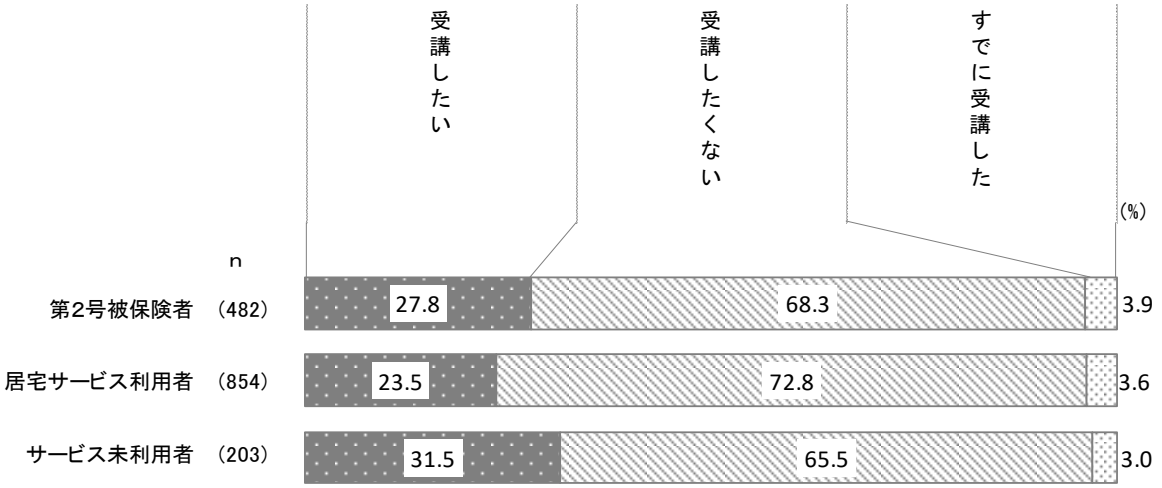
【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症サポーター養成講座の受講意向を聞いたところ、全ての調査において「受講したくない」が最も多く、第２号被保険者で 68.3%、居宅サービス利用者で 72.8%、サービス未利用者で 65.5%となっています。

＜図表 194＞　認知症サポーター養成講座の受講意向

【第２号被保険者　第８問８】【居宅サービス利用者　第８問８】

【サービス未利用者　第７問８】



＜図表 195＞　認知症サポーター養成講座の受講意向（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	受講したい	受講したくない	すでに受講した
全　体		482	27.8	68.3	3.9
性・年代	男性 40 代	52	21.2	73.1	5.8
	男性 50 代	64	20.3	70.3	9.4
	男性 60 歳以上	58	25.9	74.1	－
	女性 40 代	74	27.0	71.6	1.4
	女性 50 代	145	33.8	62.8	3.4
	女性 60 歳以上	78	30.8	64.1	5.1
家族構成	一人暮らし	49	14.3	75.5	10.2
	夫婦のみ	135	31.9	63.0	5.2
	同居その他	289	28.7	68.9	2.4
地区	江別地区	180	30.6	66.1	3.3
	野幌地区	169	23.1	71.0	5.9
	大麻地区	130	30.8	66.9	2.3

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	受講したい	受講したくない	すでに受講した
全　体		854	23.5	72.8	3.6
性・年代	男性 40 ～64歳	7	42.9	42.9	14.3
	男性 65 ～74歳	41	22.0	75.6	2.4
	男性 75 歳以上	220	25.5	70.5	4.1
	女性 40 ～64歳	13	23.1	76.9	－
	女性 65 ～74歳	55	23.6	76.4	－
	女性 75 歳以上	476	21.2	75.4	3.4
家族構成	一人暮らし	269	22.7	72.5	4.8
	夫婦のみ	245	28.6	67.3	4.1
	同居その他	323	20.1	77.7	2.2
地区	江別地区	301	21.6	75.1	3.3
	野幌地区	320	24.4	70.6	5.0
	大麻地区	217	24.9	74.2	0.9
介護度	要支援1・2	389	29.6	66.6	3.9
	要介護1・2	313	17.3	79.2	3.5
	要介護3～5	102	17.6	80.4	2.0

（単位：%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	受講したい	受講したくない	すでに受講した
全　体		203	31.5	65.5	3.0
性・年代	男性 40 ～64歳	4	25.0	75.0	－
	男性 65 ～74歳	14	28.6	71.4	－
	男性 75 歳以上	64	34.4	62.5	3.1
	女性 40 ～64歳	5	－	100.0	－
	女性 65 ～74歳	8	37.5	62.5	－
	女性 75 歳以上	97	32.0	63.9	4.1
家族構成	一人暮らし	52	28.8	69.2	1.9
	夫婦のみ	83	34.9	61.4	3.6
	同居その他	64	26.6	70.3	3.1
地区	江別地区	61	29.5	63.9	6.6
	野幌地区	83	27.7	69.9	2.4
	大麻地区	56	35.7	64.3	－
介護度	要支援1・2	125	32.8	62.4	4.8
	要介護1・2	34	17.6	82.4	－
	要介護3～5	15	26.7	73.3	－

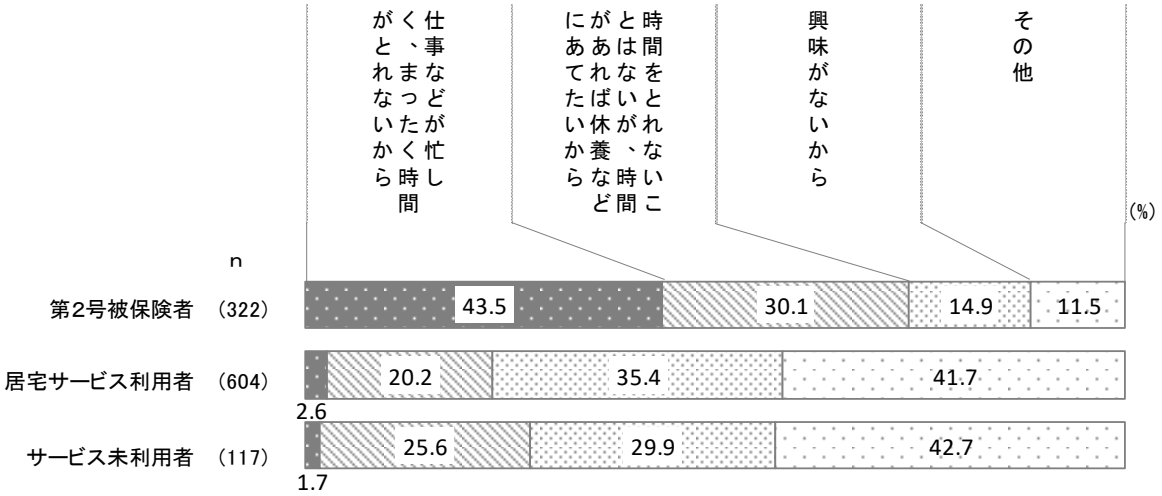
（９）受講したくない理由【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症サポーター養成講座を受講したくない理由を聞いたところ、第２号被保険者では「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が 43.5％で最も多く、居宅サービス利用者、サービス未利用者では、「その他」が最も多く、それぞれ 41.7％、42.7％となっています。

＜図表 196＞　受講したくない理由

【第２号被保険者　第８問８－１】【居宅サービス利用者　第８問８－１】

【サービス未利用者　第７問８－１】



＜図表 197＞　受講したくない理由（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから	時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから	興味がないから	その他
全　体		322	43.5	30.1	14.9	11.5
性・年代	男性 40 代	37	51.4	35.1	10.8	2.7
	男性 50 代	45	71.1	17.8	8.9	2.2
	男性 60 歳以上	41	39.0	17.1	34.1	9.8
	女性 40 代	52	34.6	34.6	11.5	19.2
	女性 50 代	90	41.1	37.8	8.9	12.2
	女性 60 歳以上	48	29.2	29.2	20.8	20.8
家族構成	一人暮らし	36	47.2	25.0	19.4	8.3
	夫婦のみ	84	39.3	29.8	17.9	13.1
	同居その他	194	45.4	30.4	12.9	11.3
地区	江別地区	115	41.7	33.0	14.8	10.4
	野幌地区	119	42.0	27.7	14.3	16.0
	大麻地区	85	48.2	29.4	15.3	7.1

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから	時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから	興味がないから	その他
全　体		604	2.6	20.2	35.4	41.7
性・年代	男性 40 ～64歳	3	－	33.3	33.3	33.3
	男性 65 ～74歳	30	3.3	23.3	50.0	23.3
	男性 75 歳以上	150	3.3	20.7	44.7	31.3
	女性 40 ～64歳	10	10.0	20.0	20.0	50.0
	女性 65 ～74歳	40	－	37.5	25.0	37.5
	女性 75 歳以上	350	2.6	17.4	32.6	47.4
家族構成	一人暮らし	186	2.2	16.1	34.9	46.8
	夫婦のみ	160	3.1	24.4	33.8	38.8
	同居その他	247	2.4	20.6	36.8	40.1
地区	江別地区	218	0.9	25.7	35.3	38.1
	野幌地区	223	4.0	17.0	38.6	40.4
	大麻地区	155	2.6	16.8	31.0	49.7
介護度	要支援1・2	250	2.4	22.4	33.2	42.0
	要介護1・2	242	1.2	19.4	38.0	41.3
	要介護3～5	80	8.8	12.5	36.3	42.5

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから	時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから	興味がないから	その他
全　体		117	1.7	25.6	29.9	42.7
性・年代	男性 40 ～64歳	3	－	－	66.7	33.3
	男性 65 ～74歳	9	－	11.1	55.6	33.3
	男性 75 歳以上	36	－	30.6	41.7	27.8
	女性 40 ～64歳	5	－	20.0	20.0	60.0
	女性 65 ～74歳	4	25.0	－	25.0	50.0
	女性 75 歳以上	53	1.9	30.2	17.0	50.9
家族構成	一人暮らし	28	3.6	32.1	39.3	25.0
	夫婦のみ	48	－	27.1	22.9	50.0
	同居その他	40	2.5	20.0	32.5	45.0
地区	江別地区	35	－	28.6	40.0	31.4
	野幌地区	53	－	20.8	26.4	52.8
	大麻地区	29	6.9	31.0	24.1	37.9
介護度	要支援1・2	70	1.4	28.6	30.0	40.0
	要介護1・2	23	－	17.4	17.4	65.2
	要介護3～5	9	－	11.1	44.4	44.4

10. 相談支援体制

（１）地域包括支援センターの認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】

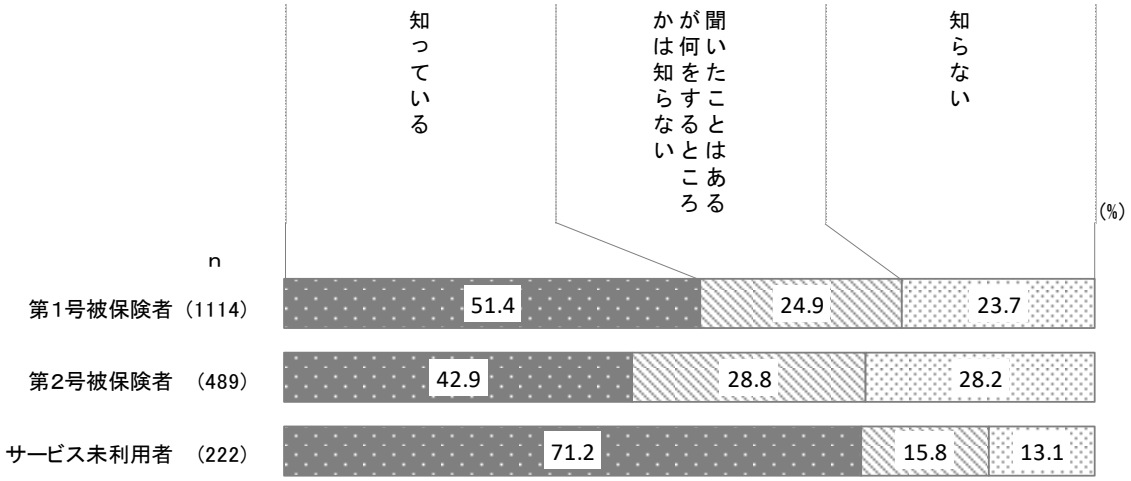
地域包括支援センターの認知度を聞いたところ、「知らない」が第１号被保険者で 23.7%、第２号被保険者で 28.2%、サービス未利用者で 13.1%となっています。

また、前回調査と比較すると、全ての調査において「知っている」の割合が増加しています。

＜図表 198＞　地域包括支援センターの認知度

【第１号被保険者　第 11 問３】【第２号被保険者　第５問２】

【サービス未利用者　第 10 問２】



＜図表 199＞　地域包括支援センターの認知度（性・年代別/地区別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはあるが何をするところかは知らない	知らない
全　体		1114	51.4	24.9	23.7
性・年代	男性 65 ～74歳	250	36.8	27.2	36.0
	男性 75 歳以上	234	44.0	25.6	30.3
	女性 65 ～74歳	316	61.1	22.8	16.1
	女性 75 歳以上	300	58.0	25.3	16.7
地区	江別地区	405	44.9	28.6	26.4
	野幌地区	409	54.0	23.7	22.2
	大麻地区	300	56.7	21.3	22.0

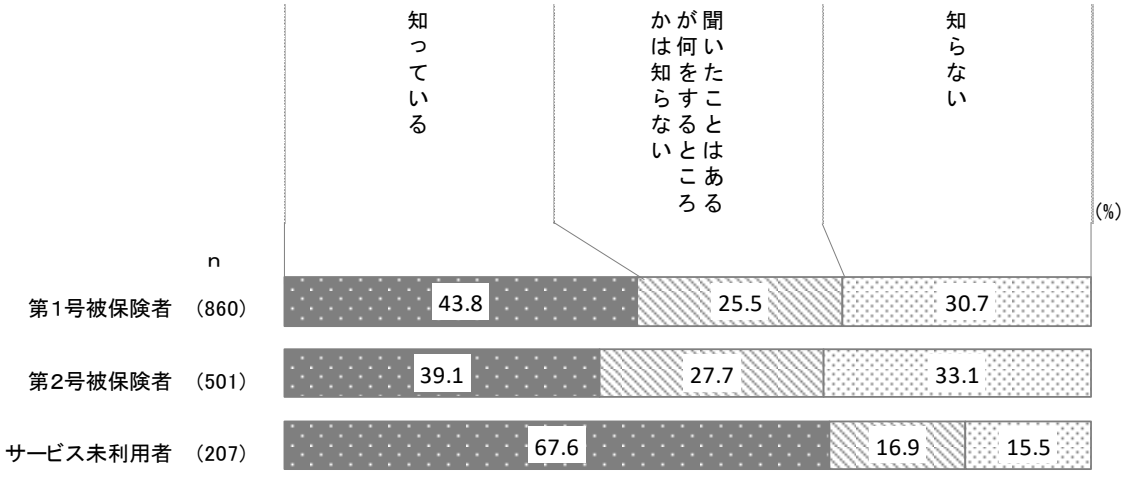
（単位：%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはあるが何をするところかは知らない	知らない
全　体		489	42.9	28.8	28.2
性・年代	男性 40 代	55	25.5	36.4	38.2
	男性 50 代	65	29.2	32.3	38.5
	男性 60 歳以上	59	35.6	30.5	33.9
	女性 40 代	76	35.5	31.6	32.9
	女性 50 代	145	47.6	29.0	23.4
	女性 60 歳以上	77	70.1	16.9	13.0
地区	江別地区	185	44.3	27.0	28.6
	野幌地区	169	44.4	26.0	29.6
	大麻地区	132	39.4	34.8	25.8

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはあるが何をするところかは知らない	知らない
全　体		222	71.2	15.8	13.1
性・年代	男性 40 ～64歳	4	75.0	－	25.0
	男性 65 ～74歳	14	71.4	21.4	7.1
	男性 75 歳以上	75	76.0	14.7	9.3
	女性 40 ～64歳	5	40.0	40.0	20.0
	女性 65 ～74歳	7	71.4	14.3	14.3
	女性 75 歳以上	104	71.2	16.3	12.5
地区	江別地区	68	70.6	10.3	19.1
	野幌地区	87	69.0	18.4	12.6
	大麻地区	64	73.4	18.8	7.8

＜図表 200＞　【参考】前回調査（令和４年度）



（２）地域包括支援センターに期待すること

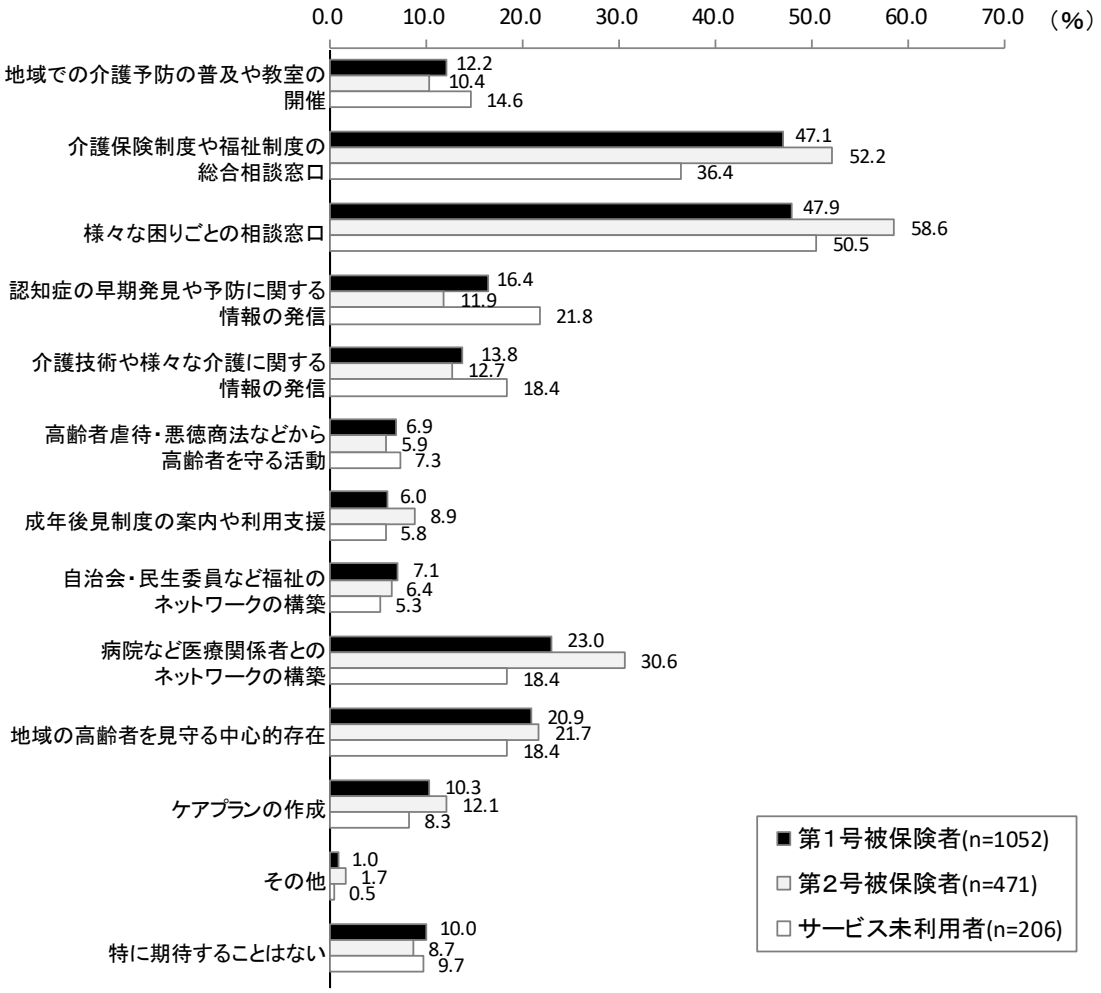
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】

地域包括支援センターに期待することを聞いたところ、全ての調査において「様々な困りごとの相談窓口」が最も多く、第１号被保険者で 47.9%、第２号被保険者で 58.6%、サービス未利用者で 50.5%となっています。

＜図表 201＞　地域包括支援センターに期待すること（３つまで）

【第１号被保険者　第 11 問４】【第２号被保険者　第５問３】

【サービス未利用者　第 10 問３】



11. 成年後見制度

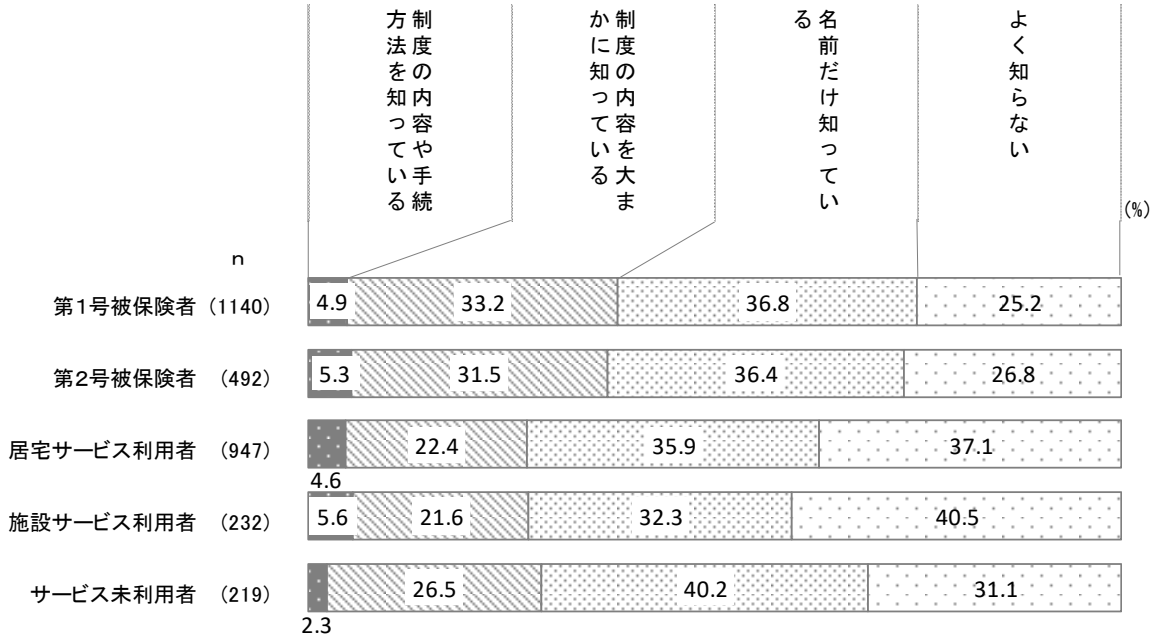
（１）成年後見制度の認知度

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度の認知度を聞いたところ、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、第１号被保険者で 38.1%、第２号被保険者で 36.8%、居宅サービス利用者で 27.0%、施設サービス利用者で 27.2%、サービス未利用者で 28.8%となっています。

また、前回調査と比較すると、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせた割合は、第１号被保険者、居宅サービス利用者及びサービス未利用者で増加しています。

＜図表 202＞　成年後見制度の認知度
【第１号被保険者　第 12 問１】【第２号被保険者　第６問１】
【居宅サービス利用者　第７問１】【施設サービス利用者　第６問１】
【サービス未利用者　第 11 問１】



＜図表 203＞　成年後見制度の認知度（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		1140	4.9	33.2	36.8	25.2
性・年代	男性 65 ～74歳	266	4.9	27.8	37.6	29.7
	男性 75 歳以上	241	6.2	30.7	33.2	29.9
	女性 65 ～74歳	327	5.2	40.7	35.5	18.7
	女性 75 歳以上	292	3.8	31.8	40.1	24.3
地区	江別地区	413	4.6	31.0	37.5	26.9
	野幌地区	422	4.7	33.2	38.2	23.9
	大麻地区	305	5.6	36.1	33.8	24.6
介護度	非認定	1088	4.9	33.6	36.9	24.5
	要支援1・2	52	5.8	23.1	32.7	38.5

（単位：%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		492	5.3	31.5	36.4	26.8
性・年代	男性 40 代	55	5.5	25.5	45.5	23.6
	男性 50 代	66	6.1	31.8	34.8	27.3
	男性 60 歳以上	59	8.5	23.7	32.2	35.6
	女性 40 代	76	6.6	30.3	35.5	27.6
	女性 50 代	146	2.7	31.5	39.0	26.7
	女性 60 歳以上	79	6.3	43.0	31.6	19.0
地区	江別地区	186	5.9	29.6	38.2	26.3
	野幌地区	171	5.3	33.9	32.2	28.7
	大麻地区	133	4.5	31.6	39.8	24.1

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		947	4.6	22.4	35.9	37.1
性・年代	男性 40 ～64歳	6	16.7	33.3	50.0	－
	男性 65 ～74歳	43	4.7	32.6	37.2	25.6
	男性 75 歳以上	247	4.0	23.9	38.5	33.6
	女性 40 ～64歳	13	－	15.4	30.8	53.8
	女性 65 ～74歳	61	6.6	31.1	39.3	23.0
	女性 75 歳以上	528	4.0	20.3	34.5	41.3
地区	江別地区	340	5.3	17.9	38.8	37.9
	野幌地区	345	3.8	22.6	36.8	36.8
	大麻地区	245	2.9	28.2	31.8	37.1
介護度	要支援1・2	437	5.7	27.9	38.9	27.5
	要介護1・2	345	1.7	18.0	31.6	48.7
	要介護3～5	110	5.5	17.3	38.2	39.1

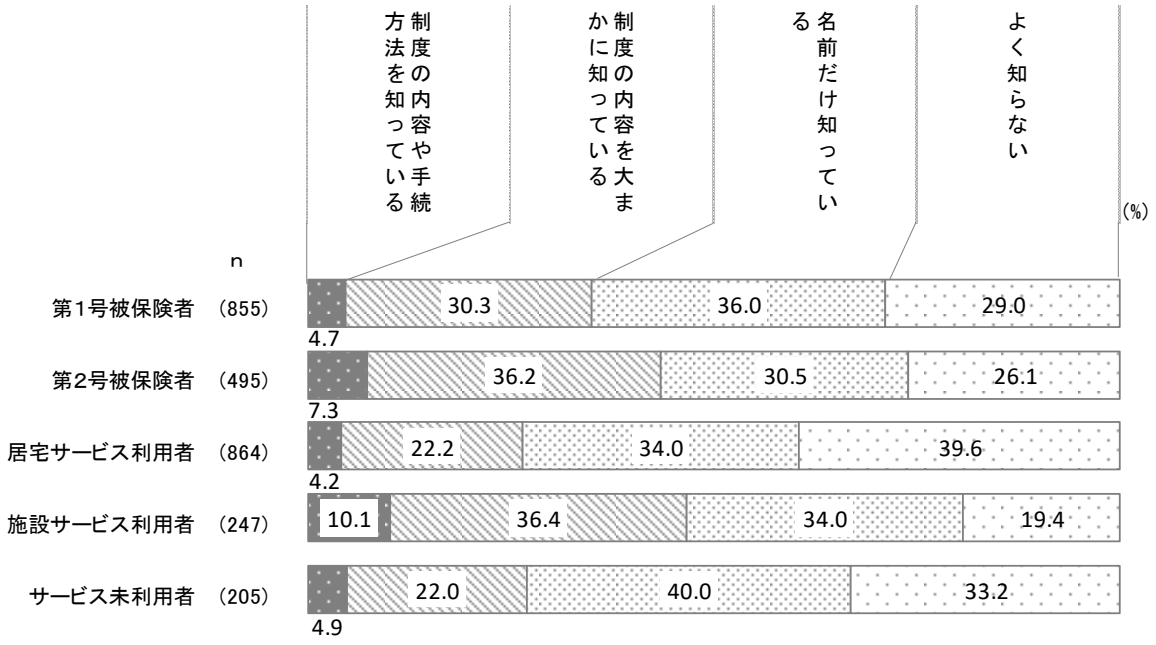
（単位：%）

＜施設サービス利用者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		232	5.6	21.6	32.3	40.5
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－
	男性 50 代	1	－	－	100.0	－
	男性 60 歳以上	52	11.5	25.0	26.9	36.5
	女性 40 代	－	－	－	－	－
	女性 50 代	2	－	50.0	50.0	－
	女性 60 歳以上	176	4.0	20.5	33.5	42.0
介護度	要介護1・2	40	－	12.5	37.5	50.0
	要介護3～5	185	6.5	24.3	30.3	38.9

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		219	2.3	26.5	40.2	31.1
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	－	75.0	25.0
	男性 65 ～74歳	14	14.3	28.6	28.6	28.6
	男性 75 歳以上	74	4.1	28.4	35.1	32.4
	女性 40 ～64歳	5	－	－	80.0	20.0
	女性 65 ～74歳	7	－	14.3	42.9	42.9
	女性 75 歳以上	103	－	28.2	43.7	28.2
地区	江別地区	67	3.0	26.9	34.3	35.8
	野幌地区	88	3.4	22.7	44.3	29.5
	大麻地区	61	－	31.1	41.0	27.9
介護度	要支援1・2	136	2.2	27.2	43.4	27.2
	要介護1・2	36	－	33.3	27.8	38.9
	要介護3～5	13	15.4	23.1	30.8	30.8

＜図表 204＞　【参考】前回調査（令和４年度）



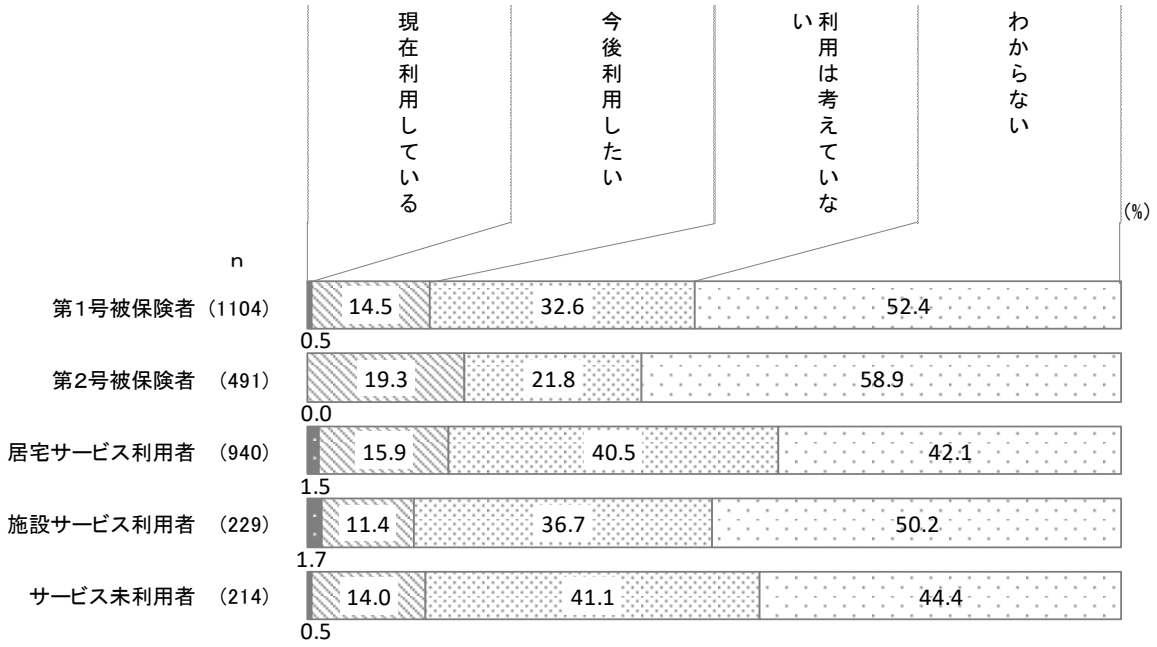
（２）成年後見制度の利用意向

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度の利用意向を聞いたところ、全ての調査において「わからない」を除いて、「利用は考えていない」が最も多く、第１号被保険者で 32.6%、第２号被保険者で 21.8%、居宅サービス利用者で 40.5%、施設サービス利用者で 36.7%、サービス未利用者で 41.1%となっています。

＜図表 205＞　成年後見制度の利用意向

【第１号被保険者　第 12 問２】【第２号被保険者　第６問２】
【居宅サービス利用者　第７問２】【施設サービス利用者　第６問２】
【サービス未利用者　第 11 問２】



＜図表 206＞　成年後見制度の利用意向（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		1104	0.5	14.5	32.6	52.4
性・年代	男性 65 ～74歳	263	0.4	14.8	27.0	57.8
	男性 75 歳以上	233	－	15.0	34.3	50.6
	女性 65 ～74歳	325	0.6	14.5	32.9	52.0
	女性 75 歳以上	269	0.7	13.8	36.1	49.4
家族構成	一人暮らし	197	1.0	14.7	34.5	49.7
	夫婦のみ	604	0.3	14.6	31.6	53.5
	同居その他	297	0.3	14.1	33.7	51.9
地区	江別地区	397	0.8	13.6	31.5	54.2
	野幌地区	416	0.2	13.7	33.9	52.2
	大麻地区	291	0.3	16.8	32.3	50.5
介護度	非認定	1059	0.4	14.3	33.3	52.0
	要支援1・2	45	2.2	20.0	15.6	62.2

（単位：%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		491	－	19.3	21.8	58.9
性・年代	男性 40 代	55	－	21.8	21.8	56.4
	男性 50 代	66	－	16.7	21.2	62.1
	男性 60 歳以上	59	－	20.3	20.3	59.3
	女性 40 代	76	－	21.1	15.8	63.2
	女性 50 代	146	－	23.3	17.8	58.9
	女性 60 歳以上	78	－	11.5	35.9	52.6
家族構成	一人暮らし	49	－	18.4	22.4	59.2
	夫婦のみ	137	－	19.7	25.5	54.7
	同居その他	297	－	19.2	20.2	60.6
地区	江別地区	185	－	22.2	17.3	60.5
	野幌地区	171	－	17.5	24.0	58.5
	大麻地区	133	－	18.0	25.6	56.4

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		940	1.5	15.9	40.5	42.1
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	16.7	50.0	33.3
	男性 65 ～74歳	42	2.4	21.4	42.9	33.3
	男性 75 歳以上	243	1.6	16.5	42.4	39.5
	女性 40 ～64歳	13	－	7.7	46.2	46.2
	女性 65 ～74歳	60	3.3	20.0	30.0	46.7
	女性 75 歳以上	526	1.0	14.1	41.6	43.3
家族構成	一人暮らし	297	1.3	17.8	44.4	36.4
	夫婦のみ	259	1.2	16.6	39.8	42.5
	同居その他	362	1.7	13.0	39.2	46.1
地区	江別地区	341	2.1	14.4	37.5	46.0
	野幌地区	338	1.2	16.3	40.5	42.0
	大麻地区	245	0.8	17.1	44.5	37.6
介護度	要支援1・2	431	1.2	19.5	43.2	36.2
	要介護1・2	346	1.4	12.1	41.0	45.4
	要介護3～5	108	2.8	10.2	35.2	51.9

（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		229	1.7	11.4	36.7	50.2
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－
	男性 50 代	1	－	100.0	－	－
	男性 60 歳以上	52	1.9	5.8	40.4	51.9
	女性 40 代	－	－	－	－	－
	女性 50 代	2	－	50.0	－	50.0
	女性 60 歳以上	173	1.7	12.1	36.4	49.7
介護度	要介護1・2	38	－	7.9	44.7	47.4
	要介護3～5	184	2.2	11.4	35.3	51.1

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		214	0.5	14.0	41.1	44.4
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	50.0	50.0	－
	男性 65 ～74歳	14	－	7.1	42.9	50.0
	男性 75 歳以上	73	1.4	23.3	32.9	42.5
	女性 40 ～64歳	5	－	－	40.0	60.0
	女性 65 ～74歳	7	－	－	28.6	71.4
	女性 75 歳以上	99	－	7.1	50.5	42.4
家族構成	一人暮らし	61	－	18.0	42.6	39.3
	夫婦のみ	85	1.2	15.3	36.5	47.1
	同居その他	63	－	6.3	49.2	44.4
地区	江別地区	66	－	10.6	37.9	51.5
	野幌地区	86	1.2	14.0	39.5	45.3
	大麻地区	59	－	16.9	47.5	35.6
介護度	要支援1・2	130	－	13.1	43.8	43.1
	要介護1・2	35	2.9	11.4	42.9	42.9
	要介護3～5	15	－	26.7	40.0	33.3

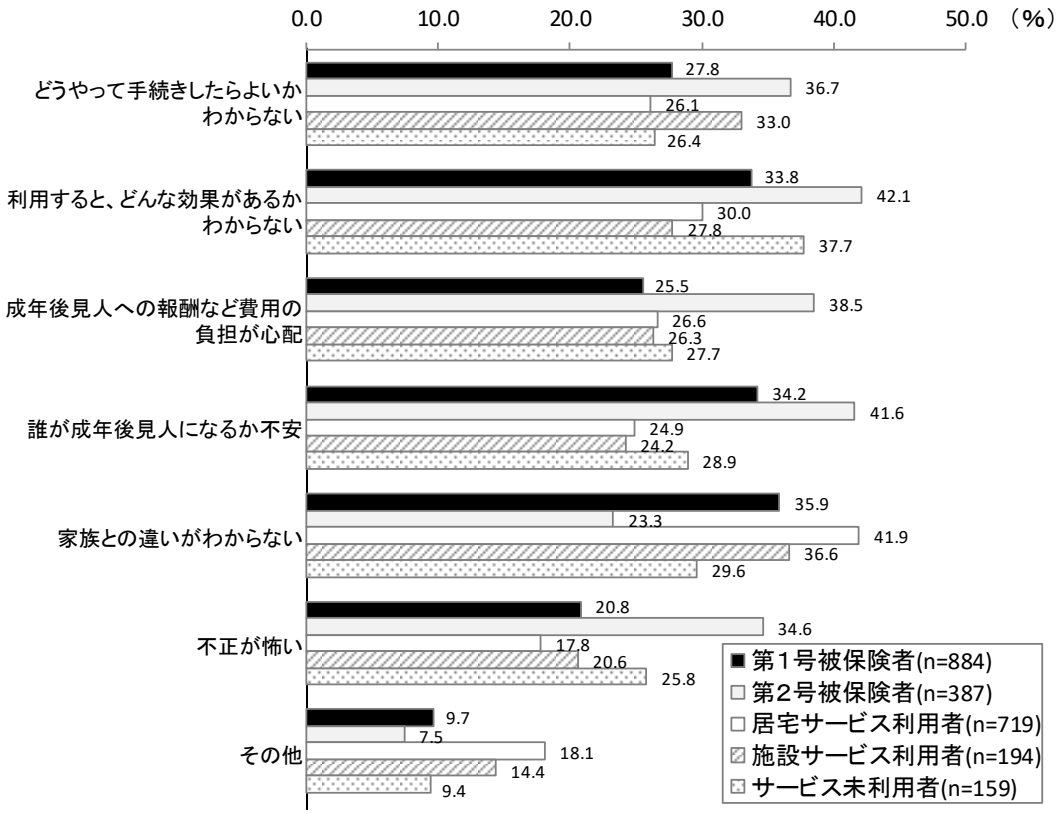
（３）利用しない理由

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度の利用意向で「利用は考えていない」または「わからない」と回答した人に、利用しない理由を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者では「家族との違いがわからない」がそれぞれ 35.9%、41.9%、36.6%、第２号被保険者、サービス未利用者では「利用すると、どんな効果があるかわからない」がそれぞれ 42.1%、37.7%で最も多くなっています。

＜図表 207＞　利用しない理由（複数回答）

【第１号被保険者　第 12 問２－１】【第２号被保険者　第６問２－１】
【居宅サービス利用者　第７問２－１】【施設サービス利用者　第６問２－１】
【サービス未利用者　第 11 問２－１】



＜図表 208＞　利用しない理由（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		884	27.8	33.8	25.5	34.2	35.9	20.8	9.7
性・年代	男性 65 ～74歳	219	32.4	41.1	29.2	35.2	28.3	23.7	9.6
	男性 75 歳以上	187	31.6	35.3	23.0	31.0	35.3	13.9	8.0
	女性 65 ～74歳	263	25.1	26.2	28.1	40.3	37.6	24.0	10.6
	女性 75 歳以上	204	22.5	34.8	20.6	28.4	42.2	20.1	9.8
家族構成	一人暮らし	150	24.7	30.0	17.3	30.0	32.7	18.7	9.3
	夫婦のみ	489	27.2	35.4	27.2	35.2	33.1	20.7	9.8
	同居その他	240	30.8	33.3	27.1	35.0	42.9	22.5	9.6
地区	江別地区	320	27.2	35.9	23.4	31.6	35.3	20.3	11.6
	野幌地区	337	30.0	31.5	25.2	35.3	37.1	19.0	7.7
	大麻地区	227	25.6	34.4	28.6	36.1	34.8	24.2	10.1
介護度	非認定	852	27.0	32.5	25.4	34.2	35.1	21.0	9.9
	要支援1・2	32	50.0	68.8	28.1	34.4	56.3	15.6	6.3

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		387	36.7	42.1	38.5	41.6	23.3	34.6	7.5
性・年代	男性 40 代	43	44.2	44.2	48.8	39.5	20.9	30.2	7.0
	男性 50 代	55	49.1	49.1	40.0	49.1	20.0	29.1	1.8
	男性 60 歳以上	44	31.8	38.6	34.1	36.4	20.5	34.1	9.1
	女性 40 代	59	33.9	40.7	37.3	39.0	18.6	35.6	11.9
	女性 50 代	110	34.5	43.6	39.1	40.0	26.4	40.9	6.4
	女性 60 歳以上	66	30.3	31.8	33.3	47.0	30.3	33.3	10.6
家族構成	一人暮らし	38	52.6	55.3	60.5	50.0	18.4	36.8	2.6
	夫婦のみ	110	32.7	34.5	36.4	44.5	27.3	35.5	8.2
	同居その他	233	36.1	42.9	36.5	39.5	22.3	33.5	7.7
地区	江別地区	140	39.3	38.6	40.7	39.3	22.9	35.0	6.4
	野幌地区	137	35.8	40.9	36.5	38.0	21.9	34.3	8.8
	大麻地区	108	34.3	47.2	38.9	50.0	25.9	34.3	7.4

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		719	26.1	30.0	26.6	24.9	41.9	17.8	18.1
性・年代	男性 40 ～64歳	5	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0
	男性 65 ～74歳	30	10.0	13.3	16.7	33.3	40.0	23.3	26.7
	男性 75 歳以上	183	24.6	33.9	27.9	20.8	41.5	15.3	16.4
	女性 40 ～64歳	12	8.3	33.3	33.3	25.0	25.0	25.0	16.7
	女性 65 ～74歳	46	32.6	32.6	39.1	41.3	45.7	30.4	8.7
	女性 75 歳以上	413	27.4	29.8	24.0	25.2	43.1	16.9	20.1
家族構成	一人暮らし	222	23.9	27.9	25.2	22.1	40.1	18.5	23.0
	夫婦のみ	201	28.9	27.4	28.9	28.4	44.8	18.4	11.9
	同居その他	282	26.2	33.7	25.9	24.5	42.2	16.7	19.1
地区	江別地区	263	26.6	34.2	27.0	25.5	41.1	18.3	18.6
	野幌地区	265	29.8	30.9	29.8	27.2	45.3	20.0	15.1
	大麻地区	180	20.6	23.9	21.7	21.7	40.0	13.9	21.1
介護度	要支援1・2	315	26.3	30.8	26.7	25.4	45.4	19.4	17.1
	要介護1・2	283	27.6	31.1	27.2	26.1	39.6	15.9	19.1
	要介護3～5	86	19.8	27.9	22.1	23.3	43.0	20.9	18.6

（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		194	33.0	27.8	26.3	24.2	36.6	20.6	14.4
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 60 歳以上	47	34.0	31.9	23.4	12.8	34.0	19.1	19.1
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	－	100.0	－	－	－	－	－
	女性 60 歳以上	145	32.4	25.5	27.6	28.3	37.9	21.4	13.1
介護度	要介護1・2	32	43.8	37.5	25.0	28.1	34.4	18.8	9.4
	要介護3～5	157	30.6	25.5	27.4	24.2	37.6	21.7	15.3

（単位：%）

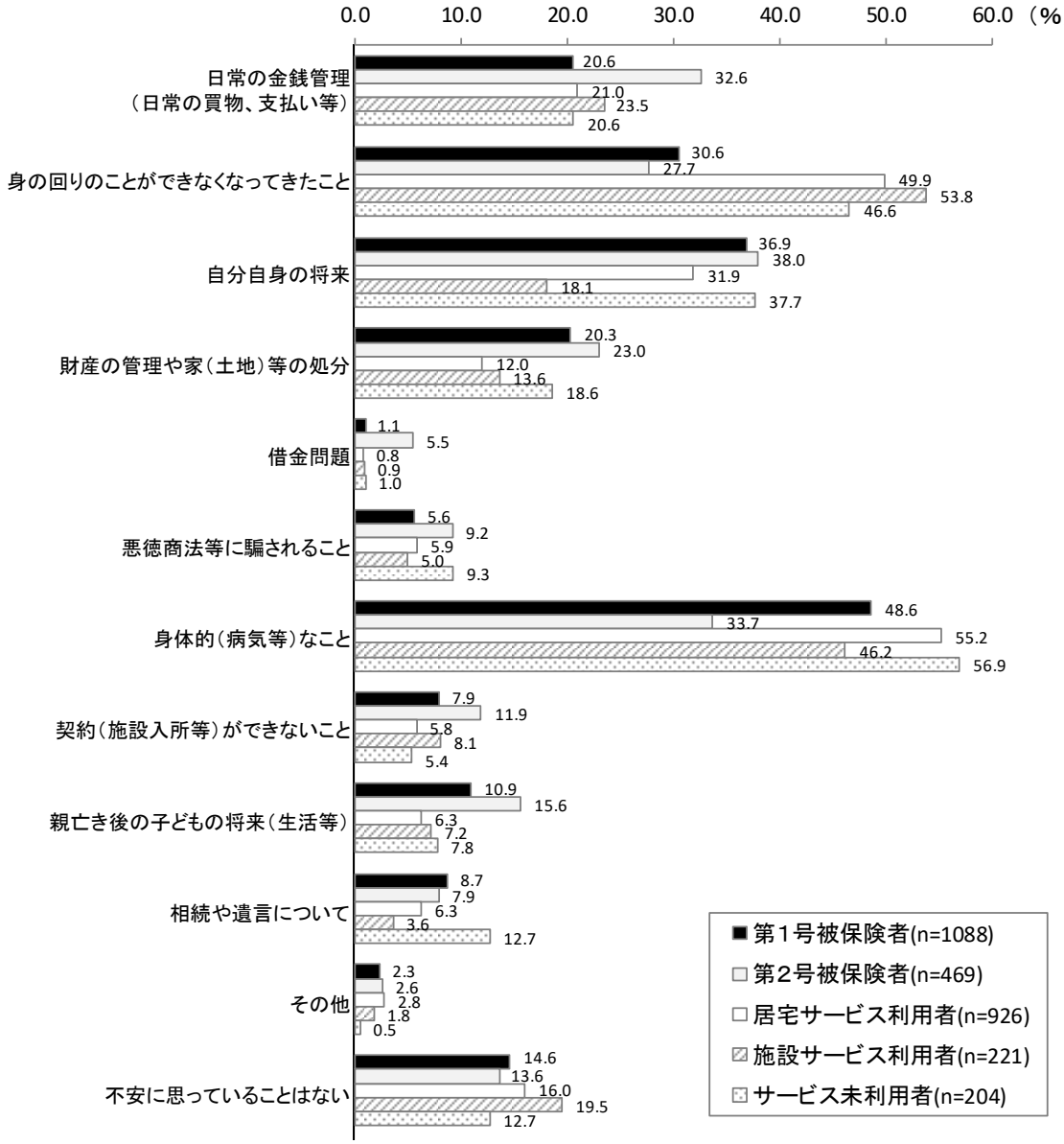
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		159	26.4	37.7	27.7	28.9	29.6	25.8	9.4
性・年代	男性 40 ～64歳	2	－	－	－	－	100.0	50.0	－
	男性 65 ～74歳	13	30.8	38.5	38.5	15.4	7.7	30.8	－
	男性 75 歳以上	48	22.9	39.6	31.3	25.0	22.9	25.0	12.5
	女性 40 ～64歳	5	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	60.0	20.0
	女性 65 ～74歳	7	71.4	28.6	42.9	42.9	28.6	28.6	－
	女性 75 歳以上	76	22.4	34.2	19.7	30.3	35.5	22.4	10.5
家族構成	一人暮らし	40	17.5	37.5	30.0	25.0	25.0	27.5	10.0
	夫婦のみ	64	25.0	39.1	25.0	26.6	34.4	21.9	10.9
	同居その他	53	34.0	35.8	26.4	35.8	28.3	26.4	5.7
地区	江別地区	51	31.4	41.2	27.5	31.4	23.5	31.4	9.8
	野幌地区	66	25.8	33.3	36.4	31.8	30.3	27.3	9.1
	大麻地区	41	19.5	41.5	12.2	22.0	36.6	14.6	9.8
介護度	要支援1・2	99	24.2	35.4	24.2	28.3	28.3	26.3	12.1
	要介護1・2	28	14.3	39.3	32.1	28.6	39.3	21.4	10.7
	要介護3～5	10	40.0	30.0	20.0	20.0	20.0	30.0	－

（４）自身が将来不安に思うこと

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

自身が将来不安に思うことを聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「身体的（病気等）なこと」が最も多く、それぞれ 48.6%、55.2%、56.9%となっています。第２号被保険者では「自分自身の将来」が 38.0%、施設サービス利用者では「身の回りのことができなくなってきたこと」が 53.8%で最も多くなっています。

＜図表 209＞　自身が将来不安に思うこと（複数回答）
【第１号被保険者　第 12 問３】【第２号被保険者　第６問３】
【居宅サービス利用者　第７問３】【施設サービス利用者　第６問３】
【サービス未利用者　第 11 問３】



＜図表 210＞　自身が将来不安に思うこと（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		1088	20.6	30.6	36.9	20.3	1.1	5.6	48.6	7.9	10.9	8.7	2.3	14.6
性・年代	男性 65 ～74歳	254	19.7	25.2	33.1	25.2	1.6	4.7	48.8	7.5	11.0	11.0	2.0	19.7
	男性 75 歳以上	231	16.0	35.1	29.9	22.1	0.9	3.5	47.2	6.1	12.1	9.1	2.2	16.9
	女性 65 ～74歳	315	22.5	25.1	40.0	21.3	0.6	5.7	45.1	9.5	10.5	7.3	2.9	14.0
	女性 75 歳以上	273	22.7	37.7	42.9	13.2	1.5	8.4	53.5	8.1	10.3	7.7	2.2	8.8
家族構成	一人暮らし	194	23.7	33.5	41.8	14.9	1.5	6.7	46.4	10.3	3.6	6.7	3.6	11.3
	夫婦のみ	590	20.5	30.0	37.3	23.1	0.7	5.4	50.2	6.9	6.4	10.7	2.4	14.7
	同居その他	297	19.2	30.3	33.7	18.2	1.7	5.4	47.1	8.4	24.6	5.7	1.3	16.2
地区	江別地区	394	24.4	32.5	37.3	20.3	1.3	7.4	50.8	6.1	12.2	8.6	2.3	13.2
	野幌地区	401	18.2	29.4	36.4	20.4	0.5	5.0	45.4	9.2	12.0	9.7	3.0	15.7
	大麻地区	293	18.8	29.7	37.2	20.1	1.7	4.1	50.2	8.5	7.8	7.5	1.4	15.0
介護度	非認定	1035	20.2	29.2	36.4	20.7	1.1	5.5	48.2	7.7	10.8	8.7	2.4	15.0
	要支援1・2	53	28.3	58.5	47.2	13.2	1.9	7.5	56.6	11.3	13.2	9.4	－	7.5

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		469	32.6	27.7	38.0	23.0	5.5	9.2	33.7	11.9	15.6	7.9	2.6	13.6
性・年代	男性 40 代	54	40.7	25.9	40.7	16.7	9.3	9.3	22.2	11.1	18.5	7.4	7.4	11.1
	男性 50 代	64	31.3	31.3	29.7	25.0	10.9	9.4	34.4	6.3	15.6	15.6	－	18.8
	男性 60 歳以上	55	21.8	20.0	23.6	30.9	1.8	5.5	38.2	9.1	9.1	7.3	1.8	14.5
	女性 40 代	74	39.2	24.3	39.2	18.9	2.7	9.5	36.5	17.6	21.6	6.8	1.4	20.3
	女性 50 代	138	33.3	31.9	45.7	23.9	5.8	10.1	35.5	14.5	14.5	4.3	2.9	10.9
	女性 60 歳以上	72	25.0	23.6	37.5	23.6	2.8	9.7	30.6	8.3	16.7	8.3	2.8	11.1
家族構成	一人暮らし	47	44.7	34.0	46.8	23.4	8.5	8.5	34.0	10.6	－	14.9	2.1	14.9
	夫婦のみ	129	24.8	27.9	34.9	26.4	2.3	7.8	38.8	10.9	8.5	8.5	0.8	14.0
	同居その他	285	33.3	26.0	37.5	21.8	6.3	9.8	31.2	12.6	21.8	6.7	3.5	13.3
地区	江別地区	177	35.6	28.8	36.7	19.8	4.0	10.2	35.0	13.0	14.7	5.6	2.3	14.1
	野幌地区	164	32.3	25.6	43.3	25.6	7.9	9.8	32.3	12.2	14.6	11.0	3.0	12.2
	大麻地区	125	27.2	28.0	32.8	24.8	4.0	7.2	33.6	9.6	18.4	7.2	2.4	15.2

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		926	21.0	49.9	31.9	12.0	0.8	5.9	55.2	5.8	6.3	6.3	2.8	16.0
性・年代	男性 40 ～64歳	7	42.9	28.6	14.3	14.3	－	－	28.6	14.3	14.3	－	－	28.6
	男性 65 ～74歳	42	7.1	50.0	38.1	19.0	4.8	11.9	57.1	2.4	9.5	7.1	7.1	11.9
	男性 75 歳以上	236	19.9	53.8	27.5	14.0	0.4	2.5	58.5	6.4	6.4	7.2	3.8	16.1
	女性 40 ～64歳	13	23.1	61.5	61.5	15.4	－	7.7	92.3	7.7	－	7.7	－	－
	女性 65 ～74歳	60	38.3	45.0	51.7	26.7	1.7	13.3	76.7	5.0	10.0	10.0	3.3	8.3
	女性 75 歳以上	520	20.0	48.7	30.2	8.7	0.6	6.2	50.0	6.2	5.8	5.4	1.7	17.9
家族構成	一人暮らし	301	20.9	46.5	37.5	12.6	0.3	7.3	53.5	6.0	2.7	5.3	2.7	17.3
	夫婦のみ	248	23.4	57.3	34.7	15.3	0.4	7.3	61.7	6.0	4.0	7.3	4.8	12.1
	同居その他	353	19.5	47.3	25.2	9.6	1.1	4.0	51.3	5.4	10.5	6.8	1.4	18.1
地区	江別地区	328	19.8	47.6	34.1	11.6	0.9	4.6	54.6	6.4	7.9	4.9	3.0	15.5
	野幌地区	339	21.5	53.7	29.2	12.1	0.6	7.7	56.3	5.0	5.6	6.2	2.7	15.0
	大麻地区	243	22.6	48.6	33.3	12.8	0.8	5.8	54.3	6.6	5.3	8.6	2.5	17.7
介護度	要支援1・2	434	20.3	46.3	35.3	12.4	0.7	6.5	60.6	5.8	5.3	7.8	2.5	12.4
	要介護1・2	334	22.8	53.9	29.6	11.4	1.2	6.6	50.3	6.6	6.6	5.1	3.0	18.6
	要介護3～5	104	18.3	53.8	26.0	13.5	－	1.9	53.8	4.8	7.7	6.7	2.9	22.1

（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		221	23.5	53.8	18.1	13.6	0.9	5.0	46.2	8.1	7.2	3.6	1.8	19.5
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	1	－	－	100.0	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	男性 60 歳以上	46	19.6	52.2	8.7	17.4	－	2.2	58.7	4.3	4.3	4.3	4.3	13.0
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	2	50.0	50.0	－	50.0	－	－	－	50.0	－	50.0	－	－
	女性 60 歳以上	171	24.0	54.4	20.5	12.3	1.2	5.8	43.9	8.8	7.6	2.9	1.2	21.6
介護度	要介護1・2	38	18.4	60.5	21.1	15.8	－	2.6	44.7	2.6	2.6	－	－	21.1
	要介護3～5	176	24.4	52.8	18.2	12.5	1.1	5.7	46.6	9.7	7.4	4.5	2.3	19.3

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		204	20.6	46.6	37.7	18.6	1.0	9.3	56.9	5.4	7.8	12.7	0.5	12.7
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	75.0	75.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	－	－
	男性 65 ～74歳	14	14.3	35.7	57.1	42.9	7.1	7.1	78.6	7.1	7.1	28.6	－	7.1
	男性 75 歳以上	67	19.4	44.8	22.4	20.9	－	7.5	56.7	3.0	9.0	13.4	1.5	14.9
	女性 40 ～64歳	5	－	20.0	40.0	－	－	－	60.0	－	－	－	－	40.0
	女性 65 ～74歳	7	28.6	28.6	57.1	14.3	－	28.6	57.1	－	14.3	42.9	－	14.3
	女性 75 歳以上	93	21.5	51.6	41.9	16.1	－	8.6	54.8	5.4	6.5	8.6	－	10.8
家族構成	一人暮らし	55	9.1	41.8	36.4	14.5	－	10.9	50.9	7.3	5.5	5.5	－	18.2
	夫婦のみ	82	24.4	46.3	45.1	24.4	1.2	6.1	61.0	6.1	8.5	20.7	1.2	6.1
	同居その他	63	25.4	52.4	31.7	14.3	1.6	12.7	57.1	3.2	9.5	6.3	－	15.9
地区	江別地区	64	20.3	46.9	43.8	18.8	3.1	12.5	53.1	4.7	7.8	12.5	－	12.5
	野幌地区	82	20.7	40.2	32.9	23.2	－	9.8	56.1	6.1	11.0	15.9	1.2	14.6
	大麻地区	55	20.0	54.5	38.2	10.9	－	5.5	63.6	5.5	3.6	5.5	－	10.9
介護度	要支援1・2	123	18.7	45.5	39.8	20.3	0.8	6.5	57.7	1.6	8.9	14.6	0.8	11.4
	要介護1・2	34	23.5	50.0	35.3	17.6	2.9	14.7	55.9	14.7	11.8	5.9	－	11.8
	要介護3～5	14	21.4	57.1	28.6	28.6	－	7.1	64.3	7.1	－	7.1	－	14.3

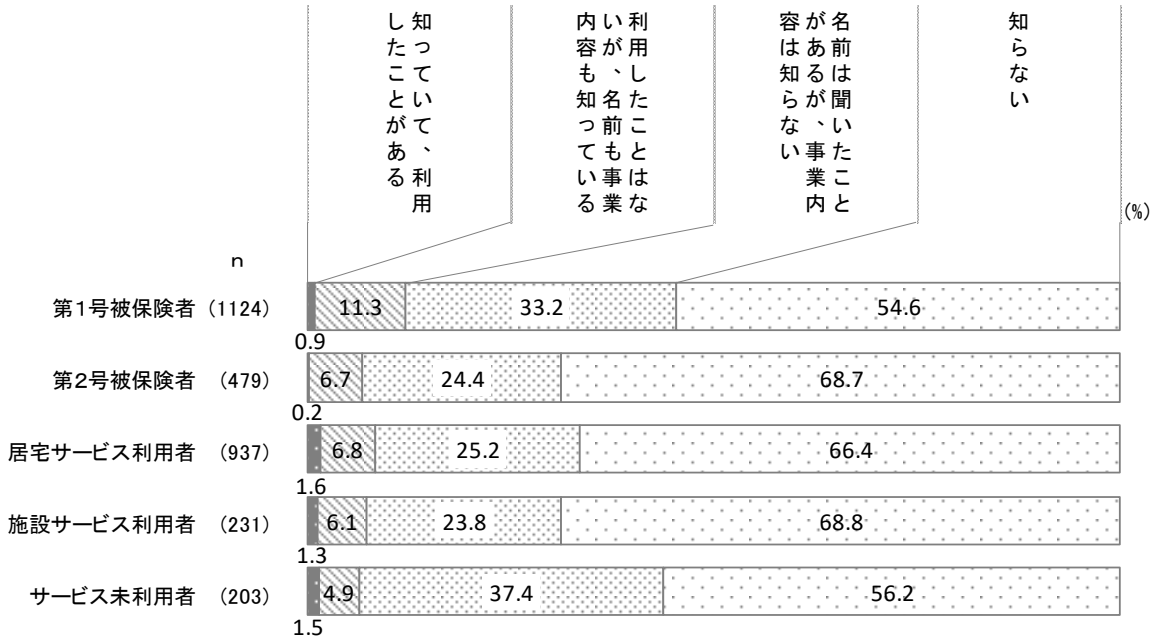
（５）江別市成年後見支援センターの認知度

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

江別市成年後見支援センターの認知度を聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」と「知らない」を合わせると、第１号被保険者で 87.8%、第２号被保険者で 93.1%、居宅サービス利用者で 91.6%、施設サービス利用者で 92.6%、サービス未利用者で 93.6%となっています。

また、前回調査と比較すると、「知っていて、利用したことがある」と「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」を合わせた割合は、第１号被保険者、第２号被保険者及び居宅サービス利用者で増加しています。

＜図表 211＞　江別市成年後見支援センターの認知度
【第１号被保険者　第 12 問４】【第２号被保険者　第６問４】
【居宅サービス利用者　第７問４】【施設サービス利用者　第６問４】
【サービス未利用者　第 11 問４】



＜図表 212＞　江別市成年後見支援センターの認知度（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		1124	0.9	11.3	33.2	54.6
性・年代	男性 65 ～74歳	263	0.4	7.6	31.9	60.1
	男性 75 歳以上	239	0.8	11.7	34.3	53.1
	女性 65 ～74歳	324	－	11.7	29.9	58.3
	女性 75 歳以上	283	2.5	13.1	36.7	47.7
地区	江別地区	407	1.0	11.3	36.4	51.4
	野幌地区	411	0.7	9.5	31.4	58.4
	大麻地区	306	1.0	13.7	31.4	53.9
介護度	非認定	1071	0.7	11.5	33.7	54.1
	要支援1・2	53	3.8	7.5	22.6	66.0

（単位:%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		479	0.2	6.7	24.4	68.7
性・年代	男性 40 代	55	－	9.1	23.6	67.3
	男性 50 代	65	－	4.6	23.1	72.3
	男性 60 歳以上	57	－	7.0	17.5	75.4
	女性 40 代	74	－	10.8	16.2	73.0
	女性 50 代	143	－	2.8	32.9	64.3
	女性 60 歳以上	73	1.4	11.0	23.3	64.4
地区	江別地区	178	－	6.2	24.7	69.1
	野幌地区	168	0.6	7.7	25.6	66.1
	大麻地区	130	－	6.2	22.3	71.5

（単位:%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		937	1.6	6.8	25.2	66.4
性・年代	男性 40 ～64歳	7	－	14.3	57.1	28.6
	男性 65 ～74歳	42	－	4.8	26.2	69.0
	男性 75 歳以上	242	1.2	7.4	32.2	59.1
	女性 40 ～64歳	13	－	－	15.4	84.6
	女性 65 ～74歳	58	3.4	3.4	15.5	77.6
	女性 75 歳以上	525	1.3	6.7	22.9	69.1
地区	江別地区	336	2.1	6.3	26.2	65.5
	野幌地区	340	1.2	6.5	23.8	68.5
	大麻地区	245	1.2	7.3	25.7	65.7
介護度	要支援1・2	428	1.6	9.8	32.7	55.8
	要介護1・2	342	0.9	4.7	18.1	76.3
	要介護3～5	109	0.9	1.8	17.4	79.8

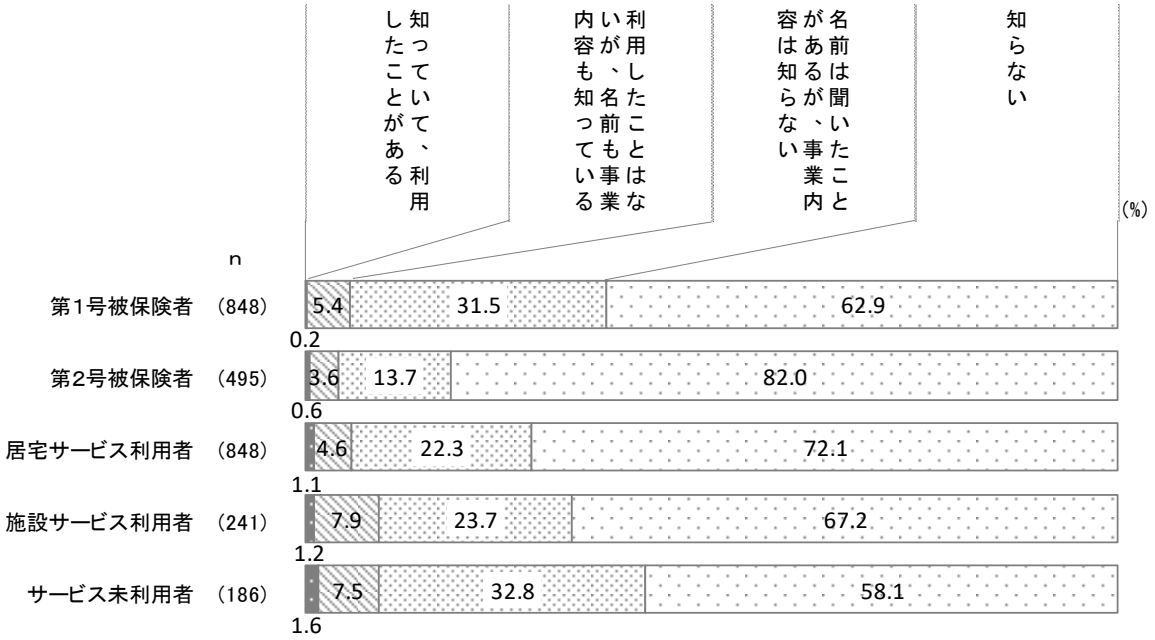
（単位:%）

＜施設サービス利用者調査＞		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		231	1.3	6.1	23.8	68.8
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－
	男性 50 代	1	－	－	100.0	－
	男性 60 歳以上	50	2.0	10.0	20.0	68.0
	女性 40 代	－	－	－	－	－
	女性 50 代	2	－	－	50.0	50.0
	女性 60 歳以上	177	1.1	5.1	24.3	69.5
介護度	要介護1・2	38	－	5.3	15.8	78.9
	要介護3～5	186	1.6	6.5	25.8	66.1

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		203	1.5	4.9	37.4	56.2
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	－	25.0	75.0
	男性 65 ～74歳	14	－	7.1	14.3	78.6
	男性 75 歳以上	66	1.5	6.1	42.4	50.0
	女性 40 ～64歳	5	－	－	40.0	60.0
	女性 65 ～74歳	7	14.3	－	14.3	71.4
	女性 75 歳以上	95	1.1	4.2	42.1	52.6
地区	江別地区	62	3.2	6.5	37.1	53.2
	野幌地区	83	－	6.0	33.7	60.2
	大麻地区	55	1.8	1.8	43.6	52.7
介護度	要支援1・2	123	1.6	3.3	39.8	55.3
	要介護1・2	34	2.9	8.8	35.3	52.9
	要介護3～5	14	－	7.1	28.6	64.3

＜図表 213＞　【参考】前回調査（令和４年度）



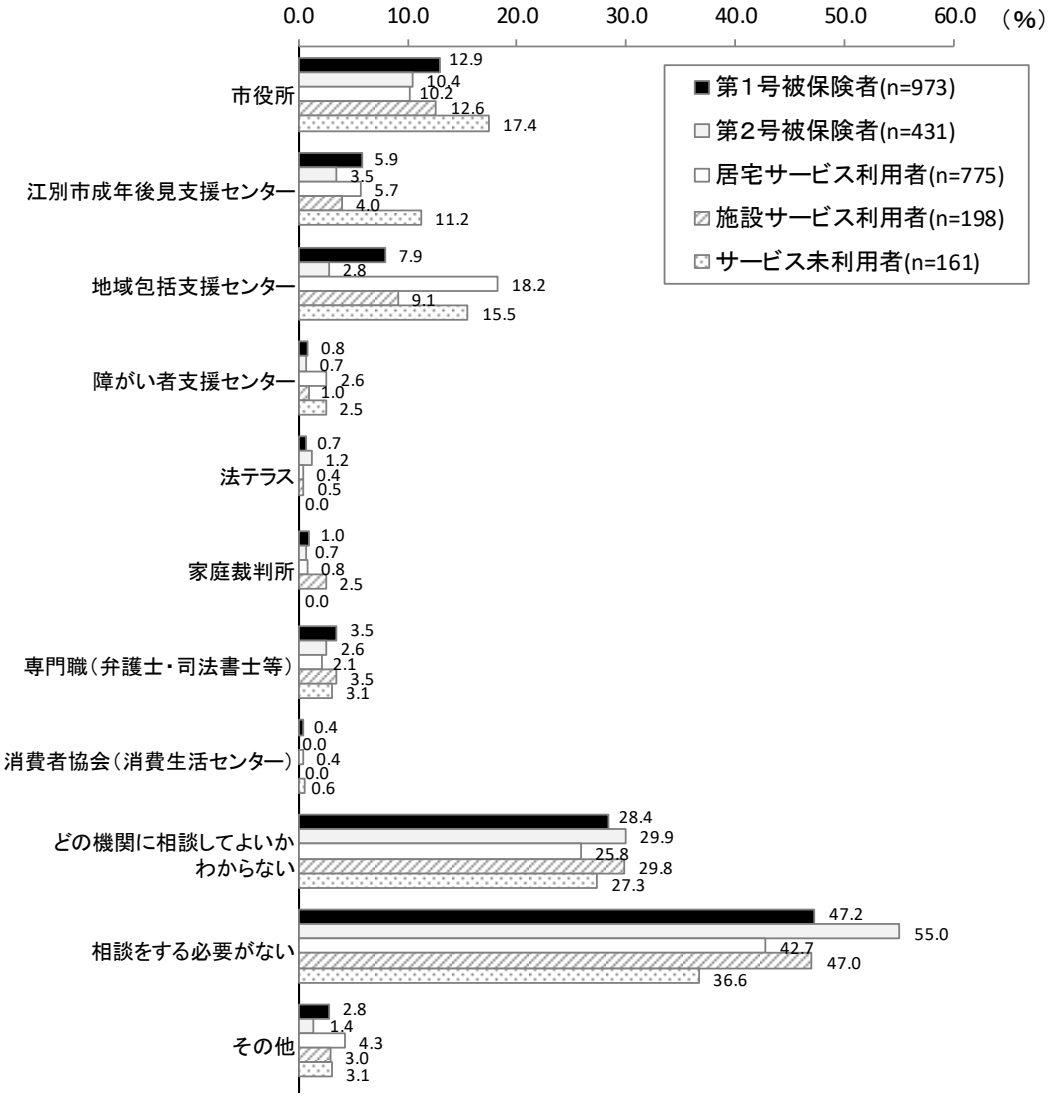
（６）成年後見制度に関する相談先

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、全ての調査において「相談をする必要がない」を除いて、「どの機関に相談してよいかわからない」が最も多く、第１号被保険者では 28.4%、第２号被保険者では29.9%、居宅サービス利用者では25.8%、施設サービス利用者では29.8%、サービス未利用者では27.3%となっています。

＜図表 214＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）

【第１号被保険者　第 12 問５】【第２号被保険者　第６問５】
【居宅サービス利用者　第７問５】【施設サービス利用者　第６問５】
【サービス未利用者　第 11 問５】



＜図表 215＞　成年後見制度に関する相談先（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜第1号被保険者調査＞		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全体		973	12.9	5.9	7.9	0.8	0.7	1.0	3.5	0.4	28.4	47.2	2.8
性・年代	男性 65 ～74歳	237	11.4	5.1	7.2	1.7	0.4	0.8	2.5	0.8	26.2	52.3	2.1
	男性 75 歳以上	202	14.4	6.9	6.9	0.5	0.5	2.0	4.5	0.5	32.7	43.1	2.5
	女性 65 ～74歳	285	10.2	6.7	4.9	0.4	1.4	1.1	3.9	0.4	26.7	50.9	2.8
	女性 75 歳以上	237	17.3	5.1	12.7	0.8	0.4	0.4	3.0	－	28.3	41.8	3.8
家族構成	一人暮らし	170	12.4	5.3	6.5	1.2	－	0.6	2.9	0.6	27.6	50.0	2.4
	夫婦のみ	535	13.6	6.4	8.4	0.4	0.9	1.5	3.6	0.6	28.2	45.4	3.2
	同居その他	261	12.3	5.4	7.7	1.1	0.8	0.4	3.4	－	29.5	48.7	2.3
地区	江別地区	352	14.5	6.5	8.5	1.1	1.1	0.9	3.7	0.6	28.1	46.0	2.6
	野幌地区	365	11.5	5.5	7.7	0.8	0.8	0.8	3.8	0.5	28.2	48.8	2.2
	大麻地区	256	12.9	5.5	7.4	0.4	－	1.6	2.7	－	28.9	46.5	3.9
介護度	非認定	927	12.9	5.9	7.3	0.6	0.8	1.0	3.3	0.4	28.2	47.8	2.8
	要支援1・2	46	13.0	4.3	19.6	4.3	－	2.2	6.5	－	32.6	34.8	2.2

（単位：%）

＜第2号被保険者調査＞		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全体		431	10.4	3.5	2.8	0.7	1.2	0.7	2.6	－	29.9	55.0	1.4
性・年代	男性 40 代	47	8.5	2.1	2.1	－	－	－	－	－	27.7	63.8	－
	男性 50 代	61	8.2	－	－	－	1.6	－	3.3	－	27.9	57.4	1.6
	男性 60 歳以上	50	14.0	8.0	2.0	2.0	－	－	8.0	－	34.0	46.0	2.0
	女性 40 代	67	7.5	4.5	－	1.5	1.5	1.5	1.5	－	28.4	61.2	－
	女性 50 代	129	12.4	2.3	2.3	0.8	1.6	1.6	2.3	－	27.1	57.4	1.6
	女性 60 歳以上	66	12.1	6.1	10.6	－	1.5	－	1.5	－	27.3	50.0	3.0
家族構成	一人暮らし	44	6.8	2.3	2.3	2.3	2.3	－	－	－	43.2	45.5	－
	夫婦のみ	125	16.0	5.6	6.4	0.8	1.6	1.6	4.0	－	32.0	45.6	1.6
	同居その他	253	8.3	2.8	1.2	0.4	0.8	0.4	2.4	－	25.3	62.5	1.6
地区	江別地区	166	11.4	2.4	3.6	－	－	0.6	4.2	－	27.7	57.2	0.6
	野幌地区	150	9.3	3.3	2.7	1.3	3.3	0.7	2.0	－	33.3	50.7	2.0
	大麻地区	112	10.7	5.4	1.8	0.9	－	0.9	0.9	－	26.8	58.9	1.8

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		775	10.2	5.7	18.2	2.6	0.4	0.8	2.1	0.4	25.8	42.7	4.3
性・年代	男性 40 ～64歳	7	14.3	－	－	－	－	－	－	－	14.3	57.1	14.3
	男性 65 ～74歳	35	17.1	－	8.6	－	2.9	－	5.7	－	20.0	48.6	－
	男性 75 歳以上	202	12.4	8.4	22.3	3.5	0.5	0.5	2.5	0.5	29.2	34.7	5.4
	女性 40 ～64歳	12	8.3	8.3	8.3	8.3	－	－	－	－	50.0	33.3	－
	女性 65 ～74歳	45	11.1	6.7	8.9	6.7	－	－	8.9	－	33.3	31.1	4.4
	女性 75 歳以上	437	8.0	5.0	17.4	1.4	0.2	0.7	0.9	0.5	23.1	49.0	4.3
家族構成	一人暮らし	259	9.7	6.9	18.1	1.2	－	0.8	2.3	0.8	19.3	49.8	3.5
	夫婦のみ	199	13.1	7.5	23.1	4.5	0.5	0.5	1.5	0.5	27.1	32.7	5.5
	同居その他	299	7.7	2.7	13.7	2.0	0.3	0.3	2.3	－	31.1	44.8	4.3
地区	江別地区	277	10.5	6.1	17.3	2.5	0.4	0.4	2.2	0.7	27.8	40.8	4.7
	野幌地区	282	9.9	5.7	17.4	3.5	0.4	1.4	2.8	0.4	26.6	42.6	3.9
	大麻地区	203	10.3	5.4	20.7	1.0	0.5	－	1.0	－	22.2	45.8	4.4
介護度	要支援1・2	357	11.2	6.7	25.8	2.5	0.8	0.8	2.5	0.8	23.5	37.5	4.2
	要介護1・2	290	8.3	5.5	11.7	2.8	－	0.3	1.0	－	26.6	49.3	4.8
	要介護3～5	86	8.1	2.3	9.3	－	－	－	3.5	－	27.9	50.0	3.5

（単位：%）

〈施設サービス利用者調査〉		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		198	12.6	4.0	9.1	1.0	0.5	2.5	3.5	－	29.8	47.0	3.0
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	1	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－
	男性 60 歳以上	40	17.5	10.0	15.0	－	－	5.0	5.0	－	25.0	40.0	2.5
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	2	－	－	－	－	－	－	－	－	50.0	50.0	－
	女性 60 歳以上	154	11.7	2.6	7.8	1.3	0.6	1.9	3.2	－	29.9	49.4	3.2
介護度	要介護1・2	33	18.2	6.1	3.0	－	－	－	－	－	27.3	48.5	6.1
	要介護3～5	160	11.9	3.8	10.6	1.3	0.6	2.5	4.4	－	30.0	46.9	2.5

（単位：%）

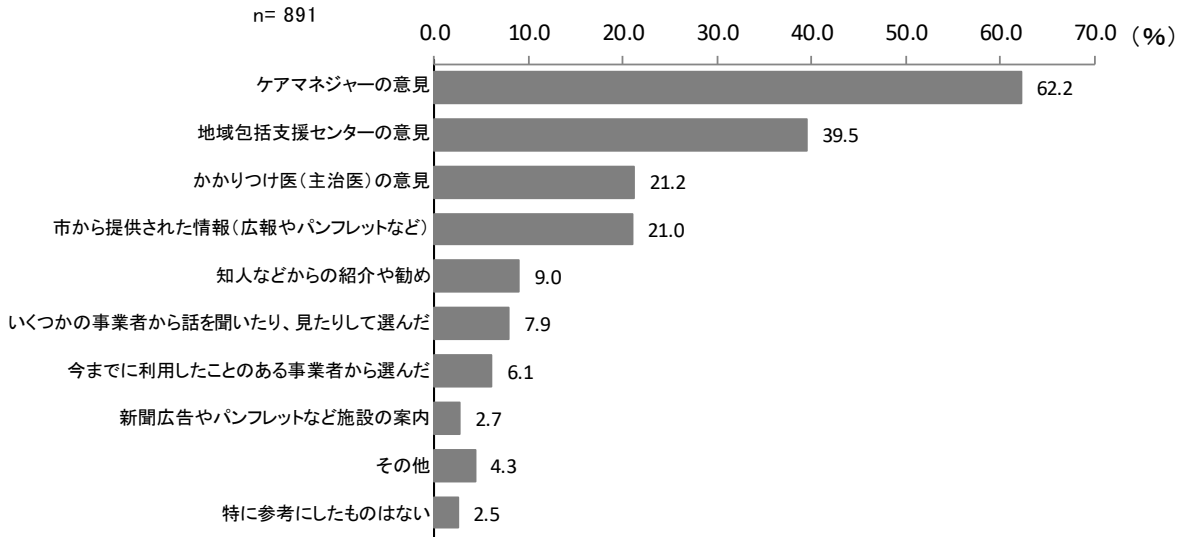
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		161	17.4	11.2	15.5	2.5	−	−	3.1	0.6	27.3	36.6	3.1
性・年代	男性 40 ～64歳	4	−	−	−	−	−	−	−	−	50.0	50.0	−
	男性 65 ～74歳	12	−	8.3	16.7	−	−	−	8.3	−	25.0	41.7	8.3
	男性 75 歳以上	60	25.0	20.0	16.7	1.7	−	−	3.3	−	18.3	31.7	5.0
	女性 40 ～64歳	3	−	−	−	−	−	−	−	−	33.3	66.7	−
	女性 65 ～74歳	5	20.0	−	−	40.0	−	−	−	−	40.0	20.0	−
	女性 75 歳以上	65	13.8	4.6	15.4	−	−	−	1.5	−	33.8	40.0	1.5
家族構成	一人暮らし	39	10.3	15.4	33.3	2.6	−	−	5.1	2.6	25.6	30.8	2.6
	夫婦のみ	69	24.6	13.0	10.1	4.3	−	−	4.3	−	27.5	34.8	2.9
	同居その他	50	12.0	4.0	10.0	−	−	−	−	−	30.0	44.0	4.0
地区	江別地区	52	19.2	7.7	15.4	−	−	−	7.7	−	28.8	32.7	3.8
	野幌地区	68	11.8	11.8	20.6	2.9	−	−	−	−	32.4	30.9	4.4
	大麻地区	39	23.1	15.4	7.7	5.1	−	−	2.6	2.6	17.9	51.3	−
介護度	要支援1・2	91	19.8	12.1	15.4	3.3	−	−	3.3	−	22.0	40.7	2.2
	要介護1・2	29	17.2	6.9	3.4	−	−	−	−	−	37.9	37.9	−
	要介護3～5	12	8.3	−	8.3	−	−	−	−	−	41.7	25.0	16.7

12. 介護保険サービス等の利用状況

（１）事業者を選ぶポイント【居宅サービス利用者】

事業者を選ぶポイントを聞いたところ、「ケアマネジャーの意見」が 62.2%で最も多く、次いで「地域包括支援センターの意見」(39.5%)、「かかりつけ医（主治医）の意見」(21.2%) となっています。

＜図表 216＞　事業者を選ぶポイント（複数回答）【居宅サービス利用者　第 10 問１】



＜図表 217＞　事業者を選ぶポイント（家族構成別/要介護度別）

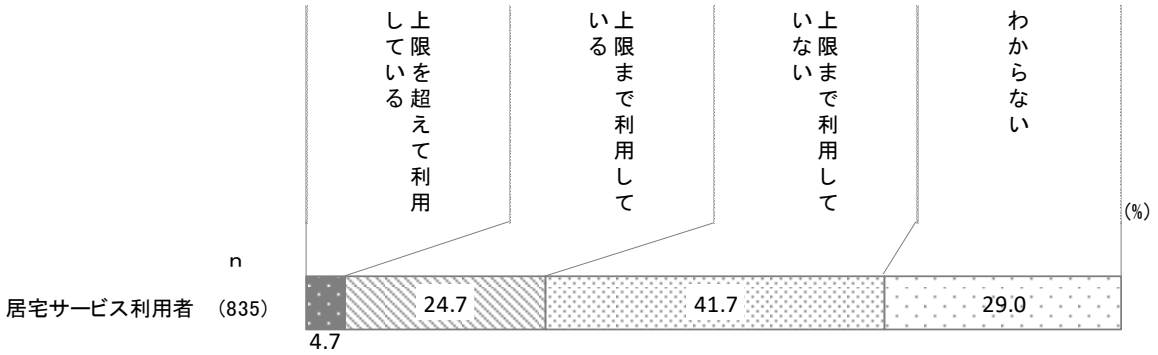
（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	ケアマネジャーの意見	地域包括支援センターの意見	かかりつけ医（主治医）の意見	市から提供された情報（広報やパンフレットなど）	知人などからの紹介や勧め	いくつかの事業者から話を聞いたり、見たりして選んだ	今までに利用したことのある事業者から選んだ	新聞広告やパンフレットなど施設の案内	その他	特に参考にしたものはない
全　体		891	62.2	39.5	21.2	21.0	9.0	7.9	6.1	2.7	4.3	2.5
家族構成	一人暮らし	277	63.2	39.7	19.1	22.4	9.7	8.3	6.5	5.4	5.4	2.2
	夫婦のみ	250	65.2	43.6	27.6	18.0	8.8	4.8	6.0	2.4	3.6	1.6
	同居その他	342	59.4	35.7	17.8	21.3	8.5	9.1	5.6	0.9	3.8	3.5
介護度	要支援1・2	403	54.3	51.6	23.6	20.8	10.2	6.0	5.5	2.7	3.0	3.2
	要介護1・2	328	67.7	27.1	18.0	21.6	9.1	10.4	7.3	2.4	6.1	1.8
	要介護3～5	109	79.8	30.3	17.4	16.5	6.4	9.2	6.4	2.8	3.7	1.8

（２）制度上で利用できる上限までの利用【居宅サービス利用者】

制度上で利用できる上限までの利用を聞いたところ、「上限まで利用していない」が 41.7%で最も多く、次いで「わからない」(29.0%)、「上限まで利用している」(24.7%) となっています。

＜図表 218＞　制度上で利用できる上限までの利用【居宅サービス利用者　第 10 問２】



＜図表 219＞　制度上で利用できる上限までの利用（家族構成別/要介護度別）

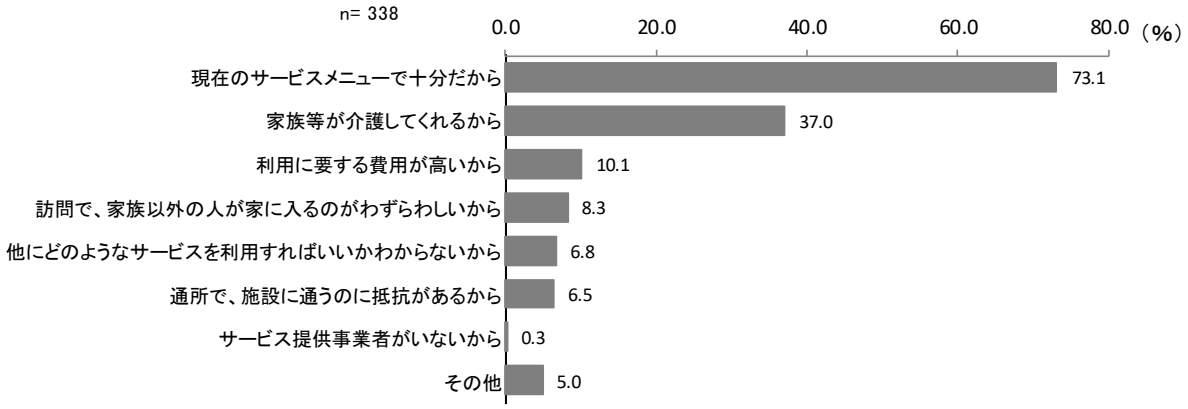
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	上限を超えて利用している	上限まで利用している	上限まで利用していない	わからない
全　体		835	4.7	24.7	41.7	29.0
家族構成	一人暮らし	253	5.5	28.9	38.7	26.9
	夫婦のみ	240	5.8	22.9	42.5	28.8
	同居その他	323	3.1	22.3	44.0	30.7
介護度	要支援1・2	365	2.2	25.8	41.9	30.1
	要介護1・2	318	3.1	22.0	45.0	29.9
	要介護3～5	110	15.5	32.7	33.6	18.2

（３）上限まで利用していない理由【居宅サービス利用者】

制度上で利用できる上限までの利用で「上限まで利用していない」と回答した人に、上限まで利用していない理由を聞いたところ、「現在のサービスメニューで十分だから」が 73.1%で最も多く、次いで「家族等が介護してくれるから」(37.0%)、「利用に要する費用が高いから」(10.1%)となっています。

＜図表 220＞　上限まで利用していない理由【居宅サービス利用者　第 10 問２－１】



＜図表 221＞　上限まで利用していない理由（家族構成別/要介護度別）

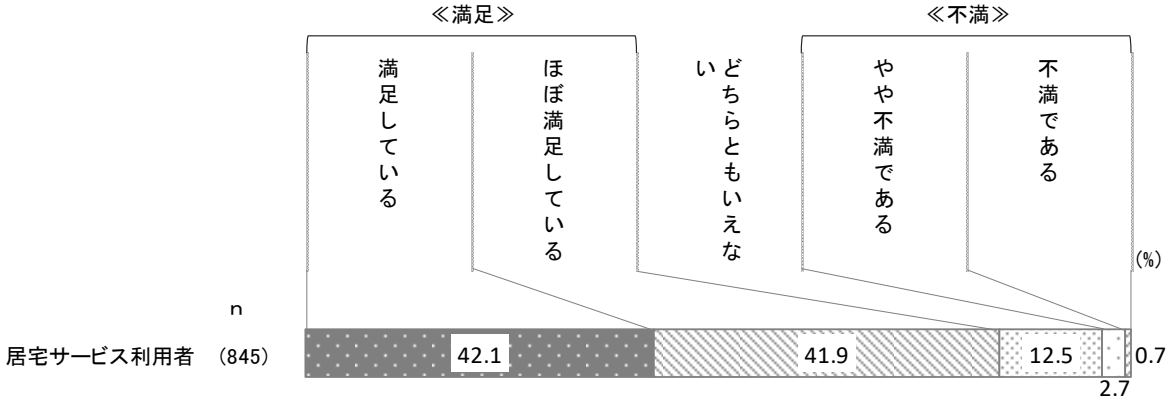
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	現在のサービスメニューで十分だから	家族等が介護してくれるから	利用に要する費用が高いから	訪問で、家族以外の人が家に入るのがわずらわしいから	他にどのようなサービスを利用すればいいかわからないから	通所で、施設に通うのに抵抗があるから	サービス提供事業者がいないから	その他
全　体		338	73.1	37.0	10.1	8.3	6.8	6.5	0.3	5.0
家族構成	一人暮らし	93	76.3	22.6	7.5	9.7	8.6	9.7	－	5.4
	夫婦のみ	99	72.7	43.4	16.2	8.1	3.0	6.1	1.0	3.0
	同居その他	140	71.4	41.4	5.7	7.1	7.9	5.0	－	6.4
介護度	要支援1・2	147	72.1	25.2	5.4	7.5	8.2	5.4	0.7	5.4
	要介護1・2	142	74.6	43.7	14.8	10.6	5.6	9.2	－	4.2
	要介護3～5	36	66.7	66.7	11.1	2.8	5.6	2.8	－	5.6

（４）サービス利用の満足度【居宅サービス利用者】

サービス利用の満足度を聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫は 84.0%となっています。要介護度別にみると、要介護度が上がるほど≪満足≫の割合は低くなっています。

＜図表 222＞　サービス利用の満足度【居宅サービス利用者　第 10 問３】



＜図表 223＞　サービス利用の満足度（要介護度別/制度上で利用できる上限までの利用別）

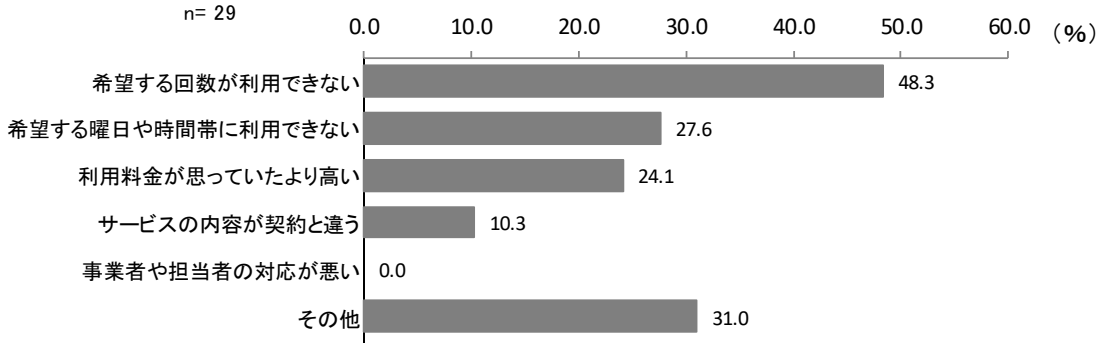
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	≪満足≫	≪不満≫
全 体		845	42.1	41.9	12.5	2.7	0.7	84.0	3.4
介護度	要支援1・2	370	47.0	38.9	9.7	3.5	0.8	85.9	4.3
	要介護1・2	317	40.4	42.3	14.8	1.6	0.9	82.7	2.5
	要介護3～5	110	30.0	50.9	16.4	2.7	－	80.9	2.7
上限までの利用	上限を超えて利用している	39	38.5	43.6	10.3	2.6	5.1	82.1	7.7
	上限まで利用している	200	46.0	39.5	11.5	3.0	－	85.5	3.0
	上限まで利用していない	330	44.8	44.5	8.2	1.8	0.6	89.3	2.4
	わからない	224	31.3	43.3	21.0	3.6	0.9	74.6	4.5

（５）不満な理由【居宅サービス利用者】

サービス利用の満足度で「やや不満である」または「不満である」と回答した人に、不満な理由を聞いたところ、「希望する回数が利用できない」が 48.3%、「希望する曜日や時間帯に利用できない」(27.6%)、「利用料金が思っていたより高い」(24.1%) となっています。

＜図表 224＞　不満な理由（複数回答）【居宅サービス利用者　第 10 問３－１】



＜図表 225＞　不満な理由（要介護度別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	希望する回数が利用できない	希望する曜日や時間帯に利用できない	利用料金が思っていたより高い	サービスの内容が契約と違う	事業者や担当者の対応が悪い	その他
全　体		29	48.3	27.6	24.1	10.3	－	31.0
介護度	要支援1・2	16	37.5	31.3	18.8	6.3	－	31.3
	要介護1・2	8	75.0	12.5	25.0	25.0	－	37.5
	要介護3～5	3	33.3	33.3	66.7	－	－	33.3

（６）利用しているサービスの満足・不満【居宅サービス利用者】

利用しているサービスの満足なところとしては、「職員・スタッフに関すること」「施設・設備・サービス内容全般」「健康・介護予防に関すること」が多く挙げられました。一方、不満なところとしては、「施設・設備・サービス内容全般」「サービスの利用回数・時間等に関すること」「職員・スタッフに関すること」が多く挙げられました。

＜図表 226＞　満足なところ（複数回答）【居宅サービス利用者　第 10 問４】

（単位：件）

職員・スタッフに関すること	施設・設備・サービス内容全般	健康・介護予防に関すること	通所サービスに関すること	入浴に関すること	食事に関すること	福祉用具・住宅補助等に関すること	コミュニケーションに関すること	医療・看護に関すること	情報提供・相談等に関すること	行事・レクレーション等に関すること	洗濯・掃除・身の回りの世話等	家族等介護者に関すること	ショートステイに関すること	交通・移動手段等に関すること	満足（具体的な記載なし）	その他	件数
173	121	100	79	58	44	30	29	21	17	14	13	10	3	2	29	12	521

＜図表 227＞　不満なところ（複数回答）【居宅サービス利用者　第 10 問４】

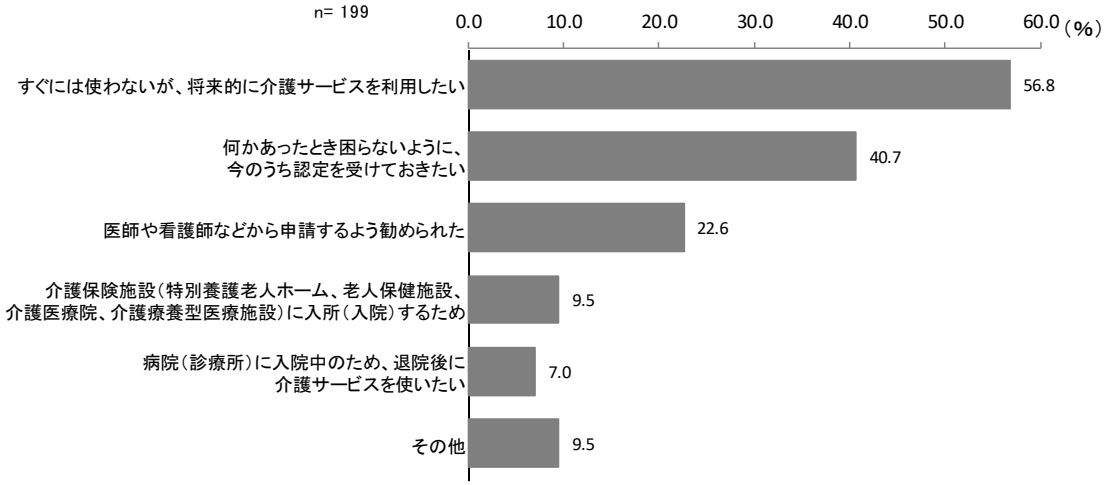
（単位：件）

施設・設備・サービス内容全般	サービスの利用回数・時間等に関すること	職員・スタッフに関すること	通所サービスに関すること	食事に関すること	入浴に関すること	費用負担に関すること	健康・介護予防に関すること	洗濯・掃除・身の回りの世話等	家族等介護者に関すること	コミュニケーションに関すること	情報提供・相談等に関すること	福祉用具・住宅補助等に関すること	交通・移動手段等に関すること	行事・レクレーション等に関すること	ショートステイに関すること	医療・看護に関すること	その他	件数
37	37	17	10	9	8	8	7	4	3	3	3	2	2	1	1	0	5	157

（７）認定を受けるために申請した理由【サービス未利用者】

認定を受けるために申請した理由を聞いたところ､｢すぐには使わないが､将来的に介護サービスを利用したい」が 56.8%で最も多く、次いで「何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」(40.7%)､｢医師や看護師などから申請するよう勧められた」(22.6%）となっています。要介護度別でみると、｢何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」の割合は要介護度が下がるほど多い一方、｢病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい」の割合は要介護度が上がるほど高くなっています。

＜図表 228＞　認定を受けるために申請した理由（複数回答）【サービス未利用者　第９問１】



＜図表 229＞　認定を受けるために申請した理由（家族構成別/要介護度別）

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	すぐには使わないが、将来的に介護サービスを利用したい	何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい	医師や看護師などから申請するよう勧められた	介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設）に入所（入院）するため	病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい	その他
全　体		199	56.8	40.7	22.6	9.5	7.0	9.5
家族構成	一人暮らし	55	50.9	43.6	25.5	10.9	3.6	9.1
	夫婦のみ	82	59.8	41.5	19.5	7.3	6.1	11.0
	同居その他	57	59.6	36.8	24.6	12.3	10.5	8.8
介護度	要支援1・2	123	65.0	46.3	22.0	8.1	2.4	10.6
	要介護1・2	37	48.6	37.8	29.7	10.8	13.5	8.1
	要介護3～5	16	25.0	12.5	37.5	25.0	31.3	6.3

（８）現在の生活状況【サービス未利用者】

現在の生活状況を聞いたところ、「自宅」が 92.8%で最も多く、次いで「病院（診療所）」（4.0%）、「養護老人ホーム」、「サービス付き高齢者向け住宅」（ともに 0.9%）となっています。

＜図表 230＞　現在の生活状況【サービス未利用者　第９問２】



＜図表 231＞　現在の生活状況（家族構成別/地区別/要介護度別）

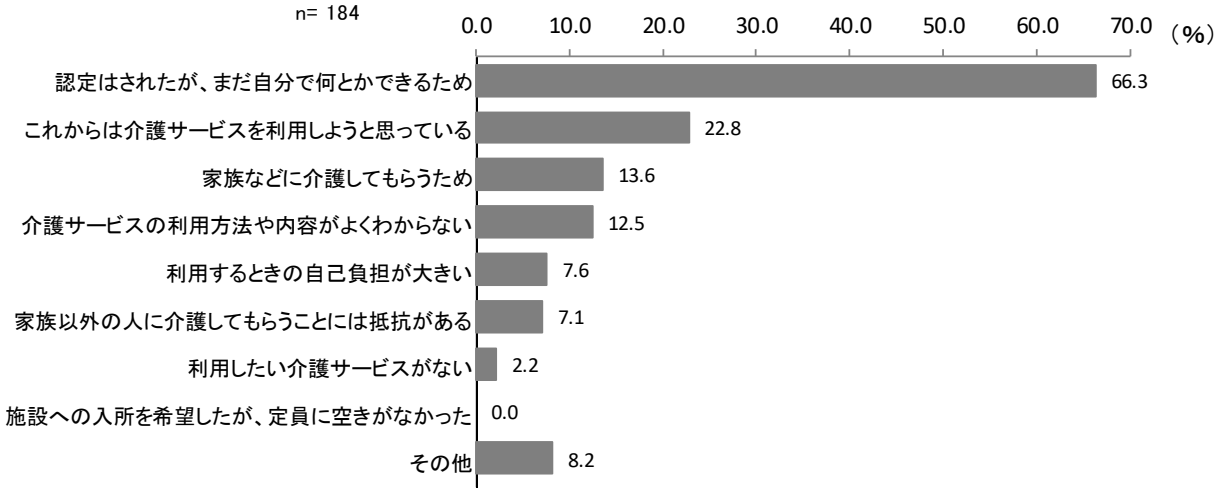
（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	自宅	病院（診療所）	養護老人ホーム	ケアハウス	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を除く）	その他
全　体		223	92.8	4.0	0.9	0.4	0.9	0.4	0.4
家族構成	一人暮らし	65	90.8	3.1	1.5	－	3.1	1.5	－
	夫婦のみ	88	95.5	4.5	－	－	－	－	－
	同居その他	65	90.8	4.6	1.5	1.5	－	－	1.5
地区	江別地区	66	93.9	4.5	－	1.5	－	－	－
	野幌地区	89	92.1	4.5	2.2	－	－	1.1	－
	大麻地区	65	92.3	3.1	－	－	3.1	－	1.5
介護度	要支援1・2	135	97.0	1.5	－	－	1.5	－	－
	要介護1・2	37	94.6	5.4	－	－	－	－	－
	要介護3～5	16	56.3	31.3	6.3	6.3	－	－	－

（９）介護サービスを利用していない理由【サービス未利用者】

現在の生活状況で「自宅」と回答した人に、介護サービスを利用していない理由を聞いたところ、「認定はされたが、まだ自分で何とかできるため」が 66.3%で最も多く、次いで「これからは介護サービスを利用しようと思っている」（22.8%）、「家族などに介護してもらうため」(13.6%)となっています。

＜図表 232＞　介護サービスを利用していない理由（複数回答）【サービス未利用者　第９問２－１】



＜図表 233＞　介護サービスを利用していない理由（家族構成別/地区別/要介護度別）

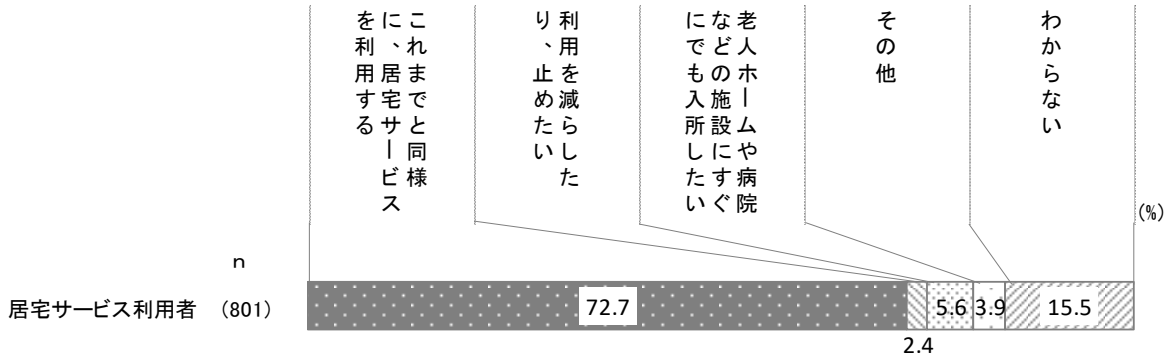
（単位:%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	認定はされたが、まだ自分で何とかできるため	これからは介護サービスを利用しようと思っている	家族などに介護してもらうため	介護サービスの利用方法や内容がよくわからない	利用するときの自己負担が大きい	家族以外の人に介護してもらうことには抵抗がある	利用したい介護サービスがない	施設への入所を希望したが、定員に空きがなかった	その他
全　体		184	66.3	22.8	13.6	12.5	7.6	7.1	2.2	－	8.2
家族構成	一人暮らし	48	60.4	31.3	4.2	18.8	4.2	6.3	2.1	－	6.3
	夫婦のみ	76	71.1	17.1	13.2	13.2	9.2	7.9	2.6	－	6.6
	同居その他	56	64.3	25.0	21.4	7.1	8.9	5.4	1.8	－	10.7
地区	江別地区	55	65.5	20.0	18.2	20.0	12.7	5.5	－	－	7.3
	野幌地区	73	72.6	24.7	11.0	6.8	6.8	9.6	2.7	－	9.6
	大麻地区	53	60.4	24.5	9.4	13.2	3.8	5.7	3.8	－	5.7
介護度	要支援1・2	120	77.5	21.7	13.3	9.2	5.8	5.8	1.7	－	6.7
	要介護1・2	33	45.5	24.2	21.2	15.2	9.1	12.1	6.1	－	9.1
	要介護3～5	9	55.6	33.3	－	11.1	11.1	－	－	－	－

（10）今後のサービス利用意向【居宅サービス利用者】

今後のサービス利用意向を聞いたところ、「これまでと同様に、居宅サービスを利用する」が72.7%で最も多く、次いで「わからない」(15.5%)、「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」(5.6%) となっています。

＜図表 234＞　今後のサービス利用意向【居宅サービス利用者　第 10 問５】



＜図表 235＞　今後のサービス利用意向（家族構成別/地区別/要介護度別）

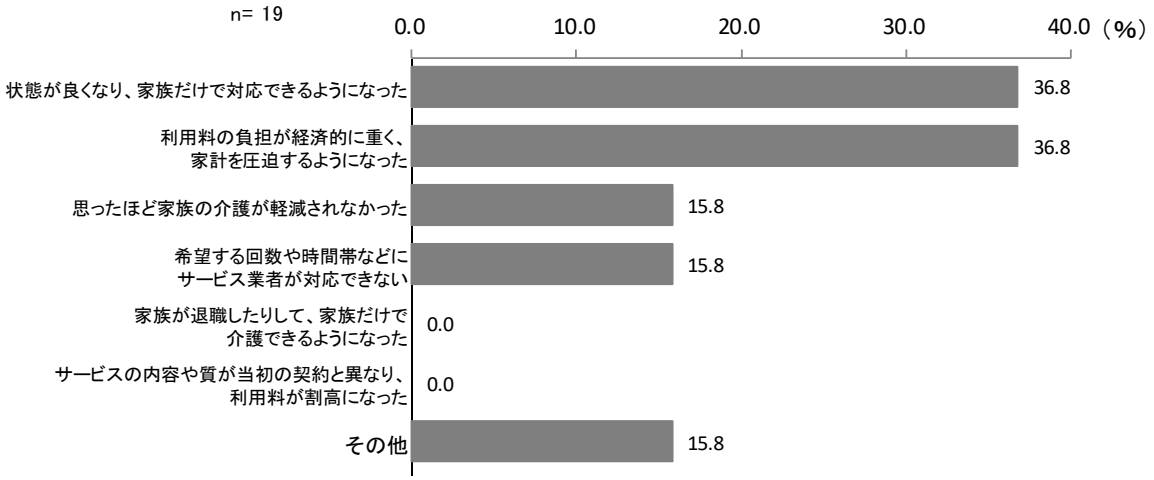
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	これまでと同様に、居宅サービスを利用する	利用を減らしたり、止めたい	老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい	その他	わからない
全　体		801	72.7	2.4	5.6	3.9	15.5
家族構成	一人暮らし	244	72.1	1.6	8.2	3.3	14.8
	夫婦のみ	228	76.8	3.1	4.8	3.1	12.3
	同居その他	312	71.8	2.6	3.8	4.8	17.0
地区	江別地区	283	71.4	2.5	3.9	5.3	17.0
	野幌地区	298	77.5	3.0	5.7	2.3	11.4
	大麻地区	204	70.1	1.0	7.8	4.4	16.7
介護度	要支援1・2	337	78.3	3.3	3.0	3.3	12.2
	要介護1・2	312	71.5	1.6	5.8	4.5	16.7
	要介護3～5	104	65.4	2.9	12.5	5.8	13.5

（11）利用を減らしたり、止めたい理由【居宅サービス利用者】

今後のサービス利用意向で「利用を減らしたり、止めたい」と回答した人に、利用を減らしたり、止めたい理由を聞いたところ、「状態が良くなり、家族だけで対応できるようになった」「利用料の負担が経済的に重く、家計を圧迫するようになった」が最も多くともに 36.8%、次いで「思ったほど家族の介護が軽減されなかった」「希望する回数や時間帯などにサービス業者が対応できない」「その他」（ともに 15.8%）となっています。

＜図表 236＞　利用を減らしたり、止めたい理由（複数回答）【居宅サービス利用者　第 10 問５－１】



＜図表 237＞　利用を減らしたり、止めたい理由（家族構成別/要介護度別）

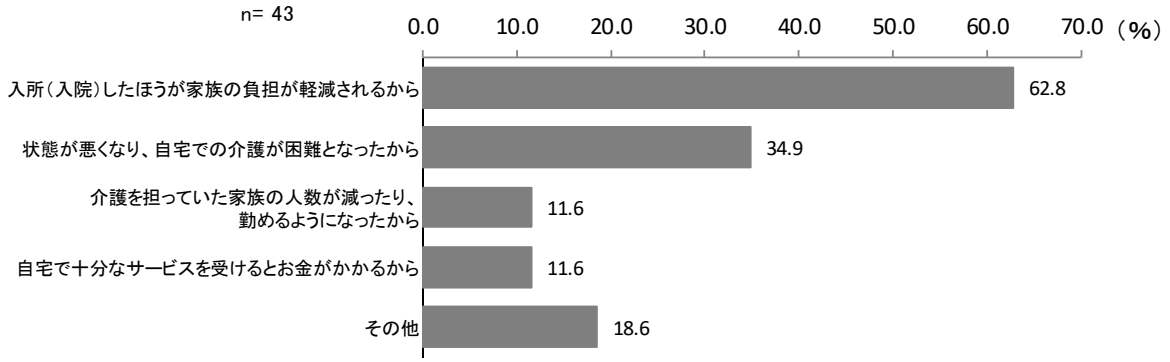
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	状態が良くなり、家族だけで対応できるようになった	利用料の負担が経済的に重く、家計を圧迫するようになった	思ったほど家族の介護が軽減されなかった	希望する回数や時間帯などにサービス業者が対応できない	家族が退職したりして、家族だけで介護できるようになった	サービスの内容や質が当初の契約と異なり、利用料が割高になった	その他
全　体		19	36.8	36.8	15.8	15.8	－	－	15.8
家族構成	一人暮らし	4	50.0	－	－	25.0	－	－	25.0
	夫婦のみ	7	57.1	57.1	－	－	－	－	－
	同居その他	8	12.5	37.5	37.5	25.0	－	－	25.0
介護度	要支援1・2	11	45.5	27.3	－	18.2	－	－	18.2
	要介護1・2	5	40.0	40.0	－	20.0	－	－	20.0
	要介護3～5	3	－	66.7	100.0	－	－	－	－

（12）施設に入所したい理由【居宅サービス利用者】

今後のサービス利用意向で「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」と回答した人に、施設に入所したい理由を聞いたところ、「入所（入院）したほうが家族の負担が軽減されるから」が 62.8％で最も多く、次いで「状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから」（34.9％）、「その他」（18.6％）となっています。

＜図表 238＞　施設に入所したい理由（複数回答）【居宅サービス利用者　第 10 問５－２】



＜図表 239＞　施設に入所したい理由（家族構成別/要介護度別）

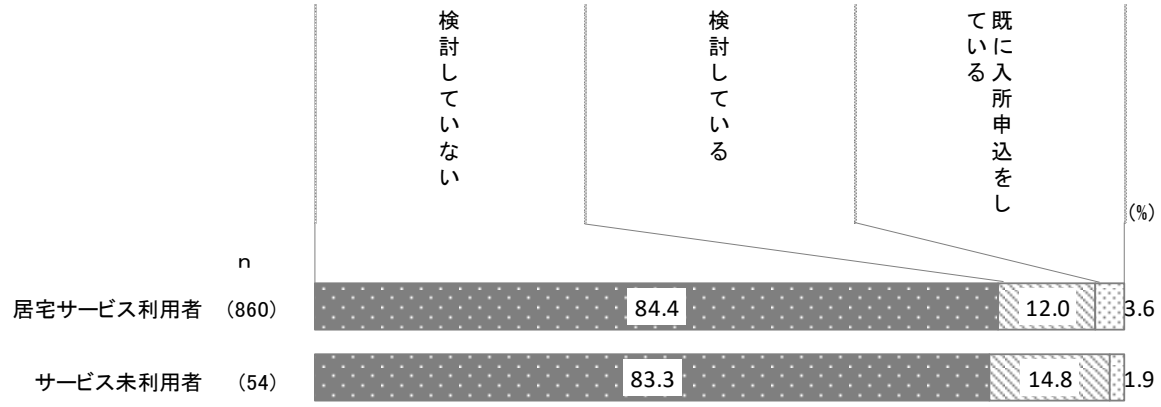
（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	入所（入院）したほうが家族の負担が軽減されるから	状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから	介護を担っていた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから	自宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから	その他
全　体		43	62.8	34.9	11.6	11.6	18.6
家族構成	一人暮らし	20	50.0	35.0	10.0	20.0	25.0
	夫婦のみ	10	70.0	50.0	10.0	－	20.0
	同居その他	11	72.7	18.2	18.2	9.1	9.1
介護度	要支援1・2	10	60.0	30.0	30.0	10.0	10.0
	要介護1・2	16	81.3	25.0	6.3	6.3	25.0
	要介護3～5	13	38.5	53.8	7.7	15.4	23.1

（13）特別養護老人ホームの入所検討状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

特別養護老人ホームの入所検討状況を聞いたところ、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「検討していない」が最も多く、それぞれ 84.4%、83.3%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者では「検討している」と「既に入所申込をしている」を合わせると、要介護３～５で 22.4%となっています。

＜図表 240＞　特別養護老人ホームの入所検討状況
【居宅サービス利用者　第 10 問６】【サービス未利用者　第９問３】



＜図表 241＞　特別養護老人ホームの入所検討状況

（家族構成別/地区別/要介護度別/今後のサービスの利用意向別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	検討していない	検討している	既に入所申込をしている
全　体		860	84.4	12.0	3.6
家族構成	一人暮らし	272	80.5	14.7	4.8
	夫婦のみ	237	85.7	11.4	3.0
	同居その他	332	87.7	9.6	2.7
地区	江別地区	297	82.2	13.1	4.7
	野幌地区	323	87.3	10.5	2.2
	大麻地区	223	83.9	12.1	4.0
介護度	要支援1・2	384	86.2	10.9	2.9
	要介護1・2	322	85.1	12.4	2.5
	要介護3～5	103	77.7	11.7	10.7
サービス利用意向	これまでと同様に、居宅サービスを利用する	564	89.2	9.6	1.2
	利用を減らしたり、止めたい	15	80.0	13.3	6.7
	老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい	43	37.2	46.5	16.3
	その他	27	70.4	7.4	22.2
	わからない	113	83.2	11.5	5.3

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	検討していない	検討している	既に入所申込をしている
全　体		54	83.3	14.8	1.9
家族構成	一人暮らし	19	78.9	21.1	－
	夫婦のみ	17	82.4	11.8	5.9
	同居その他	18	88.9	11.1	－
地区	江別地区	14	85.7	14.3	－
	野幌地区	23	87.0	8.7	4.3
	大麻地区	17	76.5	23.5	－
介護度	要支援1・2	28	85.7	14.3	－
	要介護1・2	10	90.0	10.0	－
	要介護3～5	9	77.8	11.1	11.1

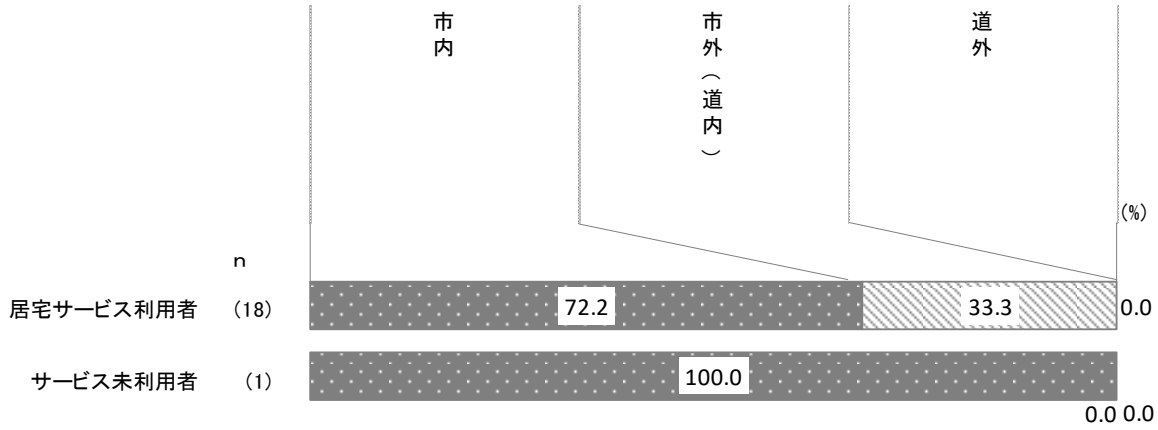
（14）入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地

【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

特別養護老人ホームの入所検討状況で「既に入所申込をしている」と回答した人に、入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地を聞いたところ、居宅サービス利用者では「市内」が72.2%で最も多くなっています。

＜図表 242＞　入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地（複数回答）

【居宅サービス利用者　第 10 問６－１】【サービス未利用者　第９問３－１】



＜図表 243＞　入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地（地区別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	市内	市外（道内）	道外
全 体		18	72.2	33.3	－
地区	江別地区	7	71.4	28.6	－
	野幌地区	5	40.0	60.0	－
	大麻地区	5	100.0	20.0	－
介護度	要支援1・2	6	50.0	50.0	－
	要介護1・2	3	66.7	33.3	－
	要介護3～5	8	87.5	25.0	－

（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	市内	市外（道内）	道外
全 体		1	100.0	－	－
地区	江別地区	－	－	－	－
	野幌地区	1	100.0	－	－
	大麻地区	－	－	－	－
介護度	要支援1・2	－	－	－	－
	要介護1・2	－	－	－	－
	要介護3～5	1	100.0	－	－

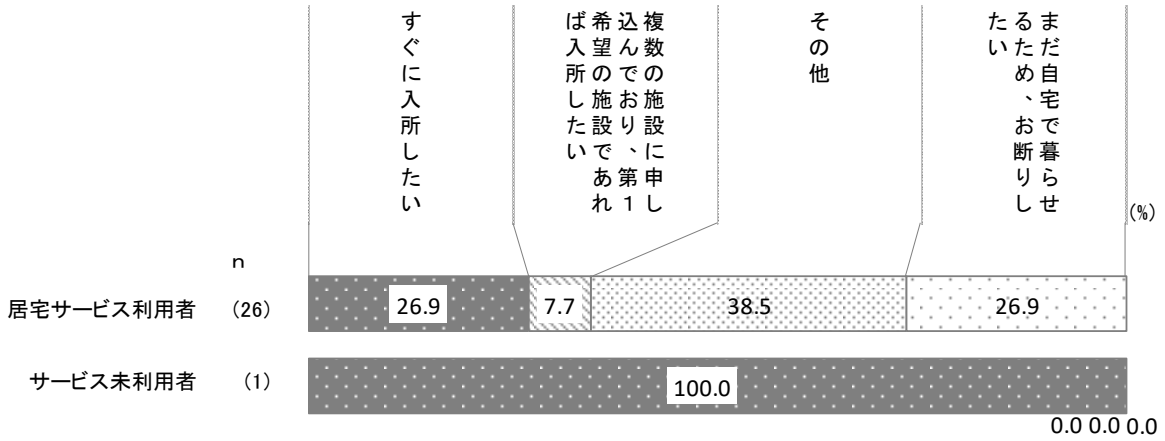
（15）申込み先から連絡が来た場合の対応【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

特別養護老人ホームの入所検討状況で「既に入所申込をしている」と回答した人に、申込み先から連絡が来た場合の対応を聞いたところ、居宅サービス利用者では「その他」が 38.5%で最も多く、次いで「すぐに入所したい」「まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい」（ともに 26.9%）となっています。

なお、その他の内容としては「状態に応じて」「年金で入所できるなら入りたい」「状況次第」「既に有料老人ホームに入居している」などが挙げられました。

＜図表 244＞　申込み先から連絡が来た場合の対応

【居宅サービス利用者　第 10 問６－２】【サービス未利用者　第９問３－２】



＜図表 245＞　申込み先から連絡が来た場合の対応（要介護度別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	すぐに入所したい	複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい	その他	まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい
全　体		26	26.9	7.7	38.5	26.9
介護度	要支援1・2	9	11.1	11.1	44.4	33.3
	要介護1・2	7	14.3	－	57.1	28.6
	要介護3～5	10	50.0	10.0	20.0	20.0

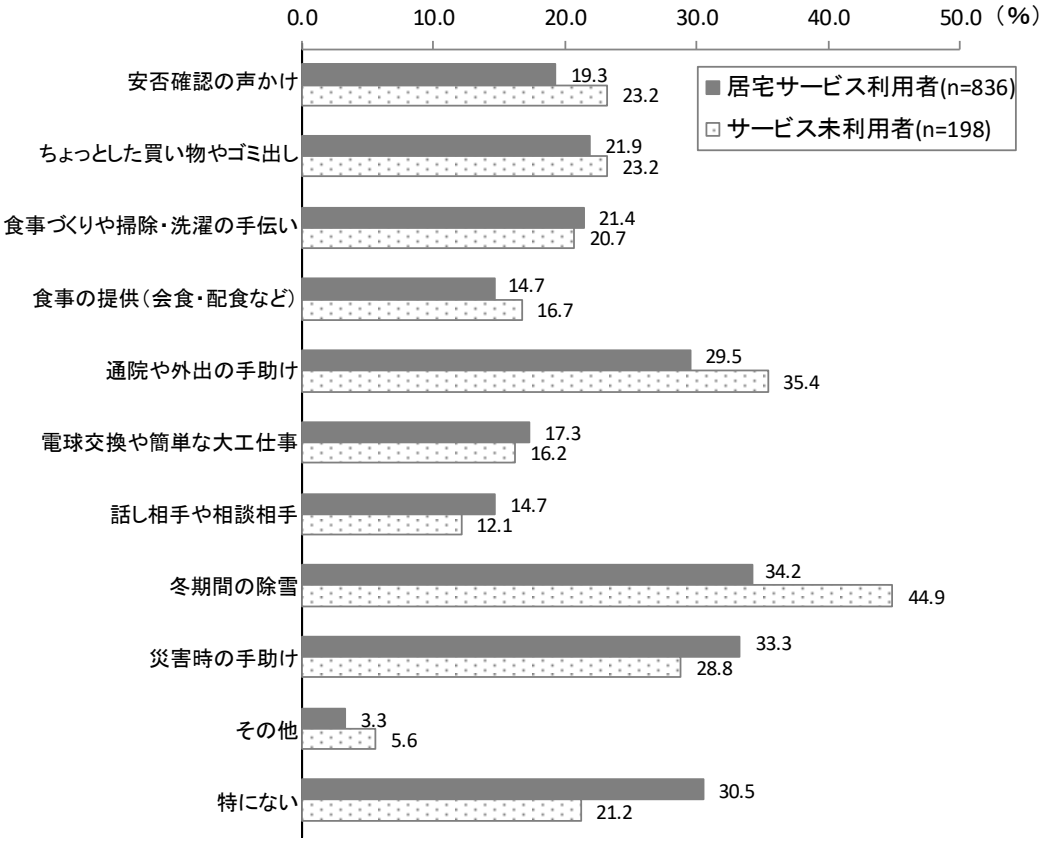
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	すぐに入所したい	複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい	その他	まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい
全　体		1	100.0	－	－	－
介護度	要支援1・2	－	－	－	－	－
	要介護1・2	－	－	－	－	－
	要介護3～5	1	100.0	－	－	－

（16）在宅生活継続で受けたい支援内容【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

在宅生活継続で受けたい支援内容を聞いたところ、居宅サービス利用者では「冬期間の除雪」が 34.2%で最も多く、次いで「災害時の手助け」（33.3%）となっています。サービス未利用者では「冬期間の除雪」が 44.9%で最も多く、次いで「通院や外出の手助け」（35.4%）となっています。

＜図表 246＞　在宅生活継続で受けたい支援内容（複数回答）
【居宅サービス利用者　第 10 問７】【サービス未利用者　第９問４】



＜図表 247＞　在宅生活継続で受けたい支援内容（家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全　体		836	19.3	21.9	21.4	14.7	29.5	17.3	14.7	34.2	33.3	3.3	30.5
家族構成	一人暮らし	258	26.4	31.8	29.1	18.6	29.8	26.0	18.6	35.7	33.7	5.0	20.5
	夫婦のみ	239	15.9	18.0	19.7	11.7	30.5	15.9	6.3	42.7	37.7	2.1	24.3
	同居その他	320	16.3	17.2	17.5	13.4	27.8	10.9	18.1	25.6	28.4	2.8	43.4
地区	江別地区	295	17.3	18.3	21.0	15.3	28.8	14.2	14.2	32.2	28.8	2.0	36.6
	野幌地区	309	20.1	19.1	18.8	11.7	29.1	18.4	15.2	35.3	35.0	4.2	27.5
	大麻地区	216	20.4	30.6	26.4	18.5	31.0	19.4	14.4	35.6	36.6	3.7	26.4
介護度	要支援1・2	381	21.0	21.8	20.5	11.3	28.1	17.6	12.1	36.7	33.1	1.6	29.9
	要介護1・2	311	18.6	22.5	22.2	17.0	30.2	17.4	16.4	31.2	32.8	3.5	32.2
	要介護3～5	96	16.7	20.8	22.9	21.9	32.3	12.5	18.8	34.4	37.5	8.3	26.0

（単位：%）

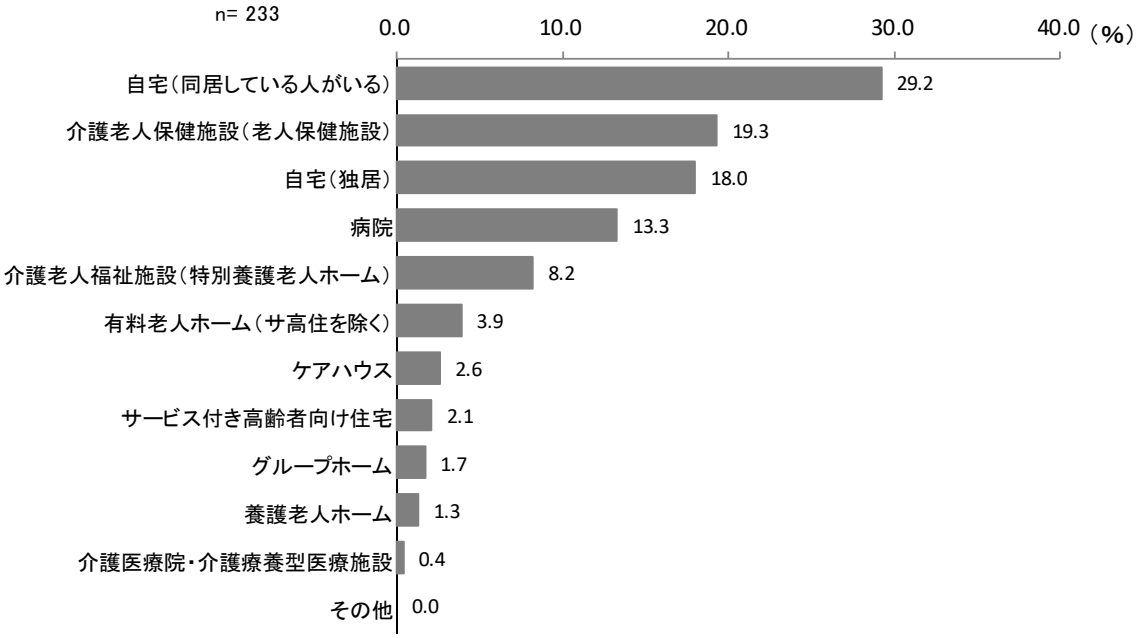
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全　体		198	23.2	23.2	20.7	16.7	35.4	16.2	12.1	44.9	28.8	5.6	21.2
家族構成	一人暮らし	55	40.0	34.5	16.4	18.2	29.1	29.1	7.3	45.5	30.9	1.8	23.6
	夫婦のみ	80	20.0	22.5	23.8	17.5	38.8	11.3	16.3	45.0	32.5	7.5	20.0
	同居その他	58	13.8	12.1	20.7	13.8	37.9	12.1	10.3	41.4	24.1	6.9	20.7
地区	江別地区	59	22.0	28.8	20.3	11.9	33.9	18.6	8.5	50.8	39.0	1.7	22.0
	野幌地区	81	25.9	18.5	18.5	17.3	35.8	13.6	14.8	39.5	28.4	6.2	24.7
	大麻地区	55	21.8	23.6	21.8	20.0	34.5	18.2	10.9	45.5	20.0	9.1	16.4
介護度	要支援1・2	124	22.6	24.2	18.5	17.7	34.7	15.3	10.5	46.0	27.4	6.5	20.2
	要介護1・2	33	18.2	24.2	24.2	18.2	36.4	12.1	21.2	42.4	27.3	6.1	18.2
	要介護3～5	14	28.6	21.4	21.4	21.4	57.1	7.1	7.1	35.7	35.7	－	28.6

13. 入所施設サービスの状況

（１）現在の施設に入所する前に住んでいた場所【施設サービス利用者】

現在の施設に入所する前に住んでいた場所を聞いたところ、「自宅（同居している人がいる）」が 29.2%で最も多く、次いで介護老人保健施設（老人保健施設）」（19.3%）、「自宅（独居）」（18.0%）、となっています。

＜図表 248＞　現在の施設に入所する前に住んでいた場所【施設サービス利用者　第１問５】



＜図表 249＞　現在の施設に入所する前に住んでいた場所（要介護度別/入所施設別）

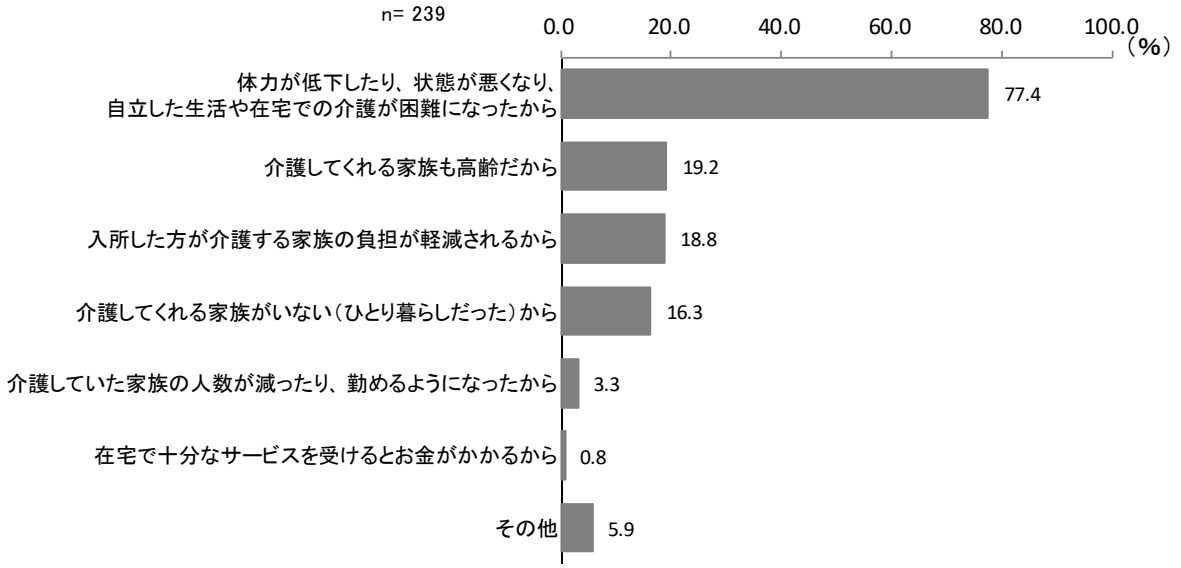
（単位:%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	自宅（同居している人がいる）	介護老人保健施設（老人保健施設）	自宅（独居）	病院	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	有料老人ホーム（サ高住を除く）	ケアハウス	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	養護老人ホーム	介護医療院・介護療養型医療施設	その他
全　体		233	29.2	19.3	18.0	13.3	8.2	3.9	2.6	2.1	1.7	1.3	0.4	－
介護度	要介護1・2	40	22.5	30.0	25.0	12.5	－	2.5	7.5	－	－	－	－	－
	要介護3～5	185	31.4	15.7	17.3	13.5	9.7	3.8	1.6	2.7	2.2	1.6	0.5	－
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	129	29.5	19.4	15.5	10.1	13.2	3.1	2.3	3.1	2.3	1.6	－	－
	介護老人保健施設（老人保健施設）	85	30.6	21.2	22.4	16.5	－	3.5	3.5	1.2	－	1.2	－	－
	介護医療院	12	16.7	16.7	8.3	25	8.3	8.3	－	－	8.3	－	8.3	－

（２）施設に入所した理由【施設サービス利用者】

施設に入所した理由を聞いたところ、「体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから」が 77.4%で最も多く、次いで「介護してくれる家族も高齢だから」(19.2%)、「入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから」(18.8%)、となっています。

＜図表 250＞　施設に入所した理由（２つまで）【施設サービス利用者　第１問６】



＜図表 251＞　施設に入所した理由（要介護度別/入所施設別）

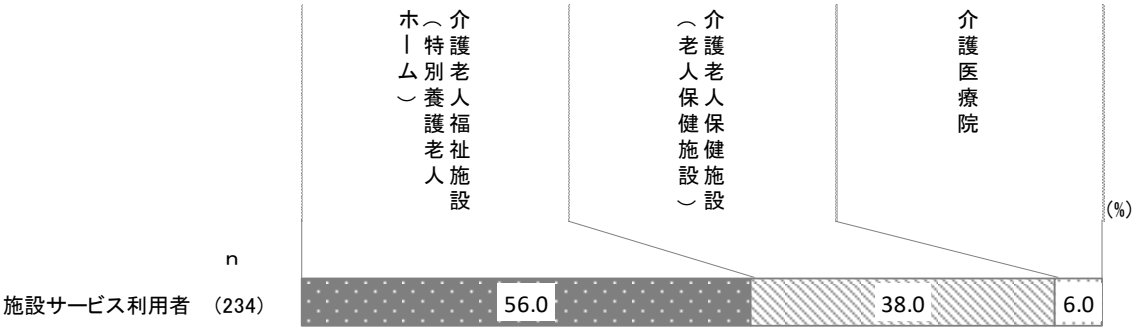
（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから	介護してくれる家族も高齢だから	入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから	介護してくれる家族がいない（ひとり暮らしだった）から	介護していた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから	在宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから	その他
全　体		239	77.4	19.2	18.8	16.3	3.3	0.8	5.9
介護度	要介護1・2	41	70.7	17.1	14.6	26.8	4.9	2.4	2.4
	要介護3～5	190	79.5	18.9	20.5	14.2	3.2	0.5	6.3
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	130	80	21.5	20	13.8	3.8	－	6.2
	介護老人保健施設（老人保健施設）	89	76.4	11.2	15.7	16.9	3.4	2.2	6.7
	介護医療院	13	84.6	23.1	23.1	30.8	－	－	－

（３）現在入所している施設の種類【施設サービス利用者】

現在入所している施設の種類を聞いたところ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が56.0％で最も多く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」（38.0％）、「介護医療院」（6.0％）となっています。

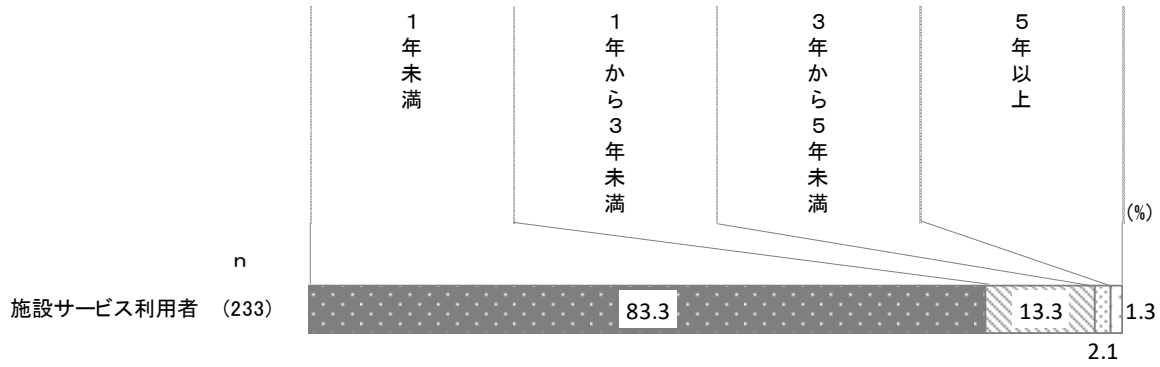
＜図表 252＞　現在入所している施設の種類【施設サービス利用者　第７問１】



（４）申込から入所までの期間【施設サービス利用者】

申込から入所までの期間を聞いたところ、「１年未満」が 83.3%で最も多く、次いで「１年から３年未満」(13.3%)、「３年から５年未満」(2.1%) となっています。

＜図表 253＞　申込から入所までの期間【施設サービス利用者　第７問２】



＜図表 254＞　申込から入所までの期間（入所施設別）

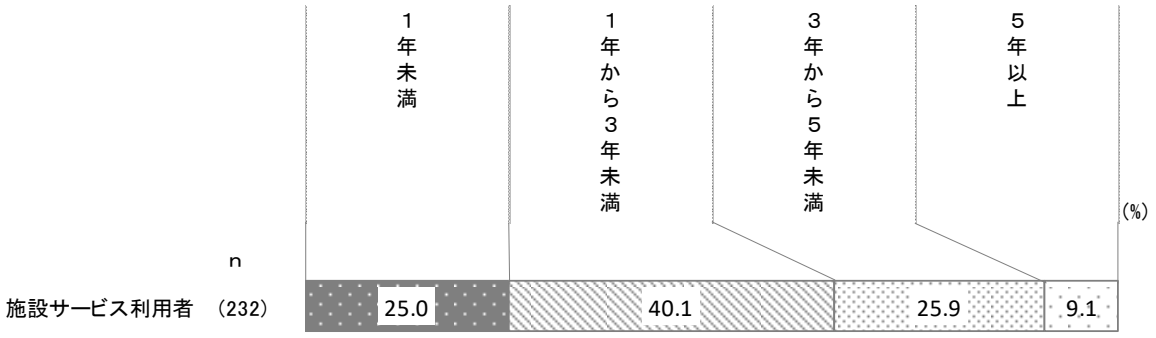
（単位:%）

＜施設サービス利用者調査＞		調査数（件）	１年未満	１年から３年未満	３年から５年未満	５年以上
全　体		233	83.3	13.3	2.1	1.3
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	129	78.3	18.6	3.1	－
	介護老人保健施設（老人保健施設）	87	90.8	6.9	－	2.3
	介護医療院	14	85.7	－	7.1	7.1

（５）現在の施設の入所期間【施設サービス利用者】

現在の施設の入所期間を聞いたところ、「１年から３年未満」が 40.1％で最も多く、次いで「３年から５年未満」（25.9％）、「１年未満」（25.0％）となっています。

＜図表 255＞　現在の施設の入所期間【施設サービス利用者　第７問３】



＜図表 256＞　現在の施設の入所期間（入所施設別）

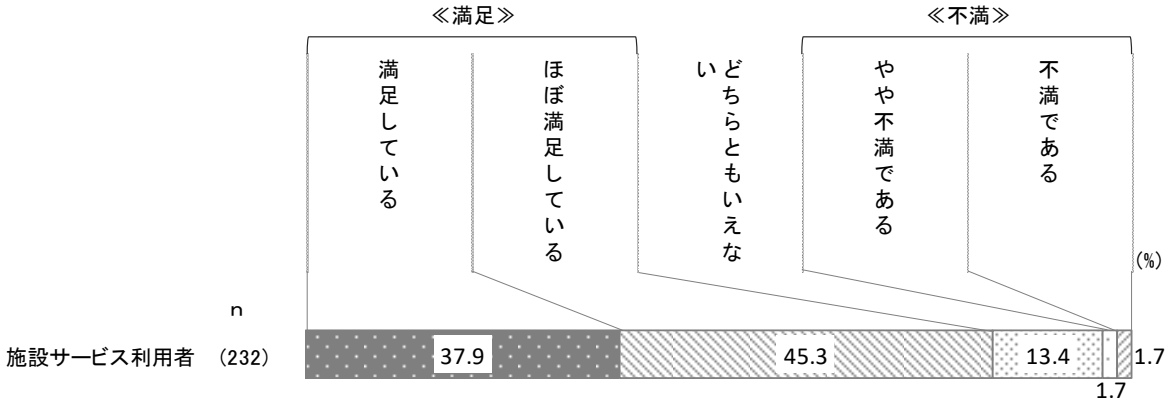
（単位:%）

＜施設サービス利用者調査＞		調査数（件）	１年未満	１年から３年未満	３年から５年未満	５年以上
全　体		232	25.0	40.1	25.9	9.1
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	131	26.7	37.4	26.7	9.2
	介護老人保健施設（老人保健施設）	86	23.3	45.3	23.3	8.1
	介護医療院	13	23.1	30.8	30.8	15.4

（６）施設のサービス満足度【施設サービス利用者】

施設のサービス満足度を聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫は 83.2%となっています。

＜図表 257＞　施設のサービス満足度【施設サービス利用者　第７問４】



＜図表 258＞　施設のサービス満足度（入所施設別）

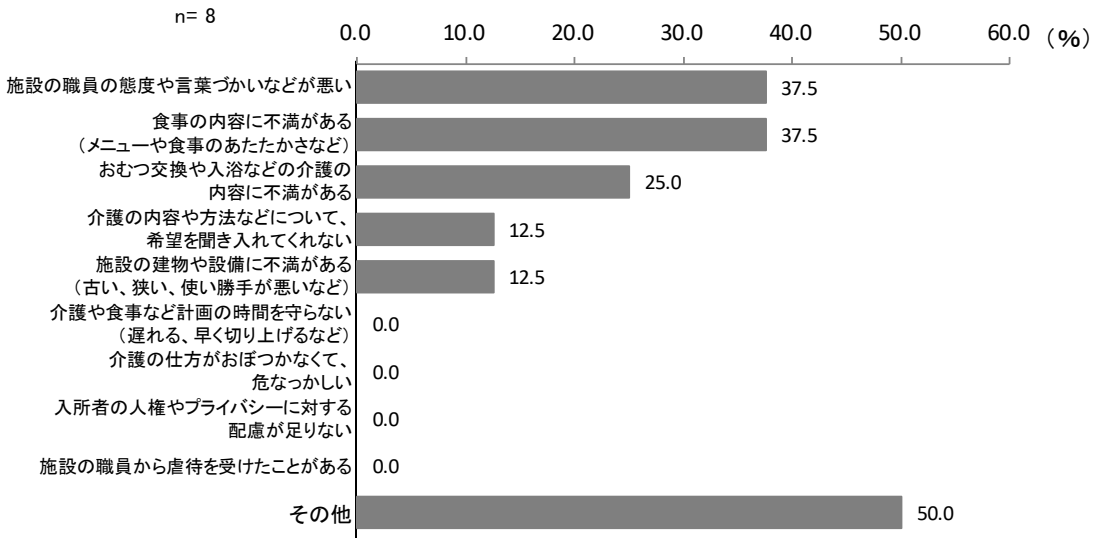
（単位:%）

＜施設サービス利用者調査＞		調査数（件）	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	≪満足≫	≪不満≫
全　体		232	37.9	45.3	13.4	1.7	1.7	83.2	3.4
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	129	41.1	41.9	14	2.3	0.8	83.0	3.1
	介護老人保健施設（老人保健施設）	87	34.5	49.4	11.5	1.1	3.4	83.9	4.5
	介護医療院	14	35.7	42.9	21.4	－	－	78.6	－

（７）不満な理由【施設サービス利用者】

不満な理由を聞いたところ、下記のとおりとなっています。
※回答数が少ないため、参考として値を記載するにとどめています。

＜図表 259＞　不満な理由（複数回答）【施設サービス利用者　第７問４－１】



＜図表 260＞　不満な理由（入所施設別）

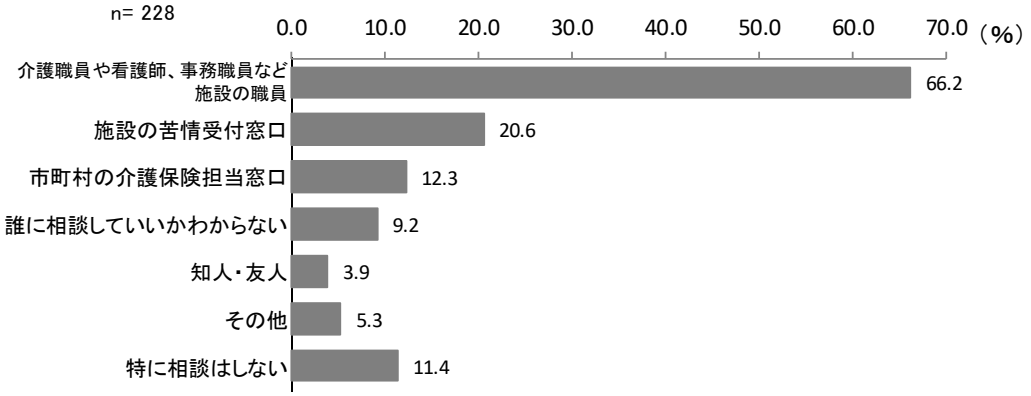
（単位：%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い	食事の内容に不満がある（メニューや食事のあたたかさなど）	おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある	介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない	施設の建物や設備に不満がある（古い、狭い、使い勝手が悪いなど）	介護や食事など計画の時間を守らない（遅れる、早く切り上げるなど）	介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい	入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない	施設の職員から虐待を受けたことがある	その他
全　体		8	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	－	－	－	－	50.0
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	4	25	25	25	－	－	－	－	－	－	75
	介護老人保健施設（老人保健施設）	4	50	50	25	25	25	－	－	－	－	25
	介護医療院	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（８）不満があるときの相談先【施設サービス利用者】

不満があるときの相談先を聞いたところ、「介護職員や看護師、事務職員など施設の職員」が66.2%で最も多く、次いで「施設の苦情受付窓口」(20.6%)、「市町村の介護保険担当窓口」(12.3%)となっています。

＜図表 261＞　不満があるときの相談先（複数回答）【施設サービス利用者　第７問５】



＜図表 262＞　不満があるときの相談先（入所施設別）

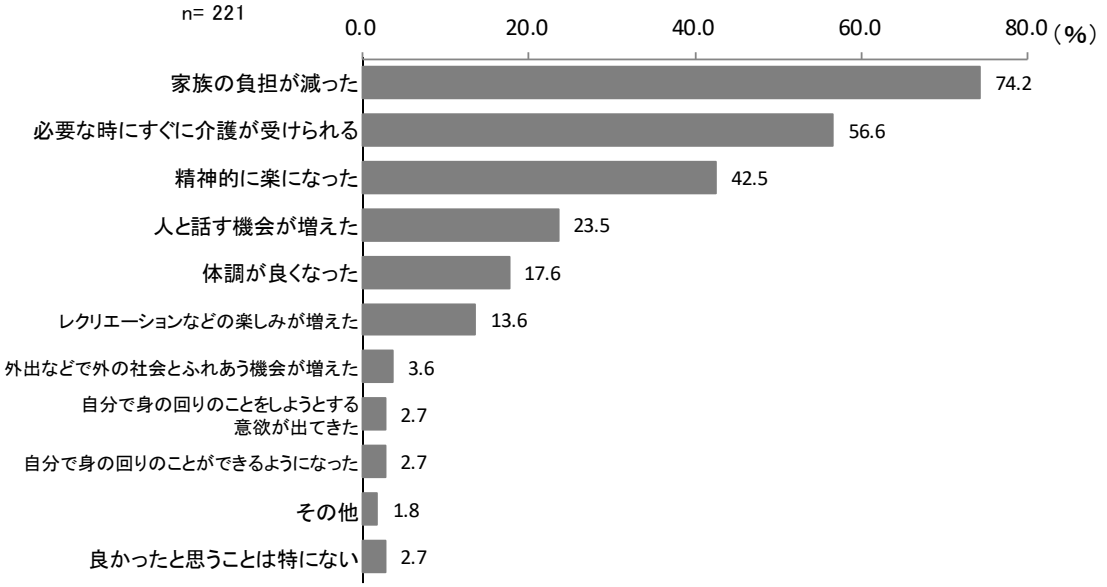
（単位:%）

<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	介護職員や看護師、事務職員など施設の職員	施設の苦情受付窓口	市町村の介護保険担当窓口	誰に相談していいかわからない	知人・友人	その他	特に相談はしない
全　体		228	66.2	20.6	12.3	9.2	3.9	5.3	11.4
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	125	69.6	21.6	11.2	6.4	4	4	10.4
	介護老人保健施設（老人保健施設）	88	62.5	17	11.4	12.5	3.4	6.8	12.5
	介護医療院	13	53.8	23.1	30.8	15.4	7.7	7.7	15.4

（９）施設サービスを受けてよかったと思うこと【施設サービス利用者】

施設サービスを受けてよかったと思うことを聞いたところ、「家族の負担が減った」が 74.2%で最も多く、次いで「必要な時にすぐに介護が受けられる」（56.6%）、「精神的に楽になった」（42.5%）となっています。

＜図表 263＞　施設サービスを受けてよかったと思うこと（複数回答）【施設サービス利用者　第７問６】



＜図表 264＞　施設サービスを受けてよかったと思うこと（入所施設別）

（単位：%）

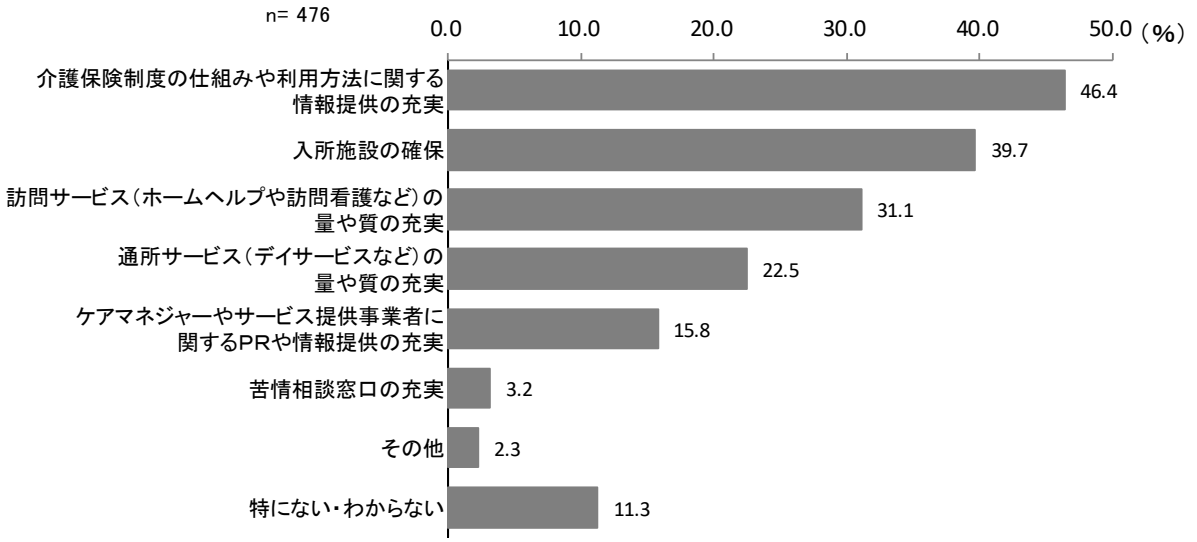
<施設サービス利用者調査>		調査数（件）	家族の負担が減った	必要な時にすぐに介護が受けられる	精神的に楽になった	人と話す機会が増えた	体調が良くなった	レクリエーションなどの楽しみが増えた	外出などで外の社会とふれあう機会が増えた	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた	自分で身の回りのことができるようになった	その他	良かったと思うことは特にない
全　体		221	74.2	56.6	42.5	23.5	17.6	13.6	3.6	2.7	2.7	1.8	2.7
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	122	75.4	53.3	44.3	22.1	13.1	13.1	5.7	2.5	2.5	0.8	3.3
	介護老人保健施設（老人保健施設）	83	71.1	59	38.6	25.3	20.5	14.5	1.2	2.4	3.6	2.4	2.4
	介護医療院	11	81.8	63.6	36.4	27.3	27.3	18.2	－	－	－	9.1	－

14. 介護保険制度について

（１）介護保険制度の在り方での力点【第２号被保険者】

介護保険制度の在り方での力点を聞いたところ、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」が 46.4％で最も多く、次いで「入所施設の確保」（39.7％）、「訪問サービス（ホームヘルプや訪問看護など）の量や質の充実」（31.1％）となっています。

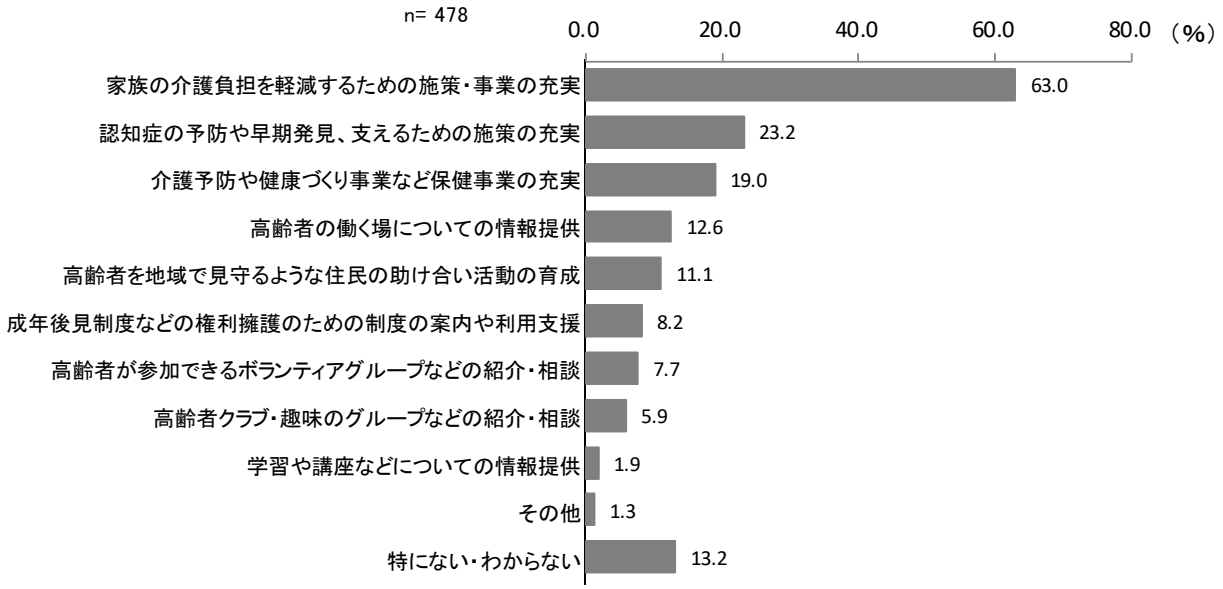
＜図表 265＞　介護保険制度の在り方での力点（複数回答）【第２号被保険者　第５問４】



（２）支援事業の在り方での力点【第２号被保険者】

支援事業の在り方での力点を聞いたところ、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が 63.0％で最も多く、次いで「認知症の予防や早期発見、支えるための施策の充実」（23.2％）、「介護予防や健康づくり事業など保健事業の充実」（19.0％）となっています。

＜図表 266＞　支援事業の在り方での力点（複数回答）【第２号被保険者　第５問５】



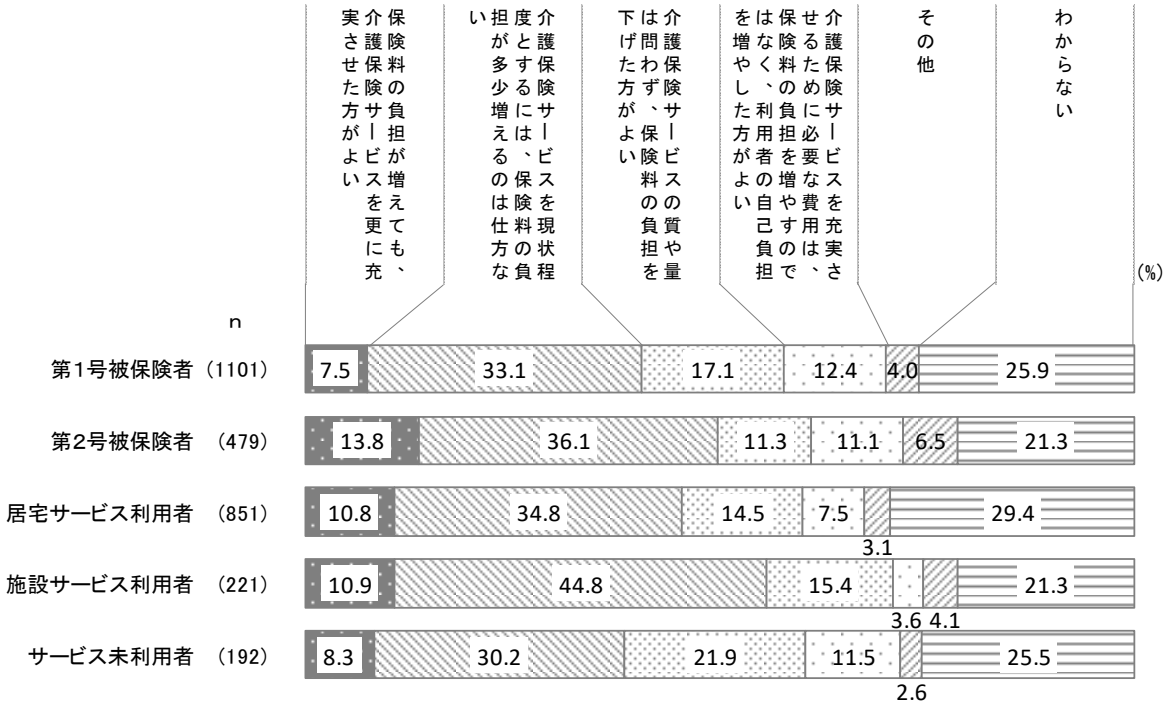
（３）介護サービスと保険料の在り方

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

介護サービスと保険料の在り方を聞いたところ、全ての調査において「介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない」が最も多く、第１号被保険者では33.1%、第２号被保険者では36.1%、居宅サービス利用者では34.8%、施設サービス利用者では44.8%、サービス未利用者では30.2%となっています。

＜図表 267＞　介護サービスと保険料の在り方

【第１号被保険者　第13問１】【第２号被保険者　第９問１】
【居宅サービス利用者　第11問１】【施設サービス利用者　第８問１】
【サービス未利用者　第12問１】



＜図表 268＞　介護サービスと保険料の在り方（暮らしの状況別）

（単位：%）

〈第1号被保険者調査〉		調査数（件）	保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい	介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない	介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい	介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい	その他	わからない
全　体		1101	7.5	33.1	17.1	12.4	4.0	25.9
暮らしの状況	大変苦しい	89	3.4	16.9	27.0	5.6	5.6	41.6
	やや苦しい	322	5.3	26.4	26.4	9.9	4.0	28.0
	ふつう	589	9.2	37.9	12.6	13.4	3.6	23.4
	ややゆとりがある	78	10.3	47.4	3.8	20.5	1.3	16.7
	大変ゆとりがある	12	－	25.0	8.3	41.7	－	25.0

（単位：%）

〈第2号被保険者調査〉		調査数（件）	保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい	介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない	介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい	介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい	その他	わからない
全　体		479	13.8	36.1	11.3	11.1	6.5	21.3
暮らしの状況	大変苦しい	53	7.5	18.9	20.8	7.5	11.3	34.0
	やや苦しい	142	8.5	33.8	15.5	11.3	7.7	23.2
	ふつう	234	17.5	40.6	8.5	11.1	3.8	18.4
	ややゆとりがある	41	22.0	41.5	2.4	14.6	7.3	12.2
	大変ゆとりがある	4	－	25.0	－	25.0	－	50.0

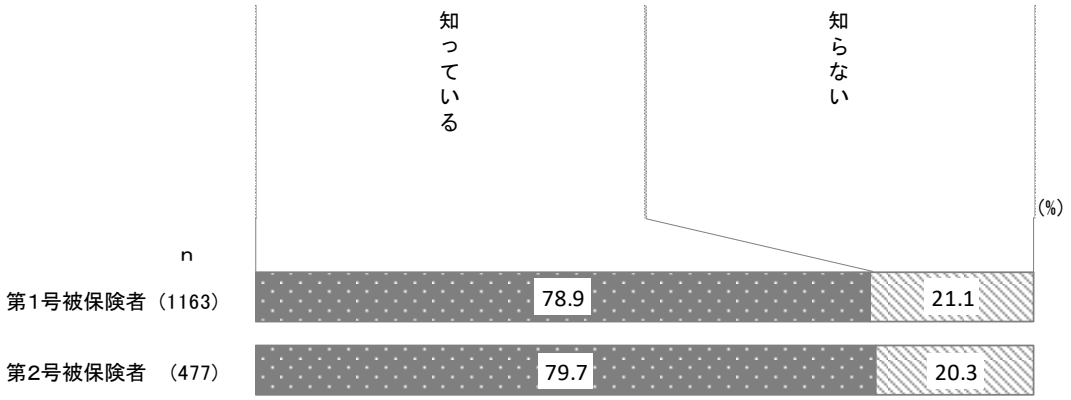
（４）介護保険サービスの利用条件の認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】

介護保険サービスの利用条件の認知度を聞いたところ、「知っている」が第１号被保険者では78.9%、第２号被保険者では79.7%となっています。

また、前回調査と比較すると、全ての調査において「知っている」の割合が増加しています。

＜図表 269＞　介護保険サービスの利用条件の認知度

【第１号被保険者　第 13 問２】【第２号被保険者　第９問２】



＜図表 270＞　介護保険サービスの利用条件の認知度（性・年代別）

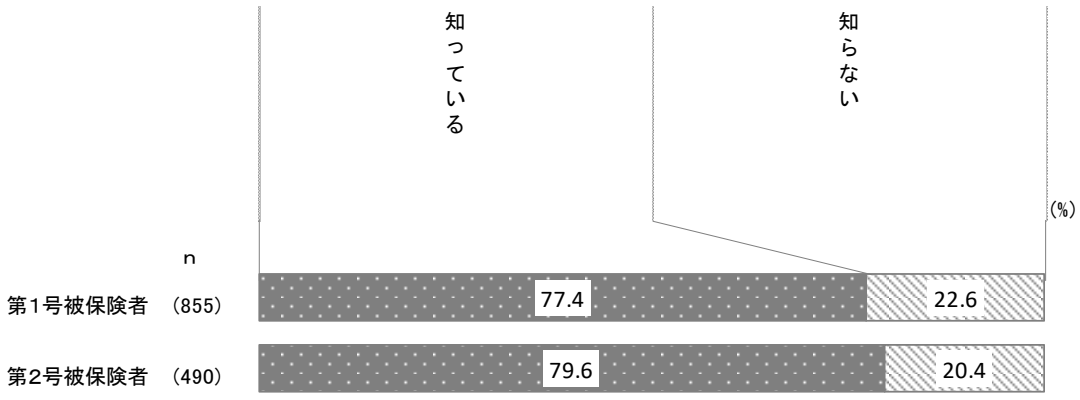
（単位:%）

<第1号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	知らない
全　体		1163	78.9	21.1
性・年代	男性 65 ～74歳	266	78.9	21.1
	男性 75 歳以上	240	64.6	35.4
	女性 65 ～74歳	334	88.3	11.7
	女性 75 歳以上	307	80.1	19.9

（単位:%）

<第2号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	知らない
全　体		477	79.7	20.3
性・年代	男性 40 代	53	67.9	32.1
	男性 50 代	65	70.8	29.2
	男性 60 歳以上	56	82.1	17.9
	女性 40 代	74	82.4	17.6
	女性 50 代	140	84.3	15.7
	女性 60 歳以上	77	84.4	15.6

＜図表 271＞　【参考】前回調査（令和４年度）



（５）今後特に力を入れてほしい高齢者施策

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】【サービス事業者】【住宅事業者】【ケアマネジャー】

今後特に力を入れてほしい高齢者施策を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」がそれぞれ 41.4%、43.7%、36.5%、40.4%、42.7%で最も多くなっています。

事業系調査においては､介護保険サービス事業者では｢生きがい･社会参加への支援｣が 40.0%、高齢者向け住宅事業者では「介護保険サービスの充実」が 87.5%、ケアマネジャーでは「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」が 59.2%でそれぞれ最も多くなっています。

＜図表 272＞　今後特に力を入れてほしい高齢者施策（３つまで）
【第１号被保険者　第 13 問３】【第２号被保険者　第９問３】
【居宅サービス利用者　第 11 問２】【施設サービス利用者　第８問２】
【サービス未利用者　第 12 問２】【サービス事業者　第１問 18】【住宅事業者　第１問 18】
【ケアマネジャー　第１問 27】

（単位:%）

	調査数（件）	生きがい・社会参加への支援	働く機会への支援	ボランティアや地域活動の充実	介護予防・健康づくりの推進	1人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動	多様な生活支援サービスの充実	介護保険サービスの充実	入所施設の整備	認知症高齢者とその家族への支援	地域包括支援センターの充実	住まいに関する情報提供の充実	その他	わからない
第1号被保険者	1127	14.3	9.4	6.4	17.3	41.4	31.0	24.8	30.3	25.6	9.5	5.9	0.4	9.3
第2号被保険者	481	21.6	24.9	6.2	13.5	43.7	32.4	25.4	33.1	32.4	10.6	6.4	1.2	6.0
居宅サービス利用者	872	12.5	2.5	4.7	17.7	36.5	32.2	28.0	24.0	26.3	11.4	5.8	1.1	13.3
施設サービス利用者	213	15.0	0.5	3.8	18.8	40.4	27.7	25.8	34.7	29.6	8.5	0.5	1.9	12.7
サービス未利用者	206	15.5	3.9	9.7	17.0	42.7	33.0	26.2	24.3	22.8	18.9	4.4	－	13.1
介護保険サービス事業所	110	40.0	25.5	27.3	27.3	33.6	34.5	31.8	9.1	31.8	9.1	3.6	1.8	1.8
高齢者向け住宅事業者	8	62.5	12.5	－	25.0	25.0	25.0	87.5	－	12.5	12.5	－	－	－
ケアマネジャー	71	32.4	25.4	23.9	8.5	59.2	52.1	19.7	14.1	29.6	8.5	5.6	5.6	1.4

※全ての調査対象者に対する設問であり、サービスを受ける側と提供する側との調査結果を対比するため、事業系調査結果についてもまとめて記載しています。

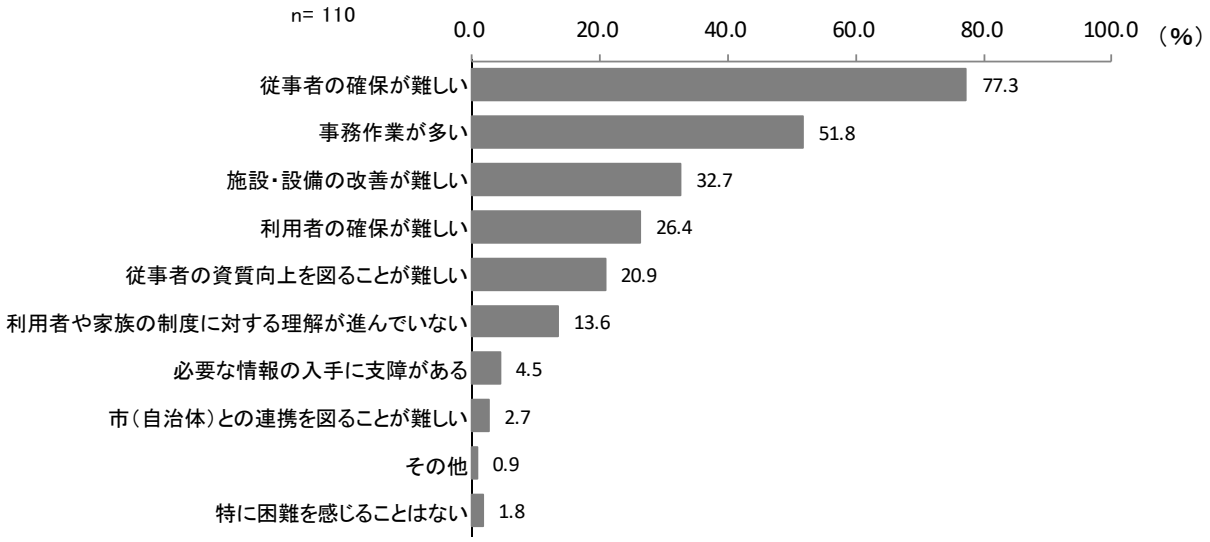
第４章　事業系調査結果の詳細

１.介護保険サービス事業者

（１）円滑な事業運営を進めて行くうえで、特に困難と感じること

円滑な事業運営を進めて行くうえで、特に困難と感じることを聞いたところ、「従事者の確保が難しい」が 77.3%で最も多く、次いで「事務作業が多い」(51.8%)、「施設・設備の改善が難しい」(32.7%) となっています。

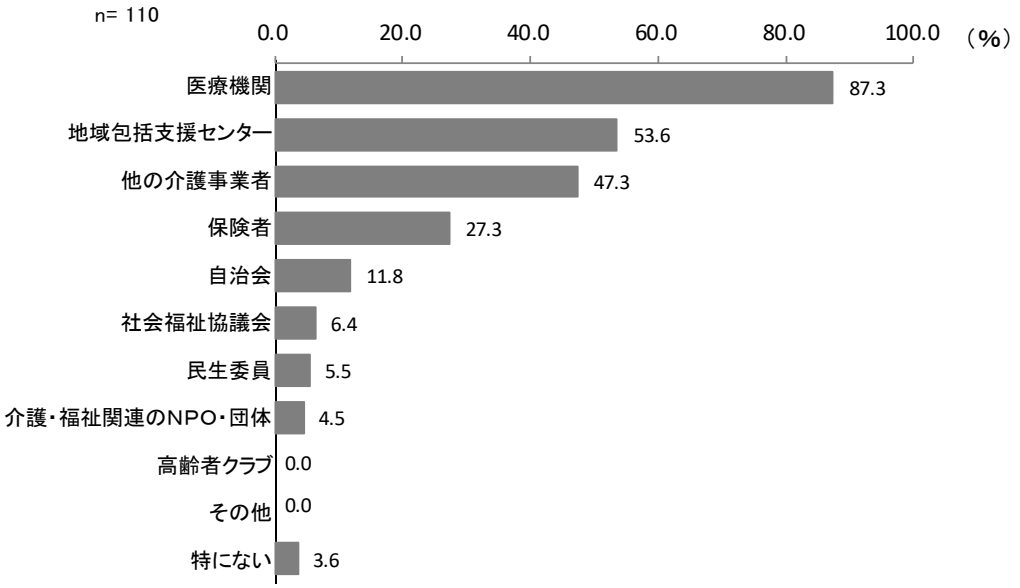
＜図表 001＞　円滑な事業運営を進めて行くうえで、特に困難と感じること（３つまで）【第１問１】



（２）連携が必要だと思う関係機関

連携が必要だと思う関係機関を聞いたところ、「医療機関」が 87.3%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」（53.6%）、「他の介護事業者」（47.3%）となっています。

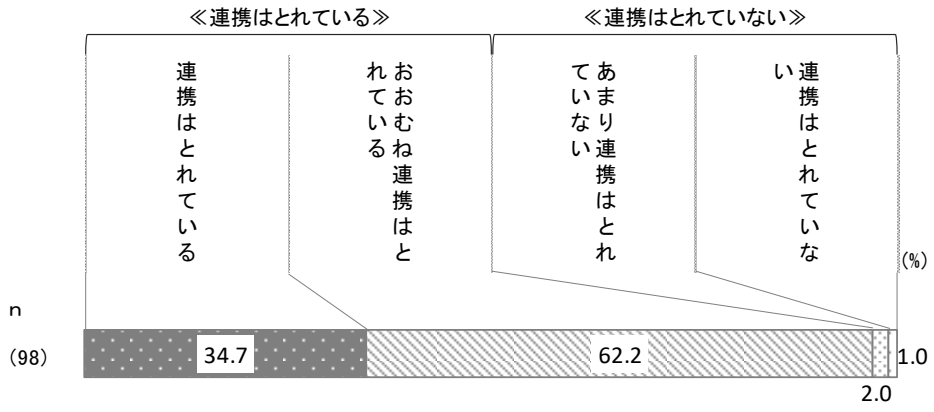
＜図表 002＞　連携が必要だと思う関係機関（３つまで）【第１問２】



（３）ケアマネジャーとの連携

ケアマネジャーとの連携を聞いたところ、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 96.9%となっています。

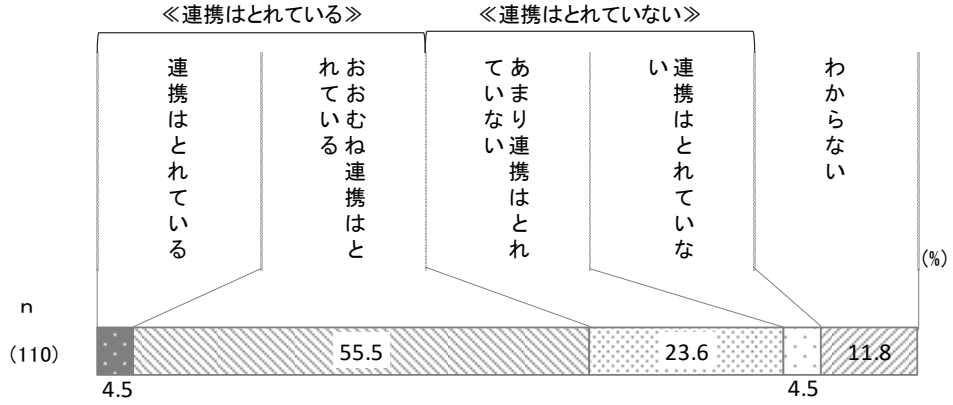
＜図表 003＞　ケアマネジャーとの連携【第１問３】



（４）江別市内の在宅医療・介護連携

江別市内の在宅医療・介護連携を聞いたところ、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 60.0%となっています。

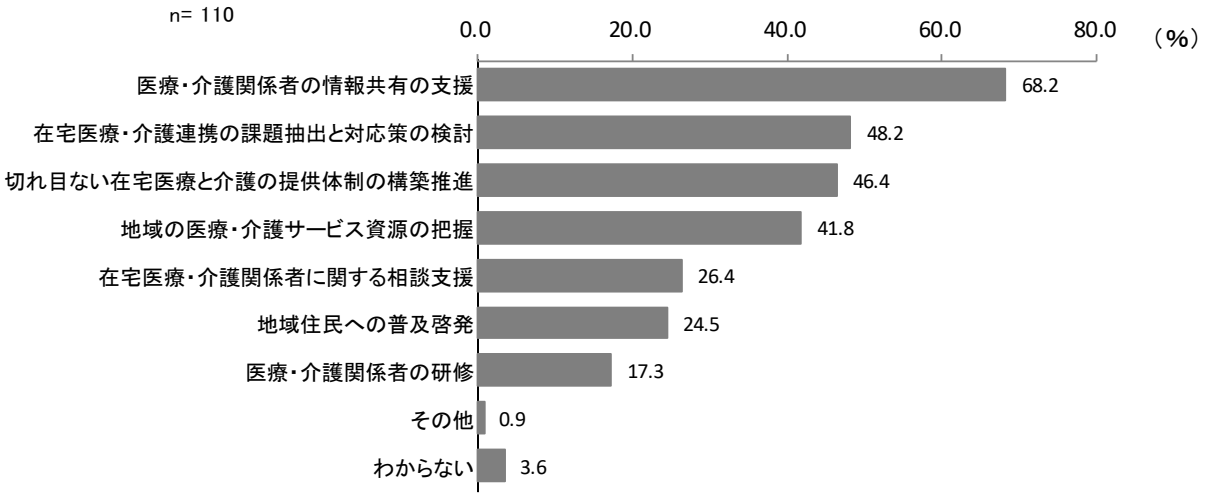
＜図表 004＞　江別市内の在宅医療・介護連携【第１問４】



（５）在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること

在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があることを聞いたところ、「医療・介護関係者の情報共有の支援」が 68.2%で最も多く、次いで「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」(48.2%)、「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」(46.4%)、「地域の医療・介護サービス資源の把握」(41.8%) となっています。

＜図表 005＞　在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること（複数回答）【第１問５】



（６）関係機関との連携で特に困難と感じること（自由回答）

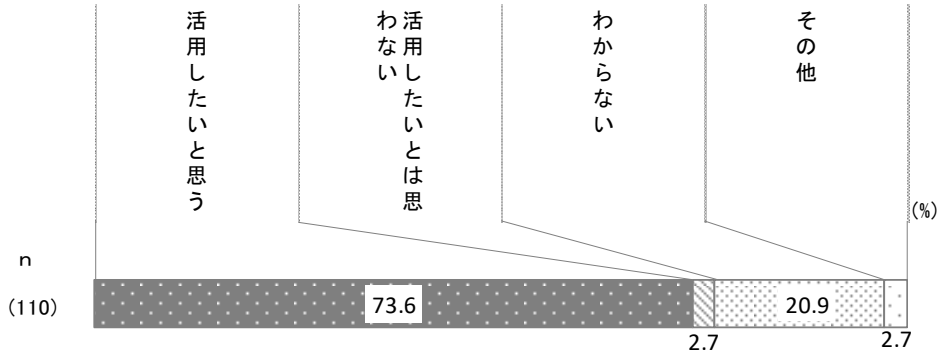
関係機関との連携で特に困難と感じること（【第１問６】）として、下記の内容などが挙げられました。

・各サービス事業所で集まる時間の確保が難しい。連携システムでの情報共有などが少ない。
・各事業所の担当者と連絡がつきにくい。
・お互いのサービスに対する理解不足。
・緊急時の連携が難しいときがある。
・ケアマネが引き継いだ際の情報が不十分。

（７）患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用

患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用について聞いたところ、「活用したいと思う」が 73.6%で最も多く、次いで「わからない」（20.9%）となっています。

＜図表 006＞　患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用【第１問７】

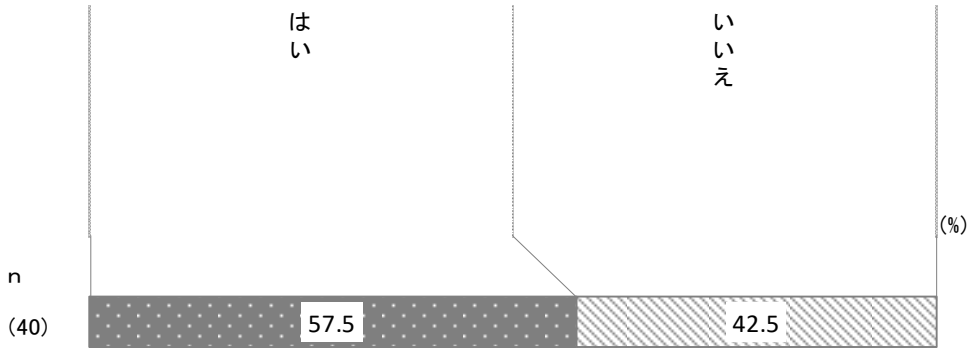


（８）看取りの実施

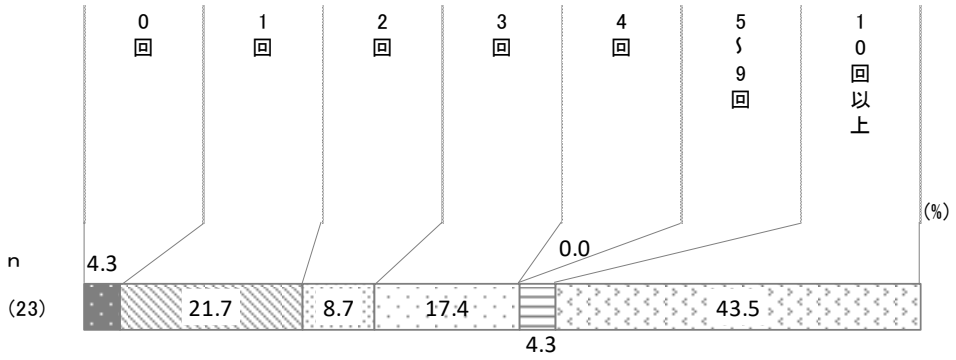
施設系サービスを運営する事業者に、看取りの実施の有無を聞いたところ、「はい（実施している）」が 57.5%、「いいえ（実施していない）」が 42.5%となっています。

また、「はい（実施している）」と答えた事業者に年間の看取りの実施回数を聞いたところ、「10 回以上」が 43.5%で最も多く、次いで「１回」（21.7%）、「３回」が（17.4%）となっています。

＜図表 007＞　看取りの実施の有無【第１問８】（施設系サービスを運営している事業者向け設問）



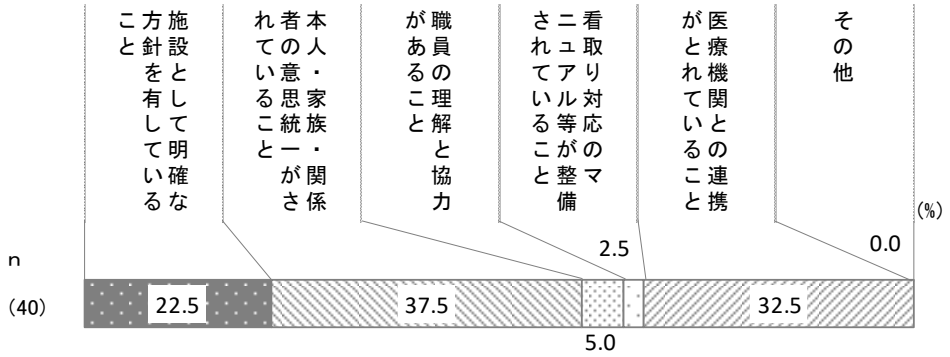
＜図表 008＞　年間の看取りの実施回数【第１問８】（施設系サービスを運営している事業者向け設問）



（９）看取りをする場合に欠かせないと思うこと

看取りをする場合に欠かせないと思うことを聞いたところ、「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」が 37.5％で最も多く、次いで「医療機関との連携がとれていること」（32.5％）、「施設として明確な方針を有していること」（22.5％）となっています。

＜図表 009＞　看取りをする場合に欠かせないと思うこと【第１問９】
（施設系サービスを運営している事業者向け設問）



（10）介護サービスの質を向上させるために取り組んでいること（自由回答）

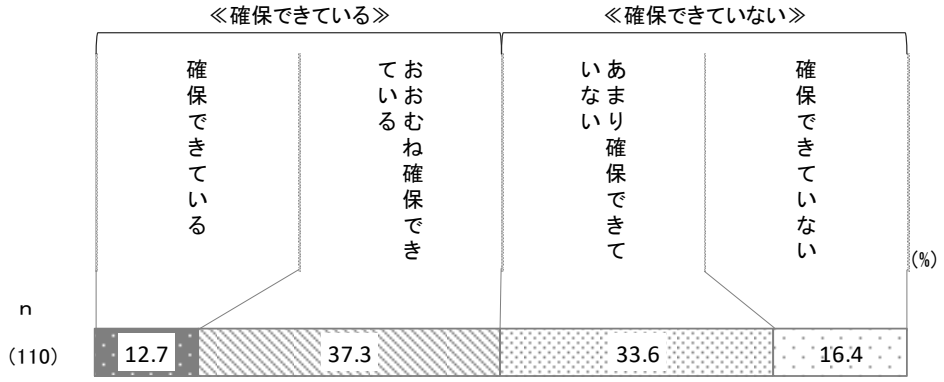
介護サービスの質を向上させるために取り組んでいること（【第１問 10】）として、下記の内容などが挙げられました。

・人材育成と中長期的視点での組織作り。
・働きやすさ、ＩＣＴの活用、研修参加、協会連携。
・研修制度、評価制度、面談でのフィードバック。
・綿密な情報共有と、日常の中でカンファレンスや検討を忌憚なく行っている。

（11）この１年間における人材の確保状況

この１年間における人材の確保状況を聞いたところ、「確保できている」と「おおむね確保できている」を合わせた≪確保できている≫は 50.0％となっています。

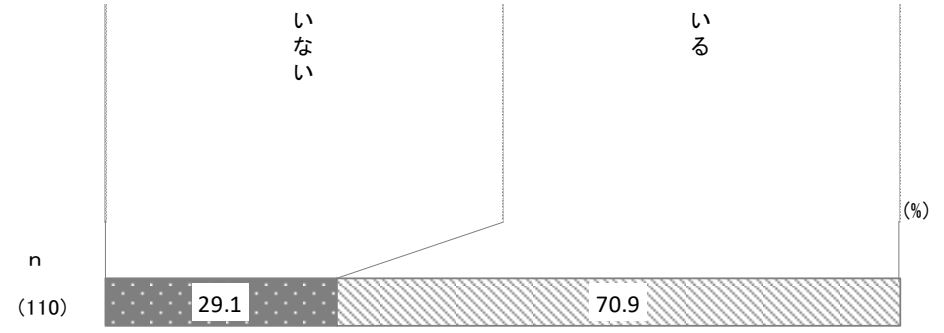
＜図表 010＞　この１年間における人材の確保状況【第１問 11】



（12）昨年１年間（令和７年１月１日～令和７年 12 月 31 日）の離職者

昨年１年間の離職者を聞いたところ、「いない」が 29.1％、「いる」が 70.9％となっています。

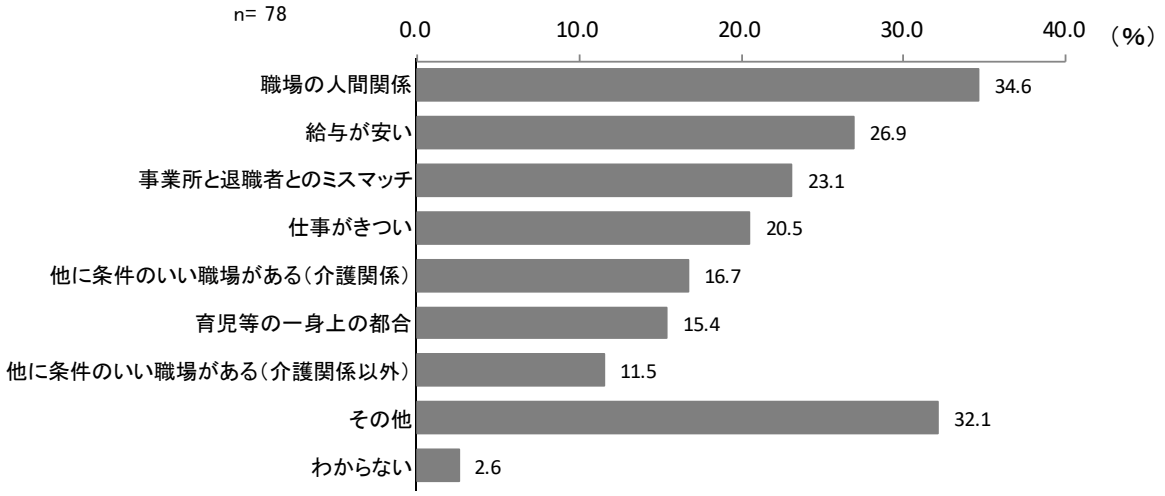
＜図表 011＞　昨年１年間（令和７年１月１日～令和７年 12 月 31 日）の離職者【第１問 11-1】



（13）離職の理由

昨年１年間の離職者で「いる」と回答した事業者に、離職の理由を聞いたところ、「職場の人間関係」が 34.6%で最も多く、次いで「給与が安い」(26.9%)、「事業所と退職者とのミスマッチ」(23.1%)、「仕事がきつい」(20.5%) となっています。「その他」(32.1%) については体力の限界や家族の介護、転居のためといった意見が挙げられました。

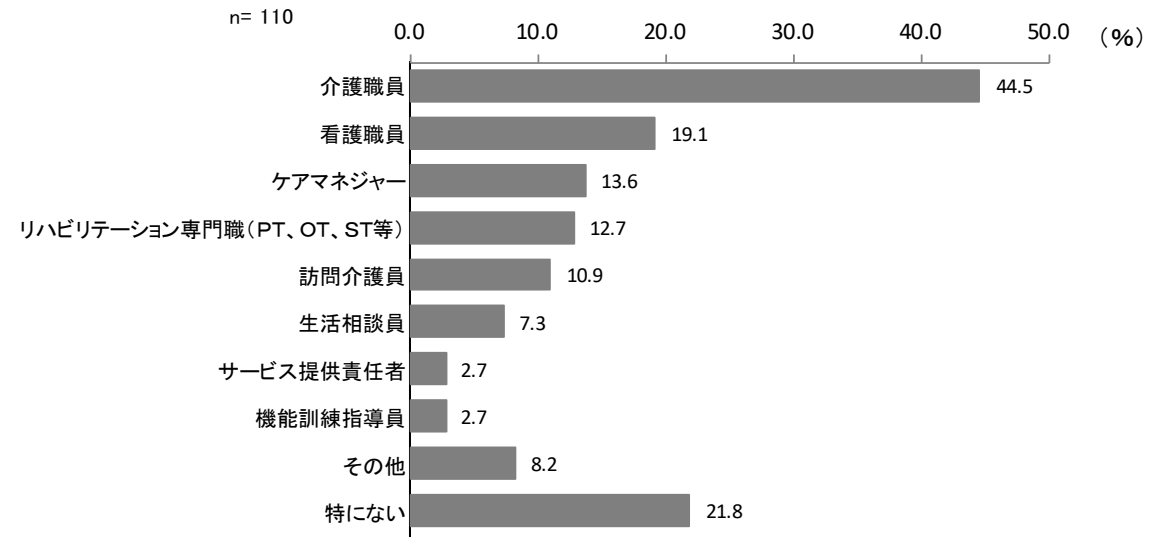
＜図表 012＞　離職者の理由（３つまで）【第１問 11-2】



（14）不足している職種

不足している職種を聞いたところ、「介護職員」が 44.5%で最も多く、次いで「特にない」(21.8%)、「看護職員」(19.1%) となっています。

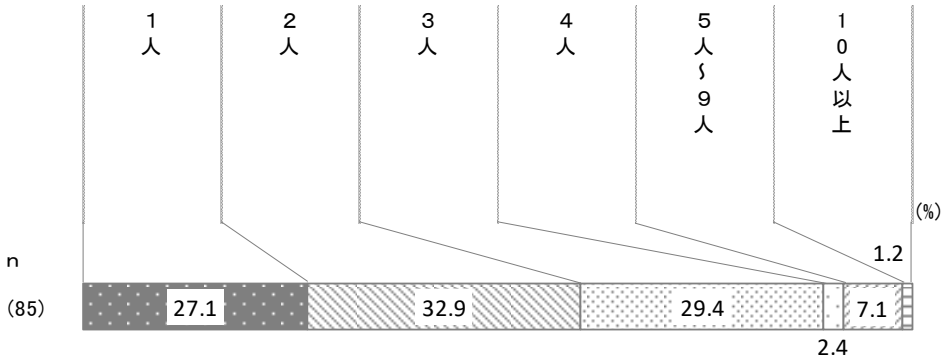
＜図表 013＞　不足している職種（複数回答）【第１問 12】



（15）人員の不足数

人員の不足数を聞いたところ、「２人」が 32.9%で最も多く、次いで「３人」(29.4%)、「１人」(27.1%) となっています。

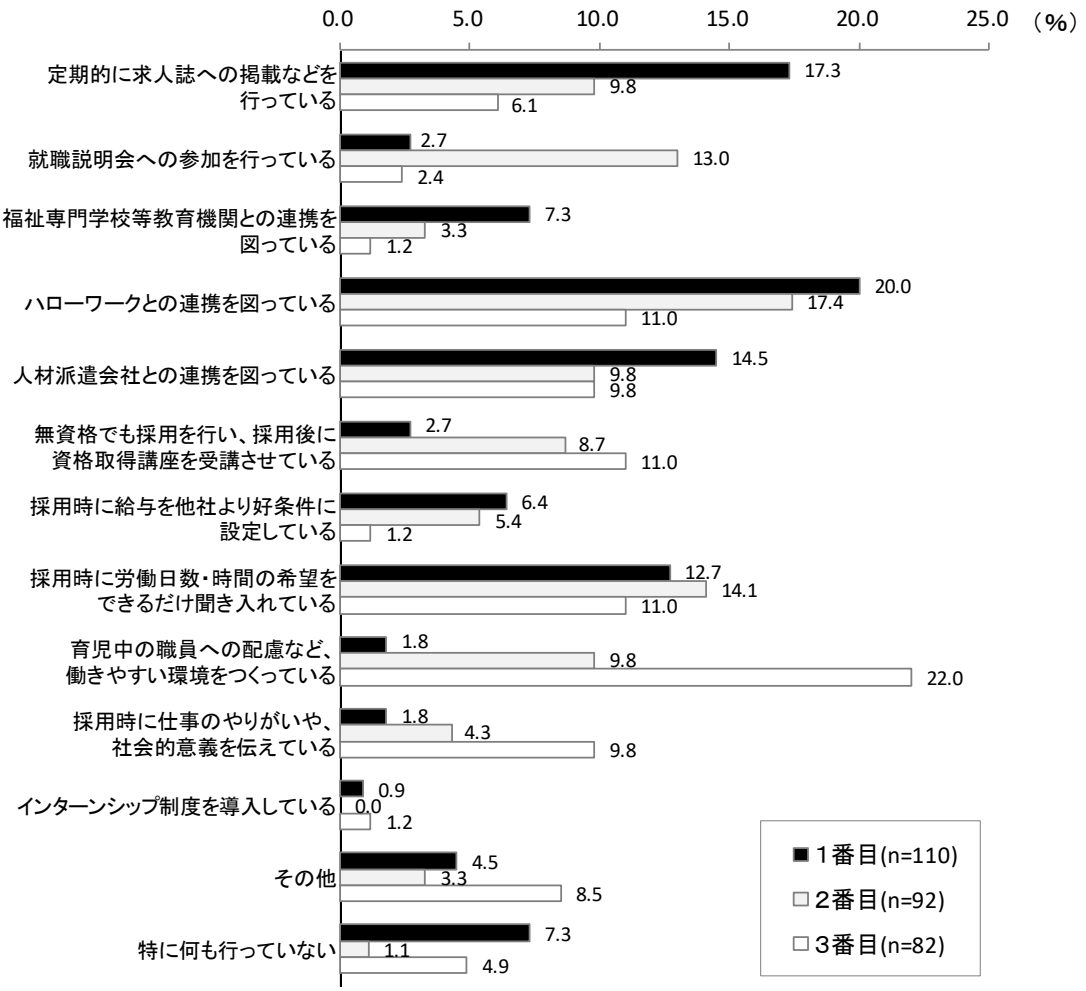
＜図表 014＞　人員の不足数【第１問 12-1】



（16）新規人材の確保のための取組

新規人材の確保のための取組を聞いたところ､最も効果が高いと考える取組は､｢ハローワークとの連携を図っている」が 20.0%で最も多く、次いで「定期的に求人誌への掲載などを行っている」(17.3%)、「人材派遣会社との連携を図っている」(14.5%) となっています。

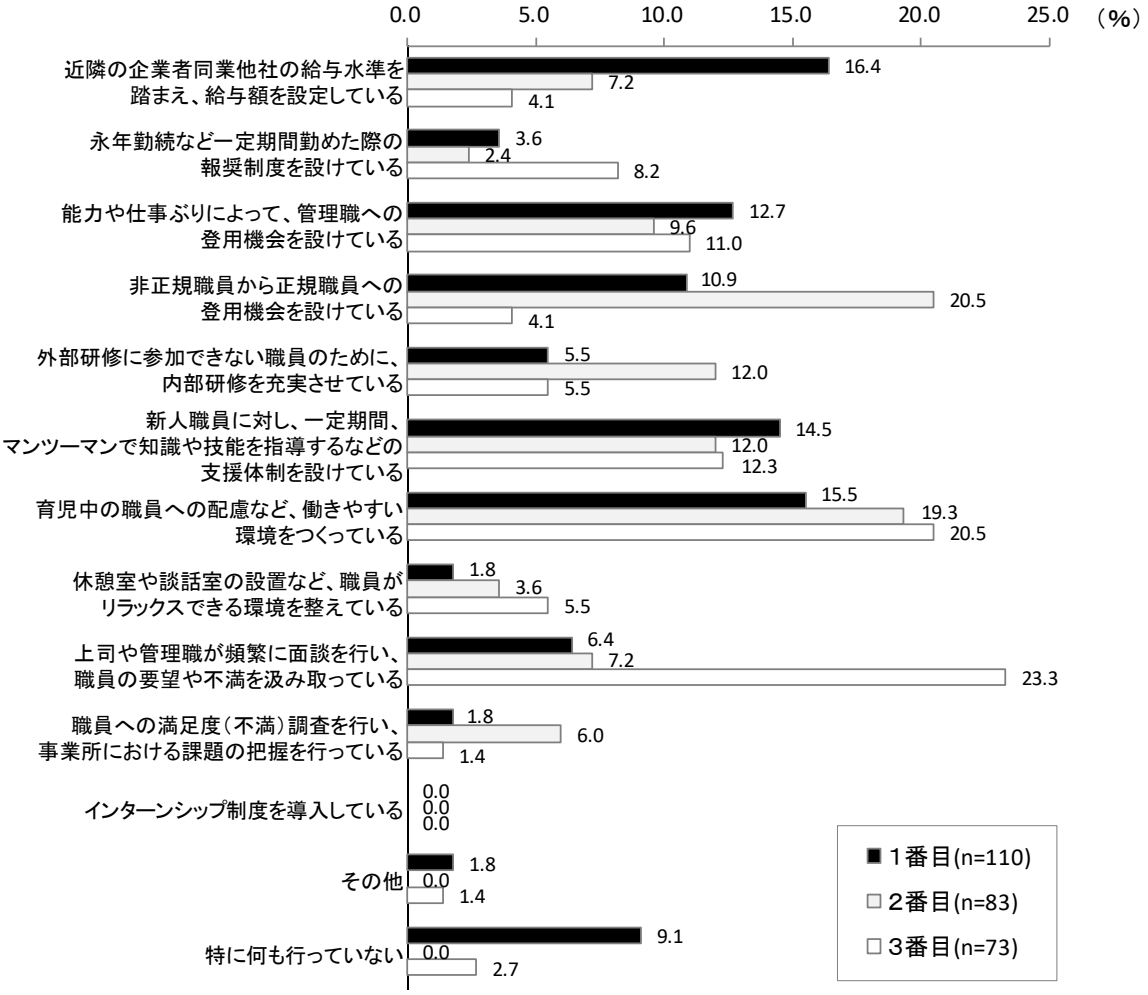
＜図表 015＞　新規人材の確保のための取組（３つまで）【第 1 問 13】



（17）人材の定着・育成（離職防止）のための取組

人材の定着・育成（離職防止）のための取組を聞いたところ、最も効果が高いと考える取組は、「近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している」が 16.4%で最も多く、次いで「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」（15.5%）、「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている」（14.5%）となっています。

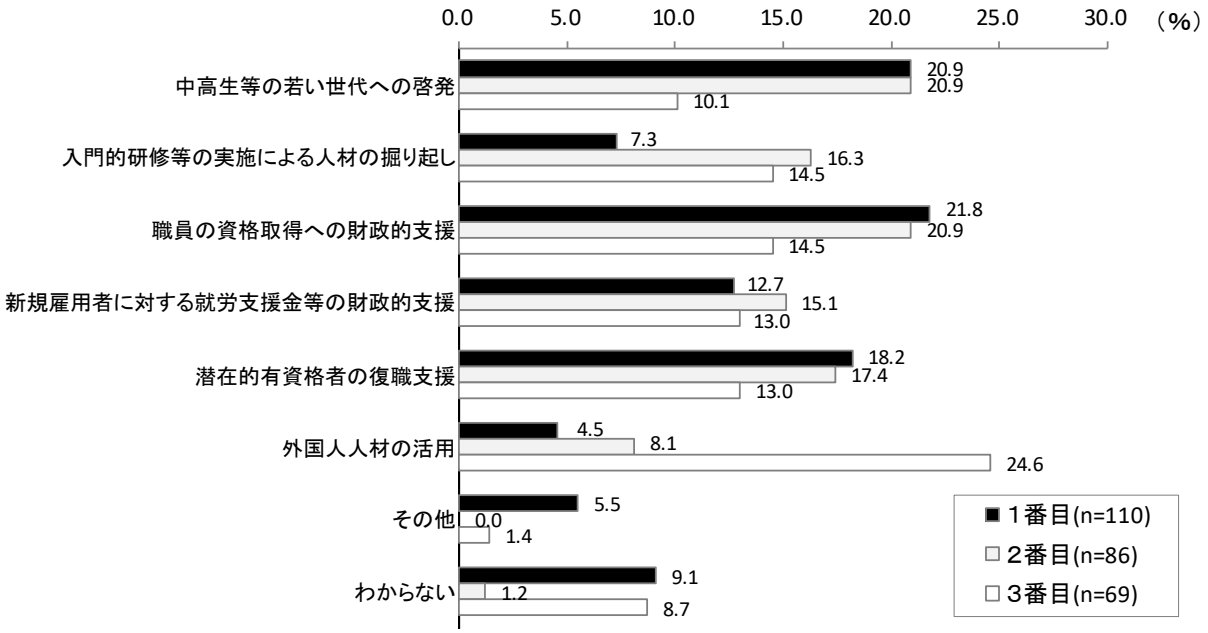
＜図表 016＞　人材の定着・育成（離職防止）のための取組（３つまで）【第１問 14】



（18）介護人材の確保・定着のために力を入れること

介護人材の確保・定着のために力を入れることを聞いたところ、最も効果が高いと考える取組は、「職員の資格取得への財政的支援」が 21.8％で最も多く、次いで「中高生等の若い世代への啓発」（20.9％）、「潜在的有資格者の復職支援」（18.2％）となっています。

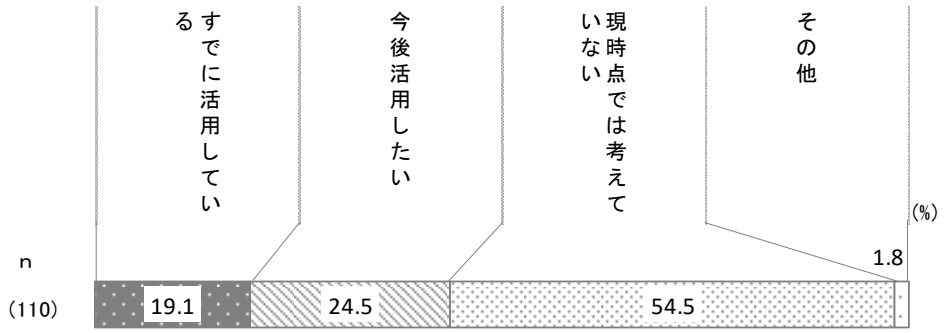
＜図表 017＞　介護人材の確保・定着のために力を入れること（３つまで）【第１問 15】



（19）介護助手への元気高齢者等の活用について

介護助手への元気高齢者等の活用について聞いたところ、「現時点では考えていない」が54.5%で最も多く、次いで「今後活用したい」（24.5%）、「すでに活用している」（19.1%）となっています。

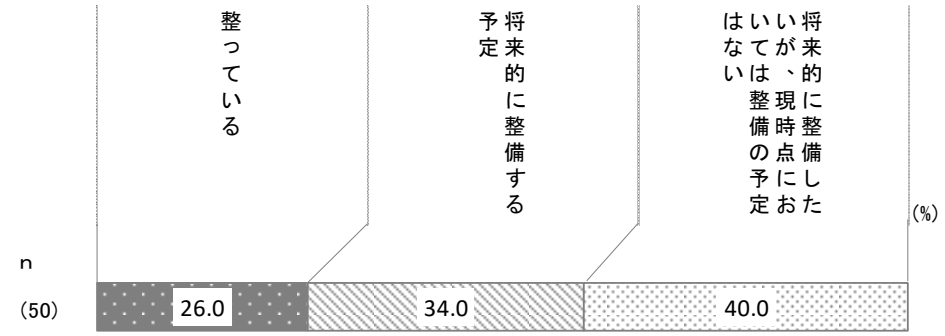
＜図表 018＞　介護助手への元気高齢者等の活用【第１問 16】



（20）元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制

元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制を聞いたところ、「将来的に整備したいが、現時点においては整備の予定はない」が 40.0%で最も多く、次いで「将来的に整備する予定」（34.0%）、「整っている」（26.0%）となっています。

＜図表 019＞　元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制【第１問 16-1】

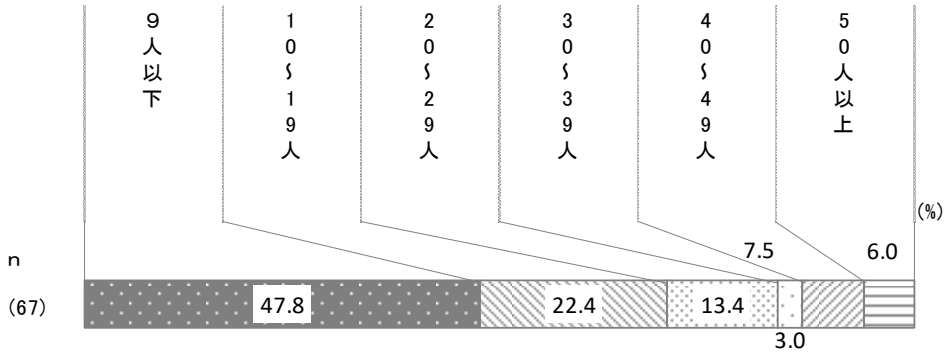


(21) 職員について

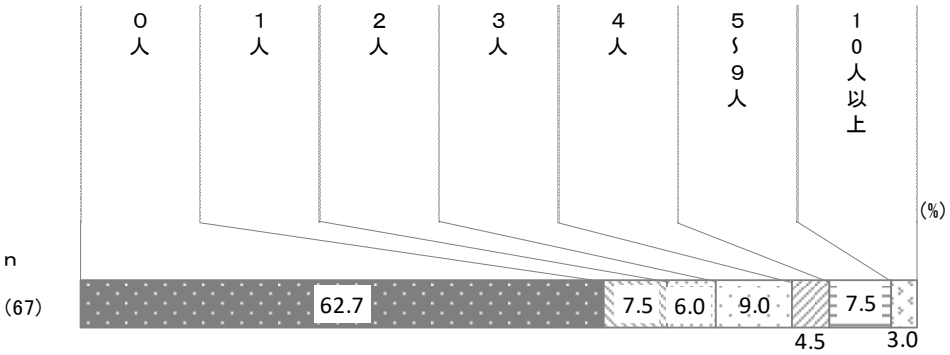
職員について聞いたところ、職員数は「９人以下」が 47.8%で最も多く、次いで「10～19 人」(22.4%)、「20～29 人」(13.4%) となっています。

また、雇用している介護従事者のうちの無資格者数は「０人」が 62.7%で最も多く、次いで「３人」(9.0%)、「１人」「５～９人」(ともに 7.5%) となっています。

＜図表 020＞　職員数【第１問 17】



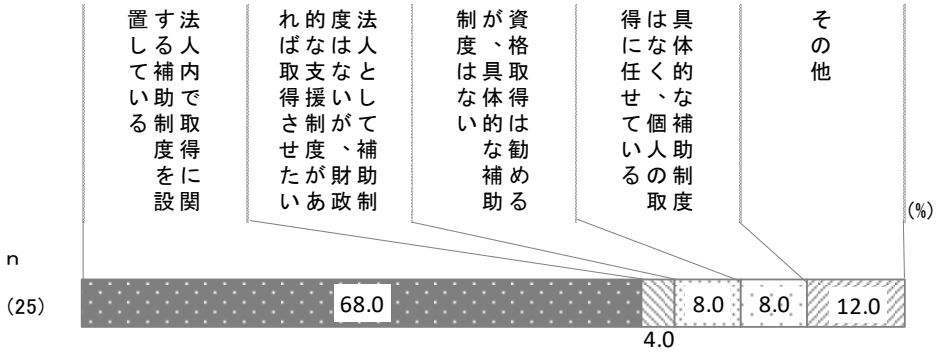
＜図表 021＞　雇用している介護従事者のうちの無資格者数【第１問 17】



（22）無資格者の初任者研修等の資格取得検討

雇用している介護従事者のうちの無資格者の人数に記載があった事業者に、無資格者の初任者研修等の資格取得検討を聞いたところ、「法人内で取得に関する補助制度を設置している」が68.0％で最も多く、次いで「資格取得は勧めるが、具体的な補助制度はない」、「具体的な補助制度はなく、個人の取得に任せている」（ともに 8.0％）、「法人として補助制度はないが、財政的な支援制度があれば取得させたい」（4.0％）となっています。

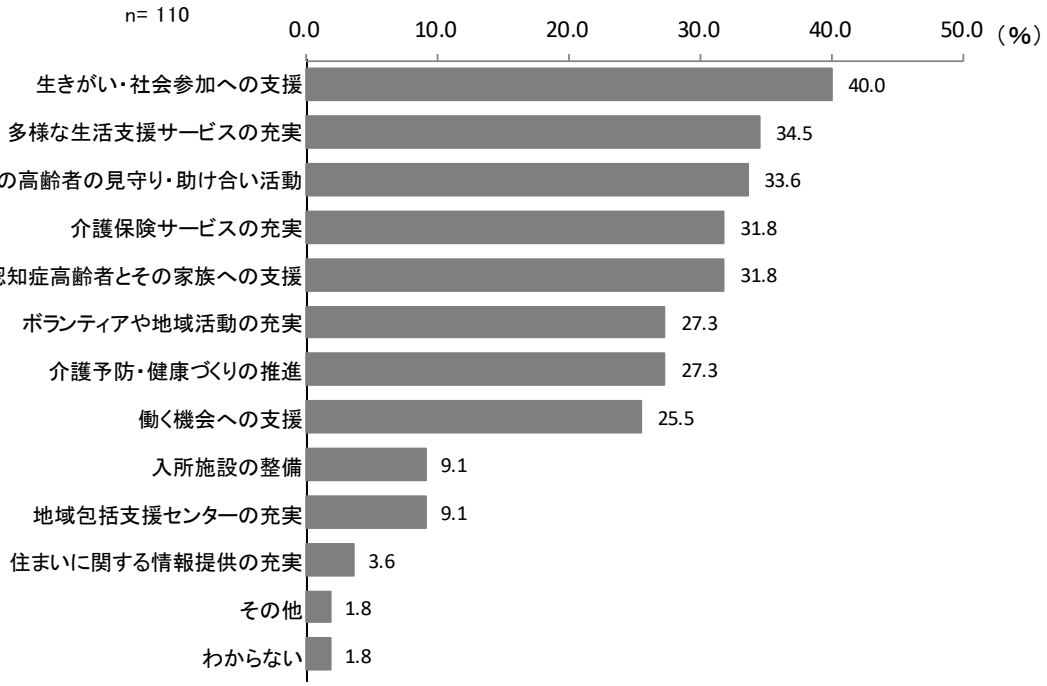
＜図表 022＞　無資格者の初任者研修等の資格取得検討【第１問 17-1】



（23）自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと

自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいことを聞いたところ、「生きがい・社会参加への支援」が 40.0％で最も多く、次いで「多様な生活支援サービスの充実」（34.5％）、「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」（33.6％）となっています

＜図表 023＞　自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと（３つまで）
【第 1 問 18】

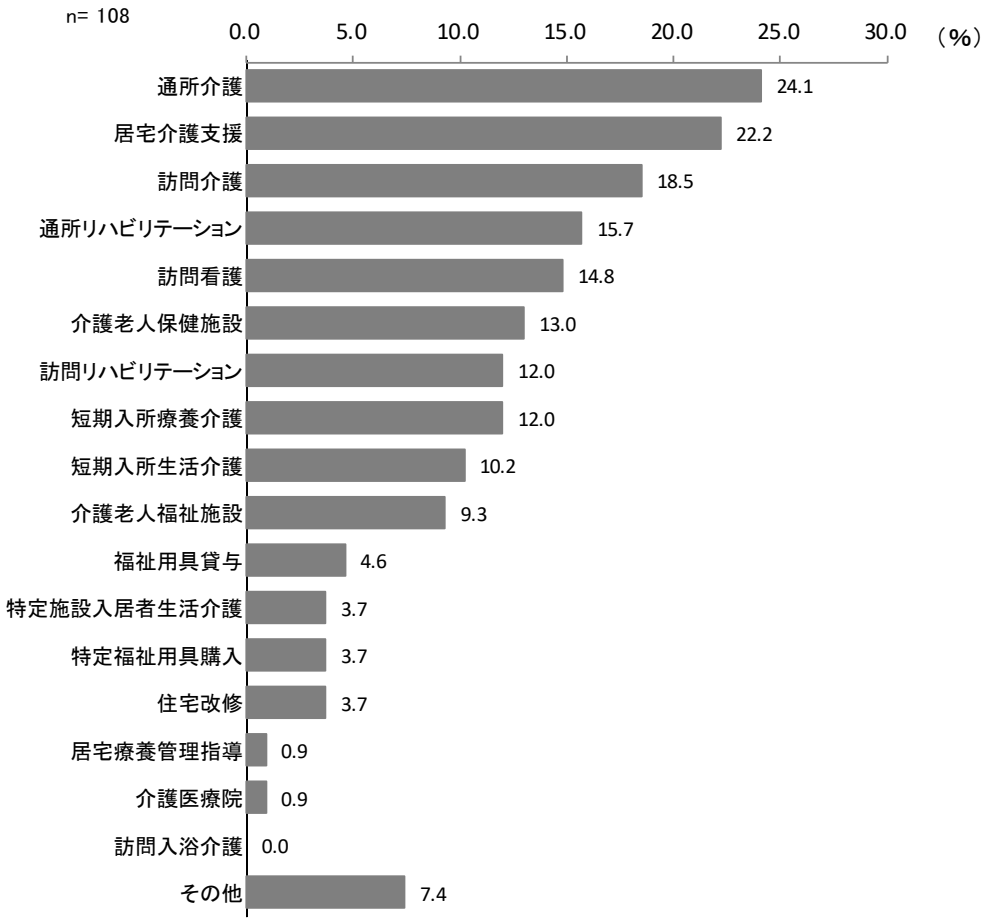


（24）提供しているサービス種別

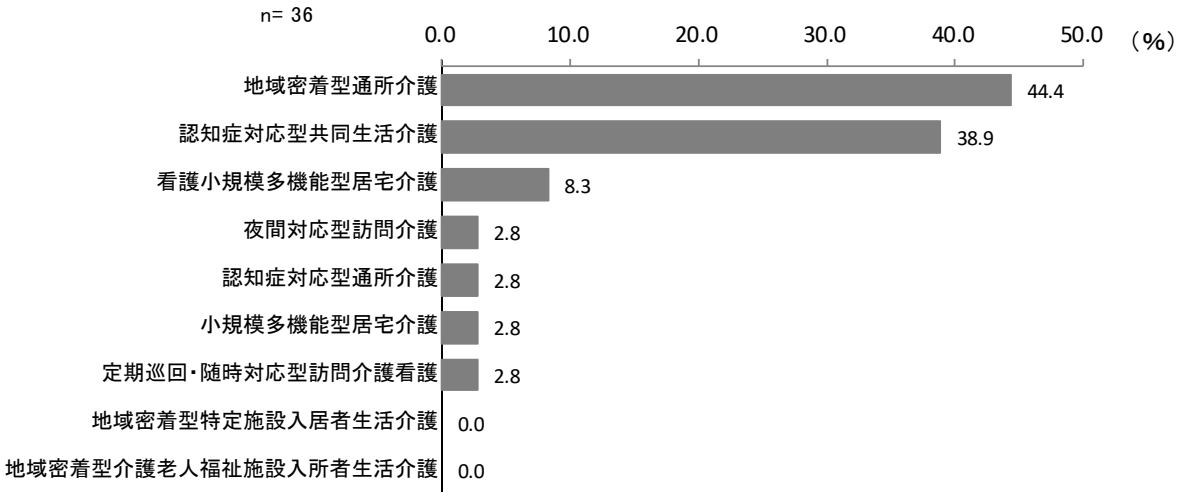
提供しているサービス種別を聞いたところ、居宅サービス（予防を含む）及び施設サービスを運営する事業者の場合では、「通所介護」が 24.1％で最も多く、次いで「居宅介護支援」(22.2％)、「訪問介護」（18.5％）となっています。

また、地域密着型サービスを運営する事業者の場合では、「地域密着型通所介護」が 44.4％で最も多く、次いで「認知症対応型共同生活介護」（38.9％）となっています。

＜図表 024＞　提供しているサービス種別【居宅サービス（予防を含む）及び施設サービス】（複数回答）【第１問 19（１）】



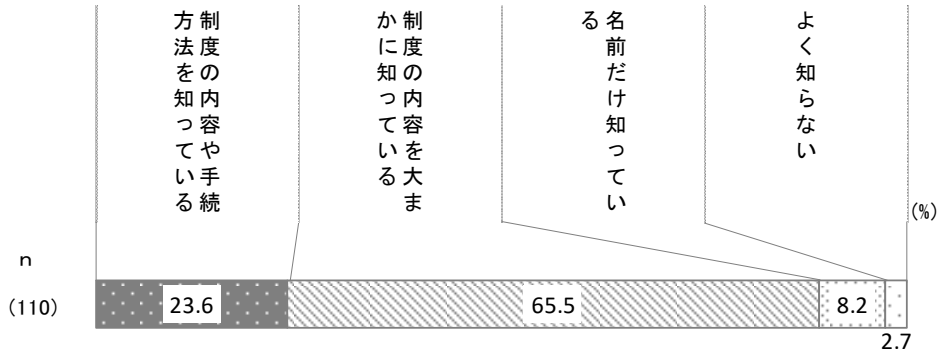
＜図表 025＞　提供しているサービス種別【地域密着型サービス】（複数回答）【第１問 19（２）】



（25）成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度を聞いたところ、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、89.1%となっています。

＜図表 026＞　成年後見制度の認知度【第２問１】

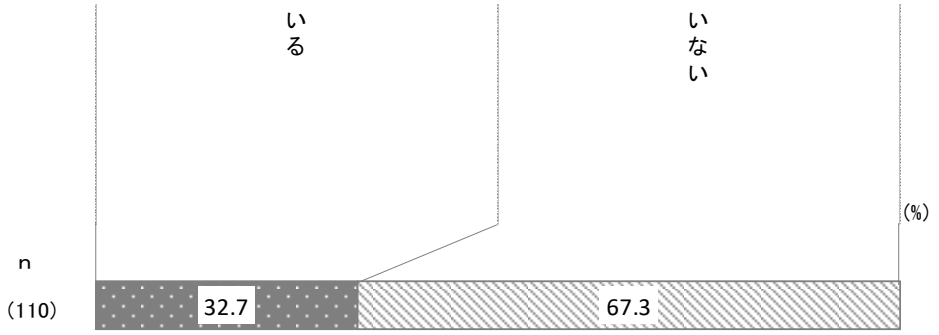


（26）支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無

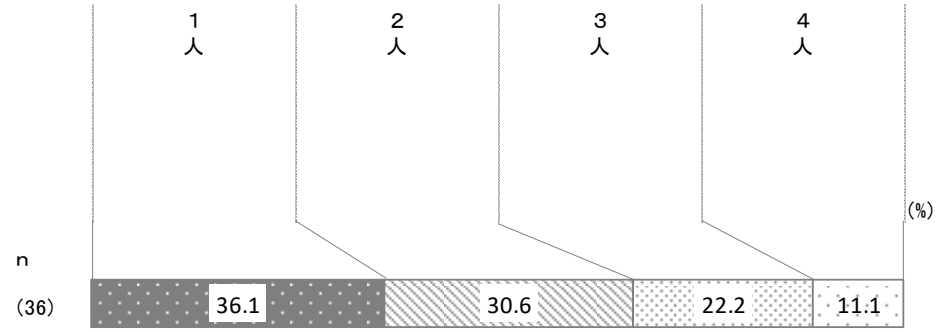
支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無を聞いたところ、「いる」が32.7%、「いない」が67.3%となっています。

また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数は、「１人」が36.1%で最も多く、次いで「２人」(30.6%)、「３人」(22.2%) となっています。

＜図表027＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無【第２問２】



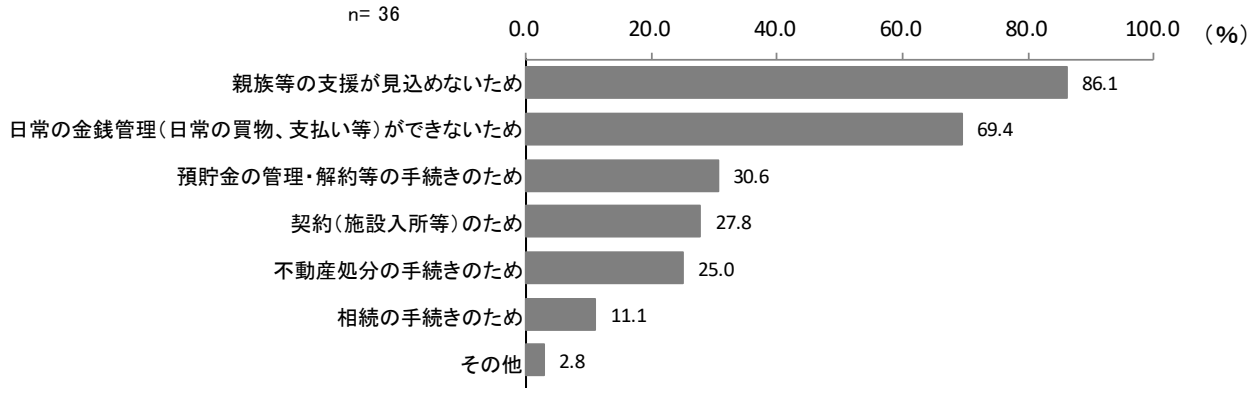
＜図表028＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数【第２問２】



（27）成年後見制度の利用が必要と思う理由

支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無で「いる」と回答した事業者に、必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 86.1%で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」(69.4%)、「預貯金の管理・解約等の手続きのため」(30.6%）となっています。

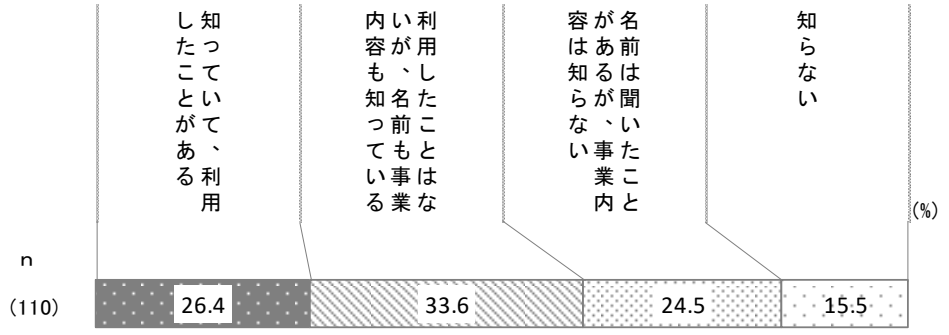
＜図表 029＞　成年後見制度の利用が必要と思う理由（複数回答）【第２問２－１】



（28）江別市成年後見支援センターの認知度

江別市成年後見支援センターの認知度を聞いたところ、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」が 33.6%で最も多く、次いで「知っていて、利用したことがある」(26.4%)、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」(24.5%）となっています。

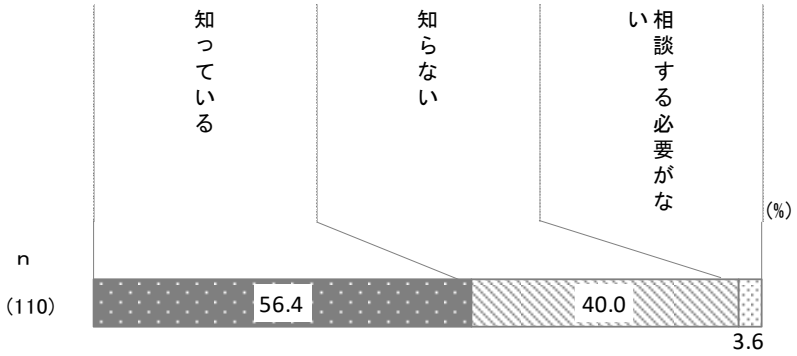
＜図表 030＞　江別市成年後見支援センターの認知度【第２問３】



（29）成年後見制度に関する相談先の認知度

成年後見制度に関する相談先の認知度を聞いたところ、「知っている」（56.4%）、「知らない」（40.0%）、「相談する必要がない」（3.6%）となっています。

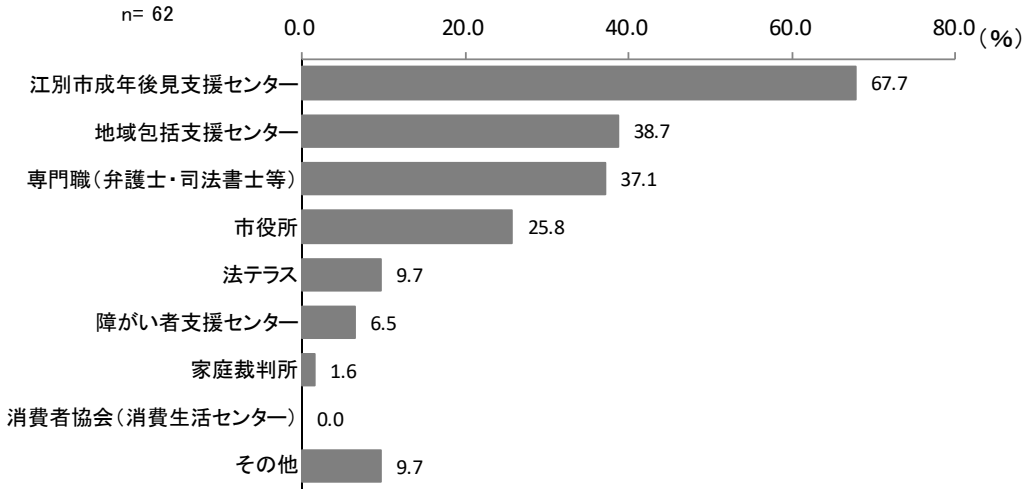
＜図表 031＞　成年後見制度に関する相談先の認知度【第２問４】



（30）成年後見制度に関する相談先

成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、「江別市成年後見支援センター」が 67.7%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」（38.7%）、「専門職（弁護士・司法書士等）」（37.1%）、「市役所」（25.8%）となっています。

＜図表 032＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）【第２問４－１】



(31) 成年後見制度に関する課題（自由回答）

成年後見制度に関する課題（【第２問５】）として、下記の内容などが挙げられました。

・申請方法が分かりやすい、パンフ等があるとよいかと思います。
・後見人にできないことがあること（仕方ないとも思いますが)。→医療行為（手術の同意）等
・後見人選任までに時間がかかる。申し立てにかかる費用、報酬が高額。
・制度利用までに時間を要する。

２.高齢者向け住宅事業者

高齢者向け住宅提供事業者については、31 業者へ送付し、８件の回答がありましたが、その結果は以下のとおりです（サンプル数が少ないため、実数のみ表示)。

（１）所在地区

＜図表 033＞　所在地区【第１問１（１)】

所在地区	事業者数(カ所)
江別	4
野幌	2
大麻	2
回答事業者数(カ所)	8

（２）経営主体

＜図表 034＞　経営主体【第１問１（２)】

経営主体	事業者数(カ所)
社会福祉法人	2
医療法人(公益社団･一般社団･公益財団･一般財団)	－
民法法人(公益社団･一般社団･公益財団･一般財団)	－
営利法人(有限･株式会社等)	6
特定非営利活動法人(NPO)	－
非法人(個人経営)	－
その他	－
回答事業者数(カ所)	8

（３）施設種類

＜図表 035＞　施設種類【第１問１（３)】

施設種類	事業者数(カ所)
住宅型有料老人ホーム	6
サービス付高齢者向け住宅	1
その他	1
回答事業者数(カ所)	8

（４）入居定員

＜図表 036＞　入居定員【第１問１（４）】

入居定員	事業者数(カ所)
20人未満	3
20～30人未満	2
30～50人未満	1
50人以上	2
回答事業者数(カ所)	8

（５）入居状況及び待機状況（令和８年１月１日現在）

＜図表 037＞　入居者数【第１問２】

入居者数	事業者数(カ所)
20人未満	5
20～30人未満	1
30～50人未満	－
50人以上	2
回答事業者数(カ所)	8

＜図表 038＞　待機者数【第１問２】

待機者数	事業者数(カ所)
０人	3
１～10人未満	3
10～20人未満	1
20～30人未満	－
30人以上	1
回答事業者数(カ所)	8

（６）入居者の内訳

＜図表 039＞　入居者の内訳【第１問３】

入居者の内訳	計(室)
独居	190
夫婦世帯	8
その他	0
回答事業者数(カ所)	8

（７）入居者の年齢

＜図表 040＞　入居者の年齢【第１問４】

入居者の年齢	人数計（人）
60歳未満	2
60歳以上65歳未満	3
65歳以上70歳未満	2
70歳以上75歳未満	6
75歳以上80歳未満	26
80歳以上85歳未満	36
85歳以上90歳未満	48
90歳以上	76
回答事業者数（カ所）	8

（８）入居者の入居年数

＜図表 041＞　入居者の入居年数【第１問５】

入居者の入居年数	人数計（人）
１年未満	30
１年以上３年未満	65
３年以上５年未満	58
５年以上	40
回答事業者数（カ所）	8

（９）施設が実施しているサービス内容

＜図表 042＞　施設が実施しているサービス内容（複数回答）【第１問６】

サービス内容	事業者数（カ所）
安否確認	8
生活相談	7
食事	7
その他	1
回答事業者数（カ所）	8

（10）併設しているサービス施設の有無

＜図表 043＞　併設しているサービス施設の有無【第１問７】

併設しているサービス施設	事業者数（カ所）
あり	4
なし	4
回答事業者数（カ所）	8

（11）併設しているサービス施設の内容

＜図表 044＞　併設しているサービス施設の内容（複数回答）【第１問７－１】

サービス施設の内容	事業者数(カ所)
通所介護	1
地域密着型通所介護	－
認知症対応型通所介護	－
小規模多機能型居宅介護	1
訪問介護	2
診療所	－
訪問看護	－
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	－
居宅介護支援事業所	1
その他	－
回答事業者数(カ所)	4

（12）連携病院及び連携介護事業者

＜図表 045＞　連携病院【第１問８（１）】

連携病院	事業者数(カ所)
あり	6
なし	2
回答事業者数(カ所)	8

＜図表 046＞　連携介護事業者【第１問８（２）】

連携介護事業所	事業者数(カ所)
あり	2
なし	6
回答事業者数(カ所)	8

（13）入居者の介護サービス利用状況

＜図表 047＞　入居者の介護サービス利用状況（複数回答）【第１問９】

介護サービス利用状況	事業者数(カ所)
訪問介護	7
訪問入浴介護	2
訪問看護	6
訪問リハビリテーション	6
居宅療養管理指導	4
通所介護	7
通所リハビリテーション	5
短期入所生活介護	－
福祉用具貸与	7
認知症対応型通所介護	1
小規模多機能型居宅介護	1
地域密着型通所介護	3
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	－
看護小規模多機能型居宅介護	1
その他	－
回答事業者数(カ所)	8

（14）入居者の医療サービス利用状況

＜図表 048＞　入居者の医療サービス利用状況（複数回答）【第１問 10】

医療サービス利用状況	事業者数(カ所)
訪問看護	7
訪問診療	7
訪問歯科	7
その他	－
回答事業者数(カ所)	8

（15）看取りの実施

＜図表 049＞　看取りの実施の有無【第１問 11】

看取りの実施	事業者数(カ所)
はい	2
いいえ	6
回答事業者数(カ所)	8

＜図表 050＞　年間の看取りの実施回数【第１問 11】

看取りの実施回数	事業者数(カ所)
0回	－
1回	2
2回	－
3回	－
4回	－
5～9回	－
10回以上	－
回答事業者数(カ所)	2

（16）看取りをする場合に欠かせないと思うこと

＜図表 051＞　看取りをする場合に欠かせないと思うこと【第１問 12】

看取りをする場合に欠かせないこと	事業者数(カ所)
施設として明確な方針を有していること	1
本人・家族・関係者の意思統一がされていること	3
職員の理解と協力があること	1
看取り対応のマニュアル等が整備されていること	－
医療機関との連携がとれていること	3
その他	－
回答事業者数(カ所)	8

（17）その他のサービスの実施意向

＜図表 052＞　その他のサービスの実施意向（複数回答）【第１問 13】

その他のサービスの実施意向	事業者数(カ所)
配食サービス	1
除雪サービス	2
安否確認	－
家事援助サービス	－
生活相談	－
買い物代行	1
介護タクシー	1
その他	－
特にない	6
回答事業者数(カ所)	8

（18）今後展開予定の事業

＜図表 053＞　今後展開予定の事業（複数回答）【第１問 14】

今後展開予定の事業	事業者数(カ所)
介護付有料老人ホーム	1
住宅型有料老人ホーム	1
サービス付高齢者向け住宅	1
その他	－
特にない	6
回答事業者数(カ所)	8

（19）この１年間における人材の確保状況

＜図表 054＞　この１年間における人材の確保状況【第１問 15】

人材の確保状況	事業者数(カ所)
確保できている	1
おおむね確保できている	4
あまり確保できていない	1
確保できていない	2
回答事業者数(カ所)	8

（20）新規人材の確保のための取組

＜図表 055＞　新規人材の確保のための取組（３つまで）【第１問 16】

新規人材の確保のための取組	事業者数(カ所)
定期的に求人誌への掲載などを行っている	2
就職説明会への参加を行っている	2
福祉専門学校等教育機関との連携を図っている	1
ハローワークとの連携を図っている	1
人材派遣会社との連携を図っている	2
無資格でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている	3
採用時に給与を他社より好条件に設定している	－
採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	2
育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	3
採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている	－
インターンシップ制度を導入している	－
その他	－
特に何も行っていない	2
回答事業者数(カ所)	8

（21）人材の定着・育成（離職防止）のための取組

＜図表 056＞　人材の定着・育成（離職防止）のための取組（３つまで）【第１問 17】

人材の定着・育成のための取組	事業者数(カ所)
近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している	1
永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている	－
能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている	－
非正規職員から正規職員への登用機会を設けている	2
外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている	2
新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている	4
育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	3
休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている	1
上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている	2
職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている	2
インターンシップ制度を導入している	－
その他	1
特に何も行っていない	－
回答事業者数(カ所)	8

（22）今後、高齢者施策として力を入れてほしいもの

＜図表 057＞　今後、高齢者施策として力を入れてほしいもの（３つまで）【第１問 18】

今後、高齢者施策として力を入れてほしいもの	事業者数（カ所）
生きがい・社会参加への支援	5
働く機会への支援	1
ボランティアや地域活動の充実	－
介護予防・健康づくりの推進	2
１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動	2
多様な生活支援サービスの充実	2
介護保険サービスの充実	7
入所施設の整備	－
認知症高齢者とその家族への支援	1
地域包括支援センターの充実	1
住まいに関する情報提供の充実	－
その他	－
わからない	－
回答事業者数（カ所）	8

（23）成年後見制度の認知度

＜図表 058＞　成年後見制度の認知度【第２問１】

成年後見制度の認知度	事業者数（カ所）
制度の内容や手続方法を知っている	1
制度の内容を大まかに知っている	4
名前だけ知っている	3
よく知らない	－
回答事業者数（カ所）	8

（24）支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無

＜図表 059＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無【第２問２】

成年後見人制度が必要と思われる方の有無	事業者数(カ所)
いる	4
いない	4
回答事業者数(カ所)	8

＜図表 060＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数【第２問２】

成年後見人制度が必要と思われる方の人数	事業者数(カ所)
１人	3
２人	1
回答事業者数(カ所)	4

（25）成年後見制度の利用が必要と思う理由

＜図表 061＞　成年後見制度の利用が必要と思う理由（複数回答）【第２問２－１】

成年後見人制度の利用が必要と思う理由	事業者数(カ所)
親族等の支援が見込めないため	4
日常の金銭管理(日常の買物、支払い等)ができないため	2
預貯金の管理・解約等の手続きのため	1
不動産処分の手続きのため	－
契約(施設入所等)のため	1
相続の手続きのため	－
その他	1
回答事業者数(カ所)	4

（26）江別市成年後見支援センターの認知度

＜図表 062＞　江別市成年後見支援センターの認知度【第２問３】

江別市成年後見支援センターの認知度	事業者数(カ所)
知っていて、利用したことがある	2
利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	1
名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	4
知らない	1
回答事業者数(カ所)	8

（27）成年後見制度に関する相談先の認知度

＜図表 063＞　成年後見制度に関する相談先の認知度【第２問４】

成年後見人制度に関する相談先の認知度	事業者数(カ所)
知っている	3
知らない	5
相談する必要がない	－
回答事業者数(カ所)	8

（28）成年後見制度に関する相談先

＜図表 064＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）【第２問４－１】

成年後見人制度に関する相談先	事業者数(カ所)
市役所	1
江別市成年後見支援センター	1
地域包括支援センター	2
障がい者支援センター	－
法テラス	－
家庭裁判所	－
専門職(弁護士・司法書士等)	－
消費者協会(消費生活センター)	－
その他	－
回答事業者数(カ所)	3

（29）成年後見制度に関する課題（自由回答）

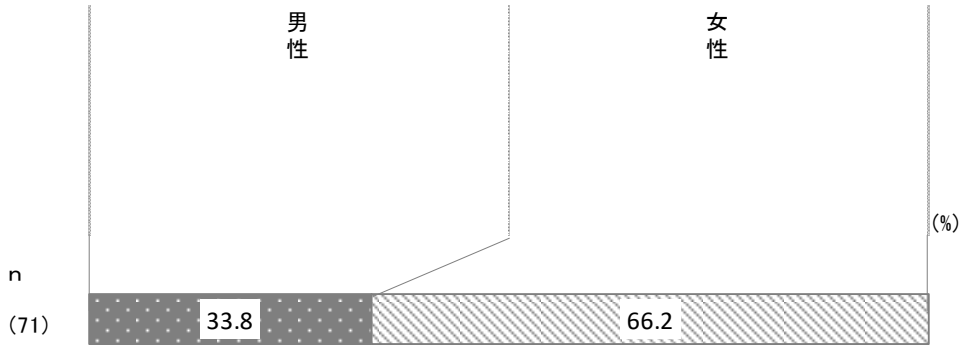
回答はありませんでした。

３.ケアマネジャー

（１）性別

性別を聞いたところ、「男性」が 33.8%、「女性」が 66.2%となっています。

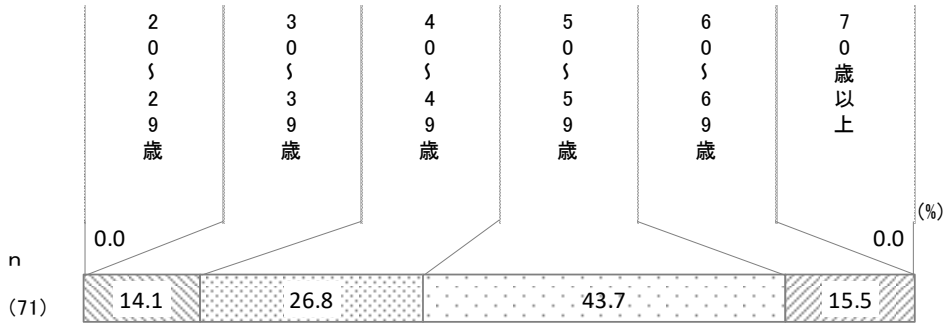
＜図表 065＞　性別【第１問１】



（２）年齢

年齢を聞いたところ、「50～59 歳」が 43.7%で最も多く、次いで「40～49 歳」(26.8%)、「60～69 歳」(15.5%) となっています。

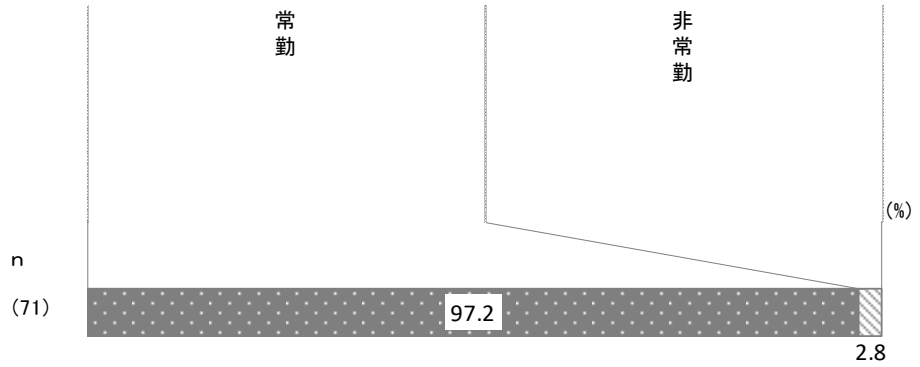
＜図表 066＞　年齢【第１問２】



（３）勤務形態

勤務形態を聞いたところ、「常勤」が 97.2%、「非常勤」が 2.8%となっています。

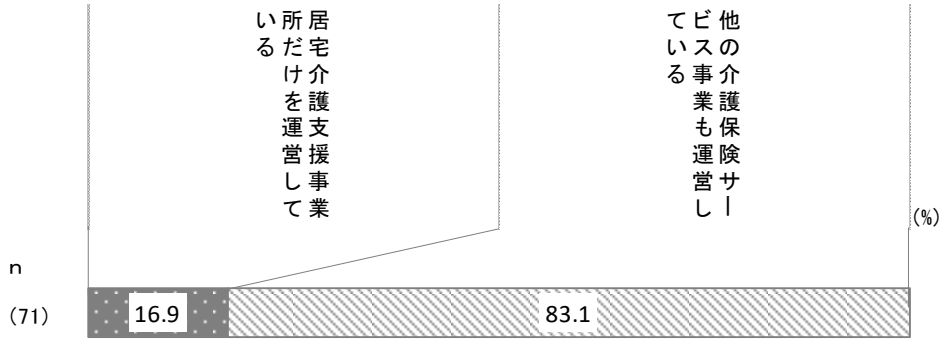
＜図表 067＞　勤務形態【第１問３】



（４）他の介護保険サービスの実施状況

他の介護保険サービスの実施状況を聞いたところ、「居宅介護支援事業所だけを運営している」が 16.9%、「他の介護保険サービス事業も運営している」が 83.1%となっています。

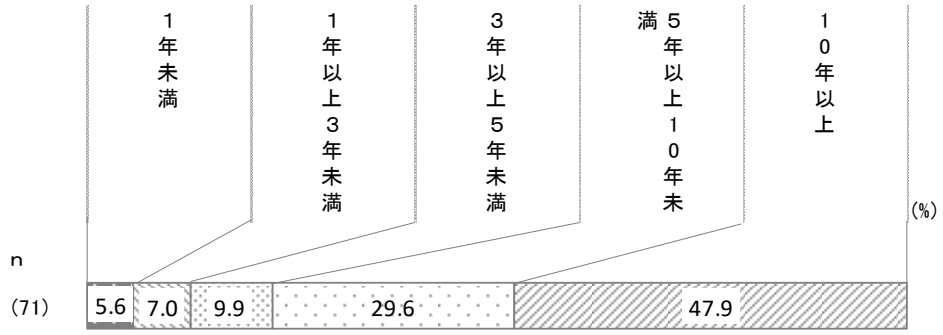
＜図表 068＞　他の介護保険サービスの実施状況【第１問４】



（５）ケアマネジャーの経験年数

ケアマネジャーの経験年数を聞いたところ、「10 年以上」が 47.9％で最も多く、次いで「５年以上 10 年未満」（29.6％）、「３年以上５年未満」（9.9％）となっています。

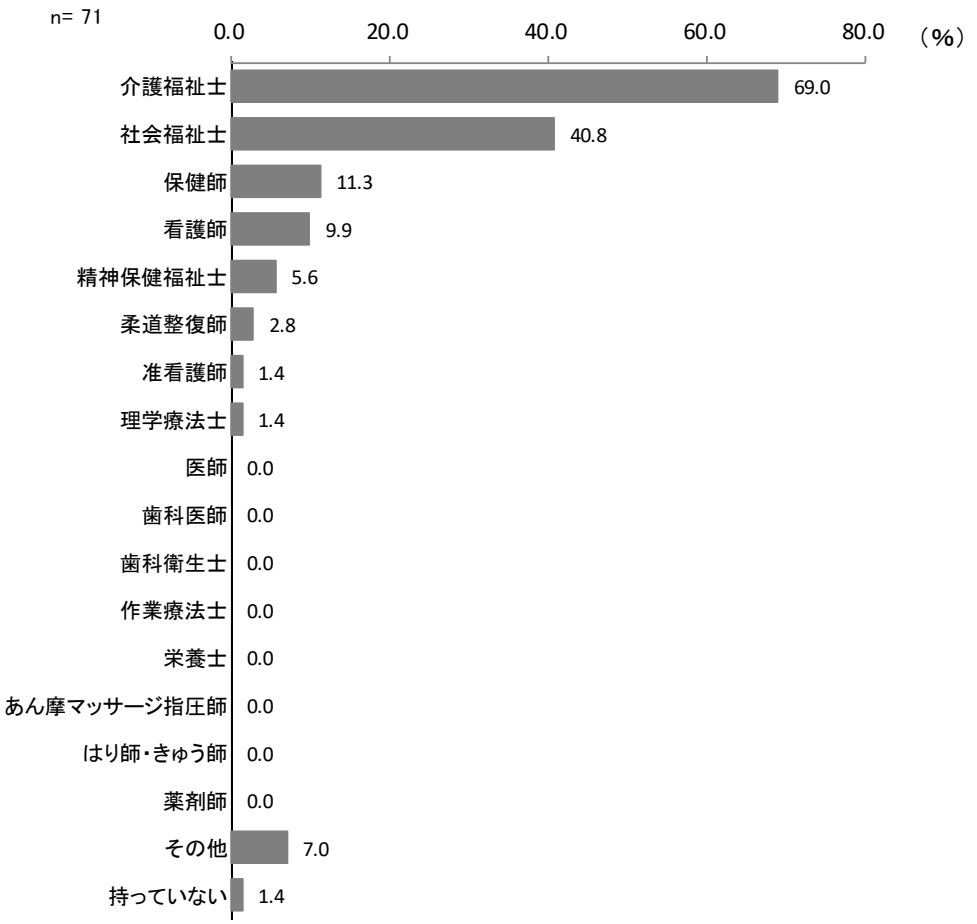
＜図表 069＞　ケアマネジャーの経験年数【第１問５】



（６）介護支援専門員以外の資格の取得状況

介護支援専門員以外の資格の取得状況を聞いたところ、「介護福祉士」が 69.0％で最も多く、次いで「社会福祉士」（40.8％）となっています。

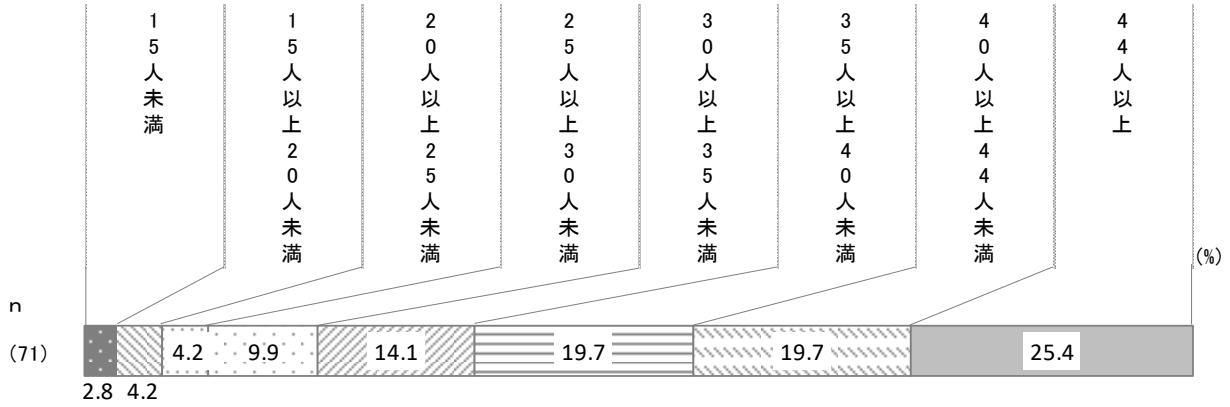
＜図表 070＞　介護支援専門員以外の資格の取得状況（複数回答）【第１問６】



（７）担当している利用者数

担当している利用者数を聞いたところ、「44 人以上」が 25.4%で最も多く、次いで「35 人以上 40 人未満」「40 人以上 44 人未満」（ともに 19.7%）となっています。

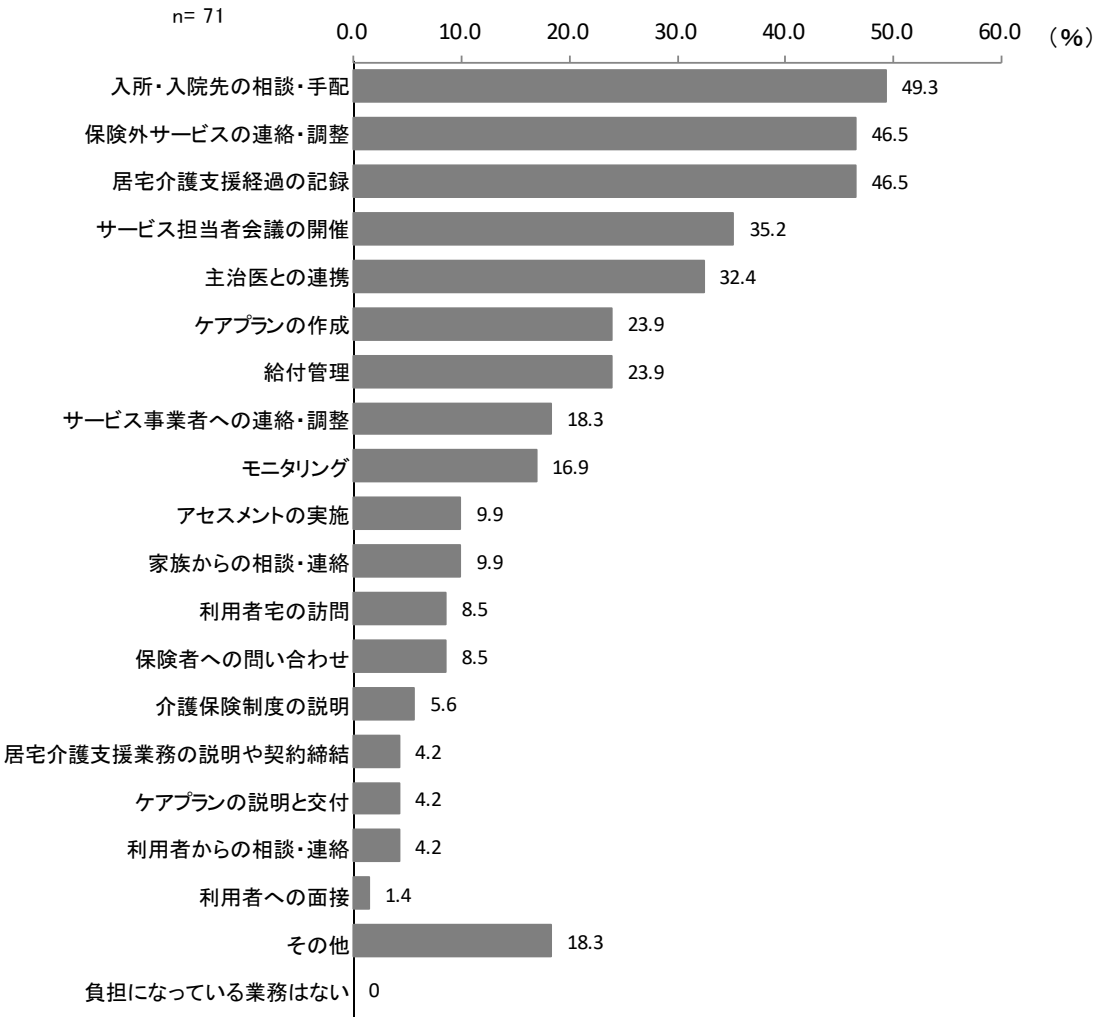
＜図表 071＞　担当している利用者数【第１問７】



（８）負担になっている業務

負担になっている業務を聞いたところ、「入所・入院先の相談・手配」が 49.3%で最も多く、次いで「保険外サービスの連絡・調整」「居宅介護支援経過の記録」（ともに 46.5%）となっています。

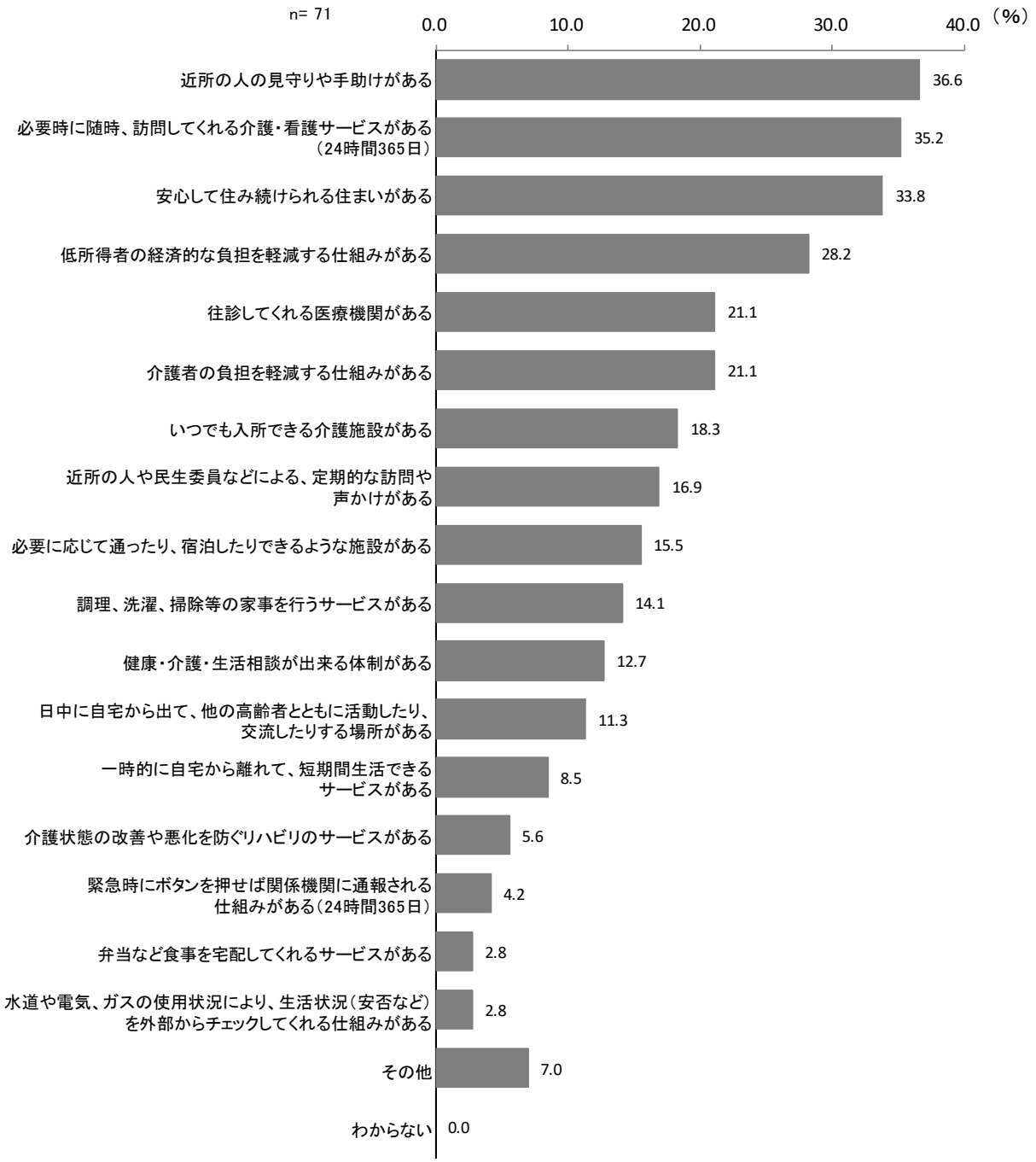
＜図表 072＞　負担になっている業務（複数回答）【第１問８】



（９）要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なこと

要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なことを聞いたところ、「近所の人の見守りや手助けがある」が 36.6％で最も多く、次いで「必要時に随時、訪問してくれる介護・看護サービスがある（24 時間 365 日）」（35.2％）、「安心して住み続けられる住まいがある」（33.8％）となっています。

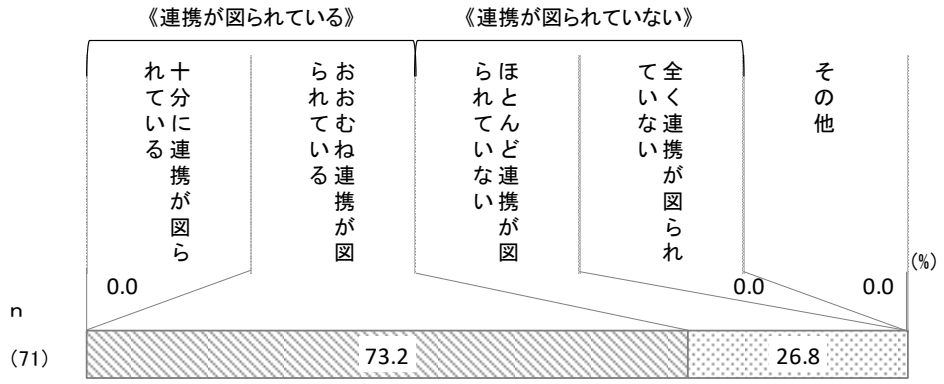
＜図表 073＞　要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なこと（３つまで）【第１問９】



（10）担当医との連携状況

担当医との連携状況を聞いたところ、「おおむね連携が図られている」が 73.2%で最も多く、次いで「ほとんど連携が図られていない」が 26.8%となっています。

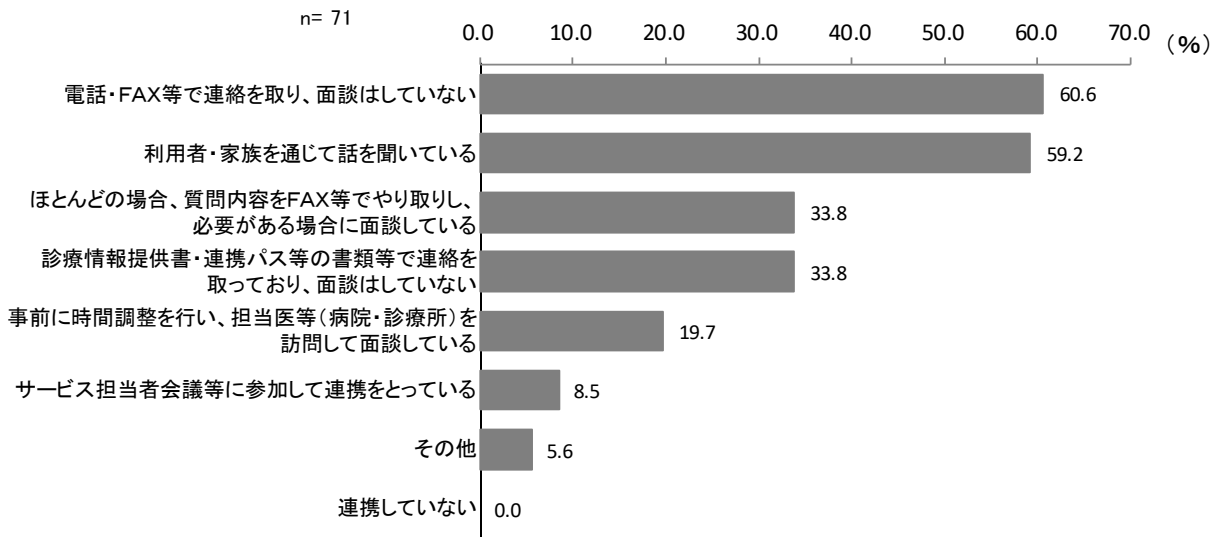
＜図表 074＞　担当医との連携状況【第１問 10】



（11）担当医との連携方法

担当医との連携方法を聞いたところ、「電話・ＦＡＸ等で連絡を取り、面談はしていない」が 60.6%で最も多く、次いで「利用者・家族を通じて話を聞いている」（59.2%）、「ほとんどの場合、質問内容をＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している」「診療情報提供書・連携パス等の書類等で連絡をとっており、面談はしていない」（ともに 33.8%）となっています。

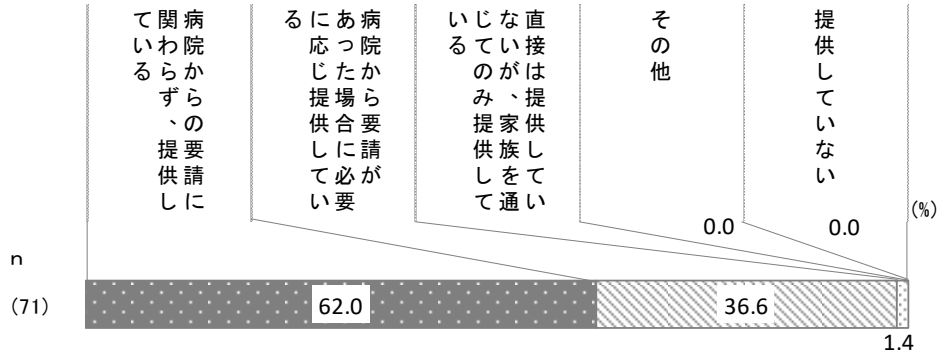
＜図表 075＞　担当医との連携方法（３つまで）【第１問 11】



（12）利用者入院時の病院への情報提供

利用者入院時の病院への情報提供を聞いたところ、「病院からの要請に関わらず、提供している」が 62.0%で最も多く、次いで「病院から要請があった場合に必要に応じ提供している」（36.6%）となっています。

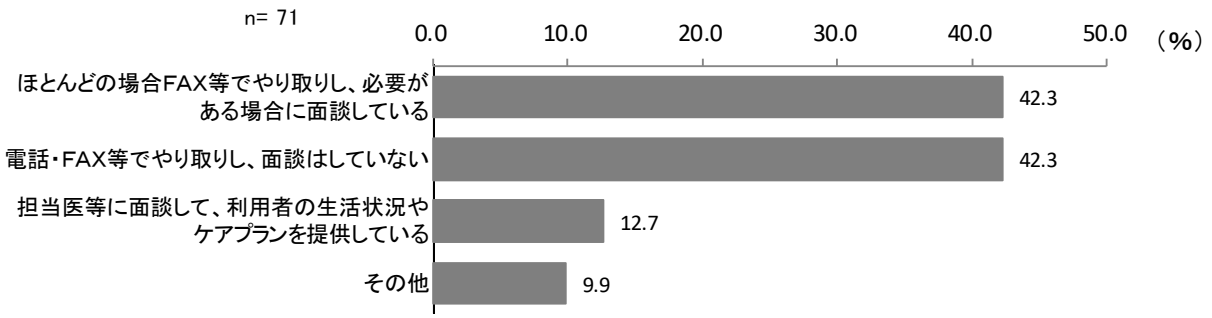
＜図表 076＞　利用者入院時の病院への情報提供【第１問 12】



（13）病院への情報提供方法

病院への情報提供方法を聞いたところ、「ほとんどの場合ＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している」と「電話・ＦＡＸ等でやり取りし、面談はしていない」がともに 42.3%で最も多くなっています。

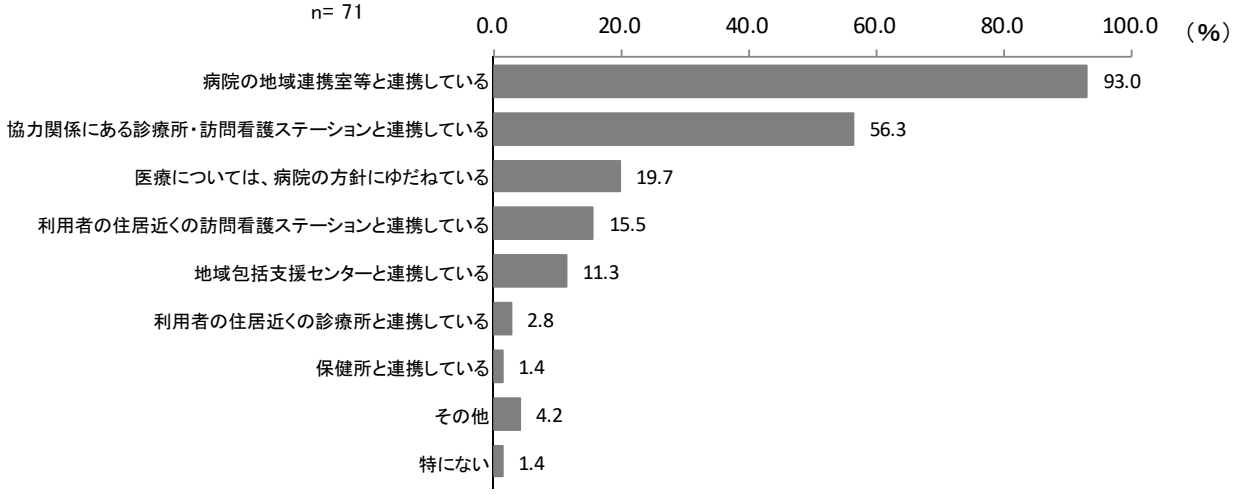
＜図表 077＞　病院への情報提供方法（複数回答）【第１問 12-1】



（14）退院後の医療継続のための対応

退院後の医療継続のための対応を聞いたところ、「病院の地域連携室等と連携している」が93.0%で最も多く、次いで「協力関係にある診療所・訪問看護ステーションと連携している」（56.3%）となっています。

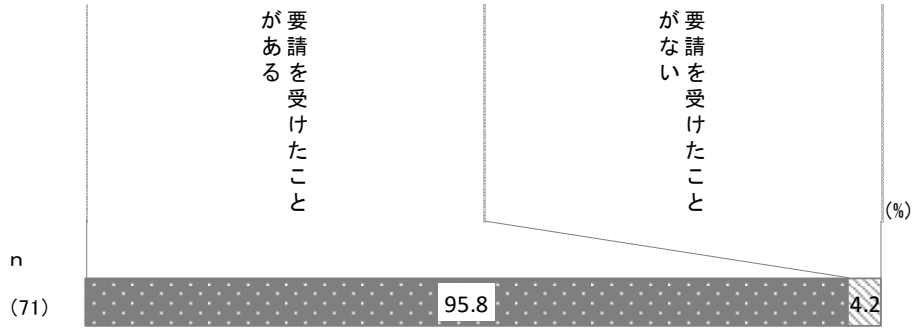
＜図表 078＞　退院後の医療継続のための対応（複数回答）【第１問 13】



(15)「カンファレンス」への参加要請の有無

「カンファレンス」への参加要請の有無を聞いたところ、「要請を受けたことがある」が95.8%、「要請を受けたことがない」が4.2%となっています。

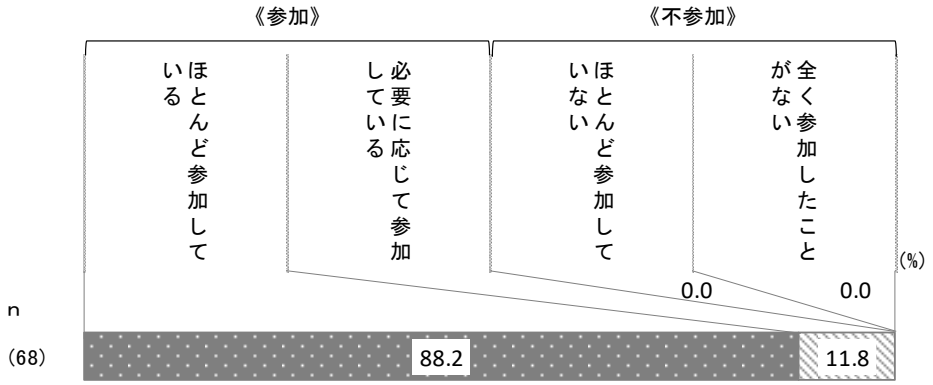
＜図表 079＞　「カンファレンス」への参加要請の有無【第１問 14】



（16）「カンファレンス」への参加状況

「カンファレンス」への参加要請を「受けたことがある」と回答した人に、「カンファレンス」への参加状況を聞いたところ、「ほとんど参加している」と「必要に応じて参加している」を合わせた≪参加≫が 100.0％となっています。

＜図表 080＞　「カンファレンス」への参加状況【第１問 14-1】



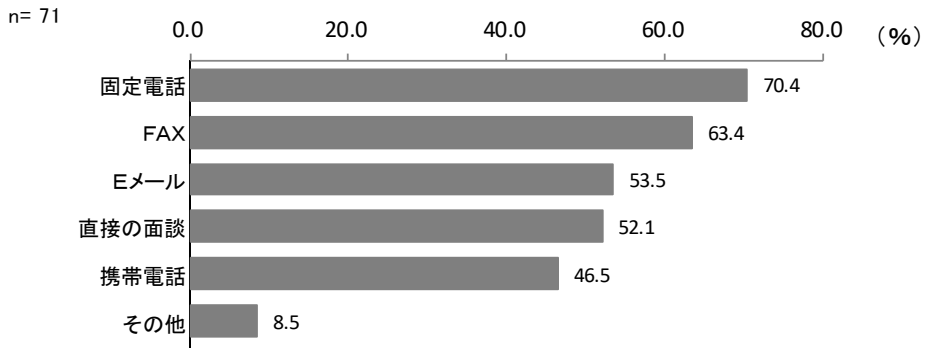
（17）参加していない理由

「ほとんど参加していない」、「全く参加したことがない」ともに 0.0％のため、回答はありませんでした。

（18）医療機関との情報伝達の望ましい手段

医療機関との情報伝達の望ましい手段を聞いたところ、「固定電話」が 70.4％で最も多く、次いで「ＦＡＸ」（63.4％）、「Ｅメール」（53.5％）となっています。

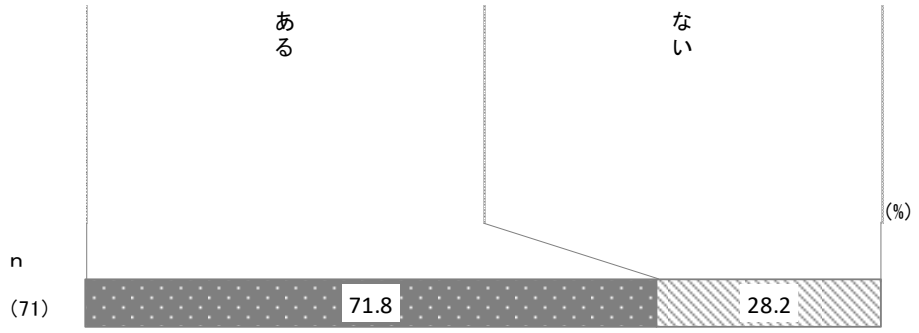
＜図表 081＞　医療機関との情報伝達の望ましい手段（複数回答）【第１問 15】



（19）医療機関と連携が図りにくいと感じた経験

医療機関と連携が図りにくいと感じた経験を聞いたところ、「ある」が 71.8%、「ない」が 28.2%となっています。

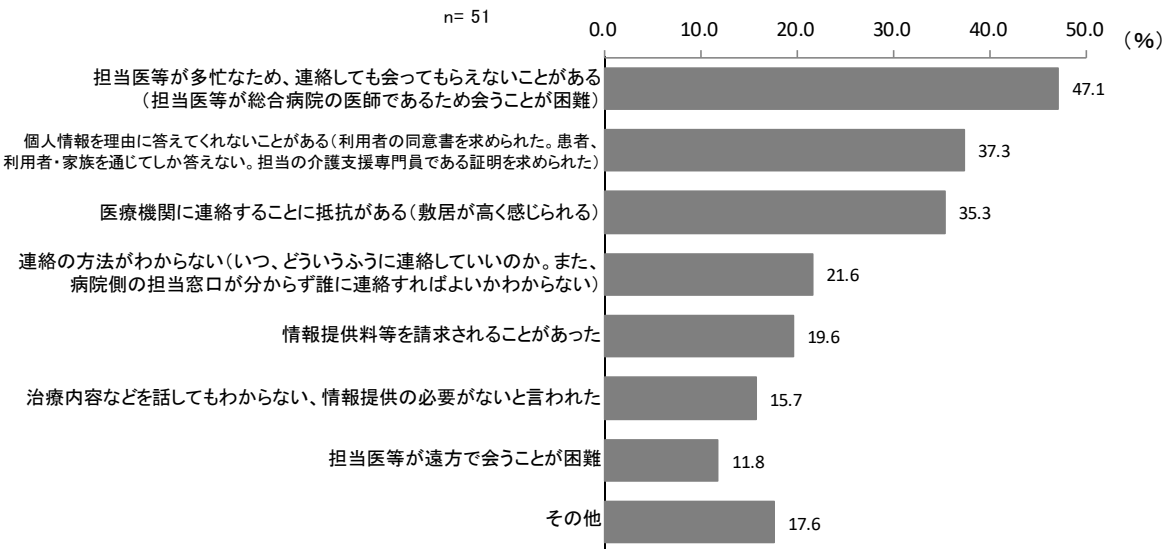
＜図表 082＞　医療機関と連携が図りにくいと感じた経験【第１問 16】



（20）医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況

医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況を聞いたところ、「担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある（担当医等が総合病院の医師であるため会うことが困難)」が 47.1%で最も多く、次いで「個人情報を理由に答えてくれないことがある（利用者の同意書を求められた。患者、利用者・家族を通じてしか答えない。担当の介護支援専門員である証明を求められた)」(37.3%)、「医療機関に連絡することに抵抗がある（敷居が高く感じられる)」（35.3%）となっています。

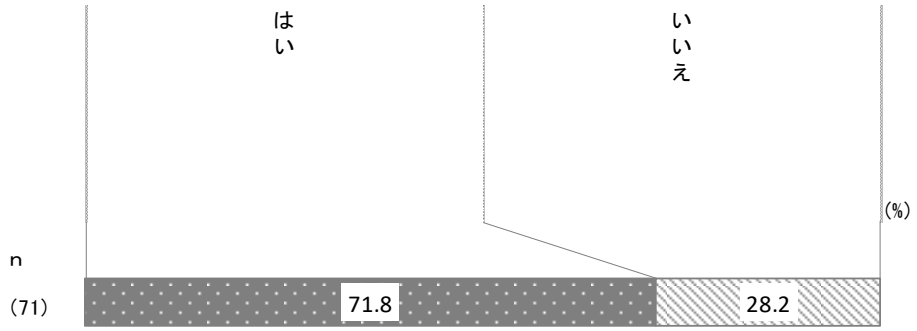
＜図表 083＞　医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況（複数回答）【第１問 16-1】



（21）認知症に関して相談できる医療機関の有無

認知症に関して相談できる医療機関の有無を聞いたところ、「はい」が 71.8%、「いいえ」が 28.2%となっています。

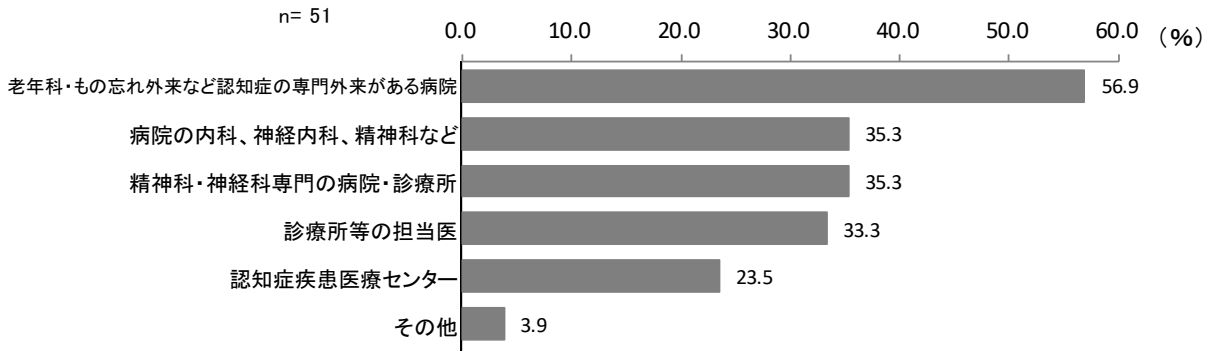
＜図表 084＞　認知症に関して相談できる医療機関の有無【第１問 17】



（22）認知症に関して相談している医療機関の種類

認知症に関して相談している医療機関の種類を聞いたところ、「老年科・もの忘れ外来など認知症の専門外来がある病院」が 56.9%で最も多く、次いで「病院の内科、神経内科、精神科など」「精神科・神経科専門の病院・診療所」（ともに 35.3%）、「診療所等の担当医」（33.3%）となっています。

＜図表 085＞　認知症に関して相談している医療機関の種類（複数回答）【第１問 17-1】

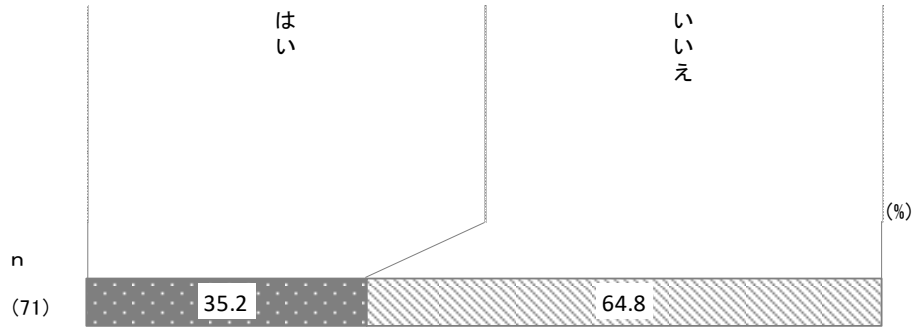


(23) 看取りの立ち会いの有無

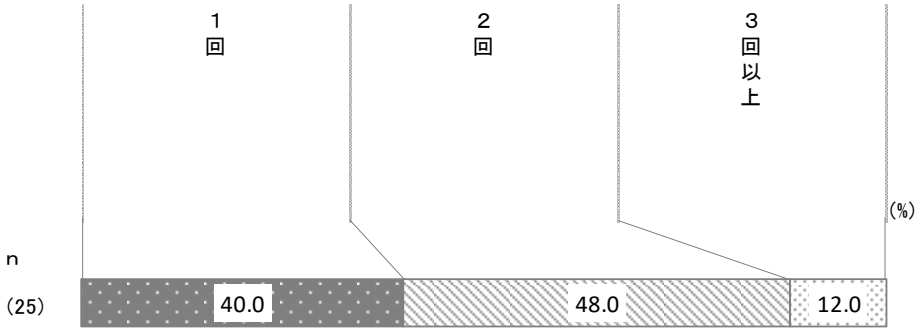
看取りの立ち会いの有無を聞いたところ、「はい（立ち会っている)」が 35.2%、「いいえ（立ち会っていない)」が 64.8%となっています。

また、看取りの立ち会いの有無で「はい（立ち会っている)」と回答したケアマネジャーに、年間の看取りの立ち会い回数を聞いたところ、「２回」が 48.0%で最も多く、次いで「１回」（40.0%)、「３回以上」（12.0%）となっています。

＜図表 086＞　看取りの立ち会いの有無【第１問 18】



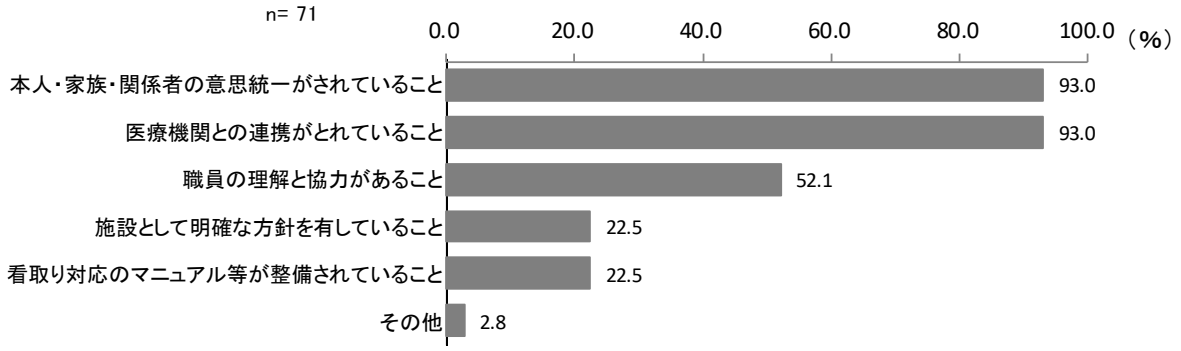
＜図表 087＞　年間の看取りの立ち会い回数【第１問 18】



（24）看取りをサポートする場合に欠かせないと思うこと

看取りをサポートする場合に欠かせないと思うことを聞いたところ、「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」「医療機関との連携がとれていること」がともに 93.0％で最も多く、次いで「職員の理解と協力があること」（52.1％）となっています。

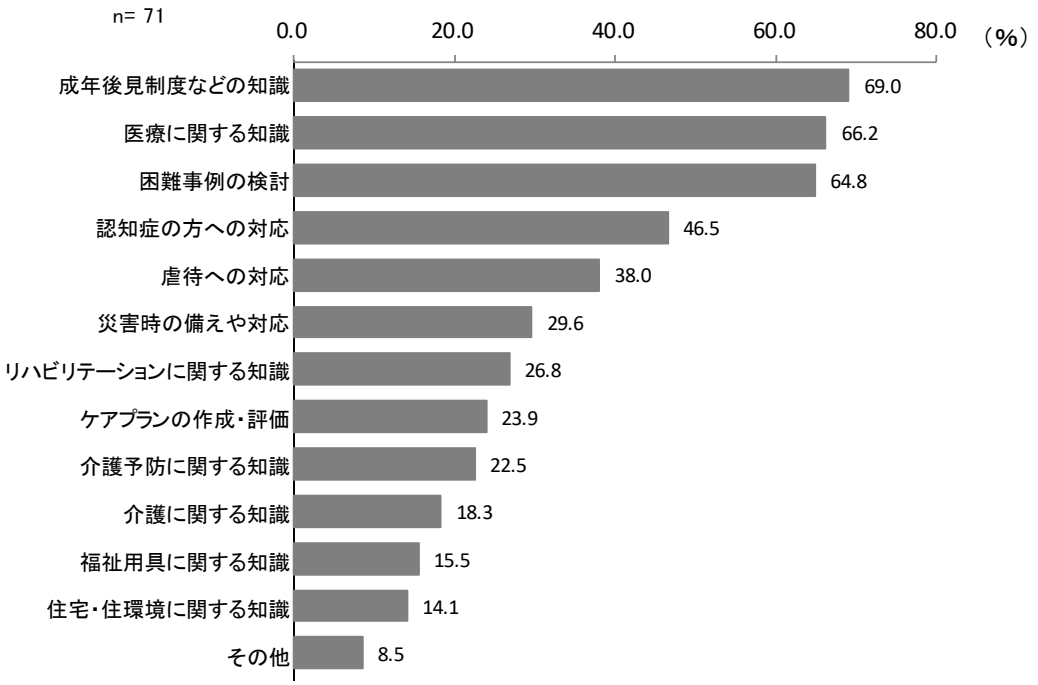
＜図表 088＞　看取りをサポートする場合に欠かせないと思うこと（複数回答）【第１問 19】



（25）ケアマネジャーのスキルアップで望むこと

ケアマネジャーのスキルアップで望むことを聞いたところ、「成年後見制度などの知識」が 69.0％で最も多く、次いで「医療に関する知識」（66.2％）、「困難事例の検討」（64.8％）となっています。

＜図表 089＞　ケアマネジャーのスキルアップで望むこと（複数回答）【第１問 20】

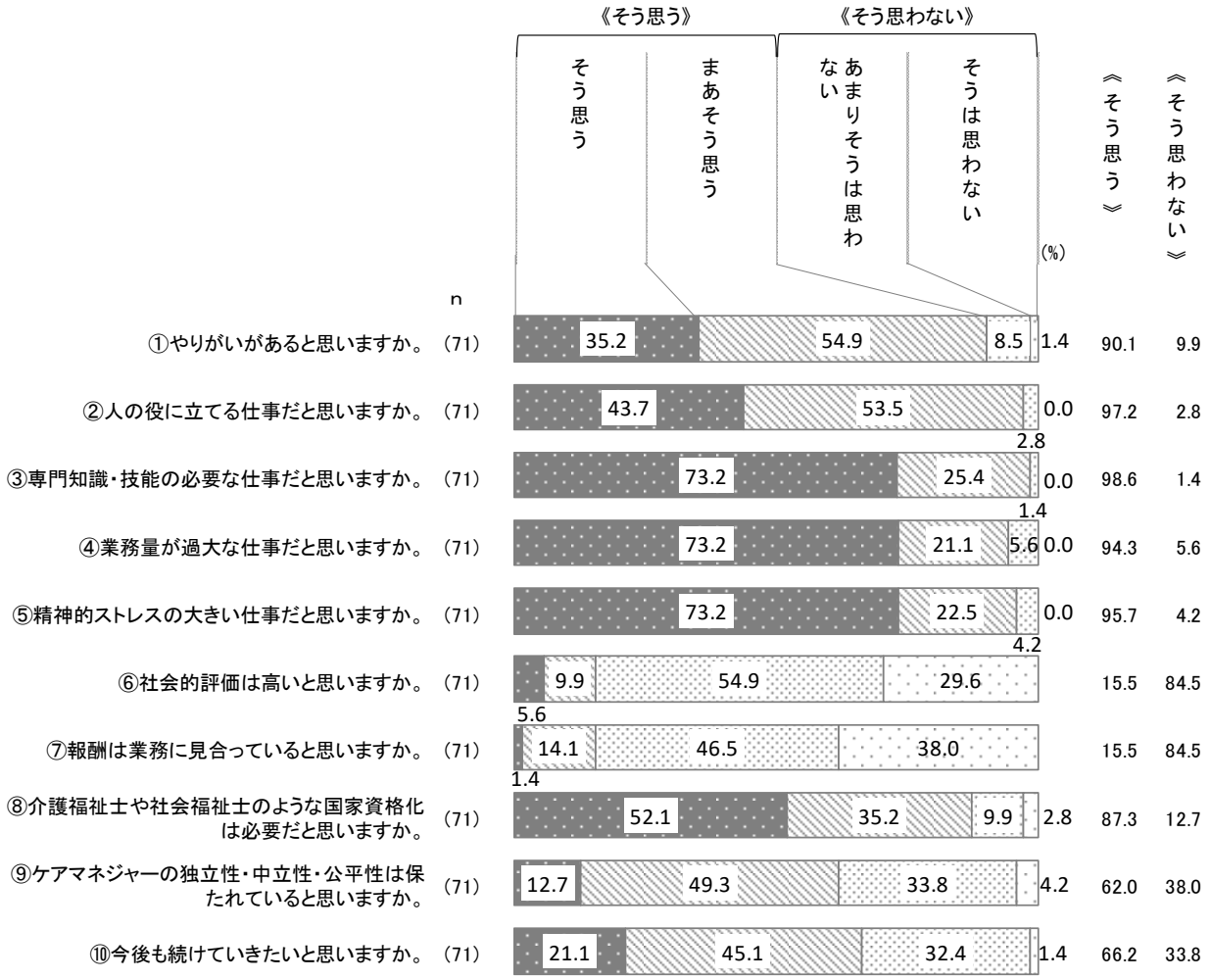


（26）ケアマネジャーの仕事についての考え

ケアマネジャーの仕事についての考えを聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた≪そう思う≫は、①やりがいがあると思いますか（90.1%）、②人の役に立てる仕事だと思いますか（97.2%）、③専門知識・技能の必要な仕事だと思いますか（98.6%）、④業務量が過大な仕事だと思いますか（94.3%）、⑤精神的ストレスの大きい仕事だと思いますか（95.7%）と９割を超えています。

一方、「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた≪そう思わない≫は、⑥社会的評価は高いと思いますか、⑦報酬は業務に見合っていると思いますかがともに 84.5%と８割を超えています。

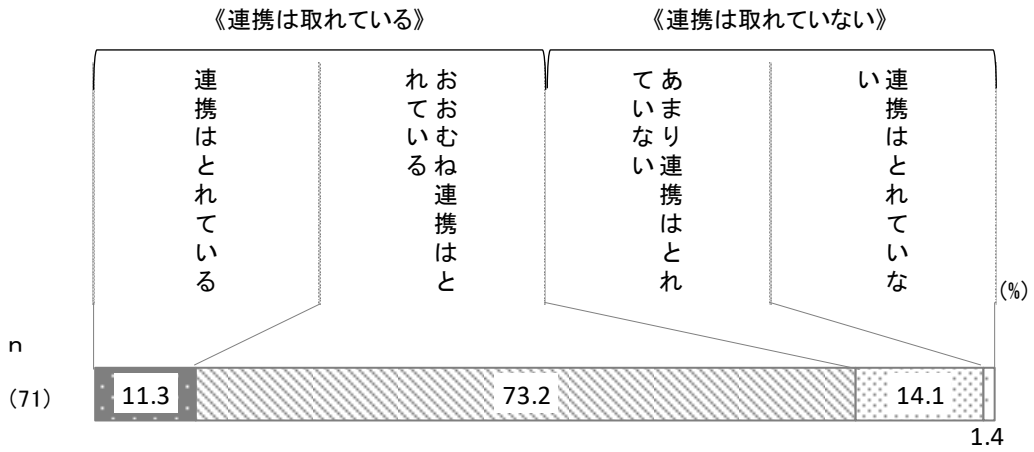
＜図表 090＞　ケアマネジャーの仕事についての考え【第１問 21】



（27）江別市内の在宅医療・介護連携

江別市内の在宅医療・介護連携を聞いたところ、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 84.5%となっています。

＜図表 091＞　江別市内の在宅医療・介護連携【第１問 22】



（28）江別市内の在宅医療・介護連携の状況についての意見（自由回答）

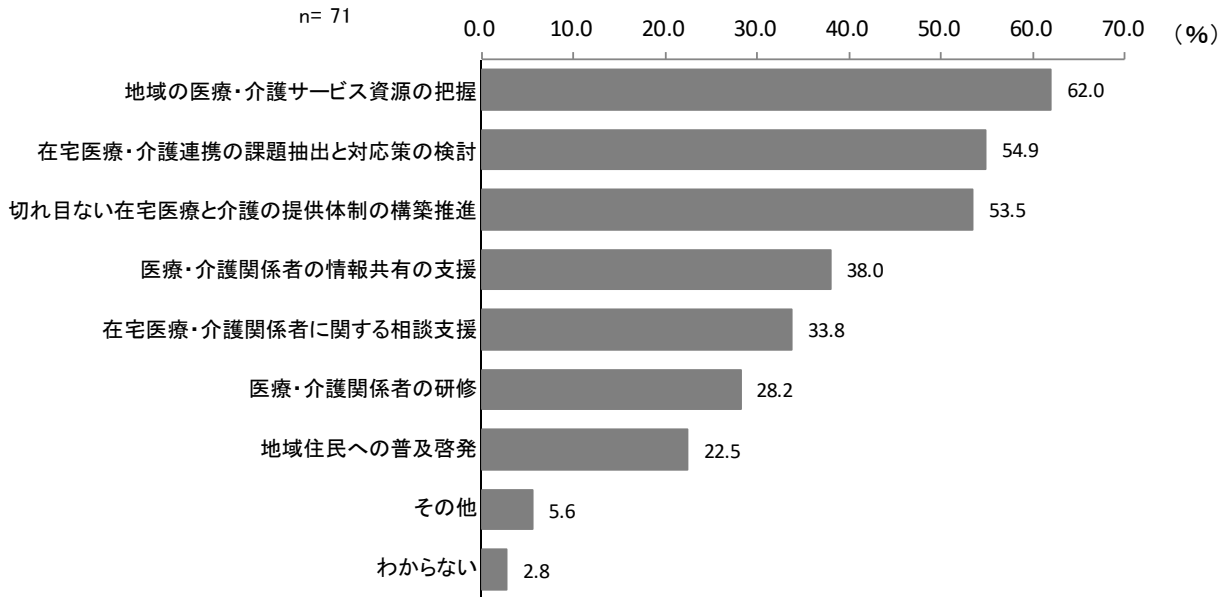
江別市内の在宅医療・介護連携の状況についての意見（【第１問 23】）として、下記の内容などが挙げられました。

・基本的には取りやすいが、時折一方的に要望を言われたりする。入院中の方の状況が分からないのに区変申請手続きの依頼とか。急遽一時的に(定期ではない)ヘルパーを入れるよう指示とか。
・必要時は電話連絡やメール等で即やり取りができる状況下にある。
・情報提供もしていただいており、相談にも対応してもらっています。
・訪問診療所とは、連絡が取りやすい。
・治療はしても、退院後の生活を考えて退院調整してくれる病院は少ない。退院数日前に、退院日だけ報告し、退院後のサービス調整どころか、「入院期間が迫っている」を理由に退院させられ、退院してから、また入院することもあった。
・入院時の情報提供をしても、内容に即した対応やフィードバックがないため、提供する意味がないように感じる。

（29）在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること

在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があることを聞いたところ、「地域の医療・介護サービス資源の把握」が 62.0%で最も多く、次いで「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」（54.9%）、「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」（53.5%）となっています。

＜図表 092＞　在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること（複数回答）【第１問 24】



（30）江別市内の在宅医療・介護連携を進めるための意見（自由回答）

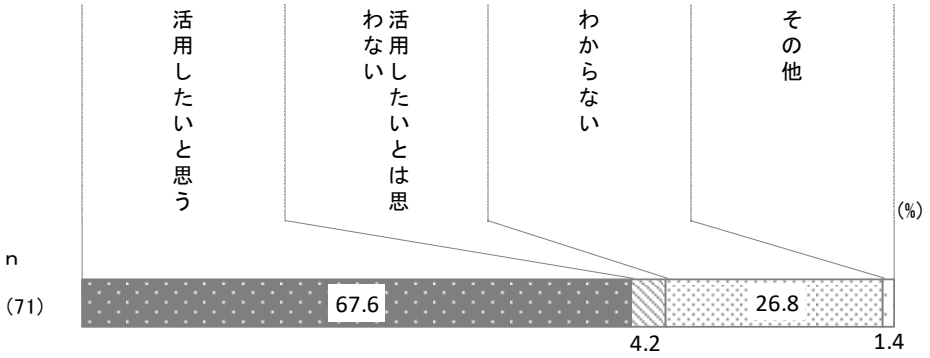
江別市内の在宅医療・介護連携を進めるための意見（【第１問 25】）として、下記の内容などが挙げられました。

・双方の課題抽出と共有、横並びの関係性構築。
・医師会との情報共有の場を設ける。
・ケアマネジャー、病院相談員など医療機関との情報共有の場が必要。
・話しの中心に、本人がいないことが、一番の問題。

（31）患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用

患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用を聞いたところ、「活用したいと思う」が 67.6%で最も多く、次いで「わからない」(26.8%)、「活用したいとは思わない」(4.2%）となっています。

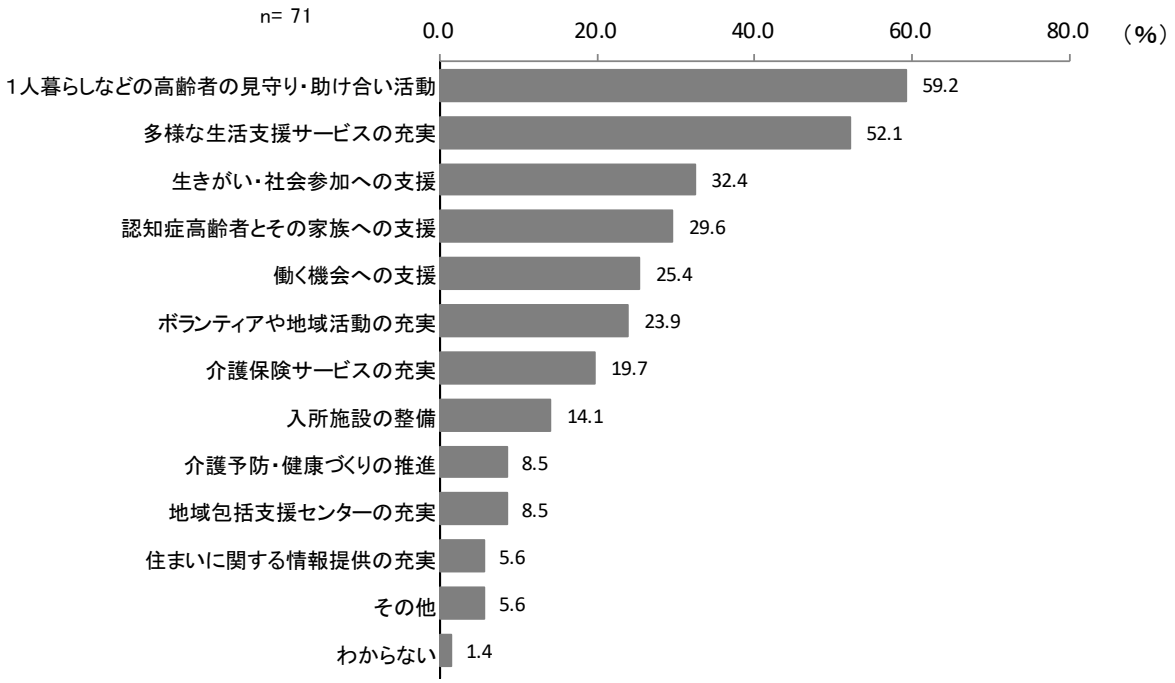
＜図表 093＞　患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用【第１問 26】



（32）自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと

自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいことを聞いたところ、「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」が 59.2%で最も多く、次いで「多様な生活支援サービスの充実」(52.1%)、「生きがい・社会参加への支援」(32.4%）となっています。

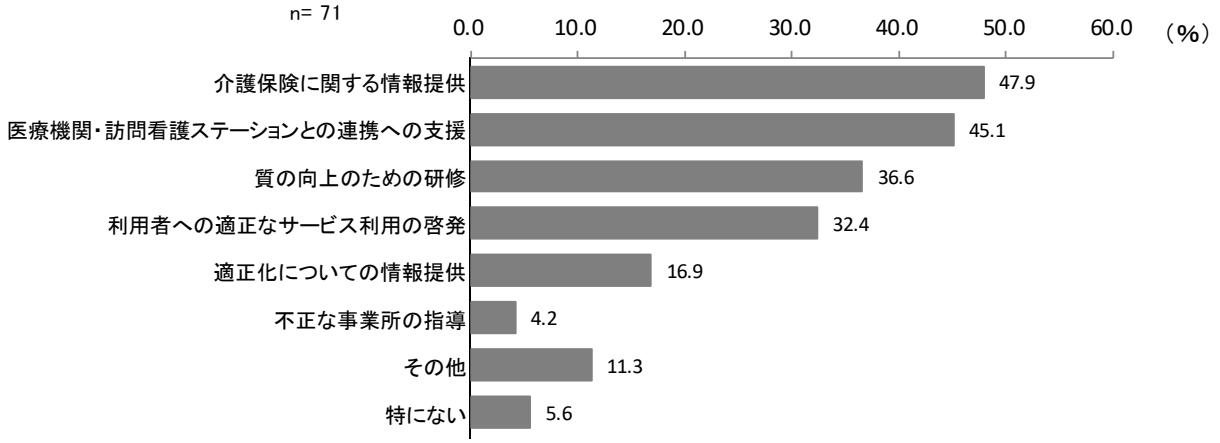
＜図表 094＞　自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと（３つまで）【第１問 27】



（33）ケアマネジャーの立場から保険者である江別市に望むこと

ケアマネジャーの立場から保険者である江別市に望むことを聞いたところ、「介護保険に関する情報提供」が 47.9%で最も多く、次いで「医療機関・訪問看護ステーションとの連携への支援」（45.1%）となっています。

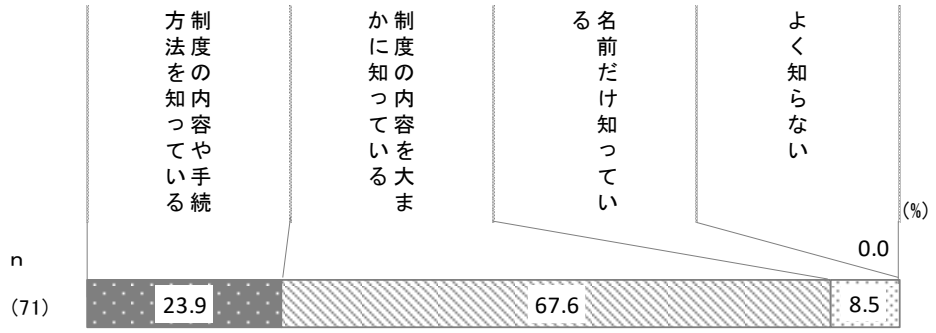
＜図表 095＞　ケアマネジャーの立場から保険者である江別市に望むこと（複数回答）【第１問 28】



（34）成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度を聞いたところ、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、91.5%となっています。

＜図表 096＞　成年後見制度の認知度【第２問１】

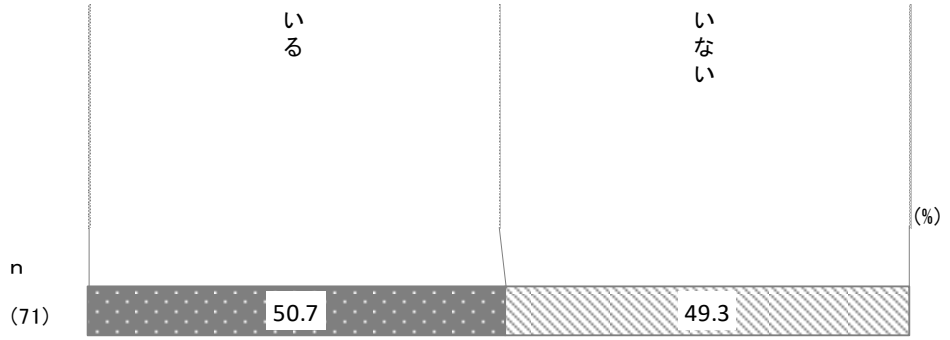


（35）支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無

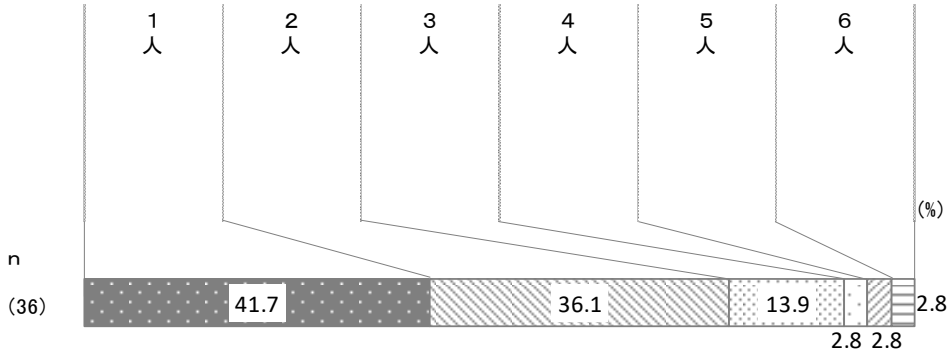
支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無を聞いたところ、「いる」が 50.7%、「いない」が 49.3%となっています。

また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数は、「１人」が 41.7%で最も多く、次いで「２人」（36.1%）、「３人」（13.9%）となっています。

＜図表 097＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無【第２問２】



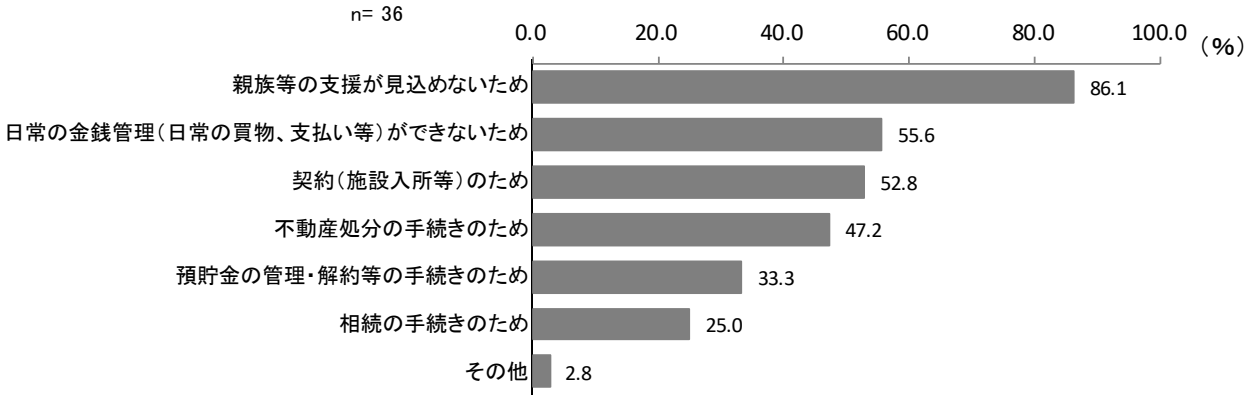
＜図表 098＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数【第２問２】



（36）成年後見制度の利用が必要と思う理由

支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方が「いる」と回答したケアマネジャーに、必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 86.1%で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」(55.6%)、「契約（施設入所等）のため」(52.8%）となっています。

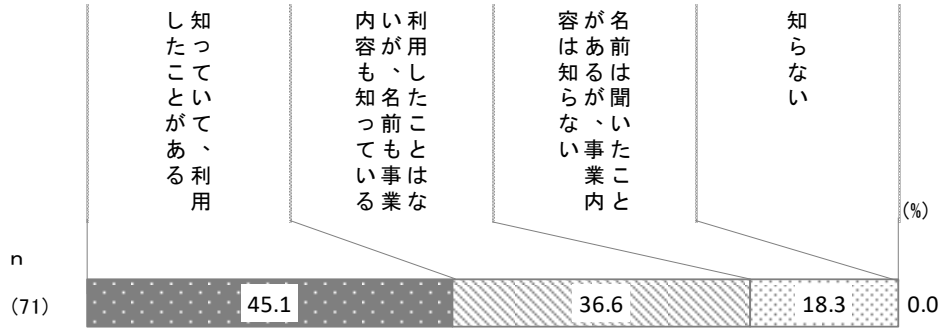
＜図表 099＞　成年後見制度の利用が必要と思う理由（複数回答）【第２問２－１】



（37）江別市成年後見支援センターの認知度

江別市成年後見支援センターの認知度を聞いたところ、「知っていて、利用したことがある」が 45.1%で最も多く、次いで「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」(36.6%)、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」（18.3%）となっています。

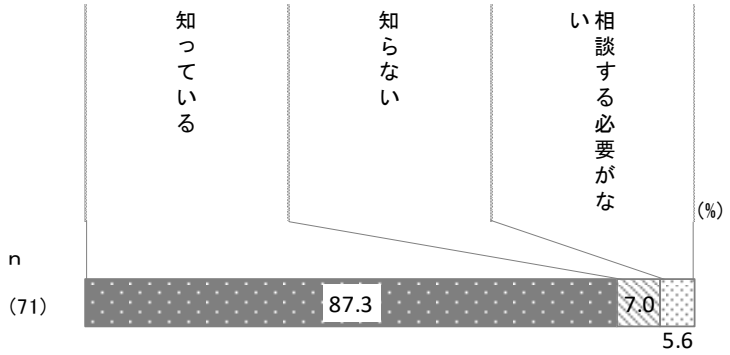
＜図表 100＞　江別市成年後見支援センターの認知度【第２問３】



（38）成年後見制度に関する相談先の認知度

成年後見制度に関する相談先の認知度を聞いたところ、「知っている」が 87.3%、「知らない」が 7.0%となっています。

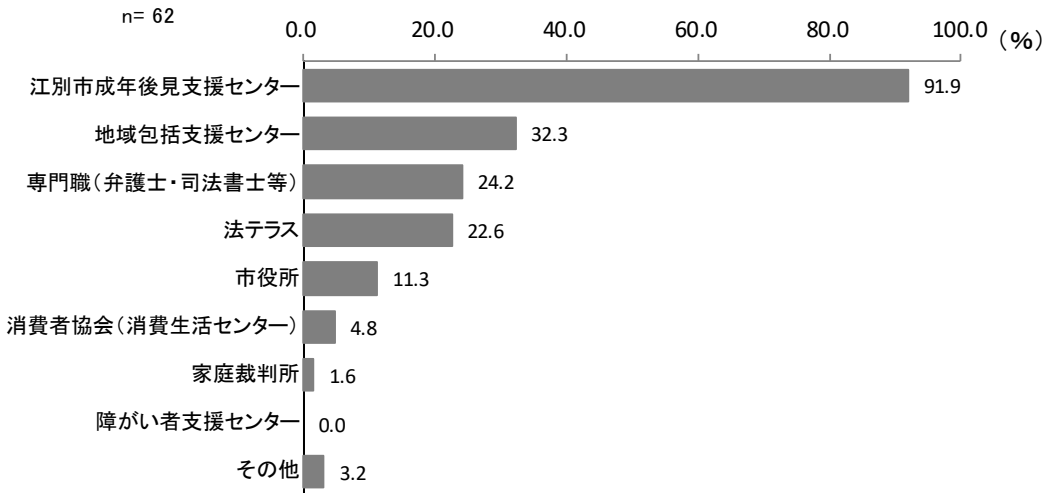
＜図表 101＞　成年後見制度に関する相談先の認知度【第２問４】



（39）成年後見制度に関する相談先

成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、「江別市成年後見支援センター」が 91.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(32.3%)、「専門職（弁護士・司法書士等)」(24.2%)となっています。

＜図表 102＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）【第２問４－１】



（40）成年後見制度に関する課題（自由回答）

成年後見制度に関する課題（【第２問５】）として、下記の内容などが挙げられました。

・貧困層は経済的な面で利用につなげにくい。
・低所得者の利用。また、成年後見を利用決定するまでの支援。
・制度を利用するまでに時間がかかる。
・成年後見制度の申し立てから選任までの時間がかかる。また、申し立ての費用も高く、報酬も高いことで、使いたくても使えない人がたくさんいる。長谷川式の検査 10 点以下でないと市の申し立て適応にならないと聞いたが、診断されていなくても知的障害、精神障害など、いろいろな障害が生活の支障になっているケースが多いため、もっと細やかな検査、もしくは条件の見直しが必要と思う。
・お金がかかること。

第５章　自由記入意見

１.市民向け調査の意見

意見・要望等の自由意見欄には、699 件（第１号被保険者 262 件、第２号被保険者 110 件、居宅サービス利用者 247 件、施設サービス利用者 39 件、サービス未利用者 41 件）の意見がありました。

本報告書では、紙面の都合上全てを記載することはできないため、意見の多かった内容を中心に掲載しています。

項目	件数
サービス内容・基盤整備に関する意見・要望	138
まちづくりに関する意見・要望	18
介護保険制度（保険料、自己負担等）に関する意見・要望	65
介護人材・担い手等に関する意見・要望	41
健康・介護予防・重度化防止に関する意見・要望	23
情報提供・相談に関する意見・要望	58
行政施策に関する意見・要望	129
就労や趣味、楽しみ、生きがいに関する意見・要望	15
アンケートについて	53
その他	159

※一度に複数の記載があるため、件数の合計と項目ごとの合計は一致しません。
※意見については内容の趣旨を踏まえ、要約して記載しています。

【サービス内容・基盤整備に関する意見・要望】

第１号被保険者
・自立生活ができなくなったときいつでも介護施設を利用できるよう充実してほしい。 ・高齢者施策として特に多様な生活支援を重点にサービスの充実をお願いします。 ・介護の基本は、できるだけ長く自宅で生活できることが一番大切で本人にとっても最大の幸せと考えます。また、本人の希望や意見を汲み取り、できる限りの介護を無理せず実施することがよいと思われます。
第２号被保険者
・予防も大事だと思いますが、予防してても介護は必要になることも多いので、まずは介護サービスの内容を充実させてほしいです。
居宅サービス利用者
・今後自分達が施設に入りたいと思ったとき、なかなかないという話を聞きますので、高額でないそういう施設の充実をお願いします。 ・デイサービスを利用してますが受身ではなく本人が充実していると感じるデイサービス・ショートステイにしてほしいです。
施設サービス利用者
・施設で決められたことをきちんと決められたようにしていただけるとありがたいです。

サービス未利用者
・一人暮らしなのでいつ死んだり病気で入院してもよいように…以後のことを全て任せることのできるサービスを低料金でできるものがほしいです。

【まちづくりに関する意見・要望】

第１号被保険者
・高齢者にとって買い物は楽しみの一つでもある。しかし、近くに買い物する施設が整っていない。 ・小規模、簡易なコミュニティ施設を配置してほしい。 ・高齢者が楽しい時間を過ごせる集まる場所があったらよい。
第２号被保険者
・もっと自治会の活用を考えるべきだと思います。 ・財源に限りがあり、高齢化が進むなか、多世代を巻き込んだ地域づくりが効果的なのではと思う。
居宅サービス利用者
・市内のバスを利用しているものとして、バスを増やしてほしい。 ・外出した際（徒歩）に途中で休憩できるベンチがあると休めて助かり外出もしやすい。
施設サービス利用者
・買い物や病院が近くにあるコンパクトシティ（高齢者住宅）だと、助け合いながら生活していけるかな。見守りするにもやりやすいのでは…。

【介護保険制度（保険料、自己負担等）に関する意見・要望】

第１号被保険者
・介護保険を利用したことがないのでわからないが必要になったときには、なるべく早く利用できるようにしてもらいたい。 ・年金生活になるのに介護保険が高すぎる。 ・年金額が少ないのに天引される介護保険料の金額が多すぎる。
第２号被保険者
・要介護程度により自己負担が高くなる。何のために 40 才から介護保険料を徴収されているのか。
居宅サービス利用者
・介護の充実を希望しますが、金銭的支出の増加はない方がよいと思います。 ・限られた原資を有効に使うためには、より必要としている人達に配分すべきと考えます。 ・介護サービスなど、もっと受けたいと思うが利用料の負担が経済的に重くて、家計を圧迫するので受けたくても、受けられないです。
施設サービス利用者
・介護保険料が年々高くなってきている印象がある。年金生活者が不安なく利用できる程度の保険料で抑えてほしい。
サービス未利用者
・自分で自分のことができなくなったとき、どこかに入所するにも安い年金では入る所がない。 ・支援を受けたいのは山々ですが費用がかかるのが心配です。

【介護人材・担い手等に関する意見・要望】

第１号被保険者
・介護職の方々の報酬、人材不足等の問題で、今後自分が利用するときの在宅サービスがどのようになっているのかとても不安です。 ・高齢者が更に増える中、外国人採用を労働者目線ではなく人材として導入してほしい。
第２号被保険者
・介護施設などの現場で働く人たちの過酷な労働環境や低賃金、社会的評価の低さなどを改善することにも力を入れてほしい。 ・介護する側も介護される側も、生きがいややりがいを見いだせるような仕組みを構築していき、気持ちにゆとりが持てるような関係性を築いていける介護を実現してほしい。
居宅サービス利用者
・介護、看護スタッフの報酬アップ（離職防止）。 ・介護士の待遇を改善していくには制度自体や構造的な改革が必要と思われる。 ・いろいろな施設を見学しましたが、職員の方が疲れていたり、体を動かす施設はあるものの指導員が不足しているのが見受けられました。費用と人件費、切り捨てにならない施策が必要だと思います。
施設サービス利用者
・介護職員の人手不足を改善してほしい。それには給与面の充実を。 ・施設職員給料アップ！！すぐ辞めていく方が多すぎる…

【健康・介護予防・重度化防止に関する意見・要望】

第１号被保険者
・スポーツを義務、或いは補助して高齢者の健康寿命を延ばすことの方が得策だと思います。 ・高齢者向けスポーツ、体操の企画も沢山あればいいと思います。 ・足腰が不自由になる前に、予防にもっともっと力点を置いた政策をとったらどうでしょうか。
第２号被保険者
・高齢者が外出しやすくなるよう、交通手段を充実させる（乗り合いタクシー、バス等）　健康寿命を延ばすための講座を充実させる。
居宅サービス利用者
・介護予防・健康づくりの推進をもっと広く推し進めてほしいと思います。 ・介護予防、健康づくりのため、特に冬期間安心して歩くことができる歩道の整備やショッピングモールの充実が必要。

【情報提供・相談に関する意見・要望】

第１号被保険者
・どのような相談窓口があるのか知りたいのですが自身での行動は難しいので市広報の情報のみが頼りです。地域ごとの細やかな情報に期待してます。 ・制度等の利用を必要とする方々は高齢者がほとんどと思われるので、制度等の内容をしっかり理解しているかどうかのサポートが大事であると考えます。 ・困ったときの相談事がスムーズにできる、そんな窓口が各所に存在しているよう望む。
第２号被保険者
・とにかく情報や相談窓口を充実してほしい。また、話を聞いてくださる人もいてほしいです。 ・介護サービス、保険、介護申請等、全てにおいて、わかりづらいことが多いため、もっと、万人にわかるようにしてほしい。 ・はじめての介護で不安な家族に対して、様々な事例や事業所の情報、見学などができる場があると良かった。
居宅サービス利用者
・市などでの介護、支援の告知が足りないように思う。どこに支援を求めてよいか最初わからなかった。 ・家族の支援－話やぐちなど聞いてくれる所など場所や集りがあるか知りたい。 ・利用者の意見を聞いてくれる窓口がほしい。
施設サービス利用者
・限度額や高額になったときなど、金額に関する様々なことが知らなかったりわかりにくいので、もう少しスマートに手続きできるようにしてほしい。
サービス未利用者
・今あるサービスがどんなサービスなのか、どこにいくとそれが解るのか？最初の入口が解かりません。 ・介護とか支援についてよく知らない方がおります。もう少し市でやっていることについてＰＲしてもよいと思います。

【行政施策に関する意見・要望】

第１号被保険者
・交通事故防止の観点から運転免許証の返納が勧められていますが、このことによって日常生活や高齢者の外出等が大きく制限されます。これらを解消するためにも公共交通への公的支援を希望します。 ・高齢者自身は新しい発想とか行動が乏しいので、異世代交流とか市役所の企画力、行動力を活かすという支援が必要だと思う。 ・高齢になり車の運転ができなくなり、買物や外出、病院通いなどが年々困難となりタクシー代も高く困るので、江別市内を巡回するバスがあればよいと常に思う。
第２号被保険者
・介護されている家族と育児をしている家族は、同じように自治体で支えてほしい。江別市は斬新なアイデアで街を盛り上げてほしい。

・年金受給額には人それぞれ大小があるので、生活が苦しまないよう受給額によって支払が困らないよう同じサービスが受けられるような行政の仕組みが必要と考えます。 ・自身の親の介護をしているときに、収入がないときに金銭的な支援をしてくれる制度などがあるとよい。
居宅サービス利用者
・交通機関を利用するときの 80 才以上の人は無料のパスポートがあればありがたいです。 ・病院に行く支援、タクシー代の割引、除雪などあればよいです。 ・賃貸住宅に入居し、介護保険サービスを受けている人をなるべく市営住宅に入居できるようにしてくれると嬉しいです。
施設サービス利用者
・家屋の処分についてワンストップで手引きしていただけるような窓口がほしい。補助についても説明は受けたがあとは自分でということで具体的にどうしていいのかはっきり解らなかった。
サービス未利用者
・高齢者が通院、買い物等、また健康維持のための移動をサポートする対策の充実（交通費助成、巡回バスなど)。 ・見守りサービスを気軽に頼めるように。

【就労や趣味、楽しみ、生きがいに関する意見・要望】

第１号被保険者
・毎日仕事もしながら、それを元気の源と過ごしています。個々に生きがい～自分がまだ必要とされていると感じて生きていけたら、元気でいられると実感しています。仕事でなくても好きな趣味など、行ってみようかな～と思う企画お願いします。人と会うことが私は元気で過ごせる近道と思っています。 ・65 才以上でも充実した生活を過ごせる状況作り→働きたい人が働きつづけられる場所（公的な所も含め)。
第２号被保険者
・70 才でも 80 才でも働ける場所を確保してほしい。 ・年齢を重ねても、趣味などを通じて自分自身で人生を充実させることが一番重要と思う。

【アンケートについて】

第１号被保険者
・この年齢になってまだ他人事として考えている自分を先ず見直さなくてはとアンケートを通して反省しています。 ・最近、一人暮しになり、このアンケート調査を読んで、介護保険サービスなどの内容が理解できました。少し勉強したいと思います。 ・アンケートを見て近い将来の自分のこととしてあらためて調べて見たいと思ました。気づかせてくれてありがとうございました。 ・アンケートが多い。いま現在介護が必要としていないので実感が湧かない。
第２号被保険者
・このアンケートだけでは回答できないことが多すぎる。 ・文章が難しいのでもう少し簡単に書いてほしい。
居宅サービス利用者
・介護を必要とする高齢者にとって、いろいろな観点から問題点を提起させて今後おこりえる状況を各個人に問いかける内容には心から希望が感じられました。 ・アンケート記載するのは本人は難しいので直接インタビュー式とかにしてほしい。 ・居宅サービス受けている人に対し難しい質問があったと思います。選択肢に「回答できない」「質問の内容が理解できない」というのがあればもっと答えやすかったです。

【その他】

第１号被保険者
・まだ実感が湧かない年齢だけど老後は相談に乗ってくれる住みやすい福祉になるといいです。 ・今後いつ利用することになるかわからない制度を改めて、知らなければいけないと思います。 ・実際のところまだ必要に迫られていなく実感が湧かない。今後必要になり制度の支援不足等を利用するときに参考にさせていただきたい。
第２号被保険者
・男性の家事能力の確保は重要だと思います。最低限の生活能力をなるべく早く、独居老人になる前に身につける機会や環境があればいいなと思ってます。 ・わからないことが多く身内にも介護を必要としているものもいないのでこれから勉強できたらと思っています。
居宅サービス利用者
・若い方にだけ頼るのではなくリタイヤした元気な人達が少しの報酬でボランティアしながらみんなで支え合うのはどうでしょう。お金がかかるのは大変です。
サービス未利用者
・これからどんどん高齢化社会になり不安を考えたら数え切れないほどあります。

２.事業系調査の意見

意見・要望等の自由意見欄には、26 件（介護保険サービス事業者 11 件、高齢者向け住宅事業者２件、ケアマネジャー13 件）の意見がありました。

本報告書では、紙面の都合上全てを記載することはできないため、意見の多かった内容を中心に掲載しています。

項目	件数
介護人材・担い手等に関する意見・要望	6
介護保険に関する意見・要望	6
行政施策に関する意見・要望	13
その他	3

※一度に複数の記載があるため、件数の合計と項目ごとの合計は一致しません。
※意見については内容の趣旨を踏まえ、要約して記載しています。

【介護人材・担い手等に関する意見・要望】

介護保険サービス事業者
・今後の介護の担い手の確保が更に厳しくなるのではと、現場としては心配です。給与面などの待遇が改善されていくことを希望します。待遇が良くなれば、それなりに介護業界に興味を持っていただくことができるかと思います。
高齢者向け住宅事業者
・現状、訪問介護事業者が人手不足で、サービスを依頼しても受けられないことがある。総量規制により新たに介護保険サービス事業を行うことができない現状では、いつまでも利用者へのサービス提供不足が改善されないと思います。
ケアマネジャー
・今回の実態調査は、江別市の本気を感じます。今、働いている若手の介護従事者が燃え尽きてしまわないような持続可能な支援の仕組みを望みます。

【介護保険に関する意見・要望】

介護保険サービス事業者
・新たなサービスをするより、現在のサービスを充実させてほしいです。訪問介護の高齢化は我が社も同じで平均年齢 60 歳、70 代が６名就労しています。老老介護です。継ぎ手がいません。
高齢者向け住宅事業者
・介護保険法改正によりご利用様がご理解していただくのは大変なことです。職員が把握しながら説明するのはただでさえ人手不足なので混乱を招き職員の退職にもつながると思います。

ケアマネジャー
・在宅介護は限界があり、特に独居の方、認知症の方の 24 時間見守りサービス（特に夜間）があればよいと思います。精神科病院が増えてほしい。 ・制度の理解を得ることが難しい方が増えているので、わかりやすいパンフレットがあると助かります。

【行政施策に関する意見・要望】

介護保険サービス事業者
・施策等、大変だと思います。2040 年問題を考えると、自分自身もこの先が不安になります。ＩＣＴが必然になりますがそれを操作するのも高齢になるので、よろしくお願いします。 ・近年、物価がどんどん高騰しております。施設運営においても、設備の修繕や福祉機器の購入等においても値上がりが見られております。中でも食費に関しては、基準費用額では賄えない状況になっており、食費だけで見た場合に稼働率が上がっても食費は赤字になっております。介護報酬の見直しを物価に合わせて、少なくとも赤字にならず健全な運営ができるような単価設定にしていただきたいです。
ケアマネジャー
・居宅事例検討会や自立支援型地域ケア会議など負担を減らしてもらいたい。 ・在宅介護を進める上で、圧倒的に在宅医療の資源が少ないと思われるので、医療の社会資源を増やしていければ、より在宅介護のサービスが充実するかと思います。

【その他】

介護保険サービス事業者
・いろいろと課題はあると思いますがおおむね良くできていると思っています。
ケアマネジャー
・アンケート質問項目が多く大変でした。何分くらいかかるのか、何問あるのかを最初に明示してほしかったです。

第６章　資料編　調査票

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
調　査　票
【第１号被保険者】

■記入方法

・この調査は、令和８年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった**指定がない限りは、あてはまる数字１つに○**をつけてください。
　設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
　「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

＜該当する選択肢の番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください＞

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　　２．女性

問２．令和８年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．６５～６９歳　　２．７０～７４歳　　３．７５～７９歳
４．８０～８４歳　　５．８５歳以上

問３．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。

１．介護認定なし　　２．要支援１　　３．要支援２

問４．現在、どちらにお住まいですか。太枠内の地区名に○を付けてください。

１．江別地区	【参考】←１～３に○をつけてください。	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
２．野幌地区		錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
３．大麻地区		文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

問５．家族構成をお教えください。

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）
３．夫婦２人暮らし（配偶者６４歳以下）　　４．息子・娘との２世帯（子と同居を含む）
５．その他（　　）

問６．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

１．持家（一戸建て）　　２．持家（集合住宅）
３．公営の賃貸住宅　　４．民間の賃貸住宅（一戸建て）
５．民間の賃貸住宅（集合住宅）　　６．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
７．社宅・間借り　　８．その他（　　）

問７．あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1．介護・介助は必要ない
2．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3．現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問８．現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1．大変苦しい　2．やや苦しい　3．ふつう
4．ややゆとりがある　5．大変ゆとりがある

問９．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活を続けたい　2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

問 10．もしあなたご自身の介護が必要となった場合、どこで生活をしたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活をしたい　2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

第２　からだを動かすことについて

問１．階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

問２．椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

問３．１５分位続けて歩いていますか。

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

問４．過去１年間に転んだ経験がありますか。

1．何度もある　2．１度ある　3．ない

問５．転倒に対する不安は大きいですか。

1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

問６．週に１回以上は外出していますか。

1．ほとんど外出しない　2．週１回　3．週２～４回　4．週５回以上

問７．昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

1．とても減っている　2．減っている
3．あまり減っていない　4．減っていない

問８．外出を控えていますか。

1．はい　⇒　問８－１へ　2．いいえ　⇒　第３の問１へ

問８－１．（問８で「１．はい」と回答した方のみ）
外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

1．病気　2．障害（脳卒中の後遺症など）
3．足腰などの痛み　4．トイレの心配（失禁など）
5．耳の障害（聞こえの問題など）　6．目の障害
7．外での楽しみがない　8．経済的に出られない
9．交通手段がない　10．その他（　　）

第３　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 160 cm　体重 50 kg）

身長　　cm　　体重　　kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

1．はい　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
2．いいえ
3．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1．はい　2．いいえ

問４．歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて３２本です）

1．自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用　2．自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3．自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用　4．自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問５．１日３食食べていますか。

1．はい　2．いいえ

問６．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

1．毎日ある　2．週に何度かある　3．月に何度かある
4．年に何度かある　5．ほとんどない

第４　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問３．自分で食品・日用品の買物をしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問４．自分で食事の用意をしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問５．自分で請求書の支払いをしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問６．自分で預貯金の出し入れをしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

第５　地域での活動について

問１．以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①－⑧それぞれに１つずつ回答してください。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 通いの場 ※「通いの場」とは、体操等を定期的に行う住民主体の団体	1	2	3	4	5	6
⑥ 高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問２．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

１．是非参加したい　　２．参加してもよい
３．参加したくない　　４．既に参加している

問３．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

１．是非参加したい　　２．参加してもよい
３．参加したくない　　４．既に参加している

問４．（問１で「６．参加していない」または問２、問３で「３．参加したくない」と回答した方のみ）
地域での活動に参加したくない理由を教えてください。（いくつでも）

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
３．参加したいと思う活動がないから
４．自宅の近くに活動の場がないから
５．団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから
６．どんな団体や活動があるのか知らないから
７．職場などでサークル活動などに参加しているから
８．健康や体力に自信がないから
９．地域の活動には関心がないから
10．外出する手段がないから（送迎や誰かの手助けが必要）
11．その他（　　）

問５．今後、あなたが地域活動などに参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも）

１．活動情報の提供があること　　２．活動や団体を紹介してくれること
３．友人等と一緒に参加できること　　４．気軽に参加できそうな活動があること
５．ＮＰＯ団体や自主サークルの立ち上げ支援があること
６．活動拠点となる場所があること　　７．時間や期間にあまりしばられないこと
８．身近なところで活動できること　　９．適切な指導者やリーダーがいること
10．身体的な負担が少ないこと　　11．金銭的な負担が少ないこと
12．その他（　　）　　13．どのような条件でもできない

第６　就労について

問１．現在のあなたの就労状態はどれですか。（いくつでも）

１．職に就いたことがない　２．引退した　３．常勤（フルタイム）
４．非常勤（パート・アルバイト等）　５．自営業　６．求職中
７．その他

問１－１．（問１で「２．引退した」と回答した方のみ）
あなたはいつ引退しましたか。

１．昭和 □□ 年　２．平成 □□ 年　３．令和 □□ 年

第７　たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問１．あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問２．反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問３．あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問４．反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問５．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）

１．自治会　２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー　４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・市役所　６．その他（　　）
７．そのような人はいない

問６．この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。ただし、同じ人には何度会っても１人と数えることとします。

１．０人（いない）　２．１～２人　３．３～５人
４．６～９人　５．１０人以上

第８　健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい　２．まあよい　３．あまりよくない　４．よくない

問２．あなたは、健康づくりに対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問３．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸　　とても幸せ
０点　１点　２点　３点　４点　５点　６点　７点　８点　９点　１０点

問４．この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

１．はい　２．いいえ

問５．この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

１．はい　２．いいえ

問６．この１か月間、睡眠で休養が充分とれていますか。

１．充分とれている　２．まあまあとれている
３．あまりとれていない　４．全くとれていない

問７．タバコは吸っていますか。

１．ほぼ毎日吸っている　２．時々吸っている
３．吸っていたがやめた　４．もともと吸っていない

問８．現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

１．ない	２．高血圧
３．脳卒中（脳出血･脳梗塞等）	４．心臓病
５．糖尿病	６．高脂血症（脂質異常）
７．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	８．胃腸・肝臓・胆のうの病気
９．腎臓・前立腺の病気	10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11．外傷（転倒・骨折等）	12．がん（悪性新生物）
13．血液・免疫の病気	14．うつ病
15．認知症（アルツハイマー病等）	16．パーキンソン病
17．目の病気	18．耳の病気
19．その他（　　）	

問９．あなたは、介護予防に対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問 10．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている　⇒　９ページ問 11 へ
２．ときどき受けている　⇒　９ページ問 11 へ
３．受けてない　⇒　問 10−１へ

問 10−1．（問 10 で「３．受けてない」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった	２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる	４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である	６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい	８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）	10．特に理由はない

問 11．あなたは、訪問診療（歯科含む）を受けていますか。

１．受けている　⇒　問 11−１へ　　２．受けてない　⇒　問 12 へ

問 11−1．（問 11 で「１．受けている」と回答した方のみ）
どちらの訪問診療を利用されていますか。

１．江別市内　　２．江別市外　　３．どちらも

問 11−2．（問 11 で「１．受けている」と回答した方のみ）
訪問診療を１ヶ月に何回受けていますか。

１．１回	２．２回	３．３回
４．４回	５．５回以上	

問 12．あなたは、健康を維持するために、心がけていることはありますか。（いくつでも）

１．ウォーキングなどの運動・体操をする	２．趣味を持つ
３．食事の栄養バランスに気をつける	４．休息や睡眠をとるようにする
５．規則正しい生活を心がける	６．外出
７．その他（　　）	８．特にない

第９　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい　　２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。<u>あなたが思う最も近いものを１つだけ</u>お答えください。

１．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
２．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
３．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
４．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
５．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
６．その他（　　）
７．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

１．親族	２．地域包括支援センター
３．市役所	４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所	６．社会福祉協議会
７．民生委員	８．自治会
９．友人	10．近隣住民
11．その他（　　）	12．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

１．不安に思う　　２．今は大丈夫だが将来不安　　３．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

１．親族	２．地域包括支援センター
３．市役所	４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所	６．社会福祉協議会
７．民生委員	８．自治会
９．友人	10．その他（　　）
11．特にない	

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

１．知っている　　２．聞いたことはある　　３．知らない

第10　あなたが受けている手助けについて

問１．現在、あなたが受けている手助けについて、以下のＡ・Ｂそれぞれお答えください。
Ａ欄：あなたは、Ａ欄のような手助けを家族や家族以外の人から受けていますか。
Ｂ欄：Ａ欄で○をつけた手助けは誰から受けていますか。

【Ａ　欄】受けている手助け（ア～ケのうち、該当するものはいくつでも。受けていない場合は「コ.」に○）	【Ｂ　欄】手助けをしてくれる人（１～11のうち、該当するものはいくつでも）										
	1 同居の家族	2 別居の家族や親戚	3 自治会や近所の人	4 友人・知人	5 市役所	6 地域包括支援センター	7 社会福祉協議会	8 民生委員	9 ホームヘルパーなどの民間事業者	10 ボランティア・ＮＰＯ団体	11 その他（　）
ア．安否確認の声かけ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
イ．ちょっとした買い物やゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ウ．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
エ．食事の提供（会食・配食など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
オ．通院や外出の手助け	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
カ．電球交換や簡単な大工仕事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
キ．話し相手や相談相手	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ク．冬期間の除雪	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ケ．その他（　）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
コ．いずれも受けていない											

問２．あなたは、必要なのに受けていない手助けがありますか。（いくつでも）

１．安否確認の声かけ	２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け	６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手	８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け	10．その他（　　）
11．特にない	

問３．あなたはちょっとした手助け（家事や買い物など）を家族以外の近所の人にお願いすることができますか。

１．お願いできる　　２．お願いできない　　３．わからない

問４．あなたは、家族以外の近所の人からちょっとした手助け（家事や買い物など）をお願いされたら引き受けますか。

１．引き受ける　　２．引き受けない　　３．わからない

問５．（高齢者のみならず）地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（３つまで）

１．安否確認の声かけ
２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い
４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け
６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手
８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け
10．その他（　　）
11．特にない

第 11　高齢者の健康と福祉へ望むこと

問１．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる　　２．いない

問２．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問３．地域包括支援センターを知っていますか。

１．知っている　　２．聞いたことはあるが何をするところかは知らない
３．知らない

※ 地域包括支援センターとは、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、高齢者の総合的な支援窓口としての役割を担う機関です。

問４．地域包括支援センターに、あなたが特に期待するのはどれですか。（３つまで）

１．地域での介護予防の普及や教室の開催
２．介護保険制度や福祉制度の総合相談窓口
３．様々な困りごとの相談窓口
４．認知症の早期発見や予防に関する情報の発信
５．介護技術や様々な介護に関する情報の発信
６．高齢者虐待・悪徳商法などから高齢者を守る活動
７．成年後見制度の案内や利用支援
８．自治会・民生委員など福祉のネットワークの構築
９．病院など医療関係者とのネットワークの構築
10．地域の高齢者を見守る中心的存在
11．ケアプランの作成
12．その他（　　）
13．特に期待することはない

※ 成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

第 12　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている　　２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている　　４．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

１．現在利用している　⇒ 14 ページ問３へ　　２．今後利用したい　⇒ 14 ページ問３へ
３．利用は考えていない⇒ 問２－１へ　　４．わからない　⇒ 問２－１へ

問２－１．（問２で「３．利用は考えていない」または「４．わからない」と回答した方のみ）成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

１．どうやって手続きしたらよいかわからない
２．利用すると、どんな効果があるかわからない
３．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
４．誰が成年後見人になるか不安
５．家族との違いがわからない
６．不正が怖い
７．その他（　　）

問３．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

１．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	２．身の回りのことができなくなってきたこと
３．自分自身の将来	４．財産の管理や家（土地）等の処分
５．借金問題	６．悪徳商法等に騙されること
７．身体的（病気等）なこと	８．契約（施設入所等）ができないこと
９．親亡き後の子どもの将来（生活等）	10．相続や遺言について
11．その他（　　）	
12．不安に思っていることはない	

問４．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所	２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター	４．障がい者支援センター
５．法テラス	６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）	８．消費者協会（消費生活センター）
９．どの機関に相談してよいかわからない	10．相談をする必要がない
11．その他（　　）	

第 13　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

１．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
２．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
３．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
４．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
５．その他（　　）
６．わからない

問２．介護保険サービス（訪問介護や住宅改修など）を利用する際には、要介護認定を受ける必要があることを知っていますか。

１．知っている	２．知らない

問３．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

１．生きがい・社会参加への支援	２．働く機会への支援
３．ボランティアや地域活動の充実	４．介護予防・健康づくりの推進
５．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動	
６．多様な生活支援サービスの充実	７．介護保険サービスの充実
８．入所施設の整備	９．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実	11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）	13．わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）まで　に返送してください。

２．第２号被保険者

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
調　査　票
【第２号被保険者】

■記入方法

・この調査は、令和８年１月１日現在の状況についてお答えください。

・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。

・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった**指定がない限りは、あてはまる数字１つに○**をつけてください。
設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

＜該当する選択肢の番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください＞

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　　２．女性

問２．令和８年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４４歳　　２．４５～４９歳　　３．５０～５４歳
４．５５～５９歳　　５．６０歳以上

問３．現在、どちらにお住まいですか。太枠内の地区名に○を付けてください。

１．江別地区	【参考】←１～３に○をつけてください。	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
２．野幌地区		錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
３．大麻地区		文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

問４．家族構成をお教えください。

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし
３．親と同居　　４．子と同居
５．親と子と同居　　６．その他（　　）

問５．現在、介護を必要とする高齢者などと同居（２世帯住宅を含む）していますか。

１．介護を必要とする高齢者などと同居している
２．今はいないが、今後同居する予定がある
３．同居していない
４．その他（　　）

問６．あなたは親子の同居について、どのように考えますか。

1．できる限り一緒に暮らすのがよい
2．親が元気なうちは別居し、身体が弱ったら一緒に暮らすのがよい
3．近所に住んで行き来ができれば、別居するほうがよい
4．できれば、別居するほうがよい
5．その他（　　）

問７．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

1．持家（一戸建て）　2．持家（集合住宅）
3．公営の賃貸住宅　4．民間の賃貸住宅（一戸建て）
5．民間の賃貸住宅（集合住宅）　6．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
7．社宅・間借り　8．その他（　　）

問８．あなたは現在、育児や介護をしていますか。

1．育児のみをしている　2．介護のみをしている
3．育児と介護の両方をしている　4．どちらもしていない

問９．現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1．大変苦しい　2．やや苦しい　3．ふつう
4．ややゆとりがある　5．大変ゆとりがある

問 10．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活を続けたい
2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

問 11．もし、あなたご自身の介護が必要となった場合、どこで生活をしたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活をしたい
2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

問 12．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたですか。（いくつでも）

1．自治会　2．社会福祉協議会・民生委員
3．ケアマネジャー　4．医師・歯科医師・看護師
5．地域包括支援センター・市役所　6．その他（　　）
7．そのような人はいない

第２　からだを動かすことについて

問１．週に１回以上は外出していますか。

1．ほとんど外出しない　2．週１回　3．週２～４回　4．週５回以上

問２．昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

1．とても減っている　2．減っている
3．あまり減っていない　4．減っていない

第３　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 160 cm　体重 50 kg）

身長　　cm　　体重　　kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

1．はい　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
2．いいえ
3．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1．はい　2．いいえ

問４．１日３食食べていますか。

1．はい　2．いいえ

問５．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

1．毎日ある　2．週に何度かある　3．月に何度かある
4．年に何度かある　5．ほとんどない

第４　健康について

問１．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている　⇒　**問２へ**　　２．ときどき受けている　⇒　**問２へ**
３．受けてない　⇒　**問１−１へ**

問１−１．（問１で「３」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった　　２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる　　４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である　　６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい　　８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）　10．特に理由はない

問２．あなたは、通院によって、医師にどのくらいの頻度でみてもらっていますか。

１．週に４回以上　⇒　**問２−１へ**　　２．週に２・３回　⇒　**問２−１へ**
３．週に１回　⇒　**問２−１へ**　　４．月に２回　⇒　**問２−１へ**
５．月に１回　⇒　**問２−１へ**　　６．通院していない　⇒　**問３へ**

問２−１．（問２で「１」～「５」のいずれかに回答した方のみ）
通院している主な原因はなんですか。（いくつでも）

１．高血圧　　２．脳卒中（脳出血･脳梗塞等）
３．心臓病　　４．糖尿病
５．高脂血症（脂質異常）　　６．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
７．胃腸・肝臓・胆のうの病気　　８．腎臓・前立腺の病気
９．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）　10．外傷（転倒・骨折等）
11．がん（悪性新生物）　　12．血液・免疫の病気
13．うつ病　　14．認知症（アルツハイマー病等）
15．パーキンソン病　　16．目の病気
17．耳の病気　　18．その他（　　）

問３．自力で通院出来なくなった場合、どのような方法で医師にみてもらいたいですか。（いくつでも）

１．訪問診療（往診）　　２．介護タクシーで通院
３．家族の付き添いで通院　　４．ヘルパーの付き添いで通院
５．ボランティアの付き添いで通院　　６．その他（　　）

問４．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる　　２．いない

問５．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問６．あなたは、健康を維持するために、心がけていることはありますか。（いくつでも）

１．ウォーキングなどの運動・体操をする　　２．趣味を持つ
３．食事の栄養バランスに気をつける　　４．休息や睡眠をとるようにする
５．規則正しい生活を心がける　　６．外出
７．その他（　　）　８．特にない

第５　高齢期の健康と福祉へ望むこと

問１．健康について、どのようなことが知りたいですか。（いくつでも）

１．がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について
２．望ましい食生活の工夫について　　３．運動の方法について
４．検診の内容や受け方について　　５．寝たきり予防について
６．歯・口腔の健康について　　７．認知症の予防について
８．心の健康保持について　　９．その他（　　）
10．特にない

問２．地域包括支援センターを知っていますか。

１．知っている　　２．聞いたことはあるが何をするところかは知らない
３．知らない

※ 地域包括支援センターとは、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、高齢者の総合的な支援窓口としての役割を担う機関です。

問３．地域包括支援センターに、あなたが特に期待するのはどれですか。（３つまで）

1．地域での介護予防の普及や教室の開催
2．介護保険制度や福祉制度の総合相談窓口
3．様々な困りごとの相談窓口
4．認知症の早期発見や予防に関する情報の発信
5．介護技術や様々な介護に関する情報の発信
6．高齢者虐待・悪徳商法などから高齢者を守る活動
7．成年後見制度の案内や利用支援
8．自治会・民生委員など福祉のネットワークの構築
9．病院など医療関係者とのネットワークの構築
10．地域の高齢者を見守る中心的存在
11．ケアプランの作成
12．その他（　　）
13．特に期待することはない

※ 成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

問４．介護保険制度において、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れるべきことはなんだと思いますか。（２つまで）

1．介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実
2．ケアマネジャーやサービス提供事業者に関するＰＲや情報提供の充実
3．訪問サービス（ホームヘルプや訪問看護など）の量や質の充実
4．通所サービス（デイサービスなど）の量や質の充実
5．入所施設の確保
6．苦情相談窓口の充実
7．その他（　　）
8．特にない・わからない

問５．介護にかかわる支援事業のあり方について、特に力を入れるべきことはなんだと思いますか。（２つまで）

1．介護予防や健康づくり事業など保健事業の充実
2．認知症の予防や早期発見、支えるための施策の充実
3．成年後見制度などの権利擁護のための制度の案内や利用支援
4．家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実
5．高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成
6．高齢者が参加できるボランティアグループなどの紹介・相談
7．高齢者クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談
8．学習や講座などについての情報提供
9．高齢者の働く場についての情報提供
10．その他（　　）
11．特にない・わからない

第６　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

1．制度の内容や手続方法を知っている
2．制度の内容を大まかに知っている
3．名前だけ知っている
4．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

1．現在利用している　⇒　８ページ問３へ
2．今後利用したい　⇒　８ページ問３へ
3．利用は考えていない　⇒　８ページ問２－１へ
4．わからない　⇒　８ページ問２－１へ

問２－１．（問２で「３．利用は考えていない」または「４．わからない」と回答した方のみ）
成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

1．どうやって手続きしたらよいかわからない
2．利用すると、どんな効果があるかわからない
3．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
4．誰が成年後見人になるか不安
5．家族との違いがわからない
6．不正が怖い
7．その他（　　）

問３．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

1．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）
2．身の回りのことができなくなってきたこと
3．自分自身の将来
4．財産の管理や家（土地）等の処分
5．借金問題
6．悪徳商法等に騙されること
7．身体的（病気等）なこと
8．契約（施設入所等）ができないこと
9．親亡き後の子どもの将来（生活等）
10．相続や遺言について
11．その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問４．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1．知っていて、利用したことがある
2．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

1．市役所
2．江別市成年後見支援センター
3．地域包括支援センター
4．障がい者支援センター
5．法テラス
6．家庭裁判所
7．専門職（弁護士・司法書士等）
8．消費者協会（消費生活センター）
9．どの機関に相談してよいかわからない
10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第７　地域での活動や手助けについて

問１．あなたはちょっとした手助け（家事や買い物など）を家族以外の近所の人にお願いすることができますか。

1．お願いできる　　2．お願いできない　　3．わからない

問２．あなたは、家族以外の近所の人からちょっとした手助け（家事や買い物など）をお願いされたら引き受けますか。

1．引き受ける　　2．引き受けない　　3．わからない

問３．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

1．是非参加したい　　2．参加してもよい
3．参加したくない　　4．既に参加している

問４．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

1．是非参加したい　　2．参加してもよい
3．参加したくない　　4．既に参加している

問５．（問３または問４で「３．参加したくない」と回答した方のみ）
地域での活動に参加したくない理由を教えてください。（いくつでも）

1．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
2．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
3．参加したいと思う活動がないから
4．自宅の近くに活動の場がないから
5．団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから
6．どんな団体や活動があるのか知らないから
7．職場などでサークル活動などに参加しているから
8．健康や体力に自信がないから
9．地域の活動には関心がないから
10．外出する手段がないから（送迎や誰かの手助けが必要）
11．その他（　　）

問６．今後、あなたが地域活動などに参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも）

１．活動情報の提供があること	２．活動や団体を紹介してくれること
３．友人等と一緒に参加できること	４．気軽に参加できそうな活動があること
５．ＮＰＯ団体や自主サークルの立ち上げ支援があること	
６．活動拠点となる場所があること	７．時間や期間にあまりしばられないこと
８．身近なところで活動できること	９．適切な指導者やリーダーがいること
10．身体的な負担が少ないこと	11．金銭的な負担が少ないこと
12．その他（　　）	13．どのような条件でもできない

問７．（高齢者のみならず）地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（３つまで）

１．安否確認の声かけ	２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け	６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手	８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け	10．その他（　　）
11．特にない	

第８　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい	２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい	２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

１．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる

２．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける

３．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる

４．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる

５．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう

６．その他（　　）

７．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

１．親族	２．地域包括支援センター
３．市役所	４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所	６．社会福祉協議会
７．民生委員	８．自治会
９．友人	10．近隣住民
11．その他（　　）	12．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

１．不安に思う	２．今は大丈夫だが将来不安	３．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

１．親族	２．地域包括支援センター
３．市役所	４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所	６．社会福祉協議会
７．民生委員	８．自治会
９．友人	10．その他（　　）
11．特にない	

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

１．知っている　　２．聞いたことはある　　３．知らない

問８．あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

１．受講したい　⇒　**第９の問１へ**　　２．受講したくない　⇒　**問８－１へ**

３．すでに受講した　⇒　**第９の問１へ**

問８－１．（問８で「２．受講したくない」と回答した方のみ）
受講したくない理由を教えてください。

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから

２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから

３．興味がないから

４．その他（　　）

第９　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

１．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい

２．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない

３．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい

４．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい

５．その他（　　）

６．わからない

問２．介護保険サービス（訪問介護や住宅改修など）を利用する際には、要介護認定を受ける必要があることを知っていますか。

１．知っている　　２．知らない

問３．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。
（３つまで）

１．生きがい・社会参加への支援

２．働く機会への支援

３．ボランティアや地域活動の充実

４．介護予防・健康づくりの推進

５．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動

６．多様な生活支援サービスの充実

７．介護保険サービスの充実

８．入所施設の整備

９．認知症高齢者とその家族への支援

10．地域包括支援センターの充実

11．住まいに関する情報提供の充実

12．その他（　　）

13．わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）まで　に返送してください。

３．居宅サービス利用者

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
調　査　票
【居宅サービス利用者】

■記入方法

・既に介護保険施設に入所されている場合は、次ページの「はじめに」に入所年月を記入し、そのまま返信用封筒に入れて、切手を貼らず返送してください（回答はしなくてかまいません）。
・この調査は、令和８年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった**指定がない限りは、あてはまる数字１つに○**をつけてください。
　設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
　「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

はじめに　居宅サービスの利用について

介護保険施設に入所された方は、入所年月をご記入ください。

令和（　　）年（　　）月に介護保険施設に入所

※既に介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院）に入所している場合は、これでこの調査は終了です。
同封した返信用封筒にこの調査票を入れ、返送してください。
※グループホーム・有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方はご回答ください。

居宅サービス（グループホーム等にお住まいの方を含む）を利用している方は、以下の設問にお答えください

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

１．あて名のご本人　⇒　問２へ
２．あて名のご本人が回答してご家族の方などが代筆　⇒　問２へ
３．ご家族の方などが本人にかわって回答　⇒　問１－１へ

問１－１．（問１で「３」と回答した方のみ）　ご本人とのご関係をお聞きします。

１．配偶者　　２．子ども　　３．子ども以外の親族
４．その他（　　）

※代理で回答される方へのお願い
設問中の「あなた」とは、介護認定を受けられた方ご本人を指します。
ご本人が、質問の内容がわからなかったり、答えることができない場合には、ご本人の立場に立ってお答えください。

問２．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　　２．女性

問３．令和８年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４９歳　２．５０～５９歳　３．６０～６４歳　４．６５～６９歳
５．７０～７４歳　６．７５～７９歳　７．８０～８４歳　８．８５歳以上

問４．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。

１．要支援１　２．要支援２　３．要介護１　４．要介護２
５．要介護３　６．要介護４　７．要介護５

問５．現在、どちらにお住まいですか。太枠内の地区名に○を付けてください。

１．江別地区	【参考】←１～３に○をつけてください。	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
２．野幌地区		錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
３．大麻地区		文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

問６．家族構成をお教えください。

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）
３．夫婦２人暮らし（配偶者６４歳以下）　　４．息子・娘との２世帯（子と同居を含む）
５．その他（　　）

問７．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

１．持家（一戸建て）　　２．持家（集合住宅）
３．公営の賃貸住宅　　４．民間の賃貸住宅（一戸建て）
５．民間の賃貸住宅（集合住宅）　　６．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
７．社宅・間借り　　８．グループホーム・特定施設（介護付有料老人ホーム）
９．その他（　　）

問８．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

１．可能な限り、自宅で生活をしたい
２．介護保険施設へ入所したい
３．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
４．その他（　　）
５．わからない

第２　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 １６０ cm　体重 ５０ kg）

身長 ＿＿＿ cm　　体重 ＿＿＿ kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

１．はい　　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
２．いいえ
３．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

１．はい　　２．いいえ

問４．歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて３２本です。）

１．自分の歯は２０本以上、かつ入れ歯を利用
２．自分の歯は２０本以上、入れ歯の利用なし
３．自分の歯は１９本以下、かつ入れ歯を利用
４．自分の歯は１９本以下、入れ歯の利用なし

問５．１日３食食べていますか。

１．はい　　２．いいえ

問６．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

１．毎日ある　　２．週に何度かある　　３．月に何度かある
４．年に何度かある　　５．ほとんどない

第３　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

第４　就労について

問１．現在のあなたの就労状態はどれですか。（いくつでも）

１．職に就いたことがない　２．引退した　３．常勤（フルタイム）
４．非常勤（パート・アルバイト等）　５．自営業　６．求職中
７．その他

問１－１．（問１で「２．引退した」と回答した方のみ）
あなたはいつ引退しましたか。

１．昭和 □□ 年　２．平成 □□ 年　３．令和 □□ 年

第５　たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問１．あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問２．反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問３．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）

１．自治会　２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー　４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・市役所　６．その他（　　）
７．そのような人はいない

第６　健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい　２．まあよい　３．あまりよくない　４．よくない

問２．あなたは、健康づくりに対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問３．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸　０点　１点　２点　３点　４点　５点　６点　７点　８点　９点　１０点　とても幸せ

問４．あなたは、介護予防に対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問５．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている　⇒　**問６へ**　２．ときどき受けている　⇒　**問６へ**
３．受けてない　⇒　**問５－１へ**

問５－１．（問５で「３．受けてない」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった　２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる　４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である　６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい　８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）　10．特に理由はない

問６．あなたは、通院によって、医師にどのくらいの頻度でみてもらっていますか。

１．週に４回以上　⇒　**６ページ問６－１へ**　２．週に２・３回　⇒　**６ページ問６－１へ**
３．週に１回　⇒　**６ページ問６－１へ**　４．月に２回　⇒　**６ページ問６－１へ**
５．月に１回　⇒　**６ページ問６－１へ**　６．通院していない　⇒　**６ページ問７へ**

問６－１．（問６で「１」～「５」のいずれかに回答した方のみ）
通院している主な原因はなんですか。（いくつでも）

１．高血圧	２．脳卒中（脳出血･脳梗塞等）
３．心臓病	４．糖尿病
５．高脂血症（脂質異常）	６．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
７．胃腸・肝臓・胆のうの病気	８．腎臓・前立腺の病気
９．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	10．外傷（転倒・骨折等）
11．がん（悪性新生物）	12．血液・免疫の病気
13．うつ病	14．認知症（アルツハイマー病等）
15．パーキンソン病	16．目の病気
17．耳の病気	18．その他（　　）

問７．自力で通院出来なくなった場合、どのような方法で医師にみてもらいたいですか。（いくつでも）

１．訪問診療（往診）	２．介護タクシーで通院
３．家族の付き添いで通院	４．ヘルパーの付き添いで通院
５．ボランティアの付き添いで通院	６．その他（　　）

問８．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる　　２．いない

問９．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問 10．訪問診療（歯科含む）を受けていますか。

１．受けている　⇒　**問 10－１へ**　　２．受けてない　⇒　**７ページ第７の問１へ**

問 10－１．（問 10 で「１」と回答した方のみ）どちらの訪問診療を利用されていますか。

１．江別市内　　２．江別市外　　３．どちらも

問 10－２．（問 10 で「１」と回答した方のみ）訪問診療を１ヶ月に何回受けていますか。

１．１回　　２．２回　　３．３回　　４．４回　　５．５回以上

第７　成年後見制度について

※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

１．現在利用している　⇒　**８ページ問３へ**
２．今後利用したい　⇒　**８ページ問３へ**
３．利用は考えていない　⇒　**問２－１へ**
４．わからない　⇒　**問２－１へ**

問２－１．（問２で「３.利用は考えていない」または「４.わからない」と回答した方のみ）
成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。
（いくつでも）

１．どうやって手続きしたらよいかわからない
２．利用すると、どんな効果があるかわからない
３．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
４．誰が成年後見人になるか不安
５．家族との違いがわからない
６．不正が怖い
７．その他（　　）

問３．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

1．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）
2．身の回りのことができなくなってきたこと
3．自分自身の将来
4．財産の管理や家（土地）等の処分
5．借金問題
6．悪徳商法等に騙されること
7．身体的（病気等）なこと
8．契約（施設入所等）ができないこと
9．親亡き後の子どもの将来（生活等）
10．相続や遺言について
11．その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問４．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1．知っていて、利用したことがある
2．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

1．市役所　　2．江別市成年後見支援センター
3．地域包括支援センター　　4．障がい者支援センター
5．法テラス　　6．家庭裁判所
7．専門職（弁護士・司法書士等）　　8．消費者協会（消費生活センター）
9．どの機関に相談してよいかわからない　　10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第８　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1．はい　　2．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1．はい　　2．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

1．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
3．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
6．その他（　　）
7．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

1．親族　　2．地域包括支援センター
3．市役所　　4．かかりつけ医（主治医）・病院
5．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　6．社会福祉協議会
7．民生委員　　8．自治会
9．友人　　10．近隣住民
11．その他（　　）　　12．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

1．不安に思う　　2．今は大丈夫だが将来不安　　3．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

1．親族　　2．地域包括支援センター
3．市役所　　4．かかりつけ医（主治医）・病院
5．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　6．社会福祉協議会
7．民生委員　　8．自治会
9．友人　　10．その他（　　）
11．特にない

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

１．知っている　　２．聞いたことはある　　３．知らない

問８．あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

１．受講したい　⇒ **第９の問１へ**　　２．受講したくない　⇒ **問８－１へ**
３．すでに受講した　⇒ **第９の問１へ**

問８－１．（問８で「２．受講したくない」と回答した方のみ）
受講したくない理由を教えてください。

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
３．興味がないから
４．その他（　　）

第９　主に介護している方について

問１．家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

１．ない　⇒ **11 ページ第 10 の問１へ**
２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない　⇒ **問２へ**
３．週に１～２日ある　⇒ **問２へ**
４．週に３～４日ある　⇒ **問２へ**
５．ほぼ毎日ある　⇒ **問２へ**

問２．あなたの介護は、主にどなたが行っていますか。（介護サービス事業所以外）

１．配偶者（夫・妻）　２．息子　３．娘　４．子の配偶者
５．孫　６．兄弟・姉妹　７．その他（　　）

問３．その方とは同居していますか、別居していますか。

１．同居　２．別居

問４．その方の年齢をお答えください。

１．４０歳未満　２．４０歳代　３．５０歳代
４．６０歳代　５．７０歳代　６．８０歳以上

問５．その方は、働いていますか。

１．フルタイムで働いている　⇒ **問５－１へ**
２．パートタイムで働いている　⇒ **問５－１へ**
３．働いていない　⇒ **第 10 の問１へ**

問５－１．（問５で「１」または「２」と回答した方のみ）
その方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

１．問題なく、続けていける
２．問題はあるが、何とか続けていける
３．続けていくのはやや難しい
４．続けていくのは、かなり難しい

第 10　介護保険サービス等の利用について

問１．サービス提供事業者を選ぶときに、何を参考にしましたか。（いくつでも）

１．市から提供された情報（広報やパンフレットなど）
２．今までに利用したことのある事業者から選んだ
３．ケアマネジャーの意見
４．地域包括支援センターの意見
５．かかりつけ医（主治医）の意見
６．知人などからの紹介や勧め
７．いくつかの事業者から話を聞いたり、見たりして選んだ
８．新聞広告やパンフレットなど施設の案内
９．その他（　　）
10．特に参考にしたものはない

問２．制度上の利用できる上限（区分支給限度額）まで利用していますか。

１．上限を超えて利用している　⇒ **12 ページ問３へ**
２．上限まで利用している　⇒ **12 ページ問３へ**
３．上限まで利用していない　⇒ **12 ページ問２－１へ**
４．わからない　⇒ **12 ページ問３へ**

問２−１．（問２で「３．上限まで利用していない」と回答した方のみ）
上限まで利用していない理由はなんですか。（いくつでも）

1．現在のサービスメニューで十分だから
2．家族等が介護してくれるから
3．利用に要する費用が高いから
4．他にどのようなサービスを利用すればいいかわからないから
5．サービス提供事業者がいないから
6．訪問で、家族以外の人が家に入るのがわずらわしいから
7．通所で、施設に通うのに抵抗があるから
8．その他（　　）

問３．現在利用しているサービスに満足していますか。

1．満足している　⇒ **13 ページ問４へ**
2．ほぼ満足している　⇒ **13 ページ問４へ**
3．どちらともいえない　⇒ **13 ページ問４へ**
4．やや不満である　⇒ **問３−１へ**
5．不満である　⇒ **問３−１へ**

問３−１．（問３で「４．やや不満である」または「５．不満である」と回答した方のみ）
サービスに不満な理由は何ですか。（いくつでも）

1．希望する回数が利用できない
2．希望する曜日や時間帯に利用できない
3．事業者や担当者の対応が悪い
4．サービスの内容が契約と違う
5．利用料金が思っていたより高い
6．その他（　　）

問４．あなたが現在利用しているサービスで満足なところ、不満足なところを具体的にお知らせください。

【満足なところ】

【不満足なところ】

問５．今後のサービスの利用意向についてお伺いします。

1．これまでと同様に、居宅サービスを利用する　⇒ **14 ページ問６へ**
2．利用を減らしたり、止めたい　⇒ **問５−１へ**
3．老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい　⇒ **問５−２へ**
4．その他　⇒ **14 ページ問６へ**
（具体的に：　　）
5．わからない　⇒ **14 ページ問６へ**

問５−１．（問５で「２．利用を減らしたり、止めたい」と回答した方のみ）
利用を減らしたり、止めたい理由は何ですか。（２つまで）

1．状態が良くなり、家族だけで対応できるようになった
2．利用料の負担が経済的に重く、家計を圧迫するようになった
3．家族が退職したりして、家族だけで介護できるようになった
4．思ったほど家族の介護が軽減されなかった
5．サービスの内容や質が当初の契約と異なり、利用料が割高になった
6．希望する回数や時間帯などにサービス業者が対応できない
7．その他（　　）

問５−２．（問５で「３」と回答した方のみ）
自宅での支援や介護から施設への入所（病院への入院）に変更される理由は何ですか。（２つまで）

1．状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから
2．介護を担っていた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから
3．入所（入院）したほうが家族の負担が軽減されるから
4．自宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから
5．その他（　　）

問６．あなたは現在、特別養護老人ホームの入所を検討していますか。

１．検討していない　⇒　問７へ
２．検討している　⇒　問７へ
３．既に入所申込をしている　⇒　問６－１へ

問６－１．（問６で「３．既に入所申込をしている」と回答した方のみ）
それは市内・市外のどちらにありますか。（いくつでも）

１．市内　２．市外（道内）　３．道外

問６－２．（問６で「３．既に入所申込をしている」と回答した方のみ）
もし申込先の施設から入所の連絡がきた場合、どうしますか。

１．すぐに入所したい
２．複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい
３．その他（　　）
４．まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい

問７．あなたが、自宅で生活を続けていく上で、受けたい支援内容はありますか。（いくつでも）

１．安否確認の声かけ　２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い　４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け　６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手　８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け　10．その他（　　）
11．特にない

第11　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

１．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
２．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
３．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
４．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
５．その他（　　）
６．わかならない

問２．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

１．生きがい・社会参加への支援　２．働く機会への支援
３．ボランティアや地域活動の充実　４．介護予防・健康づくりの推進
５．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
６．多様な生活支援サービスの充実　７．介護保険サービスの充実
８．入所施設の整備　９．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実　11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）　13．わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）まで　に返送してください。

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
調　査　票
【施設サービス利用者】

■記入方法

・既に介護保険施設を退所されている場合は、次ページの「はじめに」に退所年月を記入し、そのまま返信用封筒に入れて、切手を貼らず返送してください（回答はしなくてかまいません）。
・この調査は、令和８年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
　施設職員の方には、代理回答を依頼しないようお願いいたします。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった**指定がない限りは、あてはまる数字１つに○**をつけてください。
　設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
　「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

はじめに　施設サービスの利用について

介護保険施設を退所された方は、退所年月をご記入ください。

令和（　　）年（　　）月に介護保険施設を退所

※既に介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院）を退所している場合は、これでこの調査は終了です。
同封した返信用封筒にこの調査票を入れ、返送してください。

施設サービスを利用している方は、以下の設問にお答えください

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

１．あて名のご本人　⇒ 問２へ
２．あて名のご本人が回答してご家族の方などが代筆　⇒ 問２へ
３．ご家族の方などが本人にかわって回答　⇒ 問１－１へ

問１－１．（問１で「３」と回答した方のみ）　ご本人とのご関係をお聞きします。

１．配偶者　２．子ども　３．子ども以外の親族
４．その他（　　）

※代理で回答される方へのお願い
設問中の「あなた」とは、介護認定を受けられた方ご本人を指します。
ご本人が、質問の内容がわからなかったり、答えることができない場合には、ご本人の立場に立ってお答えください。

問２．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　２．女性

問３．令和８年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４９歳　２．５０～５９歳　３．６０～６４歳　４．６５～６９歳
５．７０～７４歳　６．７５～７９歳　７．８０～８４歳　８．８５歳以上

問４．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。

１．要介護１　２．要介護２　３．要介護３　４．要介護４　５．要介護５

問５．現在の施設に入所される前、どこにいらっしゃいましたか。

１．自宅（独居）	２．自宅（同居している人がいる）
３．介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	４．介護老人保健施設（老人保健施設）
５．介護医療院・介護療養型医療施設	６．養護老人ホーム
７．ケアハウス	８．サービス付き高齢者向け住宅
９．有料老人ホーム（８を除く）	10．グループホーム
11．病院	12．その他（　　）

問６．施設（現在の施設に限らず）に入所した理由はどれですか。（２つまで）

１．体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから
２．介護してくれる家族がいない（ひとり暮らしだった）から
３．介護していた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから
４．介護してくれる家族も高齢だから
５．入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから
６．在宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから
７．その他（　　）

第２　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい	２．いいえ

第３　健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい	２．まあよい	３．あまりよくない	４．よくない

問２．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸										とても幸せ
０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	１０点

問３．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている	⇒ **第４の問１へ**
２．ときどき受けている	⇒ **第４の問１へ**
３．受けてない	⇒ **問３−１へ**

問３−１．（問３で「３．受けてない」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった	２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる	４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である	６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい	８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）	10．特に理由はない

第４　就労について

問１．現在のあなたの就労状態はどれですか。（いくつでも）

１．職に就いたことがない	２．引退した	３．常勤（フルタイム）
４．非常勤（パート・アルバイト等）	５．自営業	６．求職中
７．その他		

問１−１．（問１で「２．引退した」と回答した方のみ）
あなたはいつ引退しましたか。

１．昭和 □□ 年　２．平成 □□ 年　３．令和 □□ 年

第５　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい	２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい	２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

1．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる

2．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける

3．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる

4．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる

5．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう

6．その他（　　）

7．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

1．親族	2．地域包括支援センター
3．市役所	4．かかりつけ医（主治医）・病院
5．ケアマネジャー・介護サービス事業所	6．社会福祉協議会
7．民生委員	8．自治会
9．友人	10．近隣住民
11．その他（　　）	12．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

1．不安に思う　　2．今は大丈夫だが将来不安　　3．心配ない

第６　成年後見制度について

※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

1．制度の内容や手続方法を知っている

2．制度の内容を大まかに知っている

3．名前だけ知っている

4．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

1．現在利用している　⇒　**問３へ**

2．今後利用したい　⇒　**問３へ**

3．利用は考えていない　⇒　**問２－１へ**

4．わからない　⇒　**問２－１へ**

問２－１．（問２で「３．利用は考えていない」または「４．わからない」と回答した方のみ）成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

1．どうやって手続きしたらよいかわからない

2．利用すると、どんな効果があるかわからない

3．成年後見人への報酬など費用の負担が心配

4．誰が成年後見人になるか不安

5．家族との違いがわからない

6．不正が怖い

7．その他（　　）

問３．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

1．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）

2．身の回りのことができなくなってきたこと

3．自分自身の将来

4．財産の管理や家（土地）等の処分

5．借金問題

6．悪徳商法等に騙されること

7．身体的（病気等）なこと

8．契約（施設入所等）ができないこと

9．親亡き後の子どもの将来（生活等）

10．相続や遺言について

11．その他（　　）

12．不安に思っていることはない

問４．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所　　２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター　　４．障がい者支援センター
５．法テラス　　６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）　　８．消費者協会（消費生活センター）
９．どの機関に相談してよいかわからない　　10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第７　入所施設サービスについて

問１．あなたが現在入所されている施設の種類はどれですか。

１．介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
２．介護老人保健施設（老人保健施設）
３．介護医療院

問２．入所申し込みから入所までの期間はどのくらいでしたか。

１．１年未満　　２．１年から３年未満　　３．３年から５年未満　　４．５年以上

問３．現在の施設には、どのくらいの期間入所していますか。

１．１年未満　　２．１年から３年未満　　３．３年から５年未満　　４．５年以上

問４．現在入所している施設のサービスに満足していますか。

１．満足している　⇒　７ページ問５へ
２．ほぼ満足している　⇒　７ページ問５へ
３．どちらともいえない　⇒　７ページ問５へ
４．やや不満である　⇒　７ページ問４－１へ
５．不満である　⇒　７ページ問４－１へ

問４－１．（問４で「４．やや不満である」または「５．不満である」と回答した方のみ）施設のサービスに不満な理由は何ですか。（いくつでも）

１．介護や食事など計画の時間を守らない（遅れる、早く切り上げるなど）
２．おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある
３．介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい
４．介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない
５．施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い
６．入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない
７．食事の内容に不満がある（メニューや食事のあたたかさなど）
８．施設の建物や設備に不満がある（古い、狭い、使い勝手が悪いなど）
９．施設の職員から虐待を受けたことがある
10．その他（　　）

問５．施設のサービスの内容や職員の対応などに不満があるとき、あなたやご家族の方は誰に（どこに）相談しますか。（いくつでも）

１．介護職員や看護師、事務職員など施設の職員
２．施設の苦情受付窓口
３．市町村の介護保険担当窓口
４．知人・友人
５．誰に相談していいかわからない
６．その他（　　）
７．特に相談はしない

問６．あなたにとって、現在の介護保険施設サービスを受けてよかったと思うことは何ですか。（いくつでも）

1．精神的に楽になった
2．家族の負担が減った
3．外出などで外の社会とふれあう機会が増えた
4．人と話す機会が増えた
5．自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた
6．自分で身の回りのことができるようになった
7．体調が良くなった
8．必要な時にすぐに介護が受けられる
9．レクリエーションなどの楽しみが増えた
10．その他（　　）
11．良かったと思うことは特にない

第８　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

1．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
2．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
3．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
4．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
5．その他（　　）
6．わからない

問２．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

1．生きがい・社会参加への支援
2．働く機会への支援
3．ボランティアや地域活動の充実
4．介護予防・健康づくりの推進
5．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6．多様な生活支援サービスの充実
7．介護保険サービスの充実
8．入所施設の整備
9．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実
11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）
13．わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）まで　に返送してください。

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
調　査　票
【サービス未利用者】

■記入方法

・既に介護保険サービスを利用されている場合は、次ページの「はじめに」に利用開始年月を記入し、そのまま返信用封筒に入れて、切手を貼らず返送してください（回答はしなくてかまいません）。
・この調査は、令和８年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった**指定がない限りは、あてはまる数字１つに○**をつけてください。
設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

はじめに　介護保険サービスの利用について

既に介護保険サービスを利用している方は、利用開始年月をご記入ください。

令和（　　）年（　　）月にサービス利用開始

※既に介護保険サービスを利用している場合は、これでこの調査は終了です。同封した返信用封筒にこの調査票を入れ、返送してください。

介護保険サービスを利用していない方は、以下の設問にお答えください

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

１．あて名のご本人　⇒ 問２へ
２．あて名のご本人が回答してご家族の方などが代筆　⇒ 問２へ
３．ご家族の方などが本人にかわって回答　⇒ 問１－１へ

問１－１．（問１で「３」と回答した方のみ）　ご本人とのご関係をお聞きします。

１．配偶者　２．子ども　３．子ども以外の親族
４．その他（　　）

※代理で回答される方へのお願い
設問中の「あなた」とは、介護認定を受けられた方ご本人を指します。
ご本人が、質問の内容がわからなかったり、答えることができない場合には、ご本人の立場に立ってお答えください。

問２．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　２．女性

問３．令和８年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４９歳　２．５０～５９歳　３．６０～６４歳　４．６５～６９歳
５．７０～７４歳　６．７５～７９歳　７．８０～８４歳　８．８５歳以上

問４．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。

１．要支援１　２．要支援２　３．要介護１　４．要介護２
５．要介護３　６．要介護４　７．要介護５

問５．現在、どちらにお住まいですか。太枠内の地区名に○を付けてください。

１．江別地区	【参考】←１～３に○をつけてください。	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町
２．野幌地区		ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
３．大麻地区		錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
		文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

問６．家族構成をお教えください。

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）
３．夫婦２人暮らし（配偶者６４歳以下）　　４．息子・娘との２世帯（子と同居を含む）
５．その他（　　）

問７．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

１．持家（一戸建て）　　２．持家（集合住宅）
３．公営の賃貸住宅　　４．民間の賃貸住宅（一戸建て）
５．民間の賃貸住宅（集合住宅）　　６．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
７．社宅・間借り　　８．その他（　　）

問８．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

１．可能な限り、自宅で生活を続けたい
２．介護保険施設へ入所したい
３．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
４．その他（　　）
５．わかならない

第２　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 １６０ cm　体重 ５０ kg）

身長　　cm　　体重　　kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

１．はい　　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
２．いいえ
３．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

１．はい　　２．いいえ

問４．歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて３２本です）

１．自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用　　２．自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
３．自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用　　４．自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問５．１日３食食べていますか。

１．はい　　２．いいえ

問６．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

１．毎日ある　　２．週に何度かある　　３．月に何度かある
４．年に何度かある　　５．ほとんどない

第３　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

第４　就労について

問１．現在のあなたの就労状態はどれですか。（いくつでも）

１．職に就いたことがない　　２．引退した　　３．常勤（フルタイム）
４．非常勤（パート・アルバイト等）　　５．自営業　　６．求職中
７．その他

問１－１．（問１で「２．引退した」と回答した方のみ）
あなたはいつ引退しましたか。

１．昭和 □□ 年　２．平成 □□ 年　３．令和 □□ 年

第５ たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問１．あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問２．反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問３．あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問４．反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問５．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）

１．自治会　２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー　４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・市役所　６．その他（　　）
７．そのような人はいない

問６．この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
ただし、同じ人には何度会っても１人と数えることとします。

１．０人（いない）　２．１～２人　３．３～５人
４．６～９人　５．１０人以上

第６ 健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい　２．まあよい　３．あまりよくない　４．よくない

問２．あなたは、健康づくりに対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問３．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸　０点　１点　２点　３点　４点　５点　６点　７点　８点　９点　１０点　とても幸せ

問４．あなたは、介護予防に対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問５．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている　⇒　６ページ問６へ
２．ときどき受けている　⇒　６ページ問６へ
３．受けてない　⇒　問５－１へ

問５－１．（問５で「３．受けてない」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった　２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる　４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である　６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい　８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）　10．特に理由はない

問６．あなたは、通院によって、医師にどのくらいの頻度でみてもらっていますか。

１．週に４回以上　　２．週に２・３回
３．週に１回　　４．月に２回
５．月に１回　　６．通院していない

問７．自力で通院出来なくなった場合、どのような方法で医師にみてもらいたいですか。（いくつでも）

１．訪問診療（往診）　　２．介護タクシーで通院
３．家族の付き添いで通院　　４．ヘルパーの付き添いで通院
５．ボランティアの付き添いで通院　　６．その他（　　）

問８．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる　　２．いない

問９．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問 10．訪問診療（歯科含む）を受けていますか。

１．受けている　⇒　**問 10−１へ**　　２．受けてない　⇒　**第７の問１へ**

問 10−１．（問 10 で「１」と回答した方のみ）どちらの訪問診療を利用されていますか。

１．江別市内　　２．江別市外　　３．どちらも

問 10−２．（問 10 で「１」と回答した方のみ）訪問診療を１ヶ月に何回受けていますか。

１．１回　　２．２回　　３．３回　　４．４回　　５．５回以上

第７　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい　　２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

１．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
２．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
３．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
４．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
５．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
６．その他（　　）
７．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

１．親族　　２．地域包括支援センター
３．市役所　　４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　６．社会福祉協議会
７．民生委員　　８．自治会
９．友人　　10．近隣住民
11．その他（　　）　　12．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

１．不安に思う　　２．今は大丈夫だが将来不安　　３．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

１．親族　　２．地域包括支援センター
３．市役所　　４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　６．社会福祉協議会
７．民生委員　　８．自治会
９．友人　　10．その他（　　）
11．特にない

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

１．知っている　　２．聞いたことはある　　３．知らない

問８．あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

１．受講したい　⇒　**第８の問１へ**　　２．受講したくない　⇒　**問８－１へ**
３．すでに受講した　⇒　**第８の問１へ**

問８－１．（問８で「２．受講したくない」と回答した方のみ）
受講したくない理由を教えてください。

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
３．興味がないから
４．その他（　　）

第８　主に介護している方について

問１．家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

１．ない　⇒　**９ページ第９の問１へ**
２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない　⇒　**問２へ**
３．週に１～２日ある　⇒　**問２へ**
４．週に３～４日ある　⇒　**問２へ**
５．ほぼ毎日ある　⇒　**問２へ**

問２．あなたの介護は、主にどなたが行っていますか。（介護サービス事業所以外）

１．配偶者（夫・妻）　２．息子　３．娘　４．子の配偶者
５．孫　６．兄弟・姉妹　７．その他（　　）

問３．その方とは同居していますか、別居していますか。

１．同居　２．別居

問４．その方の年齢をお答えください。

１．４０歳未満　２．４０歳代　３．５０歳代
４．６０歳代　５．７０歳代　６．８０歳以上

問５．その方は、働いていますか。

１．フルタイムで働いている　⇒　**問５－１へ**
２．パートタイムで働いている　⇒　**問５－１へ**
３．働いていない　⇒　**第９の問１へ**

問５－１．（問５で「１」または「２」と回答した方のみ）
その方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

１．問題なく、続けていける　２．問題はあるが、何とか続けていける
３．続けていくのはやや難しい　４．続けていくのは、かなり難しい

第９　介護保険サービスの利用について

問１．要支援や要介護の認定を受けるために申請をした理由は何ですか。（いくつでも）

１．すぐには使わないが、将来的に介護サービスを利用したい
２．何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい
３．病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい
４．医師や看護師などから申請するよう勧められた
５．介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院）に入所（入院）するため
６．その他（　　）

問２．現在、どちらで生活していますか。

１．自宅　⇒　**10 ページ問２－１へ**
２．病院（診療所）
３．養護老人ホーム
４．ケアハウス
５．サービス付き高齢者向け住宅
６．有料老人ホーム（５．を除く）
７．その他（　　）

→ **10 ページ問３へ**

問２-１．（問２で「１．自宅」と回答した方のみ）
介護サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも）

１．これからは介護サービスを利用しようと思っている　⇒　問３へ
２．認定はされたが、まだ自分で何とかできるため
３．家族などに介護してもらうため
４．家族以外の人に介護してもらうことには抵抗がある
５．施設への入所を希望したが、定員に空きがなかった
６．利用したい介護サービスがない
７．介護サービスの利用方法や内容がよくわからない
８．利用するときの自己負担が大きい
９．その他　※理由を下のカッコ内に具体的に記入してください
（　　）

（２．～９．：問４へ）

問３．あなたは現在、特別養護老人ホームの入所を検討していますか。

１．検討していない　⇒　問４へ
２．検討している　⇒　問４へ
３．既に入所申込をしている　⇒　問３-１へ

問３-１．（問３で「３．既に入所申込をしている」と回答した方のみ）
それは市内・市外のどちらにありますか。（いくつでも）

１．市内　　２．市外（道内）　　３．道外

問３-２．（問３で「３．既に入所申込をしている」と回答した方のみ）
もし申込先の施設から入所の連絡がきた場合、どうしますか。

１．すぐに入所したい
２．複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい
３．その他（　　）
４．まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい

問４．あなたが、自宅で生活を続けていく上で、受けたい支援内容はありますか。
（いくつでも）

１．安否確認の声かけ
２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い
４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け
６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手
８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け
10．その他（　　）
11．特にない

第10　高齢者の健康と福祉へ望むこと

問１．健康についてどのようなことが知りたいですか。（いくつでも）

１．がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について
２．望ましい食生活の工夫について
３．運動の方法について
４．検診の内容や受け方について
５．寝たきり予防について
６．歯・口腔の健康について
７．認知症の予防について
８．心の健康保持について
９．その他（　　）
10．特にない

問２．地域包括支援センターを知っていますか。

１．知っている
２．聞いたことはあるが何をするところかは知らない
３．知らない

※ 地域包括支援センターとは、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、高齢者の総合的な支援窓口としての役割を担う機関です。

問３．地域包括支援センターに、あなたが特に期待するのはどれですか。（３つまで）

１．地域での介護予防の普及や教室の開催
２．介護保険制度や福祉制度の総合相談窓口
３．様々な困りごとの相談窓口
４．認知症の早期発見や予防に関する情報の発信
５．介護技術や様々な介護に関する情報の発信
６．高齢者虐待・悪徳商法などから高齢者を守る活動
７．成年後見制度の案内や利用支援
８．自治会・民生委員などとの福祉のネットワークの構築
９．病院など医療関係者とのネットワークの構築
10．地域の高齢者を見守る中心的存在
11．ケアプランの作成
12．その他（　　）
13．特に期待することはない

※ 成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

第11 成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

１．現在利用している　⇒　13ページ問３へ
２．今後利用したい　⇒　13ページ問３へ
３．利用は考えていない　⇒　問２－１へ
４．わからない　⇒　問２－１へ

問２－１．（問２で「３.利用は考えていない」または「４.わからない」と回答した方のみ）成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

１．どうやって手続きしたらよいかわからない
２．利用すると、どんな効果があるかわからない
３．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
４．誰が成年後見人になるか不安
５．家族との違いがわからない
６．不正が怖い
７．その他（　　）

問３．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

１．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）
２．身の回りのことができなくなってきたこと
３．自分自身の将来
４．財産の管理や家（土地）等の処分
５．借金問題
６．悪徳商法等に騙されること
７．身体的（病気等）なこと
８．契約（施設入所等）ができないこと
９．親亡き後の子どもの将来（生活等）
10．相続や遺言について
11．その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問４．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所	２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター	４．障がい者支援センター
５．法テラス	６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）	８．消費者協会（消費生活センター）
９．どの機関に相談してよいかわからない	10．相談をする必要がない
11．その他（　　）	

第 12　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

１．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
２．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
３．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
４．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
５．その他（　　）
６．わからない

問２．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

１．生きがい・社会参加への支援
２．働く機会への支援
３．ボランティアや地域活動の充実
４．介護予防・健康づくりの推進
５．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
６．多様な生活支援サービスの充実
７．介護保険サービスの充実
８．入所施設の整備
９．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実
11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）
13．わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）まで　に返送してください。

６．介護保険サービス事業者

【介護保険サービス事業所】

第１　貴事業所について

問１．円滑な事業運営を進めて行くうえで、現在、特に困難を感じることがありますか。あるとすればどのようなことですか。（３つまで）

１．従事者の確保が難しい
２．利用者の確保が難しい
３．事務作業が多い
４．施設・設備の改善が難しい
５．必要な情報の入手に支障がある
６．従事者の資質向上を図ることが難しい
７．利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない
８．市（自治体）との連携を図ることが難しい
９．その他（　　）
10．特に困難を感じることはない

問２．特に連携が必要だと思う関係機関等はどちらですか。（３つまで）

１．医療機関　　２．他の介護事業者
３．保険者　　４．地域包括支援センター
５．高齢者クラブ　　６．民生委員
７．社会福祉協議会　　８．自治会
９．介護・福祉関連のＮＰＯ・団体　　10．その他（　　）
11．特にない

問３．《居宅介護支援事業所以外の事業所の方におうかがいします》
貴事業所において、ケアマネジャーとの連携はいかがですか。
居宅介護支援事業所の方は「５．居宅介護支援事業所」を選択して問４へお進みください。

１．連携はとれている　　２．おおむね連携はとれている
３．あまり連携はとれていない　　４．連携はとれていない
５．居宅介護支援事業所

問４．貴事業所からみて、江別市内の在宅医療・介護連携はどのように見えますか。

１．連携はとれている　　２．おおむね連携はとれている
３．あまり連携はとれていない　　４．連携はとれていない
５．わからない

問５．貴事業所からみて、江別市内の在宅医療・介護連携を進めるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（いくつでも）

１．地域の医療・介護サービス資源の把握
２．在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
３．切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
４．医療・介護関係者の情報共有の支援
５．在宅医療・介護関係者に関する相談支援
６．医療・介護関係者の研修
７．地域住民への普及啓発
８．その他（　　）
９．わからない

問６．関係機関との連携に際し、現在、特に困難を感じることがありましたらご自由に入力ください。

問７．患者情報の共有のために、多職種でＩＣＴ（情報通信技術）を活用することについて、どのように思いますか。

１．活用したいと思う　　２．活用したいとは思わない
３．わからない　　４．その他（　　）

問８、９は施設系サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、グループホーム）を運営している事業所の方におうかがいします。
施設系サービス事業所以外の方は「３．施設系サービス事業所以外」を選択し、問 10（次へ）へお進みください。

問８．貴施設では看取りを行っていますか。

１．はい　→　（看取りの回数を数字で入力ください　　）回／年
２．いいえ
３．施設系サービス事業所以外

問９．貴施設で看取りをする場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。

１．施設として明確な方針を有していること
２．本人・家族・関係者の意思統一がされていること
３．職員の理解と協力があること
４．看取り対応のマニュアル等が整備されていること
５．医療機関との連携がとれていること
６．その他（　　）

問 10．その他の取組について、貴事業所で介護サービスの質を向上させるために特に取り組んでいることがありましたら入力してください。

問 11．貴事業所では、この１年間における人材の確保の状況はどうでしたか。

１．確保できている　　２．おおむね確保できている
３．あまり確保できていない　　４．確保できていない

問 11-1．昨年１年間（令和７年１月１日～令和７年１２月３１日）の離職者はいますか。

１．いない　⇒　問 12 へ
２．いる　⇒　問 11-2 へ

問 11-2．（問 11-1 で「２」と回答した方のみ）
退職の理由は何だと考えますか。（３つまで）

１．給与が安い
２．仕事がきつい
３．事業所と退職者とのミスマッチ
４．職場の人間関係
５．他に条件のいい職場がある（介護関係）
６．他に条件のいい職場がある（介護関係以外）
７．育児等の一身上の都合
８．その他（　　）
９．わからない

問 12．貴事業所で、不足している職種はありますか。（いくつでも）

１．訪問介護員　　２．サービス提供責任者
３．看護職員　　４．介護職員
５．生活相談員　　６．ケアマネジャー
７．機能訓練指導員　　８．リハビリテーション専門職（ＰＴ、ＯＴ、ＳＴ等）
９．その他（　　）　10．特にない　⇒　問 13 へ

問 12-1．（問 12 で「１」～「９」のいずれかに回答した方のみ）
どのくらいの人員が不足していますか。

（　　）人

問 13. 貴事業所では、新規人材の確保について、どのような取組を行っていますか。
（下記１～13 の中から３つまで、効果的だと考える順序でプルダウンから数字をご選択ください）
「12. その他」を選択した場合は、入力欄が出ますので、具体的な取組内容を入力ください。

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1. 定期的に求人誌への掲載などを行っている
2. 就職説明会への参加を行っている
3. 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
4. ハローワークとの連携を図っている
5. 人材派遣会社との連携を図っている
6. 無資格でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
7. 採用時に給与を他社より好条件に設定している
8. 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
9. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
10. 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（　　）
13. 特に何も行っていない

問 14. 貴事業所では、人材の定着・育成（離職防止）について、どのような取組を行っていますか。
（下記１～13 の中から３つまで、効果的だと考える順序でプルダウンから数字をご選択ください）
「12. その他」を選択した場合は、入力欄が出ますので、具体的な取組内容を入力ください。

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1. 近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している
2. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
3. 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
4. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
5. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
6. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
7. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
8. 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
9. 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
10. 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（　　）
13. 特に何も行っていない

問 15. 介護人材の確保・定着に関して、今後特にどのようなことに力を入れることが効果的と考えますか。
（下記１～８の中から３つまで、効果的だと考える順序でプルダウンから数字をご選択ください）
「７．その他」を選択した場合は、入力欄が出ますので、具体的な取組内容を入力ください。

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

１．中高生等の若い世代への啓発
２．入門的研修等の実施による人材の掘り起し
３．職員の資格取得への財政的支援
４．新規雇用者に対する就労支援金等の財政的支援
５．潜在的有資格者の復職支援
６．外国人人材の活用
７．その他（　　）
８．わからない

問 16. 国では「元気高齢者や子育てを終えた女性等（以下「元気高齢者等」）」を、介護の周辺業務を担う介護助手として活用を促進していますが、元気高齢者等の活用についてどのように考えていますか。

１．すでに活用している　⇒　**問 16-1 へ**
２．今後活用したい　⇒　**問 16-1 へ**
３．現時点では考えていない　⇒　**問 17 へ**
４．その他　⇒　**問 16-1 へ**
（　　）

問 16-1.　（問 16 で「１」「２」「４」のいずれかに回答した方のみ）
元気高齢者等の未経験者について、受け入れた場合に研修等の体制は整っていますか。

１．整っている
２．将来的に整備する予定
３．将来的に整備したいが、現時点においては整備の予定はない

問 17. 貴事業所で雇用している介護従事者のうち、無資格者の数は何人いますか。
（訪問系以外）

総数（　　）人　⇒　内、無資格者（　　）人

問 17-1.　（問 17 で「無資格者」の人数に記載のある方のみ）
無資格者について初任者研修等の資格取得を検討していますか。

１．法人内で取得に関する補助制度を設置している
２．法人として補助制度はないが、財政的な支援制度があれば取得させたい
３．資格取得は勧めるが、具体的な補助制度はない
４．具体的な補助制度はなく、個人の取得に任せている
５．その他（　　）

問 18. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。
（３つまで）

１．生きがい・社会参加への支援	２．働く機会への支援
３．ボランティアや地域活動の充実	４．介護予防・健康づくりの推進
５．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動	
６．多様な生活支援サービスの充実	７．介護保険サービスの充実
８．入所施設の整備	９．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実	11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）	13．わからない

問 19. 令和８年１月１日（基準日）の貴事業所で提供しているサービス種類についてお答えください。

（１）【居宅サービス（予防を含む）及び施設サービス】（該当するものすべてに○）

１．訪問介護	２．訪問入浴介護
３．訪問看護	４．訪問リハビリテーション
５．居宅療養管理指導	６．通所介護
７．通所リハビリテーション	８．特定施設入居者生活介護
９．福祉用具貸与	10．特定福祉用具購入
11．住宅改修	12．居宅介護支援
13．短期入所生活介護	14．短期入所療養介護
15．介護老人福祉施設	16．介護老人保健施設
17．介護医療院	18．その他（　　）

（２）【地域密着型サービス】（該当するものすべてに○）

１．夜間対応型訪問介護	２．地域密着型通所介護
３．認知症対応型通所介護	４．小規模多機能型居宅介護
５．定期巡回・随時対応型訪問介護看護	６．認知症対応型共同生活介護
７．地域密着型特定施設入居者生活介護	８．地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
９．看護小規模多機能型居宅介護	

第２　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．現在、支援している方の中で、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。

１．いる　（必要と思われる方の人数　　人）　⇒　問２－１へ
２．いない　⇒　問３へ

問２－１．（問２で「１」と回答した方のみ）　なぜ必要と思われますか。（いくつでも）

１．親族等の支援が見込めないため
２．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため
３．預貯金の管理・解約等の手続きのため
４．不動産処分の手続きのため
５．契約（施設入所等）のため
６．相続の手続きのため
７．その他（　　）

問３．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問４．成年後見制度に関する相談先を知っていますか。

１．知っている　　２．知らない　　３．相談する必要がない

問４－１．（問４で「１」と回答した方のみ）
成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所	２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター	４．障がい者支援センター
５．法テラス	６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）	８．消費者協会（消費生活センター）
９．その他（　　）	

問５．成年後見制度に関する課題がありましたらお聞かせください。

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉について、新たなサービスの提案等がございましたらご自由にご意見・ご要望などをご入力ください。

７．高齢者向け住宅事業者

【高齢者向け住宅事業者】

第１　貴事業所について

問１．令和８年１月１日（基準日）の貴施設についてお答えください。

（１）該当の所在地区にチェックをつけてください。	１．江別　　２．野幌　　３．大麻
（２）経営主体にチェックをつけてください。	１．社会福祉法人 ２．医療法人（公益社団・一般社団・公益財団・一般財団） ３．民法法人（公益社団・一般社団・公益財団・一般財団） ４．営利法人（有限・株式会社等） ５．特定非営利活動法人（ＮＰＯ） ６．非法人（個人経営） ７．その他（　　）
（３）施設種類にチェックをつけてください。	１．住宅型有料老人ホーム　　２．サービス付高齢者向け住宅 ３．その他（　　）
（４）入居定員を数字で入力ください。	（　　）名

問２．入居状況及び待機状況（令和８年１月１日現在）について、それぞれ人数を数字で入力してください。

入居者　（　　名）　待機者　（　　名）

問３．入居者の内訳についてそれぞれ室数を数字で入力してください。
「３．その他」の場合には、具体的に入居者の内訳も入力してください。

１．独居　（　　室）　２．夫婦世帯　（　　室）
３．その他　（　　室　※入居者の内訳：　　）

問４．入居者の年齢についてそれぞれ人数を数字で入力してください。

１．６０歳未満　（　　名）　２．６０歳以上６５歳未満（　　名）
３．６５歳以上７０歳未満（　　名）　４．７０歳以上７５歳未満（　　名）
５．７５歳以上８０歳未満（　　名）　６．８０歳以上８５歳未満（　　名）
７．８５歳以上９０歳未満（　　名）　８．９０歳以上　（　　名）

問５．入居者の入居年数についてそれぞれ人数を数字で入力してください。

１．１年未満　（　　名）　２．１年以上３年未満　（　　名）
３．３年以上５年未満　（　　名）　４．５年以上　（　　名）

問６．貴施設が実施しているサービスの内容についてお答えください。（いくつでも）

１．安否確認　　２．生活相談
３．食事　　４．その他（　　）

問７．建物に併設しているサービス施設がありますか。

１．あり　⇒　**問７－１へ**　　２．なし　⇒　**問８へ**

問７－１．（問７で「１」と回答した方のみ）　そのサービスは何ですか。（いくつでも）

１．通所介護　　２．地域密着型通所介護
３．認知症対応型通所介護　　４．小規模多機能型居宅介護
５．訪問介護　　６．診療所
７．訪問看護　　８．定期巡回・随時対応型訪問介護看護
９．居宅介護支援事業所　　10．その他（　　）

問８．（１）連携病院の有無についてお答えください。

１．あり　　２．なし

問８．（２）連携介護事業所の有無についてお答えください。

１．あり　　２．なし

問９．入居者の介護サービス利用状況についてお答えください。（いくつでも）

１．訪問介護　　２．訪問入浴介護
３．訪問看護　　４．訪問リハビリテーション
５．居宅療養管理指導　　６．通所介護
７．通所リハビリテーション　　８．短期入所生活介護
９．福祉用具貸与　　10．認知症対応型通所介護
11．小規模多機能型居宅介護　　12．地域密着型通所介護
13．定期巡回・随時対応型訪問介護看護　　14．看護小規模多機能型居宅介護
15．その他（　　）

問 10．入居者の医療サービス状況についてお答えください。（いくつでも）

１．訪問看護　　２．訪問診療
３．訪問歯科　　４．その他（　　）

問 11. 貴施設では看取りを行っていますか。

1．はい ⇒ （看取りの回数を数字で入力ください　　）回／年　　2．いいえ

問 12. 貴施設で看取りをする場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。

1．施設として明確な方針を有していること
2．本人・家族・関係者の意思統一がされていること
3．職員の理解と協力があること
4．看取り対応のマニュアル等が整備されていること
5．医療機関との連携がとれていること
6．その他（　　）

問 13. その他のサービスを実施したいですか。（いくつでも）

1．配食サービス　　2．除雪サービス
3．安否確認　　4．家事援助サービス
5．生活相談　　6．買い物代行
7．介護タクシー　　8．その他（　　）
9．特にない

問 14. 今後展開予定の事業があればお答えください。（いくつでも）

1．介護付有料老人ホーム　　2．住宅型有料老人ホーム
3．サービス付高齢者向け住宅　　4．その他（　　）
5．特にない

問 15. 貴施設では、この１年間における人材の確保の状況はどうでしたか。

1．確保できている　　2．おおむね確保できている
3．あまり確保できていない　　4．確保できていない

問 16. 貴施設では、新規人材の確保について、どのような取組を行っていますか。
（下記１～13 の中から３つまで、効果的だと考える順序でプルダウンから数字をご選択ください）
「12. その他」を選択した場合は、入力欄が出ますので、具体的な取組内容を入力ください。

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1．定期的に求人誌への掲載などを行っている
2．就職説明会への参加を行っている
3．福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
4．ハローワークとの連携を図っている
5．人材派遣会社との連携を図っている
6．無資格でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
7．採用時に給与を他社より好条件に設定している
8．採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
9．育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
10. 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（　　）
13. 特に何も行っていない

問 17. 貴施設では、人材の定着・育成（離職防止）について、どのような取組を行っていますか。
（下記１～13 の中から３つまで、効果的だと考える順序でプルダウンから数字をご選択ください）
「12. その他」を選択した場合は、入力欄が出ますので、具体的な取組内容を入力ください。

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1. 近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している
2. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
3. 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
4. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
5. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
6. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
7. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
8. 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
9. 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
10. 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（　　）
13. 特に何も行っていない

問 18. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。
（３つまで）

1. 生きがい・社会参加への支援
2. 働く機会への支援
3. ボランティアや地域活動の充実
4. 介護予防・健康づくりの推進
5. １人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6. 多様な生活支援サービスの充実
7. 介護保険サービスの充実
8. 入所施設の整備
9. 認知症高齢者とその家族への支援
10. 地域包括支援センターの充実
11. 住まいに関する情報提供の充実
12. その他（　　）
13. わからない

第２　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

1. 制度の内容や手続方法を知っている
2. 制度の内容を大まかに知っている
3. 名前だけ知っている
4. よく知らない

問２．現在、支援している方の中で、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。

1. いる　（必要と思われる方の人数　　人）　⇒　**問２−１へ**
2. いない　⇒　**問３へ**

問２−１．（問２で「１」と回答した方のみ）　なぜ必要と思われますか。（いくつでも）

1. 親族等の支援が見込めないため
2. 日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため
3. 預貯金の管理・解約等の手続きのため
4. 不動産処分の手続きのため
5. 契約（施設入所等）のため
6. 相続の手続きのため
7. その他（　　）

問３．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1. 知っていて、利用したことがある
2. 利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3. 名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4. 知らない

問４．成年後見制度に関する相談先を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない
3. 相談する必要がない

問４−１．（問４で「１」と回答した方のみ）
成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所	２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター	４．障がい者支援センター
５．法テラス	６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）	８．消費者協会（消費生活センター）
９．その他（　　）	

問５．成年後見制度に関する課題がありましたらお聞かせください。

意見　さいごに（自由意見）

高齢者向け住宅事業者から見た、介護保険制度についてのご意見・ご要望等がございましたらご自由に入力ください。

＜　差し支えなければ、施設名称をご入力ください：任意記載　＞

【事業所名】

８．ケアマネジャー

【ケアマネジャー】

第１　ケアマネジャー調査

問１．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　　２．女性

問２．令和８年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．２０～２９歳　　２．３０～３９歳　　３．４０～４９歳　　４．５０～５９歳
５．６０～６９歳　　６．７０歳以上

問３．勤務形態はどちらですか。

１．常勤　　２．非常勤

問４．あなたの所属する事業所は、居宅介護支援事業の他に介護保険サービス事業を運営していますか。なお、同じ所在地内に限ります。

１．居宅介護支援事業所だけを運営している
２．他の介護保険サービス事業も運営している

問５．ケアマネジャーの経験年数はどれくらいですか。

１．１年未満　　２．１年以上３年未満
３．３年以上５年未満　　４．５年以上１０年未満
５．１０年以上

問６．介護支援専門員以外に、お持ちの資格はどれですか。（いくつでも）

１．社会福祉士　　２．介護福祉士
３．精神保健福祉士　　４．医師
５．歯科医師　　６．保健師
７．看護師　　８．准看護師
９．歯科衛生士　　10．理学療法士
11．作業療法士　　12．栄養士
13．あん摩マッサージ指圧師　　14．はり師・きゅう師
15．柔道整復師　　16．薬剤師
17．その他（　　）　　18．持っていない

問７．あなたが担当している利用者数は何人ですか。（介護予防を含む）

１．１５人未満　　２．１５人以上２０人未満
３．２０人以上２５人未満　　４．２５人以上３０人未満
５．３０人以上３５人未満　　６．３５人以上４０人未満
７．４０人以上４４人未満　　８．４４人以上

問８．あなたにとって、ケアマネジメントで負担になっている業務はどれですか。（いくつでも）

１．利用者への面接　　２．居宅介護支援業務の説明や契約締結
３．介護保険制度の説明　　４．アセスメントの実施
５．ケアプランの作成　　６．ケアプランの説明と交付
７．サービス担当者会議の開催　　８．サービス事業者への連絡・調整
９．保険外サービスの連絡・調整　　10．主治医との連携
11．利用者宅の訪問　　12．利用者からの相談・連絡
13．家族からの相談・連絡　　14．モニタリング
15．居宅介護支援経過の記録　　16．給付管理
17．入所・入院先の相談・手配　　18．保険者への問い合わせ
19．その他（　　）　　20．負担になっている業務はない

問９．要介護者等が自宅で暮らし続けるために特に必要なことは、何だと思いますか。（３つまで）

１．安心して住み続けられる住まいがある
２．近所の人の見守りや手助けがある
３．必要時に随時、訪問してくれる介護・看護サービスがある（２４時間３６５日）
４．日中に自宅から出て、他の高齢者とともに活動したり、交流したりする場所がある
５．介護状態の改善や悪化を防ぐリハビリのサービスがある
６．一時的に自宅から離れて、短期間生活できるサービスがある
７．必要に応じて、通ったり、宿泊したりできるような施設がある
８．いつでも入所できる介護施設がある
９．往診してくれる医療機関がある
10．弁当など食事を宅配してくれるサービスがある
11．調理、洗濯、掃除等の家事を行うサービスがある
12．健康・介護・生活相談が出来る体制がある
13．近所の人や民生委員などによる、定期的な訪問や声かけがある
14．水道や電気、ガスの使用状況により、生活状況（安否など）を外部からチェックしてくれる仕組みがある
15．緊急時にボタンを押せば関係機関に通報される仕組みがある（２４時間３６５日）
16．介護者の負担を軽減する仕組みがある
17．低所得者の経済的な負担を軽減する仕組みがある
18．その他（　　）
19．わからない

問 10．担当医等との連携が必要だと思うケースでは、実際に連携が図られていると思いますか。

１．十分に連携が図られている
２．おおむね連携が図られている
３．ほとんど連携が図られていない
４．全く連携が図られていない
５．その他（　　）

問 11．担当医等との連携はどのような方法で行っていますか。（３つまで）

１．事前に時間調整を行い、担当医等（病院・診療所）を訪問して面談している
２．ほとんどの場合、質問内容をＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している
３．電話・ＦＡＸ等で連絡を取り、面談はしていない
４．診療情報提供書・連携パス等の書類等で連絡を取っており、面談はしていない
５．サービス担当者会議等に参加して連携をとっている
６．利用者・家族を通じて話を聞いている
７．その他（　　）
８．連携していない

問 12．利用者が入院した時、在宅での生活状況やケアプランなどの情報を病院に提供していますか。

１．病院からの要請に関わらず、提供している　⇒ **問 12-1 へ**
２．病院から要請があった場合に必要に応じ提供している　⇒ **問 12-1 へ**
３．直接は提供していないが、家族を通じてのみ提供している　⇒ **問 12-1 へ**
４．提供していない　⇒ **問 13 へ**
５．その他（　　）　⇒ **問 12-1 へ**

問 12-1．（問 12 で「１，２，３，５」のいずれかに回答した方のみ）どのようにして病院に提供していますか。（いくつでも）

１．担当医等に面談して、利用者の生活状況やケアプランを提供している
２．ほとんどの場合ＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している
３．電話・ＦＡＸ等でやり取りし、面談はしていない
４．その他（　　）

問 13．あなたは、退院が決まった高齢者、退院直後の高齢者等の医療の継続のためにどのように対応していますか。（いくつでも）

１．病院の地域連携室等と連携している
２．協力関係にある診療所・訪問看護ステーションと連携している
３．利用者の住居近くの訪問看護ステーションと連携している
４．利用者の住居近くの診療所と連携している
５．地域包括支援センターと連携している
６．医療については、病院の方針にゆだねている
７．保健所と連携している
８．その他（　　）
９．特にない

問 14.　「カンファレンス」への参加について、利用者が入院している時（退院時含む）、病院から参加の要請を受けたことがありますか。

1．要請を受けたことがある　⇒　**問 14-1 へ**
2．要請を受けたことがない　⇒　**問 15 へ**

問 14-1.　（問 14 で「１」に回答した方のみ）
要請を受けた場合、カンファレンスに参加していますか。

1．ほとんど参加している　⇒ **問 15 へ**　2．必要に応じて参加している　⇒ **問 15 へ**
3．ほとんど参加していない　⇒ **問 14-2 へ**　4．全く参加したことがない　⇒ **問 14-2 へ**

問 14-2.　（問 14-1 で「３」または「４」と回答した方のみ）
参加していない理由は、次のどれですか。（いくつでも）

1．参加しても必要な情報が得られない
2．個別に必要な情報は得ているため、カンファレンスに参加する必要がない
3．参加したいが、忙しくて参加できない
4．病院のスタッフが多いので参加しにくい（病院の敷居が高い）
5．その他（　　）

問 15.　医療機関とは、どのような方法で、情報伝達を図りたいですか。（いくつでも）

1．固定電話　2．携帯電話　3．ＦＡＸ
4．Ｅメール　5．直接の面談　6．その他（　　）

問 16.　医療機関から利用者の情報を得る際、「連携が図れない。連携が図りにくい。」と感じたことがありますか。

1．ある　⇒　**問 16-1 へ**　2．ない　⇒　**問 17 へ**

問 16-1.　（問 16 で「１」と回答した方のみ）
それはどのようなことですか。（いくつでも）

1．医療機関に連絡することに抵抗がある（敷居が高く感じられる）
2．連絡の方法がわからない（いつ、どういうふうに連絡していいのか。また、病院側の担当窓口が分からず誰に連絡すればよいかわからない）
3．担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある（担当医等が総合病院の医師であるため会うことが困難）
4．担当医等が遠方で会うことが困難
5．個人情報を理由に答えてくれないことがある（利用者の同意書を求められた。患者、利用者・家族を通じてしか答えない。担当の介護支援専門員である証明を求められた）
6．情報提供料等を請求されることがあった
7．治療内容などを話してもわからない、情報提供の必要がないと言われた
8．その他（　　）

問 17.　あなたには、認知症に関して相談のできる医療機関がありますか。

1．はい　⇒　**問 17-1 へ**　2．いいえ　⇒　**問 18 へ**

問 17-1.　（問 17 で「１」と回答した方のみ）
相談している医療機関は、次のうちどれですか。（いくつでも）

1．診療所等の担当医
2．老年科・もの忘れ外来など認知症の専門外来がある病院
3．病院の内科、神経内科、精神科など
4．精神科・神経科専門の病院・診療所
5．認知症疾患医療センター
6．その他（　　）

問 18.　あなたは過去１年間で看取りに立ち会ったケースはありますか。
※「１．はい」の場合は年間の回数をご記入ください。

1．はい　⇒（看取りの回数を数字で入力ください　　）回／年　2．いいえ

問 19.　あなたが看取りをサポートする側に立った場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。（いくつでも）

1．施設として明確な方針を有していること
2．本人・家族・関係者の意思統一がされていること
3．職員の理解と協力があること
4．看取り対応のマニュアル等が整備されていること
5．医療機関との連携がとれていること
6．その他（　　）

問 20.　ケアマネジャーのスキルアップでどのようなことを望みますか。（いくつでも）

1．ケアプランの作成・評価　2．介護に関する知識
3．介護予防に関する知識　4．リハビリテーションに関する知識
5．医療に関する知識　6．困難事例の検討
7．災害時の備えや対応　8．住宅・住環境に関する知識
9．福祉用具に関する知識　10．認知症の方への対応
11．虐待への対応　12．成年後見制度などの知識
13．その他（　　）

問 21. ケアマネジャーの仕事について、どのようにお考えですか。
①～⑩にそれぞれひとつ選択してください。

① やりがいがあると思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

② 人の役に立てる仕事だと思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

③ 専門知識・技能の必要な仕事だと思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

④ 業務量が過大な仕事だと思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑤ 精神的ストレスの大きい仕事だと思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑥ 社会的評価は高いと思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑦ 報酬は業務に見合っていると思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑧ 介護福祉士や社会福祉士のような国家資格化は必要だと思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑨ ケアマネジャーの独立性・中立性・公平性は保たれていると思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑩ 今後も続けていきたいと思いますか。

1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

問 22. ケアマネジャーからみて、江別市内の在宅医療と在宅介護の連携はとれていると思われますか。

1．連携はとれている　2．おおむね連携はとれている
3．あまり連携はとれていない　4．連携はとれていない

問 23. 上記の連携状況について、具体的な事項があれば、ご自由に入力ください。

問 24. ケアマネジャーからみて、江別市内の在宅医療・介護連携を進めるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（いくつでも）

1．地域の医療・介護サービス資源の把握
2．在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
3．切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
4．医療・介護関係者の情報共有の支援
5．在宅医療・介護関係者に関する相談支援
6．医療・介護関係者の研修
7．地域住民への普及啓発
8．その他（　　）
9．わからない

問 25. 上記の力を入れる点について、具体的な提案があれば、ご自由に入力ください。

問 26. 患者情報の共有のために、多職種でＩＣＴ（情報通信技術）を活用することについて、どのように思いますか。

1．活用したいと思う　　2．活用したいとは思わない
3．わからない　　4．その他（　　）

問 27. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

1．生きがい・社会参加への支援
2．働く機会への支援
3．ボランティアや地域活動の充実
4．介護予防・健康づくりの推進
5．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6．多様な生活支援サービスの充実
7．介護保険サービスの充実
8．入所施設の整備
9．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実
11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）
13．わからない

問 28. ケアマネジャーの立場から保険者である江別市に対して、何を望みますか。（いくつでも）

1．介護保険に関する情報提供
2．質の向上のための研修
3．不正な事業所の指導
4．利用者への適正なサービス利用の啓発
5．適正化についての情報提供
6．医療機関・訪問看護ステーションとの連携への支援
7．その他（　　）
8．特にない

第２　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

1．制度の内容や手続方法を知っている
2．制度の内容を大まかに知っている
3．名前だけ知っている
4．よく知らない

問２．現在、支援している方の中で、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。

1．いる　（必要と思われる方の人数　　人）　⇒　問２−１へ
2．いない　⇒　問３へ

問２−１．（問２で「１」と回答した方のみ）　なぜ必要と思われますか。（いくつでも）

1．親族等の支援が見込めないため
2．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため
3．預貯金の管理・解約等の手続きのため
4．不動産処分の手続きのため
5．契約（施設入所等）のため
6．相続の手続きのため
7．その他（　　）

問３．江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1．知っていて、利用したことがある
2．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4．知らない

問４．成年後見制度に関する相談先を知っていますか。

1．知っている　　2．知らない　　3．相談する必要がない

問４－１．（問４で「１」と回答した方のみ）
成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所	２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター	４．障がい者支援センター
５．法テラス	６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）	８．消費者協会（消費生活センター）
９．その他（　　）	

問５．成年後見制度に関する課題がありましたらお聞かせください。

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉について、新たなサービスの提案等がございましたらご自由にご意見・ご要望などをご入力ください。

江別市高齢者総合計画の策定に
関する実態調査報告書

令和８年３月

発　行　　江　別　市
編　集　　江別市　健康福祉部
〒067-8674　北海道江別市高砂町６番地
介護保険課　電話　０１１－３８１－１０６７
FAX　０１１－３８１－１０７３
ホームページ：http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/